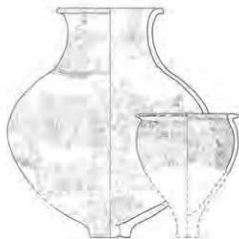


は ん ざ ん ぼ る
平安山原B遺跡

— 桑江伊平土地区画整理事業に伴う発掘調査事業（平成20・21・23年度）—

- 〈付篇1〉伊礼原D遺跡出土のタイ産鉄絵合子及び木製漆器
- 〈付篇2〉伊礼原遺跡の年代測定結果
- 〈付篇3〉キャンプ桑江北側地区出土の貝集積



2015（平成27）年3月

沖縄県 北谷町教育委員会

は ん ざ ん ば る
平安山原B遺跡

— 桑江伊平土地区画整理事業に伴う発掘調査事業（平成20・21・23年度）—

〈付篇1〉伊礼原D遺跡出土のタイ産鉄絵合子及び木製漆器

〈付篇2〉伊礼原遺跡の年代測定結果

〈付篇3〉キャンプ桑江北側地区出土の貝集積

2015（平成27）年3月

沖縄県 北谷町教育委員会

はじめに

平安山原B遺跡は、平成15年3月に返還されたキャンプ桑江北側地区に位置する約2,300年前から70年前に亘る集落遺跡です。本遺跡は、基地返還前に実施した文化財調査で発見されました。

文化財調査以前のキャンプ桑江北側地区では、平安山原B遺跡を含む多くの遺跡は確認されていませんでした。町教育委員会では、基地返還後の跡地利用における文化財の取扱いについて開発事業と円滑な調整が図れるよう、平成7～9年度に遺跡の有無を確認する試掘調査を行い、平安山原B遺跡のほか8つの遺跡を確認しました。

キャンプ桑江北側跡地は国道58号に隣接する平坦地で、基地返還前から町役場が建設されるなど、その立地条件の良さから新たなまちづくりが期待されている場所です。文化財調査で確認された遺跡は開発か現状保存か間われ、結果、その多くは開発と共にやむなく失われてしまいました。平安山原B遺跡もその1つに挙げられます。

本報告書は、町教育委員会が開発行為に先立って平成20・21・23年度に実施した記録保存目的の発掘調査成果を、文字や図、写真等でまとめたものです。平安山原で暮らしていた人々の生活址を未来へ伝える遺跡の「証」であります。

発掘調査の結果、約2,300年前は遺跡一帯に砂浜が広がり、人々は限られた空間で生活していた様相が分かりました。その様子は、丘陵麓に幾層にも重なった炉跡や出土品の分布状況から窺うことができます。その後、遺跡付近の流路が次第に埋まり、グスク時代以降には平坦地に集落が形成されるようになります。集落址からは、中国や日本との交易でもたらされた陶磁器や貨銭等が出土するなど、海外との活発なやりとりが想起されます。近代期、集落はさらに広がり、サーターヤ（製糖小屋）や井戸等も見られるようになります。出土品の中には製作者印が刻印された大形の甕や、手描きの文様が施されたマカイ（碗）が出土するなど、モノづくりに携わった人たちの息遣いが聞こえてくるようです。戦前まで存続した集落は戦後、基地に接収され、基地建設時の造成、削平を受け、現在、その面影は微塵も残っておりません。

本書が先人の歩みを思量し、未来を見据え、文化財保護へのご理解を深める一助となれば、これほど喜ばしいことはありません。

末尾になりましたが、本報告書を刊行するにあたりご指導・ご協力を賜りました関係各位に深く感謝申し上げます。

平成27年3月

北谷町教育委員会
教育長 川上 啓一

例 言

1. 本報告書は、北谷町教育委員会が桑江伊平土地区画整理事業に伴い、平成 20 年度、21 年度、23 年度に実施した「平安山 B 遺跡」発掘調査の成果をまとめたものである。
2. 本報告書に掲載した地図は、国土地理院発行の 1/2,500 地形図(昭和 54 年測量)を元に北谷町役場都市計画課が作成したものである。本書に掲載した緯度、経度の平面直角座標はすべて世界測地系にもとづくものである。

3. 遺物の同定等については、下記の方にご協力をいただいた。(敬称略)記して感謝申し上げます。

| | |
|--------|--------------------------|
| 脊椎動物遺体 | 樋泉 岳二 (早稲田大学教育学部) |
| 貝類遺体 | 黒住 耐二 (千葉県立中央博物館) |
| 人骨 | 土肥 直美 (琉球大学医学部) |
| 石質 | 大城 逸朗 (おきなわ石の会) |
| 堆積学 | 松田順一郎 (史跡跡池新田会所管理事務所) |
| 土器 | 新里 貴之 (鹿児島大学埋蔵文化財調査センター) |

4. 樋泉岳二氏・黒住耐二氏・土肥直美氏には玉稿を賜った。記して謝意を表します。
5. 放射性炭素年代測定は、バリノ・サーヴェイ (株) に依頼した。
6. 本報告書の編集は、島袋春美が行い執筆分担は下記のとおりである。

| | | | | |
|-------------------------|------------------|-------------------|------------|-------|
| 第 I 章 | 第 II 章 | 第 III 章 第 1 節 | 松原 哲志 | |
| 第 III 章 第 2 節 | 第 4 節 1 | 第 5 節 1 | 第 V 章 | 山城 安生 |
| 第 III 章 第 3 節 1・2 (3・4) | 第 4 節 2 (11~15) | 第 5 節 2 (1・2・6・7) | 第 V 章 付篇 3 | 島袋 春美 |
| 第 III 章 第 3 節 2 (1) | 第 4 節 2 (1) | | | 呉屋 広江 |
| 第 III 章 第 3 節 2 (2・5) | 第 4 節 2 (16~18) | 第 5 節 2 (5・8・9) | | 上地千賀子 |
| 第 III 章 第 4 節 2 (2~7) | | | | 比嘉 優子 |
| 第 III 章 第 4 節 2 (8~10) | 第 5 節 2 (3・4・10) | | | 北條 真子 |
| 付篇 1・2 | | | | 東門 研治 |

7. 本遺跡の遺物の注記及び、遺構、取上の凡例は次のとおりである。

・注記 HB①地区 (平安山原 B 遺跡 H20 年度調査)

| 台帳(取上)番号 | グリッド | 遺構番号 | 層位 | 取上日 |
|----------|--------|-------|----|--------|
| 台 484 | P・Q8・9 | 358SK | | 090121 |

→ ⑦平 B 台 484・P・Q8・9
358SK,090121

・注記 HB②イ・ロ地区 (平安山原 B 遺跡 H21 年度調査)

| 地区 | 台帳(Dot)番号 | グリッド | 遺構名 | 層位 | 取上日 |
|----|-----------|------|-----|-----|----------|
| イ | 3149 | K10 | | 貝層② | H21.1106 |

→ ⑨平 B イ台 3149. K10
貝層②.H21.1106

・注記 HB④イ・ロ地区 (平安山原 B 遺跡 H23 年度調査)

| 台帳番号 | 地区 | グリッド | 遺構 | 層位 | 日付 |
|------|----|------|----|--------|-----------|
| 109 | ロ | S13 | | VII-II | H23.12.06 |

→ ⑬平 B109.ロ S13.VII-II
H23.12.06

・遺構記号

| 性格 | 溝・河川 | 土壌 | 柱穴 | 石列 | 貝集積 | 攪乱 | その他 |
|------|------|----|----|----|-----|----|-----|
| 遺構記号 | SD | SK | P | SL | SS | SZ | SX |

8. 本報告の編年表記は沖縄編年を基本とするが、出土遺物には時代幅があり、その種類によって時代表記が異なる。(伊礼原 D 遺跡 (2013) 例言 (沖縄・九州時代区分対象表) 参考)
9. 本書に掲載した発掘調査に関する写真、実測図などの記録および出土遺物全ては北谷町教育委員会が保管している。

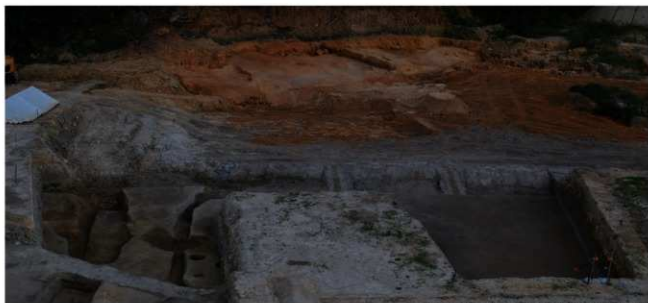


平安山原 B 遺跡周辺航空写真



卷首図版 1 全景写真 1

HB①地区 近世・現代完掘状況（北西より）



HB①・②イ・ロ地区 調査区完掘状況 (南西より)



HB④イ地区 近世完掘状況 (南より)



巻首図版2 全景写真2

HB④イ地区 V層検出面 (南西より)



HB①地区 東壁 K12-J13



HB①地区 東壁 J13-114



HB①地区 中央ベルト K12 (南西より)



HB①地区 中央ベルト L12 (南西より)



HB①地区 南壁



HB①地区 西壁



HB①地区 西壁 015



HB①地区 西壁 013



HB①地区 中央ベルト L14 (南西より)



HB①地区 中央ベルト K19-20 (南西より)



HB①地区 下層確認トレンチ1 東壁 P9



HB①地区 下層確認トレンチ2 東壁 P12



巻首図版 5 層序 3

HB①地区 下層確認トレンチ3 南壁 N19-OP18



HB②イ地区 中央ベルト（東より）



HB②イ地区 中央ベルト下層確認トレンチ（南東より）



HB②イ地区 VI層核出面（西より）



HB2口地区 南壁



HB2口地区 西壁



HB2口地区 R-S12 北西壁



HB2口地区 下層確認トレンチQ-R13



HB④イ地区 ベルトⅢ(奥)、I(手前) (南より)



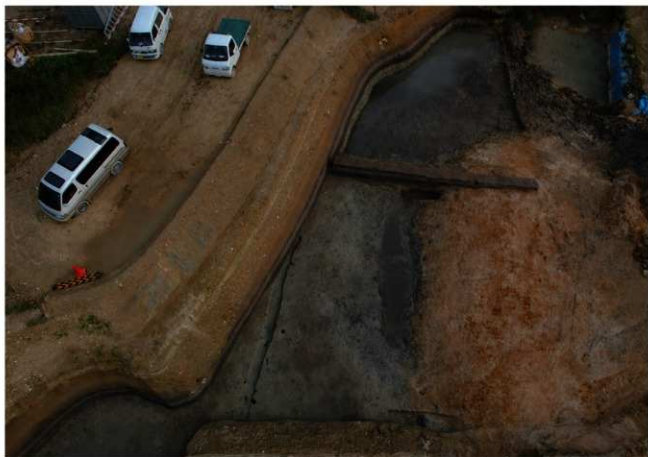
HB④地区 ベルトI 壁面I・II(西より)



HB④イ地区 壁面Ⅲ(南より)



HB④ロ地区 壁面Ⅳ、ベルトⅣ(南西より)



HB④口地区 下層確認前検出状況 (北西より)



HB④口地区 下層確認トレンチ4 (北より)



HB④口地区 下層確認トレンチ4 樹根検出状況 (北西より)



HB④イ地区 下層確認トレンチ3 南東壁面



HB④イ地区 下層確認トレンチ1 南東壁面



HB④イ地区 完掘状況 (北西より)



HB④イ地区 下層確認トレンチ3 K-L2 南東壁面



HB④イ地区 下層確認トレンチ2 L4-5 南西壁面



HB④イ地区 下層確認トレンチ2 L5 北東壁面



HB④イ地区 下層確認トレンチ2 L6 北東壁



HB①地区 377SE (南西より)



HB②-I地区 1006SK (北西より)



HB②-II地区 2004SX・2005SX (南東より)



HB②-II地区 2002・2003・2073SX (北西より)



HB 試掘確認調査時 竃跡1・2 検出状況 (北西より)



HB④-I地区 試掘17-1 北壁 (南東より)



HB④-I地区 試掘17-1 東壁 竃跡1・2



HB①地区 建物址 1 235SB (南東より)



HB①地区 建物址 2 310SB (南より)



HB②口地区 2049SD (南西より)



HB①地区 275SL 検出状況 (南西より)

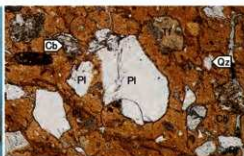


HB①地区 石列 1 378SL (南より)



HB④イ地区 石列 2 SL1 (南東より)

巻首図版 12 グスク時代・近世遺構



試料番号1 (Qz:石英, Pl:斜長石, Cb:炭酸塩鉱物, Tf:凝灰岩)
写真左列は下方ポーラー、写真右列は直交ポーラー下

0.5mm

巻首図版13 第IV章第3節(2) 胎土分析試料薄片



卷首图版 14 復元土器

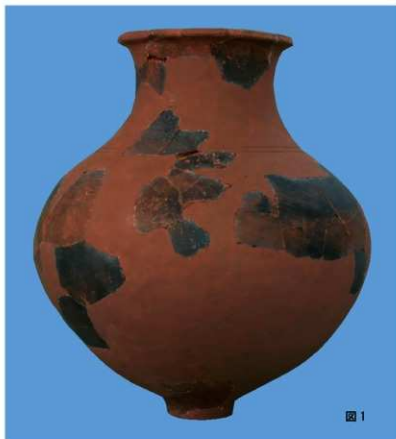


図 1

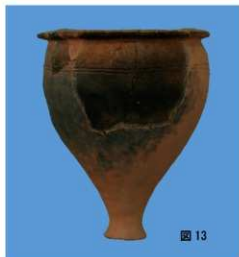


図 13



図 36



図 48



図 49



図 29



図 37



図 57



図 91



図 154

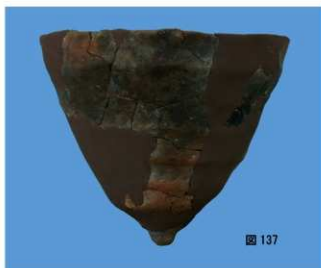


図 137



図 3

図 4

図 1

図 2

骨製品



貝製品

卷首図版 16 土器・骨製品・貝製品

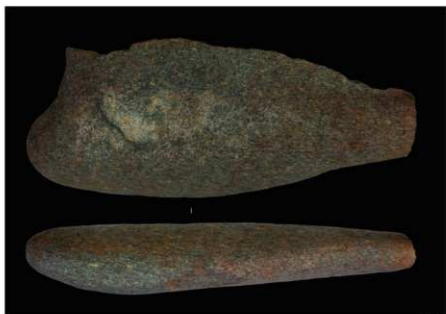
(遺物番号は図版番号と一致、土器は1/4縮小)



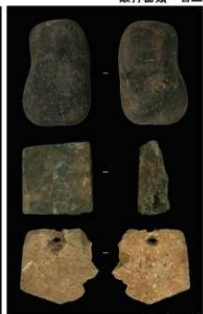
石斧



敲打器類・石皿

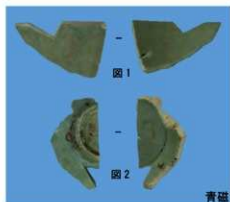


卷首図版 17 石器

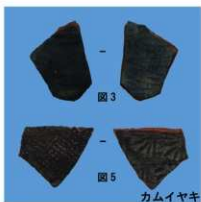


礎石

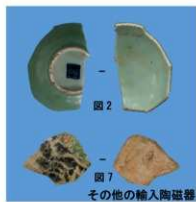
グスク礎石



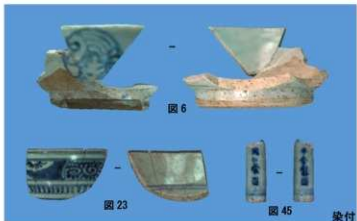
青磁



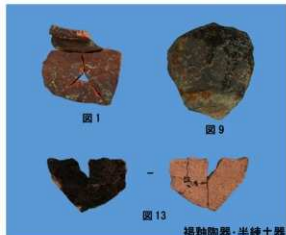
カムイヤギ



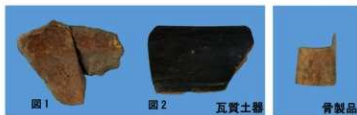
その他の輸入陶磁器



染付

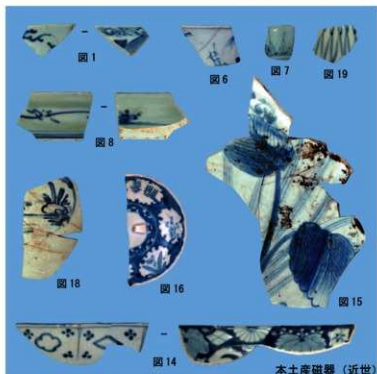


褐釉陶器・半練土器

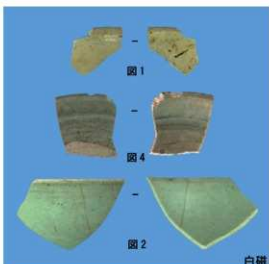


瓦質土器

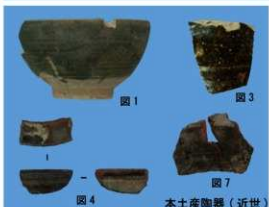
骨製品



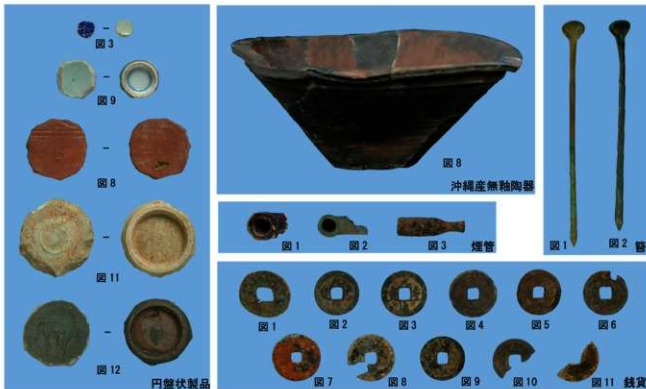
本土産磁器（近世）



白磁



本土産陶器（近世）



卷首图版 19 陶磁器類・他 2

（遺物番号は図版番号と一致）

本文目次

はじめに 例言 巻首図版

| | | |
|---------------------------------|-----------------------------|-----|
| 第1章 | 調査経緯・経過 | 1 |
| 第1節 | 調査に至る経緯..... | 1 |
| 第2節 | 調査体制..... | 2 |
| 第3節 | 調査経過..... | 4 |
| 第2章 | 位置と環境 | 6 |
| 第1節 | 地理的環境..... | 6 |
| 第2節 | 歴史的環境..... | 8 |
| 第3章 | 調査の方法と成果 | 12 |
| 第1節 | 調査の方法..... | 12 |
| 第2節 | 層序..... | 14 |
| 第3節 | 貝塚時代後期..... | 37 |
| 第4節 | グスク時代・近世..... | 198 |
| 第5節 | 近・現代..... | 275 |
| 第4章 | 科学的分析 | 361 |
| 第1節 | 平安山原B遺跡から採集された脊椎動物遺体..... | 361 |
| 第2節 | 平安山原B遺跡の調査で得られた貝類遺体..... | 388 |
| 第3節 | 平安山原B遺跡の自然科学分析..... | 405 |
| 第4節 | 平安山原B遺跡出土の人骨..... | 413 |
| 第5章 | 総括 | 414 |
| 付篇1 | 伊礼原D遺跡出土のタイ産鉄絵合子及び木製漆器..... | 420 |
| 付篇2 | 伊礼原遺跡の年代測定結果..... | 421 |
| 付篇3 | キャンプ桑江北側地区出土の貝集積..... | 426 |
| 報告書抄録 | | 428 |
| CD収録 ・平安山原B遺跡遺物台帳 ・平安山原B遺跡貝類出土量 | | |

図版目次

| | | | |
|--------|-------------------|--------|--------------------|
| 巻首図版1 | 全景写真1 | 巻首図版11 | 近世・戦前遺構 |
| 巻首図版2 | 全景写真2 | 巻首図版12 | グスク時代・近世遺構 |
| 巻首図版3 | 層序1 | 巻首図版13 | 第IV章第3節(2)粘土分析試料薄片 |
| 巻首図版4 | 層序2 | 巻首図版14 | 復元土器 |
| 巻首図版5 | 層序3 | 巻首図版15 | 土器 |
| 巻首図版6 | 層序4 | 巻首図版16 | 土器・骨製品・貝製品 |
| 巻首図版7 | 層序5 | 巻首図版17 | 石器 |
| 巻首図版8 | 層序6 | 巻首図版18 | 陶磁器類・他1 |
| 巻首図版9 | 下層確認トレンチ1 | 巻首図版19 | 陶磁器類・他2 |
| 巻首図版10 | 下層確認トレンチ2 | | |
| 図版1 | 燃焼遺構(1028SX)..... | 図版25 | 土器24..... |
| 図版2 | 土器1..... | 図版26 | 土器25..... |
| 図版3 | 土器2..... | 図版27 | 砥石..... |
| 図版4 | 土器3..... | 図版28 | サンゴ塊製品..... |
| 図版5 | 土器4..... | 図版29 | 石器1..... |
| 図版6 | 土器5..... | 図版30 | 石器2..... |
| 図版7 | 土器6..... | 図版31 | 石器3..... |
| 図版8 | 土器7..... | 図版32 | 石器4..... |
| 図版9 | 土器8..... | 図版33 | 石器5..... |
| 図版10 | 土器9..... | 図版34 | 石器6..... |
| 図版11 | 土器10..... | 図版35 | 石器7..... |
| 図版12 | 土器11..... | 図版36 | 石器8..... |
| 図版13 | 土器12..... | 図版37 | 石器9..... |
| 図版14 | 土器13..... | 図版38 | 石器10..... |
| 図版15 | 土器14..... | 図版39 | 大型イモゴイ..... |
| 図版16 | 土器15..... | 図版40 | ゴホウク..... |
| 図版17 | 土器16..... | 図版41 | 貝製品1..... |
| 図版18 | 土器17..... | 図版42 | 貝製品2..... |
| 図版19 | 土器18..... | 図版43 | 貝製品3..... |
| 図版20 | 土器19..... | 図版44 | 貝製品4..... |
| 図版21 | 土器20..... | 図版45 | 貝製品5..... |
| 図版22 | 土器21..... | 図版46 | 貝製品6..... |
| 図版23 | 土器22..... | 図版47 | 貝製品7..... |
| 図版24 | 土器23..... | 図版48 | 貝製品8..... |

| | | | | | |
|------|-----------------------------------|-----|-------|---|-----|
| 図版49 | 貝製品 9 | 193 | 図版100 | SK1・SK2輸出状況(北西より) | 284 |
| 図版50 | ヤコウガイ | 194 | 図版101 | SK1・SK1・SK2(西より) | 284 |
| 図版51 | 骨製品 | 195 | 図版102 | SK1・SK1・SK2(北より) | 284 |
| 図版52 | 土製品 | 196 | 図版103 | 燔土部完備(南より) | 285 |
| 図版53 | 建物址 1(南より) | 201 | 図版104 | 焚口 | 285 |
| 図版54 | 建物址 2(南東より) | 202 | 図版105 | 1048SX輸出状況(南より) | 285 |
| 図版55 | 271SD燔土遺構 1(北西より) | 204 | 図版106 | 井戸(377E)輸出状況(南より) | 286 |
| 図版56 | 275SL・352SD(南より) | 205 | 図版107 | 窯跡 1(北より) | 288 |
| 図版57 | 2049SD(南西より) | 205 | 図版108 | 窯跡 1 焚口 | 288 |
| 図版58 | 275SL完備状況(南西より) | 205 | 図版109 | 窯跡 2(南より) | 288 |
| 図版59 | 2049SD完備状況(南より) | 205 | 図版110 | 窯跡 1・2(南西より) | 288 |
| 図版60 | 337SD輸出状況 | 206 | 図版111 | 窯跡 1(西より) | 289 |
| 図版61 | SD1検出層(壁IV;南西より) | 206 | 図版112 | 窯跡 1 内部の鉄製棒検出(南西より) | 289 |
| 図版62 | SD1検出状況(北西より) | 206 | 図版113 | 窯跡 2 被熱部と前底部(北西より) | 289 |
| 図版63 | 溝状遺構 4 検出状況(北西より) | 207 | 図版114 | 沖縄産麻輪陶器 1 | 309 |
| 図版64 | 378SL石列 1 検出状況(南より) | 209 | 図版115 | 沖縄産麻輪陶器 2 | 311 |
| 図版65 | 石列 2 検出状況(南東より) | 209 | 図版116 | 沖縄産麻輪陶器 3 | 313 |
| 図版66 | グスタ土器 | 225 | 図版117 | 沖縄産麻輪陶器 4 | 315 |
| 図版67 | カムイヤキ | 229 | 図版118 | 沖縄産麻輪陶器 5 | 317 |
| 図版68 | 白磁 | 235 | 図版119 | 沖縄産麻輪陶器 6 | 319 |
| 図版69 | 青磁 1 | 241 | 図版120 | 沖縄産麻輪陶器 1 | 327 |
| 図版70 | 青磁 2 | 243 | 図版121 | 沖縄産麻輪陶器 2 | 329 |
| 図版71 | 染付 1 | 249 | 図版122 | 沖縄産麻輪陶器 3 | 331 |
| 図版72 | 染付 2 | 251 | 図版123 | 沖縄産麻輪陶器 4 | 333 |
| 図版73 | 釉輪陶器・手練土器 | 255 | 図版124 | 沖縄産麻輪陶器 5 | 335 |
| 図版74 | その他の輸入陶磁器 | 258 | 図版125 | 沖縄産麻輪陶器 6 | 337 |
| 図版75 | 瓦質土器 | 259 | 図版126 | 陶質土器 1 | 343 |
| 図版76 | 本土産陶器(近世) | 261 | 図版127 | 陶質土器 2 | 345 |
| 図版77 | 本土産磁器(近世) 1 | 264 | 図版128 | 染色体文 | 348 |
| 図版78 | 本土産磁器(近世) 2 | 265 | 図版129 | 本土産磁器(近代) 1 | 349 |
| 図版79 | タカラガイ製品 | 266 | 図版130 | 本土産磁器(近代) 2 | 350 |
| 図版80 | 骨製品 | 267 | 図版131 | 円盤状製品 | 353 |
| 図版81 | 漆口 | 267 | 図版132 | 鉄製品 | 356 |
| 図版82 | 銭貨 | 269 | 図版133 | 瓦・瓦二次製品 | 358 |
| 図版83 | 髷 | 270 | 図版134 | 石製容器 | 359 |
| 図版84 | 石製品 | 270 | 図版135 | 現代遺物 | 360 |
| 図版85 | 磁石 | 271 | 図版136 | ガラス製品・他 | 360 |
| 図版86 | 埋管 | 272 | 図版137 | 脊椎動物遺体 1(上面:魚類、ウミガメ類、リクガメ類、 クジラ、ヤギ、下面:ウマ、ウシ) | 385 |
| 図版87 | 調査区と田平安山 | 273 | 図版138 | 脊椎動物遺体 2(イノシシ) | 386 |
| 図版88 | 276SL(南より) | 276 | 図版139 | 脊椎動物遺体 3(上面:ブタ、下面:オオコウモリ科) | 387 |
| 図版89 | 257SD・276SL(南西より) | 276 | 図版140 | 貝類遺体 1(巻貝) | 399 |
| 図版90 | 379SL(西より) | 277 | 図版141 | 貝類遺体 2(巻貝) | 400 |
| 図版91 | 355SD(南より) | 277 | 図版142 | 貝類遺体 3(巻貝) | 401 |
| 図版92 | 380SL(南より) | 277 | 図版143 | 貝類遺体 4(上:除殻貝、下:二枚貝) | 402 |
| 図版93 | 200SX(北東より) | 278 | 図版144 | 貝類遺体 5(二枚貝) | 403 |
| 図版94 | 200SX・200SX(東より) | 278 | 図版145 | 貝類遺体 6(二枚貝) | 404 |
| 図版95 | 2002SX・2002SZ(南西より) | 280 | 図版146 | 炭化種実 | 412 |
| 図版96 | 2054SX・2073SZ・2002SZ(南西より) | 280 | 図版147 | 人骨出土部位 | 413 |
| 図版97 | 2002SZ・2003SZ・2073SZ・2054SX(北西より) | 280 | 図版148 | タイ産鉄結合子・木製漆器 | 420 |
| 図版98 | 1006SK輸出状況(西より) | 283 | 図版149 | ゴホウラ・イモガイ | 427 |
| 図版99 | 1006SK完備状況(西より) | 283 | | | |

挿図目次

| | | | | | |
|-------|------------------|----|------|------------------------------|----|
| 第 1 図 | 北谷町の位置 | 6 | 第16図 | IB②イ地区遺構配置 | 37 |
| 第 2 図 | 北谷町周辺の地形分類 | 7 | 第17図 | 1042SXの検出順序 | 38 |
| 第 3 図 | 北谷町周辺の表層地質分類 | 7 | 第18図 | 燃焼遺構(1028SX) | 39 |
| 第 4 図 | 北谷町の位置と遺跡分布 | 10 | 第19図 | 貝塚時代後期遺構配置と一括土器出土分布 | 41 |
| 第 5 図 | グリッド設定 | 13 | 第20図 | 土器平面・垂直分布(土器接合・遺物取り上げ) | 43 |
| 第 6 図 | 平安山原I遺跡の位置 | 13 | 第21図 | 軽石出土平面分布 | 45 |
| 第 7 図 | IV層の範囲 | 15 | 第22図 | 土器重量平面分布 | 46 |
| 第 8 図 | 東西ライン層模式 | 18 | 第23図 | 雑入土器出土平面分布 | 49 |
| 第 9 図 | 南北ライン層模式 | 18 | 第24図 | 土器口縁部(I類・II類・III類)出土平面分布 | 57 |
| 第10図 | 層序 1 | 19 | 第25図 | 土器口縁部(IV類・V類・VI類)出土平面分布 | 58 |
| 第11図 | IB②イ地区V層(部分)平面分布 | 19 | 第26図 | 土器胴部(I類・II類・III類)出土平面分布 | 60 |
| 第12図 | 層序 2 | 21 | 第27図 | 土器胴部(V類・VI類・VII類)と不明土器出土平面分布 | 61 |
| 第13図 | 層序 3 | 23 | 第28図 | 底部器種別出土量 | 68 |
| 第14図 | 層序 4 | 25 | 第29図 | 土器底部出土平面分布 | 71 |
| 第15図 | 層序 5 | 27 | 第30図 | 土器 1 | 76 |

| | | | | | |
|------|-----------------------------|-----|-------|-------------------------------|-----|
| 第31図 | 土器 2 | 78 | 第100図 | ビッド群①・単線ビッド (グスク時代・近世) | 211 |
| 第32図 | 土器 3 | 80 | 第101図 | ビッド群②-1・2 (グスク時代・近世) | 212 |
| 第33図 | 土器 4 | 82 | 第102図 | ビッド群③(グスク時代・近世) | 213 |
| 第34図 | 土器 5 | 84 | 第103図 | グスク土器 | 224 |
| 第35図 | 土器 6 | 86 | 第104図 | グスク土器と関連遺物の出土平面分布 | 226 |
| 第36図 | 土器 7 | 88 | 第105図 | カマイヤキ | 228 |
| 第37図 | 土器 8 | 90 | 第106図 | 白磁出土平面分布 | 233 |
| 第38図 | 土器 9 | 92 | 第107図 | 青磁出土平面分布 | 233 |
| 第39図 | 土器 10 | 94 | 第108図 | 白磁 | 234 |
| 第40図 | 土器 11 | 96 | 第109図 | 青磁 1 | 240 |
| 第41図 | 土器 12 | 98 | 第110図 | 青磁 2 | 242 |
| 第42図 | 土器 13 | 100 | 第111図 | 染付 1 | 248 |
| 第43図 | 土器 14 | 102 | 第112図 | 染付 2 | 250 |
| 第44図 | 土器 15 | 104 | 第113図 | 染付出土平面分布 | 253 |
| 第45図 | 土器 16 | 106 | 第114図 | 髷輪陶器出土平面分布 | 253 |
| 第46図 | 土器 17 | 108 | 第115図 | 髷輪陶器・平線土器 | 254 |
| 第47図 | 土器 18 | 110 | 第116図 | その他の輸入陶磁器 | 258 |
| 第48図 | 土器 19 | 112 | 第117図 | 瓦質土器 | 259 |
| 第49図 | 土器 20 | 114 | 第118図 | 本土産陶器 (近世) | 261 |
| 第50図 | 土器 21 | 116 | 第119図 | 本土産磁器 (近世) 1 | 264 |
| 第51図 | 土器 22 | 118 | 第120図 | 本土産磁器 (近世) 2 | 265 |
| 第52図 | 土器 23 | 120 | 第121図 | タカラガイ製品出土平面分布 | 266 |
| 第53図 | 土器 24 | 122 | 第122図 | タカラガイ製品 | 266 |
| 第54図 | 土器 25 | 124 | 第123図 | 骨製品 | 267 |
| 第55図 | 石斧 (完形) 長さ×幅と形態の相関 | 128 | 第124図 | 羽刃 | 267 |
| 第56図 | 主要石斧及び出土土量と南九州系発生遺物 | 129 | 第125図 | 鏡貨 | 268 |
| 第57図 | 敲打器類 (完形) 長さ×幅と形態の相関 | 130 | 第126図 | 髷 | 270 |
| 第58図 | 器種別出土平面分布 | 132 | 第127図 | 石製品 | 270 |
| 第59図 | 石器石質重量比 (%) | 137 | 第128図 | 砥石 | 271 |
| 第60図 | 器種別石質組成 | 138 | 第129図 | 煙管 | 272 |
| 第61図 | 石器 1 | 140 | 第130図 | 遺構全体 (近・現代) | 273 |
| 第62図 | 石器 2 | 142 | 第131図 | 257SD・276SL・3596K平面・断面 | 276 |
| 第63図 | 石器 3 | 144 | 第132図 | 379SL平面・断面 | 277 |
| 第64図 | 石器 4 | 146 | 第133図 | 380SL平面・断面 | 277 |
| 第65図 | 石器 5 | 148 | 第134図 | 204HX・3095SX平面・断面 | 278 |
| 第66図 | 石器 6 | 150 | 第135図 | 305SD・281SD・2002S2・3588K平面・断面 | 281 |
| 第67図 | 石器 7 | 152 | 第136図 | 10068K平面・断面 | 283 |
| 第68図 | 石器 8 | 154 | 第137図 | SK1・SK2平面・断面 | 284 |
| 第69図 | 石器 9 | 156 | 第138図 | 1018SX平面・断面 | 285 |
| 第70図 | 石器 10 | 158 | 第139図 | 井戸 (377E) 平面・断面 | 286 |
| 第71図 | ゴウホウラ・イモガイ貝輪と自然貝出土平面分布 | 165 | 第140図 | 窯跡 1・2 遺構平面・断面 | 288 |
| 第72図 | ホラガイ有孔製品出土平面分布 | 170 | 第141図 | ビッド群 1・2・3 | 291 |
| 第73図 | 二枚貝有孔製品出土平面分布 | 171 | 第142図 | 沖縄産施軸陶器遺跡 (キャンブ島江北側) 別比較 | 302 |
| 第74図 | 二枚貝有孔製品遺跡別比較 | 172 | 第143図 | 器種別染色使用割合比較 | 307 |
| 第75図 | スライガイ突起番号 | 174 | 第144図 | 沖縄産施軸陶器 1 | 308 |
| 第76図 | ヤコウガイの蓋附刀分布 | 174 | 第145図 | 沖縄産施軸陶器 2 | 310 |
| 第77図 | 貝製品 1 | 176 | 第146図 | 沖縄産施軸陶器 3 | 312 |
| 第78図 | 貝製品 2 | 178 | 第147図 | 沖縄産施軸陶器 4 | 314 |
| 第79図 | 貝製品 3 | 180 | 第148図 | 沖縄産施軸陶器 5 | 316 |
| 第80図 | 貝製品 4 | 182 | 第149図 | 沖縄産施軸陶器 6 | 318 |
| 第81図 | 貝製品 5 | 184 | 第150図 | 沖縄産施軸陶器出土平面分布 | 324 |
| 第82図 | 貝製品 6 | 186 | 第151図 | 沖縄産施軸陶器出土平面分布 | 324 |
| 第83図 | 貝製品 7 | 188 | 第152図 | 沖縄産施軸陶器 1 | 326 |
| 第84図 | 貝製品 8 | 190 | 第153図 | 沖縄産施軸陶器 2 | 328 |
| 第85図 | 貝製品 9 | 192 | 第154図 | 沖縄産施軸陶器 3 | 330 |
| 第86図 | ヤコウガイの部位の分類 | 194 | 第155図 | 沖縄産施軸陶器 4 | 332 |
| 第87図 | 骨製品 | 195 | 第156図 | 沖縄産施軸陶器 5 | 334 |
| 第88図 | 土製品 | 196 | 第157図 | 沖縄産施軸陶器 6 | 336 |
| 第89図 | 遺構全体 (グスク時代・近世) | 199 | 第158図 | 陶質土器 1 | 342 |
| 第90図 | 建物址 1 (233SH) | 201 | 第159図 | 陶質土器 2 | 344 |
| 第91図 | 建物址 2 (310SH) | 202 | 第160図 | 染色体文 | 348 |
| 第92図 | 溝状遺構 1 (271SD) | 204 | 第161図 | 本土産磁器 (近代) 1 | 349 |
| 第93図 | 溝状遺構 2 (275SL・352SD・2049SD) | 205 | 第162図 | 本土産磁器 (近代) 2 | 350 |
| 第94図 | 溝状遺構 3 (337SD) 平面・断面 | 206 | 第163図 | 円盤状製品 | 352 |
| 第95図 | 溝状遺構 5 (SD1) 平面・断面 | 206 | 第164図 | 鉄斧装束例 | 354 |
| 第96図 | 溝状遺構 4 (2073S2) 平面 | 207 | 第165図 | 鉄製品 | 355 |
| 第97図 | 石列 1 (378SL) 平面 | 209 | 第166図 | 瓦出土平面分布 | 357 |
| 第98図 | 石列 2 平面・断面 | 209 | 第167図 | 瓦・瓦二次製品 | 358 |
| 第99図 | ビッド群の種と深さ比較 | 210 | 第168図 | 現代遺物 | 360 |

| | | |
|-------|--|-----|
| 第169図 | 平安山原B遺跡群①・②・④地区から採集された脊椎動物遺体の組成(1):NI5P比 | 367 |
| 第170図 | 平安山原B遺跡群①・②・④地区から採集された脊椎動物遺体の組成(2):MN1比 | 367 |
| 第171図 | 平安山原B遺跡群①・②・④地区V層から採集された魚類遺体の組成 | 367 |
| 第172図 | 平安山原B遺跡群貝類遺体分析地区名 | 390 |
| 第173図 | 平安山原B遺跡における炭古種(左)と生態場所類型(右)の変遷 | 397 |
| 第174図 | 曆年較正結果 | 408 |
| 第175図 | 粘土の鉱物・岩石出現頻度と粒度組成 | 408 |

| | | |
|-------|-------------------|-----|
| 第176図 | 砕屑物・基質・孔隙の割合 | 408 |
| 第177図 | 出土部位 | 413 |
| 第178図 | 時代別出土遺物変遷 | 417 |
| 第179図 | 伊礼原遺跡とその周辺の地形分類 | 419 |
| 第180図 | 伊礼原遺跡の位置 | 420 |
| 第181図 | タイ産鉄結合子・木製漆器 | 420 |
| 第182図 | 伊礼原遺跡年代測定資料採取場所 | 422 |
| 第183図 | キャンブ島江北部地区の貝類産層構造 | 426 |
| 第184図 | ゴホウラ | 427 |

目次

| | | |
|------|----------------------|-----|
| 第1表 | 北谷町遺跡一覧 | 11 |
| 第2表 | 取上遺物一覧 | 29 |
| 第3表 | 土層観察一覧 | 33 |
| 第4表 | 土器分類 | 46 |
| 第5表 | 搬入土器(弥生・奄美系)出土量 | 47 |
| 第6表 | 土器観察一覧(搬入) | 50 |
| 第7表 | 在地土器(口縁部)出土量 | 52 |
| 第8表 | 在地土器(胴部)出土量 | 59 |
| 第9表 | 土器観察一覧(在地) | 62 |
| 第10表 | 土器(底部)出土量 | 68 |
| 第11表 | 土器観察一覧(底部) | 73 |
| 第12表 | 石器出土量 | 126 |
| 第13表 | 石皿使用面 | 131 |
| 第14表 | 石器観察一覧 | 134 |
| 第15表 | 貝製品出土量 | 160 |
| 第16表 | 一枚貝製品観察一覧 | 161 |
| 第17表 | イモガイ製品観察一覧 | 162 |
| 第18表 | 大形イモガイ計測一覧 | 163 |
| 第19表 | 大形イモガイ大さき(直径)別出土量 | 165 |
| 第20表 | ゴホウラ・アソツデガイ製品観察一覧 | 167 |
| 第21表 | ゴホウラ・アソツデガイ計測一覧 | 168 |
| 第22表 | ホシダカラ意匠製品観察一覧 | 169 |
| 第23表 | ホウガイ有孔製品観察一覧 | 170 |
| 第24表 | 二枚貝有孔製品・地区別出土量 | 171 |
| 第25表 | 二枚貝有孔製品・重さ別出土量 | 171 |
| 第26表 | 二枚貝有孔製品観察一覧 | 172 |
| 第27表 | スズシガイ製割器観察一覧 | 174 |
| 第28表 | 鎌倉製貝製品観察一覧 | 174 |
| 第29表 | ネコウガイ観察一覧 | 175 |
| 第30表 | 骨製品観察一覧 | 196 |
| 第31表 | 平安山原B遺跡遺物出土量 | 197 |
| 第32表 | ピット・土坑観察一覧 | 214 |
| 第33表 | 埋葬遺構別遺物出土量(グスク時代・近世) | 220 |
| 第34表 | グスク時代・近世遺物の時期別出土量 | 221 |
| 第35表 | グスク土器出土量 | 222 |
| 第36表 | グスク土器観察一覧 | 223 |
| 第37表 | カムイヤウ出土量 | 227 |
| 第38表 | カムイヤウ観察一覧 | 227 |
| 第39表 | 白磁観察一覧 | 232 |
| 第40表 | 白磁出土量 | 233 |
| 第41表 | 青磁観察一覧 | 238 |
| 第42表 | 青磁出土量 | 239 |
| 第43表 | 染付陶(口縁部)出土量 | 245 |
| 第44表 | 染付陶(底部・胴部)出土量 | 245 |
| 第45表 | 染付(皿・杯・瓶・不明)出土量 | 245 |
| 第46表 | 染付観察一覧 | 246 |
| 第47表 | 陶輪陶器・平埴土器出土量 | 253 |
| 第48表 | 陶輪陶器・平埴土器観察一覧 | 254 |
| 第49表 | その他の輸入陶磁器出土量 | 257 |
| 第50表 | その他の輸入陶磁器観察一覧 | 257 |
| 第51表 | 瓦質土器観察一覧 | 259 |
| 第52表 | 本土産陶器(近世)出土量 | 260 |
| 第53表 | 本土産陶器(近世)観察一覧 | 260 |
| 第54表 | 本土産磁器(近世)出土量 | 262 |
| 第55表 | 本土産磁器(近世)観察一覧 | 263 |
| 第56表 | タカラガイ製品観察一覧 | 266 |
| 第57表 | 粘土出土量 | 267 |
| 第58表 | 鉄貨観察一覧 | 269 |
| 第59表 | 貨幣観察一覧 | 270 |

| | | |
|-------|---|-----|
| 第60表 | 磁石観察一覧 | 271 |
| 第61表 | 燧管観察一覧 | 272 |
| 第62表 | 近・現代ビット群一覧 | 290 |
| 第63表 | ビット観察一覧 | 292 |
| 第64表 | II層遺構遺物出土量(グスク時代・近・現代) | 295 |
| 第65表 | 沖縄産無軸陶器遺跡別比較 | 302 |
| 第66表 | 沖縄産無軸陶器出土量 | 303 |
| 第67表 | 沖縄産無軸陶器(陶)出土量 | 303 |
| 第68表 | 沖縄産無軸陶器観察一覧 | 304 |
| 第69表 | 器種別軸色使用比較 | 307 |
| 第70表 | 挿鉢分類別出土量 | 321 |
| 第71表 | 鉢分類別出土量 | 322 |
| 第72表 | 沖縄産無軸陶器出土量 | 324 |
| 第73表 | 沖縄産無軸陶器観察一覧 | 325 |
| 第74表 | 器厚別出土量 | 329 |
| 第75表 | 陶質土器出土量 | 340 |
| 第76表 | 陶質土器観察一覧 | 341 |
| 第77表 | 本土産磁器(近代)技法別出土一覧 | 347 |
| 第78表 | 本土産磁器(近代)観察一覧 | 348 |
| 第79表 | 陶種別出土量 | 348 |
| 第80表 | 円盤状製品出土量 | 351 |
| 第81表 | 円盤状製品観察一覧 | 351 |
| 第82表 | 鉄製品観察一覧 | 355 |
| 第83表 | 瓦・レンガ出土量 | 357 |
| 第84表 | 現代遺物出土量 | 360 |
| 第85表 | ガラス瓶観察一覧 | 360 |
| 第86表 | 平安山原B遺跡群①・②・④地区から採集された脊椎動物遺体の種名一覧 | 368 |
| 第87表 | 平安山原B遺跡群①・②・④地区から採集された魚類遺体の同定結果 | 368 |
| 第88表 | 平安山原B遺跡群①・②・④地区から採集された爬虫類・鳥類遺体の同定結果 | 370 |
| 第89表 | 平安山原B遺跡群①・②・④地区から採集されたコウモリ類遺体の同定結果 | 370 |
| 第90表 | 平安山原B遺跡群①・②・④地区から採集されたイノシシ類(イノシシ/ブタ)遺体の同定結果 | 371 |
| 第91表 | 平安山原B遺跡群①・②・④地区から採集されたイノシシ類(イノシシ/ブタ)遺体の上肢骨・上肢遊離骨の詳細 | 377 |
| 第92表 | 平安山原B遺跡群①・②・④地区から採集されたイノシシ類遺体の下顎骨・下顎遊離骨の詳細 | 378 |
| 第93表 | 平安山原B遺跡群①・②・④地区から採集されたウシ・ウマ遺体の同定結果 | 382 |
| 第94表 | 平安山原B遺跡群①・②・④地区から採集されたその他の哺乳類の同定結果および同定不可資料 | 383 |
| 第95表 | 平安山原B遺跡群①・②・④地区から採集された脊椎動物遺体の組成 | 384 |
| 第96表 | 平安山原B遺跡群の貝類遺体分析地区名 | 388 |
| 第97表 | 平安山原B遺跡群における同定標本数(NISP)と最小個体数(MNI)の関係例 | 390 |
| 第98表 | 平安山原B遺跡群出土貝類遺体の分類学的位置と生態場所類型 | 391 |
| 第99表 | 平安山原B遺跡群出土貝類遺体の地区別同定標本数(NISP) | 393 |
| 第100表 | 試料一覧 | 405 |
| 第101表 | 放射性炭素年代測定結果 | 407 |
| 第102表 | 曆年較正結果 | 407 |
| 第103表 | 薄片観察結果 | 408 |
| 第104表 | 平安山原B遺跡群実同定結果(II)②・④地区104283 | 411 |
| 第105表 | タイ産鉄結合子・木製漆器観察一覧 | 420 |
| 第106表 | 貝類環境遺構出土一覧 | 426 |
| 第107表 | ゴホウラ・イモガイ観察一覧 | 427 |

第1章 調査経緯・経過

第1節 調査に至る経緯

平安山原B遺跡は、平成15年3月に返還された在沖米海軍基地（キャンプ桑江北側地区）内に位置し、基地返還に先立つ予備調査で発見された「周知の埋蔵文化財包蔵地」である。本報告書は、桑江伊平土地区画整理事業に係る記録保存目的の緊急発掘調査成果をまとめたものである。

キャンプ桑江北側地区には、上記予備調査の結果、9遺跡6遺物散布地（延べ13ヘクタール）が確認され、平安山原B遺跡が位置する宇伊平小字平安山原140番地一帯には、沖縄貝塚時代後期（以下、本章で「貝塚時代後期」）、グスク時代の遺物包含層と、戦前の遺構が確認された¹⁾。その後の範囲確認調査では、近世から戦前までの遺構・遺物が全面で確認されたが、グスク時代の明確な遺構は確認されなかった²⁾。以下に本遺跡の緊急発掘調査に至る経緯を記述する。

キャンプ桑江北側地区は返還後の跡地利用促進が重要な課題となっており、課題の整理と解決に向け、北谷町内の関係部署間で定期的に会議の場を設けた。埋蔵文化財については、事業調整の段階でほとんどの遺跡が開発行為の影響を受ける事が判明した。その理由として、事業地内のほぼ全域で盛土による造成工事が施工されるためであった。国道58号に東接するキャンプ桑江北側地区は、国道よりも地盤面が低く、大雨時に度々冠水を引き起こしていたことから、返還跡地一帯を盛土造成し上記現象を解消する必要があった。同地域は、本町でも数少ない平坦地であり、かつ、地理的に本町の中心部であることから、返還後は町の中核ゾーンとして、職住近接型の都市環境の創出及び地域活性化を図る計画がなされていた³⁾。返還跡地を有効かつ効率的に利用するためには、国道との段差を解消する盛土造成工事は避けられないものであり、その土厚は、地下の埋蔵文化財に悪影響を及ぼす可能性が十分に考えられる規模も認められた。ただし、盛土の高さが一律ではないことから、盛土の高さや恒久的工作物の範囲を割り出すことにより、緊急発掘調査の対象地及び対象外範囲の抽出作業を進めたが、同作業は困難を極めた。

また、連絡会議と並行して、沖縄県内の政府関係機関、沖縄県並びに北谷町で「キャンプ桑江北側地区跡地利用支援関係機関連絡会議（以下「連絡会議」という。）」が、平成11年9月14日から平成12年10月27日にかけて延べ10回開かれた。連絡会議では、返還跡地で確認された遺跡の取扱等について、調査費用・調査期間・文化財保護・地権者への負担等の総合的観点から、今後の方針を導き出すため検討が行われた。連絡会議では、遺跡の取扱いについて以下の2案が持ち上がった。

- 1、区画整理事業期間中に対象遺跡の全てを全面調査する。
- 2、区画整理事業期間中には事業に係る範囲（遺跡の一部）のみを調査し（第1段階）、その他の一般宅地等範囲については、事業完了後に土地所有者が建築行為を計画した時点において、原因者負担や文化庁補助を受けて発掘調査を実施する。

1案のメリット（2案のデメリット）として、

- ①従前地から埋蔵文化財包蔵地へ換地されないため、この点において地権者へ不利益が生じない。
- ②第1段階で全ての発掘調査を行うため、2案に比べ調査期間の短縮が考えられる。

が想定され、デメリット（2案のメリット）としては、

- ①発掘調査を実施した箇所その後開発行為が行われない場合、不必要な調査となってしまう。
- ②遺跡の一部のみの調査に比べ調査費用が増大し（減少率の上昇）、地権者への負担が大きくなる。

③事業完了後に宅地建設の殺到が予想されることから、第2段階の発掘調査の対応が困難となり、地権者に不利益を与える。

が挙げられた。幾多の会議を重ねた結果、最終的には地権者への負担軽減を考慮し、1案を採用する事となった。同時に、現地保存すべき遺跡に伊礼原C遺跡(当時の名称)が挙げられ、今後は保存範囲を確定させるべく範囲確認調査を継続して取り組む事となった²⁴。

平成15年3月15日には「桑江伊平土地区画整理事業(施行者 北谷町)」が事業認可され、伊礼原遺跡を除く他の遺跡は、現状保存が図れないことから次善の策として記録保存調査を行うこととなった。平成16年10月27日、北谷町教育委員会は、桑江伊平土地区画整理事業施行区域における埋蔵文化財の取扱について北谷町と協定を締結した。町教育委員会においては、他事業との関係による専門員の事務負担量が著しく増大していたため、発掘調査に係る諸作業の軽減を図る目的で、現地調査の測量、発掘作業員の手配及び安全管理を民間業者に業務委託する事とした。

発掘調査は、遺跡面積や調査員の体制、その他の事業を鑑みて4回に分けて行った。調査初年度は平成20年9月1日に着手し、平成21年2月20日に業務完了。調査面積は2,460㎡。2期目は平成21年8月28日に着手し、同年12月18日に業務完了。調査面積は730㎡。3期目は平成21年10月14日に着手し、翌年2月19日に業務完了。調査面積は2,720㎡。4期目は平成23年9月2日に着手し、同年12月16日に業務完了。調査面積は1,200㎡。総調査面積は7,110㎡で、本報告書では、1, 2, 4期分(4,390㎡)の調査報告を行う。3期目の調査内容は、本遺跡に隣接する平安山原C遺跡の本報告に合わせて報告する。

＜註文献＞

- 註1 北谷町教育委員会 2005『キャンプ桑江北側返還に伴う試掘調査』北谷町文化財調査報告書 第23集
 註2 北谷町教育委員会 2008『平安山原B遺跡』北谷町文化財調査報告書 第29集
 註3 返還に先立つ平成10年3月には、共同使用という形態で北谷町役場新庁舎がキャンプ桑江北側地区内に建設されている。
 註4 同遺跡はその後『伊礼原遺跡』と名称が改められ、平成22年2月22日に約17,000㎡が国史跡に指定されるに至った。

第2節 調査体制

調査体制は以下のとおりである。

| | | |
|------|--------|----------------------|
| 事業主体 | 教育長 | 比嘉 秀夫(平成20・21・23年度) |
| | 同 | 川上 啓一(平成25・26年度) |
| 事業総括 | 教育次長 | 謝花 良継(平成20・21年度) |
| | 同 | 大城 操(平成23年度) |
| | 同 | 比嘉 良典(平成25・26年度) |
| | 社会教育課長 | 大城 操(平成20・21年度) |
| | 同 | 知念 喜忠(平成23年度) |
| 調査総括 | 同 | 比嘉 敬文(平成25・26年度) |
| | 文化係長 | 嘉陽田 朝榮(平成20・21・23年度) |
| | 同 | 米 須 健(平成25・26年度) |

| | | | |
|------|-------|----|------------------------|
| 調査担当 | 主任 主事 | 山城 | 安生（平成20・21・23・25・26年度） |
| | 同 | 東門 | 研治（平成20・21・23・25・26年度） |
| | 同 | 松原 | 哲志（平成23・25・26年度） |
| | 同 | 島袋 | 春美（平成25・26年度） |
| | 主 事 | 松原 | 哲志（平成20・21年度） |

資料整理作業員

(平成25年度)

嘱託 上地千賀子・上間真寿美・大城 光・呉屋広江・佐久間クリエ・曾木菊枝・知念栄子
照屋元子・富平砂綾子・豊里初江・西原美草・東順子・北條真子・山城小百合
臨時 稲嶺律子・大城明香・金城綾乃・城間志津香・田中英子・徳本加代子・仲栄真麻美
宮里美也子

(平成26年度)

嘱託 上地千賀子・上間真寿美・大城 光・金城綾乃・呉屋広江・佐久間クリエ・曾木菊枝
知念栄子・照屋元子・豊里初江・西原美草・東順子・比嘉優子・山城小百合
臨時 泉恵子・伊波弘子・大城明香・折坂一美・玉那覇寛子・徳本加代子・仲宗根円華
又吉朋子・饒辺和歌子・湧稲國里絵

発掘調査及び自然科学分析に係る業務委託

(平成20年度)

平安山原B遺跡埋蔵文化財発掘調査委託業務委託 国際航業株式会社沖縄営業所

(平成21年度)

平安山原B遺跡埋蔵文化財発掘調査委託業務委託（その2） 国際航業株式会社沖縄営業所

(平成23年度)

平安山原B遺跡埋蔵文化財発掘調査委託業務委託（その4） 株式会社島田組沖縄支店

(平成25年度)

平安山原B遺跡出土遺物の年代測定業務委託 パリノ・サーヴェイ株式会社

(平成26年度)

平安山原B遺跡出土遺物の年代測定業務委託 パリノ・サーヴェイ株式会社

平安山原B遺跡出土遺物の年代測定業務委託2 パリノ・サーヴェイ株式会社

調査指導及び助言（敬称略、所属五十音順）

| | |
|------------------|--------|
| おきなわ石の会 | 大城 逸朗 |
| 鹿児島大学埋蔵文化財調査センター | 新里 貴之 |
| 史跡鴻池新田会所管理事務所 | 松田 順一郎 |
| 千葉県立中央博物館 | 黒住 耐二 |
| 北谷町文化財調査審議委員 | 知念 勇 |
| 琉球大学医学部 | 土肥 直美 |
| 早稲田大学教育学部 | 樋泉 岳二 |

第3節 調査経過

発掘作業

HB①地区（平成20年度：9月1日～2月20日）

平成20年度は9月3日から草刈り作業を開始し調査区設定に取りかかった。9日からは磁気探査及び重機による表土（米軍基地造成土）掘削を行ったが、大量の鉄屑やコンクリートガラが反応・確認された。現状を沖縄防衛局及び本町区画整理課、企画課に報告し現地確認を依頼した。その後関係者で調整した結果、沖縄防衛局が原状回復をする方向となったため当該地における発掘調査は中止し、本遺跡の別ブロックを調査することとなった。19日からは変更箇所での草刈り作業を行い、26日から磁気探査及び表土掘削を開始。磁気探査中には度々不発弾が確認され、適宜沖縄警察署及び陸上自衛隊と調整を図りその回収を依頼した。10月7日からは、重機掘削と並行して戦前～近世包含層の人力掘削を開始。調査区東側では地表直下に上部が平坦な石灰岩盤が広がっていた。これは、戦後米軍により旧地形が削平されたものと思われた。また、付近からは、平成9年度の範囲確認調査時に確認された遺構（サーターヤ）を覆ったブルーシートが検出された。調査区西側では、道の境と考えられる石列や性格不明の石敷き遺構を検出。12月12日には近世完掘状況の俯瞰写真を撮影し、次層の掘削に着手した。グスク期の層は主に調査区西側に堆積し、遺構及び遺物の出土は僅かであった。同層は粘質土で構成され、砂層のマウンド間に堆積していたことから、後背湿地または流路等に当たると推察した。調査区東側では明確なグスク時代の包含層は見られず、先の石灰岩段丘下に貝塚時代後期層が堆積していた。出土物にはくびれ平底土器や乳房状尖底土器、石器、貝製品が認められ、特に土器は同一個体がまとまって出土する傾向が見られた。1月30日には完掘状況の俯瞰写真を撮影。その後、土層観察用ベルトの掘削を行った。2月10日から下層確認調査を実施したが遺構・遺物が確認されなかったため、同月20日をもって20年度の調査は終了した。

HB②地区（平成21年度：8月28日～12月18日）

平成20年度の調査で遺跡の広がりや丘陵側にも伸びていた結果を受け、21年度は丘陵麓にも調査区を設定し調査にあたった。8月28日から草刈り作業を開始し、翌日から磁気探査及び表土掘削を行った。イ地区では米軍造成土が厚く堆積し、ロ地区では比較的浅いレベルから近世・近代の遺物や溝状遺構が検出された。同遺構は平安山ノロ屋敷との関連性が想定されたため、機械掘削から人力掘削に切り替え、写真撮影、記録作業を行った。イ地区の戦前～近世包含層からは貝塚時代後期の遺物が目立って出土した。その理由として、集落形成時に直下の貝塚時代後期層まで掘り込んだ結果と考えられる。9月25日にはイ地区近世面を完掘し、次層の掘削に取り掛かった。褐色シルト層を掘り進めると黒色混貝層が検出され、乳房状尖底土器や磨製石斧、貝輪等の出土が目立った。ロ地区では10月8日に近世面を完掘し、グスク層の掘削に移行した。同層からは、青磁、白磁、カムィヤキが少量出土した。ロ地区ではグスク期の遺構が確認されなかったため、11月2日から下層調査を開始。11月4日には当地区の調査を終了し、9日にイ地区と併せて完掘状況の写真撮影を行った。11日からはイ地区の下層調査を実施し、人工遺物や遺構の可能性のある黒色砂のまとまりを検出した。この時点で既定の委託内容に達したが、変更契約にて調査を継続することとした。追加調査の結果、部分的に行った下層調査では判然としなかった黒色砂が広範囲に広がっていることが確認され、特に丘陵麓の黒色砂下部からは被熱した縄や獣骨が出土するなど、炉跡と考えられる遺構が検出された。黒色砂の広がりは壁面の奥に伸びていたため、壁面を掘り進めてその範囲を確認

することとした。その結果、明瞭な燃烧部を持つ遺構が確認された。同遺構は数基が折り重なった状態で検出され、明らかな時期差が認められた。建物の存在が想定されたが、柱穴は認められなかった。12月18日には遺構の調査を終え、21年度の調査は終了した。

HB④地区（平成23年度：9月2日～12月16日）

平成23年度は9月20日から調査区の設定と磁気探査に取りかかった。27日から重機掘削を実施したところ、イ地区東側でサーターヤーを覆ったブルーシートの一部が検出された。10月3日から作業員を投入し上記遺構の精査を行ったが、石積みの一部が欠落しているなど過去調査時の現況を保っていないことが確認された。18日には検出状況の写真測量を実施。イ地区南側では近世～近代の遺物包含層から人力掘削を開始し、不定形な土坑（SK001,002）を確認したが、人為性の低いものと判断した。散発的に遺物が出土する包含層を掘り進めると石列とピット数基が検出されたが、石列は調査範囲内で途切れ、ピットのプランも組めず性格は判然としなかった。11月8日からはロ地区の表土掘削を開始。イ地区の近世～近代層では遺構・遺物が極少だったことから、ロ地区では重機を用いてグスク層上面まで慎重に掘り進めることとした。イ地区のグスク層の堆積状況を確認するため数ヶ所サブトレンチを設けたところ、次層にあたる貝塚時代後期層に至るまで50～90cmの厚みが認められた。グスク層からは遺物がほとんど出土せず、人力掘削を行うには土量が多すぎることから、同層を間層と位置づけ重機掘削を行った。16日からはサーターヤーの掘削に着手、21日には完掘状況の写真撮影を行った。イ・ロ両地区で貝塚時代後期層上面を検出すると、砂層が西に傾斜しつつロ地区でマウンドを呈し、マウンド周囲には砂質粘土層が見られた。同層は、全体的に淡水産の巻貝を含む灰色粘質土が複数枚水平堆積しており、周辺でも確認されている後背湿地または流路等の一部と判断した。同湿地と砂層の境からは、くびれ平底や尖底土器、貝がまとまって出土したが、掘り進めると平底土器は見られなくなった。本湿地は貝塚時代後期以降に形成されたものと考えられる。12月14日には調査区完掘状況の空撮を実施し、16日から下層確認のための重機掘削を行ったところ、砂利層からはほぼ完形の尖底土器が出土した。下層調査の範囲を広げつつ土砂の篩掛けを行ったがその他遺物は確認できず、また、湧水により壁面が崩落するなど危険な状態であったことから、17日に下層調査を終了した。これにより23年度の調査及び平安山原B遺跡の全ての現地調査は終了した。

整理作業

平成25・26年度

本発掘調査から出土した総遺物量は、標準的な遺物コンテナ（60cm×40cm×10cm）で236箱であった。整理作業は現場作業の雨天時を利用して遺物の洗浄・乾燥及び脆弱遺物の強化を行い、本格的な作業は現地調査終了後の平成25年度から開始した。乾燥後の出土遺物はナンバリングや接合作業等を行い主な資料を実測した。実測後は全てスキャンし、デジタルトレースを行った。現場作業時にトータルステーションや写真測量で作図した遺構図等は、CADデータからイラストレーターデータに変換後デジタルトレースを行った。報告書掲載写真はデジタルカメラ（1200万画素）で撮影したものを、35mmフィルムカメラの資料はアルバムにて整理・保管した。現場作業中に採取した炭化物やサンプル試料及び土器や石器、人骨等の同定については、専門機関へ業務委託・調査依頼を行った。

第二章 位置と環境

第1節 地理的環境

(1) 北谷町の位置と概要

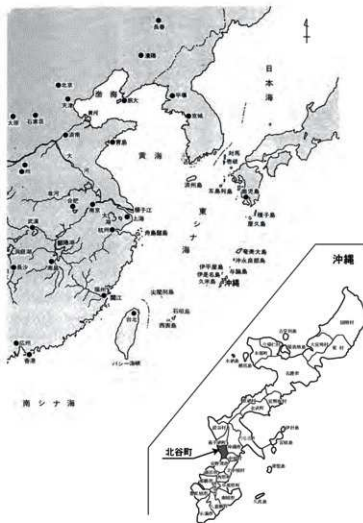
北谷町は沖縄島中部の西海岸、県都那覇市から北東約16kmに位置している。北に嘉手納町、東に沖縄市と北中城村、南に宜野湾市と接し、西は全域が東シナ海に面し彼方に慶良間諸島が眺望される。町の総面積は13.78㎢で、南北約6km、東西約4.3kmの長方形をなし、ほぼ中心(北緯26度18分58秒、東経127度45分55秒)に町役場は位置する。

2014(平成26)年12月末現在の人口は約28,862人で、現在進められている桑江伊平土地区画整理事業開始前(平成15年12月末)の26,358人 に比べ2,504人、率にして1.09%増となっている。今後も公有水面埋立地の利用や返還軍用地の跡地利用に伴って、一層の人口増加が見込まれている。

本町は、米軍基地の多い沖縄県内においても基地占有率が3番目に高い自治体で(町総面積における軍用地の比率は53.5%)、基地の殆どは利便性に富む国道58号沿いの平地に集中している。そのため土地利用上大きな制約があり、丘陵台地からなる東部地域と海岸低地や埋立地の広がる西海岸地域の狭小な町土で、まちづくりや生活環境整備が行われている。

産業は、西海岸地域を中心に第三次産業の割合が大きく今後の伸びも予測されている一方、第一次、第二次産業は減少傾向にある。現在は、都市との共生・交流を目指したフィッシャリーナ整備事業や自然海製塩事業など、地域特色を生かした新しい地場産業の創出に取り組んでいる。

交通網は、那覇市から本島北部へ延びる主要幹線道路の国道58号が西海岸側を縦断し、町城北側より県道23号線、24号線、130号線がそれぞれ国道58号以东へ延び、概して交通の便に恵まれている。近年では、国道58号渋滞緩和のための道路拡幅や県道24号線のバイパス整備が進められている。



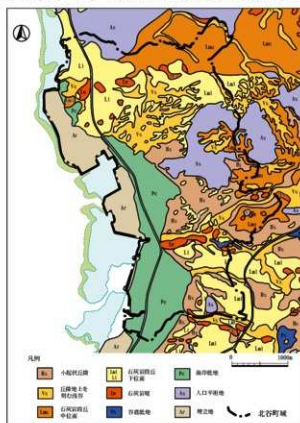
第1図 北谷町の位置

(2) 自然的環境

本町の気候は亜熱帯海洋性に属し四季を通して温暖である。年平均気温は22度程度、年平均湿度は77%前後で、冬の期間が極めて短い。年降水量は2,000から3,000ミリメートルと多雨で、特に5月中旬から6月下旬の梅雨期と8～10月の台風期に集中する。

本町の地形を概観すると、町の北西-南東方向に走る桑江断層を大きな境とし、東高西低の様相を呈している。東・南部では標高100m以上、100～50m、50～30mの段丘地形が見られ、侵食が進んだ台地は起伏に富んだ地形を成し、北部では、洞穴やドリネ、石灰岩堤、石灰岩丘等のカルスト地形が発達している。西部には低地及び海浜が見られ、海岸低地のほとんどは埋立地や人工ビーチとなりおり僅かに自然海浜が残る。主な河川には、白比川、普天間川しらひがわ ふてんまがわの二級河川があり、東シナ海へ向け西流している。

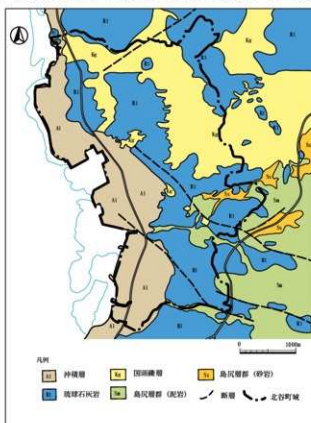
表層地質は、基盤の第三期中新世末から鮮新世の島尻層群を第四期更新世の琉球層群が不整合に覆い、低地では琉球層群を沖積層が不整合に覆っている。琉球層群は非石灰質の国頭礫層と石灰質の琉球石灰岩層くじらからなり、前者は沖繩本島北部、後者は中・南部に分布する。本町は国頭礫層の南限となり、基盤の影響を受けて酸性化した土壌（国頭マージ）が確認される。水理地質は、基盤のシルト質粘土層が不透水層となり、これを不整合で覆う琉球石灰岩層中の砂質石灰岩が本町一帯に分布している。石灰岩層は多孔質で透水性がよく、帯水層となり不整合部の各所で湧出している。



第2図 北谷町周辺の地形分類

上図は『土地分類基本調査 沖縄本島北部
5万分の1』を一部抜粋し、変更・トレース

植生は、沖縄島北部に生育するイタジイ・イジュ・ヤマモモ等と、中南部に生息するアカギ・オオバギ・ヤブニッケイ等が混生し、学術的にも貴重な地域となっている。森林は、嘉手納基地内やその



第3図 北谷町周辺の表層地質分類

上図は『土地分類基本調査 沖縄本島中南部地域
5万分の1』を一部抜粋し、変更・トレース

周辺、庁舎北側の丘陵地、北谷城周辺、河川流域に比較的良好に残るも、その割合は町土の7%と決して高くない(2006年4月現在)。動物相は、良好な植生が残っている場所を中心に、鳥類4目9科14種、爬虫類1目4科6種、両生類1目3科3種、大型土壌動物14目1,411種の個体が確認されている。また、2000(平成12)年に行われた動物調査では、希少性の高い哺乳類のオリオオコウモリ、鳥類のミフウズラ、昆虫類のクロイワゼミ等を含む陸棲動物や、海城、汽水域、河川域で多様な水棲動物が確認されている(北谷町教育委員会, 2005)。

第2節 歴史的環境

本町では、平成27年1月現在で54遺跡が確認されている。以下に各時代の歴史的環境を概観する。

(1) 先史時代

先史時代に属する遺跡は主に西海岸に集中している。町内最古の遺跡(旧石器時代)である鹿化石出土地と桃原洞穴遺跡は町東側の台地上に位置している。桃原洞穴遺跡からは化石人骨(約16,000年前)が発見されたとされているが、近年の研究では中世または近世初めの可能性が指摘されている。

貝塚時代前I～V期(縄文時代相当期)の主な遺跡には伊礼原遺跡、伊礼原E遺跡、砂辺貝塚、クマヤー洞穴遺跡が挙げられる。伊礼原遺跡は本町のほぼ中心に位置し、ウーチヌカーと呼ばれる湧水を源とする低湿地区と砂丘区からなる縄文時代前期から戦前に至るまでの複合遺跡である。低湿地区では古環境の復元が可能な程の植物遺体や、県内最古となる箆を伴う貯蔵穴が発見された。砂丘区では高波によって砂丘と居住地が侵食され、その後砂丘の回復と共に居住域が拡大していく様子が確認された。出土遺物は、約7,000～6,000年前の爪形文土器から戦前までの長期に亘り、なかには九州の曾畑式土器や糸魚川産のヒスイ等、海を渡ってもたらされた遺物も確認された。この様に重要な発見が相次いだことから、本遺跡は2010(平成22)年に国史跡に指定されている。伊礼原E遺跡は伊礼原遺跡の南に位置し、縄文時代後期頃に遺跡の西側が津波により侵食され、伊礼原遺跡同様、自然災害に見舞われていたことが判明した。砂辺貝塚とクマヤー洞穴遺跡は本町の北西に位置し、前者からは前IV期の方形状住居が、後者からは前V期の改葬人骨が検出されている。

貝塚時代後期(弥生～平安並行期)の代表遺跡には小堀原遺跡と後兼久原遺跡が挙げられる。前者は町役場の北西100mに位置し、県内最古の年代値(10～12世紀)を示す大麦・稲・アワが発見された。後者は町役場建設の際に緊急発掘調査が行われ、12世紀初頭の住居と高倉がセットで検出されたほか、同時期の畠址や埋葬人骨が発見された。両遺跡は、狩猟採集社会(貝塚時代)から農耕社会(グスク時代)への移行期に当たり、グスク時代の成り立ちを考える上で重要な遺跡である。

(2) グスク時代・古琉球

本町におけるグスク時代の代表的な遺跡には北谷城が挙げられる。町役場から南へ約1.3kmの石灰岩丘陵上に立地する北谷城は本町で唯一残存するグスクで、発掘調査成果から12世紀に始まり、14世紀後半から15世紀中頃に石垣が構築され、15世紀後半に終焉を迎えたと考えられている。北谷城についての明確な記録はなく、金満按司や大川按司、谷茶按司の3系統の興亡があったと伝えられているが伝承の域を出ない。その他の言い伝えとしては、1609年の薩摩侵攻時に薩摩豊佐敷(とよさけ)が北谷城に守備隊として配されたが、首里陥落の報を聞き自刃したという話が残っている。

「北谷」とは、いつからそう呼ばれるようになったか定かではないが、嘉靖年間(1522～1566年)の畝姓大家家譜中に「北谷間切平安山頭職」の文字が見られることから、古琉球には北谷という地名が存在していたようである。また、1577年に琉球国王が地方役人に給した辞令書に「きたたんま

きり」と見られることから、当時は北谷を「きたたん」と読んでいたようである。その後「きたたん」は「きちゃたん」から「ちっちゃたん」へと少しずつ言語上変化し、現在の「ちゃたん」となっている。

(3) 近世

1649年に作成された『絵図郷村帳』をみると、近世の北谷間切には、北谷、くわい（現在の桑江）、平安山、すなへ（砂辺）、野国、屋郎（屋良）、賀手納（嘉手納）、山内、あきな（安仁屋）の9つの村があったことが分かる。1660～1670年代には、間切の分割・新設に伴って山内が越來間切に、あきなが宜野湾間切に割かれ、新たに玉代勢、伝道、伊礼、浜川、野里が誕生し、計12村となって近代まで引き継がれた。1700年代前半になると首里の士族層が地方へ下り、屋取として生活し始める。北谷は屋取が多い地域で、上勢頭古墓群や大作原古墓群は屋取集落の人々によって作られたものである。近世末期の1840年には、北谷沖にイギリス商船のインディアン・オーク号が座礁する事件が起こる。北谷間切の人々は同船の乗組員全員を救助・保護したほか、ジャンク船を建造・提供するなど、当時異国船打払令が発令されていた日本において異例の対応を取った。この事件後、英国では琉球人のことを「善きサマリヤ人」と称すようになった。余談ではあるが、インディアン・オーク号事件のやりとりは、ドラマ「テンベスト」にも取り上げられている。また、この事件をきっかけに2000年の沖繩サミットでは英国のブレア首相（当時）が北谷町を訪問し、その後、北谷・英国間での語学留学が開催されるに至った。インディアン・オーク号座礁地では、当時の積み荷の一部が今も海底に残され、海底遺跡として位置付けられている。

(4) 近代・現代

1908（明治41）年に施行された島嶼町村制以後、北谷間切は北谷村^{きたたん}となった。戦前は水田の広がる農村として栄えていたが先の大戦で焦土と化し、沖繩戦や戦後の米軍基地建設により地形は大きく改変された。米軍上陸直前に守備隊が建設した特攻艇秘匿壕は、北谷城が立地する丘陵北側に現在も残されている。戦後は村全域が米軍の軍事占領下に置かれ、中でも嘉手納基地の存在は村を南北に二分し行政執行に支障をきたす要因となった。これらを受け、1948（昭和23）年には北谷村と嘉手納村に分村し、1980（昭和55）年には北谷村から北谷町へと町制移行している。

<引用・参考文献>

- 北谷村役場 1961 『北谷村史』
 地域創造研究所 1973 『コザ市総合開発計画調査報告書』
 北谷町役場 1986 『北谷町史 第2巻 資料編1 前近代・近代文献資料』
 北谷町教育委員会 1994 『北谷町の遺跡—詳細分布調査報告書一』
 北谷町役場 1994 『北谷町史 第3巻 資料編2 民俗下』
 沖繩県立博物館 2002 『沖繩県立博物館復帰30周年記念特別展 港川人展～元祖ウチナーンチュ～』
 北谷町教育委員会 2005 『北谷町史 第1巻 通史編』
 北谷町教育委員会 2005 『キャンプ桑江北側返還に伴う試掘調査』 北谷町文化財調査報告書 第23集
 北谷町教育委員会 2006 『北谷町の地名—戦前の北谷の姿—』 北谷町文化財調査報告書 第24集
 北谷町教育委員会 2007 『伊礼原遺跡』 北谷町文化財調査報告書 第26集
 北谷町総務部企画財政課 2009 『沖繩県北谷町・町勢要覧』
 北谷町教育委員会 2010 『伊礼原E遺跡』 北谷町文化財調査報告書 第31集
 北谷町 2010 『北谷町録の基本計画基礎調査（報告書）』



第4図 北谷町の位置と遺跡分布

第1表 北谷町遺跡一覧

2015年現在

| No. | 遺跡名 | 時期 | 所在地 |
|-----|-----------------------------|---------------|----------------------------|
| 1 | 砂辺(すなべ) サーク原貝塚 | 貝塚後期 | 字砂辺差久原 |
| 2 | 砂辺サーク原遺跡 | 貝塚前IV期～近世 | 字砂辺加志原 |
| 3 | 砂辺貝塚 | 貝塚前IV期～グスク | 字砂辺村内原 |
| 4 | 砂辺ウガン遺跡 | 貝塚後期 | 字砂辺加志原 |
| 5 | カーシーノポントン遺物散布地 | 貝塚前V期 | 字砂辺加志原 |
| 6 | クマヤー洞穴遺跡 | 貝塚前II期～戦前 | 字砂辺村内原 |
| 7 | 浜川千原岩山(はまがわせんばるいわやま) 遺物散布地 | 貝塚前V期 | 字浜川浜川千原 |
| 8 | 浜川ウガン遺跡 | 貝塚後期 | 字浜川浜川 |
| 9 | 上・下勢原区古葛群(かみ・しもせどくこぼぐん) | 近世 | 字上勢原平安山伊森原・伊礼伊森原・下勢原平安山下勢原 |
| 10 | 伊礼原(いれいばる) 遺跡 | 貝塚前I期～戦前 | 字伊平伊礼原 |
| 11 | 伊礼原B遺跡 | 貝塚前I～V期・近世・戦前 | 字伊平伊礼原 |
| 12 | 桑江ノ殿(くわえのとうん) 遺物散布地 | グスク～近世 | 字桑江小堀原 |
| 13 | 鹿化石出土地 | 旧石器 | 字吉原東川原・桃原 |
| 14 | 前原古島(めいばるふるじま) A遺跡 | 近世 | 字桑江桑江原・前原 |
| 15 | 前原古島B遺跡 | 近世 | 字桑江前原 |
| 16 | 伊地差久原(いじさくばる) 古葛 | 近世 | 字桑江伊地差久原 |
| 17 | 前原古葛群 | 近世 | 字桑江前原 |
| 18 | 桃原(とうばる) 洞穴遺跡 | 旧石器 | 字吉原東新川原 |
| 19 | インディアン・オーク号の崖墓地 | 近世 | 字北谷地先 |
| 20 | 池(いち) グスク | グスク | 字吉原東宇地原・西宇地原 |
| 21 | 白比川(しらひがわ) 河口遺物散布地 | 貝塚前II期 | 字北谷西表原 |
| 22 | 北谷城(ちやたんぐすく) 遺跡群 | 貝塚後期末～グスク | 字大村城原 |
| 23 | 北谷城 | 貝塚後期末～近世 | 字大村城原 |
| 24 | 北谷城第7遺跡 | 貝塚後期～グスク | 字大村城原 |
| 25 | 北谷番所址 | 近世 | 字北谷北谷原 |
| 26 | 吉原東角双原(よしはらあがりちぬまたばる) 遺物散布地 | グスク | 字吉原東角双原・西角双原 |
| 27 | 山川原(やまがーばる) 古葛群 | 近世 | 字大村山川原 |
| 28 | 玉代勢原(たまよせばる) 遺跡 | 貝塚後期末～グスク | 字大村玉代勢原 |
| 29 | 長老山(ちやうろうやま) 遺物散布地 | グスク～近世 | 字大村玉代勢原 |
| 30 | 大道原(うみどうばる) A遺跡 | グスク | 字北谷大道原 |
| 31 | 大道原B遺跡 | 貝塚前V期 | 字北谷大道原 |
| 32 | 後兼久原(くしかにくばる) 遺跡 | グスク | 字桑江後兼久原・字桑江小堀原 |
| 33 | ジョーミーチャー古葛 | グスク | 字桑江小堀原 |
| 34 | 伊礼伊森原(いれいーいむいばる) 遺跡 | グスク | 字上勢原伊礼伊森原 |
| 35 | 後原(くしばる) 遺跡 | グスク～近世 | 字大村玉代勢原 |
| 36 | 塩川原(しやーがーばる) 遺跡 | グスク | 字北谷塩川原 |
| 37 | 稲干原(いぬふしばる) 遺跡 | 貝塚後期 | 字北前稲干原 |
| 38 | 横瀬原(よこたけばる) 遺跡 | グスク | 字北前横瀬原 |
| 39 | 伊礼原D遺跡 | 貝塚後期～近世 | 字伊平伊礼原 |
| 40 | 伊礼原E遺跡 | 貝塚前II期～近世 | 字伊平伊礼原 |
| 41 | 平安山原(はんざんばる) A遺跡 | グスク～近世 | 字伊平平安山原 |
| 42 | 平安山原B遺跡 | 貝塚後期～近世・戦前 | 字伊平平安山原 |
| 43 | 平安山原C遺跡 | 貝塚後期～近世 | 字伊平平安山原 |
| 44 | 小堀原(くむいばる) 遺跡 | 貝塚後期～近世 | 字桑江小堀原 |
| 45 | 千原(せんばる) 遺跡 | グスク | 字伊平千原 |
| 46 | 大作原(うみさくばる) 古葛群 | 貝塚後期・近世 | 字伊平大作原 |
| 47 | 東表原(あがりうむいばる) 遺跡 | 貝塚前V期 | 字北谷東表原 |
| 48 | 新城下原(あらぐすくしやばる) 第2遺跡 | 貝塚前I期～近世 | 字北谷安仁屋原 |
| 49 | 東宇地原(あがりうじばる) 古葛群 | 近世 | 字伝道原東宇地原 |
| 50 | 大道原C遺跡 | 近世 | 字北谷大道原 |
| 51 | 大道原D遺跡 | グスク | 字北谷大当原 |
| 52 | 高野原(たかぶしばる) 水田跡 | 近世～戦前 | 字北谷高野原 |
| 53 | 安仁屋原(あにやばる) 遺跡 | グスク～近世 | 字北前安仁屋原 |
| 54 | 伊礼原A遺跡 | 貝塚前III期～貝塚後期 | 字伊平伊礼原 |

註：時代表記は概ね「グスク」→「10～17世紀前半」、「近世」→「17世紀後半～明治以前」、「戦前」→「1945年以前」 ※番号は第1図と一致

(参考文献)

- 中村恵・田嶋勝也・他 1994『北谷町の遺跡—詳細分布調査報告書—』北谷町文化財調査報告書 第1集
 中村恵・東門研治・島袋幸美 2005『キャンプ桑江北側区道に伴う試験調査—伊礼原B遺跡ほか発掘調査事業—』北谷町文化財調査報告書 第23集
 中村恵・東門研治・松原智志・島袋幸美・他 2008『伊礼原B遺跡・伊礼原E遺跡』北谷町文化財調査報告書 第27集

第三章 調査の方法と成果

第1節 調査の方法

調査区及びグリッド設定

調査地は、確認調査の結果を踏まえ平安山原 140 番地一帯の標高 4.0～5.0mの平坦地に定めた。グリッド設定は、平成 18 年度に発掘調査を行った伊礼原 D 遺跡の設定方法を用いた。具体的には、1 辺 100mの大グリッドで区画整理事業地を覆い、大グリッドの中には 1 辺 5mの小グリッドを設けるものである。事業地の形状に合わせて任意に設定したグリッドであるため、グリッドラインと東西南北の軸は重ならない。グリッド名称は、大小ともグリッドの北東隅を基準に、南東へ 01～20、南西へ A～T とした (第 5 図)。本書での調査区は、大グリッド A3 と A4 の範囲内に位置している。

表土掘削

調査区の設定後、磁気探査を実施し機械力を用いて表土掘削を行った。磁気探査では、砲弾薬莖や鉄屑等、米軍に帰属する金属類が認められた。これら金属類を除去しつつ、バケット容量 0.8 m³のバックホウと 10 t ダンプにて米軍基地建設時の造成土及び確認調査時の埋土を掘削・運搬した。

包含層掘削及び遺構検出

遺物包含層は、遺物量や出土状況に応じて小形のスコップや手鋏、ねじり鎌を用いて掘削した。出土遺物は層別・グリッド毎に取り上げ、特徴的な遺物や一括遺物については実測図作成と写真撮影を行った。遺構検出作業は基本的にジョレンを用いたが、より精査が必要な箇所についてはねじり鎌を用いた。排土はベルトコンベアを使用して場外搬出し、バケット容量 0.3 m³級のバックホウと 4 t ダンプを用いて残土置き場へ運搬した。

遺構掘削

土坑や柱穴は基本的に長軸で半截し、溝は規模に応じて数箇所土層観察用畦を残し掘削した。掘削には移植ごてやスプーン等を用いつつ、遺構内遺物を傷つけないよう必要に応じて竹串や竹べら等を用いた。一部の遺構埋土については、今後の分析資料用サンプルとして採取した。

記録作業

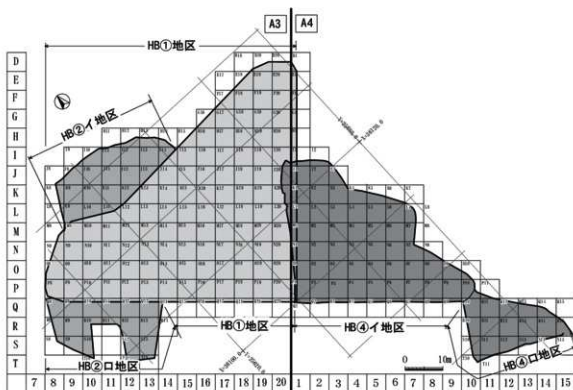
実測は主に平面図をトータルステーションで、壁面図を手実測で行った。写真撮影は、35mm (カラーリバーサル) 及び 6×7 のフィルムカメラ (カラーリバーサル・モノクロネガ) と、500～1000 万画素のデジタルカメラを使用した。遺構検出時と完掘時にはブーム式の高所作業車 12m と 24m を適宜使用し、全景撮影を行った。

自然科学分析

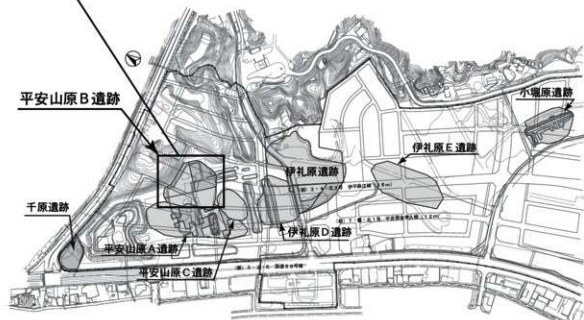
自然科学分析では、HB② (イ・ロ地区)、HB④ (イ・ロ地区) から採取した炭化物、土器片の放射性炭素年代測定 (7 点)、胎土分析 (1 点) を専門機関に委託した。分析結果は第 4 章第 3 節を参照。

整理作業

洗浄済み遺物の注記後は、分類、接合を行い、復元可能な資料については焼石膏を用いて復元を行った。復元した資料は土器 10 点、沖繩産無釉陶器 1 点の計 11 点である。接合後の資料は特徴的な遺物を抽出し、実測、デジタルトレース (Illustrator CS) を行った。写真撮影では 1200 万画素のデジタルカメラを用い、Photoshop CS を使用して背景処理等を行った。



第5図 グリッド設定



第6図 平安山原B遺跡の位置

第2節 層序

平成20年度（HB①地区）、平成21年度（HB②イ・ロ地区）、平成23年度（HB④イ・ロ地区）の3調査区（図面5）の層序は6枚に大別される。Ⅰ層は戦後、Ⅱ層は戦前、Ⅲ層は近世、Ⅳ層はグスク時代、Ⅴ層は貝塚時代後期、Ⅵ層は海浜堆積層である。

第10・12～15図に層序、第11図にHB②イ地区の層平面分布、巻首図版3～11、第3表に土層観察表、第9図に層模式図を示す。

第Ⅰ層：戦後

米軍基地接収による造成と返還後の工事に伴う盛土である。本遺跡が所在する伊平地域は、1945年4月の米軍上陸後（この上陸以降を戦後とする。）から基地利用が始まり、丘陵は部分的に削平され沖積低地の造成が行われている。

基地整備による盛土の層厚は、東側（丘陵側）が厚さ約0.2～0.4m、西側（海側）で約0.5～1.4mと厚くなる。現地面の標高は、HB②ロ地区は約4m、HB②イ地区は約5mである。

HB①地区北東側の岩盤地帯では米軍埋設管の溝やフェンス支柱の基礎穴などが掘られて擾乱されており、HB①地区の中央部から北西側にかけて幅約7～15mの廃棄物投棄穴によって大きく破壊されていた。遺物は各時期のものが混在する。

HB②ロ地区の南・西壁のⅡ層（Ⅰ層）では、炭化物・赤色・黄色土粒を多量に含む層や赤瓦層が見られる（第13図）。『北谷町の地名』を基にした図版87で比較すると、旧字平安山の祝女殿内小（ヌドゥルチグワー）と呼ばれた屋敷に重なることから米軍基地接収の際に破壊されたものと思われる。

第Ⅱ層：戦前

戦前の旧字平安山集落北東側の屋敷や道路、耕作地に関連する黄褐色～暗褐色を呈するシルト質土。カワナ、炭化物、小礫、軽石などを含む。層厚は0.2～0.9m、戦後の造成によって失われた部分や不明瞭な様相も窺える。

標高はHB①地区東側で約4.6m、南側のHB④ロ地区で約4m、HB①地区Q16の北西側やHB②ロ地区では約3～3.3mとなり、背後の丘陵から北西側に向かって傾斜する地形が窺える。

HB②ロ地区南壁の東側でⅢ層は途切れ、HB①地区西壁Q13～16ではⅢ層の堆積が見られないことから、傾斜地に生じた自然浸食、もしくは、人為的な削平の可能性のあるものと思われる。

遺構は、石組、溝、土坑、燃焼施設、井戸、窯跡、ピットが検出された。遺物は、沖繩産施釉・無釉陶器、陶質土器、本土産陶磁器、円盤状製品、瓦、鉄製品、銭貨などであるが、下位層の遺物も混在する。

第Ⅲ層：近世

明黄褐色～暗灰黄色を呈し、カワナ、マンガンを含み、固く締まる。層厚はHB①地区東壁で0.1～0.3m、西壁で約0.1～0.2m、Q13～15ではⅡ層によって失われている。HB①地区南壁では約0.8～1mと厚く堆積する。

標高はHB②イ地区で約4.5m、ロ地区で約4.1m、HB①地区東側で約4.3m、南壁で約3.5m、西壁で約3m、HB④イ地区で約3.3～3.5m、ロ地区で約3.2mである。

HB①地区南側の厚い堆積は、耕作土の性格を有すると考えられる。近世耕作土と見られる厚い堆積は伊礼原B遺跡²¹にも見られる。

遺構は、建物址、溝状、石組、石列、ピット群が検出された。遺物は、沖繩産施釉・無釉陶器、

本土産陶磁器などと共にグスク時代の遺物が出土し、貝塚時代後期の遺物も混在する。Ⅲ層期の遺構の深度が下位層に達しており、遺構出土に下位層の遺物を含む。

第Ⅳ層：グスク時代

本遺跡西側の砂丘との間に形成された自然流路に堆積する粘質シルト層。本層は、グスク時代の遺物が出土する上部と無遺物層の下部に大別される。

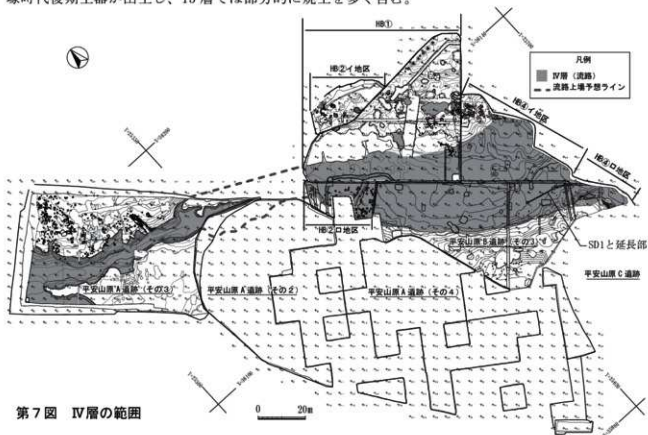
層上部は、グスク時代の遺物包含層である。丘陵側（東側）のHB①地区Lライン、HB④イ地区L1・2、K3 付近から西側（海側）に堆積し、この流路状の窪みは北西―南東方向に広がる（第7図）。3～4枚に細分され、青灰色～暗青灰色を基本とするが、HB②ロ地区では黄褐色系、HB④イ・ロ地区では灰黄色系を呈し箇所によって差異がある。水平堆積の様相を呈し、層厚は約0.2～0.6m、本層上面はHB④イ・ロ地区で標高約3m、HB②ロ地区で約2.8mである。

遺構は、HB②ロ地区で2071SK、2068SK、HB①地区で石列1、HB④イ地区で石列2が検出された。

層上部の遺物は、貝塚時代後期土器、石器、貝製品、グスク土器、カムイヤキ、白磁、青磁、染付、褐釉陶器、半練土器などが出土する。

層下部は、HB④ロ地区O8・9、P7 付近から南側の流路が深さを増す砂丘の窪みに堆積し、6枚に細分される。基本的には無遺物層であるが、HB④ロ地区のQ・R10～14、S11～14では、砂丘の縁辺部に形成されたV層期の貝層群を覆う。レンズ状に堆積し層厚は約0.9mである。

遺構は、HB④ロ地区（壁面Ⅳ）の15層上面（オリーブ黒色粘質土）でSD1が検出された。遺物は貝塚時代後期土器が出土し、13層では部分的に焼土を多く含む。



第7図 IV層の範囲

第Ⅴ層 貝塚時代後期

本層は、段丘下から前面の砂丘とその上位に形成された遺物包含層。

HB②イ地区では、中央ベルトの8枚（4・4'～6、7、9～11層）、層厚は0.3～0.9m。HB①地区では14枚に細分され、層厚約0.3～1.0m、HB④イ地区では試掘1北・東壁の2枚（9・20層）、層厚は

0.35m、HB④ロ地区では貝層群が堆積する（第19図）。

貝塚時代後期の遺構は、燃焼遺構、土器集中、貝集中部が検出され、遺物は土器、石器、貝製品、土製品などが出土した。

V層は堆積状況や出土遺物から、A、Bの範囲に大別した。

A：段丘崖下から前面の砂丘に形成された遺物包含層（HB②イ地区、HB①地区）

B：HB④ロ地区で砂丘上と砂丘縁辺部に形成された貝層群遺物包含層。

AのV層（HB②イ地区中央ベルト：暗褐色シルト（4・4'層）、貝層①（5層）、貝層②（6層）、赤砂層、貝層③、黄砂層（9層）、黒砂層（10層）、灰色砂層、HB①地区東壁：5～18層、中央ベルト：7～14層）は、HB②イ地区からHB①地区15ライン付近までとなる。

同ライン付近で、HB①地区中央ベルト7層（暗褐色シルト）が上位となる堆積は、範囲確認調査トレンチ（2005）の貝塚時代後期の遺物包含層のⅢa層、HB①地区中央ベルト10・14・19層は、範囲確認調査のⅢb・Ⅳ層に対応するものと判断される。

HB①地区中央ベルトや範囲確認調査トレンチで確認される東側への広がり、HB④イ地区でJ～Kに堆積し、K・L1の範囲確認調査壁面では、Ⅱ層によって失われた様子が見られる（第15図）。

HB④イ地区J～K1～3の帯は岩盤地帯で、Ⅱ層期の窯跡構築によって壊されている。この帯からの堆積は、崩落礫を含みながら西・南側へ薄くなる。

K4～L6まで薄く延びるV層は、その西・南側ではⅣ層堆積による途切れが見られ、流路状の窪みが深さを増すO8・9、P7付近までとなる。このV層堆積範囲は砂丘の範囲でもある。

Aでは、HB②イ地区からHB①地区15ライン付近で阿波連浦下層式土器、浜屋原式土器が主体で、同ラインより南東側は大当原式土器が多くなる傾向となり、Bでは大当原式土器・くびれ平底土器が多い傾向が窺えた。本遺跡出土の土器形式の単純層は確認されていない。

段丘崖下であるHB②イ地区のV層は、中央部から西・南側に広がっており東側には堆積せず、北西側のK・L9・10では戦後の擾乱によってほとんど失われている。

HB②イ地区ではAは橙色シルト、貝層、赤砂層、黄砂層、黒砂層などで構成される複数の平面分布が検出されたことから①～⑧に分けて掘り下げた。

①では、崩落小礫を含む暗褐色シルト層（4・4'）は中央部のみ、背後の丘陵から流れ込みと見られる橙色シルト②の一部が、貝層①（5層）と貝層②（6層）の間に堆積する。

貝層②除去後の③面では、黄砂層（9層）と赤砂層、貝層③の一部が検出され、赤砂層とJ・K8・9の近・現代の燃焼施設除去後の④面で燃焼遺構（1039SX）が検出された。

黄砂層、黒砂層（10層）除去後の⑦面（白砂層）で1024SX、1028SXなどが検出された。1042SXの一部は、背後の丘陵から流れ込む山土層に重なる。白砂層除去後の⑧面¹¹では、1042SX周辺から西側に同遺構に伴うと考えられる灰色砂層が堆積する。

これらの層のうち、貝層②出土炭化材（ヤマグワ）による¹⁴C分析結果は2,390±30BP、白砂層出土の土器付着煤による¹⁴C分析結果は2,350±30BP、燃焼遺構（1042SX）出土の炭化材による¹⁴C分析結果は2,290±20BP、黒砂層出土の阿波連浦下層式土器の¹⁴C分析結果は2,220±23BP、範囲確認トレンチ3出土の土器（第50図154）による¹⁴C分析結果は1,890±30BPである（第四章3節）。

Bは、流路状の窪みに迫り出した砂丘の縁辺部と砂丘上に形成された貝層群である。

HB④ロ地区中央部より南側のQ・R10～14、S11～14の範囲に形成された貝層群のうち、貝層群Iは砂丘縁辺部のⅣ層下部〔HB④ロ地区（16層）〕に覆われ、貝層群Ⅲは砂丘上で検出された。

隣接する平安山原C遺跡でも、貝層群が検出されていることからその延長と思われる。

第VI層：海浜堆積層

段丘崖下から西・南側へ傾斜する海浜堆積層。粗い白砂、砂礫や互層堆積も見られる。

HB②イ地区では、中央ベルトの 12～15 層、灰色砂層壁面の 4 層、1042SX 下位に中砂の白砂層②(E層)、砂礫の海砂層(F層)、山斜面トレンチ(第 10 図)では磨滅したサンゴ礫を含む海砂層(4層)が堆積する。HB①地区では、南壁 8 層、西壁 13 層、HB④イ・ロ地区 24 層である。

砂丘の緩斜面付近にあたる、HB①下層トレンチ 3 では、粗砂・細砂、砂礫の互層堆積が見られ緩斜面に生じた窪みが埋没したと様相を呈する(巻首図版 5)。

範囲確認調査壁面(第 15 図)の黄白色砂層[同図 V 層]は、HB①地区下層確認トレンチ 3 よりやや内陸側で砂質石灰岩礫を覆い、平坦面を有しながら西側(海側)に傾斜する堆積である。

この砂層は「上部の白砂にサンゴ枝や礫を密に含み、その下部は粗砂と細砂の互層堆積」(平安山原 B 遺跡 北谷町文化財調査報告書第 29 集) 2008) である。

この砂層の堆積は、HB④イ地区においても類似する様相が見られ、同地区の砂層の堆積は、南側への傾斜も見られる(巻首図版 10)。下層確認トレンチ 4 では、この砂層の下位に砂質石灰岩の堆積が見られ、河川堆積に関係するものと見られる灰色を呈している²³⁾(巻首図版 10)。

HB④ロ地区壁面 IV には、同壁南端に堆積する粗い砂層[25 層(枝サンゴや自然貝を僅かに含む)]が堆積しており、南東側に広がるものと思われる。同地区下層確認トレンチ 4 下部には、暗茶褐色の腐植土層と見られる堆積があり、更に下位には砂礫層が堆積する(巻首図版 9)。腐植土層出土の樹木片の ¹⁴C 分析結果は 2,130±30BP である。

HB②ロ地区では、当初 8 層以下を海浜堆積層と考え、下層確認トレンチ調査を実施した(第 13 図:HB②ロ 南壁)。しかし、8 層にはカワニナが多く含まれており、貝塚時代後期の土器胴部片も出土している。また、粘質シルト層である 13 層には、表面が炭化した木や炭化物が含まれており、湿地堆積の様相を呈している。炭化材(広葉樹)による ¹⁴C 分析結果は 1,600±20BP である。これらの状況に加え、隣接する調査区におけるその後の調査成果などから、8～13 層は流路堆積、すなわち第 IV 層の範疇に含まれるものと判断するに至った。

なお、13 層直下には固結の弱い海性の砂礫層(14 層)が堆積する。HB②ロ地区においては、この 14 層以下を第 VI 層(海浜堆積層)にあてるのが妥当である。

小結

平安山原 B 遺跡は、伊礼原・平安山原地区で確認されたビーチロック²⁴⁾より内陸側に堆積する海浜堆積の VI 層を基盤に、遺跡背後の丘陵の段丘崖下から前面に形成された砂丘に貝塚時代後期の遺跡が立地する。

阿波連浦下層式土器、浜屋原式土器が主体となる頃の砂丘が HB②イ、HB①地区 15 ライン付近、その後さらに砂丘が拡大する HB④イ地区では大当原式土器が主体となる。また、HB④ロ地区の砂丘上と縁辺の貝層群では大当原式土器・くびれ平底土器が出土し、同砂丘には平安山原 C 遺跡が立地する。

この砂丘の形成と土器形式の年代を示す ¹⁴C 分析による成果は、A で細分された HB②イ地区の V 層堆積の累重の数値を示しているが、貝層②出土資料による ¹⁴C 分析結果は、HB②イ地区出土資料で最も古い数値を示す結果であった。このことは、不安定な砂の堆積や砂丘の起伏、人の活動によって生じた可能性が考えられ各層の出土土器が接合されたことの要因となったものと思われる。

HB②ロ地区下層確認トレンチの堆積は、海浜の環境が IV 層堆積の頃まで続いていたことを示して

いるものと考えられる。

IV層は、この拡大した砂丘間の流路の窪みにカワニナを含む水成堆積の様相を示していることから、淡水域の環境であったことが考えられる。この淡水域は、IV層が堆積する自然流路の南側で、沖積低地を蛇行しながら海へ西流するナガサ川に起因するものと考えられる。戦前のナガサ川は、これまでの調査の成果から、平安山原C遺跡と伊礼原D遺跡の間で河川と考えられる痕跡が確認されていることから、HB④口地区はナガサ川の流域に接していたものと思われる。

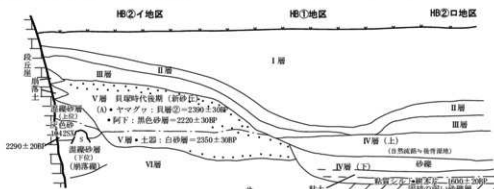
この砂丘間に形成された流路状の窪みは自然流路と考えられ、HB②口地区下層確認トレンチ 13層の年代が1,600±20BP（紀元5世紀前半から6世紀中葉）の測定値を示し、IV層・III層出土遺物から、湿地堆積が11・12世紀の頃には陸地化していたことを示しているものと推察される。

自然流路に堆積する、IV層上部に遺構が構築されているが、遺構出土の遺物からは、グスク時代の遺構を特定する結果には至らず、グスク時代から近世の遺構として捉えているが、一定程度のグスク時代の遺物出土量や分布からIII層下部は、グスク時代の生活面の存在を物語るものとする。

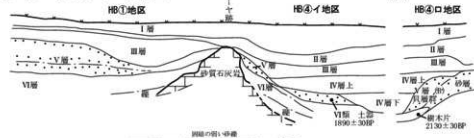
砂丘間の流路状の窪みが、湿地の様相を示すIV層堆積によって、陸地化しその後集落が形成される様子は、小堀原遺跡^{註5}でグスク時代の集落遺跡が立地したことと同様なことが平安山原B遺跡にも内包されているものと考えられる。

III層は、HB②口地区南壁の東側で同地区西側から延びるII層によって途切れ、HB①地区西壁 Q13～16に堆積は見られず、それより北西側では堆積していることから、傾斜地による自然浸食、もしくは、人為的な削平の可能性のあるものと思われる。

III層の近世遺構には、切り合い関係が見られ、さらに、戦前の遺構にも新旧が見られることはグスク時代、近世、近・現代にかけて集落が立地したことが明らかとなった。



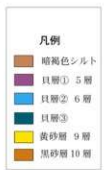
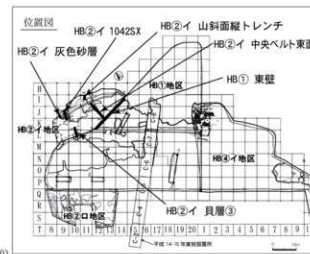
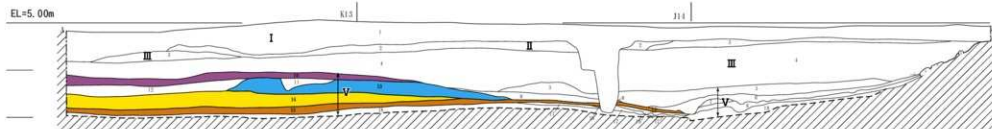
第8図 東西ライン層模式



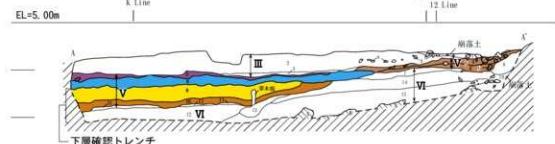
第9図 南北ライン層模式

註1 北谷町教育委員会 1989「伊礼原B遺跡」北谷町文化財調査報告書 第8集
 註2 HB②イ地区⑦面は第三章3節に示し、HB②イ地区⑧面は紙面の都合上割愛した。
 註3 大城逸朗氏の教示による。
 註4 北谷町教育委員会 2005「キャンプ桑江北側返遷に伴う試掘調査」北谷町文化財調査報告書 第23集
 註5 北谷町教育委員会 2012「小堀原遺跡」北谷町文化財調査報告書 第34集

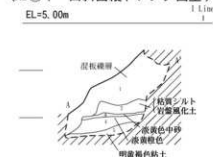
〈HB① 東壁〉



〈HB②イ 中央ベルト東面〉



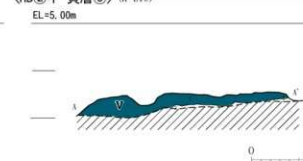
〈HB②イ 山斜面縦トレンチ西壁〉



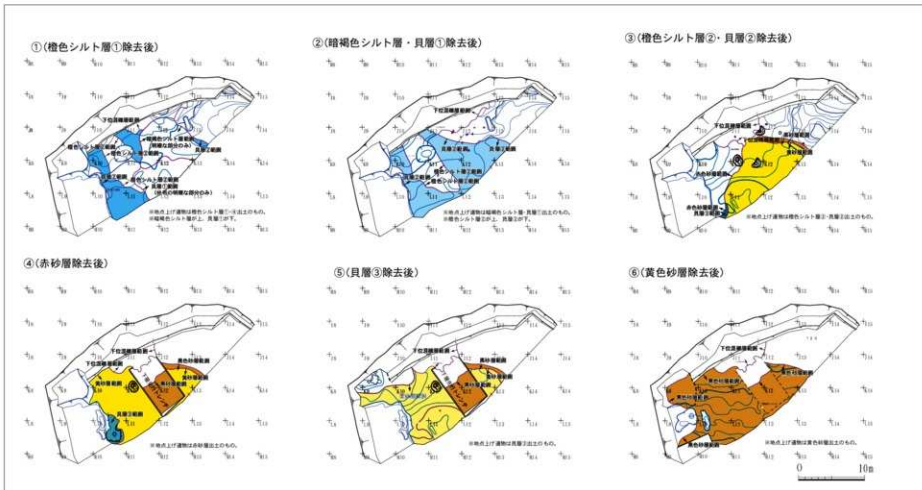
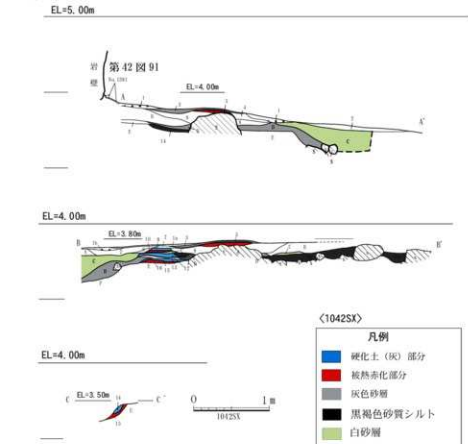
〈HB②イ 灰色砂層〉



〈HB②イ 貝層③〉 (K-L10)



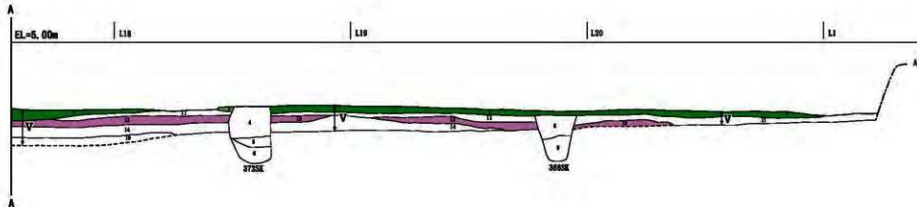
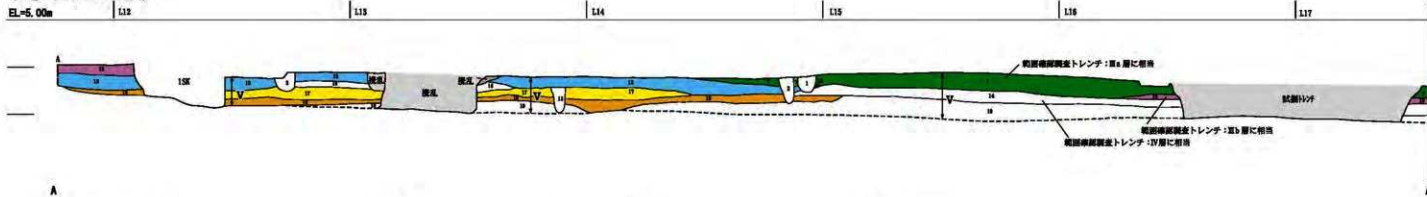
〈HB②イ 1042SX〉



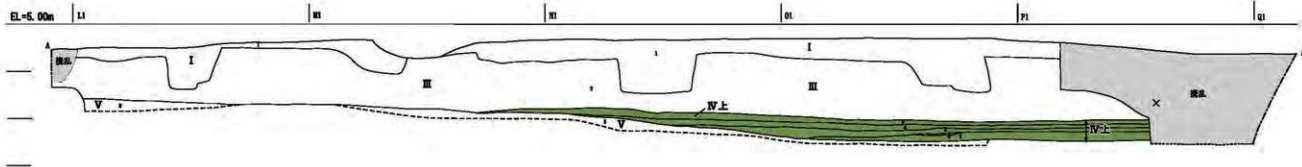
第 10 図 層序 1

第 11 図 HB②イ地区 V層 (細分) 平面分布

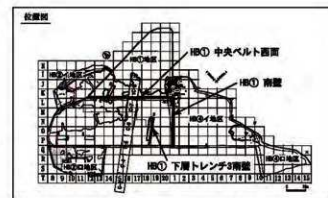
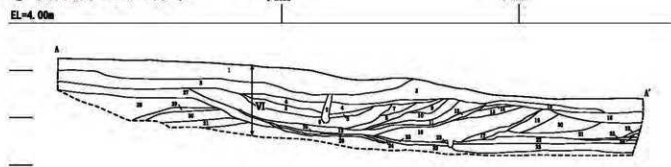
◁B① 中央ベルト西面

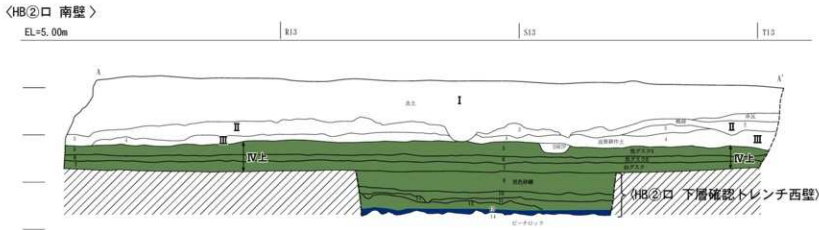
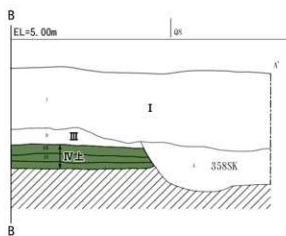
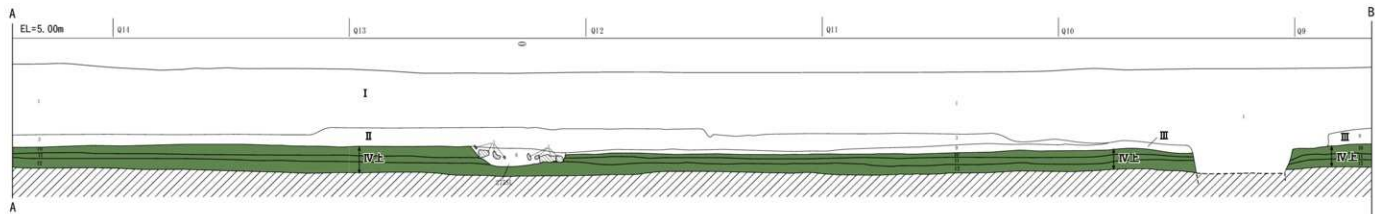
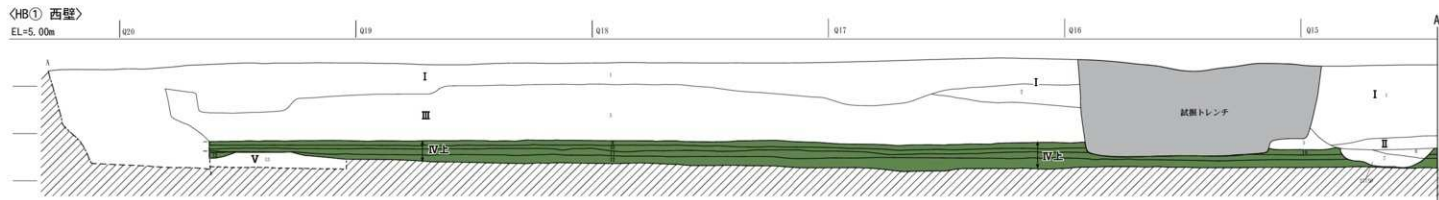


◁B① 南壁



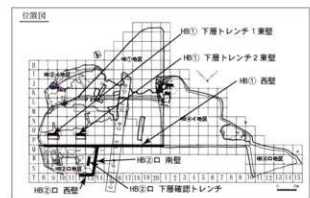
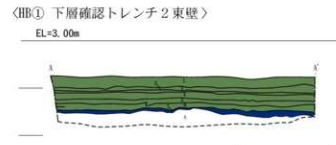
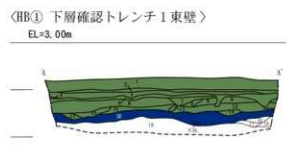
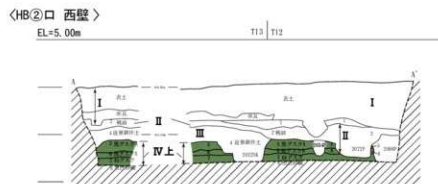
◁B① 下層確認トレンチ3南壁





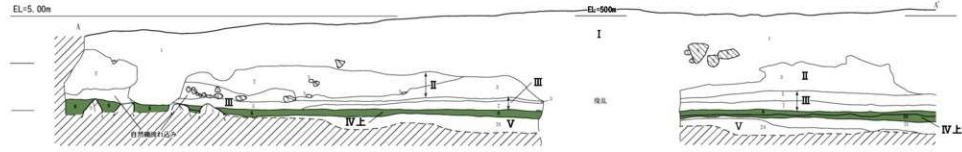
凡例

| | |
|--|--------|
| | IV上 |
| | 黒褐色粘質土 |
| | 雑乱 |

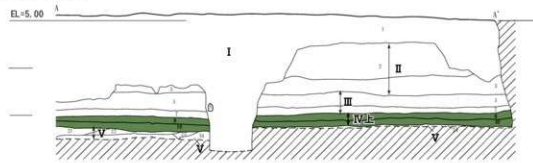


第 13 図 層序 3

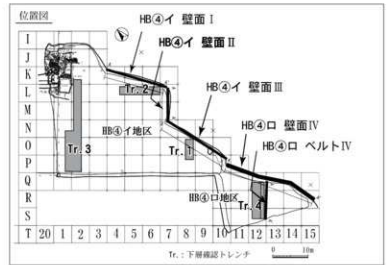
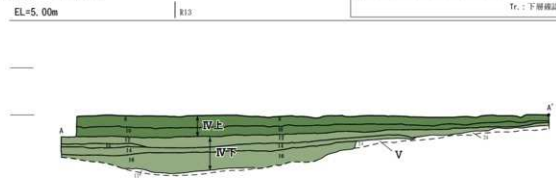
〈HB④イ 壁面Ⅰ〉



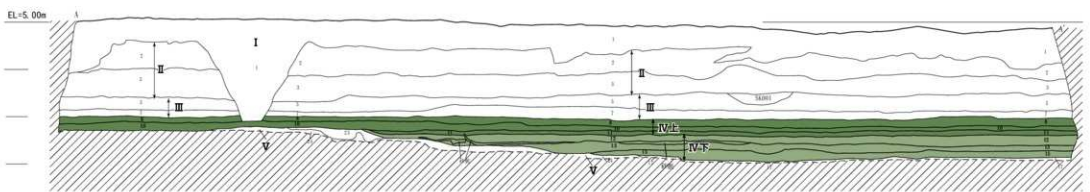
〈HB④イ 壁面Ⅱ〉



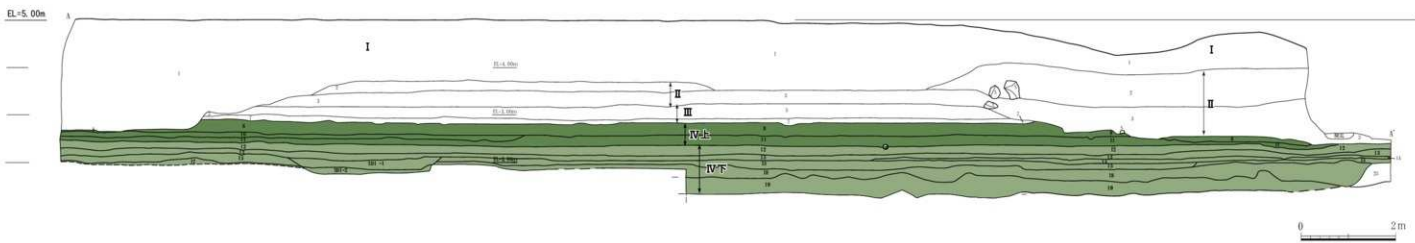
〈HB④ロ ベルトⅣ〉



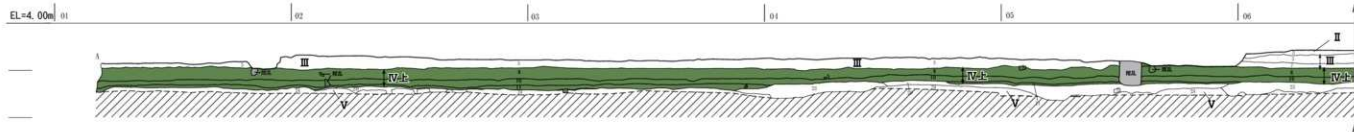
〈HB④イ 壁面Ⅲ〉



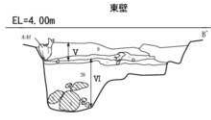
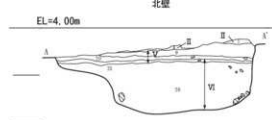
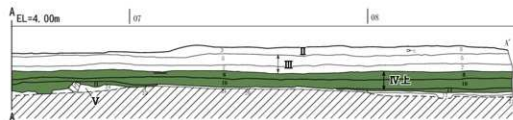
〈HB④ロ 壁面Ⅳ〉



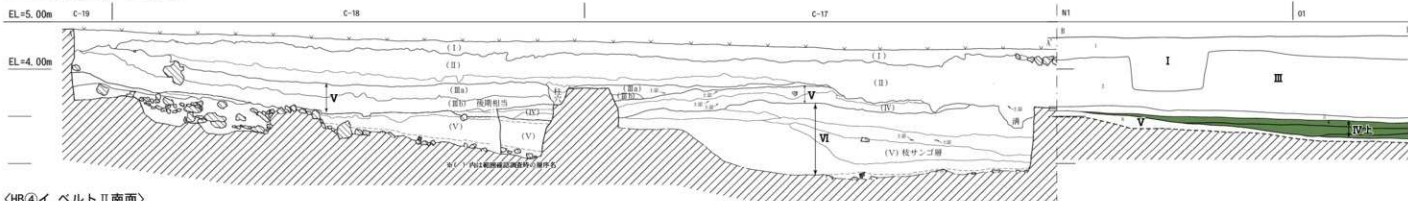
〈HB④イ ベルトI 東面〉



〈HB④イ 試掘跡1 北・東壁〉

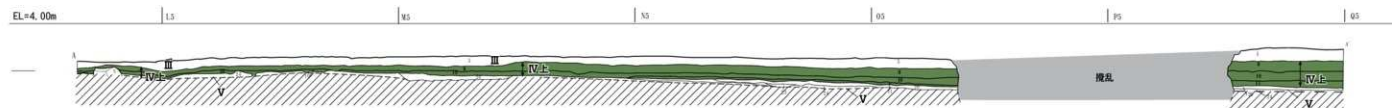


〈HB① 範囲確認トレンチ南壁〉

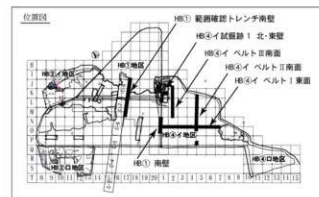
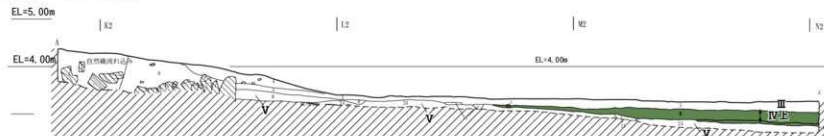


〈HB① 南壁〉

〈HB④イ ベルトII 南面〉



〈HB④イ ベルトIII 南面〉



第15図 層序5

第2表-1 取上遺物一覧 (HB1地区)

| 取上 番号 | X | Y | Z | 大 F | 大 F | グランド | 遺物名 | 遺物 | 取番号 | 取上番号 | | | | | | | | | |
|----------|-----------|----------|-------|--------|--------|-------|----------|-----------|----------|------|-----------|----------|--------|--------|------|----------|-----------|-------|--------|
| | | | | | | | | | | X | Y | Z | 大 F | 大 F | グランド | 遺物名 | 遺物 | 取番号 | |
| 1 | 30130.67 | 2504.425 | 4.143 | K13 | K13 | | 靑銅 | 靑銅小刀 | 取1078 | 74 | 30144.549 | 2503.173 | 3.217 | A3 | K14 | 土器(瓦器) | | | |
| 2 | 30147.977 | 2501.997 | 3.669 | AJ | L12 | | 石(磨石) | 石(磨石) | 取8102 | 75 | 30143.101 | 2503.342 | 3.200 | A3 | K14 | 土器(土器) | 取46上層一括物 | | |
| 3 | 30137.477 | 2502.319 | 3.899 | AJ | L15 | | 石(磨石) | 石(磨石) | 取1078 | 76 | 30146.099 | 2504.934 | 4.649 | A3 | J14 | 土器(土器) | 取46中層 | 取44埋石 | 取1101埋 |
| 4 | 30122.494 | 2503.793 | 3.424 | AJ | K20 | | 石(磨石) | 石(磨石) | 取1078 | 77 | 30140.693 | 2502.491 | 4.422 | A3 | K14 | 土器(土器) | | | |
| 5 | 30116.021 | 2506.731 | 3.051 | AJ | N18 | | 土器(V印) | 土器(V印) | 取44埋石 | 78 | 30145.761 | 2504.554 | 3.829 | A3 | KB | 石 | | | 取1101埋 |
| 6 | 30116.679 | 2504.375 | 3.172 | AJ | N19 | | 土器(V印) | 土器(V印) | 取44埋石 | 79 | 30129.265 | 2503.238 | 3.375 | A3 | L14 | 土器(土器) | | | |
| 7 | 30116.021 | 2504.381 | 3.172 | AJ | N19 | | 土器 | 土器 | 取44埋石 | 80 | 30141.215 | 2502.659 | 3.649 | A3 | L10 | 土器(土器) | | | |
| 8 | 30110.539 | 2506.183 | 2.779 | AJ | N20 | | 赤銅(鏡) | 赤銅(鏡) | 取1078埋12 | 81 | 30141.224 | 2502.734 | 3.714 | A3 | L15 | 土器(土器) | | | |
| 9 | 30148.732 | 2504.609 | 3.897 | AJ | K12 | | 青銅(アブガ) | 青銅(アブガ) | 取1078埋 | 82 | 30136.595 | 2502.211 | 3.895 | A3 | L14 | 土器(土器) | | | |
| 10 | 30147.927 | 2506.239 | 3.897 | AJ | K12 | | 青銅(アブガ) | 青銅(アブガ) | 取1078埋 | 83 | 30136.699 | 2502.303 | 3.719 | A3 | L15 | 土器(土器) | | | |
| 11 | 30149.267 | 2504.709 | 3.996 | AJ | K12 | | 赤銅 | 赤銅 | 取1078埋 | 84 | 30141.422 | 2502.176 | 3.299 | A3 | K15 | 土器(土器) | 取46上層一括物 | | 取54埋石 |
| 12 | 30149.961 | 2506.522 | 3.946 | AJ | O18 | | 石(磨石) | 石(磨石) | 取1078埋 | 85 | 30140.999 | 2502.791 | 3.422 | A3 | K15 | 土器(土器) | 取46上層一括物 | | |
| 13 | 30149.969 | 2504.996 | 3.612 | AJ | K15 | | 石(磨石) | 石(磨石) | 取8102 | 86 | 30127.589 | 2502.443 | 3.424 | A3 | K19 | 土器(CCFL) | | | 取54埋石 |
| 14 | 30113.934 | 2507.165 | 2.837 | AJ | O19 | | 石 | 石 | 取1078埋 | 87 | 30112.999 | 2506.434 | 3.980 | A3 | M1 | 土器(土器) | | | 取61埋石 |
| 15 | 30145.128 | 2506.381 | 3.781 | AJ | K13 | | 土器(土器) | 土器(土器) | 取1078埋 | 88 | 30127.786 | 2503.122 | 3.433 | A3 | K19 | 土器(土器) | | | 取54埋石 |
| 16 | 30149.632 | 2504.179 | 3.419 | AJ | L12 | | 青銅(アブガ) | 青銅(アブガ) | 取1078埋 | 89 | 30143.628 | 2506.369 | 3.572 | A3 | K14 | 土器(土器) | | | 取60埋石 |
| 17 | 30139.844 | 2504.817 | 3.322 | AJ | K15 | | 青銅(アブガ) | 青銅(アブガ) | 取1078埋 | 90 | 30148.474 | 2502.777 | 3.515 | A3 | J14 | 土器(土器) | | | 取53埋石 |
| 18 | 30107.539 | 2506.139 | 2.765 | AJ | O20 | | 土器(CCFL) | 土器(CCFL) | 取1078埋 | 91 | 30142.602 | 2506.049 | 3.594 | A3 | K15 | 石 | | | |
| 19 | 30142.375 | 2502.399 | 3.398 | AJ | K14 | | 石(磨石) | 石(磨石) | 取8102 | 92 | 30150.349 | 2502.420 | 4.292 | A3 | J14 | 土器(土器) | 取112上層一括物 | | 取73埋石 |
| 20 | 30149.818 | 2504.833 | 3.616 | AJ | K12 | | 石 | 石 | 取8102 | 93 | 30150.672 | 2504.249 | 4.384 | A3 | H14 | 土器(土器) | 取112中層一括物 | | 取54埋石 |
| 21 | 30112.717 | 2504.471 | 2.742 | AJ | O18 | | 石 | 石 | | 94 | 30148.127 | 2502.761 | 3.945 | A3 | K13 | 土器(土器) | | | |
| 22 | 30112.364 | 2503.664 | 2.617 | AJ | P18 | | 石 | 石 | | 95 | 30148.248 | 2502.916 | 3.952 | A3 | K13 | 土器(土器) | | | |
| 23 | 30151.819 | 2506.928 | 2.499 | AJ | K18 | | 石 | 石 | | 96 | 30148.379 | 2502.959 | 3.986 | A3 | K13 | 土器(土器) | | | |
| 24 | 30151.937 | 2503.469 | 3.583 | AJ | K14 | | 土器(土器) | 取108上層一括物 | 取1078埋 | 97 | 30147.790 | 2504.127 | 4.083 | A3 | K13 | 土器 | | | |
| 25 | 30127.628 | 2504.963 | 2.428 | AJ | P12 | 27530 | 石 | 石 | 取1078埋 | 98 | 30147.790 | 2504.127 | 4.126 | A3 | H13 | 土器 | | | 取102埋石 |
| 26 | 30109.763 | 2504.549 | 2.769 | AJ | P19 | | 石 | 石 | | 99 | 30134.570 | 2504.849 | 3.679 | A3 | J18 | 土器(土器) | 取108埋 | | 取40埋石 |
| 27 | 30129.186 | 2506.131 | 2.300 | AJ | P12 | 27530 | 青銅(鏡) | 青銅(鏡) | 取44埋石 | 100 | 30148.853 | 2507.292 | 3.972 | A3 | K12 | 土器(土器) | | | 取46埋石 |
| 28 | 30141.239 | 2504.343 | 2.821 | AJ | J16 | | 土器(CCFL) | 土器(CCFL) | 取44埋石 | 101 | 30149.203 | 2502.407 | 4.618 | A3 | H14 | 土器(土器) | | | 取35埋石 |
| 29 | 30126.455 | 2505.824 | 2.381 | AJ | P14 | 27530 | 石 | 石 | 取1078埋 | 102 | 30139.691 | 2502.143 | 2.693 | A3 | O14 | 青銅 | | | |
| 30 | 30126.234 | 2506.061 | 2.383 | AJ | P14 | 27530 | 靑銅 | 靑銅 | 取1078埋 | 103 | 30126.356 | 2504.312 | 2.718 | A3 | H15 | 鏡 | | | |
| 31 | 30126.235 | 2506.044 | 2.384 | AJ | P14 | 27530 | 靑銅 | 靑銅 | 取1078埋 | 104 | 30129.306 | 2502.635 | 2.730 | A3 | H15 | 石 | | | |
| 32 | 30125.239 | 2506.506 | 2.670 | AJ | K20 | | 青銅(鏡) | 青銅(鏡) | 取1078埋 | 105 | 30146.689 | 2502.135 | 3.732 | A3 | J14 | 土器(土器) | | | |
| 33 | 30143.375 | 2506.163 | 3.471 | AJ | P9 | 28150 | 赤銅 | 赤銅 | 取1078埋 | 106 | 30147.993 | 2502.901 | 3.946 | A3 | J14 | 土器(CCFL) | | | 取54埋石 |
| 34 | 30149.369 | 2504.211 | 4.310 | AJ | H15 | | 土器(CCFL) | 土器(CCFL) | 取44埋石 | 107 | 30147.965 | 2502.979 | 3.989 | A3 | J14 | 土器(CCFL) | | | 取54埋石 |
| 35 | 30139.361 | 2506.238 | 2.574 | AJ | K13 | | 青銅(磨石) | 青銅(磨石) | 取1078埋 | 108 | 30142.198 | 2504.127 | 4.083 | A3 | J14 | 土器 | | | |
| 36 | 30143.741 | 2502.762 | 3.757 | AJ | J15 | | 石 | 石 | 取1078埋 | 109 | 30143.489 | 2504.416 | 3.268 | A3 | H15 | 土器(土器) | | | |
| 37 | 30141.349 | 2504.156 | 3.739 | AJ | K14 | | 土器(土器) | 土器(土器) | 取1078埋 | 110 | 30144.027 | 2503.795 | 3.796 | A3 | J14 | 土器(土器) | | | |
| 38 | 30141.021 | 2504.417 | 3.273 | AJ | K15 | | 土器(土器) | 土器(土器) | 取1078埋 | 111 | 30148.149 | 2502.377 | 3.749 | A3 | J14 | 土器(土器) | | | |
| 39 | 30142.137 | 2504.972 | 2.643 | AJ | K14 | | 土器(土器) | 土器(土器) | 取1078埋 | 112 | 30150.257 | 2502.278 | 4.193 | A3 | H14 | 土器(土器) | 取46上層一括物 | | |
| 40 | 30142.407 | 2504.978 | 2.643 | AJ | K14 | | 石 | 石 | 取1078埋 | 113 | 30148.811 | 2503.165 | 3.734 | A3 | J14 | 石 | | | |
| 41 | 30137.313 | 2502.932 | 3.712 | AJ | M14 | | 石(磨石) | 石(磨石) | 取1078埋 | 114 | 30149.209 | 2502.395 | 3.733 | A3 | J14 | 土器(土器) | | | |
| 42 | 30137.663 | 2502.903 | 3.718 | AJ | M14 | | 土器(土器) | 土器(土器) | 取1078埋 | 115 | 30131.008 | 2504.738 | 3.295 | A3 | K18 | 土器(土器) | 取112中層一括物 | | |
| 43 | 30141.542 | 2506.232 | 2.644 | AJ | L14 | | 石(磨石) | 石(磨石) | 取1078埋 | 116 | 30130.109 | 2504.412 | 3.273 | A3 | K18 | 土器(土器) | | | |
| 44 | 30141.819 | 2507.306 | 3.376 | AJ | K15 | | 石(磨石) | 土器(磨石・土器) | 取1078埋 | 117 | 30147.127 | 2502.154 | 3.385 | A3 | J15 | 土器(土器) | | | 取43埋石 |
| 45 | 30142.406 | 2507.167 | 3.699 | AJ | K15 | | 土器(土器) | 土器(磨石・土器) | 取1078埋 | 118 | 30142.384 | 2502.699 | 3.245 | A3 | J15 | 土器(土器) | | | |
| 46 | 30142.406 | 2507.167 | 3.699 | AJ | K15 | | 土器(土器) | 土器(磨石・土器) | 取1078埋 | 119 | 30149.508 | 2502.306 | 3.629 | A3 | J15 | 土器(土器) | | | |
| 47 | 30142.406 | 2507.167 | 3.699 | AJ | K15 | | 土器(土器) | 土器(磨石・土器) | 取1078埋 | 120 | 30142.960 | 2504.728 | 3.282 | A3 | J15 | 土器(土器) | | | |
| 48 | 30143.284 | 2502.511 | 3.730 | AJ | K14 | | 土器(土器) | 土器(土器) | 取1078埋 | 121 | 30142.898 | 2504.959 | 3.383 | A3 | J15 | 土器(土器) | | | |
| 49 | 30143.284 | 2502.511 | 3.730 | AJ | K14 | | 土器(土器) | 土器(土器) | 取1078埋 | 122 | 30150.853 | 2502.921 | 3.983 | A3 | J14 | 土器(土器) | 取108埋 | | 取40埋石 |
| 50 | 30143.284 | 2502.511 | 3.730 | AJ | K14 | | 土器(土器) | 土器(土器) | 取1078埋 | 123 | 30149.875 | 2502.941 | 4.121 | A3 | K13 | 土器(CCFL) | | | 取46埋石 |
| 51 | 30111.568 | 2506.209 | 2.899 | AJ | O19 | | 土器(土器) | 土器(土器) | 取1078埋 | 124 | 30144.199 | 2503.110 | 3.659 | A3 | K14 | 土器(土器) | | | |
| 52 | 30142.854 | 2504.345 | 3.657 | AJ | J15 | | 土器(土器) | 土器(土器) | 取1078埋 | 125 | 30149.414 | 2503.657 | 4.633 | A3 | J15 | 土器(土器) | | | 取1078埋 |
| 53 | 30139.666 | 2507.854 | 3.511 | AJ | K15 | | 石(磨石) | 石(磨石) | 取1078埋 | 126 | 30130.534 | 2503.393 | 3.893 | A3 | J15 | 土器(土器) | | | |
| 54 | 30139.966 | 2507.695 | 3.518 | AJ | K15 | | 石(磨石) | 石(磨石) | 取1078埋 | 127 | 30132.474 | 2504.643 | 3.329 | A3 | K18 | 土器(土器) | | | 取46埋石 |
| 55 | 30140.343 | 2507.062 | 3.519 | AJ | K15 | | 石(磨石) | 石(磨石) | 取1078埋 | 128 | 30147.631 | 2504.451 | 3.436 | A3 | J14 | 土器(土器) | | | 取46埋石 |
| 56 | 30109.829 | 2506.383 | 2.678 | AJ | O19 | | 石 | 石 | 取1078埋 | 129 | 30148.792 | 2503.027 | 3.845 | A3 | K13 | 土器(土器) | | | 取46埋石 |
| 57 | 30149.409 | 2507.265 | 2.842 | AJ | O19 | | 石 | 石 | 取1078埋 | 130 | 30149.675 | 2503.491 | 3.985 | A3 | K13 | 土器(土器) | | | |
| 58 | 30121.128 | 2506.148 | 2.545 | AJ | H17 | | 石 | 石 | 取1078埋 | 131 | 30148.288 | 2503.297 | 3.853 | A3 | K13 | 土器(土器) | 取112中層一括物 | | |
| 59 | 30111.943 | 2506.182 | 2.772 | AJ | O19 | | 土器(土器) | 土器(V印) | 取1078埋 | 132 | 30149.278 | 2503.286 | 3.917 | A3 | J15 | 土器(土器) | | | |
| 60 | 30142.828 | 2507.998 | 2.674 | AJ | K15 | | 土器(土器) | 取46上層一括物 | 取1078埋 | 133 | 30139.162 | 2503.247 | 3.949 | A3 | J13 | 土器(土器) | | | 取61埋石 |
| 61 | 30142.403 | 2506.412 | 2.558 | AJ | K15 | | 土器(土器) | 土器(土器) | 取1078埋 | 134 | 30150.320 | 2503.434 | 3.824 | A3 | J15 | 土器(土器) | | | |
| 62 | 30142.798 | 2506.388 | 2.589 | AJ | K15 | | 土器(土器) | 土器(土器) | 取1078埋 | 135 | 30150.280 | 2503.245 | 3.800 | A3 | J15 | 土器(土器) | | | 取61埋石 |
| 63 | 30143.263 | 2506.981 | 3.588 | AJ | K15 | | 土器(土器) | 土器(土器) | 取1078埋 | 136 | 30150.583 | 2503.133 | 3.991 | A3 | J15 | 土器(土器) | | | |
| 64 | 30143.262 | 2506.984 | 3.611 | AJ | K15 | | 土器(土器) | 土器(土器) | 取1078埋 | 137 | 30150.274 | 2503.649 | 3.987 | A3 | J15 | 土器(土器) | | | |
| 65 | 30143.319 | 2508.791 | 3.579 | AJ | K15 | | 土器(土器) | 土器(磨石) | 取1078埋 | 138 | 30149.470 | 2503.045 | 3.871 | A3 | K13 | 土器(土器) | | | 取46埋石 |
| 66 | 30143.319 | 2508.791 | 3.579 | AJ | K15 | | 土器(土器) | 土器(磨石) | 取1078埋 | 139 | 30149.485 | 2503.192 | 3.986 | A3 | K13 | 土器(土器) | | | |
| 67 | 30143.319 | 2508.791 | 3.579 | AJ | K15 | | 土器(土器) | 土器(磨石) | 取1078埋 | 140 | 30149.544 | 2503.137 | 3.980 | A3 | K13 | 土器(土器) | | | |
| 68 | 30143.319 | 2508.791 | 3.579 | AJ | K15 | | 土器(土器) | 土器(磨石) | 取1078埋 | 141 | 30139.212 | 2503.988 | 2.825 | A3 | J13 | 土器(土器) | | | |
| 69 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

第2表-2 取上遺物一覧 (HB①地区)

| 取上 番号 | X | Y | Z | メサ グリ フ | 遺物 | 回数 |
|----------|-----------|-----------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| 148 | 3025.32 | 2566.974 | 3.907 | A7 | 土器 | 石器(燧石) |
| 149 | 3026.371 | 2644.755 | 3.974 | A7 | 土器 | 石器(燧石) |
| 150 | 3026.385 | 2563.569 | 3.924 | A7 | 土器 | 土器(平) |
| 151 | 3044.182 | 2561.491 | 3.972 | A7 | 土器 | 石器(燧石) |
| 152 | 3042.310 | 2560.969 | 2.259 | A9 | 土器 | 石器(燧石) |
| 153 | 3029.131 | 2561.432 | 3.468 | A7 | 土器 | |
| 154 | 3016.900 | 2561.183 | 3.477 | A3 | L17 | 貝類(ツブドリ) |
| 155 | 3014.297 | 2562.467 | 3.535 | A3 | R19 | 石核 |
| 156 | 3025.728 | 2562.207 | 3.515 | A3 | R19 | 石器(燧石) |
| 157 | 3026.863 | 2562.437 | 3.546 | A3 | R19 | 土器(燧) |
| 158 | 3026.396 | 2562.268 | 3.525 | A3 | R19 | 土器(燧石) |
| 159 | 3023.863 | 2564.873 | 3.263 | B20 | 土器(1期) | |
| 160 | 3049.746 | 2564.600 | 3.229 | A7 | L12 | 土器(燧) |
| 161 | 3047.648 | 2564.999 | 3.214 | A7 | R14 | 土器(燧石) |
| 162 | 3048.019 | 2568.403 | 3.276 | A7 | R13 | 石器(燧石)-土器(燧) |
| 163 | 3046.451 | 2569.748 | 3.829 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 164 | 3048.536 | 2568.451 | 3.923 | A7 | R13 | 土器 |
| 165 | 3027.965 | 2569.707 | 3.542 | M14 | 土器 | |
| 166 | 3029.724 | 2564.706 | 3.376 | A7 | L17 | 土器(1期) |
| 167 | 30146.060 | 25630.144 | 3.209 | A7 | R13 | 土器(1期)-土器(燧)-土器(燧) |
| 168 | 30166.546 | 25609.379 | 3.875 | A7 | R13 | 土器(燧石)-土器(燧) |
| 169 | 30172.848 | 25645.427 | 3.475 | A7 | L18 | 土器(燧)-貝 |
| 170 | 30121.491 | 25646.929 | 3.438 | A7 | R13 | 土器(燧石)-土器(燧) |
| 171 | 3048.328 | 2562.567 | 3.766 | L12 | 土器(燧石) | |
| 172 | 3048.413 | 2564.919 | 3.658 | A7 | L12 | 土器(燧) |
| 173 | 3049.895 | 2562.992 | 3.726 | A7 | R13 | 石器(燧) |
| 174 | 3036.620 | 2568.676 | 4.030 | M14 | 土器(燧) | |
| 175 | 3030.563 | 2569.188 | 3.717 | L11 | 土器(燧) | |
| 176 | 3040.231 | 2569.951 | 3.790 | L11 | 土器(平) | |
| 177 | 3049.731 | 2568.444 | 3.648 | L11 | 土器(燧石)-土器(燧) | |
| 178 | 3047.964 | 2569.341 | 3.727 | L14 | 貝類(ツブドリ) | |
| 179 | 3040.435 | 2569.735 | 3.708 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 180 | 30148.366 | 25627.869 | 3.724 | A7 | R13 | 貝類(ツブドリ) |
| 181 | 30147.828 | 25629.299 | 3.666 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 182 | 30149.675 | 25629.299 | 3.438 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 183 | 30143.967 | 25628.911 | 3.214 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 184 | 3028.777 | 2568.267 | 3.876 | L14 | 土器(燧) | |
| 185 | 3028.834 | 2561.899 | 3.290 | A7 | L14 | 土器(燧) |
| 186 | 3023.798 | 2561.127 | 3.546 | L15 | 貝類(ツブドリ) | |
| 187 | 3027.691 | 2563.519 | 3.384 | A7 | R19 | 貝類(ツブドリ) |
| 188 | 3027.230 | 2562.228 | 3.306 | A7 | R19 | 土器(燧) |
| 189 | 30127.153 | 25633.386 | 3.203 | A7 | R19 | 土器(1期)-土器(燧)-土器(燧) |
| 190 | 3027.980 | 2562.216 | 3.451 | A7 | R19 | 土器(燧) |
| 191 | 3023.359 | 2564.384 | 3.232 | A7 | R20 | 土器(燧) |
| 192 | 30147.566 | 25629.689 | 3.535 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 193 | 30146.362 | 25624.544 | 3.529 | A7 | L12 | 土器(1期)-土器(燧)-土器(燧) |
| 194 | 30136.241 | 25634.997 | 3.683 | A7 | L18 | 貝類(ツブドリ) |
| 195 | 3026.311 | 2564.927 | 3.462 | L13 | 土器(燧) | |
| 196 | 3028.796 | 2564.747 | 3.602 | L13 | 土器(燧) | |
| 197 | 3028.277 | 2564.696 | 3.284 | L18 | 土器(1期)-土器(燧) | |
| 198 | 3026.120 | 2564.517 | 3.254 | L18 | 土器(燧) | |
| 199 | 30126.197 | 25640.920 | 3.200 | A7 | L17 | 貝類(ツブドリ) |
| 200 | 3026.876 | 2569.385 | 3.204 | M17 | 貝類(ツブドリ) | |
| 201 | 3023.678 | 2568.118 | 3.236 | A7 | R19 | 貝類(ツブドリ) |
| 202 | 3026.929 | 2565.806 | 2.914 | L18 | 375X | 骨(骨) |
| 203 | 3016.469 | 2568.329 | 3.189 | A7 | R14 | 土器(燧) |
| 204 | 3019.294 | 2569.205 | 2.469 | A7 | L14 | 貝類(燧) |
| 205 | 3018.629 | 2569.431 | 2.977 | A7 | L18 | 土器(燧) |
| 206 | 30145.585 | 25629.205 | 2.663 | A7 | L13 | 貝類(ツブドリ) |
| 207 | 3043.841 | 2567.231 | 3.184 | L13 | 土器(燧) | |
| 208 | 3044.389 | 2567.432 | 3.114 | L13 | 貝類(ツブドリ) | |
| 209 | 3044.244 | 2567.722 | 3.115 | L13 | 土器(燧) | |
| 210 | 3046.424 | 2562.262 | 3.414 | L12 | 貝類(ツブドリ) | |
| 211 | 3046.435 | 2563.467 | 3.235 | L12 | 土器(燧) | |
| 212 | 3044.196 | 2562.258 | 3.555 | L12 | 土器-土器(燧) | |
| 213 | 3049.957 | 2562.117 | 3.514 | L11 | 土器(燧) | |
| 214 | 3049.399 | 2562.936 | 3.477 | L11 | 土器(1期)-土器(燧) | |
| 215 | 3047.474 | 2562.260 | 3.815 | A7 | L11 | 土器(燧石)-土器(燧) |
| 216 | 3048.826 | 2568.112 | 3.235 | A7 | R13 | 土器 |
| 217 | 30144.528 | 25645.119 | 2.855 | A7 | R13 | 土器(燧石)-土器(燧) |
| 218 | 30143.145 | 25649.729 | 3.215 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 219 | 30146.695 | 25629.109 | 3.038 | A7 | R13 | 貝類(ツブドリ) |
| 220 | 3023.733 | 2568.251 | 2.871 | A7 | L19 | 土器(燧) |
| 221 | 3023.472 | 2568.675 | 3.242 | A7 | L16 | 土器(燧) |
| 222 | 30140.866 | 25648.713 | 2.936 | A7 | R18 | 土器(燧) |
| 223 | 3023.049 | 2564.332 | 2.982 | M18 | 土器(燧) | |
| 224 | 30112.898 | 25637.164 | 2.884 | A7 | C19 | 土器(燧) |
| 225 | 3027.866 | 25647.219 | 3.560 | A7 | L18 | 土器(燧) |

取上遺物一覧 (HB②イ地区)

| 取上 番号 | X | Y | Z | メサ グリ フ | 遺物 | 回数 |
|----------|----------|-----------|-------|---------------|-----|--------------------------|
| 9001 | 3033.422 | 25623.721 | 4.279 | A7 | R13 | 骨口 |
| 9002 | 3033.578 | 25621.948 | 4.258 | A7 | R13 | 土器(燧石)-土器(燧) |
| 9003 | 3033.047 | 25620.197 | 3.927 | A7 | L11 | 土器(燧) |
| 9004 | 3039.664 | 25628.919 | 4.398 | A7 | R13 | 骨口 |
| 9005 | 3037.550 | 25630.175 | 4.219 | A7 | R12 | 土器(燧) |
| 9006 | 3041.229 | 25619.096 | 4.347 | A7 | R10 | 骨口 |
| 9007 | 3041.236 | 25619.139 | 4.279 | A7 | R10 | 土器(1期)-土器(燧)-土器(燧)-土器(燧) |
| 9008 | 3041.133 | 25619.434 | 4.293 | A7 | R10 | 土器(燧) |
| 9009 | 3039.289 | 25628.326 | 4.335 | A7 | R13 | 土器(1期)-土器(燧)-土器(燧) |
| 9010 | 3033.689 | 25611.237 | 3.736 | A7 | L18 | 土器(燧石)-土器(燧) |
| 9011 | 3033.425 | 25629.807 | 3.951 | A7 | R12 | 土器(燧) |
| 9012 | 3033.766 | 25631.032 | 3.973 | A7 | R12 | 土器(燧) |
| 9013 | 3036.172 | 25630.503 | 4.000 | A7 | R12 | 土器(燧石) |
| 9014 | 3036.559 | 25631.141 | 4.006 | A7 | R12 | 土器(燧) |
| 9015 | 3032.239 | 25635.007 | 3.794 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9016 | 3033.263 | 25632.838 | 3.838 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9017 | 3033.480 | 25624.178 | 4.077 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9018 | 3033.489 | 25621.491 | 4.082 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9019 | 3033.641 | 25624.242 | 4.098 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9020 | 3033.966 | 25624.610 | 4.027 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9021 | 3033.828 | 25623.176 | 4.012 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9022 | 3034.467 | 25624.556 | 4.058 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9023 | 3034.524 | 25624.455 | 4.039 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9024 | 3034.690 | 25625.794 | 4.014 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9025 | 3033.973 | 25628.440 | 4.006 | A7 | R13 | 土器(燧)-土器(燧) |
| 9026 | 3034.820 | 25628.582 | 4.024 | A7 | R12 | 土器(燧) |
| 9027 | 3034.288 | 25628.356 | 3.986 | A7 | R12 | 土器(1期)-土器(燧) |
| 9028 | 3034.182 | 25628.331 | 3.948 | A7 | R12 | 土器 |
| 9029 | 3032.680 | 25629.394 | 3.914 | A7 | R12 | 土器(燧) |
| 9030 | 3031.794 | 25629.989 | 3.838 | A7 | R12 | 土器(燧) |
| 9031 | 3032.882 | 25626.811 | 3.832 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9032 | 3036.382 | 25629.932 | 4.039 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9033 | 3035.241 | 25629.111 | 4.017 | A7 | R12 | 土器(燧) |
| 9034 | 3033.998 | 25628.474 | 3.927 | A7 | R12 | 土器(燧石) |
| 9035 | 3036.967 | 25629.531 | 4.115 | A7 | R12 | 土器(燧) |
| 9036 | 3036.764 | 25627.290 | 4.230 | A7 | R12 | 土器(燧) |
| 9037 | 3034.891 | 25627.223 | 4.311 | A7 | R12 | 土器(1期)-土器(燧)-土器(燧) |
| 9038 | 3038.650 | 25627.043 | 4.125 | A7 | R13 | 土器(1期)-土器(燧) |
| 9039 | 3037.618 | 25627.392 | 4.112 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9040 | 3037.854 | 25627.112 | 4.054 | A7 | R13 | 石片 |
| 9041 | 3037.411 | 25628.239 | 4.060 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9042 | 3033.361 | 25619.157 | 3.796 | A7 | R13 | 土器(燧石) |
| 9043 | 3033.913 | 25619.258 | 3.714 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9044 | 3034.133 | 25620.247 | 3.736 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9045 | 3033.980 | 25619.487 | 3.749 | A7 | R13 | 土器(1期)-土器(燧)-土器(燧) |
| 9046 | 3033.227 | 25619.524 | 3.738 | A7 | R13 | 土器(燧) |
| 9047 | 3033.680 | 25619.316 | 3.794 | A7 | R10 | 土器(燧) |
| 9048 | 3037.323 | 25619.386 | 3.883 | A7 | R10 | 土器(燧) |
| 9049 | 3034.364 | 25617.399 | 3.832 | A7 | R10 | 貝類(ツブドリ) |
| 9050 | 3030.513 | 25611.198 | 3.902 | A7 | R10 | 土器(燧) |
| 9051 | 3037.200 | 25623.213 | 4.021 | A7 | R10 | 土器(燧) |
| 9052 | 3030.530 | 25622.198 | 4.140 | A7 | R10 | 土器(燧) |
| 9053 | 3040.676 | 25623.182 | 4.199 | A7 | R10 | 土器(燧) |
| 9054 | 3045.320 | 25623.783 | 3.993 | A7 | R10 | 土器(燧) |
| 9055 | 3033.980 | 25622.136 | 3.965 | A7 | R11 | 石片 |
| 9056 | 3033.366 | 25623.932 | 4.038 | A7 | R11 | 土器(燧) |
| 9057 | 3045.588 | 25624.074 | 4.030 | A7 | R11 | 土器(燧) |
| 9058 | 3037.718 | 25623.929 | 4.040 | A7 | R11 | 土器(燧) |
| 9059 | 3037.690 | 25623.736 | 4.021 | A7 | R11 | 土器(燧) |
| 9060 | 3036.966 | 25623.527 | 4.040 | A7 | R11 | 土器(燧石)-土器(燧) |
| 9061 | 3036.252 | 25623.697 | 4.017 | A7 | R11 | 土器(燧) |
| 9062 | 3037.238 | 25628.569 | 4.019 | A7 | R11 | 土器(燧石)-土器(燧) |
| 9063 | 3037.093 | 25627.974 | 4.013 | A7 | R11 | 土器(燧) |
| 9064 | 3039.683 | 25625.390 | 4.228 | A7 | R11 | 土器(燧)-土器(燧) |
| 9065 | 3039.222 | 25628.313 | 4.280 | A7 | R11 | 土器(燧) |
| 9066 | 3041.967 | 25623.260 | 3.813 | A7 | R11 | 土器(燧) 取0982共同書庫 |
| 9067 | 3033.998 | 25631.416 | 3.868 | A7 | R11 | 土器 |
| 9068 | 3038.126 | 25632.012 | 3.811 | A7 | R11 | 土器(燧) |
| 9069 | 3033.282 | 25632.244 | 3.889 | A7 | R11 | 土器(燧) |
| 9070 | 3033.082 | 25632.373 | 3.725 | A7 | R11 | 土器(1期)-土器(燧) |
| 9071 | 3033.384 | 25632.766 | 3.844 | A7 | R11 | 土器(燧) |
| 9072 | 3033.683 | 25632.485 | 3.833 | A7 | R11 | 土器(燧) |
| 9073 | 3031.761 | 25631.047 | 3.842 | A7 | R12 | 土器(1期)-土器(燧) |
| 9074 | 3043.378 | 25630.325 | 3.814 | A7 | R12 | 土器(燧) |
| 9075 | 3033.779 | 25630.198 | 3.832 | A7 | R12 | 土器(燧石) |

第2表-3 取上遺物一覧 (HB②イ地区)

| 取上 番号 | X | Y | Z | 方位 グッド | 遺構名 | 遺物 | 回数号 | 取上 番号 | X | Y | Z | 方位 グッド | 遺構名 | 遺物 | 回数号 |
|----------|----------|----------|-------|-----------|---------------------------------|----|------------------------------|----------|----------|-----------|-------|-----------|---------------------------------|----|---|
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1076 | 3053.033 | 2808.020 | 2.827 | A2 | 土壁(乳) | | 第3018号 | 1149 | 3039.084 | 2856.000 | 4.403 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3018号 |
| 1077 | 3054.339 | 2836.047 | 3.840 | A2 | 土壁(遺構) | | 第3019号 | 1150 | 3035.558 | 2853.277 | 2.775 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3019号 |
| 1078 | 3054.063 | 2829.911 | 2.888 | A2 | 土壁(1期) | | 第3020号 | 1151 | 3034.867 | 2853.111 | 3.279 | A3 | 土壁(1期) | | 第3020号 |
| 1079 | 3054.661 | 2829.441 | 2.992 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3021号 | 1152 | 3036.020 | 2853.100 | 2.984 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3021号 |
| 1080 | 3054.989 | 2829.994 | 2.886 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3022号 | 1153 | 3032.628 | 2853.642 | 3.217 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3022号 |
| 1081 | 3054.485 | 2830.305 | 3.865 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3023号 | 1154 | 3032.517 | 2853.495 | 3.780 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3023号 |
| 1082 | 3053.667 | 2829.237 | 2.968 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3024号 | 1155 | 3039.985 | 2855.074 | 3.984 | A3 | 土壁(1期・2期 遺構) 敷1148号-1遺構 | | 第3024号 |
| 1083 | 3055.290 | 2832.116 | 3.876 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3025号 | 1156 | 3053.738 | 2863.841 | 3.731 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3025号 |
| 1084 | 3053.215 | 2832.042 | 2.870 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3026号 | 1157 | 3033.888 | 2863.839 | 3.750 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3026号 |
| 1085 | 3030.482 | 2853.190 | 3.74 | A3 | 土壁(1期・2期) 敷1124・1125-1遺構 | | 第3027号 | 1158 | 3054.941 | 2863.037 | 3.789 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3027号 |
| 1086 | 3051.263 | 2852.198 | 2.516 | A2 | 土壁(遺構) | | 第3028号 | 1159 | 3053.214 | 28629.535 | 2.854 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3028号 |
| 1087 | 3051.297 | 2842.872 | 2.858 | A2 | 土壁(1期) | | 第3029号 | 1160 | 3048.229 | 28629.074 | 2.782 | A2 | 土壁(遺構) | | 第3029号 |
| 1088 | 3053.629 | 2858.220 | 3.876 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3030号 | 1161 | 3056.466 | 2868.023 | 3.884 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3030号 |
| 1089 | 3054.585 | 2857.020 | 2.943 | A2 | 土壁(遺構) | | 第3031号 | 1162 | 3057.609 | 2869.479 | 2.880 | A3 | 土壁(1期・2期 遺構) | | 第3031号 |
| 1090 | 3054.877 | 2853.041 | 3.525 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3032号 | 1163 | 3059.284 | 2868.790 | 4.280 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3032号 |
| 1091 | 3054.121 | 2853.461 | 2.941 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3033号 | 1164 | 3052.272 | 2863.611 | 3.232 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3033号 |
| 1092 | 3053.128 | 2853.342 | 3.978 | A3 | 土壁(1期) | | 第3034号 | 1165 | 3053.187 | 2868.911 | 3.889 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3034号 |
| 1093 | 3056.467 | 2829.097 | 4.043 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3035号 | 1166 | 3052.851 | 2864.784 | 3.786 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3035号 |
| 1094 | 3056.343 | 2848.175 | 4.643 | A3 | 石野(遺構) | | 第3036号 | 1167 | 3059.375 | 2862.086 | 3.688 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3036号 |
| 1095 | 3056.065 | 2827.661 | 3.903 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3037号 | 1168 | 3056.260 | 2864.372 | 3.681 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3037号 |
| 1096 | 3058.712 | 2828.664 | 4.160 | A3 | 土壁(1期・2期 遺構) | | 第3038号 | 1169 | 3052.298 | 2864.878 | 3.707 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3038号 |
| 1097 | 3057.635 | 2827.280 | 4.616 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3039号 | 1170 | 3058.951 | 2862.466 | 3.679 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3039号 |
| 1098 | 3053.317 | 2825.896 | 3.537 | A3 | 石野(遺構) | | 第3040号 | 1171 | 3053.831 | 2862.309 | 3.213 | A3 | 石野(中央部分) | | 第3040号 |
| 1099 | 3048.031 | 2848.221 | 4.140 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3041号 | 1172 | 3053.635 | 2861.965 | 3.688 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3041号 |
| 1100 | 3053.237 | 2842.200 | 2.716 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3042号 | 1173 | 3052.985 | 2861.825 | 3.693 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1123号-1遺構 第3042号 |
| 1101 | 3051.635 | 2827.136 | 2.818 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3043号 | 1174 | 3056.966 | 2865.646 | 3.889 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3043号 |
| 1102 | 3051.790 | 2827.588 | 2.822 | A3 | 石野(石野) | | 第3044号 | 1175 | 3052.854 | 2861.284 | 3.172 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3044号 |
| 1103 | 3058.781 | 2827.054 | 4.145 | A3 | 石野(遺構) | | 第3045号 | 1176 | 3056.588 | 2862.823 | 3.491 | A3 | 石野(遺構) | | 第3045号 |
| 1104 | 3054.588 | 2838.173 | 3.792 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1121号-1遺構 第3046号 | 1177 | 3053.872 | 2861.383 | 3.374 | A3 | 土壁(1期・2期) 敷1178号-1遺構 敷1179号-1遺構 | | 第3046号 |
| 1105 | 3053.796 | 2838.199 | 3.774 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3047号 | 1178 | 3053.880 | 2861.381 | 3.367 | A3 | 土壁(1期) | | 敷1172号-1遺構 第3048号 |
| 1106 | 3054.261 | 2838.791 | 3.865 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3048号 | 1179 | 3053.079 | 2861.381 | 3.430 | A3 | 土壁(1期) | | 敷1172号-1遺構 第3049号 |
| 1107 | 3054.171 | 2838.791 | 3.775 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3049号 | 1180 | 3052.247 | 2861.845 | 3.644 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1172号-1遺構 第3050号 |
| 1108 | 3053.576 | 2851.306 | 3.722 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1140号-1遺構 第3051号 | 1181 | 3051.244 | 2862.138 | 3.612 | A3 | 石野(遺構) | | 敷1140号 |
| 1109 | 3053.586 | 2829.591 | 3.873 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3052号 | 1182 | 3052.654 | 2862.138 | 3.612 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1140号 |
| 1110 | 3058.250 | 2827.709 | 4.698 | A3 | 土壁(1期・2期) 敷1178号-1遺構 敷1179号-1遺構 | | 第3053号 | 1183 | 3052.527 | 2862.254 | 3.794 | A3 | 土壁(1期) | | 敷1140号 |
| 1111 | 3053.295 | 2827.938 | 4.046 | A3 | 土壁(1期) | | 第3054号 | 1184 | 3051.295 | 2868.489 | 3.717 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1140号 |
| 1112 | 3054.637 | 2825.599 | 3.600 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3055号 | 1185 | 3053.275 | 2861.231 | 3.232 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1140号 |
| 1113 | 3056.437 | 2829.680 | 4.042 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3056号 | 1186 | 3051.245 | 2862.114 | 3.595 | A3 | 土壁(1期) | | 第3056号 |
| 1114 | 3057.238 | 2829.885 | 3.954 | A2 | 石野(遺構) | | 第3057号 | 1187 | 3052.031 | 2862.182 | 3.714 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3057号 |
| 1115 | 3057.331 | 2829.898 | 4.154 | A3 | 土壁(1期 遺構) | | 第3058号 | 1188 | 3051.549 | 2861.955 | 3.628 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3058号 |
| 1116 | 3057.331 | 2829.898 | 4.154 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1122号-1遺構 第3059号 | 1189 | 3051.938 | 2862.331 | 3.839 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1122号-1遺構 第3060号 |
| 1117 | 3057.444 | 2829.982 | 3.489 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3061号 | 1190 | 3051.137 | 2862.676 | 3.643 | A3 | 土壁(1期) | | 第3061号 |
| 1118 | 3054.343 | 2858.347 | 4.810 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3062号 | 1191 | 3051.525 | 2862.497 | 3.610 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3062号 |
| 1119 | 3058.491 | 2828.599 | 3.921 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3063号 | 1192 | 3051.247 | 2862.628 | 3.688 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3063号 |
| 1120 | 3055.911 | 2821.246 | 2.836 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3064号 | 1193 | 3052.587 | 2868.096 | 3.747 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3064号 |
| 1121 | 3054.621 | 2828.832 | 3.768 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3065号 | 1194 | 3052.147 | 2862.324 | 3.645 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3065号 |
| 1122 | 3058.088 | 2828.556 | 3.881 | A2 | 土壁(遺構) | | 第3066号 | 1195 | 3052.246 | 2862.802 | 3.849 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3066号 |
| 1123 | 3055.031 | 2828.405 | 3.989 | A2 | 土壁(遺構) | | 敷1127号-1遺構 第3067号 | 1196 | 3051.428 | 2862.568 | 3.703 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3067号 |
| 1124 | 3055.898 | 2830.224 | 2.982 | A3 | 土壁(遺構) | | 第3068号 | 1197 | 3055.985 | 2861.433 | 3.694 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1127号-1遺構 第3068号 |
| 1125 | 3053.827 | 2829.979 | 2.854 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号-1遺構 第3069号 | 1198 | 3051.988 | 2868.198 | 3.682 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 |
| 1126 | 3056.029 | 2828.706 | 4.879 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1106号 第3070号 | 1199 | 3051.061 | 2861.075 | 3.242 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1106号 |
| 1127 | 3057.361 | 2827.210 | 3.884 | A3 | 土壁(1期) | | 敷1107号-1遺構 敷1108号-1遺構 第3071号 | 1200 | 3053.198 | 2862.970 | 3.740 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1107号-1遺構 敷1108号-1遺構 敷1109号-1遺構 第3072号 |
| 1128 | 3052.281 | 2862.262 | 3.815 | A3 | 石野(遺構) | | 敷1108号-1遺構 第3073号 | 1201 | 3053.388 | 2863.061 | 3.722 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1108号-1遺構 第3073号 |
| 1129 | 3053.990 | 2861.913 | 3.794 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1108号-1遺構 第3074号 | 1202 | 3057.617 | 2861.276 | 3.714 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1108号-1遺構 敷1109号-1遺構 敷1110号-1遺構 第3075号 |
| 1130 | 3052.428 | 2828.892 | 3.749 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 第3076号 | 1203 | 3057.427 | 2861.727 | 3.798 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1108号-1遺構 敷1109号-1遺構 敷1110号-1遺構 第3076号 |
| 1131 | 3053.557 | 2851.642 | 3.933 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 第3077号 | 1204 | 3056.713 | 2861.813 | 3.826 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 敷1110号-1遺構 第3078号 |
| 1132 | 3053.815 | 2851.269 | 3.881 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 第3078号 | 1205 | 3051.500 | 2861.853 | 3.613 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 敷1110号-1遺構 第3079号 |
| 1133 | 3055.544 | 2851.013 | 3.868 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 第3079号 | 1206 | 3053.808 | 2862.610 | 3.733 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 敷1110号-1遺構 第3080号 |
| 1134 | 3055.034 | 2858.742 | 3.851 | A2 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 第3081号 | 1207 | 3051.299 | 2861.198 | 3.658 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 敷1110号-1遺構 第3082号 |
| 1135 | 3054.914 | 2858.742 | 3.851 | A2 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 第3083号 | 1208 | 3055.722 | 2861.729 | 3.792 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 敷1110号-1遺構 第3084号 |
| 1136 | 3057.238 | 2849.378 | 2.917 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 第3085号 | 1209 | 3055.025 | 2861.821 | 3.682 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 敷1110号-1遺構 敷1110号-1遺構 敷1112号-1遺構 敷1113号-1遺構 敷1114号-1遺構 敷1115号-1遺構 敷1116号-1遺構 敷1117号-1遺構 敷1118号-1遺構 敷1119号-1遺構 第3086号 |
| 1137 | 3058.428 | 2852.912 | 4.074 | A3 | 石野(遺構) | | 敷1105号 第3087号 | 1210 | 3051.818 | 2868.478 | 3.793 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 敷1110号-1遺構 敷1110号-1遺構 敷1112号-1遺構 敷1113号-1遺構 敷1114号-1遺構 敷1115号-1遺構 敷1116号-1遺構 敷1117号-1遺構 敷1118号-1遺構 敷1119号-1遺構 第3087号 |
| 1138 | 3058.061 | 2852.732 | 4.017 | A3 | 石野(遺構) | | 敷1105号 第3088号 | 1211 | 3054.524 | 2861.866 | 3.613 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 敷1110号-1遺構 敷1110号-1遺構 敷1112号-1遺構 敷1113号-1遺構 敷1114号-1遺構 敷1115号-1遺構 敷1116号-1遺構 敷1117号-1遺構 敷1118号-1遺構 敷1119号-1遺構 第3088号 |
| 1139 | 3058.514 | 2858.067 | 4.033 | A3 | 土壁(1期・2期) | | 敷1105号 第3089号 | 1212 | 3054.414 | 2862.150 | 3.613 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 敷1110号-1遺構 敷1110号-1遺構 敷1112号-1遺構 敷1113号-1遺構 敷1114号-1遺構 敷1115号-1遺構 敷1116号-1遺構 敷1117号-1遺構 敷1118号-1遺構 敷1119号-1遺構 第3089号 |
| 1140 | 3056.630 | 2858.067 | 4.019 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 第3090号 | 1213 | 3053.805 | 2861.985 | 3.688 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 敷1110号-1遺構 敷1110号-1遺構 敷1112号-1遺構 敷1113号-1遺構 敷1114号-1遺構 敷1115号-1遺構 敷1116号-1遺構 敷1117号-1遺構 敷1118号-1遺構 敷1119号-1遺構 第3091号 |
| 1141 | 3056.822 | 2858.972 | 3.685 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 第3091号 | 1214 | 3053.961 | 2861.965 | 3.772 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 敷1110号-1遺構 敷1110号-1遺構 敷1112号-1遺構 敷1113号-1遺構 敷1114号-1遺構 敷1115号-1遺構 敷1116号-1遺構 敷1117号-1遺構 敷1118号-1遺構 敷1119号-1遺構 第3092号 |
| 1142 | 3056.928 | 2858.925 | 3.745 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 第3092号 | 1215 | 3058.170 | 2861.678 | 3.793 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 敷1110号-1遺構 敷1110号-1遺構 敷1112号-1遺構 敷1113号-1遺構 敷1114号-1遺構 敷1115号-1遺構 敷1116号-1遺構 敷1117号-1遺構 敷1118号-1遺構 敷1119号-1遺構 第3093号 |
| 1143 | 3053.384 | 2851.984 | 3.763 | A3 | 土壁(遺構) | | 敷1105号 第3093号 | 1216 | 3051.670 | 2861.987 | | | | | |

第2表-4 取上遺物一覧(HB②イ地区)

| 取上 番号 | X | | Y | 大 塚 群 | 遺物名 | 遺物 | 調査号 | 取上 番号 | X | | Y | 大 塚 群 | 遺物名 | 遺物 | 調査号 |
|----------|-----------|-----------|-------|-------------|-----|--|------------------|----------|-------------|-----------|-------|-------------|-----|--------------------|----------------|
| | 1 | 2 | | | | | | | 1 | 2 | | | | | |
| 1224 | 36152.122 | 36148.123 | 4.816 | AJ | 111 | 骨(珞) | | 1296 | 36153.479 | 36149.736 | 3.258 | AJ | 111 | 石製(白) | |
| 1225 | 36153.411 | 36148.812 | 4.472 | AJ | 110 | 土器(1段) | | 1297 | 36153.268 | 36148.303 | 3.514 | AJ | 110 | 土器(1段) | |
| 1226 | 36154.069 | 36147.959 | 4.477 | AJ | 110 | 骨(臼) | | 1298 | 36152.935 | 36145.977 | 4.803 | AJ | 110 | 骨(臼) | |
| 1227 | 36154.828 | 36138.197 | 3.762 | AJ2 | | 骨(珞) | | 1299 | 36152.792 | 36146.188 | 3.488 | AJ | 110 | 骨(臼) | |
| 1228 | 36154.605 | 36149.678 | 5.513 | AJ | K11 | 貝製品(骨+木)群 | 第340338 | 1300 | 36152.685 | 36145.859 | 3.459 | AJ | 110 | 土器(1段) | |
| 1229 | 36157.051 | 36146.284 | 3.636 | AJ | K10 | 土器(1段) 1期: 横: 直線 | 第360303 | 1301 | 36154.614 | 36147.323 | 3.803 | AJ | 110 | 土(竹+骨)群 | |
| 1230 | 36157.062 | 36146.723 | 3.685 | AJ | K10 | 土器(1段) | 第3187 | 1302 | 36152.428 | 36149.569 | 3.366 | AJ2 | | 骨(珞) | |
| 1231 | 36153.044 | 36149.327 | 3.430 | AJ | K11 | 貝製品(骨)群 | 第403204 | 1303 | 36151.972 | 36149.826 | 3.329 | AJ2 | | 骨(珞) | |
| 1232 | 36153.136 | 36147.838 | 3.274 | AJ | 110 | 土器(直線) | 第480133 | 1304 | 36151.517 | 36149.174 | 3.338 | AJ2 | | 骨(珞) | |
| 1233 | 36153.273 | 36145.368 | 3.386 | AJ | 110 | 土器(1段) 1期: 直: 直線 | 第37004 | 1305 | 36150.845 | 36149.283 | 3.515 | AJ3 | | 骨(珞) | |
| 1234 | 36152.067 | 36145.898 | 3.211 | AJ | 110 | 貝製品(骨+骨)群 | 第470335 | 1306 | 381.051.288 | 36149.739 | 3.345 | AJ | 113 | 土器(1段) 直: 直線: 直線 | 取上7 第340367 |
| 1235 | 36154.477 | 36146.228 | 3.227 | AJ | 110 | 土器(1期) 直: 直線 | 第31203 | 1307 | 36152.276 | 36145.796 | 3.423 | AJ | 110 | 土器(直線) | |
| 1236 | 36152.569 | 36146.546 | 3.447 | AJ | 110 | 土器(直線: 直線) | 第600508 | 1308 | 36152.329 | 36146.194 | 3.330 | AJ2 | 110 | 土器(直線) | |
| 1237 | 36154.506 | 36127.287 | 2.449 | AJ | 110 | 土器(直線) | 第600505 | 1309 | 36154.692 | 36146.619 | 3.466 | AJ | 110 | 土器(直線) | |
| 1238 | 36150.719 | 36154.459 | 4.448 | AJ2 | K12 | 土器(直線) 骨(骨)群 | | 1310 | 36153.42 | 36146.332 | 3.407 | AJ | 110 | 土器(直線)+貝製品(骨)群 | 第403213 |
| 1239 | 36157.149 | 36158.796 | 4.642 | AJ2 | ベタル | 石材 | | 1311 | 36154.749 | 36145.290 | 3.203 | AJ | 110 | 土器(直線) | |
| 1240 | 36156.487 | 36159.819 | 4.699 | AJ2 | ベタル | 土器(赤土) 直: 1107-1117-1210-1243-1252と同一様 | 第340361 | 1312 | 36153.292 | 36146.183 | 3.388 | AJ | 110 | 土器(直線) | |
| 1241 | 36153.467 | 36158.513 | 3.865 | AJ2 | ベタル | 土器(赤土) | | 1313 | 36151.359 | 36146.824 | 3.233 | AJ3 | 110 | 土器(1段) | |
| 1242 | 36157.270 | 36158.287 | 3.892 | AJ | J11 | 土器(直線) 直: 1252と同一様 | 第440103 | 1314 | 36153.575 | 36146.318 | 3.218 | AJ | 110 | 土器(1段) | |
| 1243 | 36156.361 | 36159.590 | 3.944 | AJ | J11 | ベタル 土器(赤土: 1期- 3期) 直: 1107-1117-1210-1240-1243と同一様 (横) | 第30001 第30002 | 1315 | 36153.135 | 36146.188 | 3.172 | AJ | 110 | 土器(直線) | |
| 1244 | 36156.465 | 36157.284 | 3.746 | AJ | J11 | 土器(直線) 骨(骨)群 | | 1316 | 36150.949 | 36147.678 | 3.838 | AJ | 109 | 骨(珞) | |
| 1245 | 36151.478 | 36154.464 | 3.336 | AJ2 | K12 | 土器(直線: 直線) | 第70361 | 1317 | 36152.605 | 36147.886 | 3.355 | AJ2 | | 骨(珞) | |
| 1246 | 36150.412 | 36154.313 | 3.862 | AJ2 | K12 | 土器(直線: 骨)群 | | 1318 | 36150.327 | 36148.815 | 3.666 | AJ3 | 109 | 土器(直線) | |
| 1247 | 36154.628 | 36153.344 | 3.436 | AJ | K11 | 土器(直線) 貝製品(骨)群 | 第760362 | 1319 | 36152.182 | 36148.758 | 3.301 | AJ | K12 | 磁石(土器: 1段) | |
| 1248 | 36155.183 | 36153.653 | 3.536 | AJ | K11 | 土器(直線) | 骨(骨)群 | 1320 | 36153.343 | 36148.175 | 3.651 | AJ | 110 | 骨(珞) | |
| 1249 | 36155.666 | 36156.747 | 3.474 | AJ | J11 | 土器(直線) | 石材 | 1321 | 36153.467 | 36148.834 | 3.464 | AJ | 111 | 骨(珞) | |
| 1250 | 36153.543 | 36152.553 | 3.575 | AJ | K11 | 土器(直線) 直線 | | 1322 | 36150.872 | 36148.833 | 3.684 | AJ | K11 | 土器(1段) | |
| 1251 | 36156.015 | 36156.781 | 3.665 | AJ | K11 | 骨(珞) | | 1323 | 36151.943 | 36147.229 | 3.304 | AJ | K12 | 磁石(土器: 直線) | |
| 1252 | 36151.363 | 36153.919 | 3.191 | AJ | K12 | 土器(直線) | 骨(骨)群 | 1324 | 36155.548 | 36147.370 | 3.356 | AJ | K10 | 土器(直線) | |
| 1253 | 36152.462 | 36158.679 | 3.253 | AJ2 | K12 | 土器(直線) | 骨(骨)群 | 1325 | 36156.248 | 36148.898 | 3.368 | AJ | K10 | 貝(骨)群 | |
| 1254 | 36152.485 | 36155.089 | 3.264 | AJ2 | K12 | 土器(直線) | 骨(骨)群 | 1326 | 36155.242 | 36148.782 | 3.431 | AJ | K11 | 土器(直線) | |
| 1255 | 36153.234 | 36152.112 | 3.239 | AJ2 | K12 | 土器(直線) | 骨(骨)群 | 1327 | 36151.673 | 36149.235 | 3.573 | AJ | 109 | 骨(珞) | |
| 1256 | 36153.046 | 36155.768 | 3.322 | AJ2 | K12 | 土器(直線) | 骨(骨)群 | 1328 | 36154.169 | 36147.346 | 3.296 | AJ | K11 | 土器(1段) 直: 1212と同一様 | 第340356 |
| 1257 | 36152.949 | 36156.325 | 3.259 | AJ2 | K12 | 土器(直線) | 骨(骨)群 | 1329 | 36153.249 | 36148.875 | 3.255 | AJ3 | K11 | 土器(直線) | |
| 1258 | 36151.728 | 36157.187 | 3.267 | AJ2 | K12 | 土器(直線) | 骨(骨)群 | 1330 | 36153.437 | 36148.491 | 3.353 | AJ | K11 | 土器(直線) | |
| 1259 | 36152.713 | 36157.496 | 3.376 | AJ2 | K12 | 土器(直線) | 骨(骨)群 | 1331 | 36153.465 | 36148.276 | 3.263 | AJ | K10 | 土器(1段) | 第340369 |
| 1260 | 36153.848 | 36157.324 | 3.889 | AJ | J12 | 土器(直線) | 骨(骨)群 | 1332 | 36153.807 | 36146.188 | 3.438 | AJ | 110 | 土器(直線) | |
| 1261 | 36156.148 | 36158.746 | 3.719 | AJ2 | ベタル | 土器 | | 1333 | 36152.962 | 36146.152 | 3.179 | AJ | 110 | 土器(直線) | |
| 1262 | 36154.122 | 36152.844 | 3.616 | AJ | K11 | 土器(直線) | | 1334 | 36153.411 | 36146.777 | 3.182 | AJ | 110 | 土器(直線) | |
| 1263 | 36155.992 | 36158.784 | 3.657 | AJ | K11 | 骨(珞) | | 1335 | 36152.156 | 36148.382 | 3.253 | AJ | K11 | 骨(珞) | |
| 1264 | 36156.161 | 36159.842 | 3.842 | AJ | K10 | 土器(1段) | | 1336 | 36153.488 | 36148.678 | 3.303 | AJ | K11 | 骨(珞) | |
| 1265 | 36159.509 | 36148.177 | 3.847 | AJ | K10 | 土器(1段) | | 1337 | 36153.414 | 36146.119 | 3.122 | AJ | K10 | 貝製品(骨)群 | |
| 1266 | 36159.369 | 36149.142 | 3.859 | AJ | K10 | 土器(1段) | | 1341 | 36154.197 | 36149.889 | 3.225 | AJ | 110 | 土器(直線) | |
| 1267 | 36157.224 | 36149.534 | 3.752 | AJ | K10 | 骨(骨)群 | | 1342 | 36156.113 | 36147.192 | 3.279 | AJ | K10 | 土器(1段) | |
| 1268 | 36151.052 | 36149.889 | 3.553 | AJ | L11 | 貝(骨)群 | | 1343 | 36153.648 | 36146.863 | 3.363 | AJ | 110 | 骨(珞) | |
| 1269 | 36151.569 | 36149.716 | 3.299 | AJ | L11 | 貝(骨)群 | | 1344 | 36153.435 | 36148.257 | 3.255 | AJ | K11 | 土器(直線) | |
| 1270 | 36154.813 | 36146.092 | 3.486 | AJ | 110 | 貝 | | 1345 | 36152.698 | 36148.719 | 3.345 | AJ | K11 | 土器(1段) | |
| 1271 | 36152.689 | 36148.833 | 3.226 | AJ | L11 | 土器(直線) 直線: 直線 | 第318173 | 1346 | 36158.675 | 36148.841 | 3.428 | AJ | K11 | 骨(珞) | |
| 1272 | 36152.119 | 36152.949 | 3.339 | AJ | K11 | 土器(直線) | | 1347 | 36153.909 | 36148.968 | 3.347 | AJ2 | | 骨(珞) | |
| 1273 | 36153.891 | 36153.888 | 3.386 | AJ | K11 | 貝製品(骨)群 | | 1348 | 36157.282 | 36147.803 | 3.387 | AJ | K10 | 土器(1段) | |
| 1274 | 36156.237 | 36147.383 | 3.672 | AJ | K10 | 骨(珞) | | 1349 | 36156.629 | 36146.851 | 3.251 | AJ | K10 | 土器(1段) | 第340369 |
| 1275 | 36155.087 | 36152.839 | 3.546 | AJ | K11 | 貝製品(骨)群 | | 1350 | 36154.363 | 36146.531 | 3.119 | AJ | 110 | 土器(1段) | |
| 1276 | 36159.486 | 36152.217 | 3.882 | AJ | J09 | 骨(珞) | | 1351 | 36154.571 | 36146.888 | 3.089 | AJ | 110 | 骨(珞) | |
| 1277 | 36160.713 | 36152.882 | 3.883 | AJ | J09 | 骨(珞) | | 1352 | 36154.696 | 36148.569 | 3.207 | AJ | K10 | 土器(直線) | |
| 1278 | 36161.467 | 36152.661 | 3.974 | AJ | J09 | 土器(1段) | | 1353 | 36155.992 | 36148.811 | 3.193 | AJ | K10 | 土器(直線) | |
| 1279 | 36161.899 | 36153.294 | 3.911 | AJ | J09 | 土器(1段) | | 1354 | 36155.257 | 36148.688 | 3.198 | AJ | K10 | 骨(珞) | |
| 1280 | 36152.894 | 36150.811 | 3.299 | AJ | K11 | 土器(直線) | 第608209 | 1355 | 36152.859 | 36148.817 | 3.217 | AJ | K10 | 土器(直線) | |
| 1281 | 36160.842 | 36148.852 | 3.813 | AJ | J09 | 土器(1段) | | 1356 | 36153.503 | 36148.435 | 3.228 | AJ | K10 | 土器(直線) | |
| 1282 | 36155.223 | 36148.856 | 3.381 | K10 | K10 | 土器 | | 1357 | 36155.993 | 36148.907 | 3.273 | AJ | K10 | 骨(珞) | |
| 1283 | 36153.479 | 36152.083 | 3.453 | AJ | K11 | 骨(骨)群 直: 1107-1210-1240-1243と同一様 | 第340361 | 1358 | 36159.592 | 36148.686 | 3.459 | AJ | J09 | 骨(珞) | |
| 1284 | 36162.568 | 36152.119 | 3.269 | AJ | K11 | 骨(珞) | | 1359 | 36157.964 | 36148.146 | 3.339 | AJ | K10 | 土器(1段) 直: 1252と同一様 | 第340362 |
| 1285 | 36162.538 | 36152.897 | 3.261 | AJ | K11 | 骨(珞) | | 1360 | 36156.272 | 36148.589 | 3.188 | AJ | 110 | 土器(1段) | |
| 1286 | 36162.637 | 36152.823 | 3.311 | AJ | K11 | 骨(珞) | | 1361 | 36157.859 | 36148.272 | 3.270 | AJ | 110 | 骨(珞) | |
| 1287 | 36161.432 | 36156.346 | 2.625 | AJ | J09 | 骨(珞) | | 1362 | 36157.767 | 36148.619 | 3.268 | AJ | 110 | 骨(珞) | |
| 1288 | 36160.195 | 36152.147 | 3.794 | AJ | J09 | 土器(直線) | 第440101 | 1363 | 36159.508 | 36148.226 | 3.329 | AJ | 110 | 土器(1段) | 第340375 |
| 1289 | 36160.323 | 36149.794 | 3.512 | AJ | K10 | 骨(珞) | | 1364 | 36155.413 | 36148.298 | 3.189 | AJ | 110 | 土器 | |
| 1290 | 36160.524 | 36149.796 | 3.389 | AJ | K10 | 骨(珞) | | 1365 | 36158.267 | 36148.687 | 3.119 | AJ | 110 | 土器(1段) | |
| 1291 | 36160.569 | 36149.819 | 3.245 | AJ | J09 | 骨(珞) | | 1366 | 36155.233 | 36148.417 | 3.629 | AJ | K10 | 骨(珞) | |
| 1292 | 36156.563 | 36148.902 | 3.442 | AJ | K11 | 貝製品(骨)群 | | 1367 | 36154.687 | 36148.186 | 3.158 | AJ | K10 | 土器(1段) | |
| 1293 | 36155.761 | 36152.899 | 3.539 | AJ | K11 | 土器(直線) | 直: 1252と同一様 | 1368 | 36160.262 | 36148.126 | 3.279 | AJ | J09 | 土器(直線) | |
| 1294 | 36161.473 | 36153.416 | 3.496 | AJ | K11 | 土器(直線) | 第440103 | 1369 | 36159.863 | 36148.992 | 3.329 | AJ | J09 | 土器(直線) | 第340368 |
| 1295 | 36162.551 | 36153.228 | 3.344 | AJ | K11 | 骨(珞) | 第340368 | 1370 | 36158.727 | 36148.434 | 3.636 | AJ | 110 | 土器(直線) | |
| | | | | | | | | 1371 | 36159.713 | 36148.439 | 3.130 | AJ | K10 | 土器(直線) | |

第2表-5 取上遺物一覧 (HB②イ地区)

| 取上 番号 | X | Y | Z | 大 ア ジ ア ジ | ア ジ ア ジ | 遺構名 | 遺物 | 図番号 |
|----------|-----------|-----------|-------|-----------------------|------------------|---------------|----------------------|---------|
| 1372 | 36154.786 | 25628.673 | 2.618 | AJ | J12 | 溝(石作り) | | |
| 1373 | 36153.043 | 25628.802 | 2.530 | AJ | J12 | 土層(1層) | 数120と同層一様 | 第40図B |
| 1374 | 36150.905 | 25628.409 | 2.270 | AJ | K12 | 土層(敷層) | | 第47図B3 |
| 1375 | 36150.525 | 25628.394 | 2.600 | AJ | J12 | 溝(石作り) | | |
| 1376 | 36154.724 | 25629.064 | 2.820 | AJ | J12 | 溝(石作り) | | |
| 1377 | 36154.020 | 25628.761 | 2.360 | AJ | J12 | 溝(石作り) | | |
| 1378 | 36163.725 | 25636.794 | 4.263 | AJ | K9 | 1000S 土層(敷層) | | 第70図B7 |
| 1379 | 36161.406 | 25634.447 | 2.382 | AJ | K9 | 1000S 土層(敷層) | | |
| 1380 | 36159.420 | 25632.299 | 2.300 | AJ | K9 | 1000S 土層(敷層) | | |
| 1381 | 36165.225 | 25638.182 | 2.958 | AJ | K9 | 1042SX 土層(敷層) | | 第42図B1 |
| 1382 | 36164.420 | 25632.925 | 4.419 | AJ | J9 | 1000S 土層(敷層) | | 第43図B9 |
| 1383 | 36164.247 | 25633.923 | 2.728 | AJ | J9 | 1000S 土層(敷層) | | 第43図B9 |
| 1384 | 36162.817 | 25637.234 | 2.640 | AJ | K9 | 1000S 土層(敷層) | | |
| 1385 | 36162.042 | 25635.874 | 4.405 | AJ | K9 | 1000S 土層(敷層) | | |
| 1386 | 36162.174 | 25634.445 | 2.522 | AJ | K9 | 1042SX 土層(1層) | | |
| 1387 | 36163.784 | 25634.126 | 2.506 | AJ | K8 | 土層(1層) | | 第33図B29 |
| 1388 | 36164.060 | 25634.129 | 2.489 | AJ | K8 | 土層(1層) | 同一層様 | 第33図B29 |
| 1389 | 36164.535 | 25633.951 | 2.978 | AJ | K8 | 土層(1層) | | 第33図B29 |
| 1390 | 36164.960 | 25637.845 | 2.749 | AJ | J9 | 土層(1層) | | 第33図B41 |
| 1391 | 36163.929 | 25637.150 | 2.619 | AJ | J9 | 1042SX 土層(1層) | 数1401-1402-1408と同層一様 | 第33図B41 |
| 1392 | 36162.944 | 25637.289 | 2.392 | AJ | J9 | 土層(1層) | | 第33図B41 |
| 1393 | 36162.932 | 25638.466 | 2.682 | AJ | J9 | 土層(敷層) | | |
| 1394 | 36164.952 | 25638.474 | 2.878 | AJ | J9 | 1042SX 土層 | | |
| 1395 | 36165.967 | 25638.219 | 2.658 | AJ | J9 | 1042SX 土層 | | |
| 1396 | 36162.743 | 25638.984 | 2.642 | AJ | J9 | 溝(石作り) | | |
| 1397 | 36164.135 | 25638.211 | 2.721 | AJ | J9 | 土層(1層) | | 第33図B43 |
| 1398 | 36164.269 | 25638.026 | 2.756 | AJ | J9 | 土層(1層) | 同一層様 | 第33図B43 |
| 1399 | 36164.002 | 25638.425 | 2.724 | AJ | J9 | 1000S 土層(敷層) | | |
| 1400 | 36164.266 | 25639.222 | 2.642 | AJ | J9 | 1000S 土層(敷層) | | |
| 1401 | 36166.255 | 25637.922 | 2.774 | AJ | J9 | 土層(1層) | 数1300-1301-1302と同層一様 | 第33図B41 |
| 1402 | 36162.792 | 25637.239 | 2.592 | AJ | J9 | 土層(1層) | 1392と同層一様 | 第33図B41 |
| 1403 | 36163.747 | 25638.381 | 2.302 | AJ | J9 | 土層(敷層) | | |
| 1404 | 36163.002 | 25637.284 | 2.333 | AJ | J9 | 土層(敷層) | | 第33図B18 |
| 1405 | 36164.786 | 25638.331 | 2.535 | AJ | J9 | 石材 | | |
| 1406 | 36164.213 | 25638.671 | 2.358 | AJ | J9 | 土層(1層) | | 第33図B43 |
| 1407 | 36164.522 | 25638.622 | 2.594 | AJ | J9 | 土層(1層) | | 第33図B43 |
| 1408 | 36164.944 | 25638.282 | 2.728 | AJ | J9 | 土層(敷層) | | 第33図B43 |
| 1409 | 36162.663 | 25638.622 | 2.559 | AJ | J9 | 1042SX 土層(敷層) | | |

第2表-6 取上遺物一覧 (HB②ロ地区)

| 取上 番号 | X | Y | Z | 大 ア ジ ア ジ | ア ジ ア ジ | 遺構名 | 遺物 | 図番号 |
|----------|-----------|-----------|-------|-----------------------|------------------|--------------|----|----------|
| 2001 | 36125.000 | 25605.463 | 2.692 | AJ | R12 | 3949D 土層(敷層) | | 第46図B |
| 2002 | 36127.670 | 25608.937 | 2.710 | AJ | Q13 | 3949D 土層(敷層) | | |
| 2003 | 36127.062 | 25608.051 | 2.627 | AJ | Q13 | 3949D 土層(敷層) | | |
| 2004 | 36125.190 | 25604.660 | 2.815 | AJ | R12 | 3949D 土層(敷層) | | |
| 2005 | 36123.137 | 25598.944 | 2.851 | AJ | R12 | 3949D 土層(敷層) | | 第46図B6 |
| 2006 | 36122.186 | 25605.163 | 2.904 | AJ | S12 | 3949D 土層(敷層) | | |
| 2007 | 36126.349 | 25607.214 | 2.652 | AJ | Q13 | 3949D 土層(敷層) | | 第110図B1 |
| 2008 | 36126.813 | 25605.739 | 2.581 | AJ | Q13 | 3949D 土層(敷層) | | |
| 2009 | 36124.966 | 25603.941 | 2.531 | AJ | R12 | 2000D 土層(敷層) | | 第109図B1 |
| 2010 | 36123.124 | 25602.725 | 2.656 | AJ | R12 | 3949D 土層(敷層) | | |
| 2011 | 36125.267 | 25603.261 | 2.599 | AJ | R12 | 2000D 土層(敷層) | | 第110図B4 |
| 2012 | 36126.244 | 25603.213 | 2.525 | AJ | S10 | 3949D 土層(敷層) | | 第110図B20 |
| 2013 | 36123.656 | 25604.644 | 2.710 | AJ | Q13 | 土層(1層) | | 第30図B49 |
| 2014 | 36126.459 | 25604.996 | 2.514 | AJ | Q12 | 土層(敷層) | | |
| 2015 | 36129.356 | 25598.148 | 2.690 | AJ | S10 | 溝(石作り) | | |
| 2016 | 36118.084 | 25587.329 | 2.747 | AJ | T12 | 3072P 沖床(敷層) | | |
| 2017 | 36118.343 | 25587.192 | 2.733 | AJ | T12 | 3072P 沖床(敷層) | | |
| 2018 | 36118.265 | 25587.465 | 2.734 | AJ | T12 | 3072P 沖床(敷層) | | 第155図B1 |
| 2019 | 36116.424 | 25602.682 | 2.648 | AJ | S13 | 溝(石作り) | | |
| 2020 | 36124.548 | 25612.341 | 2.621 | AJ | Q13 | 白磁(1層) | | 第104図B2 |
| 2021 | 36128.248 | 25605.473 | 2.232 | AJ | Q12 | 石材 | | |
| 2022 | 36128.214 | 25603.988 | 2.497 | AJ | Q12 | 1000S 土層(敷層) | | |
| 2023 | 36124.460 | 25604.424 | 2.688 | AJ | Q13 | 青磁(1層) | | 第110図B4 |
| 2024 | 36125.402 | 25604.414 | 2.576 | AJ | Q13 | 土層(1層) | | 第104図B70 |
| 2025 | 36119.267 | 25604.261 | 2.498 | AJ | S13 | 石材 | | |
| 2026 | 36119.466 | 25603.296 | 2.576 | AJ | S13 | 青磁(1層) | | 第104図B5 |
| 2027 | 36119.022 | 25602.266 | 2.621 | AJ | S13 | 青磁(1層) | | |
| 2028 | 36118.513 | 25601.543 | 2.623 | AJ | S13 | 青磁(1層) | | |
| 2029 | 36118.304 | 25600.723 | 2.696 | AJ | S13 | 1000S 土層(敷層) | | 第103図B2 |
| 2030 | 36123.766 | 25602.538 | 2.553 | AJ | R12 | 青磁(1層) | | 第104図B21 |
| 2031 | 36127.025 | 25604.967 | 2.264 | AJ | Q12 | 土層(1層) | | 第104図B71 |
| 2032 | 36123.513 | 25605.225 | 2.638 | AJ | R13 | 磁器(1層) | | 第110図B4 |
| 2033 | 36117.972 | 25600.867 | 2.539 | AJ | S13 | 青磁(1層) | | 第110図B23 |

| 取上 番号 | X | Y | Z | 大 ア ジ ア ジ | ア ジ ア ジ | 遺構名 | 遺物 | 図番号 |
|----------|-----------|-----------|-------|-----------------------|------------------|--------------|---------|---------|
| 2034 | 36122.420 | 25599.138 | 2.688 | AJ | S12 | | 石皿(石作り) | |
| 2035 | 36122.272 | 25599.559 | 2.593 | AJ | S12 | | 土層(1層) | 第54図B25 |
| 2036 | 36123.495 | 25605.922 | 2.471 | AJ | R13 | 沖床(敷層) | | |
| 2037 | 36123.204 | 25604.624 | 2.423 | AJ | R13 | 青磁(1層) | | 第110図B6 |
| 2038 | 36121.504 | 25598.265 | 2.599 | AJ | S12 | 石皿 | | |
| 2039 | 36120.472 | 25604.669 | 2.264 | AJ | R13 | 青磁(1層) | | |
| 2040 | 36127.423 | 25605.209 | 2.235 | AJ | Q12 | 白磁(1層) | | 第104図B2 |
| 2041 | 36121.602 | 25609.176 | 2.282 | AJ | R13 | 石皿 | | |
| 2042 | 36122.307 | 25606.491 | 2.282 | AJ | R13 | 石皿 | | |
| 2043 | 36121.701 | 25605.201 | 2.154 | AJ | Q12 | 白磁(1層) | | 第104図B2 |
| 2044 | 36126.709 | 25605.625 | 2.126 | AJ | Q12 | 土層(1層) | | 第104図B5 |
| 2045 | 36122.277 | 25606.269 | 2.211 | AJ | S12 | 土層(敷層) | | |
| 2046 | 36122.444 | 25606.021 | 2.192 | AJ | R13 | 1000S 土層(敷層) | | |
| 2047 | 36123.604 | 25606.194 | 2.226 | AJ | S12 | 土層(敷層) | | |

第2表-7 取上遺物一覧 (HB④イ地区)

| 取上 番号 | X | Y | Z | 大 ア ジ ア ジ | ア ジ ア ジ | 遺構名 | 遺物 | 図番号 |
|----------|-----------|-----------|-------|-----------------------|------------------|--------|----------|---------|
| 1 | 36118.195 | 25605.606 | 2.378 | AA | L1 | 土層(1層) | 石作り(石作り) | 第47図B18 |
| 2 | 36119.602 | 25617.238 | 2.158 | AA | K1 | | 瓦(石作り) | |
| 3 | 36120.616 | 25617.238 | 2.238 | AA | K1 | | 瓦(石作り) | 第49図B29 |
| 4 | 36120.616 | 25618.439 | 2.266 | AA | K1 | | 瓦(石作り) | |
| 5 | 36121.736 | 25618.693 | 1.702 | AA | Q2 | 土層(1層) | | 第50図B14 |

第3表 土層観察一覧

第3表-1 1042SX土層 (第10図 層序1)

| 層名 | 土色・土質 | 特徴 |
|----|---------------------|-----------------------------|
| 1a | 砂礫 | 黒化海砂(枝サンゴ層)。 |
| 1b | 砂礫 | 白色海砂(枝サンゴ層)。 |
| 2 | にぶい黄褐色中砂 10YR5/3 | 黒磁礫に酸化。炭化物、赤化砂を含む。 |
| 3 | にぶい黄褐色砂質シルト 10YR4/3 | 炭化物を含む。 |
| 4 | にぶい黄褐色砂質シルト 10YR4/3 | 赤変砂、灰を含む。 |
| 5 | 灰白硬化土 10YR8/2 | 灰部分。 |
| 6 | 明赤褐色 5YR5/6 | 赤化部分。下面に炭化物。 |
| 7 | 黄褐色粗砂 | |
| 8 | 褐色中砂 10YR4/4 | |
| 9 | にぶい黄褐色 10YR7/2 | 灰。あまり硬化していない。 |
| 10 | 赤褐色粗砂 5YR4/6 | 赤化部分。 |
| 11 | 炭化物 | |
| 12 | 灰色シルト 5Y5/1 | 灰部分。下面砂が赤化。貝(インハマツリ等)、礫を含む。 |
| 13 | 明黄褐色中砂 10YR6/6 | 炭化物を含む。 |
| 14 | 黒褐色砂質シルト 10YR3/2 | 炭化物、礫を含む。 |
| 15 | 灰色硬化土 7.5Y5/1 | 灰部分。 |
| 16 | 明褐色中砂 7.5YR5/6 | 赤化部分。炭化物を含む。 |
| A | 黄褐色シルト 10YR5/6 | 土層。 |
| B | 黒褐色砂質シルト 10YR5/6 | 混雑砂礫。礫を含む。 |
| C | 明黄褐色中砂 10YR6/6 | 白色砂礫 |
| D | 褐色中砂 10YR4/4 | 白色砂礫。炭化物、礫を含む。 |
| E | 明黄褐色中砂 10YR6/6 | 白色砂礫② |

第3表-2 HB①東壁(第10回 層序1)

| 層 新 順分 | 色・土質 | 特徴 | 備考 (旧層序) |
|--------------------|-----------------------------------|---------------|-------------|
| I | 1 暗褐色粘質土 10YR3/3 | | |
| | 2 灰黄色粘質土 10YR4/2 褐色シルト 10YR6/6 | シルトがブロック状に混じる | |
| II | 3 暗褐色シルト 10YR3/4 | | |
| | 4 褐色シルト 7.5YR6/6 | | 褐色シルト 4層 |
| III | 5 明褐色シルト 7.5YR5/8 | | * |
| | 6 褐色砂質土 7.5YR6/8 | | * |
| | 7 明黄色粘質土 10YR7/6 | | * |
| | 8 明黄色砂質土 10YR6/8 | 貝片少量混じる | * |
| | 9 にぶい褐色砂質土 10YR5/4 | | * |
| | 10 にぶい黄褐色質土 10YR4/3 | 貝片大量混じる | 混貝層 4層 |
| | 11 にぶい黄褐色質土 10YR4/3 | 貝片大量混じる | * |
| | 12 灰黄色砂 10YR4/2 | | 5層 |
| | 13 褐色細砂質土 10YR4/4 | | * |
| | 14 黄色砂 5YR/8 | | * |
| | 15 黒褐色砂質土 2.5Y3/1 | | * |
| 16 明褐色砂質土 7.5YR5/6 | | * | |
| 17 灰黄色砂質土 10YR6/2 | | * | |
| 18 灰白色砂 5YR/1 | | 白砂 5層 | |

第3表-3 HB①中央ベルト西面(第12回 層序2)

| 層 新 順分 | 色・土質 | 特徴 | 備考 (旧層序) |
|---------------|----------------------|--------------------|-------------|
| III | 1 暗褐色シルト 10YR3/3 | 炭化物少量混じる | 近世遺構 |
| | 2 褐色シルト 10YR4/4 | 炭化物少量混じる | * |
| | 3 褐色シルト 7.5YR4/3 | 貝片少量混じる | * |
| 372 SK | 4 にぶい黄褐色砂質土 10YR5/3 | Φ1mm程度の貝片大量混じる | グスタ372SK |
| | 5 褐色砂質土 10YR4/4 | Φ50mm~100mmの礫多量混じる | * |
| | 6 暗褐色粘質土 10YR3/3 | | * |
| V | 7 暗褐色シルト 10YR3/4 | | グスタ包含層 |
| 366 SK | 8 にぶい黄褐色砂質土 10YR4/3 | Φ1mm~30mmの貝片大量混じる | グスタ366SK |
| | 9 暗褐色粘質土 10YR3/3 | | * |
| | 10 褐色シルト 7.5YR6/6 | | 弥生包含層 |
| | 11 暗褐色砂質土 10YR3/4 | 貝片大量混じる | 混貝層 |
| | 12 暗褐色砂質土 10YR3/3 | Φ1mm程度の貝片多量混じる | * |
| | 13 にぶい黄褐色粘質土 10YR4/3 | 貝片大量混じる | * |
| | 14 褐色細砂質土 10YR4/4 | Φ1mm程度の貝片少量混じる | 5層 |
| | 15 褐色砂 10YR4/1 | | * |
| | 16 灰黄色砂 10YR4/2 | | * |
| | 17 黄色砂 5YR/8 | | * |
| | 18 黒褐色砂質土 2.5Y3/1 | | * |
| 19 灰白色砂 5YR/1 | | * | |

第3表-4 HB②イ灰色砂層(第10回 層序1)

| 層 新 順分 | 色・土質 | 特徴 | 備考 (旧層序) |
|-----------|-------------------|------------------------|-------------|
| V | 1 褐色砂 7.5YR6/6 | 炭化物・木炭多く、固くなる。 | 赤砂層 |
| | 2 明黄色砂 10YR7/6 | 砂粒は粗い。 | 黄砂層 |
| | 3 にぶい黄褐色砂 10YR6/3 | 炭化物含む。 | 黒砂層 |
| | 4 洗黄褐色砂 10YR6/4 | 粗砂が層状に見られる。遺物は殆ど無し。 | 白砂層 |
| | 5 にぶい黄褐色砂 10YR6/3 | 率4以下の礫含む。総標高部分では砂礫化する。 | 灰砂層 |

第3表-5 HB②イ中央ベルト東面(第10回 層序1)

| 層 新 順分 | 色・土質 | 特徴 | 備考 (旧層序) |
|-----------|----------------------|---|-------------|
| III | 1 明黄色粘質シルト 10YR6/6 | 径5~10cm大の礫を多量に含む。 | 崩落土 |
| | 2 明黄色粘質シルト 10YR6/6 | 固くなる。下層に遺物が集まる。 | 褐色シルト① |
| | 3 にぶい黄褐色シルト 10YR5/4 | 炭化物、小礫、遺物を含む。 | |
| | 4 黄褐色シルト 10YR5/6 | 貝、径5~10cm大の礫を多量、遺物を含む。 | 暗褐色シルト |
| | 4' 黄褐色シルト 10YR5/6 | 土質は4層と同じだが貝、礫、遺物は少ない。 | 暗褐色シルト |
| | 5 褐色砂 10YR4/4 | 黒砂粒、貝、遺物を多量に含む。 | 貝層①(混貝層) |
| V | 6 明黄色粘質シルト 10YR6/6 | 5層に比べると貝は少ない。 | 貝層② |
| | 7 明黄色粘質シルト 10YR6/6 | 炭化物、礫を含む。 | 褐色シルト③ |
| | 8 褐色シルト 7.5YR6/8 | 遺物は含まず、固くなる。 | 崩落土 |
| | 9 明黄色砂 10YR7/6 | 貝はイソハマグリ・ホラガイが目立つが、全体として少ない。黒砂層ブロックが不整に混じる。 | 黄砂層 |
| | 10 にぶい黄褐色砂 10YR5/3 | 炭化物、硬土(灰)含む。イノシシ張骨が目立つ。 | 黒砂層 |
| | 11 洗黄褐色砂 10YR8/6 | | 白砂層 |
| | 12 洗黄褐色砂 10YR8/4 | | |
| | 13 明褐色粘質シルト 7.5YR5/6 | | |
| | 14 洗黄褐色砂 10YR8/4 | 砂粒は粗い。 | |
| | 15 洗黄褐色粘質シルト 10YR8/4 | | 互層をなす。 |
| 崩落土 | 16 明褐色シルト 7.5YR5/8 | 大型の礫を含む。 | 崩落土 |

第3表-6 HB①西壁(第13回 層序3)

| 層 新 順分 | 色・土質 | 特徴 | 備考 (旧層序) |
|-----------|---------------------|----------------|--------------|
| I | 1 褐色礫 10YR4/4 | 礫やブロック片など多量混じる | 表土 |
| | 2 褐色砂質土 10YR4/3 | 礫やブロック片など多量混じる | |
| II | 3 オリーブ褐色粘質土 2.5Y4/6 | | |
| 368 SK | 4 黄褐色粘質土 2.5Y5/3 | | 368SK |
| III | 5 黄褐色粘質土 2.5Y7/6 | 鉄分による侵食が多く見られる | 近世・耕作土 |
| | 6 黒褐色粘質土 2.5Y7/6 | | |
| 271 SD | 7 黒褐色粘質土 2.5Y7/6 | | 271SD |
| 275 SL | 8 黒褐色粘質土 2.5Y7/6 | | |
| | 9 黒褐色粘質土 2.5Y7/6 | カワナ層少量混じる | |
| IV上 | 10 黒褐色粘質土 2.5Y7/6 | カワナ層少量混じる | 3層 青灰色粘質土 |
| | 11 黒褐色粘質土 2.5Y7/6 | カワナ層少量混じる | |
| | 12 黒褐色粘質土 2.5Y7/6 | カワナ層少量混じる | 3層 青灰色シルト |
| V | 13 黒褐色粘質土 2.5Y7/6 | カワナ層少量混じる | |

第3表-7 HB②イ貝層③ (第10図 層序1)

| 層 | 色・土質 | 特徴 | 備考 (旧層序) |
|---|-----------------|--|-------------|
| V | 1 明黄褐色砂 10YR6/6 | 炭化物、貝(シヤコガイ、アラシスケマツガイ、イソハマツリ)が多い、散骨、ベテウニ、傘大の貝を含む。下位では軽石が目立つ。 | 貝層③ |
| | 2 明黄褐色砂 10YR7/6 | | 黄砂層 |

第3表-8 HB①下層確認トレンチ1東壁 (第13図 層序3)

| 層 | 色・土質 | 特徴 |
|----|------------------|--------------------------------------|
| VI | 1 灰黄褐色中砂 10YR5/2 | 貝片(除種含む)・軽石・サンゴ片を含む(いずれも小片)土器をわずかに出土 |
| | 2 黒褐中砂 2.5Y3/2 | 混入物は1層に同じ、粘土と中砂の混合土(中砂主体)色調に明確あり |
| | 3 暗灰黄中砂 2.5Y5/2 | 貝片・サンゴ片含む、2層類似土が帯状にみられる箇所あり |
| | 4 暗灰黄中砂 2.5Y4/2 | 性質は2層に同じだが、サンゴ片は大きいものもみられる |
| | 5 オリーブ褐色粘土 5Y4/3 | 灰・風化石灰岩、(軽石)を含む |
| | 6 灰色粘土 7.5Y5/1 | 風化石灰岩をわずかに含む、完全な粘土に近い、北壁では砂が多量に混じる |
| | 7 黒褐粘質土 2.5Y3/2 | 有機質の物(木)を多量に含む |
| | 8 | 風化岩盤、還元色を呈する |

第3表-9 HB①下層確認トレンチ2東壁 (第13図 層序3)

| 層 | 色・土質 | 特徴 |
|----|--------------------|--------------------------------------|
| VI | 1 灰黄褐色中砂 10YR5/2 | 貝片(除種含む)・軽石・サンゴ片を含む(いずれも小片)土器をわずかに出土 |
| | 2 暗灰黄中砂 2.5Y5/2 | 貝片・サンゴ片(いずれも小片)を含む |
| | 3 黒褐中砂 2.5Y3/2 | 混入物は1層に同じ、粘土と中砂の混合土(中砂主体)色調に明確あり |
| | 4 暗灰黄中砂 2.5Y4/2 | 貝片・サンゴ片を含む、2層類似土が帯状にみられる箇所あり |
| | 6 黒褐粘土 2.5Y3/2 | 灰・風化石灰岩、(軽石)を含む |
| | 7 暗灰黄粘質シルト 2.5Y4/2 | 灰・風化石灰岩、(軽石)をわずかに含む |
| | 8 暗灰黄粘質シルト 2.5Y4/2 | 7層と層の混合土、7層土主体 |
| | 9 灰オリーブ細砂 5Y5/3 | 軽石を多量含む |
| | 10 黒褐粘質土 2.5Y3/2 | 15層土を主体とするが、粗砂や13層土が不整に混入、流水か草木痕? |
| | 11 灰細砂 5Y4/1 | 粗砂を部分的に含む |
| | 12 黒褐色砂 2.5Y3/2 | 粗砂混じりの砂、カニ穴? |
| | 13 灰オリーブ細砂 5Y6/2 | 9層に似るが軽石が少ない |
| | 14 黒褐粘質土 2.5Y3/2 | 15層土を主体とするが、粗砂や13層土が不整に混入、流水か草木痕? |
| | 15 黒褐粘質土 2.5Y3/2 | 有機質の物(木)を多量含む |
| | 16 黒褐中砂 10YR4/1 | 10層同様に粗砂がみられる |
| | 17 黒褐中砂 10YR4/1 | 16層より粗砂が多い |
| | 18 暗緑灰中砂 0G4/1 | |
| | 19 | 風化岩盤、還元色を呈するが直上に貝を含む砂層 |
| | 20 灰白細砂 5Y7/1 | 主体は砂と細かい貝片 |

第3表-10 HB②イ山斜面縦トレンチ (第10図 層序1)

| 層 | 色・土質 | 特徴 | 備考 (旧層序) |
|----|---------------------|--------------------|-------------|
| VI | 1 褐色砂質シルト 7.5YR5/8 | 浅黄褐色の板状風化層を含む。二次堆積 | 混灰砂層 |
| | 2 明黄褐色粘質シルト 2.5Y7/6 | | 岩盤風化土層 |
| | 3 浅黄褐色中砂 2.5Y8/4 | 上位が明黄褐色を呈する。 | |
| | 4 浅黄褐色粗砂 10YR8/4 | 摩滅したサンゴ礁を含む海洋堆積。 | 海砂層 |
| | 5 明黄褐色粘土 10YR7/6 | 2層土を多量に含む。直下は岩盤か。 | |

第3表-11 HB①下層確認トレンチ3南壁 (第12図 層序2)

| 層 | 色・土質 | 特徴 | 備考 (旧層序) |
|----|----------------------|----------------|--------------------|
| VI | 1 灰白色砂 5Y7/2 | 貝片多量含む | |
| | 2 灰黄色砂 2.5Y7/2 | 枝サンゴ多量含む | |
| | 3 にごい・黄色砂 5Y6/3 | 枝サンゴ多量、貝片少量含む | |
| | 4 にごい・黄褐色砂 10YR7/3 | 枝サンゴ多量含む | 3層よりもサンゴ片が多量、枝が大きい |
| | 5 灰白色シルト 5Y8/1 | | |
| | 6 浅黄褐色砂 10YR8/3 | 貝片少量混じる | |
| | 7 灰白色砂 10YR8/1 | 小さなサンゴ、貝片多量混じる | |
| | 8 にごい・黄褐色砂 10YR7/4 | サンゴ片少量混じる | |
| | 9 浅黄色砂 10YR8/4 | サンゴ片・貝片多量混じる | |
| | 10 浅黄色砂 2.5Y8/4 | | |
| | 11 黄色砂 2.5Y8/6 | サンゴ片・貝片少量混じる | |
| | 12 浅黄色砂 2.5Y7/4 | | |
| | 13 浅黄褐色砂 10YR8/3 | サンゴ片・貝片少量混じる | |
| | 14 浅黄色砂 2.5Y7/3 | | |
| | 15 にごい・黄褐色砂 10YR7/2 | | 横しまる |
| | 16 明黄褐色砂 10YR7/6 | | |
| | 17 明褐色枝サンゴ 7.5YR5/6 | | |
| | 18 浅黄色砂 5Y8/3 | サンゴ片・貝片多量混じる | |
| | 19 灰白色砂 10YR8/2 | | |
| | 20 浅黄褐色砂 10YR8/3 | | |
| | 21 灰黄色砂 2.5Y7/2 | | |
| | 22 浅黄色砂 5Y7/4 | | |
| | 23 灰色砂 5Y5/2 | 砂と腐食木が混じる | |
| | 24 オリーブ黄色砂 5Y6/3 | | |
| | 25 黄褐色砂 10YR8/6 | サンゴ片・貝片多量混じる | |
| | 26 明黄褐色粘土 10YR6/6 | | |
| | 27 灰白色砂 10YR8/2 | サンゴ片・貝片少量混じる | |
| | 28 浅黄色砂 2.5Y8/3 | サンゴ片・貝片多量混じる | |
| | 29 浅黄色砂 2.5Y7/3 | | |
| | 30 灰白色砂 10YR8/2 | | |
| | 31 明黄褐色砂 10YR6/8 | | |
| | 32 浅黄色砂 2.5Y7/4 | | |
| | 33 明黄褐色枝サンゴ 7.5YR7/6 | | |
| | 34 浅黄色砂 2.5Y7/4 | | |
| | 35 にごい・黄色砂 2.5Y6/4 | | |

第3表-12 HB①南壁 (第12図 層序2)

| 層 | 色・土質 | 特徴 | 備考 (旧層序) |
|-------|-----------------|-----------------|-------------|
| I 1 | 褐色礫 10YR4/4 | 礫やブロック片など多量に混じる | 表土 |
| II 2 | 黄褐色粘質土 2.5Y7/6 | 鉄分による侵食が多く見られる | 近世・耕作土 |
| 3 | 青灰色粘質土 5BG6/1 | カワナ・層少量混じる | 3層 |
| 4 | 暗青灰色粘質土 10BG4/1 | カワナ層少量混じる | 青灰色粘質土 |
| IV上 5 | 青灰色シルト 10BG6/1 | カワナ層少量混じる | 3層 |
| 6 | にぶい黄褐色砂 2.5Y6/4 | | 青灰色シルト |
| 7 | 青灰色砂質土 5BG6/1 | カワナ層少量混じる | |
| V 8 | にぶい黄褐色砂 2.5Y6/3 | | |

第3表-13 HB②口西・南壁 (第13図 層序3)

| 層 | 色・土質 | 特徴 | 備考 (旧層序) |
|-------|---------------------|--|------------------|
| I 1 | 黄褐色シルト 2.5Y5/4 | 炭化物・赤色土・黄色土を多量に含み、各々比率的に異なる。戦前段々堀内小底宅に隣接する土層と思われる、古銭も出土。 | 戦前層 |
| 2 | オリーブ褐色粘質シルト 2.5Y4/3 | カワナ・黒色土・10mm以下の軽石をワングムに含む。 | |
| 3 | オリーブ褐色粘質シルト 2.5Y4/4 | カワナ・炭化物・小礫を含む。 | |
| III 4 | オリーブ褐色粘質シルト 2.5Y4/6 | カワナを含む。 | 近世耕作土 |
| 5 | 灰色粘質シルト 5Y4/1 | カワナの他、ごく微量の炭化物を含む。 | 黒グスクA (黒色粘質土) |
| IV上 6 | オリーブ褐色粘質シルト 2.5Y4/4 | 5層と7層が混じり合っているように見えるが、上下層確実な区別は不明。 | 黒グスクB (黒色粘質土) |
| 7 | 黄褐色シルト 2.5Y5/3 | 上層よりカワナが多く、海生貝類も見える。 | 白グスク (灰色シルト) |
| 8 | オリーブ褐色砂礫 2.5Y4/3 | カワナ・海生貝類を含む。礫は摩滅している。 | |
| 9 | にぶい黄色砂 2.5Y6/4 | 調査区北西側で検出された海性土。 | |
| 10 | 黒褐色粘土 2.5Y3/2 | 炭化物粒・石英含む。 | |
| 11 | 灰黄色粘土 2.5Y6/2 | 炭化物粒・石英含む。下面は乱れる。 | |
| VI 12 | オリーブ黄色砂質シルト 5Y6/4 | 表面が炭化した木・炭化物・石英を含む。埋地堆積。10YR6/6明黄褐色粗砂が局所的に互層する。 | |
| 13 | オリーブ黒色粘質シルト 7.5Y2/2 | | |
| 14 | 砂礫 | 下位は海砂。混入する摩滅礫は青っぽい。マギギイノソウマドリが認められた。 | 未固結の砂礫層 |

第3表-14 HB④土層 (第14図 層序4・第15図 層序5)

| 層 | 色・土質 | 特徴 |
|--------|--------------------|---|
| I 1 | 造成土 | 表土、造成土 |
| 2 | 黄褐色シルト 10YR5/6 | マンガンは多く含むが、カワナはごく僅かにしか含まない。締まり強い。戦前の耕作土。 |
| II 3 | 黄褐色砂質土 2.5Y5/4 | カワナ・マンガンを層全体に含む。締まりが弱い。 |
| 4 | 黄褐色シルト 2.5Y7/6 | 締まり強い。カワナの混入はごく僅か。い地区サーターヤ隣接地に隣接する石灰質区域の斜面に堆積。 |
| III 5 | オリーブ色シルト 2.5Y4/4 | カワナ・マンガンを層全体に含む。締まりはIII層より強くなる。 |
| V 6 | 褐色シルト 10YR4/4 | 1mm以下の白色粒を含みカワナは殆ど含まれない。締まりはやや強い。試験跡からサーターヤ周辺に堆積。 |
| 7 | 暗灰黄色シルト 2.5Y5/2 | カワナ・マンガンを層全体に含む。 |
| IV上 8 | 暗灰黄色シルト 2.5Y4/2 | カワナ・マンガンを含むが他の層より少ない。Va層より締まりが強い。 |
| V 9 | 暗褐色シルト 10YR3/3 | 締まりが強く、カワナは殆ど含まない。黄褐色のシルトがブロック状に混入。サーターヤ周辺に堆積。 |
| 10 | 黄灰色シルト 2.5Y6/2 | カワナ少量・マンガンを含む。1mm以下の白色粒を含む。 |
| IV上 11 | オリーブ褐色シルト 2.5Y4/3 | カワナ・マンガンを含む。1mm以下の白色粒をVa層より多く含む。5mm大の礫を含む。 |
| 12 | 黒褐色シルト 2.5Y3/2 | 5mm以下の礫・粗砂を多く含む。締まりはやや弱い。砂丘積み流路に堆積。 |
| 13 | オリーブ黒色シルト 5Y3/2 | 1mm~5mmの礫を含む。部分的に粘土が多く含む。12層より締まりは弱い。粘性はやや強くなる。表状に細砂や粗砂が入り込む。砂丘積み流路に堆積。 |
| 14 | 灰色シルト 5Y4/1 | 1mm~5mmの白色礫を多く含む。にぶい。明褐色のシルトがブロック状に混入。壁面2-3に掛けての落ち込みに堆積。 |
| IV下 15 | オリーブ黒色粘質土 5Y3/1 | 締まり・粘性ともに非常に強い。砂丘積み流路に堆積。 |
| 16 | オリーブ褐色シルト 2.5Y4/6 | 1mm以下の白色粒。自然貝を多く含む。締まり弱い。砂丘積み流路に堆積。 |
| 17 | 灰オリーブ色シルト 5Y5/2 | カワナ・マンガンを含む。1mm以下の白色粒。1mm~5mmの礫を含む。締まりは弱い。砂丘積み流路に堆積。 |
| 18 | オリーブ黄色粘質土 5Y6/4 | 粗粒砂を多く含む。1mm以下の白色粒・黄色粒・マンガンを多く含む。締まり弱い。粘性は強い。砂丘積み流路に堆積。 |
| 19 | オリーブ灰色シルト 2.5GY6/1 | 粗粒砂を多く含む。5cm以上の白色礫を多く含む。砂丘積み流路に堆積。 |
| 20 | 暗オリーブ褐色砂質土 2.5Y3/3 | カワナ・マンガンを含む。1mm以下の白色粒を多く含む。締まりは弱い。砂丘堆積上に堆積する。 |
| 21 | 黄褐色砂質土 | 1mm~5mmの白色粒を僅かに含む。明褐色のシルトがブロック状に混入。壁面2-3に掛けての落ち込みに堆積。壁面2-3の落ち込みに堆積。 |
| V 22 | 黄褐色砂質土 2.5Y5/4 | 1mm~5mmの白色粒を僅かに含む。上層より砂質が強い。壁面に掛けたの落ち込みに堆積。壁面2-3の落ち込みに堆積。 |
| 23 | 灰黄色砂質土 10YR5/2 | 様々な色の土・砂が一気に混れ込んで堆積したものと考えられる。やや粘性強い。 |
| 24 | にぶい黄色砂 7.5YR7/4 | 柱サシゴ・自然貝を多く含む。所々で鉄分を多く含む硬質化する。砂丘を形成する層。 |
| 25 | にぶい黄色砂 2.5Y6/4 | 柱サシゴ・自然貝が点在するやや弱い砂層。 |
| VI 26 | 浅黄色砂 2.5Y7/4 | 1mm以下の白色粒、1mm~3cm大の礫を含む。 |

第3節 貝塚時代後期

1. 遺構

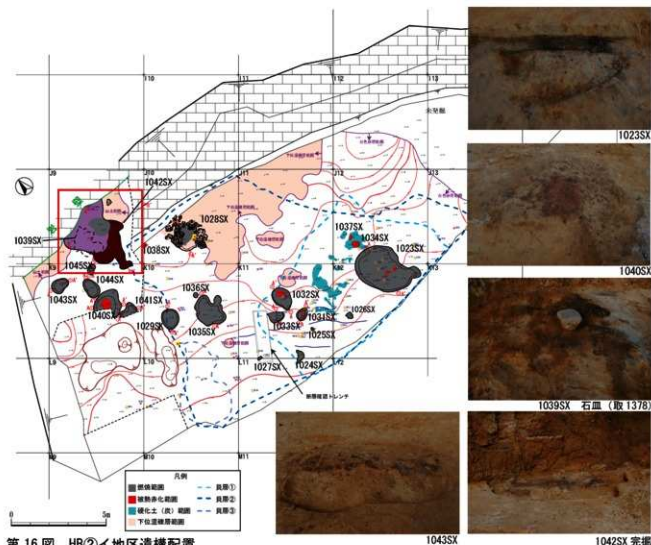
貝塚時代後期の遺構としては HB②イ地区の燃焼遺構、土器集中、貝集中部。HB①地区で試掘時(2008)のピット群、土抗、貝集中部が確認された。また、キャンプ桑江北側地区で継続的に行っている軽石の出土平面分布についても略述する。なお、これらの遺構は調査時に⑤面(1039SXと1026SS)と⑦面(それ以外)で検出(第11図)されていたが、明瞭な時期差はみられないため、種類ごとにまとめて報告する。

(1) 燃焼遺構

燃焼遺構は燃焼範囲(7ヶ所)と被熱赤化範囲(3ヶ所)、炭・焼土範囲(12ヶ所)に分けられるがこれらは一連のものと考えられる。主なものについては以下に略述する。

・燃焼範囲は 1023SX (J・K12)、1028SX (J10)、1031SX・1032SX・1033SX (K11)、1040SX (K9)、1039SX・1042SX (J9) の8ヶ所で、以下、グリッド別に略述する。

1023SX: J・K12 で検出され、大きさは 2.98m×2.13m の不定形で、深さ 0.32m を測る。燃焼遺構の中では最も大きく、本グリッドは土器の重量分布でも最も多く(第22図)、I類工器の口縁、オオベッコウガサ貝輪の破片も得られている。



第16図 HB②イ地区遺構配置

1043SX

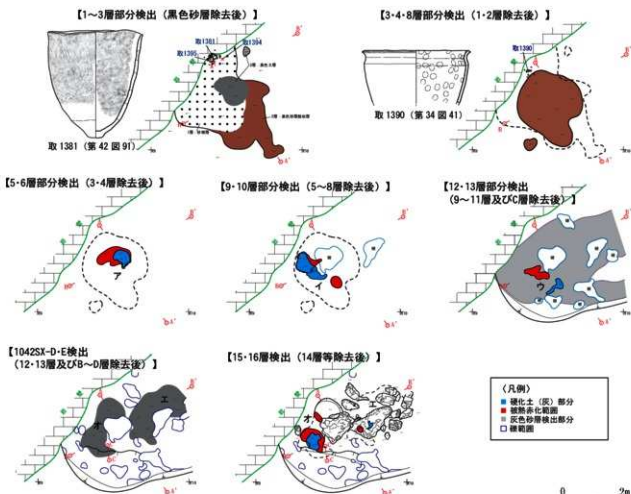
1042SX 完掘

1028SX : J10 礫層上に検出されたもので、その北側には下位混礫層が露出する。大きさは 1.37m×0.92m の不定形、深さ 0.34m を呈し、15~80cm 大の板状の礫を周縁に配する。礫の大きさは第 18 図に示したように 75 cm×58cm の大きいサイズが 3 個、30cm 前後の中サイズが 5 個、20cm 以下のサイズが 10 数個である。礫の上面に厚さ 8 cm 前後の炭を覆うが、その底面に砂が被熱した部分が確認でき、その周縁の礫も焼けている。

1031SX・1032SX・1033SX : いずれも K11 で近接して検出された。大きさをみると 1031SX が 0.7m×0.5m の楕円形、深さ 0.31m の有段状で、1032SX が 1.21m×0.9m の楕円形、深さ 0.32m の有段状で、黒化した砂礫を含み、土器が 1 個出土した。1033SX が 0.8m×0.54m の不定形、深さ 0.31m の不定形を呈し、前者と同様、黒化した砂礫を含む。

1040SX : K9 の検出で大きさが 1.33m×1.3m の不定形、深さ 0.33cm で有段状をなすが、II 層の 1018SX によって切られる。焼けた骨が 1018SX で数個検出されているが、本遺構に属する可能性が高い。

1039SX・1042SX : J9 の検出で、1039SX は 1042SX のほぼ上面 (⑤面) で検出された焼遺構で大きさが 1.68m×1.02m の不定形で深さ 0.42m の有段状をなすもので標高は 4.3m で検出された。遺構直上で石皿 (第 70 図 67) がほぼ水平に検出され (図 16) 遺構内での使用を示唆するものである。⑤面の検出されたものには貝集中 1020SS がある。1042SX は第 17 図に調査の経過を示した。ア (5-6 層)、イ (9-10 層)、ウ (12-13 層)、エ・オ (15-16 層) で被熱した部分や硬化土 (灰) が検出された。5 面の火の使用が想定される。最下層面では礫が検出され、その状況は 1028SX (第 18 図) に類似する。



第 17 図 1042SX の検出順序

本遺構からはほぼ完形のⅡ類土器(図91)が標高3.918m(取1381)の壁側で検出された。C面の炭化材から2290±24BPの結果(第四章第3節)がある。その下位でⅠ類土器(図41取1390～1392)が検出されている。他にD面で直径7.4cmの大きめのアンボンクロザメが出土している。

・被熱赤化部分は1034SX・1037SX(J12)、1038SX(J9・10)の3ヶ所と前述の燃焼範囲の1023SX、1032SX、1040SX、1031SXでも赤化部分が確認されている。

1034SX・1037SX: J12で検出され、1034SXは大きさが0.4m×0.35m、1037SXは大きさが0.26m×0.16mの硬化土のあとに確認された。隣接する1023SXの燃焼遺構に関連するものと思われる。近くからはⅡ類土器(図98取1089)(図84取1024)の一括土器が検出されている。

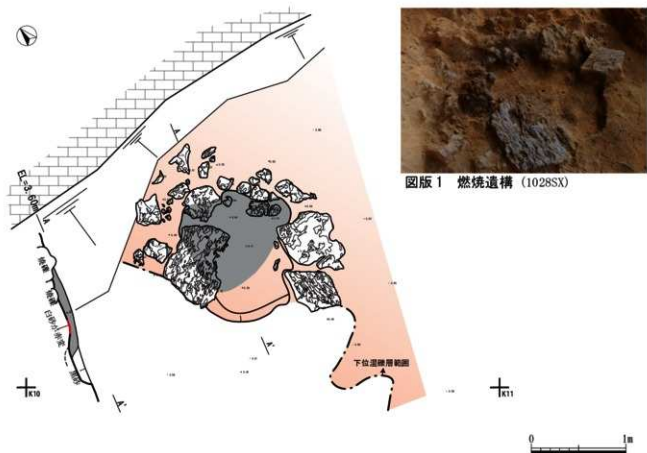
1038SX: J9・10の調査区の壁で1042SXと1028SXの燃焼遺構の間で検出され、0.2m×0.2m不定形、深さ0.34cmを測る。

・炭焼土範囲は1041SX・1043SX・1044SX・1045SX(K9)、1035SX・1036SX(K10)、1024SX(K・L11)、1025SX・1027SX(K11)、1026SX(K12)の10ヶ所である。

1041SX・1043SX・1044SX・1045SX: K9で検出され、1041SXの大きさが0.95m×0.59mの不定形で、深さ0.33の皿状、1043SXの大きさが0.93m×0.62mの楕円状、深さ0.34mの皿状、1044SXの大きさは1.08m×0.66mの楕円状、深さ0.34mの有段状、1045SXの大きさは0.56m×0.33mの楕円状、深さ3.4mのすり鉢を呈する。いずれも1042SXに近いことから関連する可能性が高い。

1035SX・1036SX: K10で検出され、1035SXは1.73m×1.39mの不定形、深さ0.32m皿状を呈する。1036SXは0.26m×0.25mの円形で小さいことから1035SXに近く、一連のものと思われる。

1024SX・1027SX: K・L11で検出され、1024SXの大きさは0.63m×0.30mの不定形、深さは不明である。1027SXが0.24m×0.11mの小範囲である。



図版1 燃焼遺構(1028SX)

第18図 燃焼遺構(1028SX)

1025SX : K11 の検出で大きさは 0.16m×0.14m、近接する燃焼遺構 (1031・1032SX) に関連するものと思われる。

1026SX : K12 の検出で、0.34m×0.29m の大きさである。

以上、遺構の種類ごとに個別に略述したが、燃焼範囲、被熱赤化範囲、炭・焼土範囲は燃焼に関連した遺構と考えられ、HB②イ地区の地形に合わせて扇状に点在する。

前述したように燃焼範囲が主となり、それに伴う被熱赤化範囲及び炭焼土範囲がこれに付随するもので、燃焼範囲は炉が想定される。

(2) 土器集中

V層面で検出された一括土器は HB①地区で 5ヶ所、HB②イ地区で 9ヶ所、HB④イ地区で 1ヶ所の計 15ヶ所で、第19図に出土状況と出土箇所を示した。さらに出土遺物(1)土器の項ではこれらの一括土器に加えて、接合作業で復元できたものを、第20図に接合の平面とその垂直分布を示した。

以下、各地区の土器集中について略述し、取り上げについては第2表に示す。

①～⑤は HB①地区の出土である。そのほとんどは HB②イ地区との境界で検出され、土器集中①②はいずれもⅠ類に属するもの(図48・59)で標高4.2mの岩盤に乗るように検出された。土器集中③はⅡ類に属するもの(図73・77・175)で橙色シルト面の標高3.9mで検出された。土器集中④は K13 の出土でⅡ類に属するもの(図71)で、標高3.8mで検出された。土器集中⑤は奄美系土器に属するもの(図30)でやや南よりの J16 の標高3.4mで検出されている。ここは岩盤と砂丘の境界である。

⑥～⑭は HB②イ地区の出土である。第22図の土器の重量分布と検討すると 4000g～31000g の範囲と重なる。

土器集中⑥はⅢ類土器の有肩の壺(図134)で、I12 で内面を上にして検出された。J12 の貝層①、I11・12 の橙色シルト出土の土器と接合できた。

土器集中⑦はⅡ類(図91)に属するもので J9 の 1042SX 内(標高3.9m)の出土で、ほぼ完形で、岩盤側で出土。

土器集中⑧はⅠ類土器(図66)で J11 の橙色シルト②(標高3.9m)で内面を上にして検出された。この付近では、ほかに弥生土器、諸岡型貝輪が出土している。

土器集中⑨はⅢ類土器(図122)の短頸壺で J11・12 は標高3.9mで検出された。外面を上にして、口縁部と肩部が割れた状態で出土した。近くからは骨や石斧が出土した。

土器集中⑩はⅡ類土器(図98)で J12 の貝層①上面(標高3.9m)で内面を上にして検出された。

土器集中⑪はⅠ類土器(図67)で J13 の黒砂層上面(標高3.3m)で外面を上にして検出された。

土器集中⑫はⅠ類土器(図39)で K10 の黒砂層(標高3.2m)で内面を上にして検出された。

土器集中⑬はⅡ類土器(図95)で K11 の貝層①上面(第11図)の標高4.05mで外面を上にして検出された。

土器集中⑭はⅡ類土器(図84)で J11 の貝層①(標高4.0m)で外面を上にして検出されている。

土器集中⑮はⅥ類土器(図154)で HB④イ地区 O2 で、標高1.702mの水が湧き出る所からほぼ完形のまま検出された。白砂層の出土。伴出遺物はなく、土器に付着していた炭化物から 1890±30BP の結果が出ている。

(3) 貝集中部

HB①地区の 364SS、HB②イ地区の 1020SS の 2基が確認されたが、貝の集中した部分で遺構とは考えにくい。



⑥取 1152 (第 48 圖 134)



⑦取 1349 (第 34 圖 39)



⑧取 1022 (右)・取 1023 (左) (第 43 圖 95)



⑨取 1024 (第 41 圖 84)



⑩取 100 (第 35 圖 48)



⑪取 92 (第 37 圖 59)



⑫取 1381 (第 42 圖 91)



⑬取 1155 (第 38 圖 66)



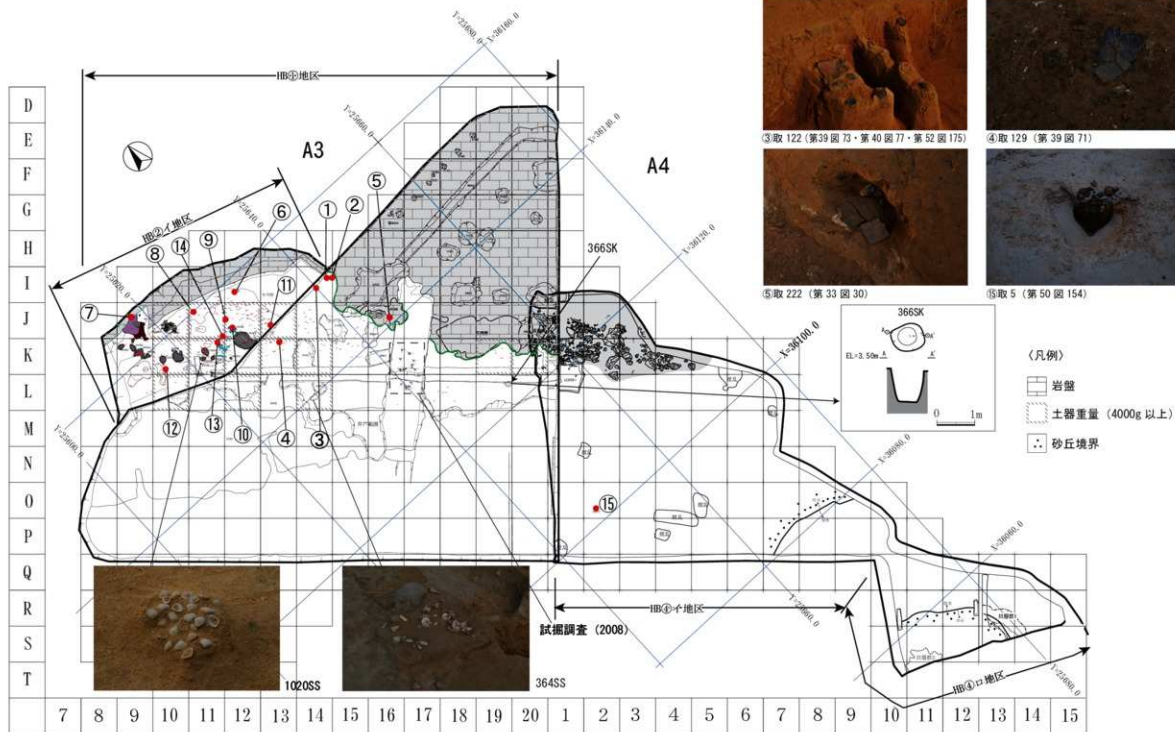
⑭取 1095 (第 46 圖 122)



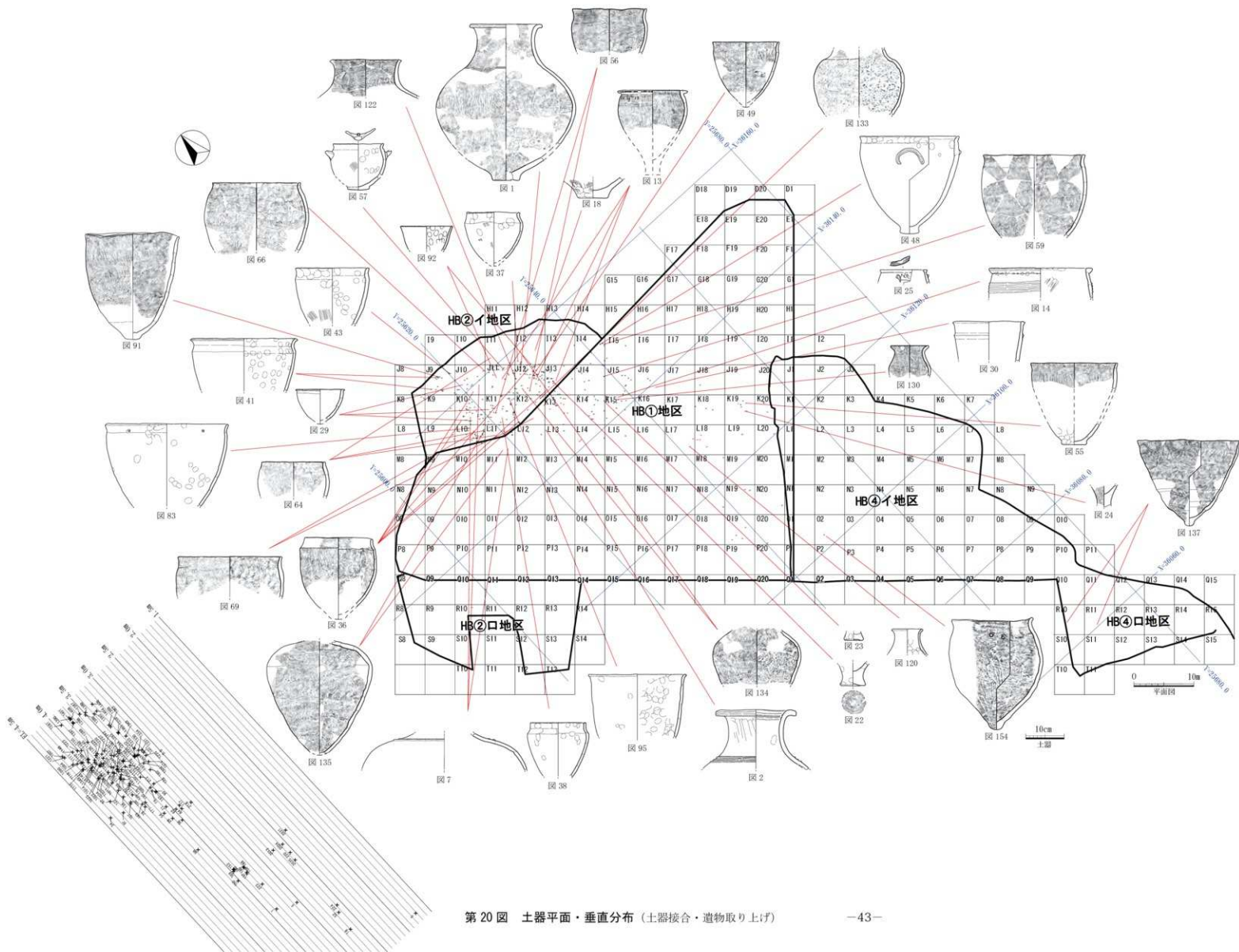
⑮取 1089 (第 43 圖 96)



⑯取 1306 (第 38 圖 67)



第 19 圖 貝塚時代後期遺構配置と一括土器出土分布



第 20 图 土器平面・垂直分布 (土器接合・遺物取り上げ)

364SS : L14 で検出された。サラサバティラ (6 点)、マガキガイ (18 点)、クモガイ (3 点)、カンギク、ヒメジャコ、イソハマグリ、カワラガイなどが出土した (第19図)。

1022SS : HB②イ地区 K11 で検出された。大きさは 0.24m の楕円でマウンド状を呈する。イソハマグリの完形が 17 点検出され、一括投棄されたものと思われる。1039SX の遺構と同じく、ほかよりは上面の検出 (貝塚時代後期⑤面) である。

(4) 土坑

366SK の土坑 (第19図) が HB①地区 L19 で検出された。近くには K19・20 の土器が多く出土するところと近接する。大きさは直径 87cm、平面は方形を呈し、深さは 85cm を測る。土層観察のための中央ベルトに近接するため、面的な広がりは確認できない。柱穴の中からはⅡ類に分類される土器の胴部が 2 点出土した。

(5) 柱穴

他に試掘調査 (2008) でも K・L16・17 で、大きさが 15.9~22.8cm、深坑0cm の柱穴が 16 本確認されているがプランは確認できなかった。

(6) 軽石

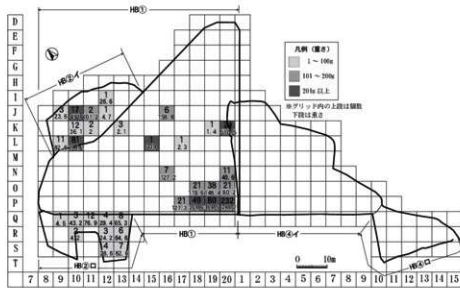
遺構とするものではないが、これまで継続的に報告してきた軽石の出土分布を示す。

HB②イ地区では J10 (1028SX)、K10 (1029SX、1035SX)、L10 (1021SX)、HB①地区では V 層の K20、K19、L17、L15、J16 に点

在し、当時、HB②イ地区まで軽石が入り込んでいことから、貝塚時代後期に砂丘の形成があったことがわかる。

IV層面では HB①地区の P17~20、HB②ロ地区 Q9~13、R10、R12・13、S12・13 で得られているが、この付近から土器や貝製品などが出土しており、逆に砂丘形成後 HB①・HB②イ地区から土砂の流出を裏付けるものである。

以上、遺構及び土器集中、軽石の分布範囲について略述した、これらのことから貝塚時代後期の時期は第16図に示した HB②イ地区の混雑層の露出を取り囲むように扇状に燃焼遺構、およびそれに伴う赤化、炭の範囲が配置し、土器集中や土器の重量平面分布からも HB②イ地区を中心に生活面があったと想定される。これまでの貝塚時代後期遺構と違い、岩山を背に利用してその周辺で火をもやし、調理や貝製品の加工 (イモガイ貝輪) や生活を営んでいた様子がうかがえる。



第21図 軽石出土平面分布

2. 出土遺物

貝塚時代後期の出土遺物には人工遺物と自然遺物がある。人工遺物は土器、石器、貝製品、骨製品、土製品が出土した。出土量は土器 51 コンテナ、石器 22 コンテナ、貝製品 8 コンテナ、骨製品 1 コンテナで、土器が最も多い。自然遺物の出土量は貝類 88 コンテナ、骨類 4 コンテナである。以下、人工遺物を中心にそれぞれ特徴的なものについて記述する。

(1) 土器

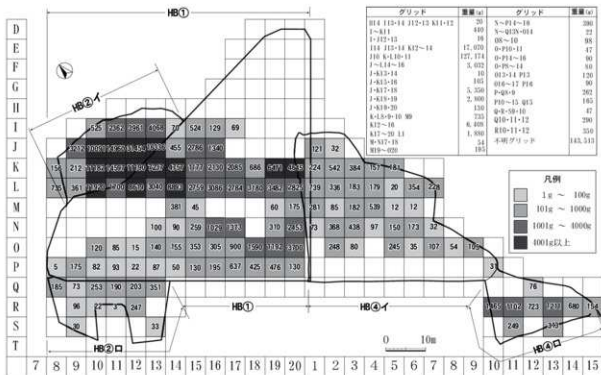
土器は注記時の重量が約 204.4kg と多量に出土した。貝塚時代後期の在り土器が最も多く、次に搬入土器と続く。搬入土器は新里貴之氏（鹿児島大学）に確認をお願いした。また、貝塚時代前・中期の土器も僅かに得られた。注記時の重量を範囲確認調査（2008）も加えて第 22 図の平面分布に示し、遺物整理の指標とした。第 20 図には調査時に点上げた土器の平面分布と垂直分布を図示した。遺構出土の土器は HB②イ地区にある燃焼遺構（1042SX）の上部から図 91、中間層を挟んで V 層（下部の山土層）から図 41 が出土し、後者は同層内（灰砂層）出土の土器片とも接合が出来た。接合関係によって 11 個体が復元出来、その他に形状の分かるものが多数得られた。搬入土器、在り土器別に集計し、2.5cm 以下は集計から外した。以下、1) 搬入土器、2) 在り土器の順に略述する。

1) 搬入土器

搬入土器は 363 点が得られ、弥生土器、奄美系土器に分類した。前者は胎土、形状などが在り土器からはずれるもので南九州系の弥生土器、後者は在り土器にも類似するが、形状や胎土がより前者に近いことから奄美系土器とした。弥生時代中期の前～中頃に相当するものと思われ、貝塚時代

第 4 表 土器分類

| | |
|---------------------|--|
| <搬入土器> | |
| 南九州系弥生土器 | |
| 奄美系土器 | |
| <在り土器> | |
| Ⅰ類：阿波連浦下層式土器 | |
| Ⅱ類：浜屋原式土器 | |
| Ⅲ類：Ⅰ類・Ⅱ類土器 | |
| Ⅳ類：大当原式土器 | |
| Ⅴ類：有文土器 | |
| Ⅵ類：不明土器（厚手） | |
| Ⅶ類：不明土器（薄手） | |
| その他：貝塚時代前・中期の土器 | |



第 22 図 土器重量平面分布

後期の在土器の出土数13,820点に対して僅か363点である。第5表に搬入土器の出土量を示し、層位別に見ると94%がV層出土である。発掘時の分層で見るとHB②イ地区の貝層②、HB①地区中央部の橙色シルトからの出土が多い。今回、貝集積は見られないが、石器の項において第⑩図に搬入土器との関係が窺える遺物（諸岡型のゴホウラ製貝輪、その他の貝製品、扁平片刃石斧や柱状石斧等）との平面分布を示した。それによると、HB②イ地区と隣接するHB①地区中央部の北側（L11～15・K12～15・J13～15、以下、「中央部北側」と記す）でまとまって出土している。また、在土器との関係では平面分布、層位ともI・II類（阿波速浦下層式土器・浜屋原式土器に相当）とほぼ同じ出土状況を示すが、遺構出土の搬入土器、共存する在土器は得られず、どちらの土器型式に伴うのかは不明である。ただ、詳細に見ると、II類はI～III層の遺構出土やIV層からの出土（図81・88・89）が目立つが、I類と搬入土器はV層出土が多く、ほぼ同じ出土状況を見せる。搬入土器と在土器の割合を見ると、本町の伊礼原D遺跡（2013）、伊礼原遺跡（2014）などは在土器の1%以下であったが、本遺跡は2.6%と多い。同一個体と思われる復元可能な土器も得られた（図1）。搬入土器は口～底部をまとめて集計し、観察一覧は第6表に載せた。以下、弥生土器、奄美系土器の順で記述し、それぞれ器種別に記述する。

<弥生土器>

南九州系の弥生土器は総数331点の出土で、搬入土器の91.2%の割合を占める。1点のみ模倣土器（図17）と思われるものも含まれる。浦添市の嘉門貝塚B（1993）出土の弥生土器に類似するものが多い。第23図に示した平面分布を見ると、HB②イ地区と隣接するHB①地区中央部北側での出土が多い。胎土や器形等からほとんどが南九州系の入来I・II式土器と思われる。模倣土器である鉢形の1点を除いては壺形、甕形が得られた。壺形が234点、甕形が64点と前者が多い。図1～24、図版2～4に主なものを示し、個々の遺物の詳細は第6表に観察一覧を載せた。以下、壺形、甕形（鉢形も含める）の順に記述する。

①壺形

壺形は口縁部30点、胴部197点、底部7点の計234点が得られた。そのうち図1～12に口縁部・頸部・胴部を図示した。図1は口縁部・胴部破片が1/2、底部は1/3程度の破片がそろっていることから復元したもので、口径約19cm、器高約41cmと大型の壺である。胴部付近では7mmの厚さで

第5表 搬入土器（弥生・奄美系）出土量

| 地区 | 分類 器種 | 層位 | 弥生土器 | | | | | | | | | 奄美系土器 | | | 合計 |
|------|----------|----|------|-----|----|----|----|----|---|----|----|-------|----|-----|-----|
| | | | 壺 | | | 甕 | | | 鉢 | | | 不明 | | | |
| | | | 口 | 胴 | 底 | 口 | 胴 | 底 | 口 | 口 | 胴 | 口 | 胴 | 口 | |
| HB① | I | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| | II | | | | 1 | | | | | | | | | | 2 |
| | IV | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| | V | 14 | 68 | 3 | 11 | 28 | 3 | | 1 | 24 | 4 | 18 | 1 | 175 | |
| | 不明 | | 7 | | | | | | | | | | | | 7 |
| | 小計 | 14 | 77 | 3 | 13 | 28 | 3 | | 1 | 24 | 4 | 18 | 1 | 186 | |
| HB②イ | I | | 4 | 1 | | | 1 | | | | 1 | | | 7 | |
| | V | 15 | 112 | 3 | 5 | 13 | 1 | | 1 | 6 | 2 | 4 | | 162 | |
| | 不明 | | 1 | | | | | | | | 1 | | | 2 | |
| | 小計 | 15 | 117 | 4 | 5 | 13 | 2 | | 1 | 6 | 4 | 4 | | 171 | |
| HB② | 不明 | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| HB②イ | V | | 1 | | | | | ※1 | | | | 1 | | 3 | |
| 不明 | 不明 | | 2 | | | | | | | | | | | 2 | |
| | 合計 | | 30 | 197 | 7 | 18 | 41 | 5 | 1 | 2 | 30 | 8 | 23 | 1 | |
| | 器種別計 | | 234 | | | 64 | | | 1 | 32 | | 31 | | 1 | 363 |
| | 分類別計 | | 331 | | | | | | | | | 32 | | | |

※模倣土器（胎土は在地）

呈するが、底部付近は10mmと厚くなる。外面にはハケ目痕が僅かに残るが、丁寧なミガキが顕著に施される。入来Ⅰ式と思われ、肩部には2条の沈線文が施される。口唇部の中央には僅かに凹線文が見られる。口縁部の上端は外反、肩部から胴部にかけて大きく張り出し、底部は朝顔状に開く。図2も口径21cmと大きく、厚手(8~11mm)で図1と同様の形状を呈する。口縁部内面の上部に2条の細い三角状凸帯文(4mm)を貼付する。口唇部の中央部には僅かな凹線文が見られる。

肩部には内面と同様な三角状凸帯文が3条貼付される。図3は口唇部が玉縁を呈し、逆「L」字状となる厚手(8mm)の壺である。図4は6mmと薄手の壺で、口唇部は若干丸みを呈する。図3・4は頸部以下の形状が不明である。図5も入来Ⅰ式に近く、小型で口径が12.8cmを測る。形状は肩部の張り出しなどから大型の壺に類似する。肩部には3条の沈線文が施されるが、3本目は途中で途切れる。図6~12は口縁部が破損し、肩部のみである。図6~9は三角状凸帯文が貼付され、図6は1条、図7は2条、図8は3条、図9は残存で1条の凸帯文が見られる。図10は薄手で、2条の沈線文を施している。図11は混和材が粗く、胎土が雑で在地土器のようにも思われるが、8mmと厚手であること、頸部の文様等から搬入土器に含めた。文様は規格的な沈線文を縦位や横位に格子状に施し、混和材や胎土は奄美系土器にも類似する。図12は6mmと薄手で、外面に円形状の薄い粘土を貼付している。外面はナデが丁寧である。

底部は図18~21の4点を図示した。図18は底径7.8cmを測り、朝顔状に開く。復元した図1と同じ器形の壺が想定される。図19・20は底径が4.7cm、4.0cmと小さく、やや小型の壺の底部が想定される。図21は底径が8cmを呈することから、大型の壺の底部と思われる。内面は剥落している。

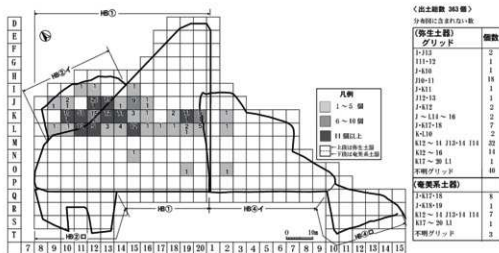
②変形

変形は口縁部18点、胴部41点、底部5点の計64点が出土した。図13~17に5点の口縁部を図示した。図13は口唇部に粘土を貼付し、約2cm幅の平らな面を呈する。口縁部はやや内彎し、胴部は張り出す。口唇部の僅かな側面に細い刻目文が施される。胴上部の外面には沈線文が2条圍繞している。口縁部は1/2程の破片で、底部は出土していないが、本遺跡で出土した弥生土器の底部を参考に全体の形状を復元した。胎土や文様等の特徴から、入来Ⅰ式土器と考えられる。類似のものが浦添市の嘉門貝塚B(第28図4・5)で出土しているが、本遺跡のものは胴部の膨らみがやや強い。図14も内彎の口縁部で、入来Ⅱ式土器と思われる。口唇部を幅広く貼付し、側面には微弱な凹線文が施されている。外面の口唇部直下には楕円状の浅い刺突文を施し、約2cm以下の箇所三角状凸帯文を横位に4条貼付している。図13に比べると胴部の膨らみは弱い。嘉門貝塚B(第28図7・8)でも類似の変形が出土しており、壺形と同じく同時代の搬入土器がもたらされている。図15は内彎の口縁部で、口唇部が幅広く貼付される。端部には微弱な凹線が施されていると思われるが、破損がひどく不明瞭である。類似した資料が同遺跡の範囲確認調査(2008第23図43)で出土している。図16は口唇部とその下に凸帯文が貼付され、口唇部以下の形状は不明である。図17は口縁部形態や文様などの特徴から弥生土器を模倣したものと思われる。鉢形でやや逆「ハ」字状を呈し、口径が13.6cmと小型である。口唇部は1.5cmと幅広く平らに整形され、その端部に細かい刻目文を施す。胎土や混和材は在地土器の特徴を持つが、搬入土器で扱った。

底部は図22~24の3点を図示した。図22は中実脚台でかなりの重量感である。外底の中央部はやや凹み、上げ底状を呈する。小堀原遺跡(2012第28図12)で出土した底部に類似する。図23は内底が破損しているが、中実脚台と思われる。本資料も外底は上げ底状を呈する。図24は内底、外面とも丁寧なナデ調整を行っている。底厚や調整などから本資料も搬入土器とした。

<奄美系土器>

奄美系土器は32点が出土し、その内訳は口縁部9点、胴部23点である。第23図の平面分布を見ると、弥生土器とほぼ同じである。口縁部の形状から甕形と鉢形が得られ、図25～30に6点を図示した。口径が計測出来るものから形状を推測すると、弥生土器に比べて小型のものが多い。図25～29は口径が12～15cm程度と小型で、幅広い平らな口唇部を持つ。図25～27の3点は胎土がかなり精製されているが、図28～30は混和材が粗粒で多量に含まれており、特に内面は手触りがざらつく。文様が施されているものは図25～28の4点である。図25は口唇部と外面に文様を施す。口唇部には細沈線文が斜位と横位に施され、外面には横位の細沈線文の間に同様な文様を鋸歯状に施す。さらに、半分程破損しているが、弧状の耳が貼付されていたと思われる。図26は外面が無文で、口唇部のみ鋸歯状の細沈線文が施されている。図27は口唇部に刺突文が縦位に3列、外面には横位に凸帯文、その間に緩やかな鋸歯状沈線文が施されている。図28は口縁部上端が僅かに反り出し、胴部は若干張る。口唇部には混和材が抜けたのか、あるいは文様？(刺突文?)が見られ、外面には鋸歯状沈線文と弧状の耳が貼付されている。上記3点に比べて厚手(8～11mm)の土器で、胎土は本遺跡出土のI類(阿波連浦下層式土器相当)にもやや類似する。図29は無文の土器で、底部近くまで得られたことから復元した。口縁部上端が僅かに張り出し、胴部は膨らむ。口縁部直下はナデにより僅かに屈曲部を持ち、胎土や形状が在地土器のI類にも類似する。図30は胎土や器面調整等から在地の土器の特徴も見られるが、外面に三角状凸帯文を呈することから奄美系土器に含めたものである。口唇部は平らに整形され、外面に若干張り出す。図31～35は胴部である。図31は厚手の頸部で、外面には斜位の沈線文が施されている。図32も図31と胎土は同じで、外面には斜位の沈線文と丸みを呈する幅5mmの凸帯文が貼付されている。接合は出来ないが、図31と同一個体の可能性が考えられる。図33・34は外面に凸帯文を貼付するもので、前者は幅が3mm程の凸帯文を2条、後者は幅5mm程の低めの凸帯文が1条貼付されている。図35は外面に横位と半弧状の沈線文が明瞭に施される。2条の沈線文間が均一であること等から、二又状工具によって施された可能性も考えられる。内面には器面調整による条痕が明瞭に残り、胎土からは在地土器とも思われる。



第23図 搬入土器出土平面分布

第6表-1 土器観察一覧(搬入)

(法量単位:cm, g)

| 国名 | 調査番号 | 調査部位 | 形態 | 口徑 器高 底径 | 器厚 器重 | 粒度 含量 | 石英 含量 | 赤 色 粒 | 角 閃 石 | 砂 粒 | その他 | 粘土 構成 | 器色 (外面 内面) | 器面調整 (外面 内面) | 地区・ブロンズ編成 遺跡・塚・(出土)番号 |
|------------------|------|---|---|------------------------------|-------------------------|----------|----------|-------------|-------------|--------|----------|-----------------|------------------|--|---|
| 第30 国・ 図版2 | 1 | 口 底 | 底形・口唇・丸(四線文) 口縁・外縁・肩・胴部・器底 文様・胴部には2条の沈線と横線 文様・平底(輪状に開く) | 18.9 49.8 7.0 | 0.7~1.0 1.9 721.0 | 粗粒 多量 | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | 砂質 良好 | 両面・赤褐色 | 両面・シガキ | HD②イ・ベルト V (褐色シルト①) 台3103 HD②イ J12-V (暗褐色シルト) 敷1243 HD②イ・ベルト V (褐色シルト②) 台3145 HD②イ J12 V (具磨②) 台3305 HD②イ J12 V (具磨②) 台3305 HD②イ・ベルト V (具磨②) 台3136 (総合) |
| | | | 底形・口唇・丸(四線文) 口縁・赤し字状 文様・外面・胴部には2条の凸赤文 内面には2条の凸赤文(1mm) | 21.0 — 369.0 | 0.8~1.1 — — | 粗粒 多量 | ◎ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ | 砂質 良好 | 両面・茶褐色 | 両面・シガキ |
| | 3 | 口 | 底形・口唇・玉縁・口縁・赤し字状 無文 | 19.8 — 61.5 | 0.8 — — | 粗粒 多量 | ◎ | △ | ○ | ○ | ○ | 砂質 良好 | 両面・赤褐色 | 外・シガキ 内・器面剥落 | HD②イ L10 V (赤砂層) 敷1173 HD②イ L10 V (具磨②) 敷1235 (総合) |
| | | | 底形・口唇・丸・口縁・外縁 やや薄手・無文 | 21.4 — 13.3 | 0.6 — — | 粗粒 多量 | ◎ | △ | △ | ○ | ○ | 砂質 良好 | 外・褐色 内・淡黄褐色 | 外・シガキ 内・器面剥落 | HD②イ・ベルト V (具磨②) 台3305 |
| | | | 底形・口唇・丸・口縁・赤し字状 文様・胴部には3条の沈線 | 12.8 — 138.2 | 0.8~1.1 — — | 粗粒 多量 | ◎ | △ | ○ | ○ | ○ | 砂質 やや 良好 | 両面・淡褐色 | 両面・シガキ 内面下部は 剥落 | HD②イ・ベルト V (具磨②) 台3136 |
| 第31 国・ 図版3 | 6 | 7 | 底形・胴部・窄帯・胴部・器らむ 文様・胴部には2条の三角凸赤文 | — — 142.5 | 0.8~1.1 — — | 粗粒 多量 | ◎ | △ | ○ | ○ | ○ | 砂質 良好 | 両面・赤褐色 | 両面・シガキ | HD②イ J12 V (具磨②) 敷1192 |
| | | | 底形・胴部・窄帯・胴部・器らむ 最大胴径 42.8cm 文様・胴部には2条の三角凸赤文 | — — 238.5 | 0.8~1.1 — — | 粗粒 多量 | ◎ | △ | ○ | ○ | ○ | 砂質 やや 悪 | 外・赤褐色 内・淡灰褐色 | 外・シガキ 内・器面剥落 | HD②イ K10 V (赤砂層) 敷1230 HD②イ J10 V (具磨②) 台3139 HD②イ K10 V (具磨②) 台3149 HD②イ L11 V (具磨②) 台3133 (総合) |
| | 8 | 8 | 底形・胴部・器らむ 文様・胴部には3条の三角凸赤文 | — — 124.4 | 1.0 — — | 粗粒 多量 | ◎ | △ | ○ | △ | ○ | 砂質 良好 | 外・褐色 内・淡灰褐色 | 両面・シガキ | HD②イ J13 V (褐色シルト④) 敷1164 |
| | | | 底形・胴部・器らむ 文様・現存で1本の三角凸赤文 | — — 54.7 | 0.6 — — | 粗粒 多量 | ◎ | △ | △ | ○ | ○ | 砂質 良好 | 外・赤褐色 内・赤褐色 | 外・シガキ 内・器面剥落 | HD②イ K10 V (具磨②) 台3149 |
| | 10 | 10 | 底形・胴部・器らむ 文様・外面には2条の沈線 | — — 18.5 | 0.5 — — | 中粒 多量 | ◎ | △ | ○ | ○ | ○ | 砂質 やや 良好 | 外・暗茶褐色 内・器面剥落 | 外・シガキ 内・器面剥落 | HD② L18 V (5層白砂) 台544 |
| | | | 底形・胴部・器らむ 文様・外面には2条の沈線 | — — 8 54.4 | 0.8 — — | 粗粒 多量 | ◎ | △ | ○ | ○ | ○ | 砂質 良好 | 外・赤褐色 内・灰茶褐色 | 外・ナゲ下家 内・器面剥落 | HD②イ K2 V (Ⅲ) 台214 |
| | 12 | 12 | 底形・口縁部形状不明 文様・外面には内形状の浮文 | — — 14.8 | 0.6 — — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 外・茶褐色 内・赤褐色 | 両面・ナゲ下家 | HD②イ L9 V (赤砂層) 台3153 |
| | | | 底形・口縁・やや内窪 口唇・幅広で平ら・胴部・器らむ 文様・口唇側面に刻目文 外面には2条の沈線 | 18.2 21.7 (Ⅲ) 180.1 | 0.7 — — | 細粒 少量 | ◎ | △ | △ | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 両面・暗茶褐色 | 外・シガキ 内・ナゲ下家 |
| | 14 | 14 | 底形・口唇・平△三角状に貼付・胴部 やや器らむ 文様・口唇部外面に凹赤文・外面 には4条の凸赤文と刺突文(浅め) | 26.9 — 78.9 | 0.6 — — | 粗粒 多量 | ◎ | △ | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 外・暗茶褐色 内・赤褐色 | 外・ナゲ下家 内・ナゲ下家 | HD② K15 V (3層暗褐色シルト) 台649 |
| | | | 底形・口唇・平△三角状に貼付 文様・口唇部外面に凹赤文 | 28.8 — 32.5 | 0.7 — — | 中粒 多量 | ◎ | △ | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 外・灰褐色 内・淡褐色 | 外・ナゲ 内・ナゲ・箱型傾 | HD② N15 IV (箱型灰褐色シルト) 台511 |
| 16 | 16 | 底形・口唇・平△三角状に貼付 文様・凸赤文口縁のみ(2.5cm以下) | 31.4 — 25.1 | 0.6 — — | 粗粒 多量 | ◎ | △ | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 両面・褐色 | 両面・ナゲ | HD② K12*14 J13,14-14 V (4層褐色シルト) 台573 | |
| | | 底形・口唇・平△三角状に貼付 文様・口唇の外側に刻目文・粘土 は在座? 横線土器? | 13.6 — 26.0 | 0.6 — — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 両面・黄茶褐色 | 外・ナゲ下家 内・ナゲ下家 | HD②イ L2 V (Ⅲ) 台72 |
| 18 | 18 | 平底・輪状に外反 | — — 2.1 78.2 | 1.0 — — | 粗粒 多量 | ◎ | △ | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 外・灰褐色 内・器面剥落 | 外・シガキ 内・器面剥落 | HD②イ H2 V (褐色シルト④) 台3095 | |
| | | 平底・外底の立ち上がりの角は若干 丸み・びれ(Ⅲ) | — — 4.7 96.8 | 0.6 — — | 中粒 多量 | ◎ | △ | △ | △ | △ | △ | 砂質 やや 悪 | 外・灰褐色 内・赤褐色 | 外・ナゲ下家 内・器面剥落 | HD②イ K10 V (具磨②) 台3122 HD②イ K11 V (褐色シルト②) 台3138 (総合) |
| 20 | 20 | 平底・若干くびれ・外反強(Ⅲ) | — — 1.4 4.0 27.8 | 0.7 — — | 中粒 中量 | ◎ | △ | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 両面・淡褐色 | 両面・ナゲ下家 | HD② K30 V (4層具磨) 台569 | |
| | | 平底・外底は平ら・若干くびれ | — — 1.2 8.0 60.3 | 0.7 — — | 中粒 中量 | ◎ | △ | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 外・褐色 内・器面剥落 | 外・ナゲ 内・器面剥落 | HD②イ I (粘土) 台3083 | |
| 22 | 22 | 脚台・外底上げ底 器厚一厚(Ⅲ) | — — 2.8 6.6 214.0 | 0.7 — — | 中粒 多量 | ◎ | △ | △ | △ | ◎ | 砂質 良好 | 両面・茶褐色 | 外・ナゲ下家 内・底仕上げ | HD②イ J13 V (褐色シルト④) 敷1143 | |
| | | 脚台・外底上げ底 内底縦溝(Ⅲ) | — — 5.0 5.0 | — — — — | 中粒 中量 | ◎ | △ | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 両面・茶褐色 | 外・ナゲ下家 内・器面剥落 | HD② K14 V (4層褐色シルト) 敷71 | |
| 24 | 24 | 脚台・外底・内底とも縦溝(Ⅲ) | — — — — 74.6 | — — — — — | 中粒 少量 | ◎ | △ | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 両面・赤褐色 | 両面・ナゲ下家 | HD② K19 V (4層具磨) 敷158 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

凡例 ◎=非常に多い ○=多い △=少ない △=僅少

第6表-2 土器観察一覧(搬入)

(数量単位:cm, g)

| 調査年度 | 調査部位 | 形制 | 口径 器高 底径 | 器厚 底厚 重量 | 粒状 含量 | 赤 色 灰 | 石 質 | 角 閃 石 | 砂 粒 | その 他 | 胎土 構成 | 器色 (外面 内面) | 器面調整 (外面 内面) | 地区・グリッド・層位 遺構・名称・(取上)番号 | |
|--------------|------|----|---|------------------|----------------------|-------------|--------|-------------|--------|-----------|----------|------------------|--------------------|----------------------------|---|
| 第33回・ 図版5 | 口 | 25 | 甕形・小型・口唇・平ら幅10cm・外 面に裏出し強調・内縁・胴部・中央 部・文様・口唇に縦状凸条文様・ 斜状凸条文様(耳張状)・縦状凸条文 様(肩状) | 12.2 — — | 0.6 — 16.2 | 細粒 中量 | ○ | ○ | △ | △ | | 砂質 良好 | 外縁褐色 内茶褐色 | 両面・ナデ | HB① J14 V (4層褐色シルト) 取90 |
| | | 26 | 甕形・小型・口唇・平ら幅10cm・外 面に裏出し強調・内縁・胴部・帯状 文様・口唇に縦状凸条文様・ 外面・無文 | 14.4 — 6.0 | 0.6 — 6.0 | 細粒 中量 | △ | △ | △ | △ | | 砂質 良好 | 両面・茶褐色 | 外・ナデ丁家 内・ナデ | HB②イ I (粘土) 台3083 |
| | | 27 | 甕形・小型・口唇・平ら幅11cm・外 面に裏出し強調・胴部・帯状凸条 文様・口唇に縦状凸条文様(上は 凸条文)・三角状凸条文(上に斜突 文) | 15.6 — — | 0.6 — 16.2 | 細粒 少量 | △ | △ | △ | △ | | 砂質 良好 | 両面・暗茶褐色 | 両面・ナデ | HB②イ K10 V (具脚②) 取1047 |
| | 口 | 28 | 鉢形・小型・口唇・平ら幅10cm・外 面に裏出し強調・胴部・中央部 文様・口唇に斜突文?帯状和枝 け?・外面に耳張状)・縦状凸条文 様 | — — — | 0.8-1.1 — 60.4 | 粗粒 多量 | ◎ | | | ○ (+→) | | 砂質 良好 | 外縁褐色 内茶褐色 | 両面・ナデ | HB②イ不明 |
| | | 29 | 甕形・小型・口唇・中央から両側に 平らな面(内側→外)出す鉢・胴部 ・帯状凸条文・口唇直下ナデにより 後者有) | 12.8 9.1 — | 0.7 — 77.7 | 細粒 中量 | ○ | △ | | | | 砂質 良好 | 外縁褐色 内茶褐色 | 外・ナデ丁家 内・ナデ | HB②イ J10.11 V (暗褐色シルト) 取2008 HB②イ J10 V (暗褐色シルト) 取3106 HB②イ J-K11 V (具脚①土層) 取3118 HB②イ K11 V (褐色シルト②) 取3135 HB②イ K10 V (具脚②) 取3149 (総合) |
| | | 30 | 鉢形・口唇・平ら幅(やや強調) (幅約13cm) | 18.8 — — | 1.0 — 111.4 | 粗粒 多量 | ○ | △ | △ | ○ (+→) | | 砂質 良好 | 両面・暗茶褐色 | 両面・ナデ | HB① J16 V (4層褐色シルト) 取222 |
| | 頸 | 31 | 胴部・僅かに外反・厚手 文様・外面に凸条文(斜状) | — — — | 1.0 — 24.9 | 粗粒 多量 | △ | | △ | ○ | | 砂質 良好 | 両面・赤褐色 | 外・ナデ 内・ナデ・器傾斜 | HB① J-K17.18 V (4層褐色シルト) 取549 |
| | | 32 | 胴部・帯状凸条文 文様・外面に斜状の凸条文・横位 の凸条文2条 | — — — | 1.0 — 94.2 | 粗粒 多量 | ◎ | | | △ | | 砂質 良好 | 両面・赤褐色 | 両面・ナデ | HB① K19 V (4層黄褐色) 取188 HB① J-K18.19 V (4層赤褐色) 取245 HB① J-K17.18 V (4層褐色シルト) 取549 (総合) |
| | 胴 | 33 | 胴部・中央部・中央部 文様・外面に横位の凸条文2条 | — — — | 0.6 — — | 細粒 少量 | △ | | △ | △ | | 砂質 良好 | 外縁褐色 内茶褐色 | 外・ナデ丁家 内・ナデ | HB②イ J9 V (具脚①) 取1488 |
| | | 34 | 形状不明・厚手 文様・外面に幅1cmの凸条文(丸) | — — — | 0.55 — 9.3 | 細粒 少量 | △ | | △ | △ | | 砂質 良好 | 外赤褐色 内茶褐色 | 両面・ナデ | HB②イ O2 V (皿) 取61 |
| | 底 | 35 | 形状不明・厚手 文様・外面に帯状の凸条文2条 (半丸凸内面)・横位の凸条文2条 | — — — | 0.8 — 37.1 | 細粒 少量 | △ | △ | △ | △ | 火山 灰? | 砂質 良好 | 両面・黄褐色 | 外・ナデ丁家 内・全面明瞭 | HB① O19 V (3層黄褐色砂) 取224 |

凡例 (◎)・非常に多い ○・多い △・多少 △・少量

2) 在地土器

貝塚時代後期の在地土器は口縁部、胴部、底部を合わせて総数 13820 点が得られた。出土数が多いことから部位別に集計を行い、それぞれの出土量を示した。

なお、貝塚時代前・中期の土器も 7 点程得られたので、口縁部の最後に報告する。以下、口縁部、胴部、底部の順に記述する。

1. 口縁部

口縁部は復元土器も合わせて 1386 点が出土した。本遺跡出土の土器を型式が分かるものを中心に I～VII 類に分類し、第 7 表に出土量を示した。鉢形と壺形に分け、甕形は鉢形の中に含めた。分類別に見ると I～III 類が 92.0% と高い頻度で出土し、中でも II 類は 56.9% と本遺跡の主体を占める。IV～VII 類は僅か 8.0% の出土である。地区別には HB②イ地区と HB①地区での出土が多く、93.8% と高い割合を占める。I～III 類は大半が両地区からの出土である。その他、HB④ロ地区では IV・VII 類の出土が見られるなど、本遺跡でも貝塚時代後期の土器がそれぞれまとまりを見せた。

層的には V 層出土が 89.0%、IV 層出土は僅か 4.5%、I～III 層出土も 5.3% と低い割合を示す。V 層は発掘時に分層をしているが、多数出土した II 類と I 類の出土状況は層位的、平面的にもほぼ同じである。本遺跡では多量の土器が検出されたにもかかわらず、貝塚時代後期の遺構と遺構出土の土器は僅かであった。下記に在地土器の分類を示し、その順で記述する。

I類：口縁上部が「く」字状に屈曲するもの（阿波連浦下層式土器相当）

II類：胎土がきめ細かく、角閃石を多量に含むもの（浜屋原式土器相当）

III類：I類とII類の中間タイプと胎土がII類に近いもの（I・II類と思われる壺も含める）

IV類：粘土積み痕が隆起し、器面調整も雑なもの（大当原式土器相当）

V類：有文土器

VI類：厚手の土器で型式不明のもの

VII類：薄手の土器で型式不明のもの

< I類 >

I類の口縁部は238点が得られた。全体の約17.2%の割合で、V層出土が95.4%を占める。第24図に示した平面分布を見ると、HB②イ地区での出土が最も多く、次に隣接するHB①地区の中央部北側と続く。本遺跡においては本来のI類とした形状の他に、緩やかな屈曲部を持つものや胎土が若干泥質気味で薄手も見られ、全体的な形状から今回はI類に含めたものもあり、今後の課題である。以下、形状のわかるものをa～eに分類した。

- a：屈曲が明瞭で胴部が膨らみを持つもの・口径<胴径
- b：屈曲が明瞭で胴部が直線的なもの・口径>胴径
- c：屈曲がやや明瞭で胴部がやや膨らみを持つもの・口径>胴径
- d：屈曲が弱く、胴部はより膨らむもの・口径≧胴径
- e：屈曲がより不明瞭で間隔も狭く、胴部はより膨らむもの・口径≦胴径

aは図36～40の5点を図示した。ほとんどが砂質で粗めの胎土を呈し、混和材は白色粒主体と石英主体のものがある。中には砂泥質で器厚が6mm弱と薄く、赤色粒を含むなど他のI類と胎土に若干の違いが見られるものもあるが、屈曲が明瞭であるなどの形状から、今回はI類に含めた。図36・37は底部近くまであり、復元を行った。大きさは若干異なるが、胎土や形状はほぼ同じである。図38は前者らと同じ形状を呈するが、胎土は砂泥質で赤色粒も含まれる。ただ、口縁部の内面は屈曲のために膨らみを持つなどI類の特徴を示す。図39は外面上部に煤が付着している。図40は口縁上部に有孔が見られ、孔の径は約6mmで外→内へ穿たれる。

bは図41～47の7点を図示した。図41は屈曲のくびれが強く、胴部はあまり張らずに直線的である。遺構の1042SX直下出土で、V層内の山土層と灰砂層出土の破片が接合出来た。両面とも丁寧なナデ調整を行なっている。図42～45は口縁部の屈曲が明瞭で、図45の口唇部には軟状凸帯文が貼付され、内面側がやや長い。図46は屈曲部がやや長く、胎土はきめ細かな砂質でII類に類似する。図47は両面に文様を有するもので、外面にはやや斜位の沈線文、内面には縦位の沈線文が施される。外面に比べ、内面の文様はやや浅く施されるが、施文具は同じである。有文土器はVI類にま

第7表 在地土器（口縁部）出土量

| 地区 | 層位 | 遺構 | 分類 | | | | | | | 合計 | | | |
|------|----|----------|-----|-----|------|-----|----|-----|------|----|------|-----|-----|
| | | | I類 | II類 | III類 | IV類 | V類 | VI類 | VII類 | | | | |
| HB① | | I | 1 | 9 | | 3 | | | | 13 | | | |
| | | II 遺構 | 2 | 9 | | 4 | 2 | | 1 | 16 | | | |
| | | III 遺構 | | 5 | | 1 | 1 | | | 8 | | | |
| | | IV | | 12 | | 8 | 11 | 2 | 9 | 5 | 48 | | |
| | | V 364SS | | 95 | 308 | 35 | 60 | 11 | 1 | 3 | 5 | 526 | |
| | | VI | | 1 | | | 1 | | | | 1 | | |
| | | 小計 | | 98 | 347 | 35 | 88 | 25 | 2 | 12 | 8 | 7 | 622 |
| HB②イ | | I | | 4 | | 2 | | | | 2 | 8 | | |
| | | II 遺構 | | 3 | 7 | | 1 | | | | 11 | | |
| | | III | | | | | | 1 | | | 1 | 2 | |
| | | V 1023SX | | 1 | 2 | | | | | | | 3 | |
| | | 1041SX | | 1 | | | 1 | | | | | 2 | |
| | | 1042SX | | 1 | 2 | | | | | | | 3 | |
| | | 1043SX | | 1 | | | | | | | | 1 | |
| 不明 | | 1 | | | | | | | | 1 | | | |
| 小計 | | 134 | 416 | 59 | 64 | 1 | | 1 | | 3 | 678 | | |
| HB②ロ | | III 遺構 | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | IV | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | 小計 | | | | | | | | | 2 | 2 | |
| HB④イ | | IV | | 1 | 4 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 3 | 12 | |
| | | V | | 2 | 9 | | | 1 | 1 | 1 | 3 | 17 | |
| | | 小計 | | 3 | 13 | 1 | | 2 | 2 | 2 | 6 | 29 | |
| HB④ロ | | I | | | 2 | | | | | | 1 | 3 | |
| | | IV 遺構 | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | | V | | | | | 1 | 22 | | 1 | | 11 | 35 |
| | | 小計 | | | 2 | | 1 | 22 | | 1 | | 13 | 39 |
| 不明 | | 3 | 10 | | | | | | | | 15 | | |
| 合計 | | 238 | 788 | 95 | 154 | 51 | 2 | 18 | 10 | 30 | 1386 | | |

遺構：HB①（I類）98S2（II類）98S2、229、240S2、15K、306SS（III類）197、221P、189、237、296SA、275S、
遺構：HB②イ（IV類）190SS2、1006SK、1018SX、HB②ロ（III類）2049SD、HB④イ（IV類）SD001

とめたが、本資料はⅥ類の有文土器と形状、胎土、文様等に違いが見られ、Ⅰ類の特徴を呈することからここに含めた。

c は図 48～55 の 8 点を図示した。c の中には口唇部が舌状を呈するものや胎土がやや泥質に近いものが見られた。図 48 は指ナデによって幅の狭い屈曲部が見られる。器厚は 10 mm と他に比べて厚く、外面には弧状の三角状凸帯文の耳を貼付している。口唇部はやや舌状気味で、僅かに反する。図 49 はⅠ類ではあまり見られない薄手 (5 mm) でやや泥質の胎土を呈するが、屈曲部が明瞭であることからⅠ類に分類した。口唇部は舌状を呈し、粘土積み痕も明瞭である。粘土帯は約 2.5 cm と一定で、ナデにより器面は平滑である。図 50・51・54 はやや泥砂質の堅致な土器で、図 52 は指ナデによる僅かな屈曲が見られ、器厚が厚い。図 53 も 6 mm と薄手でキメ細かい胎土を呈し、外面のヘラナデ痕が明瞭に残る。図 55 は胴部を欠くが、口縁部と底部が得られたことから、図上で復元した。底部は平底で、立ち上がりはややくびれる。頸部が指ナデにより若干屈曲部を形成し、胎土に角閃石や石英などを含むことからⅠ類とした。

d は図 56～62 の 7 点を図示した。図 56 は薄手で口縁部の屈曲がやや弱く、胴部は若干張りが強い。口唇部は舌状を呈し、波状口縁となる。本資料に煤が付着しており、年代測定を行ったところ、 2220 ± 20 BP の値が得られた。詳細は第四章第 3 節で述べる。

図 57 は口～底部まで出土し、復元が出来たものである。本資料も底部が平底で、胴部がより張る器形を呈する。外面には有孔を持った半円状の耳を貼付し、やや泥質に近い胎土を呈する。図 58・61 は 5 mm と薄手で、いずれも砂質の胎土を呈し、手触りがざらつく。図 59・62 は 7 mm とやや厚く、しっかりした胎土を呈する。前者は胴下半部まであり、胴部の膨らみが強い。図 60 は石英を主体とし、口径が 14.6 cm と小型の土器で、胎土は a に類似する。

e は図 63～69 の 7 点を図示した。屈曲は不明瞭で胴部の張りが強く、ナデにより僅かな屈曲部が見られる。Ⅰ類本来の器形とは若干異なるが、今回はⅠ類に含めた。胎土は砂質、砂泥質が見られ、前者は図 63～67、後者は図 68・69 である。図 64～66 は指ナデによって幅の狭い屈曲部を呈し、胴部はより膨らむ。図 63・67～69 は屈曲部がより緩やかで長く、胴部の張りも若干弱い。

<Ⅱ類>

Ⅱ類は口縁部 788 点と本遺跡で最も多く得られた。口縁部の割合では 56.9% と半数を占める。Ⅰ類と同じくⅤ層出土が最も多く、91.8% の割合を占める。第 24 図に示した平面分布を見ると、最も多く出土する場所はⅠ類とほぼ同じである。他に、Ⅱ・Ⅲ層の遺構出土のものも見られ、HB①地区と HB④イ地区の N ライン以下で出土するものはⅣ層出土である。胎土はⅠ類に比べてキメ細かく締まり、より砂質になるものが多いが、中にはⅠ類に近い胎土も見られる。器面調整を見ると、外面は丁寧なナデ、内面は雑な指頭痕が目立つ。混和材は角閃石を主体とするものと石英主体のものに分かれる。Ⅱ類も形状の分かるものを下記のように a～e に分類した。

- a : 口縁部は直状を呈し、胴部がやや張るもの (やや内彎気味のものも含む)
- b : 口縁部は直状を呈し、頸部はややしまりながら胴部が張るもの
- c : 口縁部は外反し、胴部がやや張るもの
- d : 口縁部は逆「ハ」字状に開くもので、胴部が直線的なもの
- e : d とほぼ同じ形状だが、口縁部上端の外反が強いもの

a は図 70～77 の 8 点を図示した。図 70・71 は胴中央部辺りから急に窄まって底部へ移行する。やや泥質に近い胎土を呈し、石英と白色砂主体である。前者の外面はナデ調整が丁寧であるが、内面はかなり雑である。図 72 は口縁部のみで、全体的な形状は不明で、口唇部はやや波状を呈する。

図 73・75 は口径が 16.8 cm、14.4 cm と小型の土器で、器厚は 8 mm と厚手である。胎土は砂質でキメ細かく、角閃石を多量に含む。図 74 は口径が 11.6 cm とより小型で、碗形にも近く堅致でしっかりしている。図 76 は口縁部と胴部が出土地、胎土とも同じであることから、図上で復元したものである。両面とも丁寧なナデを施す。図 77 は口唇部が玉縁を呈し、割としっかりした土器である。

b は図 78～82 の 5 点を図示した。胎土や器面調整などからⅡ類としたもので、a と同じく直状タイプであるが、口縁部は頸部が若干しまり、胴部で張るのが特徴である。外面の調整は全て丁寧、内面は指頭痕が明瞭に残るなど雑である。図 81 は HB④イ地区 N2 IV 層出土で、器色が黄茶褐色を呈する。図 82 は口径が 12 cm と小型の土器で、両面とも煤が付着している。

c は図 83～91 の 9 点を図示した。図 83 は底部近くまで得られた。外面は丁寧なナデ調整、内面は指頭痕が残り雑な仕上げである。角閃石は僅かで、石英主体のキメ細かな胎土を呈する。図 84 は砂質が強く、石英・角閃石を多量に含む。図 85・86・90 はきめ細やかな砂質を呈し、図 83 と類似する。図 86 は煤が付着しており、年代測定を行ったところ 2350±30BP の値が得られた。図 87・88 は外面に横耳状の把手を持つもので、胎土は図 84 と同様である。前者は横耳状の把手に 2 個の有孔、後者は 1 個の有孔を持つ。Ⅰ類の図 57 にも類似するが、器形や胎土、器面調整などから本資料はⅡ類とした。図 89 も胎土や形状からⅡ類に分類したもので、HB④イ地区出土である。本地区出土のⅡ類はほとんどが同様の胎土で器色も黄茶褐色を呈するものが多い。図 91 は焼遺構である 1042SX 出土で、口～底部まで出土し、復元が出来たものである。粘土積み痕は隆起せず、粘土帯が約 4 cm 幅と一定で、混和材は石英を主体とする。口縁は波状を呈し、左右で形状が異なる。詳細は遺構の項にて記述する。

d は図 92・93 の 2 点を図示した。両者とも胎土は砂質で、石英を主体とする。前者は口径が 13.6 cm と小型で、後者は大きい。器厚はいずれも 5 mm と薄手である。

e は図 94～99 に図示した 6 点で、5～6 mm と薄手が多い傾向が見られた。図 95・96 は砂質が強く、手触りもざらつく。他は、前者 2 点に比べるとしっかりした胎土である。図 97～99 は他と異なり両面とも丁寧なナデが施されている。

<Ⅲ類>

Ⅲ類はⅠ類・Ⅱ類の要素を併せ持ち、胎土等が類似するものと壺形をまとめた。中にはⅠ・Ⅱ類の形状と若干の違いが見られるものやⅣ類の要素を持つものもある。壺形の大半はⅡ類と思われるが、中にはⅠ・Ⅳ類もあり、胎土が類似するものも多いため、まとめてⅢ類で報告する。層位的にはⅠ・Ⅱ類と同じⅤ層出土が多く、平面分布もほぼ同じ状況を示すことから、大半はⅠ・Ⅱ類に属するものと思われる。鉢形は 154 点、壺形は 95 点が出土し、図 100～136 に図示した。鉢形を A、壺形を B に分けて記述する。鉢形の中に甕形も含めた。

①：鉢形

鉢形は形状により a～c に分類した。

- a：直状・外反タイプ
- b：やや内彎・「く」字状湾曲タイプ
- c：その他

a は図 100～104 の 5 点を図示した。外面は丁寧なナデ、内面は雑な指頭痕が見られるなどⅡ類に近い。図 100 はナデによる湾曲が僅かに見られ、胴部が若干張ることからⅠ類の可能性もある。図 101～103 もナデによる湾曲が僅かに見られるが、胴部は張らずに直線的に底部へ移行する。図 104 もナデによる湾曲が見られるが、粘土積み痕が明瞭で、器厚も胴部にいくにつれて厚くなるなど不

揃いになり、IV類の要素も持つ。ただ、胎土はキメ細かい砂質を呈し、ややII類に近い。

bは口縁部がやや内彎し、「く」字状に湾曲する。図105・106は胴下部が窄まり、胎土はキメ細かい砂質でII類に近い。図107・108は胴部の湾曲が強く、特に図108は顕著である。口唇部は粘土を貼付し、外反がやや強い。aに比べると胎土は砂泥質でしっかりしている。

cはa・bに分類出来ないものをまとめた。図109は胴部で、胎土が砂質を呈し、器面調整などの特徴からII類に近い。図110は口縁部の上部が外反し、頸部でしまりながら胴部は膨らむ。両面ともナデ調整が丁寧である。図111は口縁部の外反が強く、胴部は直状を呈する。II類eと形状が類似するが、胎土が異なるためにIII類に含めた。外面のナデは丁寧で、内面は雑仕上げでハケ目痕が明瞭である。図112~114の3点は口唇部を強調させるもので、前者は外反し、後者2点は口唇部に粘土を貼付し、平らで幅広い口唇部を持つのが特徴である。

②：壺形

壺は図115~136に22点を図示した。中にはI・II類と異なる胎土を呈するものもあるが、本文以外はここでまとめた。形状により以下のように分類した。

- a：無頸壺で口縁部から「ハ」字状に開くもの
- b：短頸壺で肩部まで緩やかなナデ肩状を呈するもの
- c：短頸壺で口縁部は外反・肩部は張り出すもの
- d：短頸壺で口縁部は直状・肩部は張り出すもの
- e：長頸壺でやや外反するもの
- f：長頸壺で直状するもの
- g：口縁部は外反・頸部は屈曲・胴部はやや張るもの
- h：壺の胴部

aは図115~117の3点である。3点とも8~11mmと厚手で「ハ」字状に開く。胎土は砂質で、石英・角閃石を含むなどII類に分類出来そうである。図117は他の2点に比べて内面がやや雑であるが、外面のナデは丁寧である。

bは図118~120の3点で、肩部は緩やかなナデ肩を呈する。図120は外面のナデが丁寧なことからここに含めたが、他の2点に比べて薄手で石灰質の白色粒を多量に含む。

cは図121・122の2点で、肩部から胴部にかけて急に張り出す。前者は口径が12.4cmと小型、後者の口径は18.7cmとやや大型で、両者とも外面は丁寧なナデが施されている。

dは図123~126の4点で、いずれも口径が6~8.2cmと小型である。肩部から胴部にかけて急に張り出す形状が主体である。図123は内面の肩部が張り出す部分に明瞭な調整痕の起点が見られ、削りあるいは押さえの調整痕と思われる。図124はcと同様な胎土を呈し、図125・126は類似の胎土で肩部から胴部にかけて急に張り出す。両者は胎土等がIV類に近い。

eは図127・128の2点を図示した。2点とも10mmと厚手で、前者はかなり長頸である。胎土や器厚等が類似し、器面調整や胎土、混和材などもII類の特徴を持つ。前者はHB①地区L19 V層(褐色細砂質土)出土の口縁部とM18 V層(青灰色砂質土)出土の頸部(取223)が接合した。後者はHB④イ地区L1 V層(VII層)出土(取1)である。

fは図129の1点で、両面ともハケ目痕が縦位に見られるが、外面は丁寧なナデが行われて不明瞭である。胎土に含まれる混和材は僅かで、器色は赤褐色が強い。内面はナデ調整が弱く、粘土積み痕が明瞭である。本資料はI・II類以外の壺と思われる。

gは図130の1点で、口径が10cmと小型である。口縁部は外反が強く、頸部から緩やかに胴部に

移行し、胴中央部付近で湾曲部を持つ。火山ガラスと思われる混和材も含まれていることから搬入土器の可能性もあるが、今回は在地壺の中に含めた。

hは図131～136の6点である。図131・132は薄手で、角閃石を多量に含む。外面は丁寧なナデ、内面は雑仕上げである。形状などからⅠ類に近いものと思われる。図133・134は同じ胎土を呈し、前者の胴部形状は丸みを呈するが、後者は肩部で張り出した後に底部まで直線的に移行する。また、前者の外面頸部には横位の沈線文が施される。図135は肩部から底部まで出土した資料で、肩部は大きく張り出しながら底部へ直線的に窄まる。口縁部は得られていないが、復元図からすると口径は小さく、窄まるものと想定される。図136は薄手で両面とも丁寧な仕上げである。本資料は形状や胎土、混和材、器厚などからⅠ・Ⅱ類より新しい可能性が考えられる。

<Ⅳ類>

Ⅳ類は51点の出土で、全体の僅か3.7%の割合である。図137～144に8点を図示し、出土量が少ないことからまとめて記述する。主に、HB④ロ地区とHB①地区で出土し、Ⅰ・Ⅱ類とは平面分布の状況が異なることから、隣接する平安山原C遺跡との関係が考えられる。粘土積み痕が隆起するものがほとんどで、図137・139・140は薄手(4～8mm)、図138・141～144は厚手(8～17mm)である。図137は口縁部から底部まで接合が出来、復元したものである。粘土積み痕が明瞭で、外面には不規則な曲沈線文を施している。他の口縁部も粘土積み痕が隆起し、不揃いである。図143の胴部は9～17mmとかなり厚手で、類例として小堀原遺跡(2012第46図134)があげられる。

<Ⅴ類>

Ⅴ類は有文の土器をまとめたもので、鉢18点、壺2点の計20点が得られた。壺の2点是有文で、Ⅲ類でまとめた無文の壺と胎土も異なることから、ここに含めた。Ⅴ類は僅か1.4%の割合である。

最も多く出土した地区はHB①地区西側のⅣ層からで、他の地区からの出土は僅かである。図145と図146は文様が類似しているが、若干の違いが見られる。前者はキメ細かい胎土で丁寧なナデ調整を行い、外面には規格的な鋸歯状沈線文が施される。Ⅱ類あるいはⅣ類との中間タイプの可能性が考えられ、口縁部の外面上部には煤が付着している。後者は胎土が粗く調整も雑である。文様もラフで、Ⅳ類に相当すると思われる。図147・148は口唇部に文様があり、前者は明瞭な刺突文、後者は浅く長めの指頭圧文が施される。前者のような明瞭な文様は本町の伊礼原D遺跡(2013)、伊礼原遺跡(2014)でも出土している。図149・150の2点は両面に文様を有するもので、両者とも曲沈線文を施している。図149は口縁部が外反し、砂泥質のしっかりした胎土を持つ。灰白色を呈し、あまり見られない器色である。HB②ロ地区Ⅳ層(グスク層黒色粘質土)から出土した。図150の口縁部は強く外反し、胴部でやや張る形状と思われる。内面にハケ目痕が明瞭に残り、戦前の擾乱であるHB①地区1016SZとHB②イ地区Ⅴ層(橙色シルト①)出土のものが接合出来た。形状や胎土等から奄美系土器やアカジャンガー式土器が考えられるが、出土数が少なくはっきりしない。両面に文様を有する土器は名護市の部瀬名貝塚(1996)、うるま市の平敷屋トウバル遺跡(1996)等でも出土している。図151・152は壺で、2点とも外面に明瞭な横位・弧状の沈線文を施す。両者の沈線文は前者が太く、後者は細い。いずれもⅣ層(青灰色粘質土・青灰色シルト)出土である。

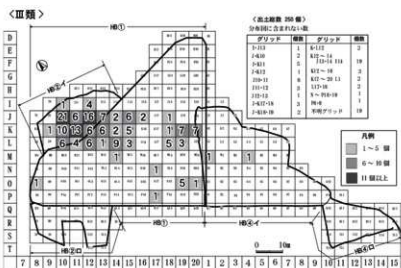
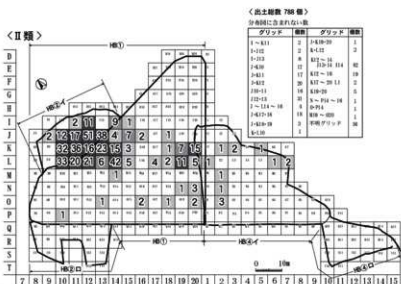
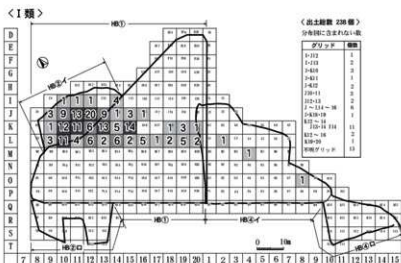
<Ⅵ類>

Ⅵ類は既存の型式から外れる厚手(8～10mm)のものをまとめた。僅か10点の出土で、Ⅳ層、Ⅴ層から半々の出土である。018～02グリッド付近で出土し、図153～156に4点を図示した。図154はHB④イ地区の下層確認調査において、02グリッドのⅤ層(白砂層)から出土した完形土器である。土器に付着した煤の年代測定は1890±30BPの値が得られ、詳細は第Ⅳ章第3節で述べる。

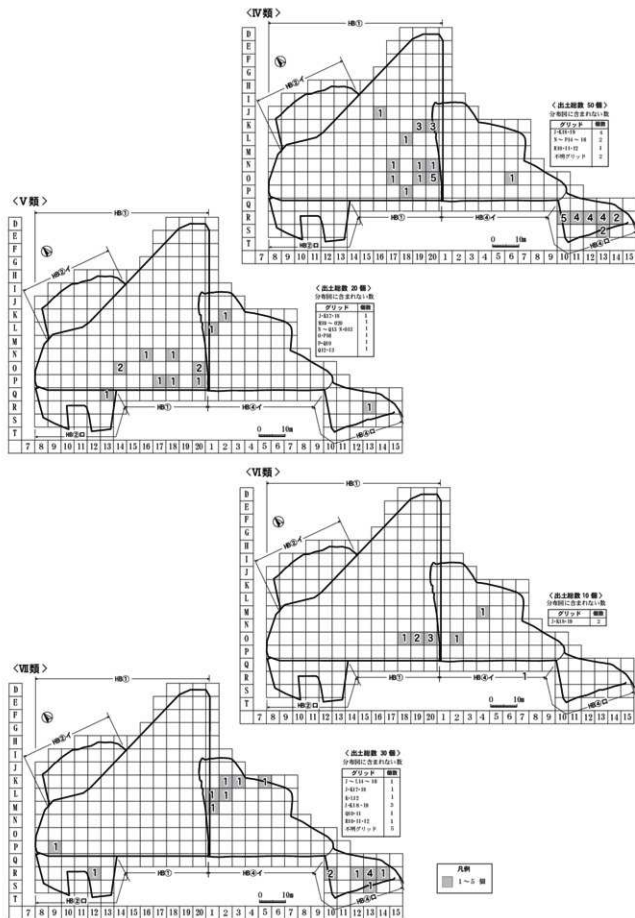
口縁部は外反し、頸部で窄まりながら胴部は膨らみ、乳房状尖底へと続く。8～10mmと厚手で、外面に粗削りの条痕が縦方向に明瞭に残り、頸部には有孔が2個並列して見られる。孔の径は2個とも9mmである。このような器形や器面調整を持つ土器は見られず、今後の資料追加を待ちたい。図153・155・156の3点も9mmと厚手で、胎土、器面調整などからここに含めた。いずれも口縁部の上端は外反し胴部は直状と思われる形状を呈する。外面はナデ調整が丁寧、内面は調整痕が明瞭に残る。

<Ⅶ類>

Ⅶ類は型式がはっきりしない薄手(5～7mm)をまとめた。中には8mmとやや厚いものも含む。Ⅶ類にはアカジャンガー式土器や僅かにフェンサ下層式土器と想定されるものも含まれる。30点が出土し、図157～70の14点を図示した。全体の僅か2.2%の割合しか得られず、HB④地区とHB①地区で出土し、平面分布からⅣ類の出土状況と類似する。そのことから、Ⅶ類もⅣ類と同じく隣接する平安山原C遺跡との関わりが考えられる。口縁部が外反するものをa、直状タイプをbとし、胎土には砂質とやや泥質が見られる。aは図157～166の10点で、図160は口縁部上端の反りが強い。図164・165は頸部の屈曲がやや強く、胎土も堅致である。bは図167～170の4点である。図169は緩やかな波状口縁を呈し、外



第24図 土器口縁部(Ⅰ類・Ⅱ類・Ⅲ類)出土平面分布



第 25 図 土器口縁部 (IV類・V類・VI類・VII類) 出土平面分布

面は丁寧なナデ、内面にはハケ目痕などが見られる。図 170 は泥質で、器色や器面調整などの特徴からフェンサ下層式土器と思われる。口径が測れるものは 4 点で、図 161・162 は 20.0 cm、24.8 cm と大きく、図 166・167 は 17.6 cm、15.6 cm でやや小さくなる。

<その他>

その他、貝塚時代後期以前の口縁部、胴部が 7 点得られたので、最後に記述する。図 171~174 に 4 点を図示し、残り 3 点は小破片のため省略した。出土数が少なく、紛れ込みと思われることから、出土量は省略した。図示した個々の遺物の詳細は貝塚時代後期土器の観察表に示した。図 171 は文様と胎土、器厚から室川下層式土器と思われ、HB①地区 L16V 層（中央ベルト 5 層白砂層）から出土した。図 172 は口唇部に幅 1 cm 程の凸帯文を貼付し、その上に細沈線を横位に施すもので、面縄前底式土器あるいは仲泊式土器の中間タイプと思われる。類似の土器は伊礼原 E 遺跡（2010）で出土している。HB④イ地区 M 3 IV 層（V）出土である。図 173 は口唇部、その直下の外面と同様の押し引き文を施している。HB②イ地区 L11V 層（黄砂層）出土である。図 174 は胴部で無文であるが、胎土等からここに含めた。HB①地区出土で、グリッド・層位とも不明である。未報告の 3 点は胴部で、1 点は HB①地区 K12~14・J13・14・I14V 層（4 層橙色シルト）、2 点は HB①イ地区 I12V 層（貝塚①）出土である。

2. 胴部

胴部は 12015 点と多数出土した。

口縁部に比べて形状不明なものが多く、口縁部の混和材や胎土、器厚等を参考に分類した。中には胎土や混和材などが類似し、判別出来ないものは不明として扱った。

第 8 表に胴部の出土量を示した。最も多く出土したものは口縁部と同じく II 類で、67.5% を占める。

I 類は口縁部の出土量に比べると胴部は少なく、IV 類は逆に胴部が多くなる傾向が見られた。地区別には HB①・HB②イ地区からの出土が多く、93.6% を占める。層位的には V 層出土が 87.2% と最も多く、I~IV 層出土も少量見られる。IV 層から HB①地区 524 点、HB④イ地区 120 点、HB②ロ地区 96 点が出土している。第 26・27 図に分類別に胴部の平面分布を図示し、口縁部と比べて見た。I 類は口縁部と同じ出土状況を示し、HB②イ地区とそれに隣接する HB①地区中央部北側に集中している。II 類も多数出土した地区

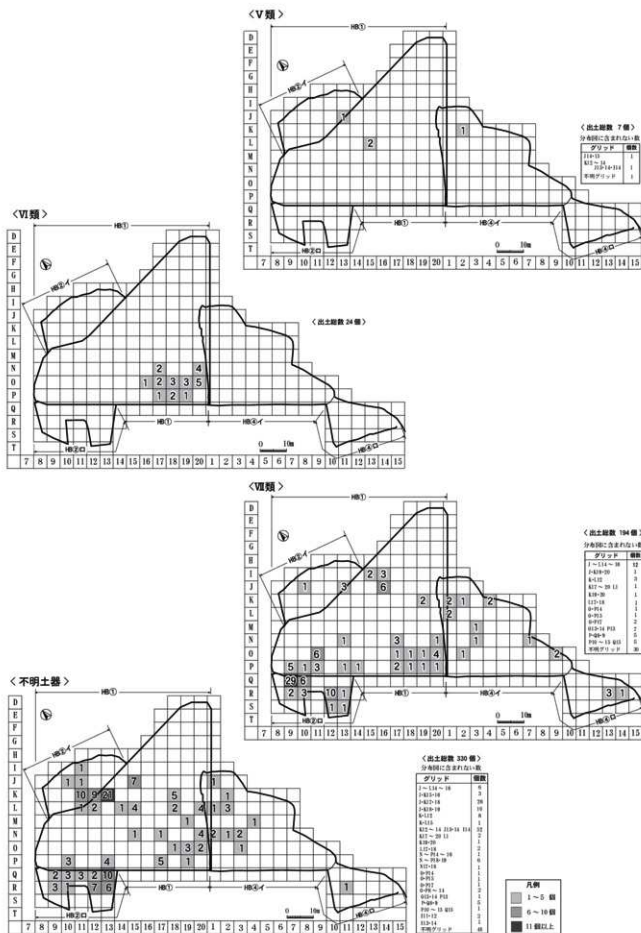
第 8 表 在土器（胴部）出土量

| 地区 | 層位 | 遺物 | 分類 | | | | | | | | 合計 | |
|------|----------|--------|--------|------|-------|------|-----|------|-------|------|-------|------|
| | | | I 類 | II 類 | III 類 | IV 類 | V 類 | VI 類 | VII 類 | 不明 | | |
| HB① | I | | 74 | 1 | 3 | 2 | | | 6 | 3 | 89 | |
| | II | 遺情 | 93 | 5 | 26 | 1 | | | 8 | 19 | 152 | |
| | III | 遺情 | 62 | 5 | 1 | | | | 8 | 30 | 106 | |
| | IV | | 36 | 8 | 17 | 1 | | | 7 | 16 | 85 | |
| | V | | 102 | 4 | 336 | | | 20 | 38 | 26 | 547 | |
| | | 364SS | 146 | 408 | 38 | 675 | 250 | 3 | 4 | 38 | 1,320 | |
| | 不明 | | 2 | 3 | 1 | 4 | | | | 6 | 14 | |
| 小計 | | 7 | 1 | 1 | 1 | | | | 2 | 11 | | |
| | 小計 | | 146 | 4465 | 39 | 704 | 683 | 5 | 24 | 93 | 234 | 6390 |
| HB②イ | I | | 5 | 104 | 1 | 5 | 5 | | | 6 | 5 | 131 |
| | II | 遺情 | 59 | 1 | 4 | 2 | | | | 2 | 2 | 70 |
| | III | | 7 | 1 | 1 | | | | | 14 | 3 | 25 |
| | IV | | 253 | 3267 | 73 | 937 | 1 | 1 | 5 | 22 | 4559 | |
| | V | | 1021SZ | | | 21 | | | | | 3 | 3 |
| | | 1023SX | | | | 11 | | | | | 1 | 1 |
| | | 1029SX | | | | 1 | | | | | 1 | 1 |
| | 1042SX | 5 | | | 1 | | | | | 1 | 1 | |
| | 1042SX-D | | | | 1 | | | | | 1 | 1 | |
| | 1044SX | | | | 4 | | | | | 4 | 4 | |
| 不明 | | 3 | 13 | 4 | | | | | | 20 | 20 | |
| 小計 | | 266 | 3453 | 75 | 985 | 9 | 1 | 27 | 32 | 4848 | | |
| HB②ロ | I | | | | | 1 | | | | | 1 | |
| | II | 遺情 | | | | 4 | | | 2 | 1 | 7 | |
| | III | 遺情 | | | | 5 | | | | 7 | 12 | |
| | IV | | | | | 16 | | | 4 | 5 | 19 | |
| | V | | 9 | | | 1 | | | 50 | 21 | 96 | |
| 小計 | | 10 | | | 27 | | | 57 | 38 | 132 | | |
| 不明 | | 12 | 2 | 5 | | | | | 1 | 20 | | |
| HB④イ | I | | 1 | | | | | | | | 1 | |
| | II | | 3 | | 1 | 1 | 1 | | | | 6 | |
| | III | | 80 | | 4 | 25 | | | 8 | 3 | 130 | |
| | IV | | 78 | | 1 | 26 | | | 5 | 11 | 128 | |
| | V | | 162 | | 1 | 12 | 52 | 1 | 13 | 14 | 255 | |
| 小計 | | 266 | | 6 | 6 | | | 4 | 1 | 283 | | |
| 不明 | | 2 | | 5 | 323 | | | 4 | 1 | 333 | | |
| 小計 | | 2 | | 5 | 327 | | | 4 | 1 | 339 | | |
| 不明 | | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| 不明 | | 12 | | 5 | | | | | | 17 | | |
| 不明 | | 1 | | | | | | | | 1 | | |
| 合計 | | 424 | 8107 | 115 | 1716 | 1098 | 7 | 24 | 194 | 330 | 12015 | |

遺情：I(中)18.83.229CZ 1.42.588K 1025TY 72.70.120.133.19837P (黒層)2259K.2945Z

163.189.198.226.236.237.299.343.372.391SK 154.221.230P 271SD 275SL

HB②イ(黒層)1002.1003.1005.1016S2 1006SK 1018SX HB②ロ(黒層)2003S2 2054SX 2049SD 2071SK



第27図 土器胴部（Ⅴ類・Ⅵ類・Ⅶ類）と不明土器出土平面分布

第9表-1 土器観察一覧(在地)

(数量単位:個)

| 昭和 回数 | 調査 番号 | 部位 | 形態 | 口径 最高 最低 | 壁厚 最高 最低 | 口径 高さ | 石 灰 含 量 | 赤 色 粘 土 質 | 赤 色 粘 土 質 | 砂 粒 | 胎 土 の 色 | 胎 土 硬 度 | 器 色 外 面 内 面 | 表面 調整 外 面 内 面 | 地区・T・P・層位・遺構 名(出土)番号 | | |
|-------------|-------------|--|---|--|--------------------|---------------|------------------|-----------------------|-----------------------|--------|------------------|------------------|----------------------------|------------------------------|-------------------------|--|---|
| 第34回・ 図6 | 36 | 口 底 | 口唇・丸・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・やや膨らむ 口縁<胴縁> | 17.6 21.2 (確定) | 0.6 — 638.5 | — | 細粒 多量 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ K12 V (具層①) 取1085 HB2イ J12 V (燻褐色シルト) 取1124 HB2イ J12 V (燻褐色シルト) 取1125 HB2イ J12 V (燻褐色シルト) 取1126 HB2イ J12 V (具層①) 取3055 HB2イ J10.11 V (燻褐色シルト) 取3098 HB2イ J13 V (燻褐色シルト) 取3104 HB2イ K10 V (黒砂層) 取3324 (接合) |
| | | | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・やや膨らむ 口縁<胴縁> | 13.9 14.0 (確定) | 0.7 — 296.5 | — | 粗粒 多量 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ H12 V (燻褐色シルト) 取1145 HB2イ H11.12 V (燻褐色シルト) 取3066 (接合) |
| | 38 | 口 底 | 口唇・丸・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・やや膨らむ・胴部・やや 膨らむ 口縁<胴縁> | 14.4 — 76.3 | 0.6 — — | — | 細粒 中量 | ○ | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ K11 V (黒砂層) 取1331 |
| | | | 口唇・丸・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・やや膨らむ 口縁<胴縁> | 26.0 — 116.0 | 0.7 — — | — | 粗粒 多量 | ◎ | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ K10 V (黒砂層) 取1349 HB2イ K15 V (黒砂層) 取1349 |
| | 第35回・ 図7 | 39 | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | 27.9 — 292.5 | 0.7 — — | — | 中粒 多量 | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ J9 V (山土層) 10425S直下 取1290 HB2イ J9 V (灰砂層) 取1392 HB2イ J9 V (山土層) 取1401 HB2イ J9 V (灰砂層) 取1406 (接合) |
| | | | | 口唇・丸・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 25.7 | 0.8 — — | — | 中粒 中量 | ○ | ◎ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 41 | | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 19.0 | 0.8 — — | — | 粗粒 多量 | ◎ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ J9 V (灰砂層) 取1397 HB2イ J9 V (灰砂層) 取1398 HB2イ V (黒砂層) 取13188 HB2イ J10 V (黒砂層) 取3317 (接合) | |
| | | | 口唇・丸・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 23.7 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ L16 V (燻褐色土砂質土) 取220 |
| 42 | | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 |
| | | | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 57.5 | 0.5 — — | — | 細粒 多量 | ◎ | ◎ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V J13 (燻褐色シルト) 取1015 |
| 43 | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 16.0 | 0.5 — — | — | 中粒 多量 | ◎ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ J12.13 V (具層①) 取3131 | |
| | | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 16.0 | 0.5 — — | — | 中粒 多量 | ◎ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ J11 V (具層②) 取3128 HB2イ J12 V (具層①) 取3055 HB2イ J13 V (燻褐色シルト) 取3104 HB2イ J12 V (黒砂層) 取3314 (接合) | |
| 44 | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ L16 V (燻褐色土砂質土) 取220 | |
| | | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| 45 | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| | | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| 46 | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| | | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| 47 | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| | | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| 48 | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| | | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| 49 | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| | | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| 50 | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| | | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| 51 | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| | | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| 52 | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| | | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| 53 | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| | | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| 54 | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| | | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| 55 | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| | | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| 56 | 口 底 | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |
| | | 口唇・平ら・口縁<U>字状屈曲明瞭 内面上部・膨らむ・胴部・直線的 口縁<胴縁> | — — 10.6 | 0.7 — — | — | 細粒 少量 | △ | △ | △ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | HB2イ V トン (黄砂層) 取3379 | |

凡例 (◎:非常に多い、○:多い、△:少ない、△:少ない)

第9表-2 土器観察一覧(在地)

(数量単位:cm)

| 調査年度 | 調査区・調査点 | 部位 | 形態 | 口径 底径 高さ | 厚さ 底厚 重量 | 粒度 含率 | 石英 | 赤色 粘土 | 角閃石 | 砂粒 | その他 | 胎土 構成 | 器色 (外面 内面) | 表面調整 (外面 内面) | 地区・ナブ・層位・編年 (表順上)番号 |
|--------------------|--|----------------|--|---------------------|---------------------|----------|----|----------|-----|-----------|------------------|-----------------|-----------------------------|------------------------|---|
| 第37区・ 調査点 10 | Ia | 57 | 口唇・丸・口縁<く字状屈曲(側) 胴部・上膨らむ・口径<胴径 文様・外面に凹字状(存在有) 底部一平底 | 13.0 12.1 5.6 | 0.7 0.9 138.7 | 細粒 少量 | ○ | | △ | | | 灰砂質 良好 | 外面:茶褐色 内面:茶褐色 | 外面:ナブ | HB②イJ11 V(黒褐色シルト) 取107・104 HB②イJ12 V(貝層①上面) 古310 (接合) |
| | | 58 | 口唇・丸・口縁<く字状屈曲(側) | — — — | 0.5 — 28.7 | 細粒 中量 | ○ | △ | △ | ○ | | 砂質質 良好 | 外面:赤褐色 内面:茶褐色 | 外面:ナブ | HB②イJ11 V(貝層②) 古318 |
| | | 59 | 口唇・平・口縁<く字状屈曲(側) 内面上部・やや膨らむ・胴部・上膨らむ 口径<胴径 | 26.5 — — | 0.7 — 303.0 | 細粒 多量 | ◎ | | ○ | ○ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 内面:茶褐色 | 外面:ナブ | HB①I14 V(4層褐色シルト) 取92 |
| | | 60 | 口唇・平・口縁<く字状屈曲(側) 内面上部・やや膨らむ 胴部・膨らむ・口径<胴径 | 14.6 0.6 — | — — 40.4 | 細粒 中量 | ○ | △ | △ | ○ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 内面:茶褐色 | 外面:ナブ・指痕 | HB①L12 V(5層黄色砂)取295 HB①L12 中央・外 V(5層黄色砂) 取82 (接合) |
| | | 61 | 口唇・丸・口縁<く字状屈曲(側) 内面上部・膨らむ・胴部・やや膨らむ | — — — | 0.5 — 29.7 | 細粒 多量 | ○ | | ◎ | △ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 内面:茶褐色 | 外面:ナブ・指痕 | HB④イM4 R(V) 古45 |
| | | 62 | 口唇・平・口縁<く字状屈曲(側) | — — — | 0.7 — 39.4 | 細粒 多量 | ○ | | ◎ | △ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 内面:茶褐色 | 外面:ナブ | HB④イL2 V(W) 古72 |
| | | 63 | 口唇・丸・平 口縁<く字状屈曲不明(側) 内面上部・やや膨らむ・胴部・膨らむ 口径<胴径 | 22.6 — — | 0.8 — 189.9 | 細粒 中量 | ○ | | ○ | △ | | 砂質質 良好 | 外・履物色 (上部は埋付物) 内面:茶褐色 | 外面:ナブ | HB②イJ11 V(黒褐色シルト) 取119 |
| | | 64 | 口唇・平・口縁<く字状屈曲不明(側) 胴部・膨らむ・口径<胴径 | 16.0 — — | 0.7 — 133.5 | 中粒 多量 | ○ | △ | △ | △ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 内面:茶褐色 | 外面:ナブ | HB②イL10 V(赤砂層)取1233 HB②イD11 V(赤砂層)取3143 HB②イL11 V(黒砂層)取3133(接合) |
| | | 65 | 口唇・平・口縁<く字状屈曲不明(側) 胴部・上膨らむ・口径<胴径 | 28.4 — — | 6.5 — 139.9 | 細粒 少量 | ○ | | △ | △ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 | 外面:ナブ丁字 | HB②イJ11 V(褐色シルト)取1111 HB②イJ-K10 V(褐色シルト)取3102 (接合) |
| | | 66 | 口唇・平・口縁<く字状屈曲不明(側) 胴部・上膨らむ 口径<胴径 | 23.0 — — | 0.7 — 417.5 | 細粒 少量 | ○ | | △ | △ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 内面:茶褐色 | 外面:ナブ | HB②イJ10 V(褐色シルト)取1148 HB②イJ11 V(褐色シルト)取1155 HB②イJ10.11 V(褐色シルト) 取3098 (接合) |
| 第38区・ 調査点 10 | Ia | 67 | 口唇・平・口縁<く字状屈曲不明(側) 胴部・膨らむ・口径<胴径 | 24.8 — — | 0.8 — 473.5 | 細粒 少量 | ○ | | ○ | △ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 内面:茶褐色 | 外面:ナブ | HB①K14 V(4層褐色シルト)取24 HB②イJ13 V(赤砂層上面)取1306 |
| | | 68 | 口唇・平 口縁<く字状屈曲不明(側) 内面上部・やや膨らむ・胴部・膨らむ 口径<胴径 | 23.2 — — | 0.78 — 63.2 | 細粒 少量 | △ | | △ | △ | | 灰砂質 良好 | 外面:茶褐色 内面:茶褐色 | 外・ヘラナブ 内:ナブ・指痕 | HB②イL10 V(赤砂層)取1177 HB②イL10 V(赤砂層)取1178 HB②イL10 V(赤砂層)古3132(接合) |
| | | 69 | 口唇・平 口縁<く字状屈曲不明(側) 内面上部・やや膨らむ・胴部・膨らむ 口径<胴径 | 26.4 — — | 0.7 — 214.5 | 細粒 少量 | △ | | △ | △ | | 灰砂質 良好 | 外面:茶褐色 内面:茶褐色 | 外:ナブ 内:ナブ・指痕 | HB②イL10 V(貝層①)取1334 HB②イL10 V(赤砂層)取3312 HB②イK12 V(赤砂層)取3312(接合) |
| | | 70 | 口唇・平 口縁・直状・やや丸みを持つ 胴部・途中から窄まる | 23.8 — — | 0.55 — 93.2 | 細粒 多量 | ○ | | ◎ | ◎ | | 灰砂質 良好 | 外面:茶褐色 | 外:ナブ丁字 内:縦仕上げ 指痕 | HB②イL12 V(貝層①上面) 古3101 |
| 第39区・ 調査点 11 | Ia | 71 | 口唇・平 口縁・直状(玉粒付)・やや丸 胴部・途中から窄まる | 21.8 — — | 0.6 — 174.3 | 細粒 少量 | △ | | △ | △ | | 灰砂質 良好 | 外面:茶褐色 | 外面:ナブ丁字 | HB①K13 V(4層貝層) 取129 |
| | | 72 | 口唇・舌状・口縁・直状 胴部・不明 | — — — | 0.8 — 18.6 | 細粒 多量 | ◎ | | ◎ | △ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 内面:茶褐色 | 外:ナブ丁字 内:縦仕上げ 指痕 | HB④イO2 V(W) 古61 |
| | | 73 | 口唇・丸・口縁・直状・小型 | 16.8 — — | 0.8 — 111.2 | 細粒 多量 | ◎ | | ◎ | △ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 内面:茶褐色 | 外面:ナブ丁字 | HB①I14 V(4層褐色シルト)取122 HB②イJ10 V(貝層②)取1221(接合) |
| | | 74 | 口小型・口唇・丸・口縁・直状 | 11.6 — — | 0.7 — 18.0 | 細粒 少量 | △ | | △ | △ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 内面:茶褐色 | 外面:ナブ丁字 | HB②イK10 V(赤砂層)取3307 HB②イK10 V(赤砂層)取3100(接合) |
| | | 75 | 口小型・口唇・丸・口縁・直状 胴部・直線的 | 14.4 — — | 0.8 — 81.0 | 細粒 中量 | ○ | | ○ | △ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 内面:茶褐色 | 外面:ナブ丁字 | HB②イJ10 V(貝層①上面)取1007 HB②イJ10 V(貝層②)取1221(接合) |
| | | 76 | 口唇・舌状・口縁・直状 胴部・直線的 | 32.8 — — | 0.6 — 194.6 | 細粒 少量 | △ | | △ | △ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 | 外面:ナブ丁字 | HB④イK3 V(W) 古62 |
| 第40区・ 調査点 12 | Ia | 77 | 口唇・玉粒・口縁・直状 胴部・やや窄まる | 20.0 — — | 0.6 — 177.7 | 細粒 少量 | △ | | △ | △ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 | 外面:ナブ | HB①I14 V(4層褐色シルト)取122 |
| | | 78 | 口唇・丸・口縁・直状 胴部・ややしる・胴部・窄まる | 19.6 — — | 0.5 — 258.0 | 細粒 中量 | ○ | | ○ | △ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 | 外:ナブ丁字 内:縦仕上げ 指痕 | HB②イK10 V(赤砂層)取1187 |
| | | 79 | 口唇・やや舌状・口縁・直状 胴部・ややしる・胴部・窄まる 胴部中央に最大径 | 26.6 — — | 0.6 — 211.5 | 細粒 少量 | △ | | △ | △ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 | 外面:ヘラナブ | HB②イK11 V(貝層①上面)取1020 |
| 80 | 口唇・平・口縁・直状 胴部・しる・胴部・窄まる 胴部中央に最大径 | 24.2 — — | 0.8 — 151.8 | 細粒 中量 | ○ | | ○ | △ | | 砂質質 良好 | 外面:茶褐色 内面:茶褐色 | 外:ナブ 内:ナブ・指痕 | HB②イJ12 V(貝層①) 古3055 | | |

凡例 (◎)・非常に多い ○・多い △・多少ない △・僅少

第9表-3 土器観察一覧 (在地)

(数量単位:cm.g)

| 国・地区 | 図番号 | 分類 | 部位 | 形態 | 口径 底径 | 口厚 底厚 | 粘土 含量 | 石 質 | 赤 色 粘 土 | 黄 色 粘 土 | 砂 粒 | その他 | 胎土 構成 | 器色 外面 内面 | 器面調整 外面 内面 | 地区・ナツホ・層位・遺構 古墳(表)・番号 | |
|---------------|-----|----|----|---|----------|----------|----------|--------|------------------|------------------|--------|-----|---------------|-----------------|--------------------------|-------------------------------|---|
| 第40国・ 図版12 | 91 | B | 口 | 口唇-平ら・口縁-直状 | 27.1 | 0.7 | — | — | ○ | ○ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 黄・黄茶褐色 | 外-ナツダ 内-障子上げ 指痕 | IB②-I ② R (V) 数46 | |
| | | | | 口縁部-ややしら・胴部-帯心 胴部中央に最大径 | — | — | 139.1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第41国・ 図版13 | 92 | 口 | 口 | 小型・口唇-舌状・口縁-直状 | 12.0 | 0.5 | — | — | — | △ | △ | △ | 砂質 無 胎土 | 黄・暗茶褐色 僅有以外面 | 外-ナツダ 内-障子上げ 指痕 | IB②-I ② K1 V (褐色)④⑤ 数3091 | |
| | | | | 口縁部-ややしら・胴部-帯心 | — | — | 10.7 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第41国・ 図版13 | 93 | 口 | 口 | 口唇-平ら・口縁-外反 | 32.0 | 0.6 | — | — | — | ○ | △ | ○ | — | 砂質 無 胎土 | 黄・茶褐色 | 外-ナツダ 内-ナツダ・指痕 | IB②-I ② L10 V (赤砂層)数1184 IB②-I ② L10 V (黒砂層)数3309 IB②-I ② L10 V (黒砂層)台3149(接合) |
| | | | | 口縁部-しら・胴部-帯心 文様-有孔・口径>胴径 | — | — | 313.5 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第41国・ 図版13 | 94 | 口 | 口 | 口唇-平ら・口縁-外反(微) | 25.2 | 0.6 | — | — | ◎ | ◎ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 黄・茶褐色 | 外-ハラナダ 内-障子上げ 指痕 | IB②-I ② J1 V (黒層)①上面 数1024 | |
| | | | | 口径>胴径 胴部-しら・胴部-帯心 文様-有孔(径9mm) | — | — | 309.5 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第41国・ 図版13 | 95 | 口 | 口 | 口唇-平ら・口縁-外反 | 21.8 | 0.6 | — | — | — | △ | △ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 外-暗茶褐色 (僅付着) 内-暗褐色 | 外-ナツダ 内-障子上げ 指痕 | IB②-I ② K10 V (赤砂層)数1197 IB②-I ② K10 V (赤砂層)数1207(接合) |
| | | | | 口縁部-僅かに帯心 口径>胴径 | — | — | 298.5 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第41国・ 図版13 | 96 | 口 | 口 | 口唇-玉粒・口縁-外反 | — | — | — | — | — | ◎ | ◎ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 外-黒褐色(僅付着) 内-淡茶褐色 | 外-ナツダ 内-ナツダ・指痕 | IB②-I ② J10 V (白砂層) 数1369 |
| | | | | 胴部-若干帯心 2350±30BP | — | — | 53.3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第42国・ 図版14 | 97 | B | 口 | 口唇-丸・口縁-外反 | 18.0 | 0.55 | — | — | — | ○ | △ | ○ | — | 砂質 無 胎土 | 外-茶褐色 内-暗黒褐色 | 外-ナツダ 内-ナツダ・指痕 | IB②-I ② J5 V (黒層)④⑤ 数117 |
| | | | | 口縁部-しら・口径>胴径 文様-有孔(把孔)①(把孔-径7mm) | — | — | 66.4 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第42国・ 図版14 | 98 | B | 口 | 形状不明 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 無 胎土 | 外-暗黒褐色 内-暗茶褐色 | 外-ナツダ | IB②-O18 IV (3層黄灰色)④⑤ 数664 |
| | | | | 文様-有孔(把孔)現存で孔は1個 | — | — | 22.5 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第42国・ 図版14 | 99 | 口 | 口 | 口唇-平ら・口縁-外反 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 無 胎土 | 黄・茶褐色 | 外-ナツダ 内-ナツダ・指痕 | IB②-I ② M2 R (V) 数66 |
| | | | | 口縁部-若干しら | — | — | 25.4 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第42国・ 図版14 | 90 | 口 | 口 | 口唇-丸・口縁-外反(やや直状) 胴部-やや帯心 | 19.4 | 0.5 | — | — | — | ◎ | ◎ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 黄・茶褐色 僅有以外面 | 外-ナツダ 内-ナツダ・指痕 | IB②-I ② J10 V (暗褐色)④⑤数1116 IB②-I ② J11 V (暗褐色)④⑤数1055 IB②-I ② J11 V (黒層)台3143(接合) |
| | | | | 口縁部-直状 | — | — | 68.6 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第42国・ 図版14 | 91 | 口 | 口 | 口唇-丸・口縁-やや外反・直状(直 や直状) 近-丸肩状(直) | 24.5 | 0.7~0.9 | — | — | — | △ | △ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 外-ナツダ・ハレ目 内-ナツダ | IB②-I ② J9 V 1042SX 数1381 | |
| | | | | 胴部-やや帯心(直線的) | — | — | 27.5 | 1.8 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第42国・ 図版14 | 92 | 口 | 口 | 小型・口唇-平ら | 13.6 | 0.5 | — | — | — | △ | △ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 黄・茶褐色 | 外-ナツダ 内-ナツダ・指痕 | IB②-I ② J2 V (暗褐色)④⑤数1014 IB②-I ② J1 V (黒層)①上面数3117 (接合) |
| | | | | 口縁部-ハ字状に開く | — | — | 53.4 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第43国・ 図版15 | 93 | 口 | 口 | 口唇-平ら | 38.2 | 0.5 | — | — | — | ◎ | ◎ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 黄・茶褐色 | 外-ナツダ 内-ナツダ・指痕 | IB②-I ② J10 K10-11・L10.11 Ⅱ 1005Z 様品 数胎 台581 |
| | | | | 口縁部-ハ字状に開く | — | — | 83.9 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第43国・ 図版15 | 94 | 口 | 口 | 口唇-平ら | 25.0 | 5 | — | — | △ | △ | △ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 外-赤褐色 内-灰赤褐色 | 外-ナツダ 内-ナツダ・指痕 | IB②-I ② L4 V 中赤-④⑤(履見具) 台307 |
| | | | | 口縁部-帯心(直線的) | — | — | 125.1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第43国・ 図版15 | 95 | 口 | 口 | 口唇-平ら | 25.4 | 5 | — | — | — | △ | △ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 黄・明褐色 | 外-ナツダ 内-障子上げ 指痕 | IB②-I ② K1 V (黒層)①上面数1022 IB②-I ② K1 V (黒層)①上面数1023 (接合) |
| | | | | 口縁部-帯心(直線的) | — | — | 130.2 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第43国・ 図版15 | 96 | B | 口 | 口唇-平ら | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 無 胎土 | 外-明褐色 内-淡褐色 | 外-ナツダ 内-ナツダ・指痕 | IB②-I ② J3 V (褐色)④⑤数1069 |
| | | | | 口縁部-帯心(直線的) | — | — | 94.1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第43国・ 図版15 | 97 | 口 | 口 | 口唇-平ら | 22.2 | 0.5 | — | — | — | △ | △ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 外-暗茶褐色 内-暗褐色 | 外-ハラナダ 内-障子上げ 指痕 | IB②-I ② J2 V (暗褐色)④⑤数1108 IB②-I ② J2 V (暗褐色)④⑤数1140 (接合) |
| | | | | 口縁部-帯心(直線的) | — | — | 127.2 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第43国・ 図版15 | 98 | 口 | 口 | 口唇-平ら | 28.2 | 0.6 | — | — | — | ○ | ○ | ○ | — | 砂質 無 胎土 | 黄・暗褐色 | 外-ナツダ 内-ナツダ・指痕 | IB②-I ② J2 V (黒層)①上面 数1089 |
| | | | | 口縁部-帯心(直線的) | — | — | 229.0 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第43国・ 図版15 | 99 | 口 | 口 | 口唇-平ら | 26.0 | 0.6 | — | — | — | △ | △ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 黄・灰茶褐色 | 外-ナツダ 内-障子上げ 指痕 | IB②-I ② L2 V (黄褐色)④⑤ 数135 |
| | | | | 口縁部-帯心(直線的) | — | — | 112.1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第44国・ 図版16 | 100 | 口 | 口 | 口唇-丸・僅かに直状 | 23.8 | 0.6 | — | — | — | ○ | ○ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 外-暗茶褐色 内-茶褐色 | 外-ナツダ 内-ナツダ・指痕 | IB②-I ② J4 V (4層褐色)④⑤ 数128 |
| | | | | 口縁部-直状(上端外反) 胴部-指ナツによる高曲 胎土層+底層(直線的) | — | — | 89.5 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第44国・ 図版16 | 101 | 口 | 口 | 口唇-丸・僅かに直状 | 20.4 | 0.6 | — | — | — | ◎ | ◎ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 外-暗褐色 内-暗褐色 | 外-ハラナダ 内-ナツダ・指痕 | IB②-I ② J10 V (黒砂層) 数1288 |
| | | | | 口縁部-帯心(直状)上端外反 胴部-指ナツによる高曲 | — | — | 202.0 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第44国・ 図版16 | 102 | 口 | 口 | 口唇-丸・僅かに直状 | 23.6 | 0.6 | — | — | — | ○ | ○ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 外-灰茶褐色 内-暗茶褐色 | 外-ナツダ 内-ハラナダ 指痕 | IB②-I ② K10 V (黒砂層)②数1217 IB②-I ② K10 V (黒砂層)②台3149 (接合) |
| | | | | 口縁部-帯心(直状)上端外反 胴部-指ナツによる高曲 | — | — | 120.4 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第44国・ 図版16 | 103 | 口 | 口 | 口唇-丸・僅かに直状 | 27.0 | 0.5 | — | — | — | ◎ | ◎ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 黄・暗茶褐色 | 外-ハラナダ | IB②-I ② J11 V (黄砂層)数1242 IB②-I ② K11 V (黄砂層)数1295 (接合) |
| | | | | 口縁部-帯心(直状)上端外反 胴部-指ナツによる高曲 胎土層+底層(直線的) 文様-有孔(径9mm) | — | — | 194.6 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第44国・ 図版16 | 104 | 口 | 口 | 口唇-平ら・僅かに直状 | 30.0 | 0.9 | — | — | — | △ | △ | △ | — | 砂質 無 胎土 | 外-暗茶褐色 内-障子上げ 指痕 | 外-ナツダ 内-障子上げ 指痕 | IB②-I ② J2 V (暗褐色)④⑤数1074 IB②-I ② V-④⑤(黒砂層)台3126 (接合) |
| | | | | 口縁部-帯心(直状)上端外反 胴部-帯心(直状)上端外反 胎土層+底層(直線的) | — | — | 166.1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |

凡例 (◎)非常に多い (○)多い (△)少ない (△)僅少

第9表-4 土器観察一覧(在地)

(調査単位: cm.)

| 調査区 | 調査番号 | 分期 | 部位 | 形態 | 口径 底径 高さ | 厚さ 底厚 重量 | 灰度 色澤 | 石 質 | 角 閃石 | 赤 色 石 | 砂 粒 | その他 | 胎土 構成 | 胎色 外面 内面 | 表面調整 外面 内面 | 地区・ナゾ/層位・遺構 台帳(表上)番号 | |
|---------------|------|----|----------------------------------|---------------------------------------|----------------|----------------|----------|--------|---------|-------------|--------|-----|----------|-------------------------|-----------------------------|---|---|
| 第45区・ 区別17 | 105 | ■ | 口 | 口唇・丸く平ら・若干波状 | 31.4 | 0.6 | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 外・黒茶褐色 内・黒褐色 中層 | 外・ナゾ 内・ナゾ・指痕状 | HB② J13 V (4層位④) 取160 | |
| | | | | 口縁・縁やかむく字状湾曲 (最大径は湾曲部) | — | — | 155.7 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | 106 | ■ | 口 | 口唇・平ら | 22.0 | 0.6 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 外・灰茶褐色 内・黒茶褐色 内層 | ナゾ・指痕状 粘土積上層に白土 つ | HB② L15 V 中央・44(5層位④) 取400 |
| | | | | 口縁・縁やかむく字状湾曲 (最大径は湾曲部) 粘土積上層直立つ | — | — | 131.1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | 107 | ■ | 口 | 口唇・平ら・強調 | — | 0.9 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 外・黒茶褐色 内層 | 外・ナゾ丁字 内・ナゾ・指痕状 | HB② M1 V (Ⅷ) 台58 |
| | | | | 口縁・縁やかむく字状湾曲 (最大径は湾曲部)・厚手 | — | — | 65.3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | 108 | ■ | 口 | 口唇・平ら・粘土貼付・強調 | 23.4 | 0.7 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 中層 | 外・黒茶褐色 内層 | 両面: ナゾ・指痕状 | HB② I L10 V (Ⅷ層位) 取1223 |
| | | | | 口縁・縁やかむく字状湾曲 (最大径は湾曲部) | — | — | 285.5 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | 109 | ■ | 胴 | 形状不明・黒文・厚手 | — | 1.1 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 外・茶褐色 内・灰茶褐色 内層 | 外・ナゾ丁字 内・ナゾ・指痕状 | HB② I L6 V (Ⅷ) 台56 |
| | | | | — | — | — | 88.1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 110 | ■ | 口 | 口唇・舌状・口縁・上部外反・縁やかむく字状湾曲 口徑・平ら | 22.4 | 0.6 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 両面:赤褐色 | 両面:ナゾ丁字 取56 | HB② K15 V (4層位④) 取56 | |
| | | | 口徑・平ら | — | — | 105.9 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 111 | ■ | 口 | 口唇・平ら | 23.2 | 0.8 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 外・茶褐色 内・赤褐色 | 外・ナゾ丁字 内・ナゾ・指痕状 | HB② J18 V (4層位④) 取56 | |
| | | | 口縁・縁状(上部は外反) | — | — | 63.2 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 112 | ■ | 口 | 口唇・やや丸(内・外)・重出・強調・細口 | — | 0.6 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 外・黒茶褐色 内・黒褐色 | 両面:ナゾ | HB② I 112 V (Ⅷ層位) 取1115 | |
| | | | 口縁・直状 | — | — | 33.0 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 113 | ■ | 口 | 口唇・平ら・強調内外に張り出し・幅12~15mm | — | 0.7 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 少層 | 外・黒茶褐色 内・黒褐色 | 外・ナゾ丁字 内・ナゾ・指痕状 | HB② I L12 V (Ⅷ層位) 上面 台3120 | |
| | | | 口縁・直状 | — | — | 16.5 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 114 | ■ | 口 | 口唇・平ら・内外に張り出し・粘土で貼付・幅1mm | — | 0.6 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 両面:茶褐色 | 両面:ナゾ | HB② I V (Ⅷ) 台58 | |
| | | | 口縁・直状 | — | — | 14.0 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 115 | ■ | 口 | 無須面・口唇・平ら | 18.4 | 0.8 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 少層 | 外・ナゾ丁字 内・胎土上層 指痕状 | 外・ナゾ丁字 内・胎土上層 指痕状 | HB② I K11 V (Ⅷ層位) 取1130 HB② I K11 V (Ⅷ層位) 上面 台311 | |
| | | | 口縁・へ字状・口徑大・厚手 | — | — | 82.7 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 116 | ■ | 口 | 無須面・口唇・平ら | 17.0 | 0.8 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 少層 | 外・ナゾ丁字 内・ナゾ・指痕状 | 外・ナゾ丁字 内・ナゾ・指痕状 | HB② J12 V (Ⅷ層位) 上面 取1011 | |
| | | | 口縁・へ字状・上部外反 口径大・厚手 | — | — | 83.3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 117 | ■ | 口 | 無須面・口唇・玉縁状粘土貼付・厚手 | — | 1.1 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 両面:赤褐色 | 外・ナゾ | HB② L18 V (4層位具層) 取169 HB② L18 V (4層位具層) 台552 (融合) | |
| | | | 口縁・へ字状(上部外反) | — | — | 87.6 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 118 | ■ | 口 | 無須面・肩部・帯る | 7.6 | 0.7 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 外・ナゾ丁字 内・胎土上層 指痕状 | 外・ナゾ丁字 内・胎土上層 指痕状 | HB② L14 V 中央・64 (5層位④) 台326 HB② 重口輪 台498 | |
| | | | 口唇・丸く平ら・玉縁状・口徑小 口縁・へ字状・口徑小 | — | — | 147.0 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | HB② K12 14 J13, 14-14 V (4層位④) 台572 (融合) |
| 119 | ■ | 口 | 無須面・肩部・帯る | 5.8 | 0.8 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 両面:茶褐色 | 外・ナゾ丁字 内・ナゾ・粘土積上層 指痕状 | HB② I K11 V (Ⅷ層位) 上面 台3118 | |
| | | | 口唇・へ字状・口徑小 口唇・玉縁状粘土貼付 | — | — | 29.0 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 120 | ■ | 口 | 無須面・口唇・平ら・強調 | 8.1 | 0.5 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 両面:黒茶褐色 | 外・ナゾ丁字 内・胎土上層 指痕状 | HB② L17 V (4層位具層) 取153 HB② J-K18, 19 V (5層位具層) 台245 HB② L18 V (4層位具層) 台552 (融合) | |
| | | | 口縁・上部外反・強調 肩部・ひら・肩部・帯る 口徑小 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 121 | ■ | 口 | 無須面・口唇・平ら・強調 | 12.4 | 0.7 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 少層 | 両面:黒褐色 | 外・ナゾ丁字 内・ナゾ | HB② I L10 V (Ⅷ層位) 取1310 | |
| | | | 口縁・上部外反・強調 肩部・ひら・口徑小 | — | — | 36.3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 122 | ■ | 口 | 無須面・口唇・平ら・強調 | 18.7 | 0.6 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 少層 | 外・黒茶褐色 内・黒茶褐色 | 外・ナゾ丁字 内・胎土上層 | HB② I J11, 12 V (Ⅷ層位) 取1095 HB② I K11 V (Ⅷ層位) ③ 取121 | |
| | | | 口縁・上部外反・強調 肩部・ひら・肩部・帯る 口径大 | — | — | 537.0 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 123 | ■ | 口 | 無須面・口唇・丸く口徑小 口縁・直状・肩部・帯る | 6.2 | 0.7 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 少層 | 外・灰褐色 内・灰褐色 | 外・ナゾ丁字 内・ナゾ・下部2層あり? | HB② I L11 V (Ⅷ層位) 取1172 | |
| | | | 口径小 | — | — | 55.3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 124 | ■ | 口 | 無須面・口唇・平ら・強調 | 8.2 | 0.7 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 両面:黒褐色 | 外・ナゾ丁字 内・ナゾ | HB② K10 V (Ⅷ層位) 台3149 | |
| | | | 口縁・直状・口徑小 | — | — | 50.2 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 125 | ■ | 口 | 無須面・口唇・丸く 口縁・直状・口徑小 | 6.0 | 0.8 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 両面:赤褐色 | 両面:ナゾ | HB② J16 V (4層位④) 台280 | |
| | | | 口径小 | — | — | 17.7 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 126 | ■ | 口 | 無須面・口徑小 口縁・直状・肩部・帯る | — | 0.6 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 少層 | 両面:黒褐色 | 両面:ナゾ | HB② I M4 R (Ⅷ) 台45 | |
| | | | 口径小 | — | — | 3.8 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 127 | ■ | 口 | 長須面・口唇・やや平ら 口縁・やや外反・肩部・帯る | — | 1.0 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 両面:灰褐色 | 外・ナゾ丁字 内・胎土上層 指痕状 | HB② M18 V (3層位灰褐色) 取223 HB② L19 V (5層位黒砂質土) 台520 | |
| | | | 口径小 | — | — | 214.0 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 128 | ■ | 口 | 長須面・口唇・やや平ら 口縁・やや外反・肩部・帯る | — | 1.0 | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 少層 | 外・茶褐色 内・黒茶褐色 | 外・ナゾ丁字 内・ナゾ | HB② I L1 V 台485 (胎土) | |
| | | | 口径小 | — | — | 29.7 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |

凡例 (○) = 非常に多い (△) = 多い (△) = 少ない

第9表-5 土器観察一覧(在地)

(調査単位:cm, g)

| 国名 | 調査年 | 分類 | 部位 | 形態 | 口径 底径 | 壁厚 底厚 | 灰度 底厚 | 石質 | 角閃石 | 赤色石 | その他 | 胎土 底厚 | 胎色 胎厚 | 胎面調整 胎面 胎底 | 地区・フナゴ/層位・遺構 台帳(表上)番号 | |
|---------------|-----|---------|--|--|----------|----------|----------|----|-----|-----|-----|-----------|-------------------|--------------------|--|--|
| 第47国・ 仮原19 | 129 | Ⅲ | 口 | 長頸蓋・口唇・舌状 | 6.0 | 0.7 | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 両面・赤褐色胎 (外・ナツ) | 外・ナツ丁家 内・ナツ目 | HB-① J15 V (4層褐色54) | |
| | | | | 口縁・蓋状 | — | 92.3 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 取54 |
| | 130 | Ⅲ | 口 | 蓋・口唇・丸・口縁・外縁短頸部・底に丸い・胴部・筋凸 | 10.0 | 0.6 | — | — | — | — | — | 砂質 やや悪 | 両面・赤褐色胎 | 外・ナツ丁家 内・ナツ | HB-① K15 V (4層褐色54) | |
| | | | | — | — | 39.6 | — | — | — | — | — | — | — | 取52 | | |
| | 131 | Ⅲ | 肩・ 胴 | 蓋・肩・胴部・丸・筋凸・薄手最大胴径27.6cm | — | 0.5 | — | — | — | — | — | 砂質 中量 | 外・赤褐色 内・黄褐色 | 外・ナツ丁家 内・藤江上付 | HB-① L14 V (5層赤褐色)台301 HB-① L14 V (具群)台304 HB-① M14 V (5層)台290 (接合) | |
| | | | | — | — | 162.4 | — | — | — | — | — | — | — | — | 取325 | |
| | 132 | Ⅲ | 胴 | 蓋・胴部・球状・薄手最大胴径13.2cm | — | 0.5 | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 外・ナツ丁家 内・藤江上付 | HB-① K11 V (黒砂層) 台3325 | |
| | | | | — | — | 51.2 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | 133 | Ⅲ | 肩・ 胴 | 蓋・胴部・蓋状・帯まる 胴部・胴部・筋凸 文様・胴部に横状の沈線 最大胴径23.6cm | — | — | — | — | — | — | — | — | 砂質 多量 | 両面・黄褐色胎 | 外・ナツ丁家 内・ナツ | HB-① K12 V (黒砂層上)取1374 HB-① K12 V (具群)取2274 HB-① I12 V (褐色54)取1083 |
| | | | | — | — | 202.5 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 第48国・ 仮原20 | 134 | Ⅲ | 肩・ 胴 | 蓋・肩・胴部・逆く字状曲 薄手・最大胴径24.0cm | — | 0.6 | — | — | — | — | — | 砂質 少量 | 両面・赤褐色胎 | 外・ナツ丁家 内・藤江上付 | HB-① I12 V (黄褐色54)取1182 HB-① J12 V (具群)台3055 HB-① I11.12 V (褐色54)台3096 (接合) | |
| | | | | — | — | 312.0 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | 135 | Ⅲ | 底 | 蓋・胴部・色に帯まる・胴部・帯 最大径・胴部(27.4cm) 底筋部一層(丸底の突起?) | — | 0.9 | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 外・赤褐色 内・赤褐色胎 | 両面・ナツ | HB-① I10 V (黒砂層)取1232 HB-① I10 V (具群)取1233 HB-① L10 V (具群)台3309 HB-① I11 V (黒砂層)台3313 HB-① I1 (磚土)台3383 (接合) | |
| | | | | — | — | 542.5 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 136 | Ⅲ | 肩・ 胴 | 蓋・胴部・球状・胴部・帯まる 薄手・最大胴径24.6cm | — | 0.5 | — | — | — | — | — | — | 砂質 少量 | 両面・赤褐色胎 | 外・ナツ丁家 内・ナツ | HB-① J14 V (4層褐色54) 取76 | |
| | | | — | — | 105.1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 137 | Ⅲ | 口 | 鉢形・逆く字状・口唇・舌状 粘土積層明瞭 | 26.8 | 0.4~0.6 | — | — | — | — | — | — | 砂質 多量 | 両面・赤褐色胎 | 外・ナツ 内・ナツ・指頭 | HB-① R10 V (Ⅳ・V)一括 台117 HB-① R11 V (Ⅳ・V)一括 台119 (接合) | |
| | | | — | — | 22.3 | 2.1 | 743.0 | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 138 | Ⅲ | 口 | 口唇・丸・口縁・直or外反 粘土積層明瞭 | — | 0.6~0.9 | — | — | — | — | — | — | 砂質 多量 | 両面・赤褐色胎 | 両面 ナツ・指頭 | HB-① R13 V (Ⅳ・I) 台101 | |
| | | | — | — | 24.4 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 139 | Ⅲ | 口 | 口唇・丸・口縁・直or外反 粘土積層明瞭 | — | 0.6~0.8 | — | — | — | — | — | — | 砂質 少量 | 両面・赤褐色胎 | 両面 ナツ・指頭 | HB-① R13 具群層I V (Ⅳ・Ⅲ) 台111 | |
| | | | — | — | 20.7 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 140 | Ⅲ | 口 | 口唇・舌状 口縁・直or外反 粘土積層明瞭 | — | 0.6~0.8 | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 両面・赤褐色胎 | 両面 ナツ・指頭 | HB-① R13 V (Ⅳ・Ⅱ) 台106 | |
| | | | — | — | 26.1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 141 | Ⅲ | 口 | 口唇・舌状 口縁・やや内彎 粘土積層明瞭 | — | 0.8~1.5 | — | — | — | — | — | — | 砂質 少量 | 両面・赤褐色胎 | 両面 ナツ・指頭 | HB-① R14 V (Ⅳ・I) 台102 | |
| | | | — | — | 22.6 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 142 | Ⅲ | 口 | 口唇・舌状 口縁・やや内彎 粘土積層明瞭 | — | 0.9~1.3 | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 両面・赤褐色胎 | 両面 ナツ・指頭 | HB-① R11 V (Ⅳ・Ⅲ) 台118 | |
| | | | — | — | 43.1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 143 | Ⅲ | 肩 | 粘土積層明瞭 厚手・胴径30.4cm | — | 0.9~1.7 | — | — | — | — | — | — | 砂質 良好 | 両面・赤褐色胎 | 外・ナツ・指頭 内・ナツ・指頭 | HB-① R11 V (Ⅳ・V) 台119 | |
| | | | — | — | 166.4 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 144 | Ⅲ | 肩 | 粘土積層明瞭 | — | 0.6~1.1 | — | — | — | — | — | — | 砂質 中量 | 両面・赤褐色胎 | 外・ナツ・指頭 内・ナツ・指頭 | HB-① R13 V (Ⅳ・I) | |
| | | | — | — | 19.4 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 145 | Ⅲ | 口 | 口唇・丸・口縁・蓋状・厚手 文様・外面に縦状沈線文(明瞭) | — | 0.9 | — | — | — | — | — | — | 砂質 少量 | 両面・赤褐色胎 | 外・ナツ丁家 内・ナツ・指頭 | HB-① R2 V (Ⅳ) 台114 | |
| | | | — | — | 59.5 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 146 | Ⅲ | 口 | 口唇・丸・粘土層付による 口縁・蓋状(粘土積層明瞭) 文様・外面に曲状沈線文 | — | 1.0 | — | — | — | — | — | — | 砂質 中量 | 両面・黄褐色胎 | 外・ナツ 内・藤江上付 | HB-① N18 IV (5層灰黄色胎)取5 | |
| | | | — | — | 80.4 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 147 | Ⅲ | 口 | 口唇・平口・口縁・蓋状 文様・外面に刺突文 | — | 0.6 | — | — | — | — | — | — | 砂質 少量 | 両面・灰褐色胎 | 両面 ナツ・指頭 | HB-① R13 V (Ⅳ・Ⅱ) 台106 | |
| | | | — | — | 9.0 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 148 | Ⅲ | 口 | 口唇・平口・口縁・直or外反・厚手 文様・口唇部に指頭押印文 | — | 0.6 | — | — | — | — | — | — | 砂質 少量 | 両面・赤褐色胎 | 外・ナツ 内・ナツ・指頭 | HB-① I1 V (V) 台65 | |
| | | | — | — | 36.2 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 149 | Ⅲ | 口 | 口唇・舌状・口縁・直or外反 胴部・筋凸・胴部・帯まる 文様・外・沈線文(斜)・内・沈線文(斜) 胎質 | — | 0.9 | — | — | — | — | — | — | 砂質 少量 | 両面・赤褐色胎 内・灰白色胎 | 両面・ナツ | HB-① Q13 IV (7層灰黄色胎質土) 取2013 | |
| | | | — | — | 16.7 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 150 | Ⅲ | 口 | 口唇・舌状・口縁・直or外反 胴部・筋凸・胴部・帯まる 文様・外・沈線文(斜)・内・沈線文(斜) 胎質 | — | 0.7 | — | — | — | — | — | — | 砂質 少量 | 両面・赤褐色胎(胎) | 外・ナツ 内・ナツ目 | HB-① I13 Ⅲ V (褐色54)台1087 HB-① I0162 (接合) | |
| | | | — | — | 32.0 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 151 | Ⅲ | 口 | 短頸蓋・口唇・縦筋 口縁・蓋状・口唇・外反・横 状沈線文(2層胎) | 8.2 | 0.6~1.0 | — | — | — | — | — | — | 砂質 少量 | 両面・赤褐色胎 | 両面・ナツ | HB-① O P16 IV (5層灰黄色胎質土)台419 | |
| | | | — | — | 10.2 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 152 | Ⅲ | 口 | 蓋・小頸径7.6cm 最大胴径11.6cm 文様・外面に蓋状の沈線文 | — | 1.0 | — | — | — | — | — | — | 砂質 少量 | 両面・黄褐色胎 | 両面・ナツ | HB-① P17 IV (5層灰黄色54)台650 | |
| | | | — | — | 22.5 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |

凡例 (○)赤紫に多い (○)多い △多量 △△少量

第9表-6 土器観察一覧(在地)

(計量単位:cm, g)

| 埋蔵 深度 | 調査 番号 | 分類 | 部位 | 形態 | 口径 器高 底径 | 器厚 底厚 重量 | 灰度 含量 | 石膏 含量 | 赤 色 粒 | 角 閃 石 | 砂 粒 | その他 | 加土 構成 | 胎色 外面 内面 | 表面調整 外面 内面 | 地区・ナツグ・層位・遺構 台帳(取上)番号 |
|---------------|----------|--------------------------------------|----------------------------|--|-------------------|--------------------------|----------|----------|-------------|-------------|----------------|----------------|--------------------------|------------------------------|---|--------------------------|
| 第50区・ 段原22 | Y1 | 153 | 口 | 口唇・舌状・やや厚手 口縁-上面は外反・胴部-直 | — — | 0.9 — 121.0 | 細粒 少量 | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 砂質 良好 | 両面:茶褐色 内:ナツグ指環肌 | 外:ナツグ 内:ナツグ指環肌 | HB①イM4 IV (V) 台55 | |
| | | 154 | 口 底 | 口唇・丸・口縁-上部外反・厚手胴部 縮まる・胴部-膨る 文様-外面に乳白粉影印 底部-丸・厚状丸底 1890±30BP | 20.7 28.4 — | 0.8~1.0 2.0 2484.0 | 細粒 少量 | ○ | △ | 長石 目 | 砂質 良好 | 砂質 良好 | 両面:黄茶褐色 | 外:粗砂(1/3未満) 内:ナツグ | HB①イO2 V (白砂層)下層120-130 一括土層 台69(取5) | |
| | | 155 | 口 | 口唇・舌状・口縁-外反・厚手 | — — | 0.9 — 93.5 | 細粒 少量 | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 砂質 良好 | 両面:黄茶褐色 | 外:ナツグ丁寧 内:ナツグ(下部は 磨り?) | HB①イO19 IV (3層青灰色5/6) 取52 | |
| | | 156 | 口 | 口唇・舌状・口縁-外反・厚手 | — — | 0.9 — 96.4 | 細粒 少量 | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 砂質 良好 | 外:赤褐色 内:黄茶褐色 | 両面:ナツグ下部 は磨り?) | HB①イO19 V (3層青灰色砂)台119 | |
| | | 157 | 口 | 口唇・平・口縁-やや外反 やや薄手(鉢) | — — | 0.85 — 29.5 | 粗粒 中量 | △ | ○ | △ | 砂質 良好 | 砂質 良好 | 両面:茶褐色 | 外:ナツグ 内:線仕上げ | HB①イK3 IV (V) 台34 | |
| | | 158 | 口 | 口唇・やや玉縁 口縁-やや外反・やや薄手 | — — | 0.7 — 15.8 | 細粒 少量 | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 砂質 良好 | 両面:赤褐色 | 両面:ナツグ | HB①イV (Ⅷ) 台63 | |
| | | 159 | 口 | 口唇・平・丸(若干波状) 口縁-外反・薄手 | — — | 0.6 — 30.0 | 細粒 少量 | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 砂質 良好 | 両面:茶褐色 | 両面:ヘラナツグ (下部は磨き) | HB①イL1 IV (V) 台65 | |
| | | 160 | 口 | 口唇・舌状・薄手 口縁-外反(鉢) | — — | 0.5 — 7.5 | 細粒 中量 | ○ | ○ | △ | 砂質 良好 | 砂質 良好 | 両面:茶褐色 | 両面:ナツグ 指環肌 | HB①イR13 貝層1 I (Ⅷ-III) 台111 | |
| | | 161 | 口 | 口唇・平(強調)・薄手 口縁-やや外反 胴部-若干縮まる・胴部やや膨る | 20.0 — — | 0.5 — 23.8 | 細粒 少量 | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 砂質 良好 | 両面:黄褐色 | 両面:ナツグ | HB①イK2 V (Ⅷ) | |
| | | 162 | 口 | 口唇・平(強調) 口縁-外反・薄手 | 24.8 — — | 0.5 — 39.0 | 中粒 中量 | ○ | ○ | △ | 砂質 良好 | 砂質 良好 | 両面:暗褐色 | 両面:ナツグ 指環肌 | HB①イR10 V (Ⅷ) 台99 | |
| | | 163 | 口 | 口唇・丸・口縁-外反・薄手 胴部-縮まる・胴部-膨る | — — | 0.6 — 29.7 | 細粒 少量 | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 砂質 良好 | 両面:茶褐色 | 両面:ナツグ 指環肌 | HB①イL2 V (Ⅷ) 台72 | |
| | | 164 | 口 | 口唇・玉縁・口縁外反・薄手 胴部-縮まる・胴部-膨る | — — | 0.5 — 21.1 | 細粒 少量 | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 砂質 良好 | 両面:茶褐色 | 両面:ナツグ 指環肌 | HB①イR12 V (Ⅷ-IV) 台110 | |
| | | 165 | 口 | 口唇・玉縁・口縁-外反・薄手 胴部-縮まる・胴部-膨る | — — | 0.6 — 34.2 | 細粒 中量 | △ | ○ | △ | 砂質 良好 | 砂質 良好 | 両面:茶褐色 | 両面:ヘラナツグ | HB①イS13 V (Ⅷ-II) | |
| | | 166 | 口 | 口唇・丸(若干強調)・やや波状 口縁-やや外反・薄手 胴部-やや膨る | 17.6 — — | 0.4 — 29.8 | 中粒 少量 | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 砂質 良好 | 両面:赤黄褐色 | 外:ナツグ 内:ナツグ指環肌 | HB①イ表線 台122 | |
| | | 167 | 口 | 口唇・平(強調)・口縁波状・薄手 胴部-やや膨る | 15.9 — — | 0.6 — 34.4 | 細粒 少量 | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 砂質 良好 | 両面:赤黄褐色 | 両面:ヘラナツグ | HB①イK3 V (Ⅷ) 台52 | |
| 168 | 口 | 口唇・平(強調) 口縁-直状 | — — | 0.7 — 19.2 | 中粒 少量 | △ | △ | △ | 砂質 良好 | 砂質 良好 | 両面:茶褐色 | 両面:ハク目? | HB①イR10 V (Ⅷ) 台99 | | | |
| 169 | 口 | 口唇・丸・やや波状 口縁-直状 (指環跡より胴部やや縮まる) | — — | 0.5 — 9.6 | 細粒 中量 | △ | ○ | △ | 泥質 良好 | 泥質 良好 | 外:褐色 内:灰褐色 | 外:ナツグ 内:ハク目 | HB①イR13 V (Ⅷ-II) 台106 | | | |
| 170 | 口 | 口唇・丸 口縁-直状(上部若干外反) | — — | 0.4 — 20.1 | 細粒 少量 | △ | ○ | △ | 泥質 良好 | 泥質 良好 | 外:赤褐色 内:灰褐色 | 外:ナツグ 内:ハク目 | HB①イ皿 (直線層下部) 台306 | | | |
| 第51区・ 段原22 | Y1 | 171 | 具 時代層 ・ 中層の 土層 | 形状不明 文様-外面に斜位の刺突文 (室用下層式) | — — | 0.9 — 42.1 | 粗粒 多量 | ◎ | △ | △ | 泥質 多量 | 泥質 多量 | 両面:茶褐色 | 両面:ナツグ | HB①L16 V (中央へ対5層白砂) 台259 | |
| | | 172 | 具 時代層 ・ 中層の 土層 | 形状不明 文様-外面に貼付凸刺文(幅13mm) +その上に横長の刺突文(12mm) | — — | 0.6 — 4.4 | 中粒 中量 | ○ | ○ | △ | 泥質 良好 | 泥質 良好 | 両面:黄茶褐色 | 両面:不明 (小破片) | HB①イM3 IV (V) 台74 | |
| | | 173 | 具 時代層 ・ 中層の 土層 | 形状不明 口唇平ら・文様-口唇・外面に準へラ ツグ工具による押し引き文 | — — | 0.7 — 7.8 | 粗粒 多量 | ◎ | △ | △ | 泥質 良好 | 泥質 良好 | 両面:茶褐色 | 両面:不明 (小破片) | HB①イL11 V (線刺層)取1271 | |
| | | 174 | 具 時代層 ・ 中層の 土層 | 無文・器厚約一やや厚手 | — — | 0.7 — 31.0 | 粗粒 多量 | ◎ | △ | △ | 泥質 多量 | 泥質 多量 | 両面:暗茶褐色 | 両面:ナツグ | HB① グラツト層不明 | |

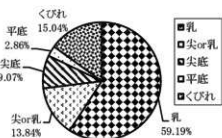
凡例 ◎=非常に多い ○=多い △=少ない 少量少

は口縁部と同じで、I類と同様な分布状況を見せる。それ以外にHB④イ地区、HB①地区のIV層においても出土する。III類もほぼ口縁部と同じ出土状況で、II類の出土分布に類似する。IV類はHB④ロ地区、HB①地区での出土が多く、後者の地区ではIV層の南側(P15~20、015~20、N15~20)で多数出土する。その他、HB②ロ地区、HB④イ地区でも出土する。V類は僅か7点の出土で、分布状況が掴めない。VI類は口縁部と同じくHB①地区IV層の南側(P17~19、016~20、N17・20)での出土が多い。VII類は口縁部と違い、HB①地区、HB②ロ地区での出土が多く、前地区ではIV類・VI類と同場所での出土が多く見られる。また、HB④ロ地区ではIV類の出土が圧倒的に多く、口縁部と同じく隣接する平安山原C遺跡との関係が考えられる。

なお、参考までに分類出来なかった胴部も不明土器として図示した。

3. 底部

貝塚時代後期の底部は総数419点が得られた。復元土器の底部は集計から除外し、口縁部で集計した。第10表に底部の出土量、第29図に平面分布、第28図に器種別出土量を円グラフで示した。第28図の器種別出土量を見ると、尖底、乳房状尖底、平底、くびれ平底の4種が得られ、乳房状尖底が最も多い。尖底、尖底 or 乳房状尖底、乳房状尖底を尖底系でひとまとめにすると、8割以上を占める。口縁部において尖底系を要する型式が主体であることと一致する。平底の一部も復元した土器からすると、口縁部分類のI類の底部が想定される。ただ、くびれ平底に関しては15%の割合を示すことから多い感を受ける。口縁部でくびれ平底を想定出来るものは僅か2.4%の割合で出土したVII類のみである。復元土器の底部を見ると、くびれ平底に分類した中にI類の底部となりうる平底も含まれている可能性がある。第29図の底部の平面分布を見ると、全体的に口縁部と同じHB②イ地区と隣接するHB①地区中央部北側で最も多く出土する。器種別にはあまり差は見られないが、HB②ロ地区ではくびれ平底の出土がやや多い。層位的には尖底系と平底はV層出土が約89.0%、I~III層、IV層出土を併せても9.8%である。くびれ平底はV層出土が38.1%、I~III層出土が41.3%、IV層出土が20.6%の状況を示す。I~III層出土のくびれ平底は遺構(II層)出土がほとんどで、攪乱を受けていることが分かる。特に、HB①地区においては6点が得られた。今回、丸底は得られず、A:尖底、B:乳房状尖底、C:平底、D:くびれ平底に分類した。以下、その順で記述する。図175~275、図版24~26に図示し、個々の遺物の詳細は第11表の観察一覧にまとめた。



第28図 底部器種別出土量

第10表 土器(底部)出土量

| 地区 | 層位 | 分類 遺構 | 分類 | | | | | 合計 |
|------|--------|----------|----|-----|------|----|-----|-----|
| | | | 尖底 | 乳 | 尖or乳 | 平底 | くびれ | |
| HB① | I | | | | | | 3 | 3 |
| | II | 遺構 | 2 | 1 | | | 4 | 7 |
| | III | 遺構 | 1 | 2 | | 1 | 3 | 6 |
| | IV | | 5 | 9 | 4 | | 7 | 25 |
| | V | | 19 | 109 | 19 | 9 | 16 | 172 |
| | 不明 | | 1 | | | | | 1 |
| | 小計 | | 25 | 124 | 24 | 10 | 36 | 219 |
| HB②イ | I | | | 1 | | | 4 | 5 |
| | II | 遺構 | 1 | 1 | 2 | | 3 | 7 |
| | III | | | 1 | | | 4 | 5 |
| | V | | 7 | 108 | 30 | 2 | 3 | 150 |
| | 1023SX | | 1 | | | | | 1 |
| 不明 | | 1 | | | | | 1 | |
| | 小計 | | 8 | 113 | 32 | 2 | 14 | 169 |
| HB②ロ | II | 2002SZ | | | | | 1 | 1 |
| | III | 2049SD | | | | | 1 | 1 |
| | IV | | | | 1 | | 4 | 5 |
| | V | | 1 | | | | 1 | 1 |
| | 小計 | | 1 | 1 | | | 6 | 8 |
| HB④イ | I | | | 1 | | | 1 | 1 |
| | IV | | | 1 | | | 2 | 3 |
| | V | | | 1 | | | 1 | 1 |
| | 小計 | | | 3 | | | 2 | 5 |
| HB④ロ | V | | 5 | 5 | 1 | | 5 | 16 |
| | 不明 | | | | | | 2 | 2 |
| | 合計 | | 38 | 248 | 58 | 12 | 63 | 419 |

遺構:HB①(II層)8.288SX 1.3598K (III層)163.2375SX 271SD 275SL
 遺構:HB②イ(II層)1005.1016SX 1006SK 1018SX

A：尖底

尖底は 38 点の出土で、主なものを図 175～183、図版24に図示した。第28図の器種別出土量を参考にすると、僅か9.07%の割合である。

第29図に示した平面分布を見ると、HB②イ地区とHB①地区中央部の北側で最も多く得られた。層位的にはV層出土が81.6%と最も多い。

以下、底面の形状によりa～cに分類し、それぞれ順に記述する。

a：外底がやや丸みを呈するもの

b：外底がやや尖り気味のもの

c：外底がやや平らで、底径が小さいもの

aは図175に図示した1点のみの出土である。全体的にナデ調整を行い、混和材として細かい石英や角閃石などを含む。胎土などの特徴からI類の可能性が考えられる。

bは18点の出土で、HB②イ、HB④ロ地区で多く見られた。後者ではIV類の口縁部が多いことから、大半が同種の底部に相当するものと考えられる。図176～179に4点を図示した。

図176・177は割としっかりした厚手の底部で、混和材も少なく、ナデ調整が施されている。図178は器厚が薄く、開きの大きな底部である。外面には条痕が明瞭に残り、内面はナデ調整が丁寧に行われている。図179は胎土や混和材が粗く、調整も雑で外面には指頭痕が明瞭に残る。

cは19点の出土で、図180～183に4点を図示した。底径が小さく、外底の作りや調整の仕方などから尖底に分類した。図180・181・183の3点は外底面の中央部が若干窪み、立ち上がりの角は丸みを呈する。図182は外底面が平らで立ち上がりの角が明瞭である。

B：乳房状尖底

乳房状尖底は248点の出土で、主なものを図184～240、図版24・25に図示した。第28図の器種別出土量を見ると、59.2%の割合で最も多く出土している。尖底or乳房状尖底は58点の出土で、13.8%の割合を占め、Aも合わせると82.1%と尖底系の底部が主体であることがわかる。層位的にはV層出土が多く、89.0%を占める。Bは胎土や混和材等の特徴からほとんどがI・II類の底部と思われる、中にはIV類の底部と考えられるものも出土している。乳頭部の外底形状によりa～gに分類した。a～cは乳頭部が丸みを呈するもので55点が出土し、乳房状尖底全体では22.2%の割合を示す。d～gは乳頭部が平らなもので157点が得られ、乳房状尖底全体の63.3%を占めることから、本遺跡の主流となる。外底面は平らで平底に近い底部も得られたが、製作技法などから乳房状尖底の変形と思われる。乳房状尖底として集計したものもある。以下、aから順に記述する。

a：乳頭部の外底が丸みを呈するもので小振りなもの（底径2.6cm以下）

b：乳頭部の外底が丸みを呈するもので中振りなもの（底径2.7～3.4cm以下）

c：乳頭部の外底が丸みを呈するもので大振りなもの（底径3.5cm以上）

d：乳頭部の外底が平らで小振りなもの（底径2.6cm以下）

e：乳頭部の外底が平らで中振りなもの（底径2.7～3.4cm以下）

f：乳頭部の外底が平らで大振りややや平底に近いもの（底径3.5cm以上）

g：乳頭部が不明瞭で内底は斜位、大振りより平底に近いもの

aは26点が得られ、図184～187に4点を図示した。いずれも乳頭部は小振りであるが、図184～186は乳頭部が低く、図187の乳頭部は他に比べて高い。図185・186の2点は胎土や混和材などの特徴からIV類の底部と思われる。

bは22点が得られ、図188・189の2点を図示した。いずれも乳頭部が低く、砂質で胎土に角閃

石を含むことからⅠ類またはⅡ類の底部と思われる。

cは7点が得られ、図190～194の5点を図示した。図194の底面は破損しているが、残存する乳頭部が大きい。いずれも重量感があり、器面調整は雑である。このタイプは本遺跡では数量的に少なく、図示した5点は混和材や胎土などの特徴からⅣ類の可能性が考えられる。

dは17点の出土で、図195～198に4点を図示した。図195～197は低めの乳頭部、図198はやや高い乳頭部を呈する。

eは91点の出土で、図199～217に19点を図示した。本種の中で最も多い形状である。立ち上がり部はほとんどがくびれを持つ。図199・201・203～205・207・209・210・212～217は底面に粘土を貼り付けて乳頭部を作る。図200・206・208・211には粘土の貼付は見られない。図202は底厚が28mmとかなり厚く、胎土に角閃石を多量に含む。

fは41点で、図218～233に16点を図示した。eに次いで多い形状で、両者を合わせると132点が出土している。本遺跡の乳房状尖底は乳頭部が平らで中・大振りなものが圧倒的に多い。中でも乳頭部自体が薄く、底径が割と大きなものが主体となる。このような底部が多数出土する遺跡としては嘉門貝塚B(1993)などが上げられ、同遺跡は土器全般において本遺跡と類似するようである。図228・229は立ち上がりが若干内傾しながら胴部へ移行するが、他は直線的に立ち上がって移行するものが多い。図219・222・224・229・230・233はいずれも程度の差はあるが、外底面の中央部が窪む。

gは僅か8点の出土で、図234～237に4点を図示した。いずれも平底に近いが、僅かに乳頭部と思われる部分があること、内底面が平らではなく斜傾であることなどから乳房状尖底に分類した。口～底部まで復元が出来た図55・57の底部も類似の形状を呈するが、製作技法や乳頭部とは捉えられないことから平底に分類した。図236・237はいずれも底厚が15、18mmと厚い。

図238～240は底部付近で不明なものをまとめた。底面が破損しているが、残存部の形状から3点とも尖底か乳房状尖底と思われる。

その他に、乳房状尖底と思われるもので外底が破損し、細分類が出来ないものもある。

C：平底

平底は12点の出土で、図241～247、図26に7点を図示した。第28図の器種別出土量を見ると、僅か2.9%の割合である。平底は、Ⅱ層の遺構である359SK以外は全てⅤ層出土である。形状の異なるものが多いが、出土数が少ないために細分せずにそれぞれ記述する。図241～243の3点はいずれも胎土が粗く堅致で、混和材はやや粗粒である。図242はHB①地区0・P10・11グリッド359SK出土である。図244は砂質で細かい胎土を呈する。図245は底面のみが残存するもので、胎土や混和材などが第48図134に類似している。図246は他の底部に比べて立ち上がりが急で、底厚も20mmとやや厚い。胎土も粉っぽさが強く、手に付く。図247は底面のみが残るもので底厚が厚く、底径の大きな平底である。

D：くびれ平底

くびれ平底は63点の出土で、図248～274、図版26に27点を図示した。第28図に示した器種別出土量を見ると、全体の約15.0%の割合である。平面分布を見るとHB②イ地区以外の地区ではほとんど出土しており、HB②ロ地区のⅣ層での出土が若干目立つ。層位的に見ると、前述したようにⅤ層出土は尖底系に比べて出土数が少なく、38.1%の割合で、Ⅰ～Ⅲ層出土は41.3%、Ⅳ層は20.6%である。第20図の垂直分布を見ると、HB①・HB②イ地区においてⅤ層出土のくびれ平底は、Ⅰ・Ⅱ類の口縁部より上部で出土する傾向が見られる。また、他の底部に比べてⅠ～Ⅲ層の遺構出土が多く、

擾乱を受けた出土状況が目立つことから、尖底系や平底と若干の時期差があった可能性が想定される。以下、形状の違いにより a～e に分けて記述する。

- a : 立ち上がりは直・底厚が厚いもの
- b : くびれが弱い・器厚は薄い・底厚が厚いもの
- c : くびれが弱い・立ち上がり部がやや丸い・底厚が厚いもの
- d : くびれが明瞭・立ち上がり部は角を持つ・外底は上げ底状が多いもの
- e : くびれが強い・外底が鐮状になるもの

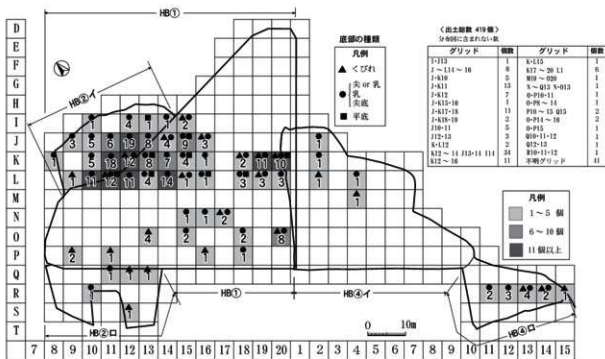
a は 3 点が得られ、図 248・249 の 2 点を図示した。2 点ともくびれがあまり見られず、底径も小さいため乳房状尖底の変形した可能性も考えられる。ただ、胎土等が乳房状尖底や平底と大きく違い、くびれ平底の b に近い。本来なら d より外れる形状であり、口縁部との関係も含めて今後の課題であろう。2 点とも底厚が約 20 mm と厚く、底面から直に立ち上がるもので、重量感がある底部である。

b は図 250～252 の 3 点が得られた。図 250 は他に比べてやや雑仕上げで、重量感がある。立ち上がり部が半分ほど破損しており、調整も雑である。図 251 の外面には条痕が明瞭に残る。図 252 は内面にヘラナデの調整痕が残る。

c は 9 点が得られ、図 253～256 の 4 点を図示した。いずれも立ち上がり部がやや丸みを呈し、底厚も若干厚みを持つ。図 256 は外底に楕円状の薄い粘土を数カ所に貼り付けている。

d は 46 点が得られ、図 257～273 の 17 点を図示した。くびれ平底のみの割合では 73.0% を占め、本遺跡出土のくびれ平底では主体となる形状である。立ち上がり部の角はシャープで外底の中央部は上げ底状を呈するものが多い。図 263～265 等のように器厚が薄く、ナデ調整が丁寧で内底が丸みを呈するものはアカジャンガー式土器の底部であろうか。くびれ平底を持つ型式には他にフェンサ下層式土器もあり、両者を区別することが今後の課題となる。

e は 2 点が得られ、図 274 の 1 点を図示した。平らな円形状の粘土を土台とし、その上に粘土を積



第 29 図 土器底部出土平面分布

み上げて鋳状を作り出しているものと思われる。両面とも丁寧にナデ調整を行っている。

図 275 は分類が不明である。外面の形状からくびれ平底の a や c にも近いが、胎土などが異なる。外底は上げ底を呈し、外面は丁寧なナデによるものか、器面が滑らかである。内底は器面が剥落しており、底厚は不明である。

<参考文献>

- 高宮廣衛 1960 「具志川村アカジャンガー遺跡調査概報」『文化財要覧』琉球政府文化財保護委員会
具志川市教育委員会 1978 『宇堅貝塚・アカジャンガー貝塚発掘調査報告』
本部町教育委員会 1986 『具志堅貝塚』本部町文化財調査報告書第 3 集
高宮廣衛・中村恵・金城利枝 1989 「宜野湾市宇地泊兼久原遺跡発掘調査報告」『神国大考古』第 10 号
沖縄県・具志川村教育委員会 1989 『清水貝塚』具志川村文化財調査報告書第 1 集
沖縄考古学会・鹿児島考古学会 1992 『弥生土器』第 3 回合同研究会資料集
鹿児島考古学会 1992 『鹿児島県下の弥生土器』
浦添市教育委員会 1993 『嘉門貝塚 B』浦添市文化財調査報告書第 21 集
名護市教育委員会 1996 『部瀬名貝塚』
沖縄県教育委員会 1996 『平敷屋トウバル遺跡』沖縄県文化財調査報告書第 125 集
中国聡 1997 「九州南部地域弥生土器編年」『人類学研究』第 9 号 人類学研究会
沖縄国際大学文学部考古学研究室 1999 「渡嘉敷村阿波連浦貝塚発掘調査報告」『神国大考古』第 12 集
安座間 充 2000 「沖縄考古学におけるいわゆる「弥生土器」の認識—類型化のための基礎作業—(1)」
『南島考古』No19
沖縄考古学会 2002 『沖縄諸島の弥生時代並行期』沖縄考古学会研究発表資料集
新里貴之 2004 「沖縄諸島の土器」『考古資料大観 12 貝塚後期文化』小学館
宮城弘樹 2005 「沖縄貝塚時代後期土器の研究(Ⅲ)—浜屋原式土器とその概念整理—」『廣友会』創刊号
北谷町教育委員会 2008 『平安山原 B 遺跡』北谷町文化財調査報告書第 29 集
北谷町教育委員会 2010 『伊礼原 E 遺跡』北谷町文化財調査報告書第 31 集
北谷町教育委員会 2013 『伊礼原 D 遺跡』北谷町文化財調査報告書第 35 集
北谷町教育委員会 2014 『伊礼原遺跡・伊礼原 A 遺跡』北谷町文化財調査報告書第 36 集
新里貴之・高宮広土 2014 『琉球列島の土器・石器・貝製品・骨製品文化』第 1 集
仲宗根求・他 2001 「読谷村立出土の弥生土器・弥生系土器について」『読谷村歴史民俗資料館紀要第 25 号』

第11表-1 土器観察一覧(底部)

(単位換算: cm, g)

| 調査 回数 | 図 番号 | 分類 | 形態 | 底径 | 器厚 | 粘土 含量 | 石 灰 | 角 閃石 | 赤 色 粒 | 白 色 粒 | そ の 他 | 胎 土 | 器色 (外 内面) | 器面調整 (外 内面) | 地区・デパート・層位 遺構・台帳(取上)番号 | |
|----------|------------------------------|----|-------------------------------|--------------|------------|----------|--------|---------|-------------|-------------|-------------|--------|-----------------|--------------------|--|---|
| 175 | a | a | 外底-丸み 底厚-器厚と同じ | - | 0.75 多量 | ◎ | ◎ | | | ○ | | 砂質 | 両面:茶褐色 | 両面:ナデ | HB2①114 V(褐色シルト) 取122 | |
| 176 | 外底-実る 底厚-やや厚い | | 18.7 | 1.5 | ◎ | | | | | △ | | 砂質 | 外:赤褐色 内:橙褐色 | 両面:ナデ | HB2①R13 V(VB-1) 台101 | |
| 177 | 外底-実る 底厚-やや厚い | | 31.5 | 1.8 | ◎ | △ | | | | △ | | 砂質 | 外:茶褐色 内:暗茶褐色 | 両面:ナデ | HB2①R12 V(VB) 台100 | |
| 178 | b | b | 外底-実る 底厚-やや厚い | - | 0.5 中量 | ◎ | △ | △ | ○ | △ | | 砂質 | 外:赤褐色 内:暗茶褐色 | 外:赤褐色 内:ナデ | HB2①R13 V(VB-II) 台106 | |
| 179 | 外底-実る 底厚-厚い | | 28.4 | 2.6 | ◎ | | | | | | | 砂質 | 両面:赤褐色 | 両面:ナデ | HB2①K19 V(黒貝層) 台548 | |
| 180 | 外底-平ら・中央部凹み 底厚-やや厚い | | 1.5 32.3 | 0.6 1.8 | ◎ | △ | | | | △ | | 砂質 | 両面:灰茶褐色 | 両面:ナデ | HB2①R14 V(VB-1) 台102 | |
| 181 | c | c | 外底-平ら・中央部凹み 底厚-やや厚い | 2.1 | 0.6 1.5 | ◎ | | | | ○ | | 砂質 | 外:茶褐色 内:暗茶褐色 | 両面:ナデ | HB2①R12 V(VB-IV) 台110 | |
| 182 | 外底-平ら 底厚-やや薄い | | 2.6 9.4 | 0.6 1.2 | ◎ | △ | | | | △ | | 砂質 | 両面:黄褐色 | 両面:ナデ | HB2①K12' 14 J13-1414 V(褐色シルト)台564 | |
| 183 | 外底-平ら 中央部僅かに凹み 底厚-やや厚い | | 3 53.6 | 0.7 1.6 | ◎ | ○ | | | | △ | | 砂質 | 外:灰褐色 内:ナデ | 外:ナデ 内:ナデ・指痕 | HB2①K13 V(黒貝層) 台571 | |
| 184 | a | a | 乳頸部の外底-丸み 小振り・低い | - | 0.5 少量 | ◎ | △ | △ | △ | | | 砂質 | 両面:茶褐色 | 外:ナデ(指) 内:ナデ | HB2①R12 V(VB) 台100 | |
| 185 | 乳頸部の外底-丸み 小振り・低い | | 57.8 | 1.8 | ◎ | △ | | | | △ | | 砂質 | 両面:赤褐色 | 外:ナデ(指) 内:ナデ | HB2①L18 V(黒貝層) 台390 | |
| 186 | 乳頸部の外底-丸み 小振り・低い | | - | 0.6 多量 | ◎ | ○ | | | ◎ | | | | 砂質 | 外:黄褐色 内:灰茶褐色 | 両面:ナデ | HB2①V(VB) 台63 |
| 187 | b | b | 乳頸部の外底-丸み 小振り・低い | - | 0.3 中量 | ◎ | △ | △ | | | | 砂質 | 外:茶褐色 内:黒褐色 | 両面:ナデ | HB2①K17' 20 L1 V(暗褐色シルト)台229 | |
| 188 | 乳頸部の外底-丸み 小振り・低い | | 2.6 38.8 | 0.7 中量 | ◎ | ○ | | | | △ | | 砂質 | 外:赤褐色 内:暗褐色 | 外:ナデ・指痕 内:ナデ(指) | HB2①K2 V(VB) 台68 | |
| 189 | 乳頸部の外底-丸み 小振り・低い | | 2.4 40.7 | 0.8 多量 | ◎ | ◎ | | | | △ | | | 砂質 | 両面:赤褐色 | 両面:ナデ・指痕 指痕 | HB2①J-K17-18 V(褐色シルト)台549 |
| 190 | c | c | 乳頸部の外底-丸み 小振り・高い | - | 0.7 少量 | ◎ | △ | | | | | 砂質 | 両面:茶褐色 | 両面:ナデ | HB2①R13 V(VD) 台62 | |
| 191 | 乳頸部の外底-丸み 大振り・高い | | 50.5 | 2.4 | ◎ | △ | | | △ | | | 砂質 | 両面:茶褐色 | 外:ナデ(指) 内:ナデ | HB2①R13 V(VB) 台63 | |
| 192 | 乳頸部の外底-丸み 大振り・やや低い | | 40.0 | 2.4 | ◎ | △ | | | | △ | | 砂質 | 外:赤褐色 内:茶褐色 | 両面:ナデ | HB2①K20 V(褐色シルト)台273 | |
| 193 | d | d | 乳頸部の外底-丸み 大振り・高い | - | 0.8 中量 | ◎ | | | | | | 砂質 | 両面:赤褐色 | 両面:ナデ | HB2①J-K17-18 V(褐色シルト)台549 | |
| 194 | 乳頸部は外底-丸み 大振り・底厚は不明 | | 35.8 | - | ◎ | △ | | | | △ | | 砂質 | 両面:赤褐色 | 両面:ナデ(指) 指痕 | HB2①J-K18-19 V(赤褐色)台245 | |
| 195 | 乳頸部の外底-丸み 小振り・低い | | 2.6 69.6 | 0.6 1.6 | ◎ | △ | | | | △ | | 砂質 | 両面:暗茶褐色 | 両面:ナデ | HB2①K12 V(黒砂層)取1257 HB2①J2 I (覆土) 台49 | |
| 196 | e | e | 乳頸部の外底-平ら 小振り・低い | 2.6 | 0.6 中量 | ◎ | ◎ | | | △ | | 砂質 | 両面:黄褐色 | 両面:ナデ | HB2①K14 V(褐色シルト)取78 | |
| 197 | 乳頸部の外底-平ら 小振り・低い | | 53.1 | 1.8 | ◎ | ○ | | | | △ | | 砂質 | 両面:黄褐色 | 外:ナデ・指痕 内:ナデ(指) | HB2①K14 V(褐色シルト)取78 | |
| 198 | 乳頸部の外底-平ら 小振り・高い | | 2.3 28.7 | 0.6 1.9 | ◎ | △ | | | | △ | | 砂質 | 両面:茶褐色 | 外:ナデ丁家 内:ナデ | HB2①J13 V(褐色シルト)取1069 HB2①L29 V(黒貝層) 台387 | |
| 199 | f | f | 乳頸部の外底-平ら 小振り・低い | 83.6 | 1.2 | ◎ | △ | | | △ | | 砂質 | 両面:茶褐色 | 両面:ナデ(指) | HB2①K11 V(褐色シルト)台315 K13 V(黒貝層)取138 (接合) | |
| 200 | 乳頸部の外底-平ら 小振り・低い | | 3.2 71.3 | 0.6 1.0 | ◎ | ○ | | | | △ | | 砂質 | 外:橙褐色 内:暗褐色 | 両面:ナデ | HB2①J12 V(褐色シルト)取1076 | |
| 201 | 乳頸部の外底-平ら 小振り・低い | | 3.3 54.4 | 0.7 1.2 | ◎ | ◎ | | | | △ | | 砂質 | 両面:茶褐色 | 両面:ナデ | HB2①K19 III 2378K 台605 | |
| 202 | g | g | 乳頸部の外底-平ら(中央部 は上げ部) 小振り・低い | 3.4 45.2 | 2.8 多量 | ◎ | ◎ | | | △ | | 砂質 | 外:赤褐色 内:黄褐色 | 外:ナデ 内:減損で下明 | HB2①K19 III 2378K 台605 | |
| 203 | 乳頸部の外底-平ら 小振り・低い | | 3.4 39.5 | 0.7 2.1 | ◎ | △ | | | | △ | | 砂質 | 外:赤褐色 内:暗茶褐色 | 両面:ナデ | HB2①II 10055Z 台3081 | |
| 204 | 乳頸部の外底-平ら 小振り・低い | | 3.4 64.4 | 0.8 2.3 | ◎ | ◎ | | | | △ | | 砂質 | 両面:赤褐色 | 外:ナデ 内:ナデ丁家 | 出土地不明 | |
| 205 | h | h | 乳頸部の外底-平ら 小振り・低い | 3.4 125.4 | 0.7 1.6 | ◎ | ○ | | | | | 砂質 | 両面:黄褐色 | 両面:ナデ丁家 | HB2①I12 V(黒砂層)取1115 HB2①J12 V(黒砂層)取2055 (接合) | |
| 206 | 乳頸部の外底-平ら 小振り・低い | | 3.4 29.0 | 0.6 1.4 | ◎ | △ | | | | △ | | 砂質 | 外:橙褐色 内:灰茶褐色 | 両面:ナデ | HB2①J-K17-18 V(褐色シルト)台549 | |
| 207 | 乳頸部の外底-平ら 小振り・低い | | 3.4 67.9 | 1.0 2.1 | ◎ | △ | | | | ○ | | 砂質 | 両面:赤褐色 | 両面:ナデ | HB2①O13 IV(黄灰粘質土) 台479 | |
| 208 | i | i | 乳頸部の外底-平ら 小振り・低い | 3.4 146.4 | 0.8 1.9 | ◎ | △ | | | | ○ | | 砂質 | 外:赤褐色 内:暗褐色 | 両面:ナデ | HB2①J11 V(暗砂層)取1064 HB2①J12-13 V(黒砂層)上 台3131 (接合) |

凡例 (◎)非常に多い (○)多い (△)多少 (△)少量

第32回・図表24

第11表-2 土器観察一覧(底部)

(法量単位:cm, g)

| 集団 図版 | 図 番 号 | 分類 | 形態 | 底径 量量 | 器厚 量量 | 粘土 含量 | 石英 含量 | 角質 石・ 赤色 石・ 粒 | 赤 色 粒 | 白 色 粒 | そ の 他 | 胎土 | 器色 〔外面〕 内面 | 器面 調整 〔外面〕 内面 | 地区・ツグ・層位 遺跡・台帳(取)・番号 | | |
|--------------------|--|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|------------------|------------------|------------------|---------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------------|------------------------|---|--|-------------------------|
| 第 III 章 3 | 209 | 乳 頭 状 底 | 乳頭部の外底-平ら 中底-低い | 3.4 79.1 | 0.7 1.8 | 練 砂 少 量 | △ | | | △ | | 砂 泥 質 | 外面-暗褐色 内-暗褐色 | 両面-ナデ | HB②-K18 V(黄砂土) 取1200 | | |
| | 210 | | 乳頭部の外底-平ら 中底-低い | 3.4 19.1 | 0.5 0.6 | 練 砂 少 量 | △ | △ | | | △ | | 砂 質 | 外-赤褐色 内-暗褐色 | 両面-ナデ | HB②-J12 V(貝層①) 台3055 | |
| | 211 | | 乳頭部の外底-平ら 中底-低い | 3.4 40.9 | 1.5 1.2 | 練 砂 少 量 | △ | △ | | | △ | | 砂 質 | 外-赤褐色 内-暗褐色 | 両面-ナデ | HB①-K12*14 J13-1414 V(褐色シルト) 台564 | |
| | 212 | | 乳頭部の外底-平ら 中底-低い | 3.6 37.5 | 0.6 1.1 | 練 砂 中 量 | ○ | △ | | | △ | | 砂 質 | 外-赤褐色 内-暗褐色 | 両面-ナデ | HB②-J12 V(暗砂) 取1077 | |
| | 213 | | 乳頭部の外底-平ら 中底-低い | 3.6 37.3 | 0.7 0.9 | 練 砂 中 量 | ○ | △ | | | ○ | | 砂 質 | 外-暗褐色 内-暗褐色 | 両面-ナデ | HB②-J12 V(暗砂) 台3111 | |
| | 214 | | 乳頭部の外底-平ら 中底-低い | 3.6 28.7 | 0.5 0.7 | 中 砂 少 量 | △ | | | | △ | | 砂 質 | 外-赤褐色 内-暗褐色 | 両面-ナデ | HB②-L10 V(貝層②) 台3140 | |
| | 215 | | 乳頭部の外底-平ら 中底-低い | 3.6 38.3 | 0.6 1.1 | 練 砂 中 量 | ○ | ○ | | | △ | | 砂 質 | 外-灰褐色 内-暗褐色 | 両面-ナデ | HB①-K12*16 V(暗褐色シルト) 台226 | |
| | 216 | | 乳頭部の外底-平ら 中底-低い | 3.6 37.0 | 0.7 1.3 | 練 砂 少 量 | △ | | | | △ | | 砂 泥 質 | 両面-暗褐色 | 両面-ナデ | HB①-L11 V(黄色砂) 取213 | |
| | 217 | | 乳頭部の外底-平ら 中底-低い | 3.8 60.3 | 0.9 1.6 | 中 砂 少 量 | | | | △ | △ | | 砂 泥 質 | 外-赤褐色 内-黒褐色 | 外-ナデ 内-ナデ | HB①-K19 V(混貝層) 取190 | |
| | 218 | | 乳頭部の外底-平ら 大底-低い | 3.8 50.3 | 0.6 0.9 | 中 砂 中 量 | ○ | △ | | | △ | | 砂 質 | 外-赤褐色 内-暗褐色 | 外-ナデ 内-ナデ | HB②-J9 V(灰砂層) 取1404 HB②-J V(灰砂層) 台3178 (接合) | |
| | 219 | | 乳頭部の外底-平ら(中央部 は上り底) 大底-低い | 4.0 33.8 | 0.7 1.2 | 練 砂 中 量 | △ | ○ | △ | | △ | | 砂 質 | 外-暗褐色 内-淡黄褐色 | 両面-ナデ | HB②-K11 V(貝層②) 取1136 | |
| | 220 | | 乳頭部の外底-平ら 大底-低い | 3.8 47.8 | 0.4 1.3 | 練 砂 中 量 | ○ | | | | ○ | | 砂 質 | 両面-赤褐色 | 両面-ナデ | HB②-J12 V(貝層①) 台3055 | |
| | 221 | | 乳頭部の外底-平ら 大底-低い | 4.1 51.1 | 0.7 1.4 | 練 砂 少 量 | △ | | | | △ | | 砂 質 | 外-暗褐色 内-灰茶褐色 | 外-ナデ 内-ナデ | HB①-K12*16 V(暗褐色シルト) 台226 | |
| | 222 | | 乳頭部の外底-平ら (中央部は上り底) 大底-低い | 4.0 32.6 | 0.6 0.5 | 少 量 | △ | | | | △ | | 砂 質 | 外-灰茶褐色 内-暗褐色 | 両面-ナデ | HB②-L10 V(貝層①) 台3309 HB②-K10 V(貝層②) 台3149 HB②-L10 V(貝層②) 台3140 (接合) | |
| | 223 | | 乳頭 状底 | 乳頭部の外底-平ら 大底-低い | 4.1 139.7 | 0.7 1.4 | 練 砂 中 量 | ○ | | | ○ | | | 砂 泥 質 | 両面-赤褐色 | 外-ナデ 内-ナデ | HB①-K19 V(混貝層) 取157 |
| | 224 | | 第 III 章 3 | 乳頭部の外底-平ら (中央部は上り底) 大底-低い | 4.1 112.1 | 0.6 1.3 | 中 砂 中 量 | △ | | ○ | △ | | | 砂 質 | 外-赤褐色 内-赤褐色 | 外-ヘラナデ 内-ナデ | HB②-J12 V(貝層①) 取1093 |
| | 225 | | | 乳頭部の外底-平ら 大底-低い | 3.8 81.6 | 0.7 1.4 | 練 砂 少 量 | △ | | | △ | | | 砂 質 | 外-赤褐色 内-暗褐色 | 外-ヘラナデ 内-ナデ | HB①-K13 V(混貝層) 取192 |
| | 226 | | 乳頭部の外底-平ら 大底-低い | 4.1 62.0 | 0.7 1.2 | 練 砂 少 量 | △ | | | | △ | | 砂 質 | 両面-赤褐色 | 外-ヘラナデ 内-ヘラナデ | HB②-K11 V(黄砂土) 取1294 | |
| | 227 | | 乳頭部の外底-平ら 大底-低い | 4.4 20.5 | 0.7 0.9 | 練 砂 多 量 | ○ | ○ | | | △ | | | 砂 質 | 外-暗褐色 内-赤褐色 | 両面-ナデ | HB②-J12 V(黄砂土) 台3203 |
| | 228 | | 乳頭部の外底-平ら 大底-低い | 4.4 33.1 | 0.6 1.4 | 練 砂 多 量 | ◎ | △ | | | △ | | | 砂 質 | 両面-黄茶褐色 | 両面-ナデ | HB①-K20 V(混貝層) 台569 |
| 229 | 乳頭部の外底-平ら (中央部は上り底) 大底-低い | - 146.0 | 0.6 1.3 | 練 砂 少 量 | △ | | | | △ | | | 砂 質 | 両面-暗褐色 | 外-ナデ 内-ナデ | HB②-K8 V(山土層) 取1387~1389 | | |
| 230 | 乳頭部の外底-平ら (中央部は上り底) 大底-低い | 4.1 69.2 | 0.6 1.1 | 練 砂 中 量 | ○ | △ | | △ | | | | 砂 質 | 外-赤褐色 内-黄茶褐色 | 両面-ナデ | HB①-I15 V(褐色シルト) 取97 | | |
| 231 | 乳頭部の外底-平ら 大底-低い | 4.6 72.0 | 0.5 1.5 | 練 砂 中 量 | △ | △ | | △ | △ | | | 砂 質 | 外-赤褐色 内-灰茶褐色 | 外-ナデ 内-ナデ | HB②-K11 V(貝層②) 取1044 | | |
| 232 | 乳頭部の外底-平ら 立ち上がり角が丸 大底-低い | 5 23.6 | 0.5 0.5 | 中 砂 中 量 | ○ | △ | | △ | △ | | | 砂 泥 質 | 両面-灰茶褐色 | 外-ナデ 内-ナデ | HB①-K15 V(黄砂土) 台305 | | |
| 233 | 乳頭部の外底-平ら (立ち上がり角) 内底-斜め | 5.0 30.0 | 0.4 0.4 | 練 砂 中 量 | △ | ○ | | | △ | | | 砂 質 | 外-赤褐色 内-暗褐色 | 両面-ナデ | HB②-K11 V(貝層②) 台3146 | | |
| 234 | 第 III 章 3 | 乳頭部が不明瞭-外底-平ら 立ち上がり角 内底-斜め | 5.4 63.7 | 0.7 1.1 | 練 砂 少 量 | △ | △ | | △ | | △ | 砂 泥 質 | 外-黄茶褐色 内-灰茶褐色 | 両面-ナデ | HB②-J11 V(貝層①) 取1097 HB②-I10 台3142 | | |
| 235 | | 乳頭部が不明瞭-外底-平ら 立ち上がり角 内底-斜め | 5.0 64.2 | 0.6 1.1 | 練 砂 多 量 | ○ | ◎ | | | △ | | 砂 質 | 両面-黄茶褐色 | 外-ナデ 内-ナデ | HB②-V(山土層) 台3186 | | |
| 236 | 乳頭部が不明瞭-外底-平ら 立ち上がり角 内底-斜め | 6 52.7 | 0.9 1.5 | 練 砂 多 量 | ○ | △ | | | ○ | | | 砂 質 | 両面-暗茶褐色 | 外-ナデ 内-ナデ | HB①-K13 V(混貝層) 取163 | | |
| 237 | 乳頭部が不明瞭-外底-やや 丸み立ち上がり角が丸 大底-やや高い | 5.6 30.9 | - 1.8 | 練 砂 多 量 | ◎ | △ | | △ | △ | | | 砂 質 | 外-赤褐色 内-灰茶褐色 | 外-ナデ 内-ナデ | HB①-I4H(V) 台43 | | |
| 238 | 底 部 の 破 損 - 形 状 か ら 判 断 | 底面は破損-形状から判 断 | 0.7 111.2 | - 多 量 | 練 砂 多 量 | ○ | ○ | | | △ | | 砂 質 | 両面-茶褐色 | 両面-ナデ | HB②-L10 V(貝層①) 台3309 | | |
| 239 | | 底面は破損-形状から判 断 | 0.7 40.3 | - 少 量 | 練 砂 少 量 | △ | △ | | △ | △ | | 砂 質 | 両面-茶褐色 | 両面-ナデ | HB②-L10 V(貝層①) 台3309 HB②-L10 V(黄砂土) 台3312 (接合) | | |
| 240 | | 底面は破損-形状から判 断 | 0.5 43.5 | - 多 量 | 練 砂 多 量 | ○ | ○ | | | △ | | | 砂 質 | 外-暗褐色 内-暗褐色 | 両面-ナデ | HB②-K11 V(暗砂②) 台3135 | |

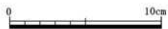
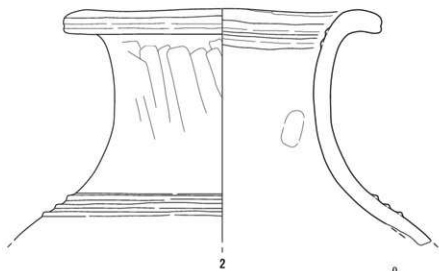
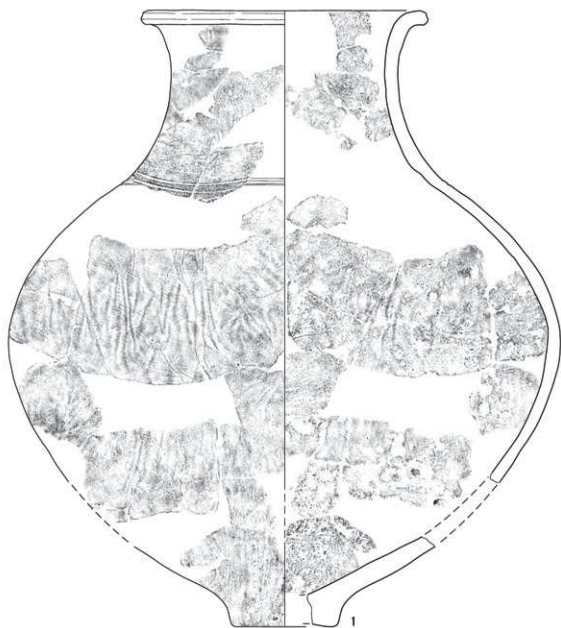
凡例 (◎)非常に多い, (○)多い, (△)少な, (少)少量

第11表-3 土器観察一覧(底部)

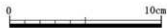
(数量単位: cm, g)

| 期 | 回 | 分類 | 形態 | 底径 | 器厚 | 粘土含量 | 石灰 | 角閃石・石・ | 赤色粒 | 白色粒 | その他 | 胎土 | 器色(外面・内面) | 器面調整(外面・内面) | 地区・デパート・層位遺構・台帳(取上)番号 | | |
|----------------------|------|-----|------------|-------|-----|------|----|--------|-----|-----|-----|---------------------|------------------------|---------------------|-----------------------|----------------|----------------------------|
| 第54回 ・ 回 26 | 241 | 平 | 底径小 | 6.4 | 0.8 | 細粒 | | | | | 黒粒 | 砂質 | 両面・茶褐色 | 両面・ナデ | HB① L13 V(黄砂質土) | | |
| | | | 立ち上りの一角を作る | 18.1 | 1.0 | 少量 | | | | | | | | | 台309 | | |
| | | | 底径小 | 6.4 | 0.6 | 細粒 | | △ | △ | △ | | | | 泥質 | 外・灰茶褐色 内・橙褐色 | 両面・ナデ | HB① O-P10-11 3506K 台340 |
| | | | 底径中 | 6.4 | 0.8 | 細粒 | | | | | | | | 砂質 | 両面・茶褐色 | 外・ナデ丁草 内・ナデ | HB① J15 V(褐色粘砂質土) |
| | | | 立ち上りの一角を作る | 76.4 | 1.2 | 多量 | | ◎ | | | | | | 砂質 | 両面・茶褐色 | 両面・ナデ | HB① L11 V(黄貝類) |
| | | | 底径大 | 7.6 | 0.7 | 細粒 | | | △ | △ | | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・灰褐色 | 両面・ナデ | 取176 |
| | | | 立ち上りの一角を作る | 80.4 | 1.2 | 多量 | | ◎ | | | | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・灰褐色 | 両面・ナデ | 取176 |
| | | | 底径大 | — | — | — | | | | | | | 黒粒 | 砂質 | 両面・茶褐色 | 外・ナデ | HB① J-K17-18 V(褐色シルト) |
| | | | 底厚・薄い | — | — | — | | | | | | | △ | 砂質 | 両面・茶褐色 | 内・ナデ(細) | 台549 |
| | | | 立ち上りの下明 | 22.6 | 0.7 | 中粒 | | △ | ○ | ○ | | | △ | 砂質 | 両面・茶褐色 | 両面・ナデ(細) | 取1220 |
| | | | 底径大 | 8.7 | 0.8 | 細粒 | | | ○ | △ | | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・明褐色 | 両面・ナデ | HB② I13 V(黄砂質) |
| | | | 立ち上りの一角を作る | 48.4 | 2.0 | 少量 | | | ○ | △ | | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・明褐色 | 両面・ナデ | 取1220 |
| | | | 底厚が厚い | — | — | — | | | | | | | | 砂質 | 両面・茶褐色 | 両面・ナデ(細) | HB① L18 V(黄貝類) |
| | | | 底径大・底厚・厚い | — | — | — | | | | | | | | 砂質 | 両面・茶褐色 | 両面・ナデ(細) | 取150 |
| | | | 立ち上りの下明 | 142.2 | 1.8 | 多量 | | | ○ | ○ | | | | 砂質 | 両面・茶褐色 | 両面・ナデ(細) | 取150 |
| | | | 底厚・より厚い | 4.8 | 4.8 | 細粒 | | | | ◎ | | | | 砂質 | 両面・茶褐色 | 外・ナデ丁草 内・ナデ | HB① O20 IV(黄粘質土) |
| | | | 立ち上りの直 | 57.0 | 1.9 | 多量 | | | | | | | | 砂質 | 両面・茶褐色 | 両面・ナデ | 取18 |
| | | | 底厚・より厚い | 5.6 | — | 細粒 | | | | ◎ | | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・灰褐色 | 外・ナデ丁草 内・ナデ | HB② I 1(表土) |
| | | | 立ち上りの直 | 54.2 | 2.0 | 多量 | | | | | | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・灰褐色 | 外・ナデ丁草 内・ナデ | 台3082 |
| | | | 底厚・薄い | 5.2 | 0.7 | 中粒 | | | | | | | 黒粒 | 砂質 | 両面・茶褐色 | 両面・ナデ(ヘラ) | HB② I K12 V(貝類層) |
| | | | くびれが弱い | 102.5 | 1.4 | 少量 | | | | | | | | 砂質 | 両面・茶褐色 | 両面・ナデ(ヘラ) | 取1182 |
| | | | 底厚・薄い | 5 | 0.6 | 細粒 | | | | △ | △ | | | 砂質 | 両面・赤褐色 | 両面・ヘラナデ | HB② II (2層) |
| | | | くびれが弱い | 61.5 | 1.3 | 少量 | | | | | | | | 砂質 | 両面・赤褐色 | 両面・ヘラナデ | 台488 |
| | | | 底厚・薄い | 5 | 0.7 | 細粒 | | | | △ | △ | | | 砂質 | 両面・赤褐色 | 外・ナデ | HB① J L14 16 |
| くびれが弱い | 17.9 | 1.4 | 少量 | | | | | | | | 砂質 | 両面・赤褐色 | 内・ヘラナデ | V(暗褐色シルト) 台228 | | | |
| 底厚・薄い | 4.8 | 0.5 | 中粒 | | | | ○ | | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・灰茶褐色 | 両面・ナデ | HB② II (2層) | | | |
| 立ち上りの丸み | 48.4 | 1.6 | 中量 | | | | | | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・灰茶褐色 | 両面・ナデ | 台488 | | | |
| 底厚・薄い | 5.4 | 0.7 | 中粒 | | | | ◎ | | | | 砂質 | 外・赤褐色 内・赤褐色 | 外・ナデ丁草 内・ナデ | HB① P9 IV(青灰粘質土) | | | |
| 立ち上りの丸み | 36.7 | 1.5 | 多量 | | | | | | | | 砂質 | 外・赤褐色 内・赤褐色 | 外・ナデ丁草 内・ナデ | 台462 | | | |
| 底厚・薄い | 5.5 | 0.8 | 細粒 | | | | | | | 灰色粒 | 砂質 | 外・茶褐色 内・灰褐色 | 両面・ナデ | HB②③ S12 IV(黒色粘質土) | | | |
| 立ち上りの丸み | 84.8 | 1.9 | 少量 | | | | | | | | 砂質 | 外・茶褐色 内・灰褐色 | 外・粘土粘付 | 取2035 | | | |
| 底厚・薄い | 6 | 0.8 | 細粒 | | | | ○ | | | | 泥質 | 両面・灰褐色 | 外・ナデ | HB④⑤ R15 V(Ⅷ-Ⅰ) | | | |
| 立ち上りの丸み | 84.9 | 1.4 | 中量 | | | | | | | | 泥質 | 両面・灰褐色 | 内・ナデ(細) | 台103 | | | |
| 底厚・薄い | 4.4 | 0.5 | 細粒 | | | | △ | △ | | | 砂質 | 両面・茶褐色 | 両面・ナデ | HB④⑤ R14 V(Ⅷ-Ⅰ) | | | |
| 外底・上げ底 | 11.4 | 0.3 | 少量 | | | | | | | | 砂質 | 両面・茶褐色 | 両面・ナデ | 台102 | | | |
| 底厚・薄い | 4.4 | 0.4 | 細粒 | | | | △ | △ | | | 砂質 | 両面・赤褐色 | 外・ナデ | HB① J-K18-19 V(落着層) | | | |
| 外底・上げ底 | 21.3 | 0.9 | 少量 | | | | | | | | 砂質 | 両面・赤褐色 | 内・ヘラナデ | 台245 | | | |
| 底厚・薄い | 4.6 | 0.5 | 中粒 | | | | ○ | ○ | | | 砂質 | 両面・茶褐色 | 外・ナデ丁草 内・ナデ | HB④⑤ M4 IV(Ⅷ) | | | |
| 外底・平ら | 20.0 | 0.9 | 多量 | | | | | | | | 砂質 | 両面・茶褐色 | 外・ナデ丁草 内・ナデ | 台45 | | | |
| 底厚・薄い | 4.6 | 0.4 | 中粒 | | | | | | | | 砂質 | 外・茶褐色 内・赤褐色 | 外・ヘラナデ | HB② I II (100SS2) | | | |
| 外底・上げ底 | 61.4 | 0.8 | 少量 | | | | △ | △ | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・灰褐色 | 内・ヘラナデ | 台3081 | | | |
| 底厚・薄い | 4.8 | 0.5 | 中粒 | | | | △ | △ | | | 泥質 | 外・灰茶褐色 内・灰褐色 | 両面・ナデ | HB① L19 V(褐色粘砂質土) | | | |
| 外底・平ら | 12.4 | 0.8 | 少量 | | | | | | | | 泥質 | 外・灰茶褐色 内・灰褐色 | 両面・ナデ | 台520 | | | |
| 底厚・薄い | 4.8 | 0.4 | 細粒 | | | | ○ | ○ | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・橙褐色 | 両面・ナデ | HB① K12 14 J13-1414 | | | |
| 外底・上げ底 | 13.4 | 0.6 | 中量 | | | | | | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・橙褐色 | 両面・ナデ | V(褐色シルト) 台572 | | | |
| 底厚・薄い | 5.6 | 0.4 | 細粒 | | | | | | | 黒粒 | 泥質 | 外・橙茶褐色 内・灰茶褐色 | 両面・ナデ | HB① K19 V(褐色シルト) | | | |
| 外底・上げ底 | 19.3 | 0.5 | 多量 | | | | | | | △ | 泥質 | 外・橙茶褐色 内・灰茶褐色 | 両面・ナデ | 取86 | | | |
| 底厚・薄い | 5.7 | 0.4 | 細粒 | | | | ○ | ○ | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・赤褐色 | 外・ナデ | HB② I 1(表土) | | | |
| 外底・上げ底 | 55.5 | 0.9 | 少量 | | | | | | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・赤褐色 | 内・ヘラナデ | 台3082 | | | |
| 底厚・やや厚い | 4.8 | 0.5 | 細粒 | | | | ○ | ○ | | | 砂質 | 外・茶褐色 内・灰茶褐色 | 外・ナデ丁草 内・ナデ | HB① J14 V(黄貝類) | | | |
| 内底・盛り上がる | 50.6 | 1.1 | 多量 | | | | | | | | 砂質 | 外・茶褐色 内・灰茶褐色 | 外・ナデ丁草 内・ナデ | 取107 | | | |
| 底厚・やや厚い | 5.6 | 0.7 | 中粒 | | | | | | | 黒粒 | 砂質 | 両面・茶褐色 | 両面・ナデ | HB②③ 200SS2 | | | |
| 外底・上げ底 | 30.4 | 1.0 | 中量 | | | | | | | △ | 砂質 | 両面・茶褐色 | 外・粘土粘付 | 台3367 | | | |
| 底厚・やや厚い | 6.4 | 0.6 | 細粒 | | | | | | | ◎ | 泥質 | 外・灰褐色 内・灰褐色 | 両面・ナデ | HB④⑤ Q10-11.12 V(Ⅷ) | | | |
| 外底・上げ底 | 53.2 | 1.0 | 多量 | | | | | | | | 泥質 | 外・灰褐色 内・灰褐色 | 両面・ナデ | 台92 | | | |
| 底厚・やや厚い | 6.1 | — | 細粒 | | | | | | | | 砂質 | 外・茶褐色 内・灰茶褐色 | 外・ナデ丁草 内・ナデ | HB① I15 V(暗褐色シルト) | | | |
| 外底・上げ底 | 95.6 | 1.2 | 少量 | | | | | | | | 砂質 | 外・茶褐色 内・灰茶褐色 | 外・ナデ丁草 内・ナデ | 取34 | | | |
| 底厚・やや厚い | 6.6 | 0.5 | 細粒 | | | | ○ | △ | | | 泥質 | 両面・灰褐色 | 両面・ナデ | HB① K13 V(褐色シルト) | | | |
| 外底・上げ底 | 38.5 | 1.0 | 中量 | | | | | | | | 砂質 | 外・茶褐色 内・橙褐色 | 両面・ナデ | 取123 | | | |
| 底厚・やや厚い | 5.7 | 0.6 | 細粒 | | | | △ | △ | | | 砂質 | 外・茶褐色 内・橙褐色 | 両面・ナデ | HB②③ Q13 IV(黒色粘質土) | | | |
| 外底・平ら | 56.1 | 1.0 | 少量 | | | | | | | | 砂質 | 外・茶褐色 内・橙褐色 | 両面・ナデ | 取2024 | | | |
| 底厚・やや厚い | 6.2 | 0.7 | 細粒 | | | | ○ | ◎ | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・灰褐色 | 両面・ナデ | HB②③ Q12 IV(黒色粘質土) | | | |
| 外底・上げ底 | 70.7 | 1.0 | 多量 | | | | | | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・灰褐色 | 両面・ナデ | 取2031 | | | |
| 底厚・やや厚い | 6.5 | 0.6 | 細粒 | | | | ○ | ○ | | | 砂質 | 外・橙茶褐色 内・橙茶褐色 | 外・ナデ 内・ナデ | HB② I 1(表土) | | | |
| 外底・平ら | 42.1 | 1.3 | 中量 | | | | | | | | 砂質 | 外・橙茶褐色 内・橙茶褐色 | 外・ナデ 内・ナデ | 台3082 | | | |
| 底厚・やや厚い | 5.8 | 0.6 | 中粒 | | | | ○ | △ | | | 砂質 | 外・赤褐色 内・黄褐色 | 外・ナデ丁草 内・ナデ | HB① J14 V(黄貝類) | | | |
| 外底・平ら | 74.8 | 1.5 | 多量 | | | | | | | | 砂質 | 外・赤褐色 内・黄褐色 | 外・ナデ丁草 内・ナデ | 取106 | | | |
| 底厚・やや厚い | 6.1 | 0.5 | 細粒 | | | | △ | △ | | | 砂質 | 外・赤褐色 内・赤褐色 | 外・ナデ(細) | HB① J16 V(暗褐色シルト) | | | |
| 外底・平ら | 66.2 | 1.1 | 少量 | | | | | | | | 砂質 | 外・赤褐色 内・赤褐色 | 外・ナデ(細) | 取28 | | | |
| 底厚・不明 | 7 | — | 中粒 | | | | ○ | | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・オレンジで下明 | 外・ナデ2.0丁草 内・オレンジで下明 | HB② I L9 V(赤砂質) | | | |
| 外底・上げ底 | 44.5 | — | 少量 | | | | | | | | 砂質 | 外・灰茶褐色 内・オレンジで下明 | 外・ナデ2.0丁草 内・オレンジで下明 | 取1363 | | | |

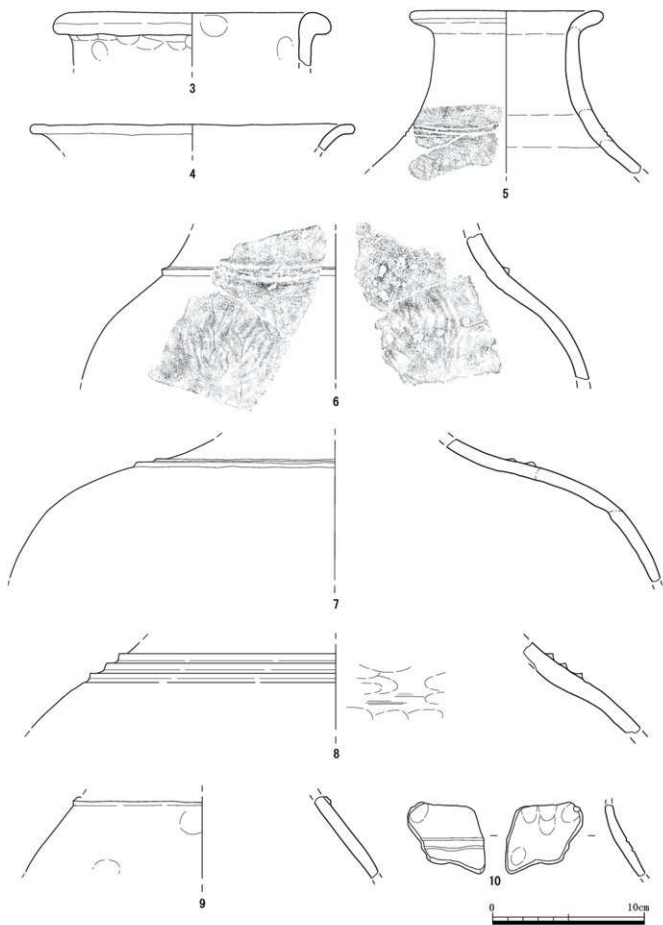
凡例 ○◎(多) ◎◎(多) △△(多) △△(多)



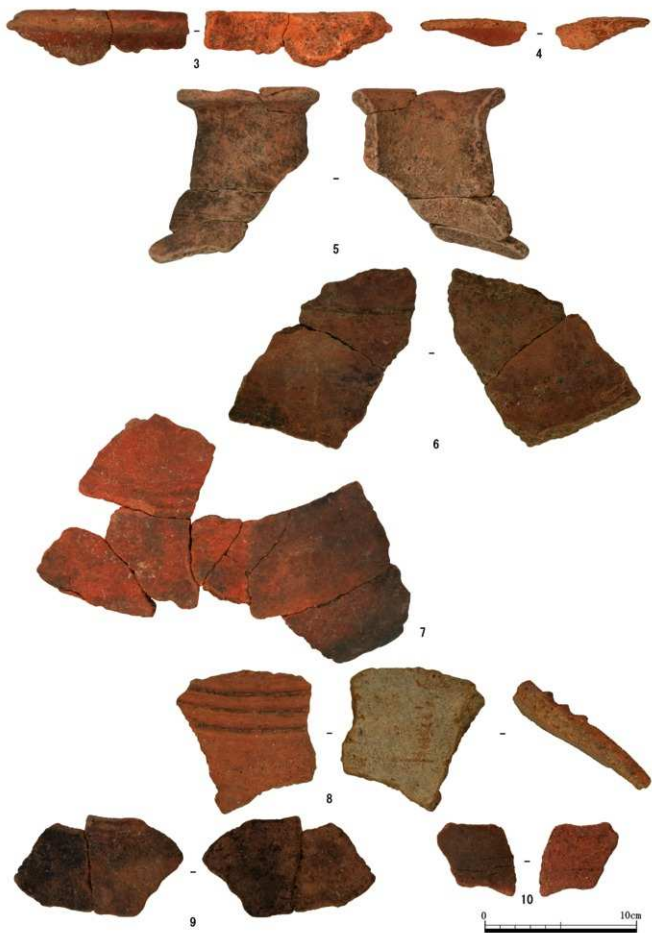
第30圖 土器1



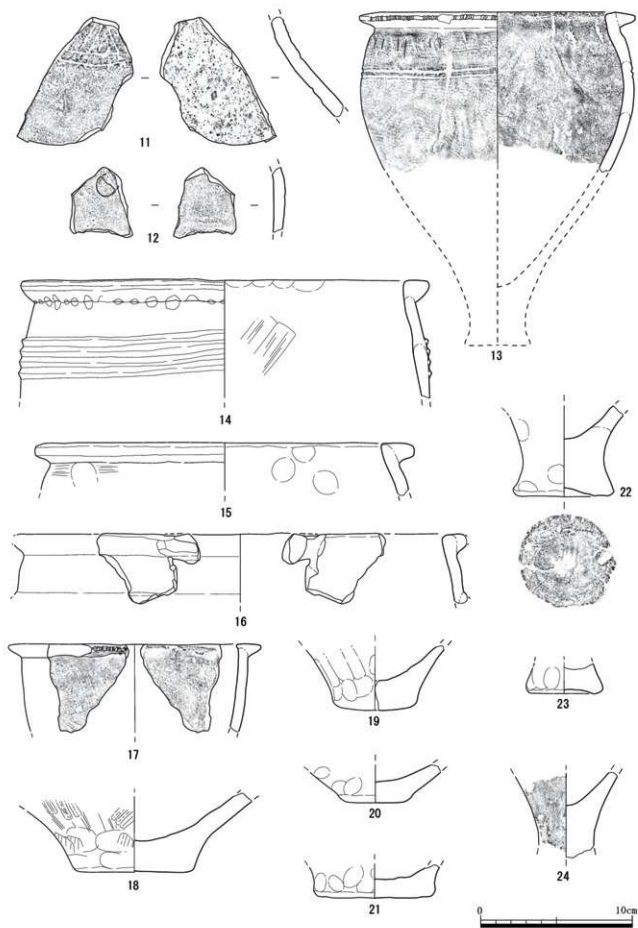
圖版 2 土器 1



第31圖 土器 2



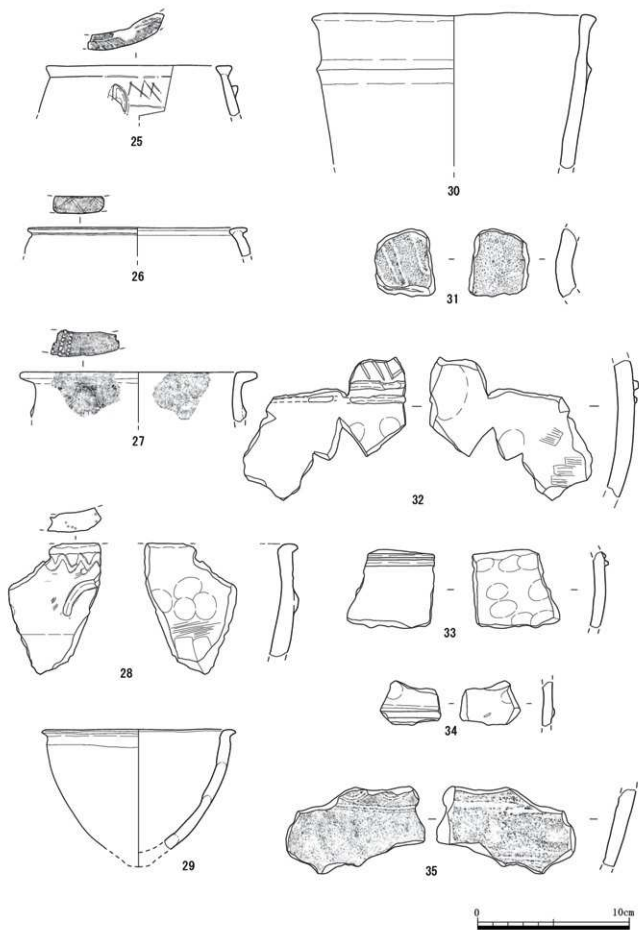
图版3 土器2



第32圖 土器3



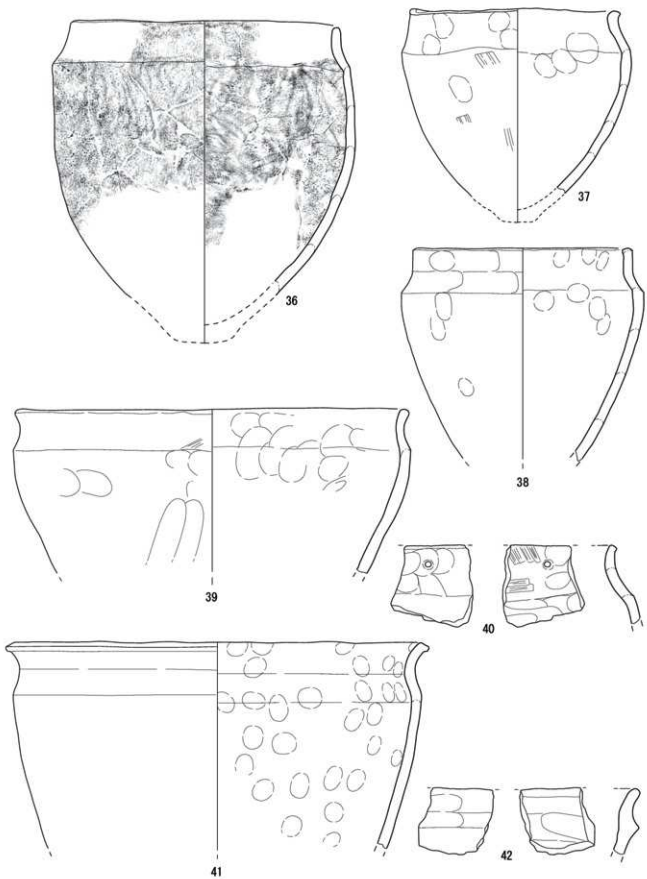
圖版4 土器3



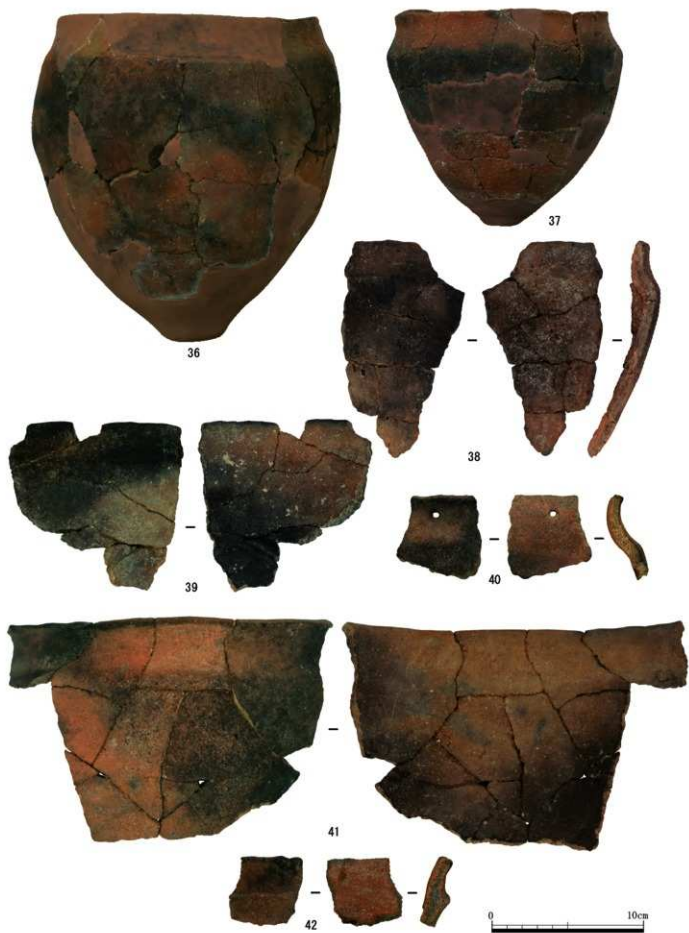
第33圖 土器4



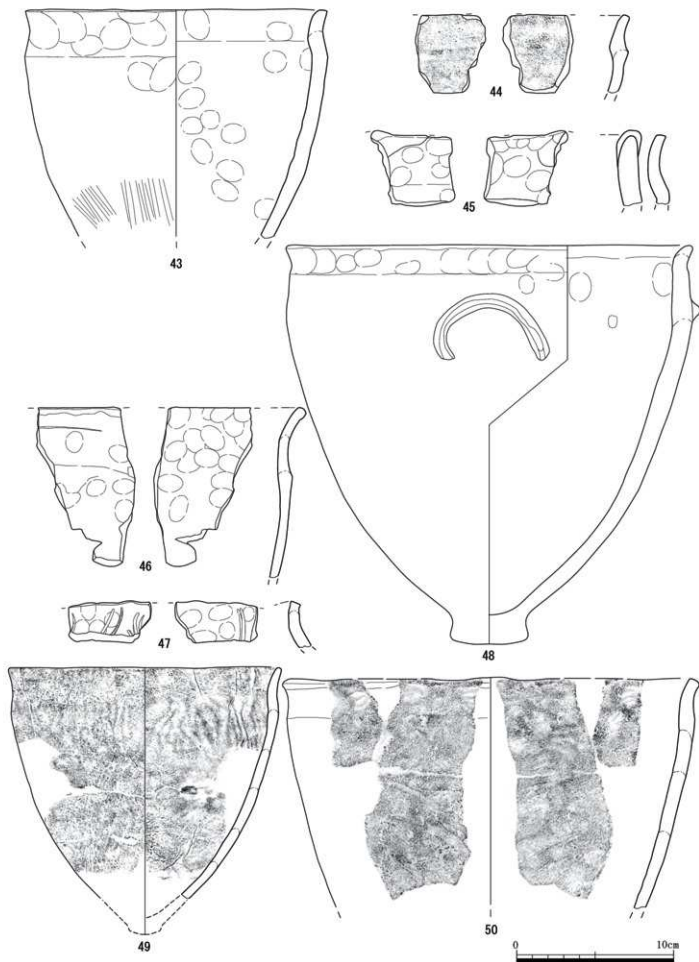
图版5 土器 4



第34图 土器5



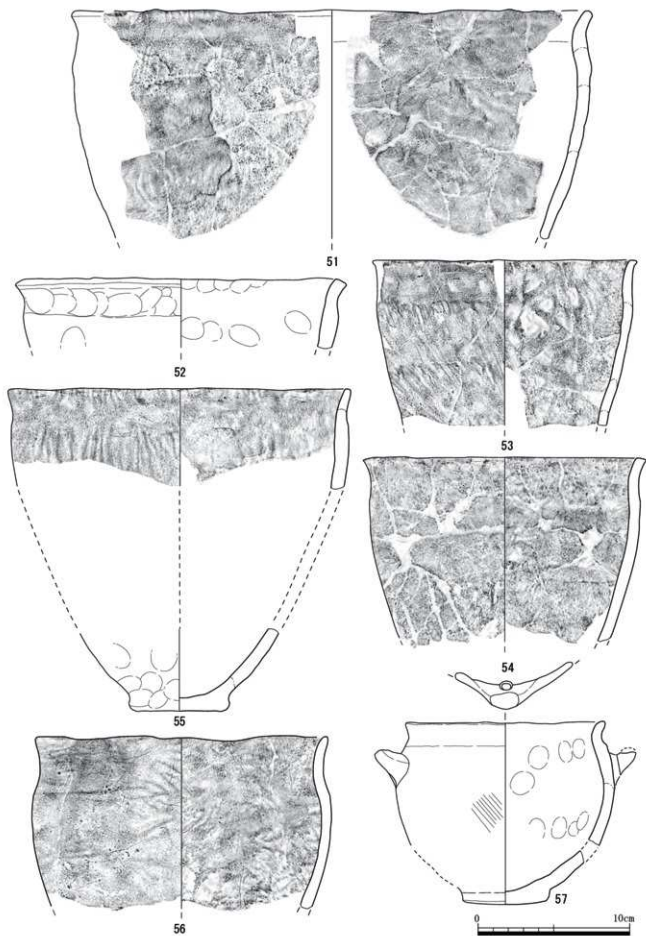
圖版 6 土器 5



第 35 图 土器 6



圖版7 土器6



第36圖 土器7



51



53



52



54



I



55



I



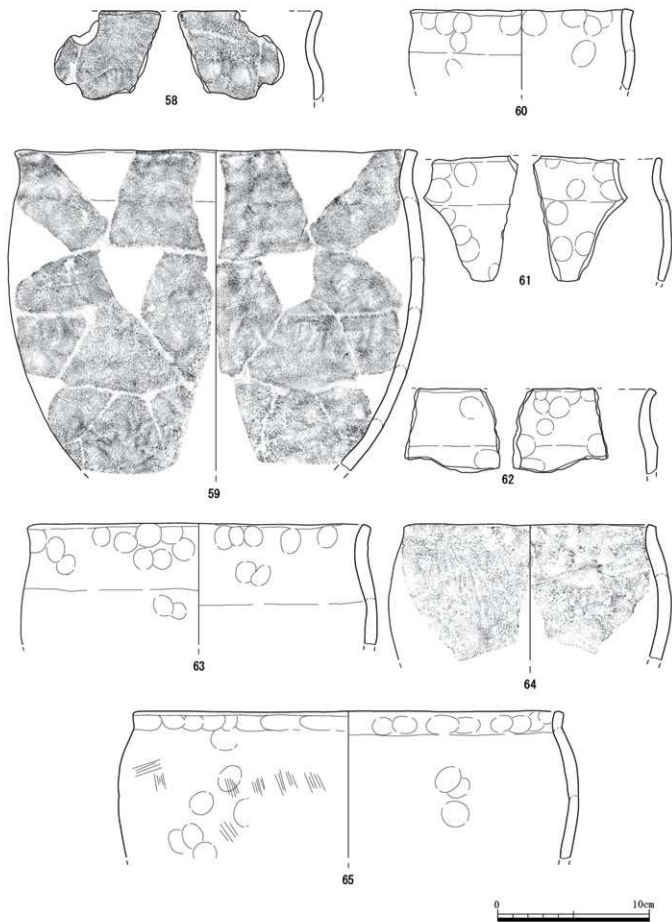
56



57



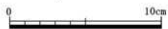
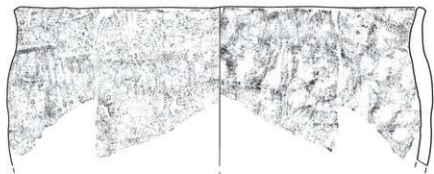
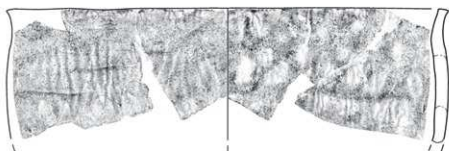
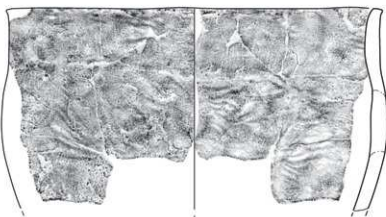
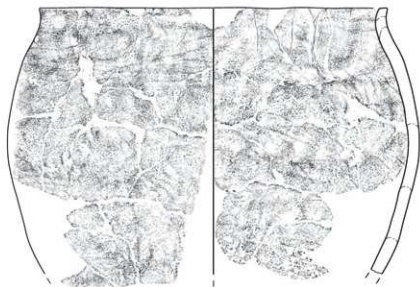
圖版8 土器7



第37圖 土器8



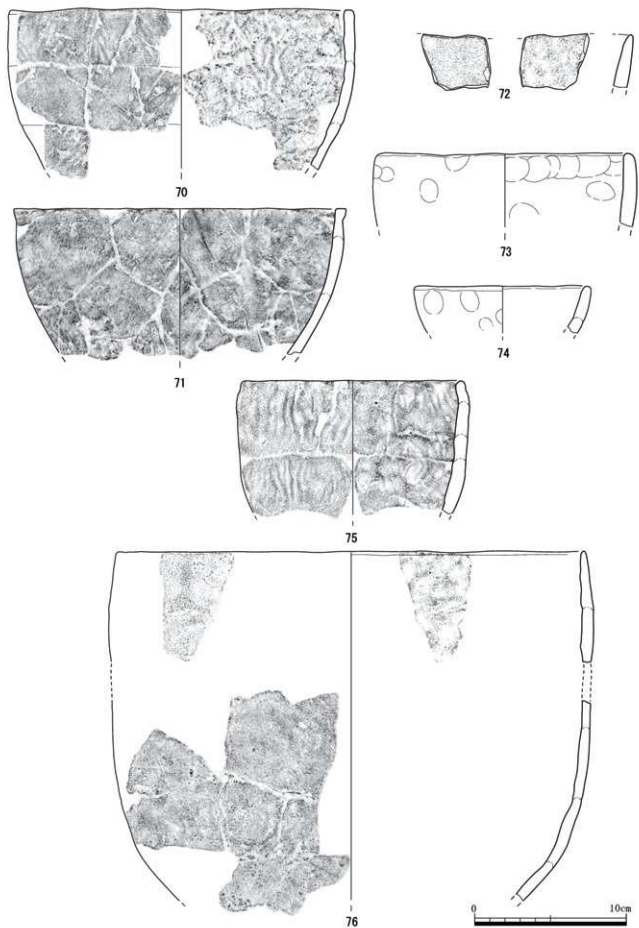
圖版9 土器8



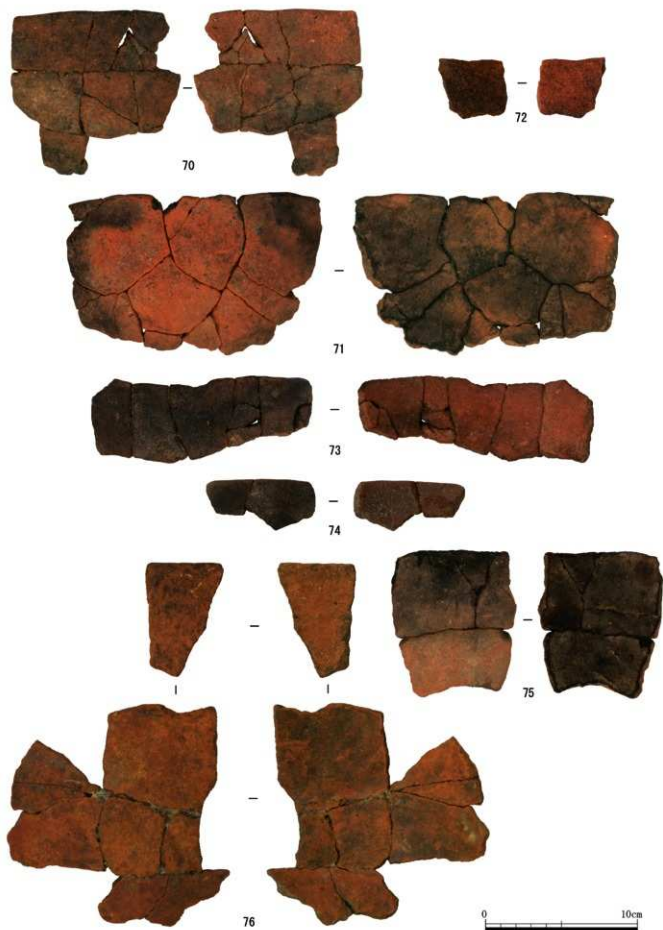
第38圖 土器9



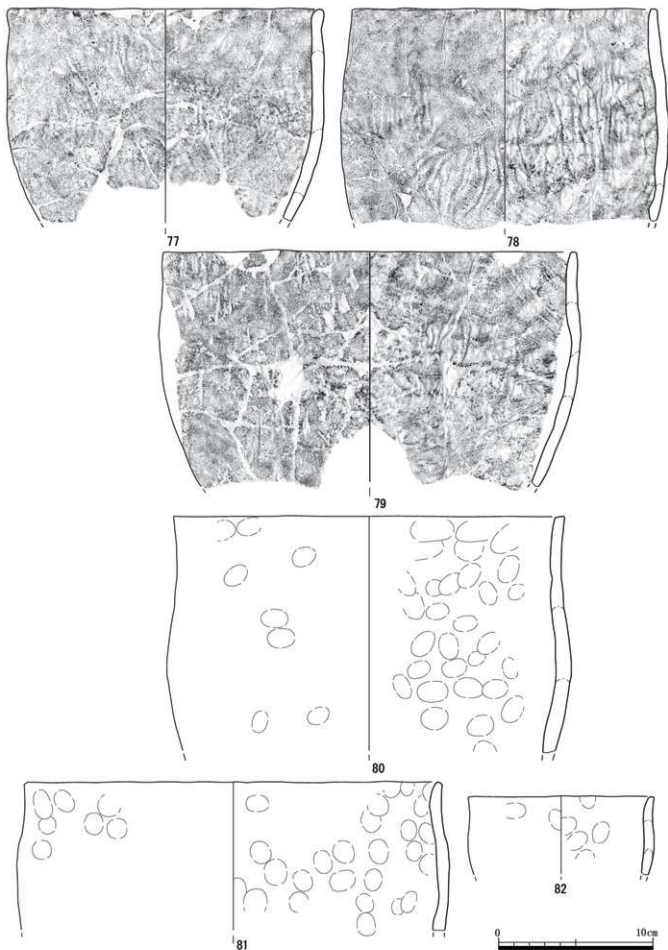
图版 10 土器 9



第39圖 土器 10



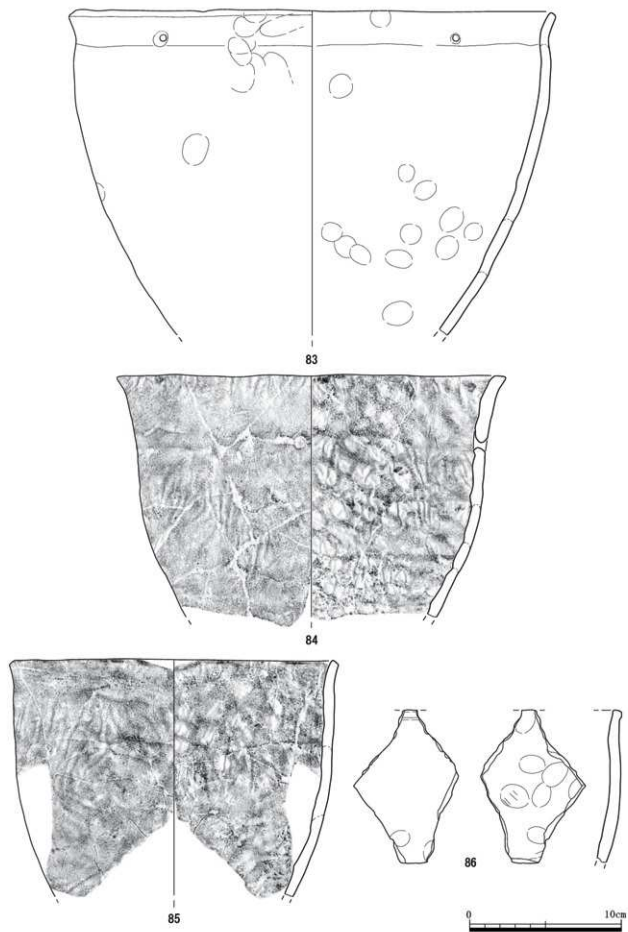
圖版 11 土器 10



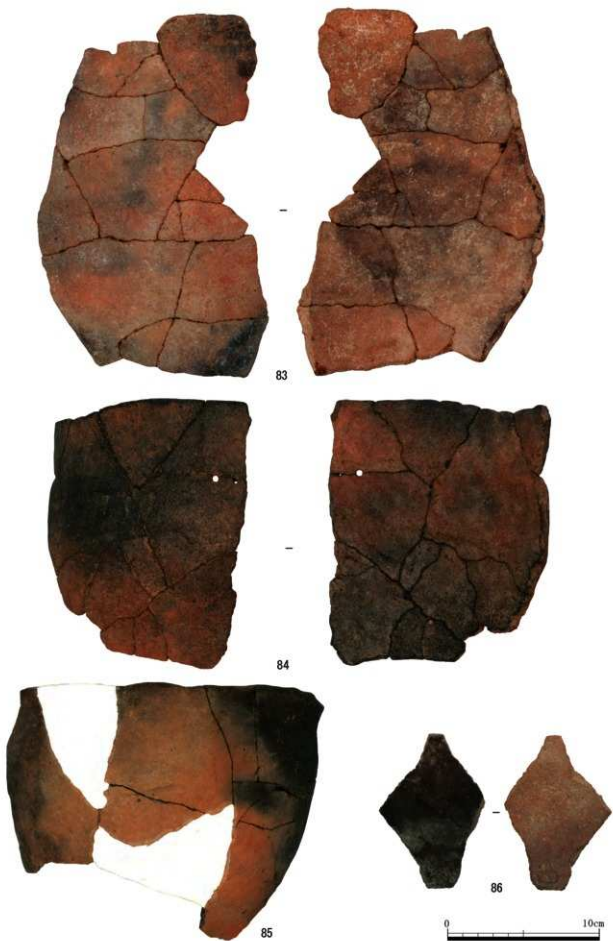
第 40 圖 土器 11



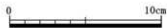
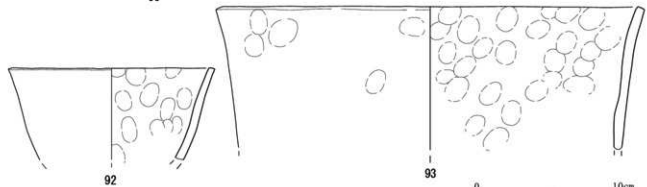
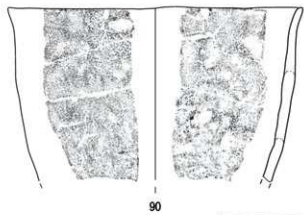
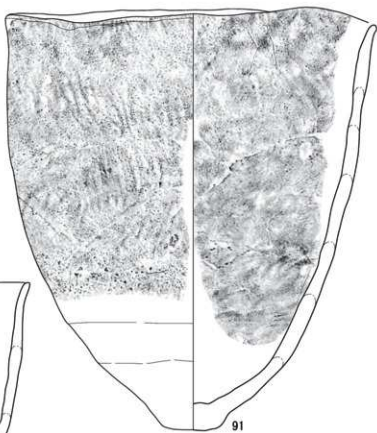
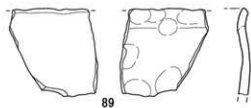
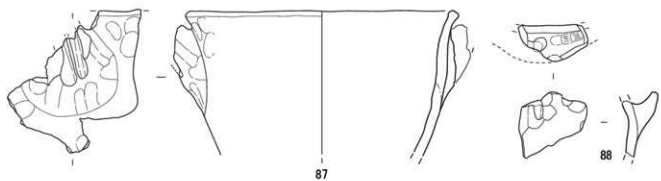
圖版 12 土器 11



第41圖 土器 12



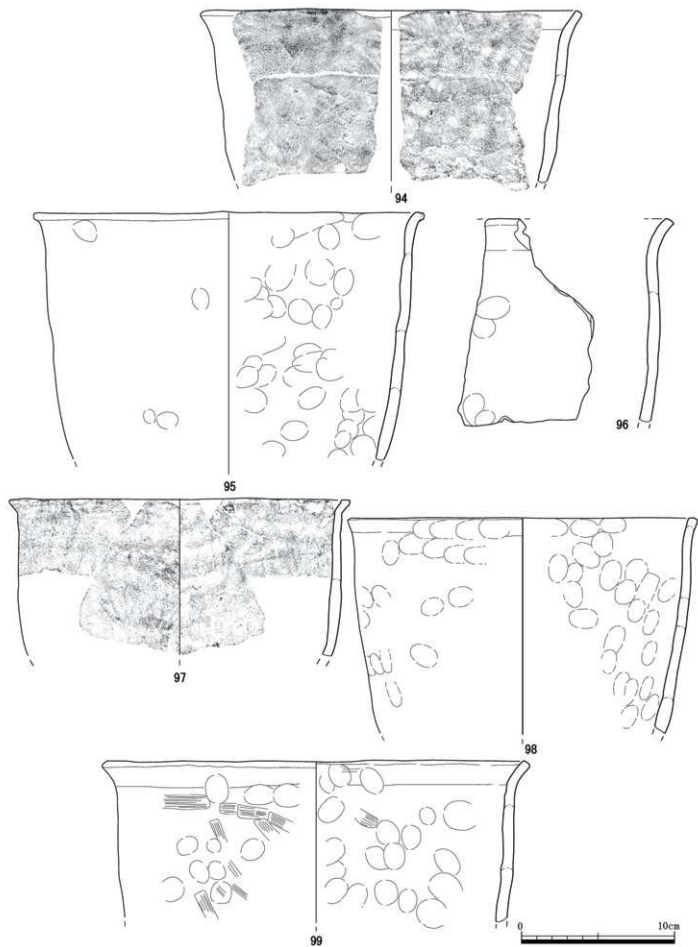
圖版 13 土器 12



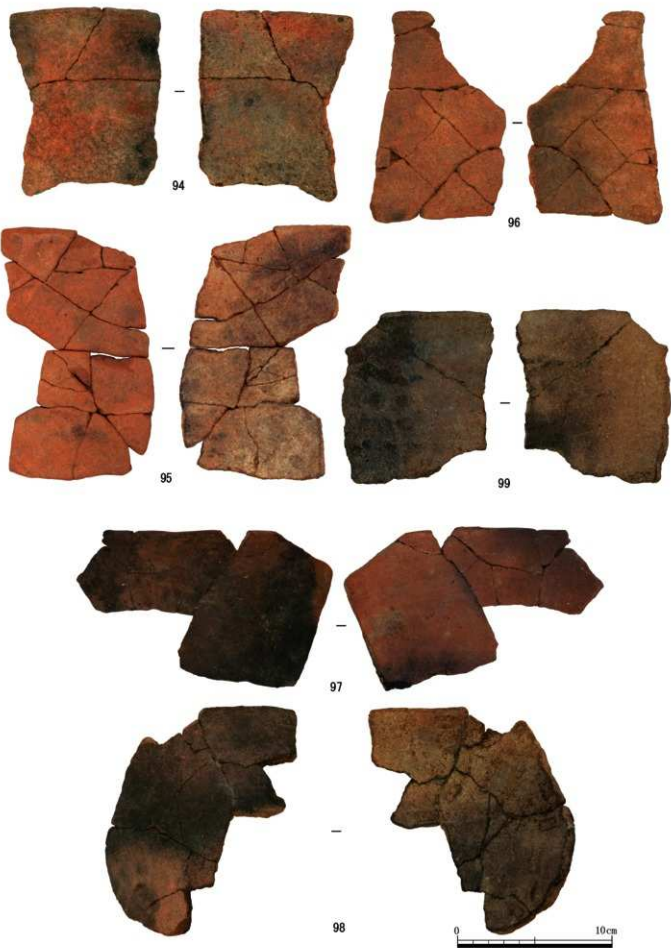
第42图 土器13



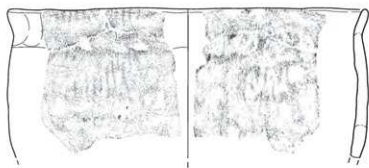
圖版 14 土器 13



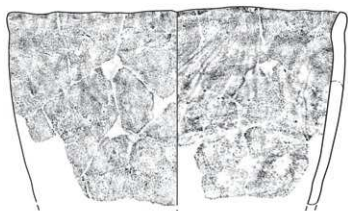
第43图 土器14



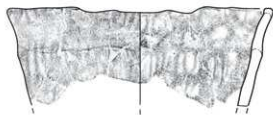
图版 15 土器 14



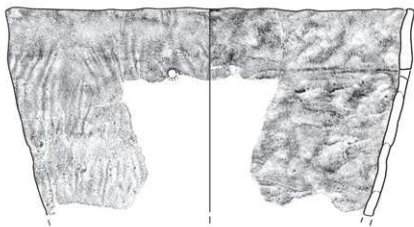
100



101



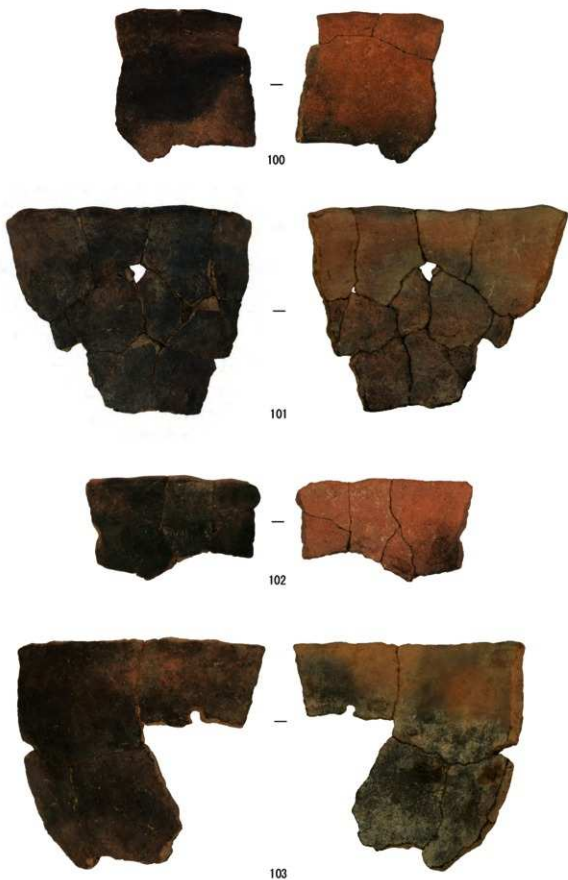
102



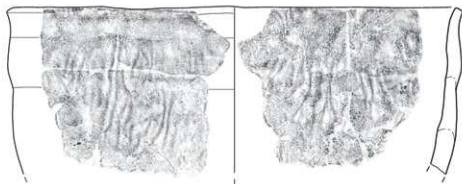
103



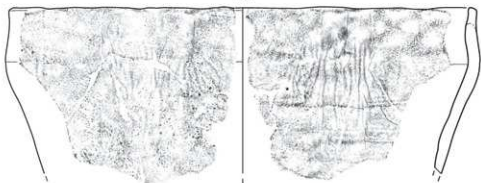
第44図 土器 15



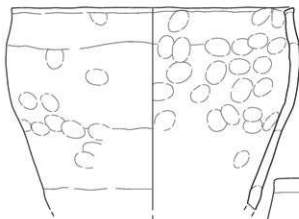
图版 16 土器 15



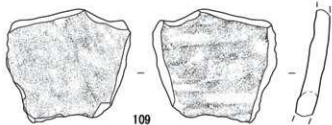
104



105



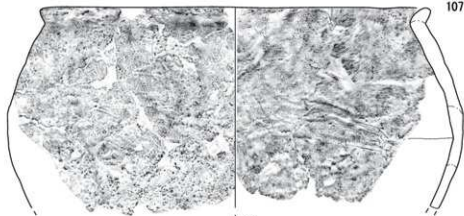
106



109



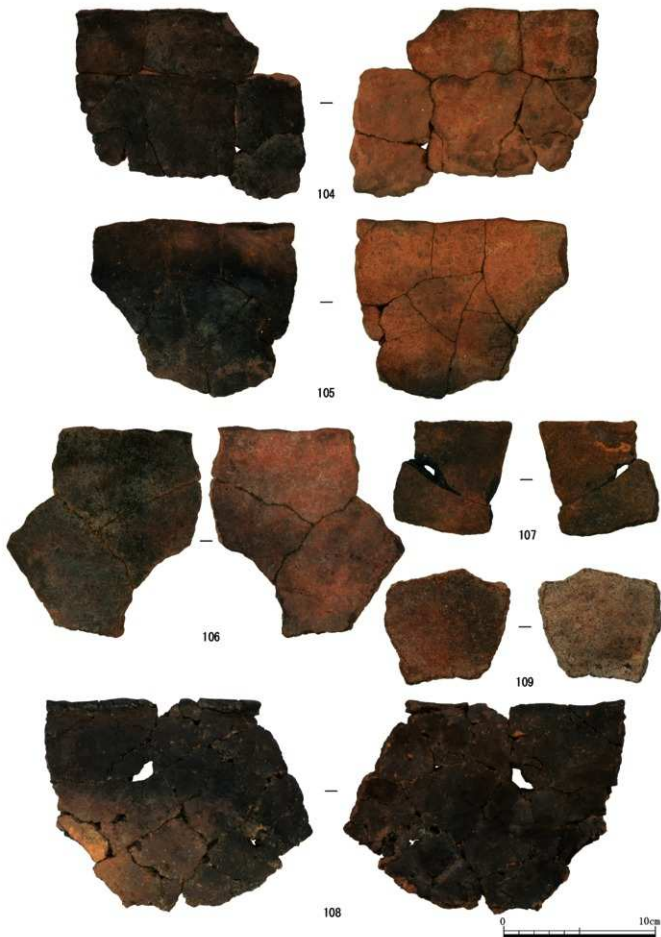
107



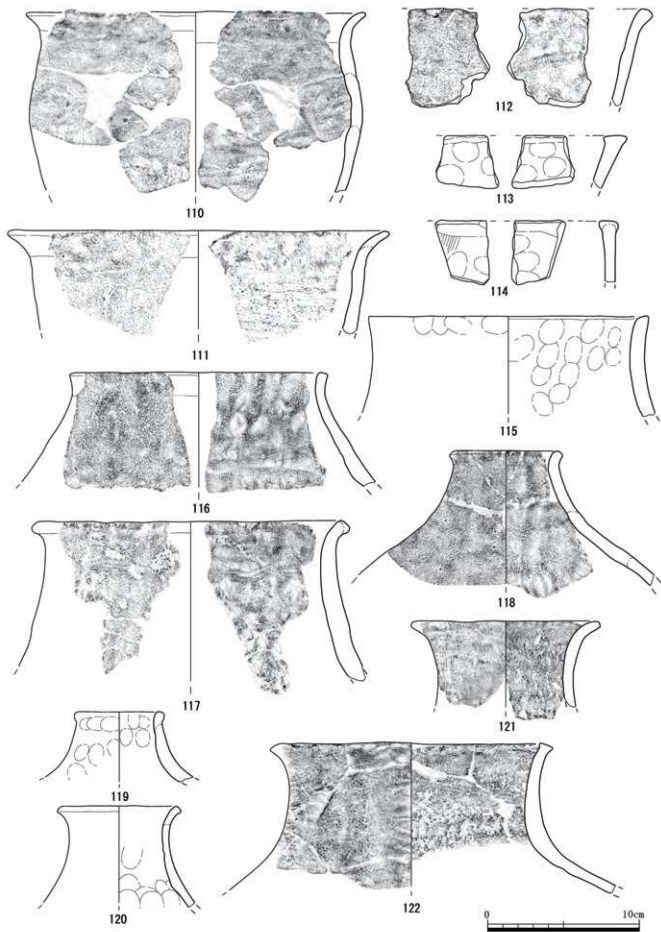
108



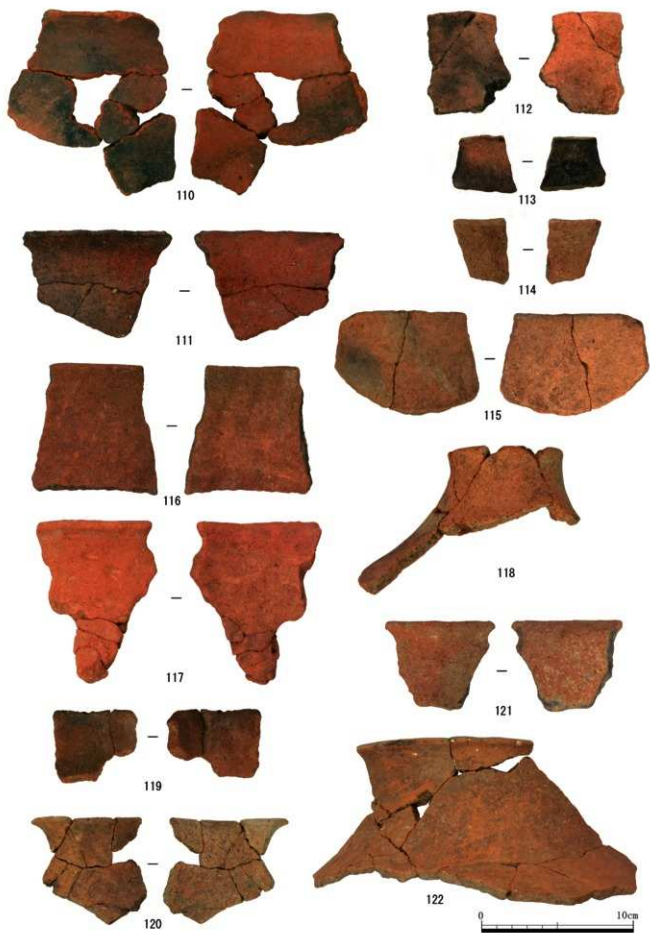
第45圖 土器 16



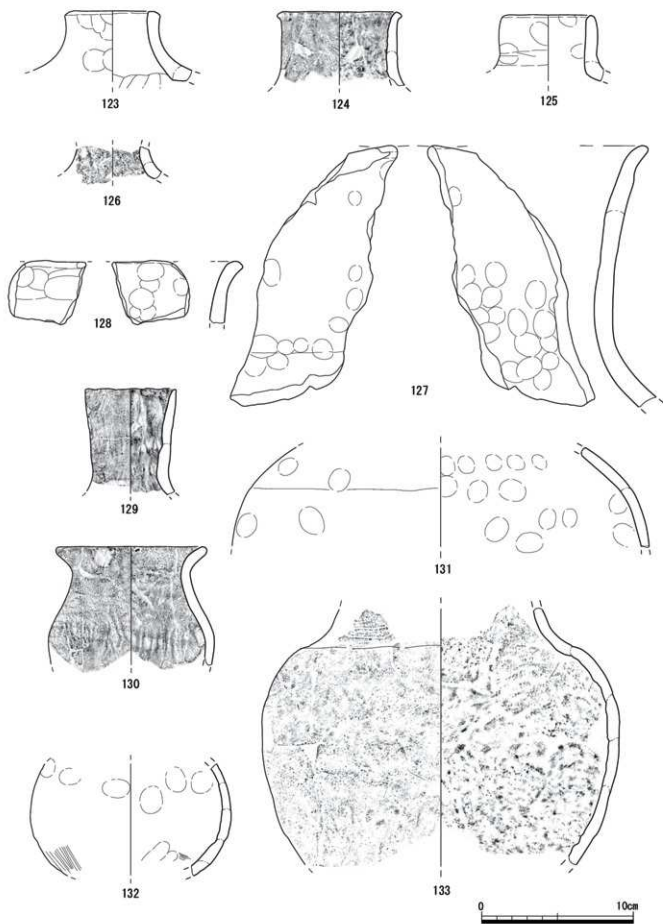
圖版 17 土器 16



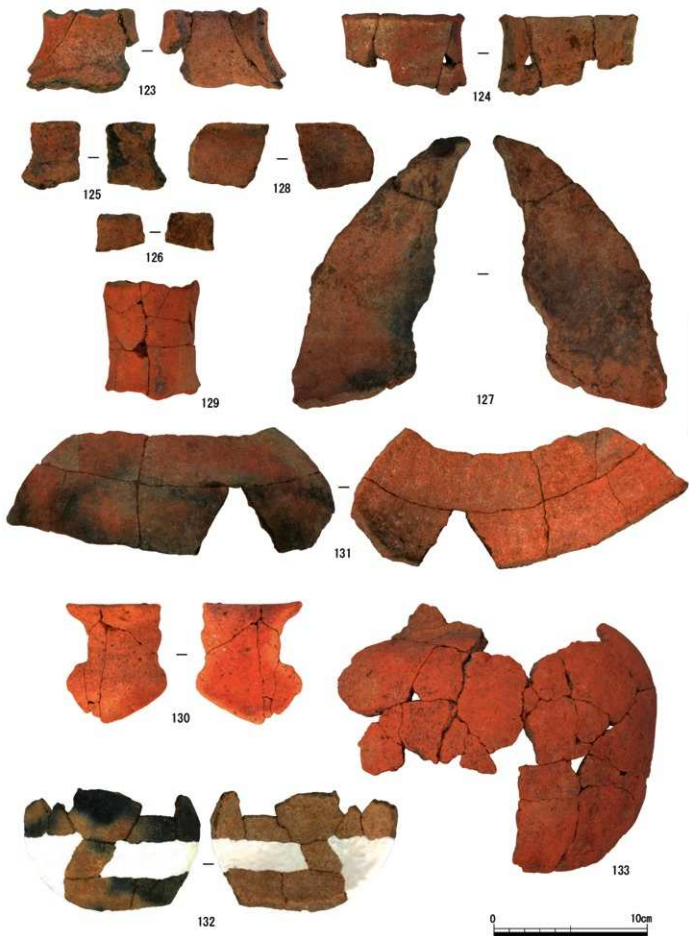
第46圖 土器 17



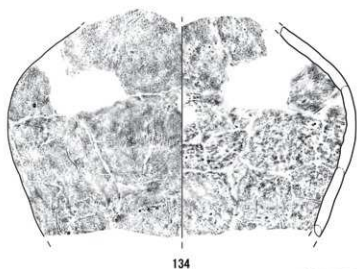
圖版 18 土器 17



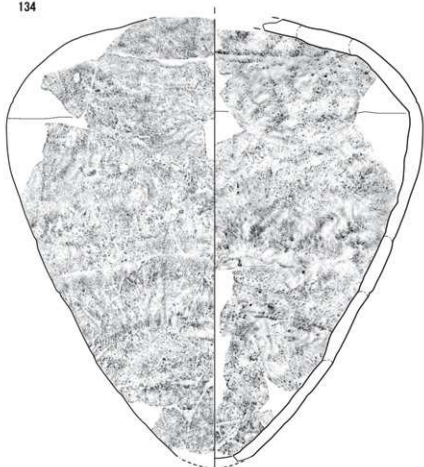
第47圖 土器 18



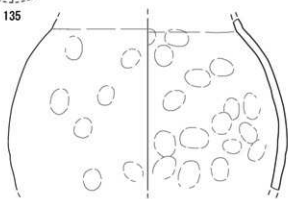
图版 19 土器 18



134



135



136



第 48 图 土器 19



134



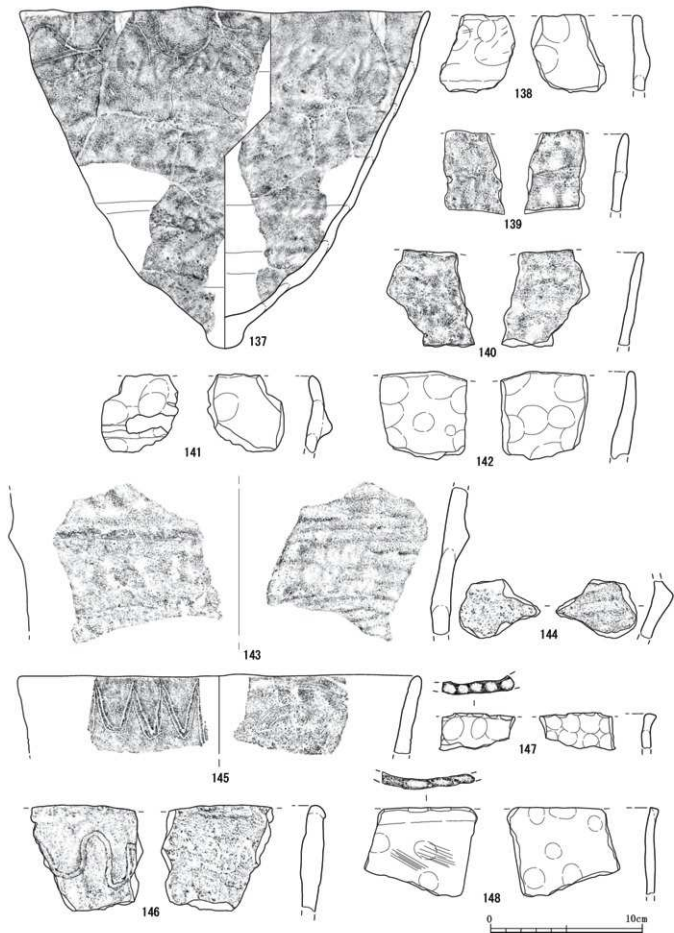
135



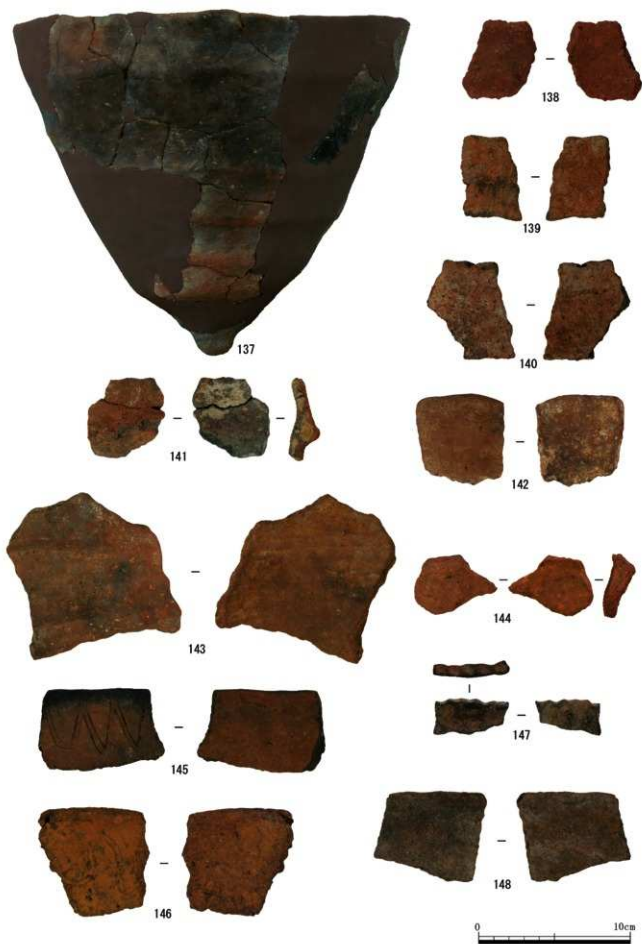
136



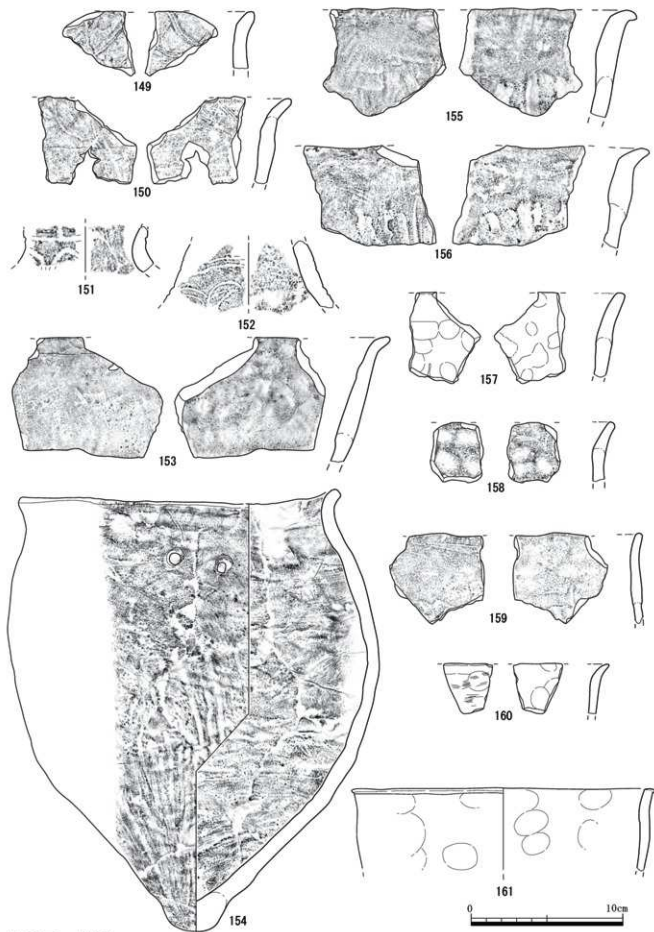
图版 20 土器 19



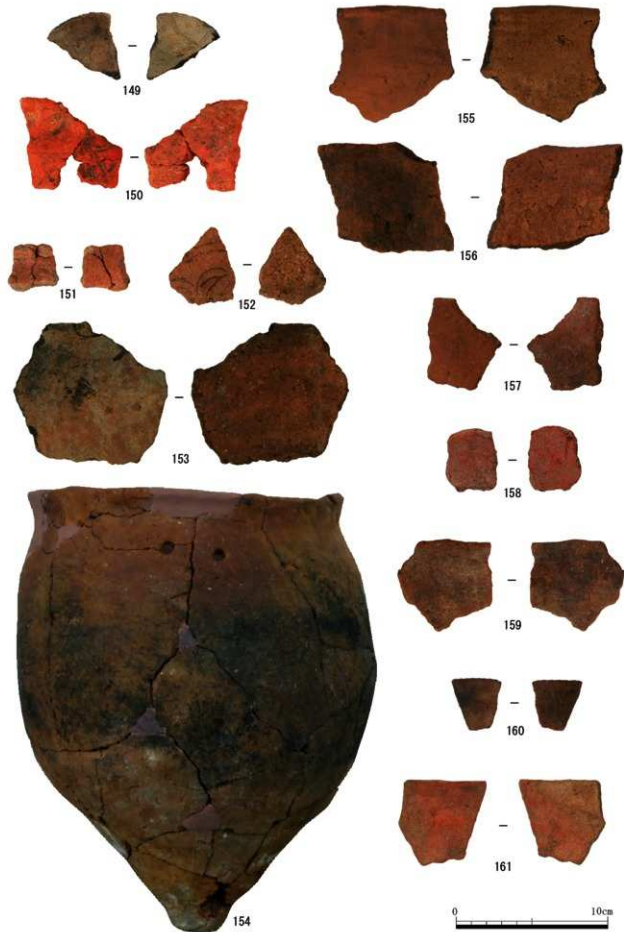
第49圖 土器20



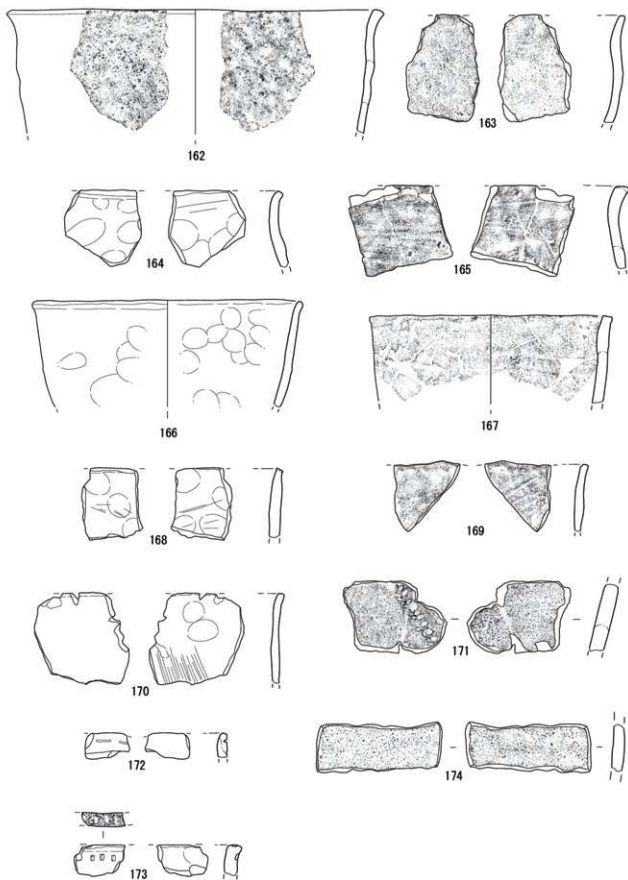
圖版 21 土器 20



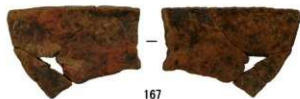
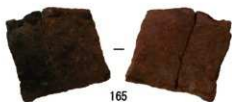
第50图 土器 21



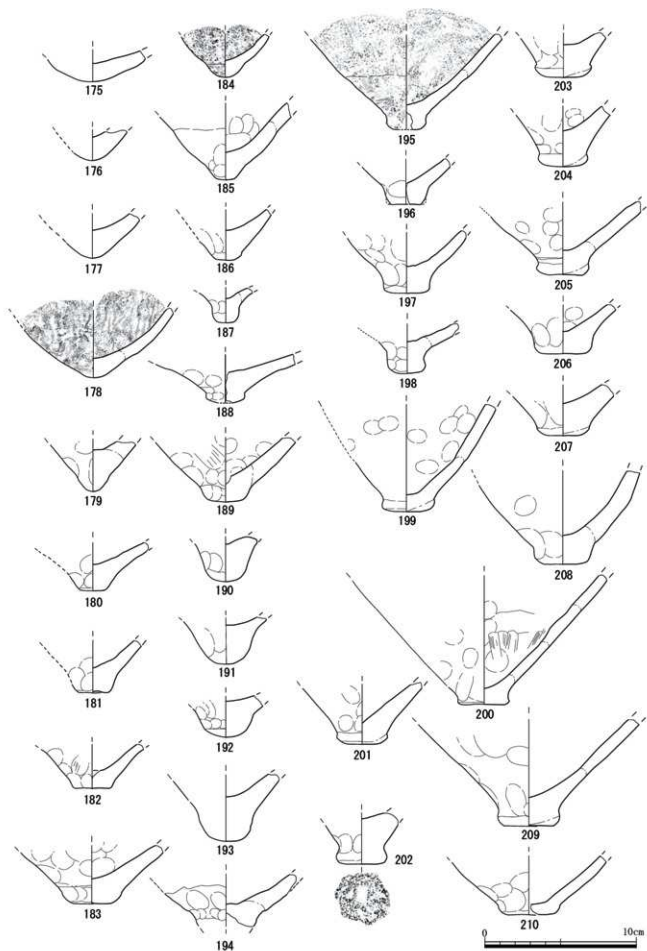
图版 22 土器 21



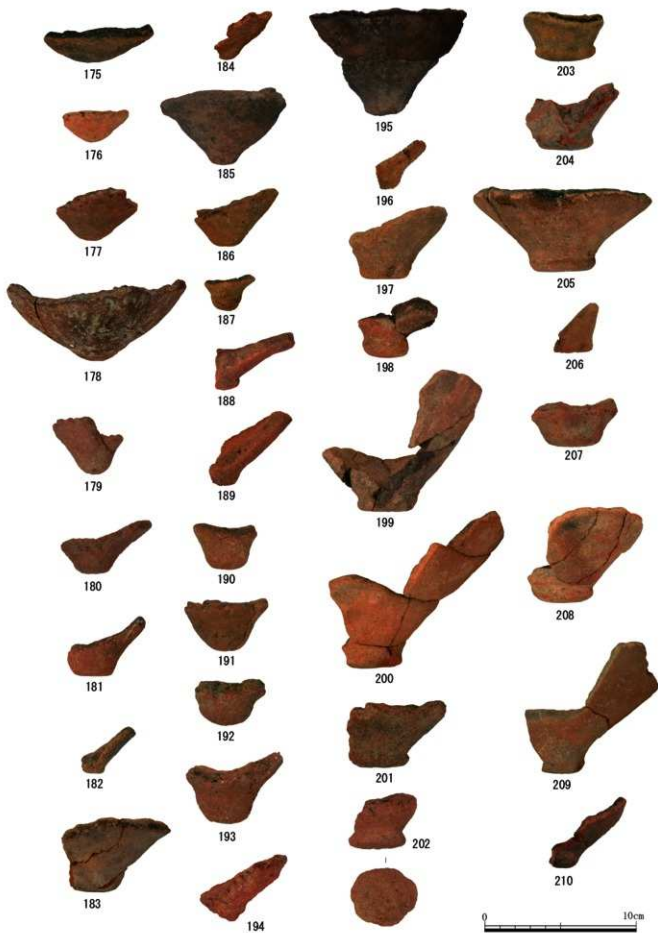
第51图 土器22



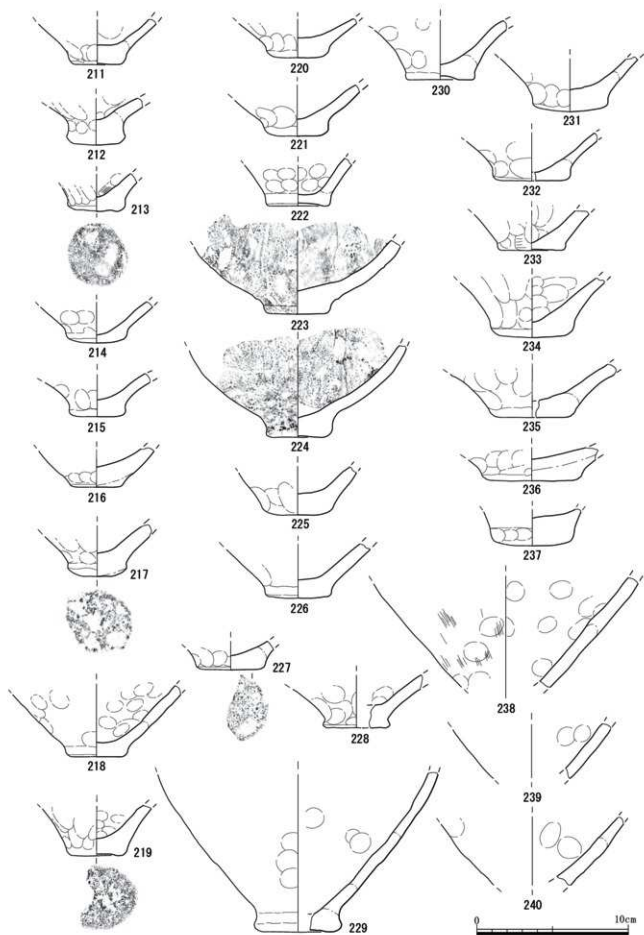
圖版 23 土器 22



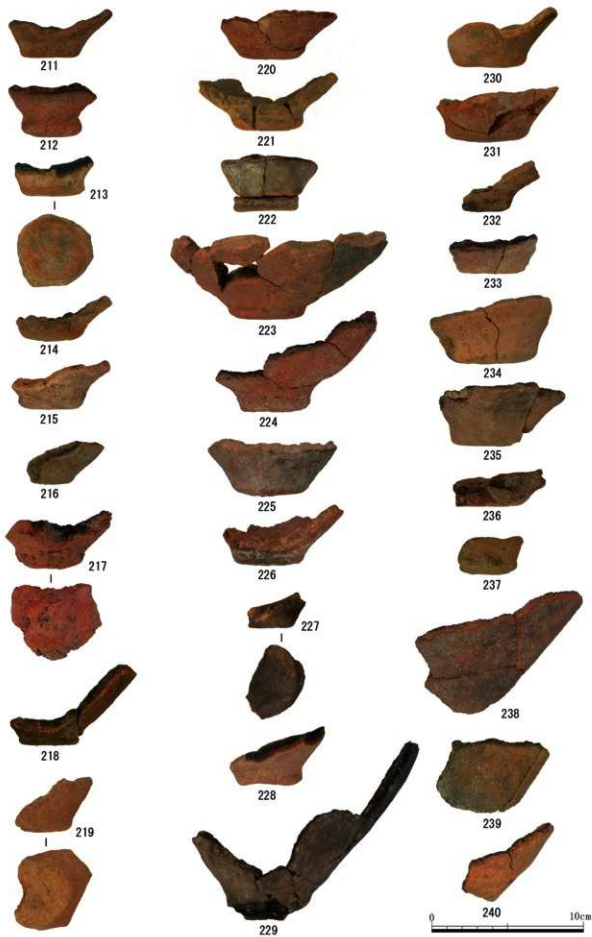
第 52 图 土器 23



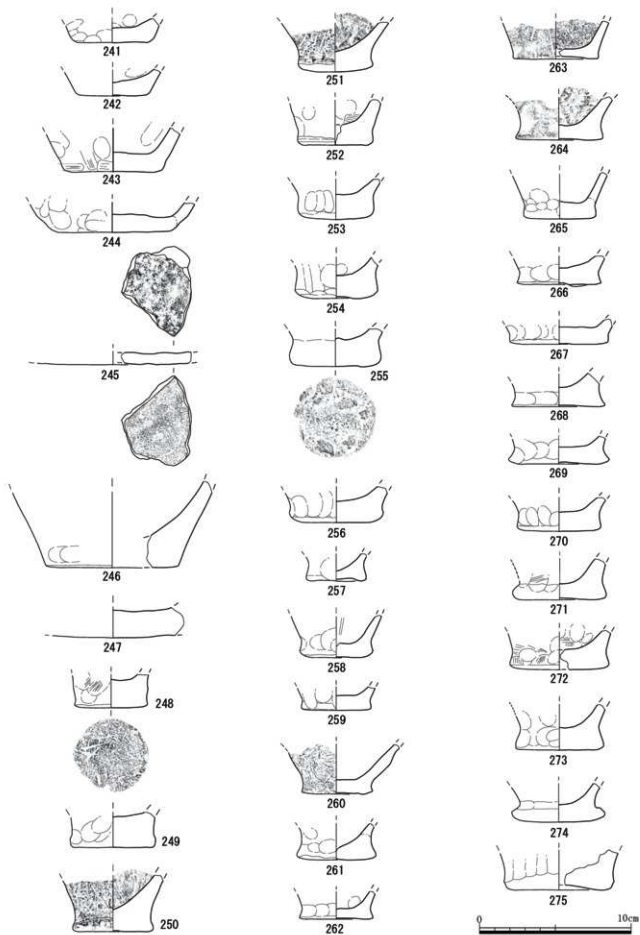
图版 24 土器 23



第 53 图 土器 24



图版 25 土器 24



第54图 土器 25



图版 26 土器 25

(2) 石器

石器は総数 177 点得られた。器種は石斧、敲石、敲石兼磨石、磨石、石皿、砥石、有孔石製品、スクレイパー、剥片石器、石製品、サンゴ塊製品、用途不明石器である。

層位は地区ごとに集計を行った。出土量の地区別は HB①地区から 72 点、HB②イ地区 77 点、ロ地区で 18 点、HB④イ地区 6 点、ロ地区で 4 点である。

層全体では表採 4 点、I 層 6 点、II 層は遺構出土含め 7 点、III 層 7 点、IV 層 19 点、最も量的に多い貝塚時代後期と捉えられる V 層は全体で 134 点出土した。

遺構から出土した石器に限ると II 層の遺構は戦前層で遺物は戦前開わりのものである。288SZ から敲石兼磨石 1 点、1003SZ 磨石 1 点、2002SZ は敲石、磨石が 1 点ずつ出土、土坑の 358SK で敲石兼磨石 1 点、62SK で磨石 1 点どちらも破損資料である。

III 層遺構は近世層で攪乱遺構と思われる。2049SD(溝)では石器が 5 点と多く、完形の石斧、破損した石斧、敲石兼磨石が 1 点ずつ、石皿が 2 点出土した。石器は紛れ込みの可能性も考えられる。381SK(土坑)からは破損した磨石 1 点のみである。IV 層は流路堆積のため遺構の検出は確認されていない。

V 層遺構は貝塚時代後期で捉えた。364SS(貝集中部)から破損した石皿 1 点他、土器、貝、骨。1039SX 直上(焼焼遺構)で完形石皿 1 点だが、他に遺構に関わる遺物の出土はない。

器種別では石斧 37 点、敲石 7 点、敲石兼磨石 38 点、量的に磨石が最も多く 74 点、石皿 6 点、砥石 5 点、剥片石器、スクレイパー等が 1 点ずつ出土している。各々の器種は完形と破損に分け、形状が判断できる完形のみを大型、中型、小型と大別した。細分類に関しては各項目で後述する。詳細は第 12 表の集計に地区、層位別で示した。

第 12 表 石器出土量

| 地区 層位 遺構 | 器種 分類 | 石斧 | | | 敲石 | | 敲石兼磨石 | | | 磨石 | | | 石皿 | | 砥石 | | 有孔石製品 | スクレイパー | 剥片石器 | サンゴ塊製品 | 用途不明石器 | 合計 | 地区別計 | |
|----------|----------|--------|----|-----|----|----|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|--------|------|--------|--------|----|------|-----|
| | | 完形 | 破損 | 未製品 | 完形 | 破損 | 完形 | 破損 | 完形 | 破損 | 完形 | 破損 | 完形 | 破損 | 完形 | 破損 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 中型 |
| HB① | I | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | |
| | II | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 62SK | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 288SZ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 358SK | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | III | 381SK | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| HB②イ | IV | | 2 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | 6 | | |
| | V | | 2 | 5 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | 56 | | |
| | | 364SS | | | | | | | | | 1 | 3 | 2 | 3 | 5 | 2 | 6 | 17 | | | 1 | 2 | 2 | 1 |
| | 小計 | | 9 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | | 6 | 5 | 13 | 24 | 1 | 2 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | 72 | |
| | II | 1003SZ | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | |
| HB④イ | III | | 3 | 8 | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | V | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | 小計 | | 11 | 3 | | 2 | 2 | | | | | | 8 | 24 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 77 | |
| ロ | 表採 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | |
| | II | 2002SZ | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | III | 2049SD | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | |
| | IV | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | |
| HB④イ | 小計 | | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | IV | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | V | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | |
| ロ | 小計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | |
| | 小計 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| ロ | 小計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | |
| ロ | 小計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | |
| 合計 | | | 22 | 10 | 1 | 1 | 3 | 4 | 3 | 21 | 17 | 23 | 51 | 1 | 5 | 2 | 3 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 4 | 177 |
| 分類別計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

1-a. 石斧

石斧は37点のうち完形22点、破損10点、転用品2点、未製品3点である。平面形態では撥形、側面は厚手資料が多く、刃部形態は両刃が多い。観察表の分類は以下に行った。

A-I：平面観

- 撥形—基端頭部が小さく刃部に向かうにつれ撥状を呈す
- 短冊形—基部から刃部まで、おおよそ同一の身幅を呈す
- 分銅形—基部の側面中央に、くびれのあるノッチ状（凹状部）を呈す
- 柱状形—基部側面に刃部を呈す
- 不明資料—上記形態に該当しない不定形、或いは破損、基部のみで形態不明資料

II：側面観

- 厚手—基部と刃部の境目が最も厚く刃先に向かうにつれ薄くなる
- 薄手—扁平で基部から刃部までの厚さが一定になる

B-I：刃部平面

- 円刃—刃の形状、研ぎ出しが正面両端に向かい弧状（円状）にすり上がる
- 直刃—刃の研ぎ出しが正面の端（側刃角）に角を付ける
- 偏刃—正面観の刃の研ぎ出しが左右の形状でアシンメトリーになる

II：刃部側面

- 両刃—表と裏の両側から均等に刃を研ぎ出す（特に厚手の刃は蛤刃と呼称）
- 両刃的片刃—片側が両刃的、一方が片刃の両者の刃の傾向を併せ持つ
- 片刃的両刃—刃のつくりが片刃仕様で且つ両側から研ぎ出す
- 片刃—刃のつくりが片側から強く研ぎ出す

図1は撥形石斧で刃部は両刃を呈す。形態や刃部の研ぎ出しなど研磨の状態が細かい。伊礼原E遺跡(2010)に類例資料(第93図17)がみられる。図16の石斧は幅広で長径の短い撥形を呈す。側面観は基部から刃部直前まで厚みは均一、基部の表裏面まで研磨が及び刃部は広い範囲で刃こぼれがみられる。左右の側刃角はアシンメトリーで平面左に比べ右側が反り上がる形態を成し片刃的である。刃の研ぎ出しは両面から均しく研磨される。図17・19・21・25の片刃石斧も作りが従来の在地産石斧に対し、丁寧且つ刃部の研磨が非常に明瞭である。図26の資料は小型鑿状利器的な石斧と捉えられる。図19・21・25・26の石斧は九州の石器を例に挙げるとセット関係にあるようだ。図29は荒割り成形の後、僅かな範囲に刃を付けた局部磨製石斧と思われる。總体的に撥形の石斧が多いが、形態や研磨具合の良好な石斧は短冊形で片刃の石斧が多い。

1-b. 転用品

石斧転用敲石は2点の出土である。図32は敲石に転用されたと考えられる資料で小型石斧の形態を示すが残存部が肉厚のため小型鑿状石斧とは考えにくい。原形は棒状、細身、側面が厚手の片刃石斧と想定される。類例資料が伊礼原E遺跡(2010)の第95図33にみられる。

石斧を敲石に転用する事例は多く、これまでの報告でも確認され刃こぼれの酷い石斧を敲打器として使用する機会が頻繁にあったと推測される。

1-c. 未製品

3点の出土で1点を図化した。図30は荒割り、粗加工段階の痕跡は確認されるが、次段階における整形や調整、研磨など微細な加工は施されていない。研磨は施されておらず刃部の研ぎ出しもみられない。石斧製作の工程が窺える資料である。

第55図は石斧の完形のみ抽出し長さと幅の計測を示したもので、合わせて形態との関係を確認してみた。完形の石斧は22点でサイズの大きいものは12cm台、小さいもので5cm台である。形態は大別して楕形、短冊形、分銅形、柱状形に分けられる。

楕形石斧に含めた資料は12点で12cm台1点、11cm台2点、10cm台4点、9cm台3点、8cm台2点で8cm以下の資料はみられない。

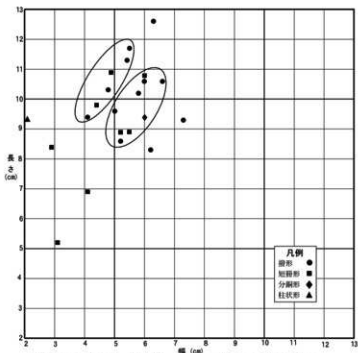
短冊形は8点で、10cm台2点、9cm台1点、8cm台3点、6cm台1点、5cm台1点である。短冊形の石斧は楕形とは逆に11cm以上の石斧はなく小型の資料が多い。又、楕形に比べサイズにばらつきがあり、一定の大きさに集中しない。短冊形の石斧は表裏面、側面、稀に基端頭部を平坦につくり厚みは薄く扁平を呈し、刃部は片刃の場合が多い。最も小さいもので図26の石斧は小型鑿状石斧、或いは貝製品彫画石斧とも捉えられるが判断に乏しい。

分銅形は9cm台の1点の出土である。図に示した石斧の中では中間的な大きさだが、一般的な石斧の範疇からは大きいサイズの類ではない。分銅形石斧は類例資料が伊礼原A遺跡(2014)で3点出土している。

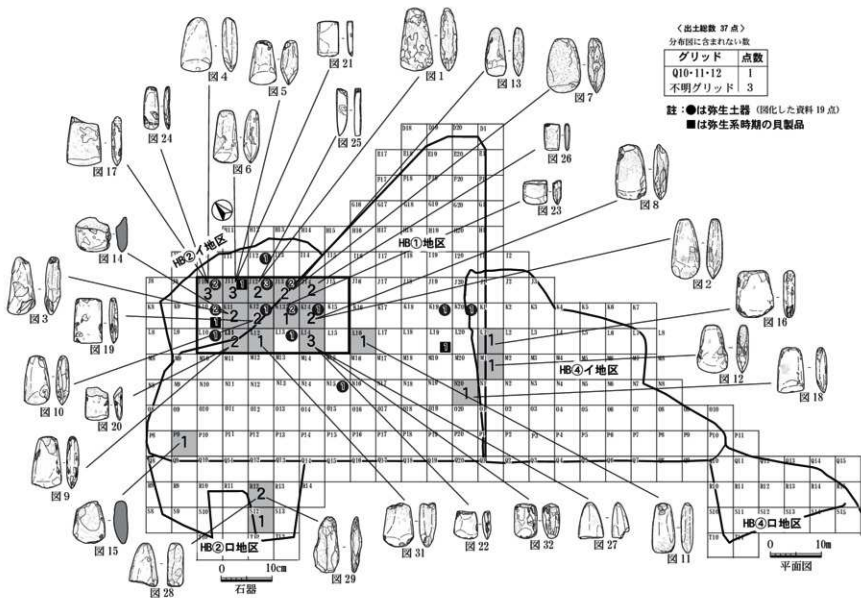
柱状形も1点のみの出土で9cm台である。どの形態の石斧にも言えるが、長さのサイズが小さくなればそれに対して幅の値も小さくなる。図25は柱状石斧の中でも小型の部類で小型方柱状片刃石斧と呼ばれる資料である。柱状片刃石斧の無袂タイプでサイズは長さに対し、幅、厚さとも小さい。石質はシルト岩で、短冊形に分類した図21の扁平片刃石斧(シルト岩)とセット関係が想定される。これまで既に報告した挟入石斧のタイプは扁平片刃石斧で刃の向きに対し、横に挟りを有すタイプの資料として、試掘調査(2005年)1点、伊礼原E遺跡(2010)3点の合計4点出土している。小型方柱状片刃石斧は本来の柱状片刃石斧の形態を呈す小型のものである。

第56図に石斧の量を調査グリッド別に、主要な石斧を示した。合わせて九州系弥生土器、弥生の時期に関わる貝製品も示した。まず石斧は集中する範囲と散在し出土する箇所に分かれ集中範囲は限られる。集中範囲はHB①地区とHB②イ地区との境、J~L10~15の範囲に、散在的に出土する石斧はL16、N20、P9で集中部から離れ僅かに1点ずつである。HB②ロ地区はR・S12の3点とQ10~12の重複グリッド1点の出土である。HB④地区の石斧はイ地区から2点のみ出土した。その他、グリッド不明の資料が3点である。

J~L10~15の範囲で図に示した石斧のうち、九州との弥生に関わる石斧で持ち込みの考えられる両刃や片刃石斧がこの範囲で出土する。図1・2・17・19・21・24~26は、九州からの搬入資料と考えられる。合わせて示した弥生土器(入来Ⅱ式土器)も大半がこの範囲に収まり、貝製品の出土状況も同様に比較すると3点中2点(諸岡型ゴホウラ製貝輪、オオツタノハ製貝輪)が同じ範囲で出土、石斧と同様の傾向をみせる。弥生関連の土器、石斧、貝製品が同じ範囲で集中したことは九州との繋がりが、判明されつつあると考えられる。(土器、貝製品の項目参照)



第55図 石斧(完形)長さ×幅と形態の相関



第 56 図 主要石斧及び出土量と南九州系弥生遺物

2. 敲石

敲石は7点で完形4点、破損3点のうち2点を図化した。浅く研磨が確認できる資料も敲打痕が明瞭なものは優先し敲石に含めた。図36は棒状を呈し、使用面は表裏面に二つずつ指痕大の敲打痕が並んで確認される。側面にも同様の小さい敲打が見受けられる。上下端部も敲打で面を成す。図62の資料はチャート製で半球状を呈す。半欠した平坦面の縁辺を細かく剥離調整している。丸味を残す面は自然の状態である。石質がチャートのため敲打痕は明瞭でない。チャート製の敲打器類は他の素材に比べ例が少ないが、伊礼原D遺跡(2013)で敲石兼磨石として2点出土している。

3. 敲石兼磨石

敲石兼磨石は38点の出土で完形21点、破損17点である。敲石、磨石の両者の使用痕のある資料を示した。図42は俵形の形状を呈し、使用面は片面のみ研磨が確認される。下端部は敲打により面を成す。図50は石鉢状の形態を呈し、全面に使用痕が確認できる。表裏面に研磨、表裏面と両側面中央には敲打が認められる。

4. 磨石

磨石は量的に最も多く完形23点、破損51点の合計74点である。敲打が浅くみられる資料も、研磨が特に顕著なものも磨石に分類した。図44は、完形の磨石で形態は変楕円形を呈し厚さは表面中央やや厚く、右側に向かい薄い。敲打は表面中央に微かにみられ、研磨は顕著で表裏面に幾つも使用痕を残す。側面周縁は擦痕の痕跡と表裏面との境に稜線が確認される。

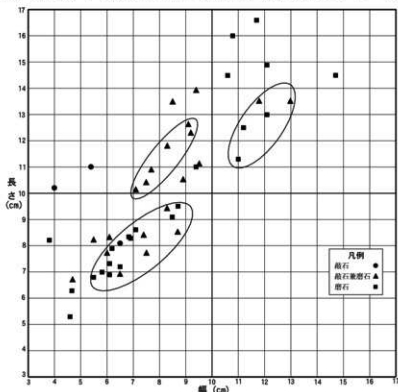
第57図に敲石、敲石兼磨石、磨石の敲打器類について、長さ×幅の計測を示した。破損資料に完形と類似する形態もあるが、大きさの判断できる完形に限定し敲石3点、敲石兼磨石21点、磨石23点の47点を図に示した。

図のとおり敲石は完形資料が少なく、どの資料も長さ11cm、幅7cmの範囲に収まり、小型の資料が主になると言える。おそらく破損資料も原形は小型の範疇になると推測される。

敲石兼磨石は長径6cm～14cm台の範疇である。中には長さ×幅の計測値がほぼ同等のサイズで、形状で言うと方形に近い資料もみられる。敲きと磨りの機能を兼ねるこの資料は、形状が石鉢状で中型のサイズが多い。

磨石は小型から大型まで幅広く分布、敲石に比べ小型と大型に二分され小型が同じサイズに集中する。正の相関範囲から外れる例外的なものも認められる。

磨石は小型資料にバリエーションが多く、小型にのみ見られる球状タイプ(作図なし)の資料がある。大型資料は大きさも計測のとおりだが、重量のあるものが磨りの用途に限定され大型になるほど使用面が増える。図化したもので例を挙げると図55や図59がある。



第57図 敲打器類(完形)長さ×幅の相関

5. 石皿

石皿は6点の出土で、完形1点、破損5点が確認された。形状は完形を除き全て不定形である。

使用痕の状態で分類すると表裏面使用4点、片面使用2点である。そのうち3点を図化した。図65は破損が激しく残存箇所は一部で大きさは窺えないが、使用痕が裏面にも確認され横断面の形状からも両面使用と判断できる。図66は板状で破損したうえ不定形を成す。自然礫のまま使われ、使用面は片面のみである。図67は完形の大型資料で、表面中央下部に円形状に窪んだ使用痕が確認できる。これも片面使用である。1039SX 直上(燃烧遺構) V層出土であるが、石皿に焼けた痕跡はみられない。遺構出土の石皿は図66のほか、2049SD(Ⅲ層遺構)では石皿2点と土器、貝製品、グスクや、近世の陶磁器類が出土している。1039SXはV層遺構で、石皿以外の出土遺物がない。364SSはV層で貝集中箇所から石皿1点のほか共伴遺物は土器、イノシシ骨、食料残滓の貝が出土している。(遺構の項目参照)

第13表 石皿使用面

| 使用面 | 完・破 | | 合計 |
|-----|-----|----|----|
| | 完形 | 破損 | |
| 両面 | 1 | 3 | 4 |
| 片面 | | 2 | 2 |
| 合計 | 1 | 5 | 6 |

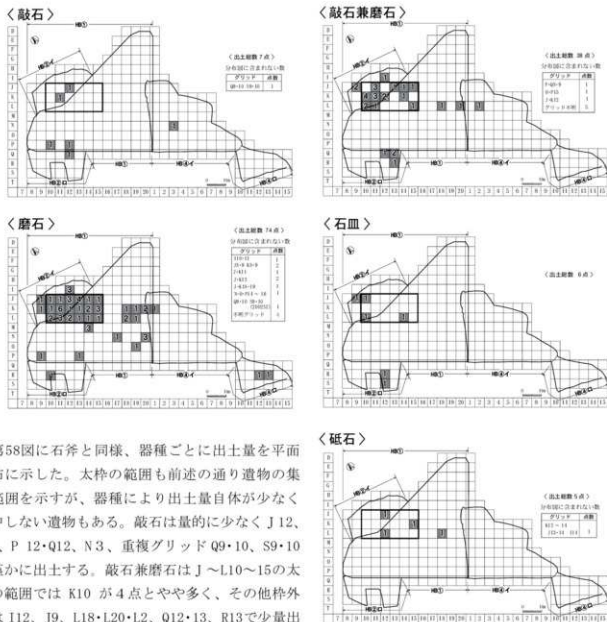
6. 砥石

5点と量的に少なく形態はどの資料も不定形を成し、完形2点、破損3点である。そのうち研磨痕が顕著なものも3点ほど確認できた。砥石の研磨はどれも部分的なものも多く、作図したものはないが、大型の砥石を写真資料に挙げた。各々の砥石の出土地は J12、K15、L12、L18、K12～14、J13・14、I14 で出土しており砥石以外の石器の出土は少なく、共伴遺物は貝製品、骨製品、食料残滓の獣骨、貝類が少量で、土器の出土は L12、K12～14、J13・14、I14 で多い。

図版27は使用痕の確認できるもので、砥石としてはかなり大型の資料である。全体の形状は縦長不定形、六面のうち二面に研磨が確認できる。正面左端と上端は大きく破損、右側と下端部は自然の丸味を帯びる。使用面は表裏面に認められ、表面は破損部に近い中央部分の平坦面に顕著である。凹凸はなく、研磨はかなり顕著、端部は研磨が浅い。裏面にも部分的に研磨が確認できる。石質は流紋岩系輝緑岩で、この種の岩石は本島中南部では産出しない。法量は最大値で縦67.0cm、横幅27.5cm、厚さ11.8cm、重量31kg、出土地HB①地区、L18、V層(Ⅲ層・暗褐色シルト層)



図版 27 砥石



第58図 器種別出土平面分布

第58図に石斧と同様、器種ごとに出土量を平面分布に示した。太枠の範囲も前述の通り遺物の集中範囲を示すが、器種により出土量自体が少なく集中しない遺物もある。敲石は量的に少なくJ12、K11、P12・Q12、N3、重複グリッドQ9・10、S9・10で僅かに出土する。敲石兼磨石はJ~L10~15の太枠の範囲ではK10が4点とやや多く、その他枠外ではI12、J9、L18・L20・L2、Q12・13、R13で少量出土する。

磨石は分布図でもわかるとおりJ~L10~15の範囲では全てのグリッドで一定量の出土がみられる。特にK11で6点と多い。前述したもの以外にK・L18~20の範囲で少量だが1、2点ずつ出土している。その他、散発的に出土する箇所がM14で3点、N17で1点、N20で3点、O19で1点、P9で1点、P13で1点、R10で1点又、HB④口地区のR12・13に1点ずつ出土している。範囲確認調査(2008)のトレンチが今回のI16・17~P16を縦断するため本調査で石器の出土はないが、前調査では僅かに出土している。

石皿は6点でJ~L10~15の太枠の範囲では、J10、L10、L14の3点、J9で1点、ほか石斧と同じくR12、S12で1点ずつ出土している。図67の石皿は1039SX直上(燃焼遺構)V層で唯一の資料である。砥石は太枠の範囲ではJ12、K15、L12の3点、範囲から外れた箇所ではL18で1点、一括取上したK12~14、J13・14、I14で1点出土している。図版27に示した大型砥石はL18出土で、砥石以外に全体に遺物の量は少なく土器、貝類が少量出土している。

遺構出土の石器は、ほとんどⅡ層、Ⅲ層からで又、石器の量も少なく平面分布を見る限り出土状況から遺構との関連は考えにくい。

7. 有孔石製品

1点の出土である。形状は逆三角状、厚さ2cm前後、表裏面、側面とも成形した痕跡はなく石器として定型化した形状ではない(図64)。加工痕は上部中央に縦1.0cm、横0.9cmの孔が穿たれている。開口部と貫通する孔の大きさはほぼ一定で、孔は表面が左下から上へ、裏面は右上から下へ穿孔される。穿孔以外の加工がなく用途は特定できない。石質は凝灰岩を利用している。HB④口地区、表採。

8. 剥片石器

図60はチャートを用いた剥片石器と思われる資料である。形態は楔形石器に類似するが、意図的に加工したものとすれば雑な印象を受ける。使用痕は認められず、チャートの質は悪い。剥離の際にみられる貝殻状リングも確認できない。製品としては下記のスクレイパーと比較して、調整剥離が簡素で当遺跡で作られた模倣品と思われる。HB④イ地区、08、IV層出土。

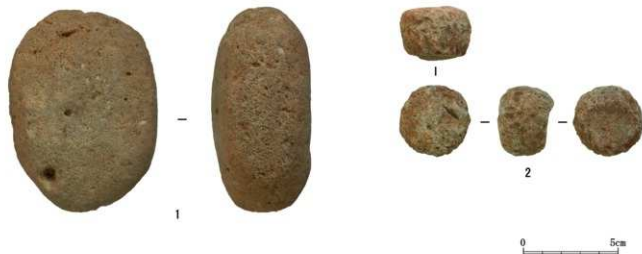
9. スクレイパー

図61の1点でチャート製、完形、成形良好で周縁部に調整剥離の痕跡が認められる。表面に剥離時の貝殻状リング、裏面の一部に石灰質の付着物が認められる。右側縁には敲打による衝撃で潰れが確認される。他の石器より帰属時期は古く縄文時代晩期の資料で、共存遺物は土器、貝、骨などである。スクレイパーの使用時期の対象遺物は、当遺跡から大山式土器、面縄前庭式土器が僅かに確認されている。製品としての作りが良く良質のチャートを用いており、外部からの持ち込みと思われる。HB②イ地区、ベルト、V層(貝層②)出土。

10. サング塊製品

石器として例外的なものを下記の写真に挙げた。図版28-1の製品は形態が石礮状磨石に類似し、自然のサング塊を利用した磨石様製品と考えられる。表面中央に浅く小さな敲打痕が認められる。又、左側面に敲き、右側面は擦りに利用され面を作る。計測値は縦10.0cm、横7.2cm、厚み4.8cm、重さ276g、HB②イ地区、トレンチ内、V層(黄砂層)出土。

図版28-2も小型のサング塊を使った製品で平面観は円形状を呈す。表面は自然面を成し、裏面は平坦に面をつくり擦れの痕跡が僅かに確認できる。側面周縁を細かく打ち欠いた痕跡が確認できる。用途は不明、層位が上層出土のため近世の玩具とも考えられる。計測値は縦3.6cm、横3.5cm、厚さ2.8cm~2.3cm、重量25g、HB①地区0・P8~13、I層出土。



図版 28 サング塊製品

第14表-1 石器観察一覧

| 調査 図号 | 図 番 号 | 器種 | 形制 平面 側面 | 刀部 平面 側面 | 完成 残存部 位 | 分類 | 最大長 最大幅 最大厚 重量 | 加工痕 使用痕 の有無 | 観 察 事 項 | 石質 | 地区・ブロンズ器土 遺構・台帳(表)上番号 | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|----|----------------|-----------------|-------------------|----|---------------------------|--------------------------|--|--|---------------------------------|---------------------------------|
| 第 61 区 ・ 図 帳 29 | 1 | 石斧 | 腕形 厚手 | 両方 両方 | 完形 | 中型 | 12.6 6.2 3.3 345 | 研磨痕 | 基部側面良好、刀部作りの良好、基部側面まで面を成す 研磨は基部・側面の一部・刀部表面の一部に有り 石質は伊礼郡長瀬村に類似資料有り | 灰土岩 | HB22-イJ12 V(黄褐色土層) 表1198 | |
| | 2 | 石斧 | 腕形 厚手 | 両方 両方 | 完形 | 中型 | 11.7 5.5 3.0 | 研磨痕 | 基端まで成形、側面小さく刀部長さ最大、研磨は全面研磨 僅か部分のみ研磨及び、刀部は、上部研磨跡 表面粗面研削により方向性の研磨有り、刃こぼれ有り、刀縁 残存 | 輝綠岩 | HB22-K14 V(4層黄緑シルト) 表113 | |
| | 3 | 石斧 | 腕形 厚手 | — — | 完形 | 中型 | 11.3 5.4 3.1 263 | 敲打痕 研磨痕 | 軸石の形状を上手く利用、両側面に調整の痕が有り 研磨は刀部側面、基部・側面の一部 刀縁は刃こぼれ激しく刀部も破損 | 鹿ノイ岩 | HB22-イK11 V(褐色シルト②) 表1128 | |
| | 4 | 石斧 | 腕形 厚手 | 両方 両方 | 完形 | 中型 | 10.6 6.0 2.9 304 | 研磨痕 | 形状は全体に整い、基部の一部欠け 研磨は基端まで及び基部・刀部の表面面に認められ良好 刃こぼれ有り、刃は鋭利鋭角でない | 鹿ノイ岩 | HB22-イJ10 V(褐色シルト②) 表1052 | |
| | 5 | 石斧 | 腕形 厚手 | 両方 両方 | 完形 | 小型 | 8.6 5.2 2.3 220 | 研磨痕 | 基部の側面研み込み、研磨は基部・刀部の表面面に有り 刀部は特に研磨の痕著、何處か研ぎ出しの痕有り | 輝綠岩 | HB22-イJ11 V(暗褐色シルト) 表1061 | |
| | 6 | 石斧 | 腕形 厚手 | 両方 両方 | 完形 | 中型 | 10.3 4.8 3.0 247 | 研磨痕 | 基部厚く成形良好、刀先に細い・複数の刃こぼれ有り 研磨は基部、刀部の表面面に良好、刃は数回研ぎ直し有り | 鹿ノイ岩 | HB22-イJ11 V(暗褐色シルト) 表1039 | |
| | 7 | 石斧 | 腕形 厚手 | 両方 両方 | 完形 | 中型 | 10.6 6.6 3.4 | 成形研 刀部研ぎ 出し | サイズがやや小さく、形は基部から刀部まで整う 刀部は研ぎ出し刃残存、刃こぼれなし 全体は石屑分で見解あり、研磨は風化で判断し判断不可 | 凝灰岩? (付着物あり 識別困難) | HB22-J13 V(4層黄緑シルト) 表144 | |
| 第 62 区 ・ 図 帳 30 | 8 | 石斧 | 腕形 厚手 | 直刀 片方の 両方 | 完形 | 中型 | 10.8 6.0 2.9 294 | 研磨痕 | 基部側面残存の一部欠け、基部、刀部とも表面面の研磨は良好 僅か部分に研磨及び、刀部表面は一度に研ぎ出したと推察、刃 こぼれ重篤、刀縁は磨かれ | 輝綠岩 | HB22-K14 V(5層黄緑砂) 表019 | |
| | 9 | 石斧 | 腕形 厚手 | 直刀 片方の 両方 | 完形 | 中型 | 10.2 5.8 2.3 219 | 研磨痕 | 基部側面に研磨有り面を成す、基部側面は研磨が行き届く 側面は基部、刀部とも厚く、刃の欠けが大きい 研磨は刀部表面、一部横方向の研磨有り | 輝綠岩 | HB22-イL11 V(黄褐色土層) 表1176 | |
| | 10 | 石斧 | 腕形 厚手 | 両方 両方 | 完形 | 小型 | 9.6 5.0 2.5 197 | 研磨痕 | 側面は刀部表面が最も厚く、基部やや薄い、研磨跡跡 全面研磨が行き届く、僅か部分には研磨行き届かず 刀先は明確に残る | 輝綠岩 | HB22-イK12 V(黄緑土) 表1162 | |
| | 11 | 石斧 | 腕形 厚手 | 直刀 片方の 両方 | 完形 | 小型 | 9.8 4.4 2.3 171 | 研磨痕 | 全体に形は整い、研身、基部は表面と中央を側面から平面に研磨 基部側面は自然欠け、側面は基部全体に研磨 基部側面、側面全体の一部に研磨有り | 砂岩 | HB22-L16 V(5層褐色細砂質土) 表221 | |
| | 12 | 石斧 | 分銅形 厚手 | 両方 片方の 両方 | 完形 | 小型 | 9.4 6.0 2.7 207 | 研磨痕 | 厚手で全体に成形良好、研磨良く基部、刀部、表面全面に及び 側面一部刀部が欠け、研磨研ぎ出しで僅か 小さい刃こぼれあり、刀縁は残る | 鹿ノイ岩 | HB22-M1 IV(3層黄緑粘質土) 表087 | |
| | 13 | 石斧 | 腕形 厚手 | 直刀 両方の 片方 | 完形 | 小型 | 9.4 4.1 2.1 123 | 研磨痕 | 研身、基端まで形成し丸く調整、刀部は三方向から研ぎ出す 一部刃こぼれあり、研磨は基部、刀部の表面 表面は刀部・基部の中央 | 輝綠岩 | HB22-J13 V(4層黄緑シルト) 表135 | |
| | 14 | 石斧 | 不明 厚手 | 両方 片方の 両方 | 刀部 | — | 6.7 6.2 2.3 152 | 研磨痕 | 基部は破損し、全体の大きさは不明、基部の一部と刀部のみ残存 側面の厚みは一定で刀部は片方の 研磨は刀部表面と片側側面、基部の一部に確認 | 輝綠岩 | HB22-イK11 V(黄褐色土層) 表1016 | |
| | 15 | 石斧 | 腕形 厚手 | 両方 — | 完形 | 小型 | 8.3 6.2 2.7 212 | 研磨痕 | 基部のつり不整形、破損か不明、研磨は基部・刀部の表面面 基部側面は自然欠け、側面は基部全体に研磨 側面自然を呈す、刀部研磨良好、刀縁残存、刃こぼれ大所 あり | 輝綠岩 | HB22-P9 IV(3層黄褐色シルト) 表083 | |
| | 第 63 区 ・ 図 帳 31 | 16 | 石斧 | 腕形 厚手 | 直刀 両方 (刀遺れ) | 完形 | 小型 | 9.2 7.2 2.3 291 | 研磨痕 | 基部の長さには刀部細長い、研磨は基部、刀部、右側面一部 赤褐色、特に中央が良好 基部は磨りで面を成し、刀部一方向研磨の長さがあり、 基部は細い・雲母有り、刀先は磨れる | 輝綠岩 | HB22-イL1 IV(IV) 表166 |
| | | 17 | 石斧 | 短腕形 厚手 | 直刀 片方 | 刀部 | 中型 | 9.7 6.6 1.9 219 | 研磨痕 | 基部側面は研磨、全形形は不明 研磨は基部、刀部表面、側面に明確 刀部片状の厚み薄く、片方の基部に欠け直刀 | 輝綠岩 | HB22-イJ10 V(褐色シルト②) 表3001 |
| 18 | | 石斧 | 短腕形 厚手 | 直刀 片方 | 完形 | 小型 | 8.9 5.2 2.1 180 | 研磨痕 | 成形よく表面は、基部、刀部研磨良好、両側面部分的に研磨 表面の刀部研ぎ出しは基部から一氣に研磨か 表面刀部研ぎ出しは刀部目的で研磨の方向に研磨 跡を認め判断し刃は二處に分け研磨 | 輝綠岩 | HB22-N20 V(3層黄緑砂) 表054 | |
| 19 | | 石斧 | 短腕形 厚手 | 直刀 片方 | 完形 | 小型 | 8.9 5.5 1.6 143 | 研磨痕 | 扁平、研磨は基部・刀部表面・両側面に顕著、基部側面は研磨で 面を成す刀部研磨のみが明確、刀部との境、軸の脱離跡 刀に垂直有り、基部に一部研磨部分あり 石質は石英質表面に表れる黒所有り | 輝綠岩 | HB22-イK12 V(IV②) 表3019 | |

第14表-2 石器観察一覧

(重量単位: g)

| 第14表-2 | 図番 | 器種 | 形状 〔平面・側面〕 | 刃部 〔平面・側面〕 | 完成 残存部 位 | 分類 | 最大長 最大幅 最大厚 重量 | 加工成 使用痕 の有無 | 備 考 事 項 | 石質 | 地区・ワグドノ層位 遺構・台帳(取上)番号 |
|-----------------------|----|-----------|---------------|---------------|----------------|-------------------------|---------------------------|--|---|----------------------------------|---------------------------------|
| 第63回 ・ 図帳 31 | 20 | 石斧 | 短冊形 厚手 | 直刀 片刃 | 刃部 | 小型 | 6.5 4.5 1.6 81 | 研磨痕 | 扁平資料、基部の一部、基部破損、全体の形状、大きさ不明 研磨痕は基部の一部、刃部表裏面に有り 特に刃部と側面に顕著、刃部の研ぎ出しは浅い | 輝綠岩 | HB2-イL11 V(具層位) 取180 |
| | 21 | 石斧 | 短冊形 厚手 | 直刀 片刃 | 完形 | 小型 | 6.9 4.1 1.1 66 | 研磨痕 | 全体に成形は薄く、基部破損も研磨で面を成す 研磨は基部・側面に顕著、刃部表裏面に有り 片刃を成し、刃こぼれ数枚の所有 | シルト岩 | HB2-イJ11 V(層位) 取1103 |
| | 22 | 石斧 | — | 直刀 片刃 | 刃部 | 小型 | 5.5 4.6 1.6 66 | 研磨痕 | 基部部分破損、厚手で刃部の平面形状は扁平 表面とも研磨跡で折損した基部、両側面に研磨面が部分的 に残る 刃部は両面から薄く仕上げ、刃こぼれは数枚 | 輝綠岩 | HB2-L14 V(5層位) 取205 |
| | 23 | 石斧 | — | 直刀 片刃 | 刃部 | 小型 | 4.7 4.8 1.6 67 | 研磨痕 | 基部破損、短冊形と想定、厚手で刃部は刃部を成す 刃部の平面形状は直刀で表裏面は研磨痕 基部、両側面の一部も研磨が及ぶ 刃の研ぎ出し箇所は研磨が特に顕著 | 輝綠岩 | HB2-K13 V(4層位) 取181 |
| | 24 | 石斧 | 短冊形 厚手 | 直刀 片刃 | 完形 | 小型 | 8.4 2.9 1.1 92 | 研磨痕 | 幅の狭い短冊形を呈す、基部中央が鋭角、転石利用の形跡 研磨は基部、刃部表裏に顕著に両側面、厚み部分に研磨は少 心平 刃部研磨は横方向に線状有り | 砂岩 | HB2-イJ10 V(層位) 取1137 |
| | 25 | 石斧 | 短冊形 厚手 | 直刀 片刃 | 完形 | 小型 | 9.3 2.1 1.3 56 | 研磨痕 | 鎌倉、小型短冊片刃石斧・無執タイプ 研磨は基部の一部・基部の一部・側面・刃部表裏面に有り | シルト岩 | HB2-イJ12 V(具層位) 取1031 |
| 26 | 石斧 | 短冊形 厚手 | 直刀 片刃 | 完形 | 小型 | 5.2 3.1 3.2 | 研磨痕 | 鑿状を呈し、刃部は片刃の直刀、全面に研磨のみ 基部も研磨を施し面を成す、厚み部分に研磨は少 一部に刃こぼれ、刃部は浅い 小型の鑿状利部か? | 輝綠岩 | HB2-J14 V(4層位) 取142 | |
| 第64回 ・ 図帳 32 | 27 | 石斧 | 不明 厚手 | — | 基部 | 小型 | 7.0 4.9 3.3 149 | 研磨痕 | 基部破損に内から生じ、側面は刃部方向に向かい、 基部の成形良好、表裏研磨有り 側面は研磨を施した際の幅1.0~1.5cm程度の 刃部は破損 | 輝石安山岩 | HB2-L14 中央-ベル V(5層位) 取955 |
| | 28 | 石斧 | 不明 — | — | 基部 | — | 8.5 5.6 3.1 236 | 敲打調整 研磨痕 | 基部のみ残存、形状三角形、基部破損も面を成す 側面均等に有 研磨は表裏面・側面に成形時の敲き痕跡有り 刃部形不明 | 輝綠岩 | HB2-イJ12 Ⅱ 20490 取2001 |
| | 29 | 石斧 | 短冊形 厚手 | 直刀 片刃 | 完形 | 中型 | 10.9 4.9 2.1 138 | 成形痕 調整痕 研磨痕 | 全体の形状は成形の成跡有り 基部表裏面、側面に研磨はみられず自然面呈す 刃部のみ研磨有り 刃部刃部表面から約2cm、裏面から2.5cm程度、片刃を成す | 砂質片岩 | HB2-イJ12 Ⅱ 20490 取3306 |
| | 30 | 石斧 | 短冊形 厚手 | — | 未製品 | — | 11.4 4.7 2.0 167 | 粗加工 研磨痕 | 基部は鎌倉・厚手、寛政時代の形跡 表裏・側面研磨を粗加工後、細く調整、研磨は全くなし 片刃石斧製作過程の段階か? | 閃石岩 | HB2-イJ12 V(具層位) 取3010 |
| | 31 | 転用品 | 短冊形 厚手 | 片刃 両刃 | 完形 | 小型 | 8.6 5.9 3.2 247 | 研磨痕 | 鎌倉に転用、基部欠損、全体に成形良好 研磨は基部表裏面、刃部は顕著 裏面は刃部中央が破損顕著有り、刃部で刃部を失う | 砂岩 | HB2-L12 V(4層位) 取2 |
| | 32 | 転用品 | 不明 — | 片刃 | 刃部 | 小型 | 6.8 4.4 3.5 176 | 敲打痕 研磨痕 | 基部中央から上部破損後に鎌倉に転用か? 基部内厚、原形は長い鑿状石斧と想定 基部中央へ刃部の研磨良好、片側面に破損、刃部は刃部 破損箇所も破損の有跡有り、原形時は片刃と想定 | 閃石岩 | HB2-L14 V(4層位) 取653 |
| 33 | 石斧 | 不明 厚手 | — | 刃部 | — | 4.6 3.3 1.1 23 | 研磨痕 | 表裏面の研磨は明瞭で側面に打割により破損 スレート状の模様を呈す、刃先に刃部認められず 表裏面とも刃部部分の研磨も観察される | 黒色片岩 | HB2-イQ10.11.12 V(Ⅷ) 取190-1 | |
| 第65回 ・ 図帳 33 | 34 | 磨石 | 楕形 | — | 完形 | 小型 | 6.3 4.7 3.3 140 | 研磨痕 磨痕 | 平面は片刃状、側面は短冊状 表面、研磨痕を、基部一部欠損 上端、下端に磨りの痕跡 | 石英岩質 砂岩 | HB2-M4 V(4層位) 取174 |
| | 35 | 磨石 | 長楕円形 | — | 破損 | 小型 | 8.3 3.9 2.0 95 | 研磨痕 | 転石を利用、浅く研磨を加え表面は打割で破損 自然面呈出、表・側面・上下に磨り状の研磨 | 砂岩 | HB2-イK1 V(Ⅷ) 取179-1 |
| | 36 | 磨石 | 扁平棒状 | — | 完形 | 小型 | 10.2 4.0 3.1 211 | 敲打痕 | 表面敲打中央に片刃、裏面、側面にも中央に有り 敲打の痕跡顕著、基部一部欠損 敲打痕は上下両面に面を成す、表裏・側面とも同様 | 砂岩 | HB2-イJ2 V(Ⅷ) 取191-1 |
| | 37 | 磨石 | 半球状 | — | 完形 | 小型 | 6.8 5.5 3.6 201 | 磨痕 敲打痕 研磨痕 | 平面楕円形、側面は縦、横とも半球状 表面中央に浅く凹み、両側から磨りに使用の成跡 研磨に至らず、裏面は平場で部分的、又、若干研磨 | 閃石岩 | HB2-M4 V(4層位) 取165 |
| | 38 | 磨石 | 楕円形 | — | 完形 | 小型 | 7.8 5.8 2.9 172 | 研磨痕 | 表面研磨有り、裏面薄く剥落、全体に形状整 研磨面の光沢、風化作用により失われた可能性 | 輝石安山岩 | HB2-K19 V(4層位) 取156 |

第14表-3 石器観察一覧

(計量単位:cm)

| 第14表-3 | 調査年度 | 図番 | 器種 | 形態 | 定規 残存部 位置 | 分類 | 最大長 最大幅 最大厚 重量 | 加工痕 使用痕 の有無 | 観察事項 | 石質 | 地区・ブライド・層位 遺構・台帳(取上)番号 |
|-----------|------|----|----|-------|-----------------|----|------------------------------|-------------------|---|--------------------------------|----------------------------------|
| 第45回・調査33 | 第45回 | 39 | 磨石 | 楕円形 | 突形 | 小型 | 7.7 6.0 2.1 222 | 研磨痕 敲打痕 | 平面や中央長楕円形、側面厚手均等 下側面、扁平楕円、研磨痕、表面面に確認 上端下部に敲打痕跡有り | 輝綠岩 | H1C1.115 V(5編製色シルト) 取217 |
| | | 40 | 磨石 | 楕円形 | 突形 | 小型 | 7.9 6.2 3.6 263 | 研磨痕 敲打痕 | 平面楕円形、側面上部大く下部狭い 下側中央に女顔跡、使用痕の位置は表面 研磨跡に一致 | 角閃石 安山岩 | H1C1.113 V(5編製色シルト) 取207 |
| | | 41 | 磨石 | 不定形 | 破損 | 小型 | 7.2 5.7 4.5 281 | 研磨痕 敲打痕 擦痕 | 残存サイズ小型、下側・左側面破損、表面面研磨 表面中央に敲打痕跡確認 上面、右側面に擦痕確認有り | 砂岩 | H1C1.114 V(6編製色シルト) 取145 |
| | | 42 | 磨石 | 楕円 | 破損 | 小型 | 9.4 5.4 4.6 358 | 敲打痕 研磨痕 | 自然形石利用、平砥面は部分的研磨が顕著 研磨面一部分のみ、敲打痕は上下端部2箇所 打製面古(時間経過)有り 粘着物有量多、小型だが重量感有り | 砂岩 | H1C1.112 V(6編製色シルト) 台177-1 |
| | | 43 | 磨石 | 楕円形 | 突形 | 小型 | 8.4 7.4 4.9 517 | 研磨痕 敲打痕 擦痕 | 表面面の研磨跡、使用痕度高(面が平坦 上下・側面両面に小さい敲打痕、擦痕有り) 下側部は二面、特に顕著 | H1C1.118 V(4編製色シルト) 取179 | |
| 第46回・調査34 | 第46回 | 44 | 磨石 | 変楕円形 | 突形 | 中型 | 9.1 8.5 4.9 628 | 研磨痕 敲打痕 擦痕 | 平面変形石輪状、表面面研磨痕顕著 両面中央部左右に使用による磨み 上下・左右に擦痕、敲打痕確認 | 砂岩 | H1C1.114 V(4編製色シルト) 取184 |
| | | 45 | 磨石 | 楕円形 | 突形 | 中型 | 9.5 8.7 5.9 864 | 研磨痕 敲打痕 擦痕 | 形状やや楕円、側面・両面に擦痕有り 上・下面に浅い敲打痕有り 厚手で研磨は顕著、研磨は表面面に有り | 輝綠岩 | H1C1.K13 V(4編製色シルト) 取173 |
| | | 46 | 磨石 | 楕円形 | 突形 | 中型 | 11.1 9.5 4.8 873 | 研磨痕 | 表面面研磨跡、上・下・側面両面に擦痕あり 表面中央部に中央に磨痕跡の付 使用による磨み中央～両側に、上面に比へ下側部のみ | 砂岩 | H1C1.K12 V(4編製色シルト) 取99 |
| | | 47 | 磨石 | 変楕円形 | 破損 | 小型 | 9.6 7.2 4.3 361 | 敲打痕 擦痕 | 破損し片面のみ残存、左右対称不明 表面中央・右側面に敲打による磨み跡 表面中央に擦痕、上面に擦痕有り | 角閃岩 | H1C1.P10 V(5編製色シルト) 台430 |
| | | 48 | 磨石 | 石輪状 | 突形 | 中型 | 12.6 9.1 5.0 994 | 研磨痕 敲打痕 | 表面研磨跡、両側面敲打による磨み 上・下磨き痕の面を成す 研磨石質により確認不明 | 安山岩 | H1C1.111 V(4編製色シルト) 取162 |
| | | 49 | 磨石 | 不定形 | 破損 | 小型 | 8.7 8.5 3.8 435 | 研磨痕 擦痕 | 左側面・下側面狭し、自然面露呈 残存部分のみ一定形状不定 上面擦痕有り、表面面研磨跡 | 砂岩 | H1C1.118 V(6編製色シルト) 取149 |
| | | 50 | 磨石 | 石輪状 | 突形 | 中型 | 13.5 8.5 5.2 999 | 研磨痕 敲打痕 | 表面中央部に、縦長の磨跡、両側面は深い縦長の磨跡 表面面研磨跡、上・下側面両面に成す、研磨風化? | 砂岩 | H1C1.110 V(4編製色シルト) 取126 |
| | | 51 | 磨石 | 変形石輪状 | 突形 | 小型 | 8.5 8.7 6.6 727 | 敲打痕 研磨痕 | 縦長の磨跡は表面・側面・上・下面有り 研磨痕上・下面に部分的磨み確認 表面・上面の敲打痕跡、浅い溝みを成す | 砂岩 | H1C1.116 その区表標 台2342-1 |
| | | 52 | 磨石 | 楕円形 | 破損 | 小型 | 9.1 9.8 4.4 747 | 研磨痕 | 上面・表面・左側面大きく破損、自然面露呈 原形の二分之一残存 表面・右側面・下側面は研磨跡 | 砂岩 | H1C1.112 V(5編製色シルト) 取211 |
| | | 53 | 磨石 | 長楕円形 | 突形 | 大型 | 12.3 9.2 6.7 1,186 | 研磨痕 敲打痕 擦痕 | 表面面に研磨有り 表面中央・右側面・上・下面に敲打も確認 左側面に擦痕有り | 片状砂岩 | H1C1.111 V(5編製色シルト) 取215 |
| 第48回・調査35 | 第48回 | 54 | 磨石 | 楕円 | 突形 | 中型 | 10.1 7.1 6.1 583 | 研磨痕 擦痕 敲打痕 | 研磨痕は表面中央に有り顕著 上・下・左右・表面に浅い敲打痕 両側面に擦痕で面を成す | 砂岩 | H1C1.K14 V(6編製色シルト) 取89 |
| | | 55 | 磨石 | 変楕円形 | 突形 | 大型 | 11.3 11.0 6.4 1,290 | 研磨痕 | 研磨痕、製石の形状に合わせた使用痕 表面は研磨跡(第二面、面を成す) 側面研磨跡らず自然面露呈部分あり、上・下面は自然状態 | 砂岩 | H1C1.112 V(6編製色シルト) 台2020 |
| | | 56 | 磨石 | 変楕円形 | 突形 | 大型 | 14.5 10.6 6.5 1,688 | 研磨痕 | 表面・両側面・上下ほぼ研磨 打製により部分的に自然面露呈 石質美観特化現象 | 火山岩 | H1C1.K20 V(4編製色シルト) 取191 |
| 第49回・調査36 | 第49回 | 57 | 磨石 | 楕円形 | 突形 | 大型 | 16.6 11.7 5.2 1,312 | 研磨痕 | 形状楕円形、側面厚手、成形からの良好 表面面に研磨痕あり 風化により研磨が弱化した可能性有り | 砂岩 | H1C1.M14 V(6編製色シルト) 取42 |

第59図に石器に使用された岩石の種類と割合をグラフに示した。岩石は火成岩系統14種、堆積岩系統6種、変成岩系統5種の計25種が確認された。

最も多く使われた種類は輝緑岩が28.11%、次いで片状砂岩、砂岩、斑レイ岩である。この4種で出土量の五分の四以上を占める。石質同定の結果、大城逸朗氏によると(以下「」は同じ)「斑レイ岩は徳之島、奄美、トカラ、九州本土の200キロ圏内共通の産出地であろう」との見解を得た。

火成岩系統のうち輝緑岩以外の種類は量的に少量で、その他、斑レイ岩6.28%、輝石角閃石安山岩2.62%、ひん岩1.36%、安山岩0.95%、玄武岩0.67%、角閃岩0.61%、花崗閃緑岩0.56%、珪長岩0.56%、凝灰岩0.27%、角閃石安山岩0.25%、流紋岩0.23%、石英安山岩0.17%、輝石安山岩0.11%の岩石が確認された。少量ながら火成岩系統で多種類の岩石が石器の素材として使用されていることが判る。

堆積岩系統の種類では砂岩が多く23.87%、その他、礫質砂岩3.39%、細粒砂岩1.74%、チャート0.52%、サンゴ塊0.22%、シルト岩0.08%で、沖縄県内で産出される岩石も認められた。チャート素材の石器はスクレイパー、剥片石器、蔽石が出土、チャートの出土量は18点、1,377gである。質の良いチャートも僅かにあるが、全体に破片が多い。堆積岩系統の種類は県内、中南部、当遺跡周辺でも採集可能である。変成岩系統では片状砂岩が多く24.36%で、石英斑岩2.04%、石英片岩0.71%、砂質片岩0.31%、黒色片岩0.02%が確認されている。



第60図に量的に多い主要な6器種について個別の比率を示した。まず、石斧に最も多いものは輝緑岩で石斧全体の45.35%にあたる。次いで斑レイ岩が多く19.83%である。使用される岩石の多くが輝緑岩と斑レイ岩だが、今回の調査で出土した石斧は岩石の種類が多く、その他、砂質片岩、ひん岩、玄武岩、角閃岩、流紋岩、輝石安山岩、黒色片岩、シルト岩が石斧に使われている。小堀原遺跡(2012)、伊礼原遺跡(2007)では砂岩の石斧も確認され、砂岩の種類によっては含まれる鉱物の比率により硬質なものは、石斧に適した素材の場合もある。

特にシルト岩の石斧は同定の結果、「島尻層群中のノジュールに類似するが石質の顔つきは沖縄産ではないようだ」との見解と又、「九州本土、宮崎近辺でもシルト岩は産出する」との事である。

石器全体のうち火成岩系統の種類は、周辺地域から持ち込みの可能性が考えられるとの意見であった。又、流紋岩質の石斧が1点出土し同定の際、石質確認のため硫酸に浸し経過観察と検証を行ったが、付着物が石斧全体を覆い識別困難の為、「おおよそ流紋岩であろう」との同定である。

蔽石は5種の岩石が使用され、輝緑岩が29.74%、細粒砂岩が24.55%、珪長岩が23.62%、砂岩

が13.94%、チャートが8.15%の割合である。

敲石兼磨石は石器に使用された岩石が10種類、比率の多い順に砂岩が62.29%、斑レイ岩が12.66%、片状砂岩が8.17%、安山岩が4.40%、輝緑岩が3.52%、石英斑岩が3.75%、花崗閃緑岩が2.83%、チャートが1.62%、輝石角閃石安山岩が0.44%、角閃岩が0.33%である。

磨石は74点中31点が砂岩で割合は45.08%を占める。磨石は石斧以上に点数も多く岩石の種類も16種と多い。その他比率の多い順に斑レイ岩11.84%、輝石角閃石安山岩10.76%、輝緑岩7.15%、石英斑岩5.52%、片状砂岩5.32%、ひん岩5.16%、石英片岩3.03%、玄武岩1.79%、珪長岩1.06%、角閃石安山岩1.04%、石英安山岩0.72%、礫質砂岩0.64%、細粒砂岩0.43%、安山岩0.31%、砂質片岩0.16%である。この中に少量ながら火成岩系統の資料が含まれ、中には玄武岩の磨石が2点認められた。玄武岩は火成岩系統に分類され久米島、栗国島などで産出するが、その2点の産地が久米島とは限定できない。器種では磨石の他、石斧にも玄武岩の資料が確認された。

石皿は出土量が少なくほぼ同種の岩石を使用しており比率は輝緑岩が47.42%、片状砂岩45.69%、礫質砂岩が6.88%である。砥石は5点のうち破損資料は同一個体と思われる。細粒砂岩が57.12%、輝緑岩が42.88%である。

小結

今回、報告した石器について考察すると、石斧の出土は磨石と比較して多くないが、成形や形状、研磨などについて一般的に簡素な作りの石斧と丁寧な作りの石斧の2種類の石斧が出土している。なかでも刃部の仕上げなど研磨の丁寧な資料が出土したことが挙げられる。これらの石斧は在地産の石斧と研磨の状態や石質に違いがみられる。研磨の丁寧な両刃石斧(図1・2)、扁平片刃石斧(図17・19・21・25)については持ち込みの可能性も考えられる。図25は類例資料が読谷村、中川原貝塚(2001)で出土している。土器も入来Ⅱ式土器など南九州系土器が出土している。石斧のサイズは12cm以上が1点のみで、ほとんどがそれ以下の石斧である。

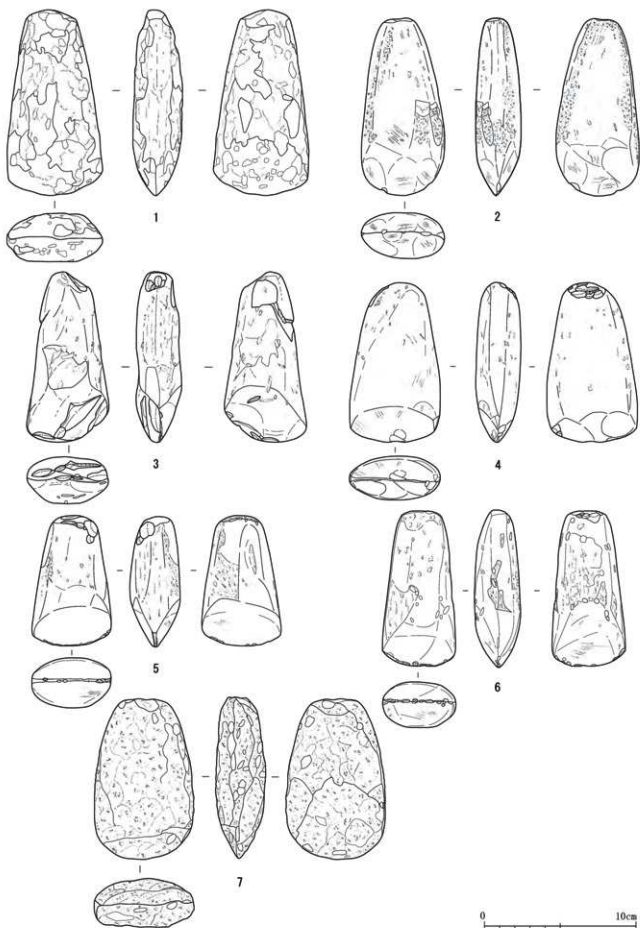
敲打器類は磨石に限らず全般に貝塚時代後期において、それ以前の時期と比べて数量的に大きな変化はみられない。磨石は研磨が顕著で且つ、使用頻度の高い資料が大型資料に認められる。

石皿は完形が1点出土、伊礼原A遺跡(2014)でも同様に大型の石皿が出土しており又、砥石においても、石皿と同じく大型資料である。大型石器については石質や産地など課題を要す。

石質は輝緑岩が量的にも、使われた器種も多い。輝緑岩で石斧の多くが作られ、大型砥石も輝緑岩である。火成岩系統の岩石は輝緑岩以外の種類でも少量だが種類は多く、石材の供給地や九州、トカラ、奄美、徳之島との関わりを今後の報告でさらに検討する必要がある。

<引用・参考文献>

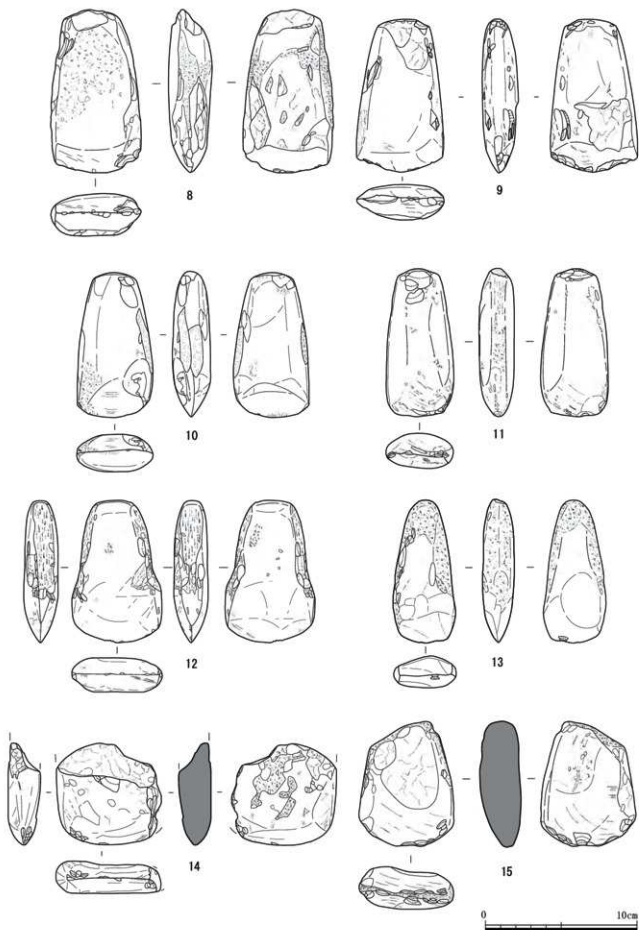
- 仲宗根求他 2001「読谷村出土の弥生土器・弥生系土器について」『読谷村立歴史民俗資料館紀要』第25号
読谷村立歴史民俗資料館編
- 北谷町教育委員会 2005『キャンプ桑江北側返還に伴う試掘調査』北谷町文化財調査報告書 第23集
- 北谷町教育委員会 2007『伊礼原遺跡』北谷町文化財調査報告書 第26集
- 山野ケン陽次郎 2010「琉球列島出土彫画貝製品の製作技術に関する研究」『熊本大学社会文化研究8』
- 北谷町教育委員会 2010『伊礼原E遺跡』北谷町文化財調査報告書 第31集
- 川口雅之 2011「奄美・沖縄諸島の大陰系磨製石斧」『奄美考古』第6号 奄美考古学会
- 北谷町教育委員会 2012『小堀原遺跡』北谷町文化財調査報告書 第34集
- 北谷町教育委員会 2013『伊礼原D遺跡』北谷町文化財調査報告書 第35集
- 北谷町教育委員会 2014『伊礼原A遺跡』北谷町文化財調査報告書 第36集



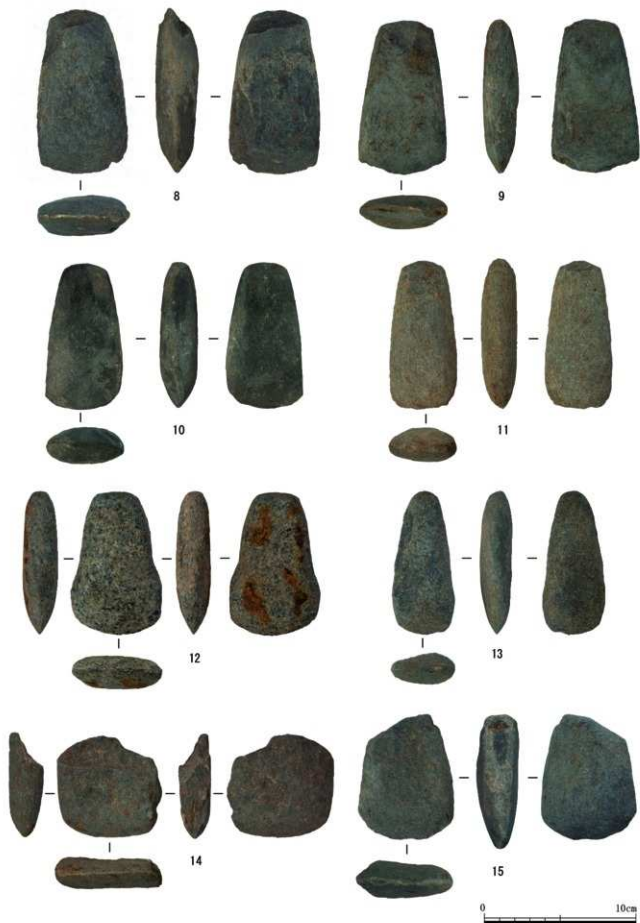
第 61 图 石器 1



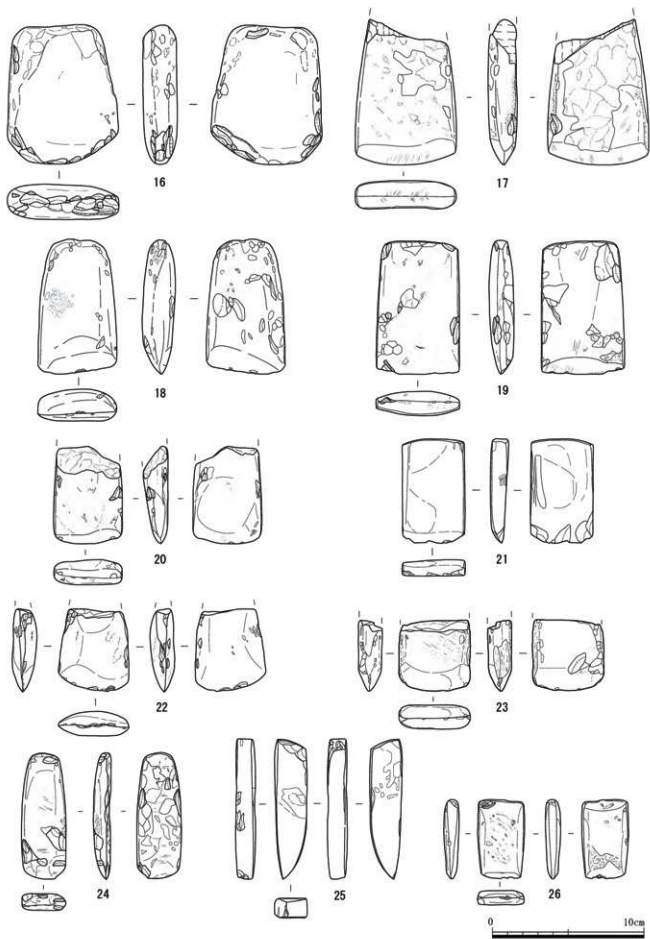
图版 29 石器 1



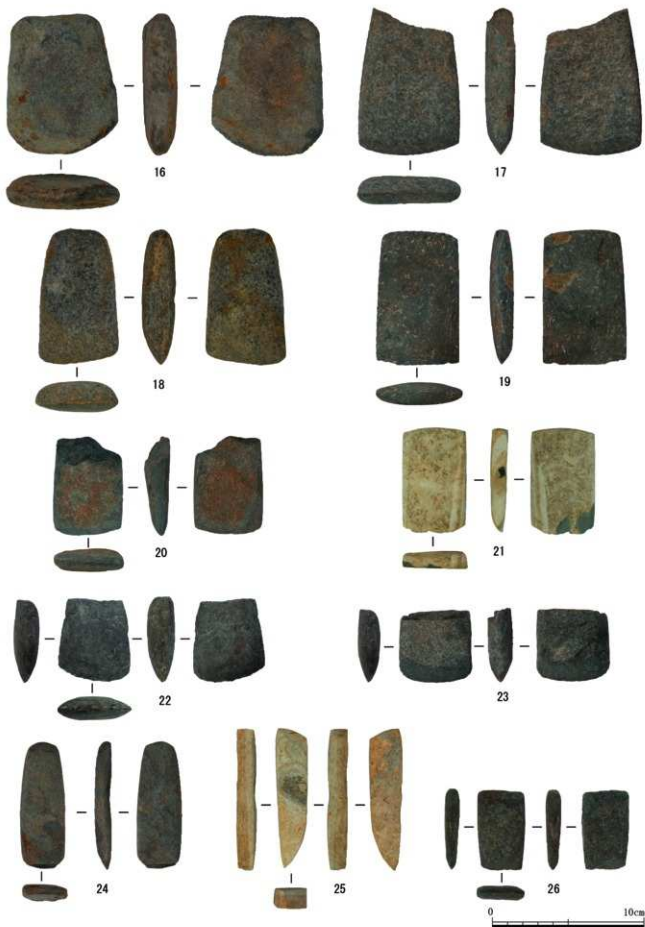
第 62 图 石器 2



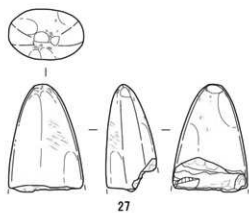
图版 30 石器 2



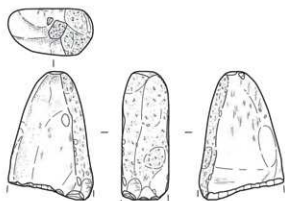
第 63 图 石器 3



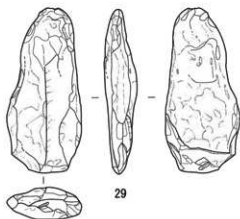
图版 31 石器 3



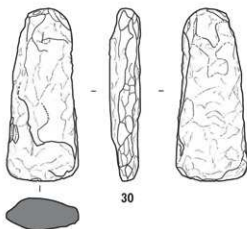
27



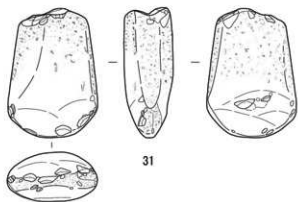
28



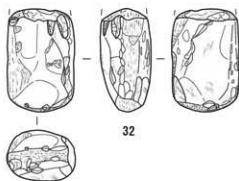
29



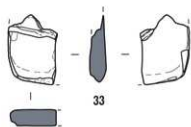
30



31



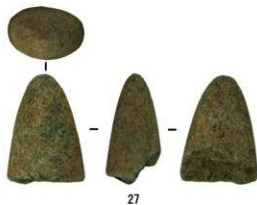
32



33



第 64 图 石器 4



27



28



29



30



31



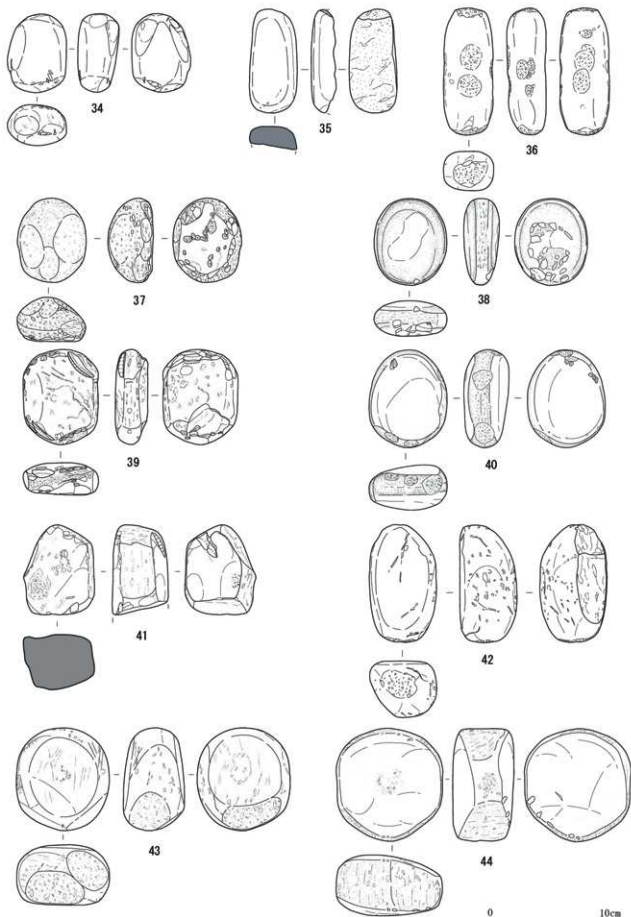
32



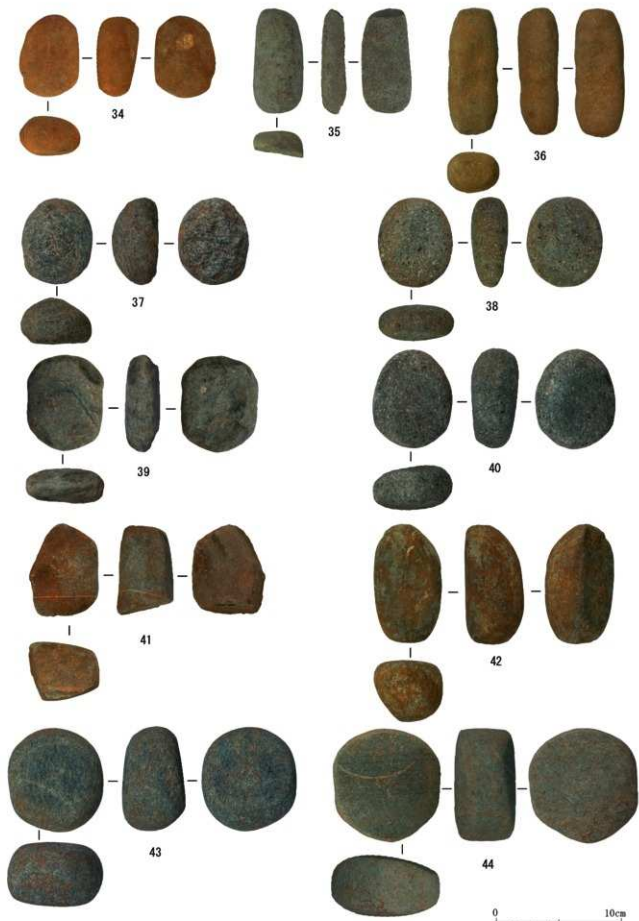
33



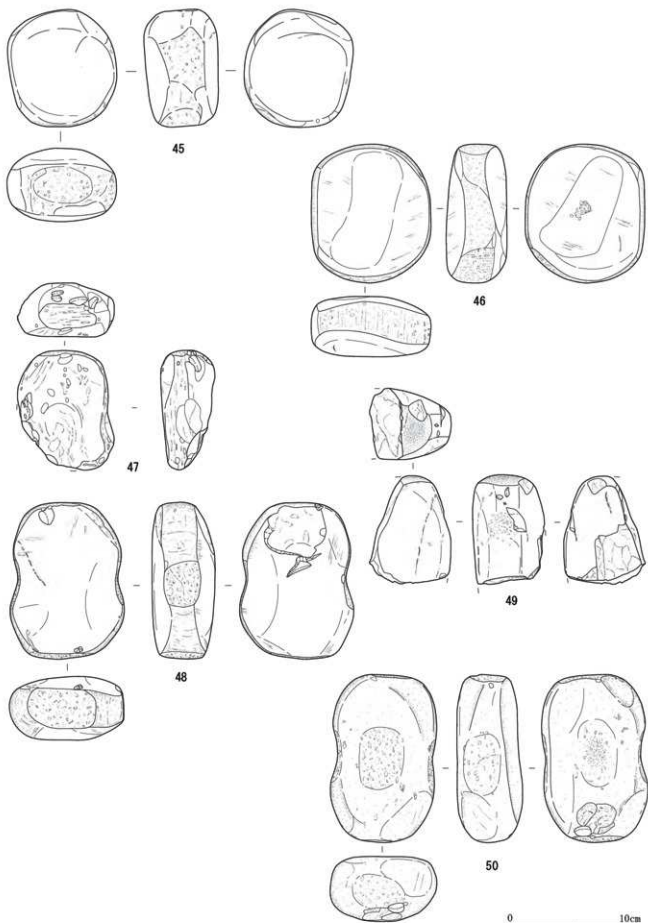
图版 32 石器 4



第 65 图 石器 5



图版 33 石器 5



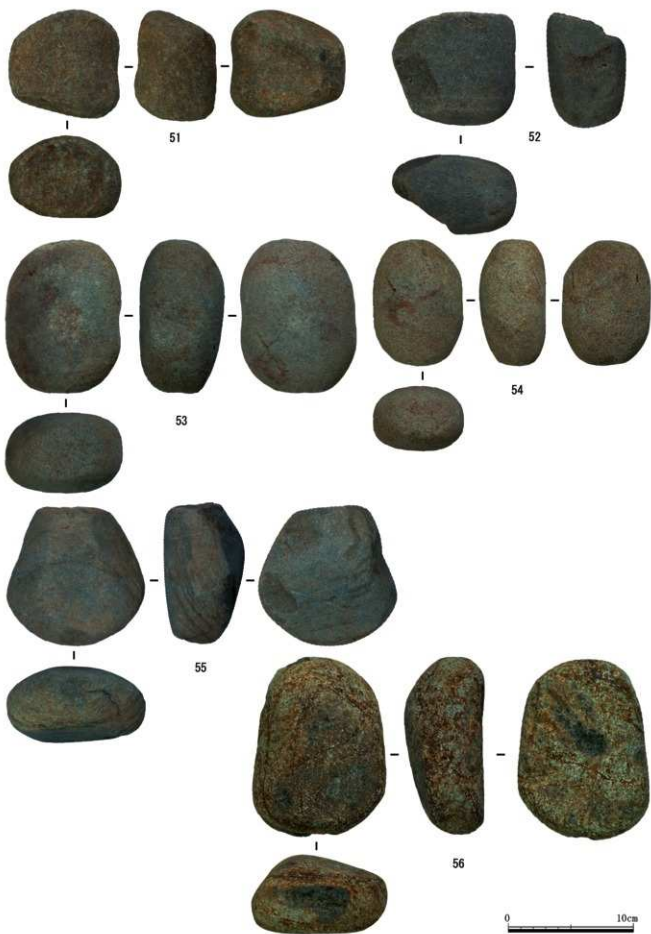
第 66 图 石器 6



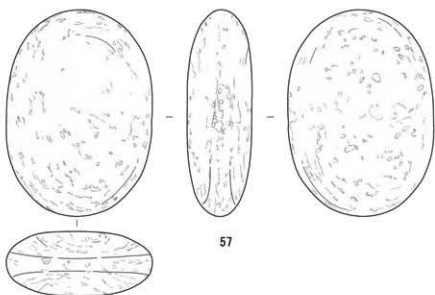
图版34 石器6



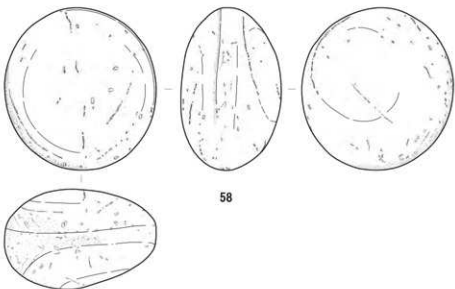
第 67 图 石器 7



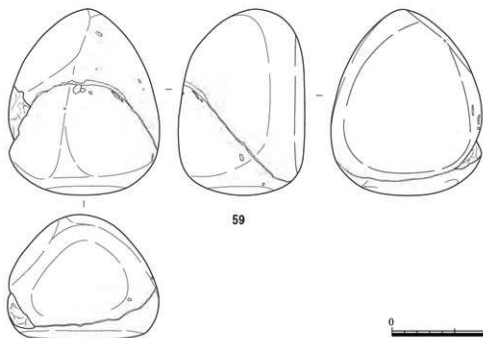
图版 35 石器 7



57



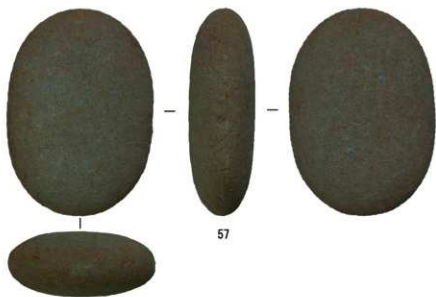
58



59



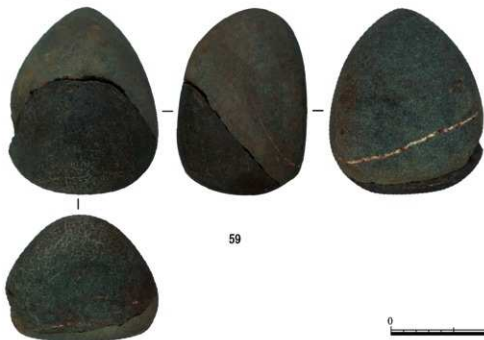
第 68 图 石器 8



57



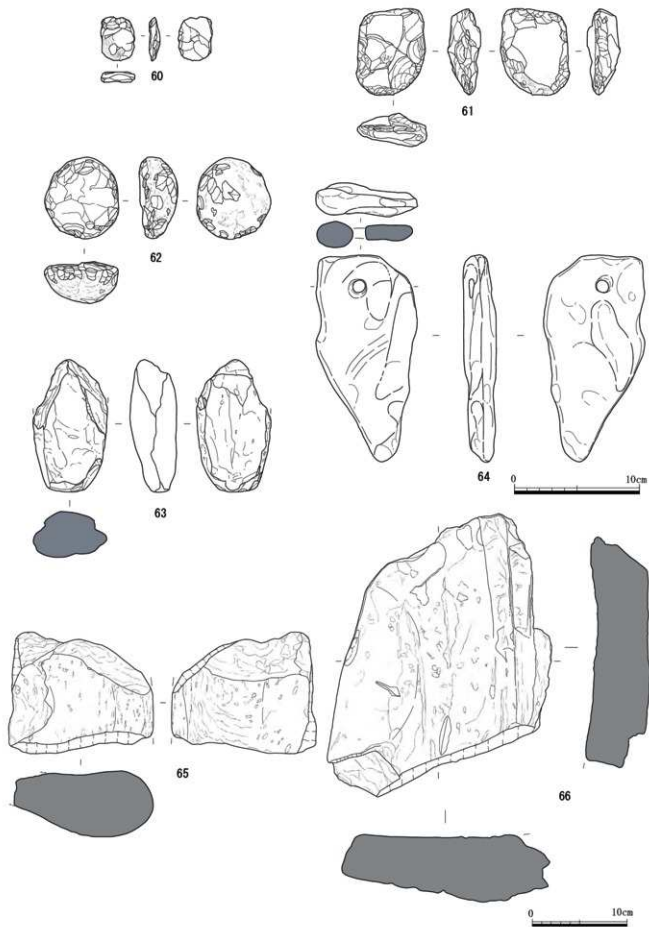
58



59

0 10cm

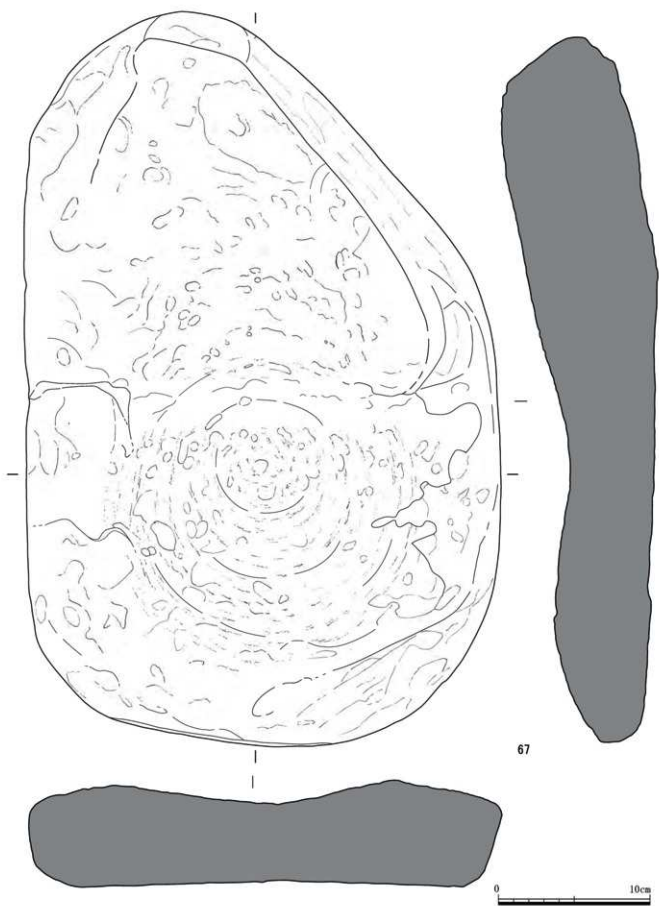
图版 36 石器 8



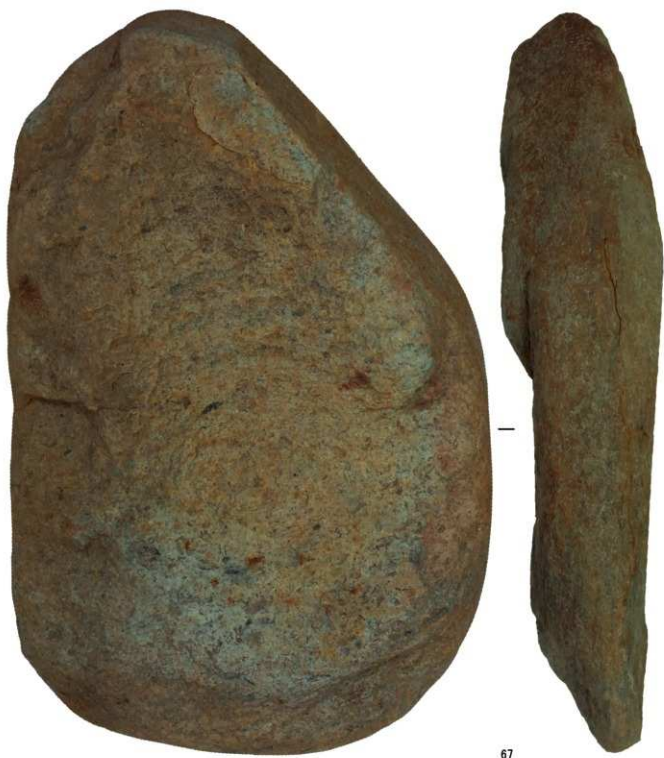
第 69 图 石器 9



圖版 37 石器 9



第70図 石器10



图版 38 石器 10

V (黄砂) 層の出土である。

・オオベッコウガサ研磨製品

オオベッコウガサは殻頂から外縁にかけてやや膨らみを持つが、外縁方向に研磨を数回施し外面を平らにするもので、特に殻の中程は研磨が顕著で真珠層を露呈する。前述の貝輪は研磨が施されていないことから、ここでは別の用途の可能性が高いと考えられ別に扱う。

図5は外殻の研磨が明瞭で、殻頂部に複数の研磨面が認められる。HB②イ地区で図4、図5はV層、図6はII層(1018SX)の出土である。後者は戦前遺構によりV層(貝塚時代後期)が壊されたためである。本品は現段階では類例は報告されていない。

・自然貝

オオツタノハは確認されていない。オオベッコウガサはHB①地区III層で1点、V層で11点、HB②イ地区V層で5点の計17点の出土である。

第16表 一枚貝製品観察一覧

(流量単位: cm. g)

| 第77図・図版41 | 図番号 | 製品番号 | 貝種 | 製品 | 完成 | 殻高 | 孔縦長 | 孔横 | 孔横 | 重さ | 観察事項 | ア | 色 | 摩 | ヘ | 風 | 地区・グリッド・層位 | 遺構・台帳(取上)番号 |
|-----------|-----|------|----------|----|-----|------------|------------|------|-----|----|---|---|---|---|---|---|-------------------------|-------------|
| 第77図・図版41 | 1 | 47 | オオツタノハ | 貝輪 | 完 | 8.2 6.3 | 5.7 4.3 | 12.8 | | | 殻:外殻の突出部分研削し、右上の凹面にへビガイ付着。縁:内はやや自然 | ○ | △ | △ | ○ | × | HB②イ K12 V (黄砂層) | 取1171 |
| | 2 | 48 | オオベッコウガサ | 貝輪 | 完 | 8.3 7.0 | 6 4.9 | 21.3 | | | 殻:殻厚い、外縁は色残り、殻頂方向に研磨あり。縁:外-僅かに剥離、内-剥離。 | × | △ | × | × | × | HB②イ L10 V (黄砂層) | 取1234 |
| | 3 | 85 | オオベッコウガサ | 貝輪 | 完 | 6.5 4.9 | 5 3.5 | 8.4 | | | 殻:殻厚い、外-色残、内-自然。縁:外-自然、内-下縁は打ち割りが顕著、曲は自然剥離。 | - | ○ | - | × | - | HB① K12 V (黄砂層) | 台732 |
| | 4 | 49 | オオベッコウガサ | 研磨 | 半欠 | 8.8 7.1 | 7 5.2 | 20.2 | | | 殻:外-研磨が著しく、貝柄様無し。内-僅かに外表残る。縁:外-やや摩耗、内-自然剥離。 | × | × | × | × | × | HB②イ K10 V (貝塚②) | 取1049 |
| | 5 | 56 | オオベッコウガサ | 研磨 | 完 | 7.4 5.9 | - | 23.6 | | | 殻:外-ほぼ全面研磨、8割ほど真珠層露呈、殻頂周縁、外縁も研磨顕著、一部自然面残る。殻頂部は4方向、体層は横位に研磨、内-表面はほぼ残る。 | × | △ | × | × | × | HB②イ L11 V (黒砂層) | 台3442 |
| | 6 | 57 | オオベッコウガサ | 研磨 | 完 | 7.5 6.0 | - | 20.9 | | | 殻:外-ほぼ全面研磨、一部真珠層露呈、殻頂周縁、外縁に自然面残る。殻頂部は縦位、体層は横位に研磨。縁:外-丸みを帯びる。 | × | ○ | × | × | × | HB②イ KL9~10M9 II 1018SX | 台3401 |
| 図・図版なし | - | 102 | オオベッコウガサ | 研磨 | 半欠 | - | 4.5 | - | 8.1 | | 殻:外縁のみ、外-色残、殻頂方向に研磨あり。内-自然、内縁-自然薄利 | - | ○ | △ | × | × | HB②イ K10 V (赤砂層) | 取1202 |
| | - | 101 | オオベッコウガサ | 研磨 | 完 | 5.8 4.6 | - | 13.0 | | | 殻:外-孔自然剥離、下位の中程研磨顕著。内-自然。縁:外-自然? | × | ◎ | × | × | × | HB① K13 V (5層黄砂層) | 台731 |
| | - | 55 | オオベッコウガサ | 貝輪 | 1/4 | - | 2.5 | | | | 殻:やや厚い、外-色残、やや滑らか。内縁-僅かに打割調整。 | × | ○ | △ | × | × | HB②イ J-K12 V 1023SX | 台3272 |

(凡例) 完:ほぼ完、◎:多・強、○:普通、△:少・弱、-:僅少、×:なし、-:不明・計測不可

<大形イモガイ>

アンボンクロザメ・クロフモドキ・ダイミョウイモなどの大形イモガイで貝輪2点、切り取り残存部2点、殻頂研磨1点、自然貝74点の計79点が出土した。

・貝輪

大形イモガイの肩部を横位に切り取った横型貝輪で、HB①地区V層で2点出土した。K12とL12の近接グリッドである。

図8は体層の殻が薄く、ダイミョウイモ(黒住同定)と考えられる。殻径6.9cm、幅2.7cmと大きな貝輪で、肩部及び体層面を丁寧に研磨加工し、ほぼ全面に丸みを帯び、裏面の凹面は自然である。図7は殻径5.8cm、幅1.8cmと前者よりは小さく、クロフモドキの貝色の特徴である茶色の斑点を残す。肩部と体層面の加工は前者よりやや粗く、肩部の縫合面は部分的に自然面を残し、体層

部の加工面は水平に研磨し、断面は方形を呈する。報告例は古座間味貝塚（1982）、地荒原貝塚（1986）、宇地泊兼久貝塚（1989）がある。

・イモガイ切り取り残存部

イモガイ横型貝輪を製作した後の残存部と考えられるもので、切り取りは肩部から幅 1.5～3.0cm を切り取るものである。体層の切り口に擦り痕を残すもので、今回 2 点確認できた。いずれも、HB②イ地区 V 層の出土である。

図 9 は最大径 5.8cm で、体層の擦り痕は 0.8～1.0cm と不規則で、殻口に数回の打割、殻底には敲きにより、丸みを帯びるもので出土例はない。図 10 は最大径 5.5cm で前者より、小ぶりである。体層の擦り痕は閉鎖し、その幅は 0.5～0.9cm と不規則で、一部に肩部を残す。殻口は殻頂方向に螺旋状に割れる。図 10 の原具の大きさを復元すると 6.0cm と図 7 の貝輪とほぼ同じ大きさで、図 10 の部分的に残る肩部と図 7 の破損部が接合される。これら 2 点は第 71 図に示したように、L12 と K10 と近いグリッドの出土である。

・イモガイ殻頂研磨

図 11 はアンボンクロナメの形を保持するものであるが、殻頂から肩部に掛けては水平に研磨を施すものである。貝色も残り、製品の製作途中と思われるが、殻径が 4.7cm と小さく、貝輪の可能性は低く、円盤状製品などの可能性が想定される。

第17表 イモガイ製品観察一覧

(計量単位:cm, g)

| 図版 | 図番号 | 製品番号 | 具種 | 完成 | 形態 | 部位 | 殻径(横)殻高(縦) | 幅(貝輪) | 孔距孔幅 | 重さ | アパタ | 色 | 厚 | 摩 | 風化 | 観察事項 | 地区・グリッド・層位遺構・台帳(取上)番号 |
|-----------|-----|------|----------|-----|---------|----|-------------|-------|------------|------|-----|---|---|---|----|---|--------------------------|
| 第78図・図版42 | 7 | 92 | クロフモドキ | 1/3 | 横型 | 肩部 | 5.8 — | 1.8 | 4.5 4.5 | 11.6 | × | ○ | × | × | × | 外殻:殻頂は自然、体層は全面研磨、断面に横位の研磨痕、片端に潰痕。内殻:殻頂の縁部分研磨、両面自然。 | HB① L12 V (4層貝輪)台642 |
| | 8 | 91 | ダイモウイモ | 2/3 | 横型 | 肩部 | 6.9 4.7 | 2.7 | 4.7 4.7 | 23.4 | × | △ | × | × | × | 外殻:全面研磨、肩部は特に研磨顯著、両面も研磨確認。内殻:殻頂の縁合、体層側も丸み帯びる。 | HB① K12 V (4層貝輪)取9 |
| | 9 | 20 | クロフモドキ | 完 | 切り取り残存部 | 体層 | 5.8 7.8 | — | — | 146 | × | ○ | × | × | △ | 外殻:体層横位に研磨、研磨幅0.8cm前後の面をなす。殻口、数回の打ち割り、殻底は叩き顯著。 | HB②イ J10 V (貝輪)台3464 |
| | 10 | 22 | クロフモドキ | 完 | 切り取り残存部 | 体層 | 5.5 10.9 | — | — | 132 | × | ○ | × | × | × | 殻頂を除去するが、一部残す。外殻は研磨1.0cmと大きい、殻口大きく破損し、螺旋状に打ち割り。殻頂部分は図7と接合可。 | HB②イ K10 V (赤砂層)台3386 |
| | 11 | 24 | アンボンクロナメ | 完 | 未製品 | 体層 | 4.7 8.7 | — | — | 142 | × | ○ | × | × | × | 外殻の殻頂部研磨顯著、外唇は縦位に割れる。製作途中。 | HB②イ V (山土層)台3190 |

(凡例)実:ほぼ完、◎:多・強、○:普通、△:少・弱、△:僅少、×:なし、—:不明・計測不可

・自然貝

大形イモガイ（アンボンクロナメ、クロフモドキ）の自然貝は後述するゴホウラ・アツソデガイと一緒、あるいは単独で貝集積遺構として検出されることが多く、また、前述したように貝輪の素材となるため、ここでは完形を中心に出土一覧（第18表）と出土平面分布（第71図）、主なものを写真（図版39）に示した。

伊礼原遺跡（2014）と同様、殻径を 0.5cm 段階ごとに分け、その出土状況を地区・層別別にまとめた（第19表）。これによると HB①地区で 36 点、HB②イ地区で 20 点、HB②ロ地区で 1 点、HB④イ地区で 16 点、HB④ロ地区 1 点の計 74 点の出土で、前 2 地区から多く得られている。第19表に示した様に殻径の出土状況を見ると 5.0～5.4cm 台が 31 点、5.5～5.9cm 台が 17 点と多く、4.5～4.9cm 台、6.0～6.4cm 台と徐々に少なくなる。これらの貝は伊礼原遺跡（2014）の貝集積SS02（図版10・第

第18表-1 大形イモガイ計測一覧

(法量単位:cm, g)

| 図版 | 図版(製品)番号 | 貝種 | 完殻 | 殻高 | 殻径a | 殻径b | 重さ | 殻頂 アバシ | 色彩 | 磨耗 | 風化 | 観察事項 | 地区・グリッド・層位 遺構・台帳(取上)番号 |
|------|----------|---------|------|-------|-----|-------|-------|-----------|----|----|--------------|---------------------------|------------------------------|
| 図版39 | 13 | アンボクノゾメ | - | 10.1 | 5.9 | 5.5 | 192.0 | △ | ○ | - | - | 外唇:縦に大きく剥離 | HB① L14 V (5層) 台415 |
| | 21 | アンボクノゾメ | 完 | 9.5 | 5.5 | 5.2 | 150.2 | × | ◎ | - | - | 外唇:2回剥離 | HB① L14 V (5層) 台727 |
| | 22 | アンボクノゾメ | 完 | 10.5 | 6.2 | 5.8 | 285.5 | △ | ○ | - | - | なし | HB① L14 V (5層) 台727 |
| | 23 | アンボクノゾメ | 完 | 9.7 | 5.5 | 5.1 | 199.0 | × | ○ | - | - | 外唇:剥離、3回 | HB① L14 V (5層) 台727 |
| | 24 | アンボクノゾメ | 完 | 10.9 | 5.0 | 5.7 | 264.0 | △ | ◎ | - | - | なし | HB① L14 V (5層) 台727 |
| | 31 | アンボクノゾメ | 完 | 8.8 | 5.2 | 4.8 | 146.4 | △ | △ | - | - | 破損 | HB① K20 V (4層遺貝層) 台742 |
| | 32 | アンボクノゾメ | 完 | 8.3 | 4.8 | 4.4 | 112.7 | × | ○ | - | - | 外唇:剥離、縦 | HB① K20 V (4層遺貝層) 台742 |
| | 33 | アンボクノゾメ | 完 | 8.5 | 5.1 | 4.7 | 151.1 | △ | △ | - | ○ | 外唇:剥離、縦 | HB① K20 V (4層遺貝層) 台742 |
| | 34 | アンボクノゾメ | 完 | 8.5 | 5.1 | 4.8 | 143.9 | ○ | ○ | - | △ | 外唇:剥離、全 | HB① K20 V (4層遺貝層) 台742 |
| | 35 | アンボクノゾメ | 完 | 8.5 | 4.9 | 4.5 | 137.9 | △ | ○ | - | - | 外唇:剥離、1回 | HB① K20 V (4層遺貝層) 台742 |
| | 36 | アンボクノゾメ | 完 | 8.5 | 5.1 | 4.8 | 153.8 | △ | ○ | - | △ | 外唇:剥離、前、2回 | HB① K20 V (4層遺貝層) 台742 |
| | 3 | アンボクノゾメ | 完 | 9.6 | 5.1 | 5.5 | 154.2 | △ | ○ | × | × | 外唇:縦のみ剥離 | HB②イ L10 V (貝層②) 台3427 |
| | 4 | アンボクノゾメ | 完 | 10.8 | 5.8 | 6.2 | 228.0 | × | ○ | × | × | なし | HB②イ L10 V (貝層②) 台3427 |
| | 18 | クロフモドキ | 完 | 10.2 | 5.6 | 6.0 | 199.5 | × | ○ | - | - | なし、石灰付着 | HB②イ L10 V (貝層③) 台3439 |
| | 19 | アンボクノゾメ | 完 | 6.9 | 3.5 | 3.7 | 55.8 | × | ○ | × | × | 外唇:細のみ剥離、石灰付 | HB②イ L10 V (貝層③) 台3439 |
| | 23 | アンボクノゾメ | 半欠 | (6.9) | 4.0 | 4.4 | 54.3 | - | ○ | × | × | 破損、石灰付着 | HB②イ L10 V (貝層③) 台3468 |
| | 15 | アンボクノゾメ | 完 | 10.8 | 6.2 | 6.6 | 306.5 | ◎ | △ | - | △ | なし | HB②イ K10 V (貝層②) 台3429 |
| 16 | アンボクノゾメ | 完 | 9.0 | 5.2 | 5.7 | 218.0 | ◎ | △ | × | △ | 外唇:剥離、縦、体層、破 | HB②イ K10 V (貝層②) 台3429 | |
| 17 | アンボクノゾメ | 完 | 10.2 | 5.4 | 5.8 | 244.5 | △ | ○ | - | - | なし、石灰付着 | HB②イ K10 V (貝層②) 台3429 | |
| 図版なし | 1 | イモガイ | 完 | - | 5.8 | 5.5 | 164.0 | × | × | ○ | ○ | 尾部磨耗 | HB④イ O2 V (Ⅴ) 台336 |
| | 8 | アンボクノゾメ | 完 | 6.7 | 4.1 | 3.8 | 49.0 | × | × | × | × | 外唇:剥離、縦 | HB④イ O2 V (Ⅴ) 台336 |
| | 9 | アンボクノゾメ | 完 | - | 5.7 | 5.1 | 106.0 | △ | △ | × | ◎ | 大きく剥離、殻底部磨耗 | HB④イ O2 V (Ⅴ) 台336 |
| | 2 | クロフモドキ | 完 | 11.6 | 7.4 | 6.4 | 329.0 | △ | △ | × | ○ | なし | HB④イ K2 V (Ⅴ) 台426 |
| | 6 | クロフモドキ | 完 | 11.2 | 6.6 | 6.1 | 258.0 | △ | △ | × | ○ | 外唇:剥離、縦 | HB④イ K2 V (Ⅴ) 台426 |
| | 7 | アンボクノゾメ | 完 | 9.0 | 6.1 | 5.7 | 215.0 | △ | △ | × | △ | 外唇:剥離、縦、殻底部磨耗 | HB④イ K2 V (Ⅴ) 台353 |
| | 14 | クロフモドキ | 完 | 10.0 | 5.8 | 5.4 | 155.0 | △ | ○ | × | △ | 外唇:剥離、2回 | HB④イ K2 V (Ⅴ) 台426 |
| | 16 | アンボクノゾメ | 完 | - | 5.4 | 5.0 | 138.0 | × | × | × | ○ | 外唇:剥離、縦 | HB④イ K2 Ⅲ (Ⅳ) 台272 |
| | 1 | アンボクノゾメ | 完 | 8.3 | 4.9 | 4.6 | 131.2 | △ | △ | - | ○ | 外唇:上剥離 | HB① P17 Ⅳ (3層青灰色シト) 台706 |
| | 2 | アンボクノゾメ | 完 | 9.1 | 5.4 | 5.0 | 181.9 | ○ | △ | - | - | 外唇:剥離、弱 | HB① M20 Ⅳ (3層) 台320 |
| | 3 | アンボクノゾメ | 完 | 11.4 | 6.7 | 6.4 | 249.0 | × | ○ | - | - | 外唇:上剥離、1回、×縁 | HB① L13 V (5層黄色砂) 台778 |
| | 4 | アンボクノゾメ | 完 | 9.3 | 5.3 | 4.9 | 185.1 | × | ○ | - | - | なし | HB① L13 V (4層) 台746 |
| | 5 | アンボクノゾメ | 完 | 10.0 | 5.9 | 5.5 | 225.0 | △ | ○ | - | - | 外唇:上剥離、1回 | HB① K16 V (5層褐色細砂質土) 台773 |
| | 6 | アンボクノゾメ | 完 | 10.8 | 6.5 | 6.1 | 257.0 | △ | ○ | - | - | なし | HB① L14 V (4層遺貝層) 台672 |
| | 7 | アンボクノゾメ | 完 | 9.8 | 5.5 | 5.2 | 132.8 | △ | △ | - | - | 外唇:剥離、縦 体層にアバシ有 | HB① P14 Ⅳ (3層青灰色シト) 台707 |
| | 8 | アンボクノゾメ | 完 | 8.5 | 5.1 | 4.7 | 110.0 | × | - | - | ○ | 外唇:剥離、弱 | HB① K17*20-K1 Ⅳ (3層) 台726 |
| | 9 | アンボクノゾメ | 完 | 9.2 | 5.6 | 5.3 | 145.0 | ○ | △ | - | △ | 大きく剥離、殻頂 体層にアバシ有 | HB① O18 Ⅳ (3層) 台790 |

(凡例) 完:ほぼ完、◎:多・強、○:普通、△:少・弱、△:僅少、×:なし、-:不明・計測不可

第18表-2 大形イモガイ計測一覧

(法量単位cm, g)

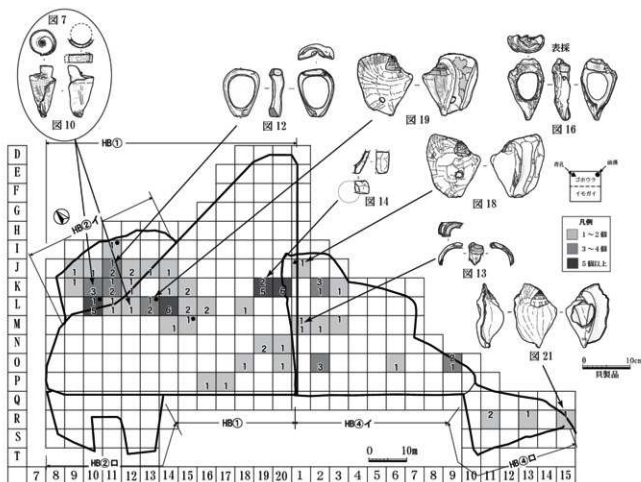
| 図版 | 製品番号 | 貝種 | 完殻 | 殻高 | 殻径a | 殻径b | 重さ | 殻頂アバタ | 色残 | 摩耗 | 風化 | 観察事項 | 地区・グリッド・層位 遺構・台帳(取上)番号 |
|------|------|-----------|----|------|-----|-----|-------|-------|----|----|----|---------------------|--------------------------------|
| | 10 | アンボンクログザメ | 完' | 9.6 | 5.1 | 4.7 | 157.4 | △ | ○ | - | ○ | 外唇:大きく剥離 | HB① N20 IV (3層青灰粘質土)台662 |
| | 11 | アンボンクログザメ | 完 | 9.1 | 5.3 | 4.9 | 165.4 | ○ | △ | - | ○ | 外唇:上剥離 | HB① O20 IV (3層青灰粘質土)台677 |
| | 12 | アンボンクログザメ | 完' | 8.2 | 5.0 | 4.6 | 149.7 | △ | △ | - | △ | 外唇:大きく剥離 | HB① III 237SK 台605 |
| | 14 | アンボンクログザメ | 完' | 8.9 | 5.1 | 4.8 | 166.7 | × | △ | - | - | 外唇:上剥離 | HB① L17-18 V (4層混貝層)台747 |
| | 15 | アンボンクログザメ | - | 9.5 | 5.3 | 5.0 | 186.3 | △ | △ | - | - | なし | HB① K14 V (4層)台682 |
| | 16 | アンボンクログザメ | 完 | 8.6 | 5.0 | 4.8 | 149.7 | △ | ○ | - | - | 外唇:剥離、弱 | HB① L15 V (4層)台733 |
| | 17 | アンボンクログザメ | 完 | 10.4 | 6.1 | 5.7 | 197.0 | △ | ◎ | - | - | なし | HB① K12'16 V (3層暗褐色シスト)台704 |
| | 18 | アンボンクログザメ | 完 | 9.3 | 5.1 | 4.9 | 129.6 | △ | ◎ | - | - | 外唇:剥離、2回 | HB① J14 V (5層)台702 |
| | 19 | アンボンクログザメ | 完 | 10.2 | 6.0 | 5.6 | 195.0 | △ | ○ | - | - | 外唇:縦剥離、全 | HB① M14 V (5層黄色砂)台669 |
| | 20 | アンボンクログザメ | 完 | 9.8 | 5.6 | 5.4 | 170.0 | △ | △ | - | ○ | 外唇:上剥離、1回 | HB① L15 V (5層)台413 |
| | 25 | クロフモドキ | 完 | 9.2 | 5.5 | 5.2 | 164.1 | △ | △ | △ | △ | 外唇:剥離、1回 | HB① N19 IV (3層青灰粘質土)台660 |
| | 26 | アンボンクログザメ | 完 | 9.9 | 5.3 | 5.1 | 186.2 | △ | ○ | - | - | 外唇:剥離1回、深い | HB① N19 IV (3層青灰粘質土)台660 |
| | 27 | アンボンクログザメ | 完 | 8.9 | 4.9 | 4.6 | 138.8 | △ | △ | - | - | 外唇:上剥離 | HB① L16 V (5層)台675 |
| | 28 | アンボンクログザメ | 完 | 8.3 | 5.1 | 4.8 | 146.0 | △ | △ | - | - | なし、△(ヤゴ付着) | HB① L16 V (5層)台675 |
| | 29 | アンボンクログザメ | 完 | 8.9 | 5.3 | 5.0 | 147.5 | △ | △ | - | △ | 外唇:剥離、縦 | HB① O-P16 IV (3層)台782 |
| | 30 | アンボンクログザメ | 完 | 8.1 | 4.8 | 4.5 | 132.2 | △ | △ | - | - | 外唇:剥離、3回 縦、かつ鉄付着 | HB① O-P16 IV (3層)台782 |
| | 1 | アンボンクログザメ | 完 | 12.6 | 7.4 | 8.0 | 519.5 | × | ○ | - | - | なし、石灰付着 | HB②イ J9 V 1042SX-D 台3416 |
| | 2 | アンボンクログザメ | 完 | 10.6 | 6.0 | 6.4 | 270.0 | △ | △ | - | - | なし、石灰付着 | HB②イ J13 V (貝層②)台3416 |
| 図版なし | 5 | アンボンクログザメ | 完 | 10.5 | 5.8 | 6.3 | 226.0 | △ | ○ | × | × | 外唇:縦剥離 | HB②イ II 1018SX 台3401 |
| | 6 | アンボンクログザメ | 完 | 9.4 | 5.3 | 5.7 | 177.9 | △ | ○ | - | - | 石灰付着 | HB②イ K11 V (貝層②)台3430 |
| | 7 | アンボンクログザメ | 完 | 9.7 | 5.1 | 5.5 | 216.5 | △ | ○ | - | - | 外唇:上剥離 | HB②イ K11 V (貝層②)台3430 |
| | 8 | アンボンクログザメ | 完 | 8.2 | 4.6 | 4.9 | 126.2 | ◎ | × | × | ◎ | 外唇:剥離縦、褐色 | HB②イ K12 V (貝層①)台3461 |
| | 9 | アンボンクログザメ | 完 | 8.1 | 4.2 | 4.5 | 115.2 | △ | ○ | × | × | 外唇:上縦損 | HB②イ J12 V (貝層②)台3467 |
| | 10 | アンボンクログザメ | 完 | 8.4 | 5.0 | 5.4 | 170.9 | △ | △ | - | ○ | 外唇:剥離、縦 | HB②イ J10-11 V (暗褐色シスト)台3451 |
| | 11 | アンボンクログザメ | 完 | 9.4 | 5.3 | 5.5 | 175.7 | △ | △ | - | △ | 外唇:剥離、縦、複数回 | HB②イ J10-11 V (暗褐色シスト)台3451 |
| | 12 | アンボンクログザメ | 完 | 8.5 | 4.8 | 5.0 | 155.3 | △ | △ | - | △ | 外唇:剥離、2回、褐色 | HB②ロ R12 III 2049SD 台3366 |
| | 13 | アンボンクログザメ | 完 | 10.3 | 5.7 | 6.1 | 265.5 | △ | △ | × | × | 褐色 | HB②イ L12 V (貝層①)台3445 |
| | 14 | クロフモドキ | 完 | 10.3 | 5.5 | 5.8 | 246.5 | ◎ | △ | - | - | 外唇:細かく剥離 | HB②イ J12 V (貝層②)台3467 |
| | 21 | アンボンクログザメ | 完 | 10.9 | 5.7 | 6.2 | 262.0 | ○ | ○ | × | × | なし、石灰付着、褐色 | HB②イ J10 V (貝層①)台3488 |
| | 3 | アンボンクログザメ | 完 | 9.7 | 5.3 | 4.9 | 125.0 | △ | △ | × | △ | 外唇:剥離、縦 | HB④イ O9 IV (IV)台352 |
| | 4 | クロフモドキ | 完 | 10.3 | 6.1 | 5.8 | 180.0 | △ | △ | × | × | 尾部摩耗 | HB④イ K3 V (IV)台324 |
| | 5 | アンボンクログザメ | 完 | 8.2 | 5.2 | 4.8 | 97.0 | ○ | △ | × | ○ | 外唇:剥離、縦 | HB④イ L2 IV (IV)台273 |
| | 10 | アンボンクログザメ | 完 | 6.3 | 4.0 | 3.8 | 64.0 | × | △ | × | △ | 外唇:剥離縦、尾部摩耗 | HB④ロ V (IV)台34 |
| | 11 | アンボンクログザメ | 完 | 8.9 | 5.2 | 4.9 | 138.0 | △ | ○ | × | × | 外唇:剥離、縦 | HB④イ M1 V (IV)台332 |
| | 12 | アンボンクログザメ | 完 | 9.7 | 6.0 | 5.7 | 160.0 | ○ | △ | × | ○ | 外唇:剥離、縦 | HB④イ M2 V (トレンチ)台239 |
| | 13 | アンボンクログザメ | 完 | 8.4 | 5.3 | 4.9 | 136.0 | △ | △ | × | ○ | 外唇:剥離、1回 | HB④イ L6 IV (IV)台330 |
| | 15 | アンボンクログザメ | 完 | 7.3 | 4.7 | 4.3 | 92.0 | △ | △ | × | ○ | 外唇:剥離、縦 | HB④イ O6 V (IV)台366 |
| | 17 | アンボンクログザメ | 完 | 8.5 | 5.1 | 4.9 | 141.0 | △ | ○ | × | △ | 外唇:剥離、縦 | HB④イ L2 IV (IV)台265 |

(凡例)完':ほぼ完、◎:多・強、○:普通、△:少・弱、△:僅少、×:なし、-:不明・計測不可

8表貝集積観察(一覧)と同じように殻口が縦位に剥離、殻口の上位のみ欠損、完形など同じような状況が見られる。平面分布をみるとL10で5点、L14で6点、K19で5点、K20で6点の出土は、前述した様に殻径の大きさ・殻の観察から貝集積遺構の可能性が高い。

第19表 大形イモガイ大きさ(殻径)別出土量

| 地区 層位 | HB① | | | | | HB②イ | | HB②ロ | | HB③イ | | | HB④ロ | | 合計 | 伊札原遺跡(2014) | | | | 伊札原D (2013) 4317SS |
|----------|-----|----|----|---|----|------|---|------|----|------|------|------|------|-----|----|-------------|---|----|----|--------------------------|
| | Ⅲ | Ⅳ | V | Ⅱ | V | Ⅲ | Ⅲ | Ⅳ | V | V | SS01 | SS02 | SS03 | 自然貝 | | | | | | |
| 3.0~3.4 | | | | | | | | | | | | | | | 0 | | | | 1 | |
| 3.5~3.9 | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | |
| 4.0~4.4 | | | | | | 2 | | | | | | | | 1 | 4 | | 4 | | | |
| 4.5~4.9 | | | 2 | 3 | | | | | | | | | 1 | | 8 | 1 | 2 | | 8 | |
| 5.0~5.4 | 1 | 6 | 11 | | | 7 | | | | 1 | 4 | | | 31 | 3 | 16 | | 11 | | |
| 5.5~5.9 | | 3 | 5 | 1 | | 5 | | | | | | | 3 | 17 | 3 | 27 | 4 | 8 | | |
| 6.0~6.4 | | | | 3 | | 2 | | | | | | | 3 | 8 | 2 | 10 | 1 | 7 | | |
| 6.5~6.9 | | | | 2 | | | | | | | | | 1 | 3 | 1 | | | 5 | | |
| 7.0~7.4 | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 2 | | | | 2 | | |
| 7.5~7.9 | | | | | | | | | | | | | | 0 | | | | 3 | | |
| 8.0~8.4 | | | | | | | | | | | | | | 0 | | | | 1 | | |
| 8.5~8.9 | | | | | | | | | | | | | | 0 | | | | 1 | | |
| 合計 | 1 | 11 | 24 | 1 | 19 | 1 | 1 | 4 | 11 | 1 | | | | 74 | 14 | 55 | 5 | 43 | | |
| 地区別計 | | 36 | | | 20 | | | 1 | | 16 | | | | | | 117 | | | 35 | |



第71図 ゴホウラ・イモガイ貝輪と自然貝出土平面分布



図版39 大形イモガイ (番号は第18表と一致)

<ゴホウラ・アツツデガイ>

ゴホウラ (ラクダガイ)・アツツデガイは貝輪7点、未製品1点、有孔製品8点、自然貝13点の計29点出土した。

・貝輪

ゴホウラを貝輪に加工したもので、腹面型と背面型があるが、本遺跡では腹面を用いたものが完形1点と破片4点が出土した。他に背面を用いたものが2点得られたが、残りのよい腹面型貝輪を図化した。

図12は完形で厚さ2.8cmの諸岡型に分類されるものである。外殻の研磨は顕著で大結節や肩部に研磨痕が確認され、内外縁の横断面は舌〜丸状を呈する。完成度の高い製品で、HB②イ地区 J11V (黄砂層)の出土である。

図13は螺塔部の次体層まで用い、研磨により貝の成長線を露呈する。図14は前溝近くを用いたもので、内外縁の研磨が顕著で丸み帯びる。図15は螺塔の縫合、瘤が残る。内外縁は打割痕や割れが確認されることから製作途中である。幅は1.6~2.6cmで諸岡型より細く、失敗品の可能性が高い。HB④イ地区 08~10IV層の出土でHB①地区からの流れ込みと考えられる。

・未製品

ゴホウラの腹面型貝輪の未完成品(図16)、背面中央穿孔(図18)、背面前溝孔のゴホウラ(図19)、アツツデガイ(図20)、袖部を打ち割りした(図21)ものを図化した。図17はラクダガイの背面を除去し、腹面を残したもので、貝全体に石灰と鉄分が付着するが後世のものと思われる。背面部分に打割を施すが、腹面には貫通しない。ラクダガイであるが、ゴホウラと貝の形状が似ることからゴホウラの代用と考えられる。HB④ロ地区 R11V (VII-IV)層の出土である。

図16は未完成品であるが、外面は縦位に粗く研磨され、内縁は打割後、研磨を施すものである。殻頂側を除去し、整えれば図12の諸岡型貝輪となるものである。伊礼原遺跡(2014)(第78図10)では側面の大結節を中心に研磨を施すが、本品はさらにほぼ全面に研磨加工が進んだもので、本遺跡内で腹面の諸岡型貝輪の加工をしたと判断されるものである。

図18は貝の背面中央に叩きによる穿孔を施すものである。HB④イ地区のサーターヤー窯跡出土である。そのため、熱を受け、袖上部が破損し、貝殻全体にヒビが入る。平成9年度の調査によると

第20表 ゴホウラ・アツソデガイ製品観察一覧

(法量単位:cm, g)

| 第9図 図版 43 | 図番 号 | 製品 番号 | 貝種 | 段階 (形態) | 部位 ^a | 完 成 | 殻高 (縦) | 殻長 (横) | 孔縦 孔横 | 重さ | ア パ タ | 色 味 | 摩 耗 | ヘ ビ | 風 化 | 観察事項 | 地区・グッド・層位 遺構・台帳(取上)番号 |
|-------------------------------|---------|----------|------------|---------------|-----------------|--------|-----------|-----------|------------|-------|-------------|--------|--------|--------|-----------------------------|---|--------------------------|
| 第 79 図 ・ 図版 43 | 12 | 50 | ゴホウラ | 貝輪 (腹面) | 腹部 | 完 | 10.1 | 7.6 | 6.8 5.6 | 79.9 | △ | × | × | △ | ▽ | 外殻:研磨顕著、大結節凸、ヘビガイの痕有り。棟線有り。内殻:螺塔研磨、一部打割残る。外殻:研磨、断面丸み。研磨、一部、自然面残す。 | HB②イ J11 V (黄砂層)取1247 |
| | 13 | 12 | ゴホウラ | 貝輪 (腹面) | 螺塔部 次体溝 | 1/3 | - | - | - | 18.0 | × | × | × | × | × | 外殻:研磨丁寧。内殻:内縁に近い所研磨顕著。内縁:研磨顕著、断面丸み。図は2の螺塔の範囲が広い。 | HB④イ M1 IV (IV)台274 |
| | 14 | 93 | ゴホウラ | 貝輪 (腹面) | 前溝孔 | 1/3 | - | - | - | 15.2 | △ | × | ○ | × | ◎ | 外殻:研磨顕著、ややアパタが見られる。内殻:自然。外縁:研磨顕著、断面丸み。内縁:研磨顕著、前溝側に平ら、体層に凸状、内外から研磨。 | HB① K19 V (4層貝層)台643 |
| | 15 | 15 | ゴホウラ | 貝輪 (腹面) | 腹部 | 1/3 | - | - | - | 19.0 | × | × | × | × | ◎ | 外殻:風化著しく、大結節残る。内殻:自然。螺輪摩耗のため不明。外縁:内縁:割れのまじ。 | HB④イ O8⑩ IV (V以下)台305 |
| ・ 背面 穿孔 | 16 | 98 | ゴホウラ | 貝輪 (腹面) | 腹部 | 完 | 13 | 7.6 | 5.7 4.4 | 113.5 | △ | × | ○ | × | × | 外殻:石灰付着。外縁:割れのまじ。螺塔の巻きに一部打割。内縁:打ち割られ、粗く磨く。 | 表採 |
| | 17 | 8 | ラクダガイ | 貝輪未製品 (腹面) | 腹部 | 完 | 16.5 | 8.8 | - | 416.0 | △ | × | ○ | - | △ | 背面除去。縦線打割。鉄分、石灰付着。 | HB④ロ R11 V (Ⅷ-IV)台435 |
| 図 なし ・ 図版 45 | 80 | ゴホウラ | 貝輪 (背面) | 袖部 | 縦 | - | - | - | 14.5 | - | - | - | - | △ | 縁:内外に掘り打割。外殻:部分的に研磨痕、方向は斜め。 | HB① P18 IV (3層青灰土層)台795 | |
| | 13 | ゴホウラ | 貝輪 (背面) | 袖部 | 縦 | - | - | - | 17.6 | × | × | △ | × | △ | 外縁:打ち割り。外殻:研磨。背面未製品。 | HB④イ M3 IV (V)台301 | |
| 第 81 図 ・ 図版 45 | 18 | 10 | ゴホウラ | 未製品 (背面穿孔) | 全形 | 完 | 11.6 | 11 | 1.2 1.3 | 433.0 | × | × | ○ | ○ | ○ | 外殻:ヒビが大きい。サターヤー出土のため、後世のものと思われる。内殻:内殻も同じ。螺塔部にヘビ貝。孔:叩き痕。全体に火を受け、もろく、ヒビが入る。 | HB④イ J II (サターヤ層)台425 |
| | 19 | 81 | ゴホウラ | 未製品 (前溝孔) | 全形 | 完 | 13.2 | 11.6 | 1.1 1.1 | 321.5 | - | ○ | - | - | - | 外殻:袖上部打ち割り剥離。前溝側剥離。内殻:石灰付着。孔:覆数取割。外殻-内殻。(黒)成貝(少し若い)。口内付着あり。 | HB① L13 V (5層黄色砂)取206 |
| | 20 | 33 | アツソデガイ | 未製品 (前溝孔) | 全形 | 完 | 13.1 | 7.7 | 1.2 1.6 | 223.5 | × | × | × | × | × | 外殻:石灰付着。穿孔。内殻:自然。孔:外殻-内殻。 | HB②イ J9 V (山土層)取1382 |
| | 21 | 7 | ゴホウラ | 未製品 (腹面穿孔) | 全形 | 完 | 13.5 | 9 | 5.0 4.8 | 172.0 | × | △ | ○ | × | ○ | 外殻:袖、を打割でカット。内殻:孔。割れ、は腹面貝輪の加工の途中。外縁:ソデ、打ち割り。内縁:螺塔を残し大きく打ち割る。、幼貝。研磨。 | HB④ロ R15 V (Ⅷ-Ⅲ)台420 |

(凡例)完:ほぼ完、◎:多・強、○:普通、△:少・弱、▽:僅少、×:なし、-:不明・計測不可、(黒):黒焦耐二実貝

サターヤー窯の下位にV層(第15図)が確認されていることから、本品はV層所属の遺物と思われる。被熱は後世の遺構であるサターヤー(窯跡1)に起因するものと思われる。

図19は小ぶりの貝で貝色が残り、前溝を穿孔し、さらに袖上部を打ち割り調整したものである。

図20はアツソデガイの前溝に穿孔したものである。貝殻は石灰分が付着するが、しっかりしている。孔は外殻→内殻に穿孔する。HB②イ地区J9V(山土層)層の出土である。

図21は背面を残す。袖部の打ち割り、腹面の穿孔、腹面の粗加工段階の可能性が高く、幼貝のため破棄した可能性も考えられる。HB④ロ地区R15V(Ⅶ-Ⅲ)層出土。

前述の大形イモガイ同様、ゴホウラ・アツソデガイの自然貝を南海産貝輪交易の対象と考え第21表、図版40に掲載した。ゴホウラ・アツソデガイの未製品(背面穿孔・前溝孔)を含めて、地区ごとの出土量をみると、HB①地区4点、HB②イ地区9点、HB②ロ地区1点、HB④イ地区5点、HB④ロ地区3点の計22点の出土である。背面穿孔のゴホウラ1点(図18)、前溝孔のアツソデガイ2点、ゴホウラ4点得られている。孔はいずれも外殻→内殻への穿孔である。

前溝孔はHB②イ地区に多いようである。また、伊礼原D遺跡(図版41)で見られたようなゴホウラのヘビガイを除去したものが(製品8)出土している。貝の保存状況を見るとイモガイと同じようにHB①地区、HB②イ地区の貝の保存は良いが、HB④イ・ロ地区の貝は風化が著しい。イモガイと

同様、貝集積遺構は検出されてないが、それに伴う背面穿孔や前溝孔の加工されたゴホウラやアツソデガイが出土することから貝集積遺構が存在したことを示唆する出土状況を示す。

第21表 ゴホウラ・アツソデガイ計測一覧

| | | | | | | | | | | | | (法線単位:cm, g) | | | | | | | |
|----|----|----|----|--------|-----|----|--------|--------|-----|-----|-------|--------------|---|---|---|---|--|------------|-------------|
| 第図 | 図版 | 図番 | 製品 | 具種 | 分類 | 完破 | 殻長 | 殻高 | 孔縦 | 孔横 | 重さ | ア | 色 | 摩 | ヘ | 風 | 備考 | 埋区・グリッド・層位 | 遺構・台帳(取上)台帳 |
| | | 1 | 83 | ゴホウラ | 前溝孔 | 完 | 12.2 | 16.9 | 2.2 | 1.0 | 357.5 | ◎ | - | - | ◎ | ○ | ヘビウ除去, 背面に研削痕著 (黒)成貝, 口内へ付着。 HB②イ M15 V (5層黄砂層)台219 | | |
| | | 2 | 26 | ゴホウラ | 前溝孔 | 完 | 13.3 | 18.7 | 2.3 | 3.5 | 661.0 | △ | × | × | △ | - | HB②イ L10 V (貝層③)台1340 | | |
| | | 3 | 28 | ゴホウラ | 前溝孔 | 完 | 11.3 | 12.6 | 1.9 | 0.9 | 275.5 | ○ | × | × | × | △ | 幼貝, 殻薄, 孔(外一内), 石灰 付着 HB②イ V (炭灰層)台3191 | | |
| | | 4 | 31 | アツソデガイ | 前溝孔 | 完 | 7.3 | 11.3 | 1.2 | 0.9 | 227.5 | ○ | × | × | ○ | - | ヘビウ除去途中, 殻口ヘビウ付 着 HB②イ V(山土層) 台3190 | | |
| | | 5 | 14 | アツソデガイ | - | 完 | 7.8 | 11.4 | - | - | 228.5 | ○ | × | △ | × | ○ | 風化。 HB④イ M1 V(Ⅷ) 台332 | | |
| | | 6 | 84 | アツソデガイ | - | 完 | 12.5 | 14.6 | - | - | 178.2 | △ | × | × | × | ○ | 風化。 HB① K19 V(Ⅷ) 台760 | | |
| | | 7 | 32 | アツソデガイ | - | 完' | 7.6 | 13 | - | - | 182.7 | × | × | × | × | △ | 石灰付着 HB②イ L11 V(黒砂層) 台3442 | | |
| 図 | 版 | 8 | 82 | ゴホウラ | - | 完 | 12.7 | 15.3 | - | - | 653.0 | ◎ | - | - | ◎ | ◎ | (黒)成貝, 口内へ付着, ヘビウ 一部除去 HB① K19 V (4層貝層)台187 | | |
| | | 9 | 1 | ゴホウラ | - | 完 | 11 | 14.5 | - | - | 248.5 | × | △ | × | × | × | 口唇著せず, 幼貝一つにまじ める。 HB④イ K2 V (Ⅷ)台426 | | |
| | | 10 | 5 | ゴホウラ | - | 完' | 9.1 | 11.7 | - | - | 108.0 | ◎ | × | × | ◎ | ◎ | 6と同一個体, アツソデ著, 軽い HB②イ O9 IV(Ⅷ) 台352 | | |
| | | 11 | 25 | ゴホウラ | - | 半欠 | (11.8) | (8.8) | - | - | 136.1 | × | △ | × | × | ○ | 石灰付着(黒)成貝, (少し重成 貝かも)付着なし。 HB②イ I11 V (貝層②)台3461 | | |
| | | 12 | 27 | ゴホウラ | - | 半欠 | 10.8 | 11 | - | - | 151.7 | ○ | × | × | × | △ | 内褶アバタ HB②イ K3191 (炭灰層)台3191 | | |
| | | 13 | 29 | ゴホウラ | - | 半欠 | 7.3 | 12.5 | - | - | 117.4 | × | × | × | × | × | 幼貝, 殻薄。 HB②イ K9 V(黄砂層) 台1379 | | |
| | | 14 | 9 | ゴホウラ | - | 半欠 | - | - | - | - | 283.0 | × | △ | × | × | △ | 腹面は加工の段階か HB④イ R11 V(Ⅷ-Ⅳ) 台446 | | |
| | | 15 | 4 | ゴホウラ | - | 半欠 | - | - | - | - | 151.0 | × | ○ | × | × | × | 幼一軽い。 HB④イ K2 V(Ⅷ) 台426 | | |
| | | 16 | 30 | ゴホウラ | - | 細 | (6.3) | (14.7) | - | - | 62.2 | × | × | × | × | × | 幼貝, チッコ付着, 袖部 HB②イ V(山土層) 台3190 | | |
| 図 | 版 | なし | 34 | ゴホウラ | - | 細 | - | - | - | - | 19.3 | × | × | × | × | △ | HB②イ R13 IV (ツカ層赤粘質土)台3363 | | |

(凡例'完':ほぼ完, ◎:多壊, ○:普通, △:少壊, △:僅少, ×:なし, -:不明/計測不可, (黒):黒住副二発見)



図版 40 ゴホウラ (番号は第 21 表と一致)

＜マガキガイ製品＞

図 22 は、マガキガイの殻頂近くの体層を横位に切り取り、中央を穿孔し、リング状にしたものである。殻頂及び体層面、殻口の研磨が顕著で、体層部分に貝模様が残る。厚さ 0.8～1.1cm と不均一で、殻頂側は内径 1.0cm、外径 1.6cm を測り、研磨が顕著なことから回転穿孔の加工途中と思われる。HB①地区 L19V 層（取 201）の出土である。木下尚子（2014）の報告によると本部町アンチの上貝塚より出土した遺物に酷似する。

＜ホシダカラ匙状製品＞

ホシダカラの背面を切り取り、周縁を研磨してスプーン状にしたものであるが、他に打割が部分的に見られるものと製作途中、あるいは失敗したものがある。ここでは完成度の高い 4 点を図示（図 23～26）し、他は観察一覧に示した。出土地をみると HB②イV 層で 1 点、HB①地区 V 層で 8 点、IV 層で 4 点の計 13 点得られた。出土状況を層別にみると V 層出土のものは L14 を中心に陸側に多く、IV 層出土は 0・P17、O18～2 の海側にまとまりが見られる。図示したものは柄があるもの（図 24・26）、と柄のないもの（図 23・25）がある。また、（図 26）は小さく、実用性に疑問が残る。図 25 は未完成品で、周縁の打ち割り状況から殻頂方向から打撃を加えて加工したものと思われる。類例は古座間味貝塚（1982）Ⅱ区 2 号住居址で報告されている。また、切り取り残存部に相当するホシダカラの殻底部分も HB①地区 L14・15V 層で 5 点、L20V 層で 1 点、L16IV 層で 1 点の計 7 点出土している。出土地は L14・15 と背面部と同じような状況を示すが、接合はできなかった。

第22表 ホシダカラ匙状製品観察一覧

| 第四図版 | 図番号 | 製品番号 | 貝種 | 完破 | 縦 | 横 | 高さ | 観察事項 | 色 | 摩 | へ | 風 | 地区・グリップ・層位 遺構・台帳(取上)番号 |
|----------------------|-------|-------|-------|-----|------|----------|------------------------|-------------------------------|---|---|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 第 82 図 ・ 図版 46 | 23 | 95 | ホシダカラ | 完 | 5.9 | 6.4 | 22.1 | 柄無し。周縁-打ち割り後、丁寧に研磨。 | ○ | × | × | × | HB② K13 V (4層a)取180 |
| | 24 | 96 | ホシダカラ | 完 | 6.5 | 5.6 | 18.1 | 柄あり。幅1.8cm。周縁-打ち割り、粗く、研磨は少ない。 | ○ | × | × | × | HB① L15 V (5層b)取194 |
| | 25 | 45 | ホシダカラ | 完 | 5.1 | 4.8 | 11.1 | 柄無し。周縁-破損、研磨あり | ○ | - | × | × | HB② K12 V (黄砂層)台3431 |
| | 26 | 100 | ホシダカラ | 完 | 4.4 | 3.6 | 8.0 | 柄幅1.8cm。 | ○ | × | × | × | HB① L14 V (黄色砂層)台713 |
| 図・ 図版 なし | 118 | ホシダカラ | 半欠 | 4.3 | 4.2 | 14.5 | 未製品、周縁打割、丁寧 | △ | ○ | × | ○ | HB① O2 IV (3層青灰粘質土)台677 | |
| | 119 | ホシダカラ | 完 | 5.7 | 5.3 | 9.5 | 未製品、周縁部分的に打割 | △ | △ | × | × | HB① O2 IV (3層青灰粘質土)台677 | |
| | 120 | ホシダカラ | 完 | 5.4 | 4.7 | 15.1 | 未製品、殻頂側から打ち割り | △ | × | × | × | HB① L14 V (4層黄貝層)台672 | |
| | 121 | ホシダカラ | 半欠 | 5.6 | 4.1 | 13.2 | 未製品、周縁は打ち割り | △ | × | × | × | HB① L14 V (4層黄貝層)台672 | |
| | 122 | ホシダカラ | 2/3 | 6.8 | 4.7 | 15.2 | 未製品、周縁に複数の打ち割りあり。孔は欠損部 | △ | × | × | × | HB① L14 V (4層黄貝層)台672 | |
| | 123 | ホシダカラ | 半欠 | 4.4 | 3.6 | 9.3 | 未製品、周縁は複数の打ち割りあり、丁寧に | △ | × | × | × | HB① L14 V (4層黄貝層)台672 | |
| | 124 | ホシダカラ | 半欠 | 4.2 | 4.6 | 11.5 | 未製品、殻頂側、打ち割り、僅かに | △ | △ | × | △ | HB① K20 V (4層黄貝層)台742 | |
| | 125 | ホシダカラ | 半欠 | 6.6 | 5.7 | 14.5 | 未製品、周縁剥離、破損 | △ | ○ | × | ○ | HB① O18 IV (3層青灰粘質土)台447 | |
| 126 | ホシダカラ | 完 | 4.7 | 4.4 | 10.5 | 未製品、周縁摩耗 | △ | ○ | × | ○ | HB① O・P17 IV (3層青灰色粘質土)台779 | | |

(凡例)完'：ほぼ完、◎：多・強、○：普通、△：少・弱、△：僅少、×：なし、-：不明、計測不可

＜ホラガイ有孔製品＞

本品はホラガイの①腹面に 2.0cm 前後を粗孔、②殻頂をカットし、③殻口を平らにするもので、使用により④背面を欠損するものうち、2 個以上の条件を満たすものを製品とする。

ボウシュウボラ（図 28）が 1 点含まれるが、この条件を満たしており、本項に含めた。

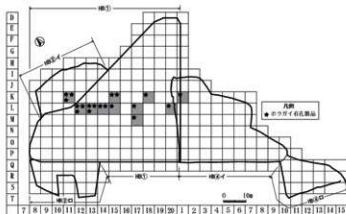
ホラガイ 18 点、ボウシュウボラ 1 点の計 19 点の出土である。地区別には HB①地区で 15 点、HB②イ地区 3 点、HB④イ地区で 1 点である。

これらの出土を平面分布（第72図）でみるとHB①地区とHB②イ地区にまたがるK11、L12～15にほぼ集中する。

製品は容器と考えられ、その容量をみると50ccから500ccまでであるが、100cc台が最も多く、全体に小さめである。図27は容量190ccと小さい。図28はボウシュボラで、黒住によると沖縄・奄美には生息例がなく、九州からもたらされたとしている

（黒住 2011）。図29はHB④イ地区K1 標高3.2mで検出されたが、アバタが多く、後世の水浸によるものと思われる。

他に、図は省略したが、製品37は容量500cc、孔径5.0cm前後と大きく、出土したホラガイ有孔製品の中で大きいもので、殻頂に伊礼原遺跡（2014）（第81図26・27）のような研磨が施されている。HB②地区イK11V層の出土である。



第72図 ホラガイ有孔製品出土平面分布

第23表 ホラガイ有孔製品観察一覧

(法量単位: cm, g)

| 第四図版 | 図番号 | 製品番号 | 貝種 | 完破 | 殻高(縦) | 殻径a | 重さ | 孔縦 孔横 | 容量 (cc) | 観察事項 | アバタ | 色 | 摩耗 | へび | 風化 | 地区・グッド・層位 遺構・台帳(取上)番号 |
|--------------|-----|------|--------|-----|--------|--------|-------|--------------|------------|----------------------------|-----|---|----|----|----|------------------------------|
| 第83図 図版47 | 27 | 56 | ホラガイ | 完 | 19.5 | 8.1 | 125.2 | 2.7 | 190 | 孔1個、孔によって殻輪まで除去。殻頂一欠。殻口自然。 | × | × | × | × | △ | HB① L17 V (5層褐色細砂質土)取199 |
| | 28 | 67 | ボウシュボラ | 完 | 15.9 | 8.3 | 161.8 | 1.8 2.3 | 150 | 孔1個、殻頂一欠、殻口調整か、背面欠損。 | ○ | △ | × | × | × | HB① K18 V層 (5層褐色細砂質土)台807 |
| | 29 | 1 | ホラガイ | 2/3 | (21.0) | (10.5) | 457.5 | 3.4 2.9 | — | — | ◎ | △ | ◎ | ◎ | × | HB④イ K1 V 取3 |
| | | 53 | ホラガイ | 完' | 23.3 | 10.5 | 607.5 | 4.9 4.1 | — | — | ◎ | △ | × | × | × | HB① L14 V (5層黄色砂)取204 |
| | | 54 | ホラガイ | 完' | 26.5 | 8.2 | 264.0 | 3.5 3.3 | — | — | × | △ | × | △ | △ | HB① L15 V (4層泥貝層)取186 |
| | | 55 | ホラガイ | 完' | 23.5 | 8.6 | 182.8 | 2.2 2.2 | — | — | △ | △ | × | △ | △ | HB① III J14.15 234SZ 台640 |
| | | 57 | ホラガイ | 完 | 16.7 | 5.8 | 114.9 | 2.1 2.1 | 110 | 孔1個、殻頂一欠(打割) | △ | ○ | × | × | × | HB① L12 V (4層泥貝層)台641 |
| | | 58 | ホラガイ | 完' | 15.2 | 5.9 | 120.3 | 2.3 2.3 | 100 | 孔1個、殻頂一欠、背面欠損 | × | △ | × | × | × | HB① K15 V (5層黄色砂)取17 |
| | | 59 | ホラガイ | 完' | 20.7 | 7.6 | 289.0 | 4.4 4.3 | — | — | △ | △ | × | × | × | HB① M17 V (5層褐色細砂層)取200 |
| | | 60 | ホラガイ | 完' | 21.2 | 6.2 | 151.2 | — | — | — | × | △ | × | × | × | HB① L13 V (5層黄色砂)台791 |
| | | 61 | ホラガイ | 完' | 13.2 | — | 54.9 | 10.7 10.7 | 50 | 孔1個、殻頂一欠、側面欠損 | × | △ | ○ | × | × | HB① L14 V (5層)台727 |
| | | 62 | ホラガイ | - | 14.2 | 3.8 | 47.2 | 3.7 3.7 | 90 | 孔1個、 | × | △ | × | × | × | HB① L13 V (5層細砂質)台772 |
| | | 63 | ホラガイ | 半欠 | 12 | 5.3 | 52.7 | 2.4 2.8 | — | — | × | △ | × | × | △ | HB① L20 V (4層)台759 |
| | | 64 | ホラガイ | 完' | 23 | 5.1 | 175.2 | 2.6 — | — | — | △ | △ | × | × | × | HB① L12 V (5層黄色砂)台758 |
| | | 65 | ホラガイ | 半欠 | 13.9 | 5.4 | 64.4 | 2.0 2.6 | 110 | 孔1個、殻頂一欠、背面欠損 | △ | ○ | × | × | × | HB① L12 V (5層黄色砂)台758 |
| | | 66 | ホラガイ | 完 | 15.5 | 5.5 | 71.7 | 2.6 2.8 | 130 | 孔1個、殻頂一欠 | × | ○ | × | × | × | HB① K15 V (5層黄色砂)台792 |
| | | 35 | ホラガイ | 完 | 15.9 | 5.2 | 80.1 | 2.4 1.9 | 100 | 孔1個(不規則) | - | ○ | - | ○ | - | HB②イ K11 V (黄砂層) 取1292 |
| | | 36 | ホラガイ | 完 | 20 | 8.4 | 154.4 | 3.1 3.1 | 300 | 孔1個、殻頂一丸み | △ | △ | - | - | △ | HB②イ K11 V (黄砂層) 取1273 |
| | | 37 | ホラガイ | 完 | 26.5 | 10.4 | 386.0 | 5.1 5.6 | 500 | 孔1個(大)、殻頂一研磨 | △ | △ | - | - | ○ | HB②イ K11 V (黄砂層) 取1275 |

(凡例) 完':ほぼ完、◎:多・強、○:普通、△:少・弱、△:僅少、×:なし、-:不明・計測不可

<二枚貝有孔製品>

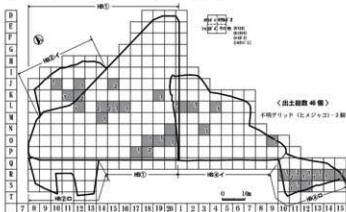
二枚貝の殻頂近くに1.0～2.0cm前後の粗孔を施すもので、伊礼原遺跡で報告したように下記の条件を2つ以上満たすものを製品とした。

- a: 孔の穿孔時に複数の打割が見られるもの
- b: 孔に複数の切り合いがあること
- c: 腹縁に複数の剝離(使用痕)が見られること

出土量をみるとキャンプ桑江北側地区の遺跡の中では、小堀原遺跡と同じく46点と少ない。貝種別にみるとリュウキュウサルボオ15点、リュウキュウシラトリ6点、リュウキュウマスオ3点、カワラガイ2点、シラナミ4点、シレナシジミ2点、ハイガイ1点、ヒメジャコ13点である。層別にIV層10点、V層35点、表採1点で、V層の出土が多い。IV層出土の遺物はV層の流れ込みの可能性が高いためV層にまとめる。地区別にはHB①地区で18点、HB④口地区で18点の出土である。なお、個別の観察一覧を第26表に示し、主なもの第82図30～35に示した。

平面分布でみるとJ12・J15・K12ではリュウキュウシラトリやリュウキュウマスオなどの薄手の貝が出土する傾向が見られ、L12～15ラインを中心にシャコガイ(シラナミ・ヒメジャコ)などが追加される。

HB④イ地区のL1のV層、L2、L4のIV層、HB④口地区西側のR・SラインのV層にシャコガイ類やリュウキュウサルボオが出土するが西側に延びる平安山原C遺跡(平成21年調査)の延長と考えられる。



第73図 二枚貝有孔製品出土平面分布

HB①地区のO18～20、P17・18ではIV層で出土している。この付近からは軽石も多く出土(第21図)することからV層に起因するものと考えられる。重量別にみると10～19gが16点、0～9gが13点、20～29gが8点と三者で全体の80.4%を占め、伊礼原遺跡(2014)と同じような傾向を示す。なお、殻が軽く、薄いリュウキュウシラトリやリュウキュウマスオは孔の位置などからシャコガイ類やリュウキュウサルボオなどと同じ用途を持つものかは疑問が残る。

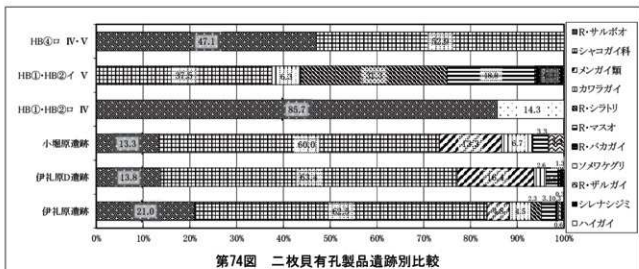
第24表 二枚貝有孔製品・地区別出土量

| 貝種 | 地区 層位 | | | | | | | 合計 |
|------|--------|-------|--------|-------|--------|------|------|----|
| | R・サルボオ | R・マスオ | R・シラトリ | カワラガイ | シレナシジミ | ハイガイ | シラナミ | |
| HB① | IV | 5 | | | | 1 | | 6 |
| | V | | 2 | 4 | | 1 | 1 | 4 |
| HB②イ | V | | 1 | 1 | 1 | | | 1 |
| HB②ロ | IV | 1 | | | | | | 1 |
| HB④イ | IV | 1 | | 1 | 1 | | | 3 |
| | V | | | | | 1 | 1 | 2 |
| HB④口 | V | 8 | | | | | 2 | 7 |
| | 表採 | | | | | | | 1 |
| 合計 | 15 | 3 | 6 | 2 | 2 | 1 | 4 | 13 |
| | | | | | | | | 46 |

第25表 二枚貝有孔製品・重量別出土量

| 貝種 | 重量別 | | | | | | | 合計 |
|-------|--------|-------|--------|-------|------|--------|------|----|
| | R・サルボオ | R・マスオ | R・シラトリ | カワラガイ | シラナミ | シレナシジミ | ハイガイ | |
| 0～9 | 1 | 3 | 6 | 2 | | | 1 | 13 |
| 10～19 | 7 | | | | 3 | 1 | 5 | 16 |
| 20～29 | 6 | | | | | | 1 | 8 |
| 30～39 | | | | | | | 2 | 2 |
| 40～49 | 1 | | | | 1 | | | 2 |
| 50～59 | | | | | | 1 | 1 | 2 |
| 60～69 | | | | | | | | 0 |
| 70～79 | | | | | | | 1 | 1 |
| 100～ | | | | | | | 2 | 2 |
| 合計 | 15 | 3 | 6 | 2 | 4 | 2 | 13 | 46 |

R:リュウキュウの意



貝種別の出土状況を地区別と他の遺跡と比較した。出土地区に関してはHB①・HB②イ地区V層(貝塚時代後期)でシャコガイ類が37.5%、リュウキュウシラトリが31.3%、リュウキュウマスオが18.8%、HB④口地区のIV・V層(平安山原C遺跡に近接)でリュウキュウサルボオ47.1%、シャコガイ類52.9%、HB①、HB②ロ地区のIV層(自然流路)ではリュウキュウサルボオ85.7%と主体となる貝種が変化するようである。他の遺跡と比較すると小堀原遺跡(2012)、伊礼原D遺跡(2013)、伊礼原遺跡(2014)ともシャコガイ類が優位を占めていることから本遺跡のIV層は様相を異にするようである。

第26表-1 二枚具有孔製品観察一覧

(数量単位: cm, g)

| 第26表-1 | 図番号 | 製品番号 | 貝種 | R-L | 完・破 | 殻高(縦) | 殻長(横) | 重さ | 孔縦 | 孔位置 | 孔一円 方形・六角 形・楕円 | 孔打 | 穿孔 方向 | 観察 | 状態 | 地区・グリップ・層位 遺跡・台帳(取上)番号 | |
|--------|--------|------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|------------|------------|----------------------|--------|----------|------|----------|------------------------------|--------------------------------|
| 第26表-1 | 第26表-1 | 30 | 22 | Rシラトリ | L | 完 | 2.9 | 3.6 | 2.0 | 0.8 0.9 | 上中 | やや方形 | 単 | 内→外 | × | 色残○ | HB④イ L4 IV (V) 台314 |
| | | 31 | 41 | Rサルボオ | R | 完 | 3.9 | 5.7 | 10.7 | 1.0 1.4 | 上後 | 楕円 | 単 | 内→外 | × | 摩耗△ | HB④ロ R11 V (VII-IV) 台432 |
| | | 32 | 42 | シラナミ | R | 完 | 4.1 | 6.5 | 12.2 | 0.6 1.0 | 上前 | 楕円上ハガレ | 単 | 内→外 | × | ヒレあり | HB④ロ R12 V (VII-IV) 台412 |
| | | 33 | 16 | ヒメジャコ | L | 完 | 4.1 | 6.1 | 16.4 | 0.6 0.8 | 上中 | 横楕円 | 複 | 内→外 | 中○・後○ | 摩耗△ | HB④ロ S11 V (VI) 貝層群III 台424 |
| | | 34 | 43 | ヒメジャコ | L | 完 | 7.4 | 10.0 | 72.0 | 2.9 2.4 | 中中 | 縦楕円 | 複 | 内→外 | 後△ | 摩耗○ | HB②イ K11 V (黄砂層上層) 取1231 |
| 第26表-1 | 第26表-1 | 35 | 44 | シラナミ | R | 完 | 9.3 | 12.5 | 17.0 | 1.5 1.8 | 上前 | 方形上ハガレ | 複 | 内→外 | 前○・中○・後◎ | アバタ◎ | HB④イ L1 V (VII) 台344 |
| | | 37 | Rシラトリ | R | 完 | 4.4 | 3.2 | 3.8 | 1.1 1.3 | 上前 | 円 | 複 | 内→外 | × | × | HB① K12 V (5層黄色砂) 台732 | |
| | | 38 | ヒメジャコ | L | 完 | 7.0 | 4.6 | 17.5 | 1.3 1.5 | 上中 | 方形 | 複 | 内→外 | 中○ | × | HB① L14 V (4層混貝層) 台674 | |
| | | 39 | ヒメジャコ | L | 完 | 11.2 | 8.6 | 113.5 | 1.6 2.5 | 上前 | 方形 | 複 | 内→外 | × | × | HB① L14 V (5層黄色砂) 台310 | |
| | | 40 | ヒメジャコ | L | 完 | 8.4 | 6.0 | 39.5 | 1.8 1.1 | 中中 | 楕円 | 複 | 内→外 | × | × | HB① L15 V (5層褐色混砂質土) 台540 | |
| | | 41 | ヒメジャコ | R | 完 | 12.5 | 8.3 | 174.0 | 1.7 3.7 | 中中 | 楕円 | 複 | 内→外 | × | × | HB① L15 V (5層褐色混砂質土) 台540 | |
| | | 42 | シラナミ | R | 完 | 14.1 | 5.5 | 40.4 | 1.7 1.9 | 上前 | 方形 | 複 | 内→外 | × | × | HB① L12 V (4層混貝層) 台398 | |
| | | 43 | Rサルボオ | L | 完 | 5.2 | 3.7 | 11.9 | 0.8 0.9 | 殻頂 | 楕円 | 単 | 外→内 | × | × | 摩耗△ | HB① P18 IV (3層青灰シルト) 台711 |
| | | 44 | Rサルボオ | L | 完 | 5.8 | 4.3 | 24.4 | 0.8 1.0 | 殻頂 | 横楕円 | 単 | 外→内 | × | × | 摩耗△ | HB① P18 IV (3層青灰シルト) 台711 |
| | | 45 | Rサルボオ | R | 完 | 5.4 | 4.0 | 16.3 | 1.8 1.9 | 殻頂 | 楕円 | 単 | 外→内 | 前中後△ | × | 摩耗△ | HB① O18 IV (3層青灰粘質土) 台447 |
| | | 46 | Rマスオ | R | 完 | 6.4 | 4.3 | 8.0 | 1.1 1.2 | 上後 | 方形 | 単 | 内→外 | × | × | 摩耗△ | HB① M14 V (5層黄色砂) 台669 |

(凡例) 完・ほぼ完、◎・多・強、○・普通、△・少・弱、△・僅少、×なし、一不明・計量不可、R:リュウキュウ

第26表-2 二枚貝有孔製品観察一覧

(質量単位: cm, g)

| 原図版 図番号 | 製品 番号 | 貝種 | R-L | 完 破 | 殻高 (縦) | 殻長 (横) | 重さ | 孔縦 孔横 | 孔位 置 | 孔一内 方形・ナリ構 造・種・長 | 孔打 | 穿孔 方向 | 腹縁 | 状態 | 地区・グッド・層位 遺構・台帳(取上)番号 |
|------------|----------|--------|-----|--------|-----------|-----------|------------|------------|---------|------------------------|-----|----------|---------|-------------------------|---------------------------------|
| | 47 | Rシラトリ | R | 完 | 3.6 | 2.7 | 2.0 | 1.1 1.0 | 中中 | 楕円 | 単 | 内→外 | × | × | HB① J15 V (5層褐色細砂質土) 台701 |
| | 48 | Rシラトリ | R | 完 | 3.6 | 3.1 | 2.7 | 0.8 0.9 | 中中 | 楕円 | 単 | 内→外 | 中・△ | × | HB① J15 V (5層褐色細砂質土) 台701 |
| | 49 | Rシラトリ | R | 完 | 4.3 | 3.4 | 3.3 | 1.0 1.1 | 上前 | 方形 | 複 | 内→外 | × | × | HB① L16 V (5層褐色細砂質土) 台717 |
| | 50 | Rマサオ | R | 完 | 6.0 | 4.2 | 9.7 | 1.1 1.1 | 上後 | 円 | 複 | 内→外 | 中後・○ | 色残○ | HB① L15 V (5層黄色砂) 台792 |
| | 51 | ハイガイ | R | 完 | 5.4 | 4.5 | 23.5 | 1.0 1.1 | 殻頂 | 楕円 | 単 | 外→内 | × | 風化◎ | HB① O20 IV (3層青灰粘質土) 台677 |
| | 52 | シラナシジミ | R | 完 | 6.2 | 5.4 | 17.3 | 1.1 0.9 | 上中 | 不定形 | 単 | 内→外 | 中後・○ | ア・バク○ | HB① K19 V (4層黒貝層) 台679 |
| | 90 | Rサルボオ | L | 完 | 12.1 | 4.4 | 27.9 | 1.2 1.5 | 上中 | 楕円 | 複 | 内→外 | × | 風化△ | HB① P17 IV (3層青灰シルト) 台590 |
| | 91 | Rサルボオ | R | 完 | 6.0 | 4.3 | 29.6 | 0.9 1.2 | 殻頂 | 楕円 | 単 | 外→内 | × | 風化△ | HB① O19 IV (3層青灰シルト) 台589 |
| | 44 | Rマサオ | R | 完 | 3.1 | 5.2 | 5.1 | 0.9 1.1 | 上後 | 横楕円 | 複 | 内→外 | × | 風化△ | HB②イ K12 V (貝層①) 台3285 |
| | 52 | カワラガイ | R | 完 | 3.9 | 3.6 | 6.5 | 0.9 0.7 | 上中 | 縦楕円 | 単 | 内→外 | × | 摩耗△ | HB②イ J-K10 V (灰砂層) 台3177 |
| | 53 | Rシラトリ | L | 完 | 3.0 | 4.2 | 2.7 | 1.0 1.2 | 中中 | 方形 | 複 | 内→外 | × | × | HB②イ J12 V (黒砂層) 台3488 |
| | 54 | Rサルボオ | L | 完 | 4.0 | 6.1 | 21.0 | 0.8 1.1 | 殻頂 | 横楕円 | 単 | 外→内 | 中・△ | 風化○ | HB②ロ S12 IV (ガス層黒色粘質土) 台3371 |
| 図・ 図版なし | 1 | ヒメジャコ | R | 完 | 3.7 | 5.8 | 9.4 | 0.9 1.3 | 上前 | 不定形 | 複 | 内→外 | 後・× | 摩耗△ | HB③ロ V (VI) 台339 |
| | 2 | Rサルボオ | R | 完 | 3.9 | 5.6 | 18.1 | 0.6 0.7 | 上中 | 円 | 複 | 内→外 | 前・中・後・△ | 摩耗○ | HB③ロ S11 V (VI) 貝層③III 台421 |
| | 3 | Rサルボオ | R | 完 | 3.9 | 5.6 | 13.0 | 0.7 0.9 | 殻頂 | 楕円 | 複 | 外→内 | × | 色残△ | HB③ロ R15 V (VII-III) 台419 |
| | 4 | Rサルボオ | R | 完 | 3.9 | 6.0 | 12.9 | 1.1 1.6 | 殻頂 | 楕円 | 単 | 外→内 | △ | 摩耗○ | HB③ロ R11 V (VII-IV) 台433 |
| | 10 | Rサルボオ | L | 完 | 4.1 | 6.1 | 19.0 | 0.9 1.0 | 上中 | 楕円 | 複 | 内→外 | × | × | HB③ロ R13 V (VI) 台337 |
| | 11 | ヒメジャコ | R | 半欠 | 5.1 | 4.0 | 13.8 | 0.9 1.3 | 上前 | 方形 | 複 | 内→外 | 前・中・後・△ | 摩耗△ | HB③ロ R13 V (VII-II) 台403 |
| | 12 | ヒメジャコ | R | 完 | 3.9 | 5.9 | 12.8 | 0.6 0.7 | 上前 | 楕円 | 複 | 内→外 | 前・中・後・△ | 摩耗△ | HB③ロ R11 V (VII-IV) 台320 |
| | 13 | ヒメジャコ | L | 完 | 4.9 | 6.9 | 23.7 | 0.8 1.2 | 上中 | 方形 | 複 | 内→外 | × | 摩耗△ | HB③ロ 表採 台320 |
| | 17 | ヒメジャコ | L | 完 | 5.1 | 7.1 | 34.7 | 0.7 1.2 | 上前 | 不定形 | 複 | 内→外 | 前中後・△ | 摩耗△ | HB③ロ R11 V (VII-IV) 台434 |
| | 19 | ヒメジャコ | L | 完 | 3.9 | 5.4 | 10.7 | 0.9 1.1 | 上前 | 方形 | 複 | 内→外 | 前・中・後・△ | × | HB③ロ R14 V (VII-I) 台397 |
| | 20 | ヒメジャコ | R | 完 | 6.8 | 9.7 | 58.3 | 1.4 1.3 | 上前 | 円 | 複 | 内→外 | 後・○ | 摩耗△ | HB③ロ V (VII) 台340 |
| | 21 | カワラガイ | L | 完 | 4.3 | 3.8 | 8.1 | 0.6 0.5 | 上中 | 楕円 | 単 | 内→外 | × | 摩耗△ | HB④イ O9 IV (VII) 台352 |
| | 26 | シラナシ | R | 完 | 4.3 | 6.4 | 14.9 | 1.2 1.1 | 中中 | 楕円 | 複 | 内→外 | 前・中・後・△ | 摩耗△ | HB④ロ R10.11.12 (V) 台387 |
| | 32 | Rサルボオ | L | 完 | 3.5 | 5.2 | 8.6 | 0.6 0.6 | 殻頂 | 楕円 | 単 | 外→内 | × | 摩耗○ | HB④ロ R15 V (VII-II) 台429 |
| | 34 | Rサルボオ | L | 完 | 4.3 | 6.4 | 29.3 | 1.0 0.9 | 上中 | 丸 | 複 | 内→外 | 前・中・後・△ | 摩耗△ | HB④ロ R10 V (VII-IV) 台394 |
| | 38 | Rサルボオ | R | 完 | 4.8 | 6.9 | 29.3 | 1.0 0.8 | 上中 | 楕円 | 複 | 外→内 | × | 色残△ | HB④ロ R12 V (VII) 台394 |
| 39 | シラナシジミ | R | 完 | 7.6 | 8.8 | 59.7 | 1.4 1.3 | 上中 | 不定形 | 複 | 内→外 | × | ア・バク○ | HB④イ N3 V (VII) 台334 | |
| 40 | Rサルボオ | L | 完 | 4.5 | 7.4 | 45.7 | 1.2 1.6 | 殻頂 | 不定形 | 複 | 外→内 | 後・○ | 風化△ | HB④イ L2 IV (V) 台313 | |

(凡例) 完: ほぼ完, ◎: 多・強, ○: 普通, △: 少・弱, △: 全破, ×: なし, -: 不明・計測不可, R: 右ウキウ

<スイジガイ製利器>

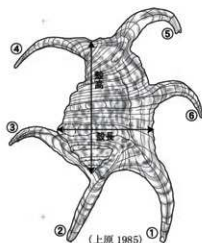
模式図に示した突起番号①を研磨したもので、HB①地区のV層で2点出土した。図36は完形、図37は殻頂と腹面を破損する。伊礼原E遺跡(2010)の分類に従うといずれもB①タイプに分類される。スイジガイ利器としては一般的である。

<イトマキボラ製ノミ状製品>

図38イトマキボラの殻軸部分を棒状に加工し、先端をノミ状に加工したもので、1点出土した。

完形品で刃をみると片刃、平面形は丸刃をなし、大きさは長さ8.9cm、径1.7cm、重さ29.1gを測る。全面を研磨し、削り込んでいることから、かなり大きいイトマキボラを用いたものと思われる。頭部側が殻頂で、刃部側が殻軸先を用いる。HB②イ地区V層(黄砂層上面)(取1228)の出土である。

イトマキボラ製の利器の報告例をみると貝殻を残したものではシスグ堂遺跡(1985)、大原貝塚(1980)、殻軸のみの加工は地荒原貝塚(1986)、古座間味貝塚Ⅱ区4号住居(1982)、宇地泊兼久原遺跡(1989)で得られているが、本遺跡のように石器のように加工されているは初めてである。



第75図 スイジガイ突起番号

第27表 スイジガイ製利器観察一覧

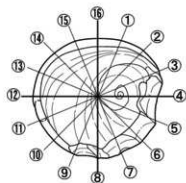
| 第図 図版 | 挿図 図反 | 製品 番号 | 分類 | 突起 | | | | | | 重さ | 殻高 (縦) | 殻長 (横) | ア バ タ | 摩 耗 | ヘ ビ | 風 化 | 地区・グッド・層位 遺構・台帳(取上)台帳 | | |
|----------------|----------|----------|----|----|----|---|----|----|---|----|-----------|-----------|-------------|--------|--------|--------|--------------------------|---|----------------------|
| | | | | 完破 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | | | | | | | | ⑥ | 上 | 下 |
| 第33 図版 挿 | 36 | 88 | B | 完 | 研磨 | 欠 | 半欠 | 半欠 | 欠 | 半欠 | 446.5 | 20 | 16 | ○ | × | × | - | △ | HB①L15V (4層)台639 |
| | 37 | 89 | B | 破 | 研磨 | 破 | 欠 | 欠 | 欠 | 半欠 | 374.5 | 13.1 | 21.4 | × | × | × | - | ○ | HB①L12V (黄色砂)取210 |

(凡例)完:ほぼ完, ◎:多・強, ○:普通, △:少・弱, ◻:僅少, ×:なし, -:不明・計測不可

<螺蓋製貝斧>

ヤコウガイの蓋の薄い部分を連続して打ち割り、刃状にしたものでHB①V層で3点、HB②イ地区V層で2点の計5点出土した。図39はHB①地区V層、図40はHB②イ地区V層出土のものである。いずれも附刃の方向が一方のAタイプ(伊礼原E遺跡2010)である。

出土した製品はほとんど縦が7cm以上の大きいタイプである。1点だけ(製38)、6.5cmの小さいのが出土したが、附刃の範囲は他と同様大きい。



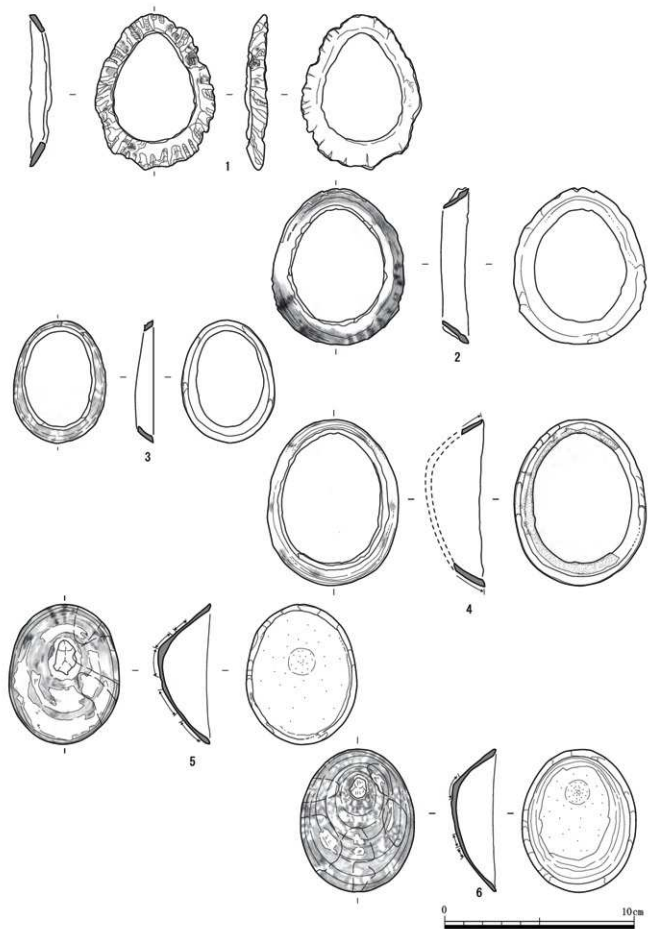
『シスグ堂遺跡』(1985)

第76図 ヤコウガイの蓋附刃分布

第28表 螺蓋製貝斧観察一覧

| 第図 図版 | 図番 号 | 製品 番号 | 完破 | 縦 | 横 | 重さ | 附刃範囲 | 観察事項 | 貝状態 | 地区・グッド・層位 遺構・台帳(取上)番号 |
|----------------------------|---------|----------|-----|-----|-------|-------|---------------|--------------|--------------------------|--------------------------|
| 第33 図版 挿 | 39 | 70 | 完 | 7.1 | 7.8 | 146.9 | 附刃A⑥~⑩ | 打ち割りは細かく、規則的 | 色残○ | HB① L16 V 5層(黄色砂)台694 |
| | 40 | 39 | 完 | 7.2 | 8.1 | 169.0 | 附刃A④~⑥ | 打ち割りは細かく、規則的 | 色残○ | HB②イ K12 V (貝層②)台3284 |
| 図 ・ 図 版 な し | 68 | 完 | 7.3 | 8.2 | 152.2 | 附刃⑩~⑬ | 打ち割り大きく、やや不連続 | 色残△ | HB① L14 V (5層)台727 | |
| | 69 | 完 | 7.3 | 7.9 | 149.1 | 附刃⑦~⑩ | 打ち割りが不連続 | 風化△ | HB① K20 V 4層(黒貝層)台742 | |
| | 38 | 完 | 6.5 | 7.4 | 119.4 | 附刃④~⑥ | 打ち割りが細かく、丁寧 | 風化△ | HB②イ J11 V (貝層②)台3286 | |

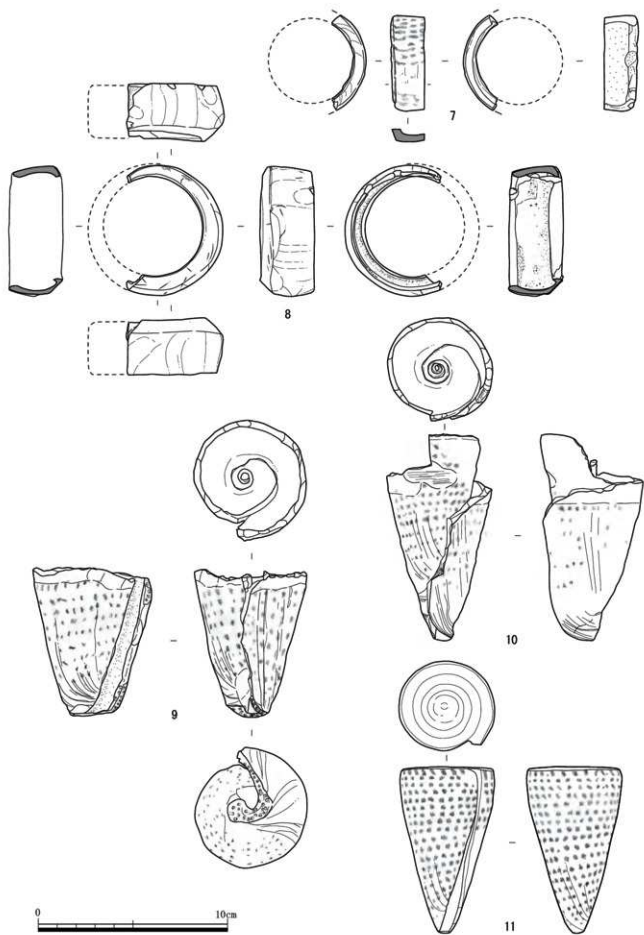
(凡例)完:ほぼ完, ◎:多・強, ○:普通, △:少・弱, ◻:僅少, ×:なし, -:不明・計測不可



第 77 図 貝製品 1



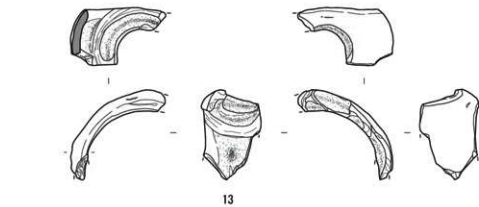
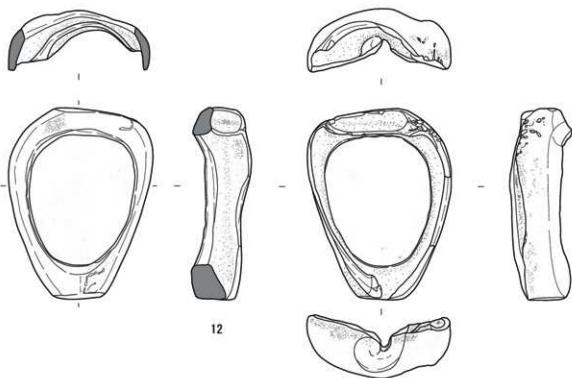
图版 41 貝製品 1



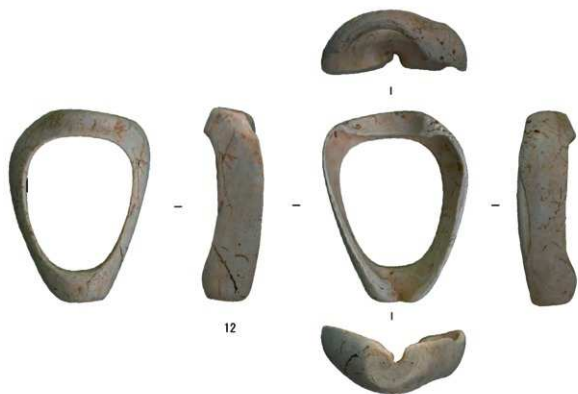
第77圖 貝製品2



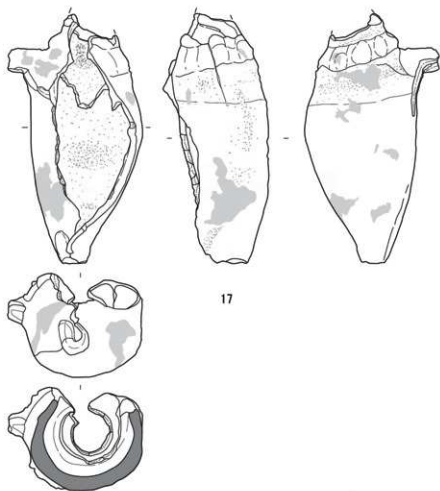
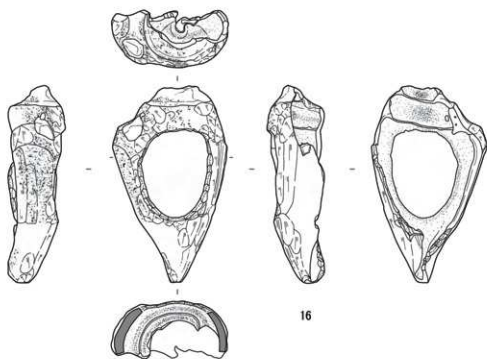
图版 42 貝製品 2



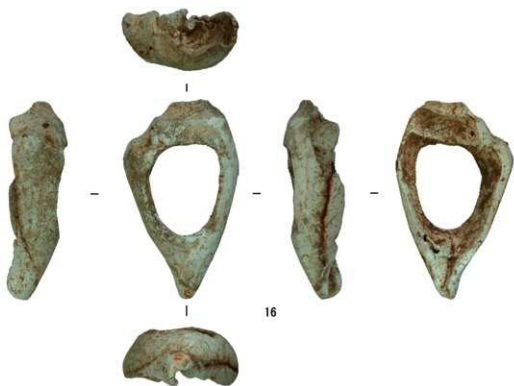
第79図 貝製品3



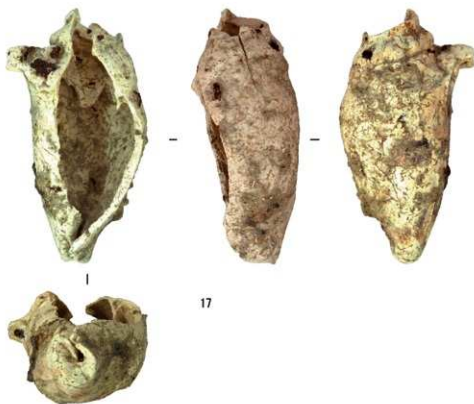
図版 43 貝製品 3



第 80 図 貝製品 4



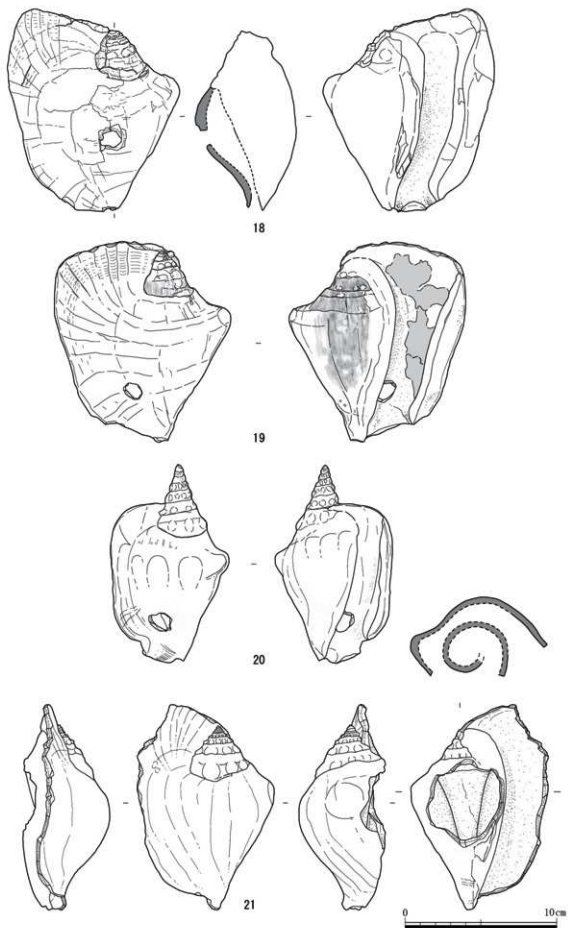
16



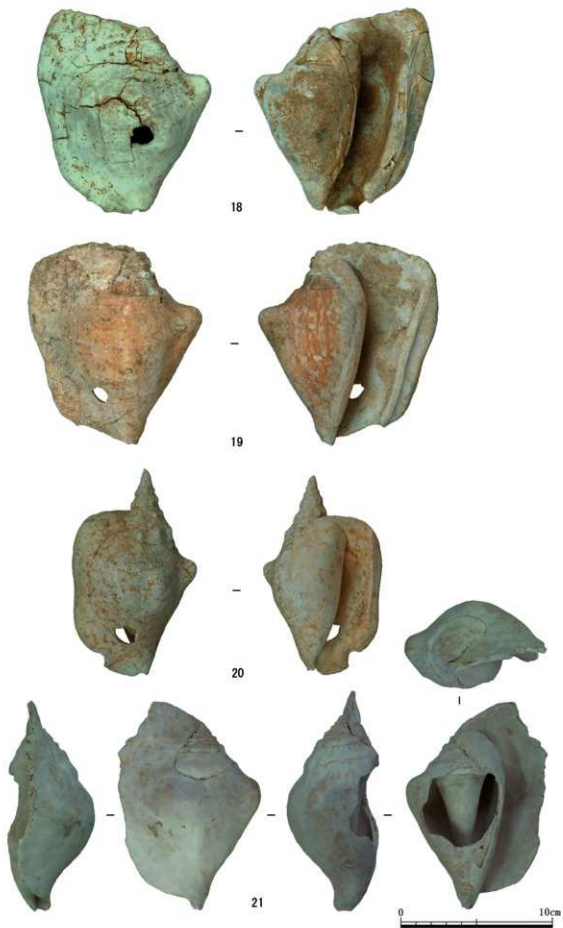
17



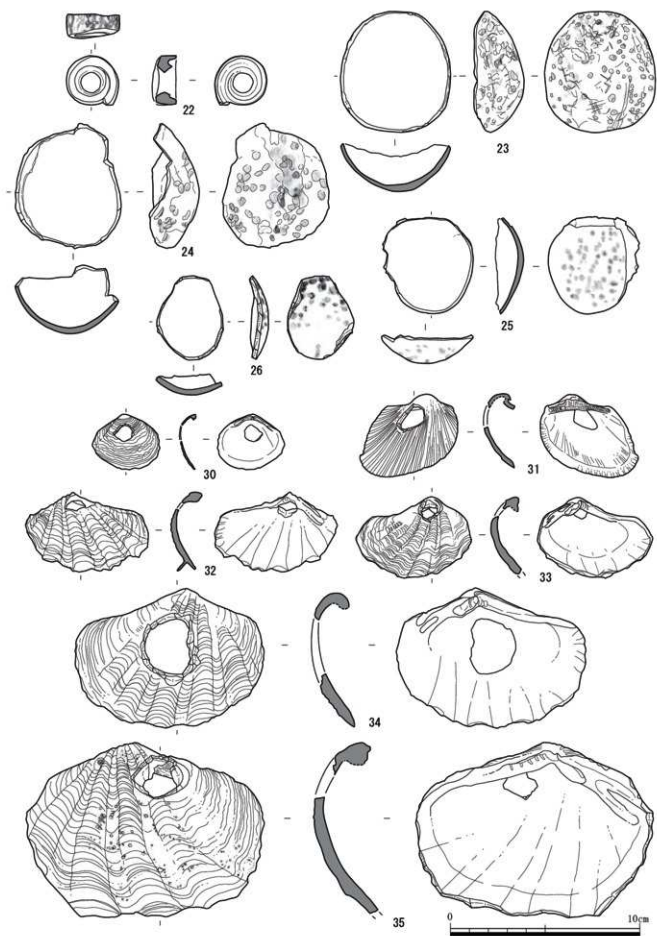
图版 44 貝製品 4



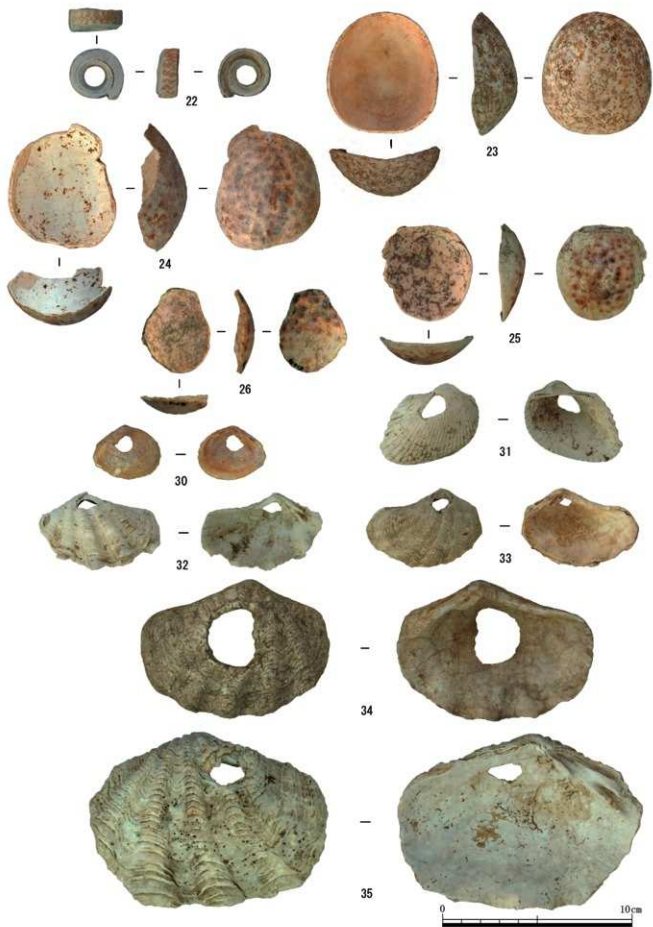
第 81 図 貝製品 5



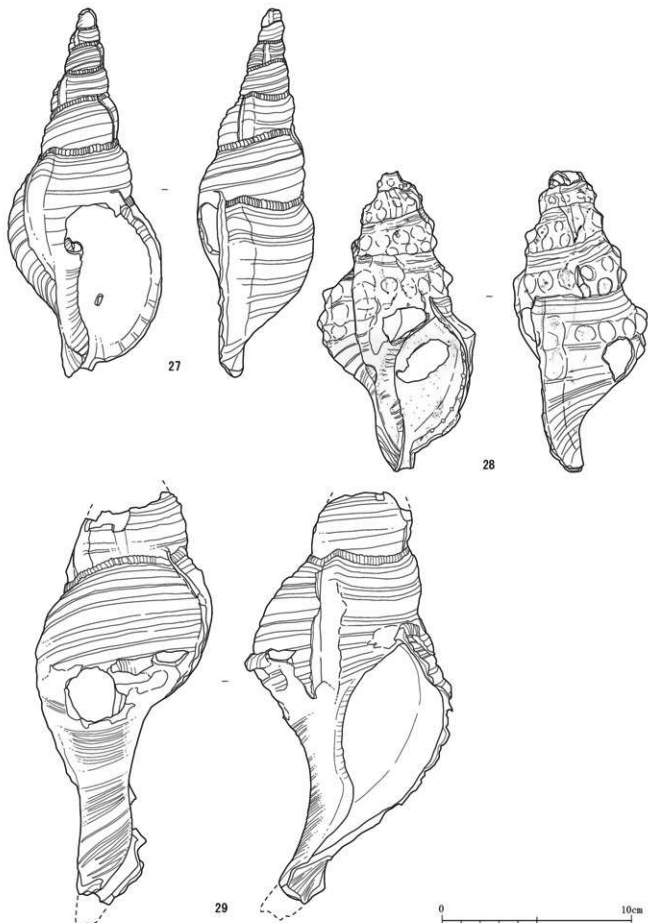
図版 45 貝製品 5



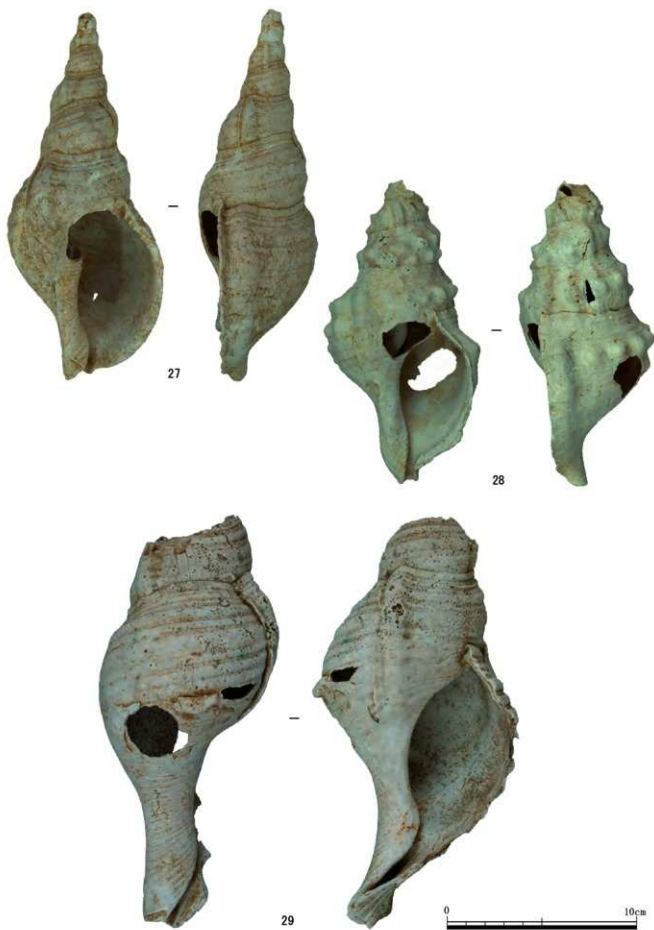
第 82 図 貝製品 6



图版 46 貝製品 6



第 83 圖 貝製品 7



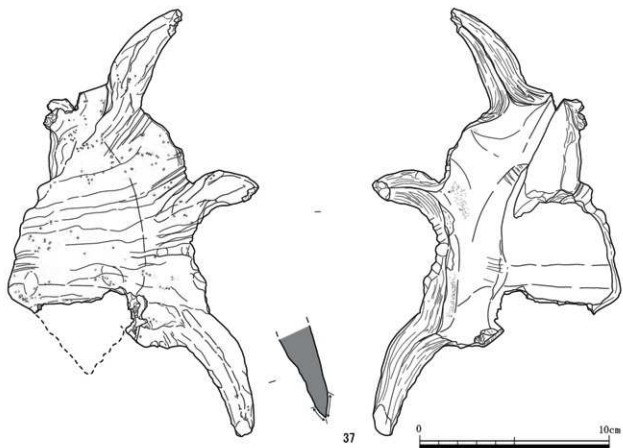
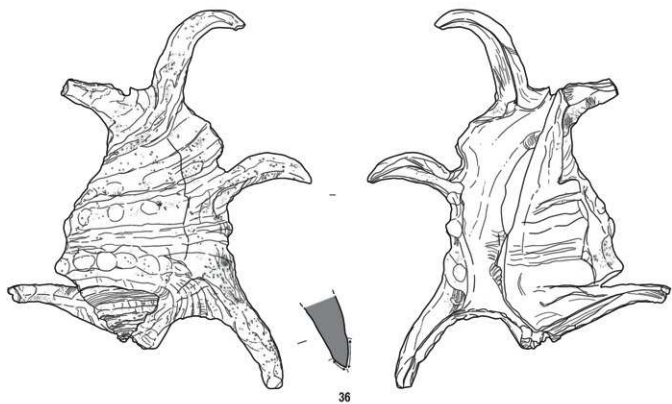
27

28

29

0 10cm

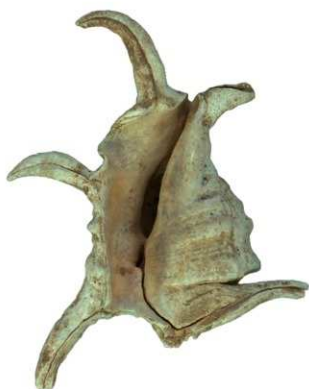
図版 47 貝製品 7



第 84 図 貝製品 8



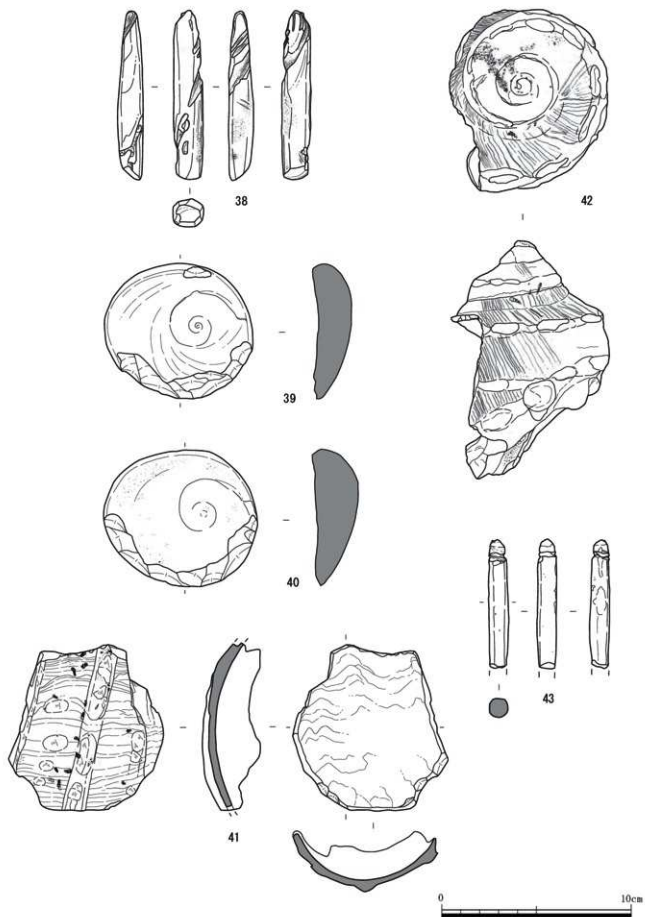
36



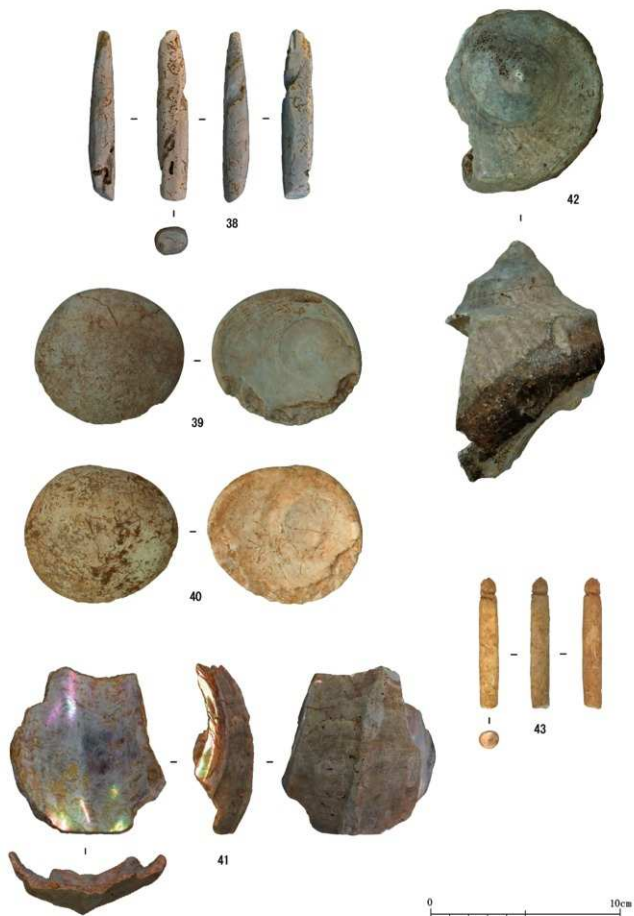
37



圖版 48 貝製品 8



第 85 図 貝製品 9

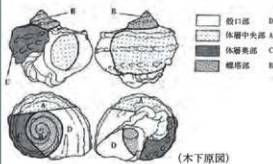


图版 49 貝製品 9

④イ・ロ地区は出土数が多い割に細片である。貝殻も風化しているものが多く、大形イモガイやゴホウラの自然貝と同じような傾向を示す。HB①・HB②イ地区の殻は大きく、その形状は貝匙の切り取り残存部（図版50）と思われる。



図版 50 ヤコウガイ（番号は第 29 表と一致）



第 86 図 ヤコウガイの部位の分類

・パイプユニ製品

図 43 はパイプユニの棘を全面研磨し、横断面は円形を呈するもので先端部を欠損する。基部近くに螺旋状に溝を圍繞するものである。残存する大きさは、長さ 6.8cm、径 1.0cm、重さ 4.6g を測る。

HB①地区 N20 IV 層の出土。伊礼原遺跡（2014）でも出土するが、加工の仕方が異なる。

<註・参考文献>

沖縄県教育委員会 1980『大原貝塚』沖縄県文化財調査報告書第 32 集

沖縄県教育委員会 1982『古座間味貝塚』沖縄県文化財調査報告書第 43 集

沖縄県教育委員会 1985『シスグ堂遺跡』沖縄県文化財調査報告書第 67 集

具志川市教育委員会 1986『地荒原貝塚—個人住宅建築工事に係る発掘調査報告—』

黒住耐二 2011 第 2 部『琉球先史時代人とサンゴ礁資源—貝類を中心に—』高宮広士・伊藤慎二（編）考古学リーダー—19『先史・原始時代の琉球列島—ヒトと景観—』六—書房

北谷町教育委員会 2014『伊礼原遺跡（国指定外）・伊礼原 A 遺跡』北谷町文化財調査報告書第 36 集

木下尚子 2014『マカギガイの指輪—弥生時代の貝製指輪—』先史学・考古学論究 IV 龍田考古学会

北谷町教育委員会 2010『伊礼原 E 遺跡』北谷町文化財調査報告書第 31 集

高宮廣衛・他 1989『宜野湾市宇字地泊兼久原遺跡発掘調査報告』『冲国大考古』第 10 号 沖縄国際大学文学部考古学研究室

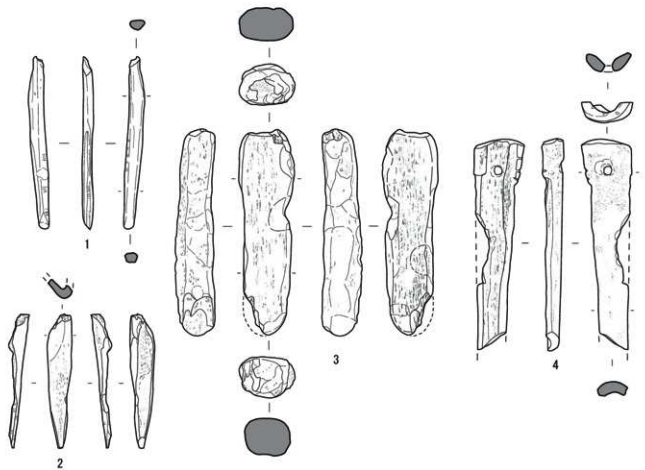
本部町教育委員会 2005『瀬底島・アンチの上貝塚発掘調査報告書』本部町文化財調査報告書第 8 集

（4）骨製品

HB①地区 V 層で 2 点、HB②イ地区 V 層で 2 点の計 4 点の出土である。

素材別にみるとイノシシの四肢骨（図 1・2）、クジラ骨（図 3）、不明（図 4）である。

イノシシの骨を用いたものは図 1 が腓骨で先端部が片刃を呈するもので、類例はアカジャンガー貝塚（1980）で報告されている。図 2 は管骨の大腿骨か上腕骨を縦にさき、その先端を平刃状にしたものである。先端は裏面の削りが顕著で片刃を呈する。他に加工はなく、完成品か未製品かは不明である。



第 87 图 · 图版 51 骨製品

図3はクジラの肋骨を棒状に加工したもので、ほぼ完形で、先端部は丸みを帯び、厚みがあることから、利器としての用途には疑問が残る。伊礼原D遺跡(2008)の試掘no.6で出土したジュゴン製の骨製品にも類似にも類似する。

図4は骨が長く、イノシシよりも大きい動物と思われる。海綿組織が粗く、クジラやジュゴンなどの海獣骨や人の四肢骨の可能性が考えられるが明瞭でない。詳細は観察一覧にしました。

<注文献>

具志川市教育委員会 1980『宇堅貝塚群・アカジャンガー貝塚発掘調査報告』『具志川市文化財調査報告書』第4集

第30表 骨製品観察一覧

| 第87回・ 図版51 | 図番号 | 製品 | 種類部位 | 完成 | 長さ | 最大幅 | | 最大厚 | 重さ | 観察事項 | 地区・グリッド・層位 遺構・台帳(取上)番号 |
|---------------|-----|----|----------------------|----|--------|-------------|-------------|------|--|---------------------------|---------------------------|
| | | | | | | 最大幅 | 最小幅 | | | | |
| 第87回・ 図版51 | 1 | 圓状 | イノシシ 膝骨 | 完 | (9.1) | 0.85 0.6 | 0.45 0.4 | 3.4 | 歯位部が頸部、歯位部が先端部。先端部は半月、片刀、特に先端部研磨顕著 | HB②イ K12 V (黄砂層) 取1245 | |
| | 2 | 管状 | イノシシ 大膝骨 or上腕骨 | 完 | 7.1 | 1.3 0.3 | 0.3 0.3 | 2.9 | 四肢骨を縦に裂くが、部位不明。先端が二等辺三角形に尖らず、先端部は表裏面から研磨施す。特に裏面からの加工顕著、片刀的 | HB②イ L10 V (黄砂層) 台3231 | |
| | 3 | 棒状 | クジラ 肋骨 | 完 | 10.7 | 2.8 2.1 | 1.05 1.9 | 50.5 | 縦位に裂き、棒状にするが先端部はやや欠損するが、丸み、頭部から約4.0cmの片側に抉りあり。表面、裏面を研磨するが、海綿組織露呈。 | HB①D L12V (4層混貝層) 取16 | |
| | 4 | 棒状 | 不明? 肋骨 | 完 | (10.7) | 2.6 1.55 | 0.5 0.46 | 11.3 | 径が約3.0cmの棒状。半截、内面の海綿組織の部分を除く。切断面、研磨し丸み、頭部から2.1cmで段をなし、その中央に孔径0.4cmを施す。側面に3条の刻み | HB①D K12 V (4層混貝層) 取10 | |

(凡例)完:ほぼ完

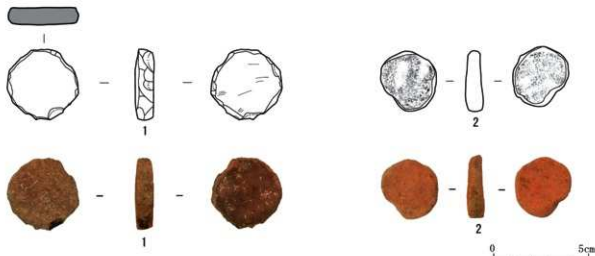
(7) 土製品

土製品が2点得られた。円盤状製品と素材が異なり焼成した土器片を利用したものと考えられ、用途も別物と捉え円盤状製品と分けて報告した。第88図1は小型の円形を呈す資料で、周縁の角を落とし複数回打ち割り後、円形にしたものである。形状は角を若干残すが、円形を意識した意図が窺える。表裏面とも平坦な面をつくり裏面はヘラなどのような研磨痕が部分的に確認できる。計測値は残存長3.7cm、残存幅3.8cm、残存厚1.0cm、重さ13.8g、出土地、HB②イ地区K10V層。

図2は全体に丸味を帯び正円ではなく欠けを生じる。周縁の角や表面は擦れにより当初の面が水磨、或いは風化したものと考えられる。又、上下で厚みが異なり、裏面は僅かに調整らしき痕跡が一部認められる。計測値は残存長3.2cm、残存幅2.9cm、残存厚0.9cm、重さ8.0g、出土地、HB②イ地区J12V層。

<参考文献>

鹿児島県大島郡伊仙町教育委員会 1984『犬田布貝塚』伊仙町埋蔵文化財発掘調査報告書(2)



第88図・図版52 土製品

第4節 グスク時代・近世

1. 遺構

グスク時代から近世の遺構は、建物址2基、溝状遺構5基、石列2基、ピット・土坑200基の総数209基が検出された。

第89図にグスク時代・近世遺構、第90～98図、図版53～65に各遺構、第100図にピット群一覧、第32表にピット・土坑観察一覧、第99図にピット群の径と深さ比較、第33表にⅢ層遺構別遺物出土量を示す。遺構出土遺物については、各々の項に記述する。

(1) 建物址

HB①地区で想定した建物址プランである。柱穴観察一覧を各々に示す。

・建物址1 (235SB) (第90図、図版53)

HB①地区K・L14・15で検出された、174・163SK・221Pで想定した建物址プランである。V層上面で検出され、標高は163SK、221Pは3.9m、174SKは4.0mである。

174・163SK、221Pの柱穴の間隔は約4.4mで等間隔である。柱穴の深さは174SKが0.36mとやや深く、163SKは19cm、221Pは15cm、建物址2と比較すると柱穴は浅い。いずれも根石と考えられる扁平な石灰岩礫が検出され、その大きさは174SKのものは長さ約29cm、幅約17cm、厚さ10cm、163SKのものは長さ約35cm、幅約26cm、厚さ9cm、221Pのものは長さ約40cm、幅約29cm、厚さ16cmである。

出土遺物は、163SKから白磁(17～18世紀：第108図29)、青磁染付(18～19世紀：第116図3)・染付が出土した。

・建物址2 (310SB) (第91図、図版54)

HB①地区K・L18・19で検出された。236・342・381・372SKで想定した建物址プランである。標高約3.5～3.6mのV層上面で背後の石灰岩地帯に接して検出された。柱穴の間隔は約2.8mの等間隔である。深さは372SKで約1.05m、381SKは1.36mと深い。

遺物は、236・372SKで青磁(14～16世紀)、236SKでは染付(年代不明)、372SKでは沖縄産無釉陶器、骨が出土した。

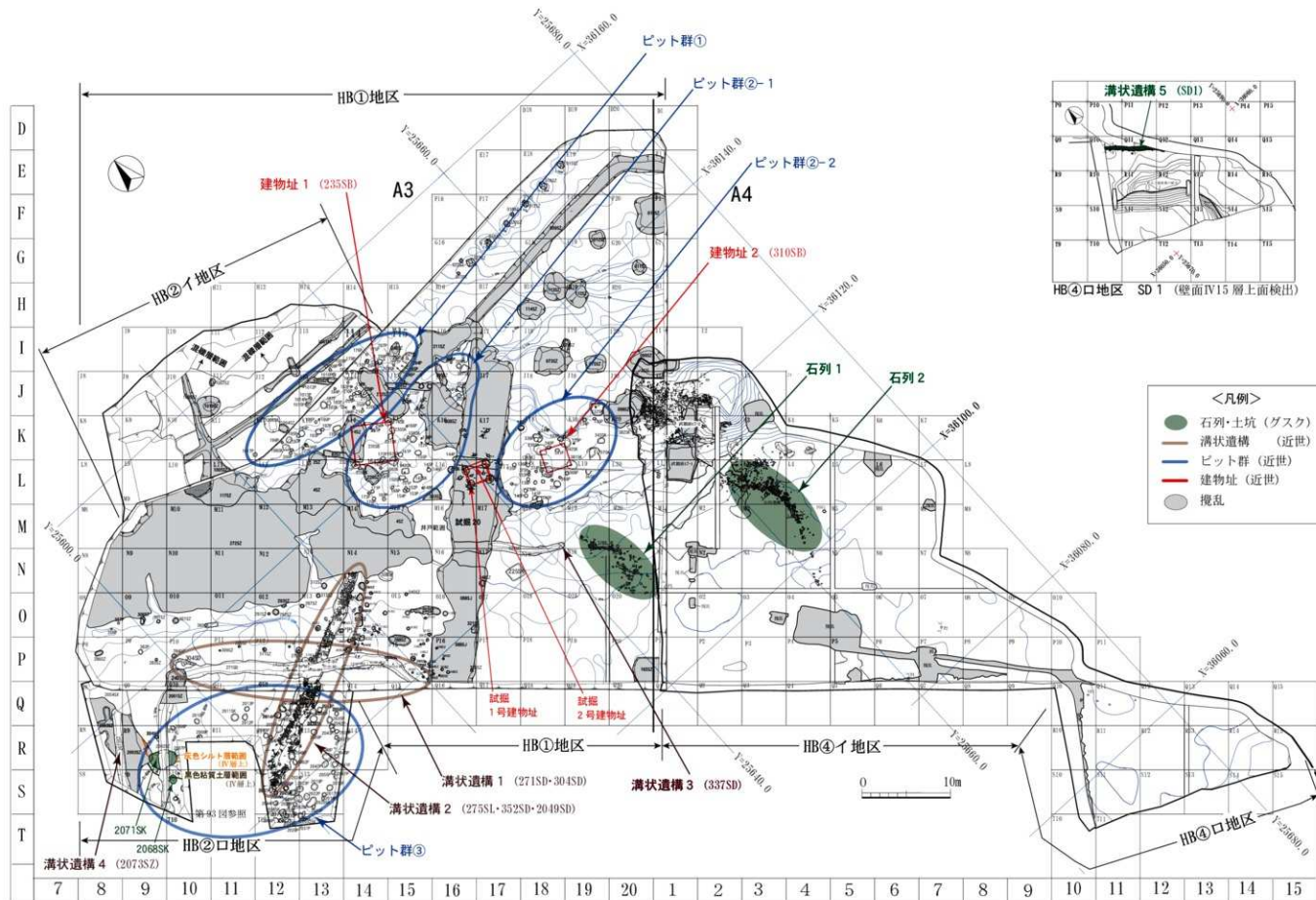
(2) 溝状遺構

・溝状遺構1 (271SD・304SD) (第92図、図版55)

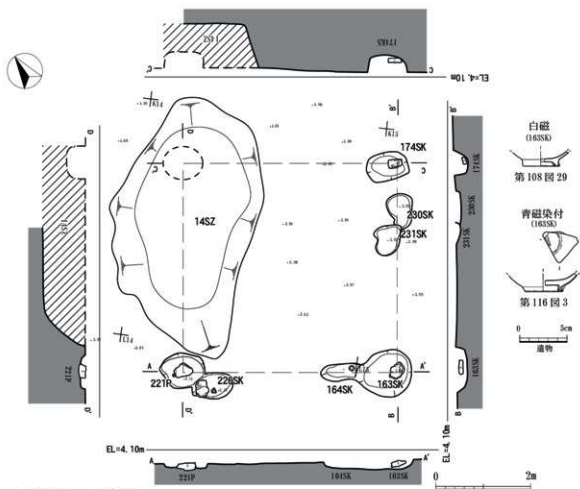
271SDは、HB①地区P10～15で北西—南東に延び、北西端は攪乱(240SZ)に切られ、南東端は幅を狭め南側に向きを変える。長さ約26.7m、幅約0.8～1.6m、深さ約0.42m。溝底の標高は南東側で約2.1m、B-B'断面付近で約2m、11ライン付近で約2mと北西側が僅かに低い。溝内には杭14本が打込まれた状態で検出された。

杭は2～4本のまとまりで検出され、杭1～3は溝を横断するように並び、杭11～14は溝が方向を変える部分、その他は直線部に位置する。検出された杭の角度は杭11のみ91°、その他は118～148°である。

溝内の東側傾斜面にある杭1・4・5・8のうち、杭4は傾斜面に反する方向に傾き、杭8は溝の長軸方向、杭1・5は傾斜面と同様な方向に傾き、西側傾斜面の杭3・9・11・12は傾斜面に反する方向に傾く。杭10は傾斜面と同様な方向に傾く。溝床面で検出された杭2・6・7・13・14は、いずれも異なる方向に傾く。杭の傾斜方向に規則性は窺えず、性格は判然としない。



第 89 図 遺構全体 (古く時代・近世)



第90図 建物址1 (235SB)

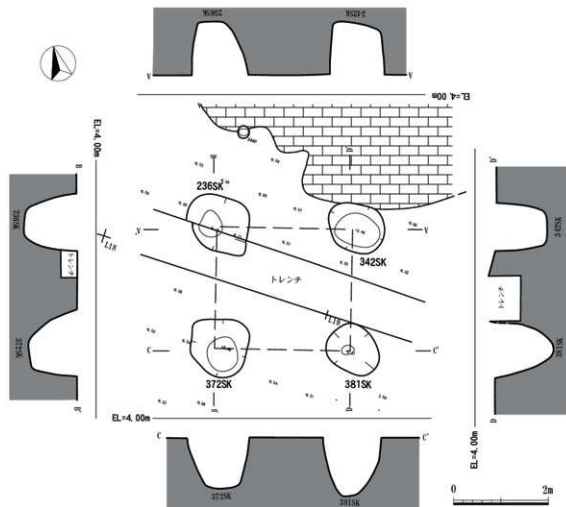
柱穴観察一覧

| 遺構名 | 大きさ (cm) 長径 × 短径 | 深さ (cm) | 観察事項 |
|-------|---------------------|------------|---|
| 221P | 94×74 | 15 | 上部は、にぶい黄褐色砂質土。下部は褐色砂質土。ブロック状の褐色(10YR4/6)砂質土、少量の炭化物、径1～3mmの貝片含む。根石(40×29×16cm) |
| 163SK | 116×97 | 19 | 黄褐色(10YR5/1)が混じる褐色砂質土。根石(35×26×9cm) |
| 174SK | 90×75 | 36 | 黄褐色(10YR5/1)が混じる褐色砂質土。根石(29×17×10cm) |



図版53 建物址1 (南より)





第91図 建物址2 (310SB)

柱穴観察一覧

| 遺構名 | 大きさ (cm) 長径 × 短径 | 深さ (cm) | 観察事項 |
|-------|---------------------|------------|---|
| 236SK | 135×75 | 112 | 4層に分層。1-2層：褐色シルト（小貝片多量）。2層は小貝片、礫（100mm程度）含む。 3層：暗褐色砂質土。少量の褐色（10YR4/4）シルトが混じる。4層は褐色シルト。暗褐色（10YR3/4）砂質土が少量混じる。 |
| 342SK | 127×100 | 110 | 3層に分層。1層：粗砂混じりの黒褐色シルト〔微量の炭化物、礫径（2～5mm）、貝片（径1mm・5～10mm）枝サンゴ（長3～8mm）含む〕。2層：明褐色粗砂（黒褐色（10YR3/2）、シルト〔礫（径5～8mm）枝サンゴ（長10～15mm）を含む〕。3層：黒褐色シルト〔礫径（2～5mm）、貝片（径5～10mm）含む〕。 |
| 381SK | 118×99 | 135 | 褐色砂質土 |
| 372SK | 125×90 | 105 | 焼土・炭化物少量混じる褐色砂質土 |



図版 54 建物址2（南東より）



本遺構は下位の溝状遺構 2 (275SL・352SD) を切っており、それより新しい。HB①地区 P15 西壁に切られており、同壁面の堆積は本遺構の埋土上位層はⅡ層、調査区外に続くと思われる。

遺物は、グスク土器、白磁 (14~15c、第 108 図 19: 17~18c)、青磁 (14~16c)、染付 (17c 後~18c 前、18~19c)、褐釉陶器 (第 115 図 5)、色絵、本土産磁器 (近世)、本土産陶器 (近世: 信楽、薩摩)、グスク磁石 (第 128 図 3)、銭貨 (元豊通宝: 第 125 図 2・3、寛永通宝: 第 125 図 4・5)、沖繩産施釉 (第 145 図 27、第 146 図 38、第 147 図 57、第 148 図 71、第 149 図 86)・無釉陶器 (第 152 図 8)、陶質土器 (第 159 図 27) が出土した。

304SD は、HB①地区 P10 で 271SD に南端の一部が接し、西側端は 240SZ (攪乱) に切られる。Ⅳ層上面で検出された。長さは直線距離で約 3.5m、幅約 0.25m で部分的に 0.5m、深さ 0.16m である。遺物は沖繩産施釉・無釉陶器、陶質土器が出土した。

・溝状遺構 2 (2049SD・275SL・352SD) (第 93 図、図版 56~59)

2049SD は HB②口地区 Q~S12・13、275SL は HB①地区の N~Q13・N・O14 のⅣ層上面で石列を伴って検出された。溝の長さは約 12.7m、幅は HB②口地区で最も広い部分で 4m、狭い部分で 2.2m、深さは HB①地区で残存する深さは A-A' 約 10cm、B-B' 約 40cm、C-C' 約 35cm を測り、B-B' は溝壁が 90~100° の角度を有し、C-C' は幅広な部分で北側の溝壁が約 100°、南側は傾斜面となる。溝内の標高は B-B' で約 2.4m、A-A' 約 2.5m、C-C' は約 2.3m である。

遺構内には、大きさ 10~60cm の礫が集中し列を成す。HB②口地区の範囲では、溝中央部と南側の溝縁沿いで検出され、HB①地区側では溝幅内で検出されているが、同範囲では石列 (SL) として検出されたことから、本来の溝幅は HB②口地区と同様であったものと推察される。

本遺構は HB②口地区 Q12 で 2052P、Q13 で 2050P、QR12 で 2051P、R12 で 2057・2048P、S12 で 2060・2061P に切られる。Q15 西壁 (HB①地区西壁) では 2049SD の上位層はⅡ層であるが、HB②口地区ではⅢ層掘下げ後に検出された。

HB①地区では、石列 (SL) の記号が付されている 275SL・352SD の東端は N14 で攪乱によって途切れ、2049SD は調査区外 (西側) に続くものと見られる。

出土遺物は、2049SD でグスク土器、白磁 (14~15c、17~18c)、青磁 (14c 後~15c 中、15~16c)、染付 (17c 後~18c 前)、褐釉陶器、本土産陶器 (近世)、沖繩産施釉陶器、沖繩産無釉陶器 (第 152 図 4)、陶質土器、骨、275SL ではカムイヤキ、陶質土器が出土した。

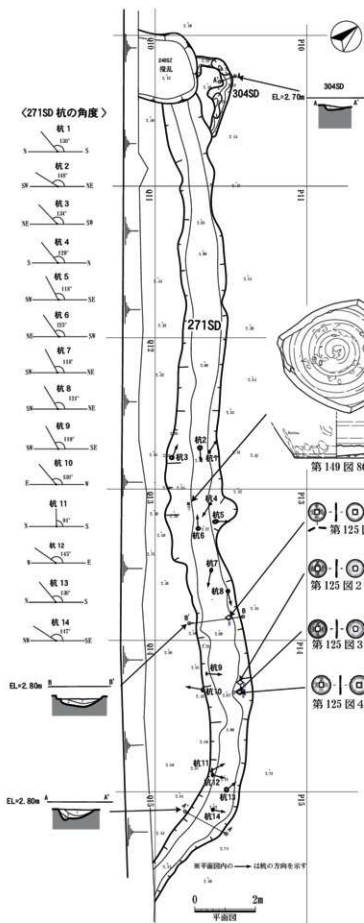
・溝状遺構 3 (337SD) (第 94 図、図版 60)

HB①地区 M・N17・18 のⅤ層上面で検出され、既報告²¹⁾の溝状遺構と同一の遺構である。北西一南東に延びる溝の長さは 8.4m、既報告のものをあわせると約 12.2m、幅は約 0.7~1.2m、深さ 0.35m、標高約 3.2m で検出されている。本遺構は北西側に延びていた可能性があるものと思われる。遺物は出土していない。

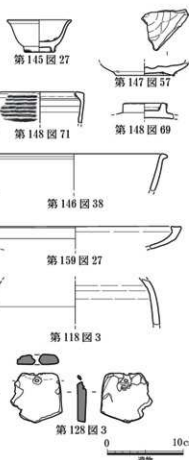
・溝状遺構 4 (2073SZ) (第 63 図、図版 63)

HB②口地区 Q8、R8・9、S8・9 で、北北東一南南西に延びる。長さ約 8.3m、幅約 0.9m、深さ 0.2m。標高約 1.8~2.2m で検出された。

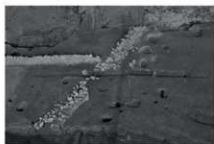
戦後の攪乱 (2003SZ) 下位の砂礫層面 (HB②イ地区 14・15 層に相当) で検出された。土坑 (2054SX) に切られることから、2054SX 以前である。調査区外 (西側) の平安山原 A 遺跡へ続くものと見られる。遺物は出土しておらず、所属時期は近世としたが、2003SZ (攪乱) 下位で検出されており近代の遺構の可能性もある。



第 92 図 溝状遺構 1 (271SD)



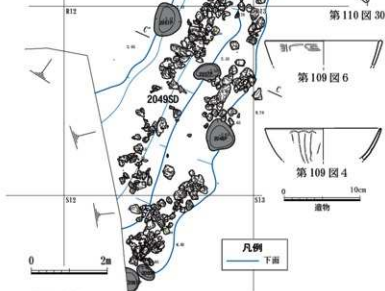
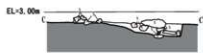
図版 55 271SD 溝状遺構 1 (北西より)



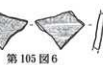
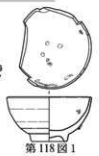
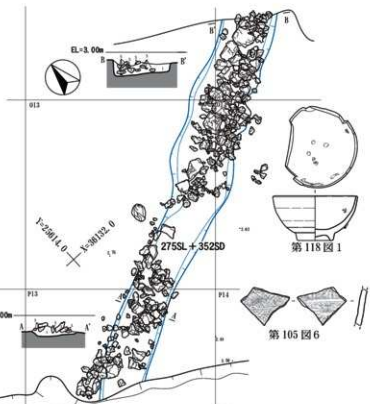
図版 56 275SL+352SD (南より)



図版 57 2049SD (南西より)



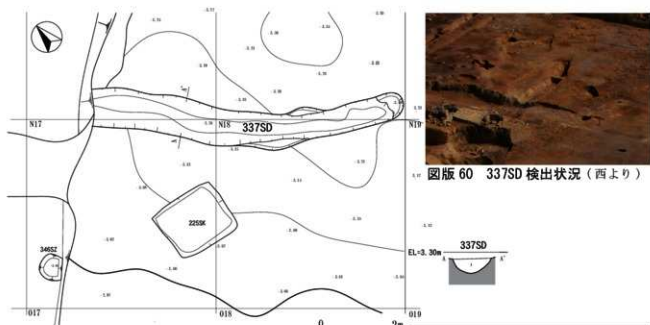
第 93 図 溝状遺構 2 (275SL・352SD・2049SD)



図版 58 275SL 完掘状況 (南西より)

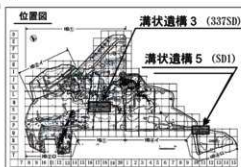


図版 59 2049SD 完掘状況 (南より)



図版 60 337SD 検出状況 (西より)

第 94 図 溝状遺構 3 (337SD) 平面・断面



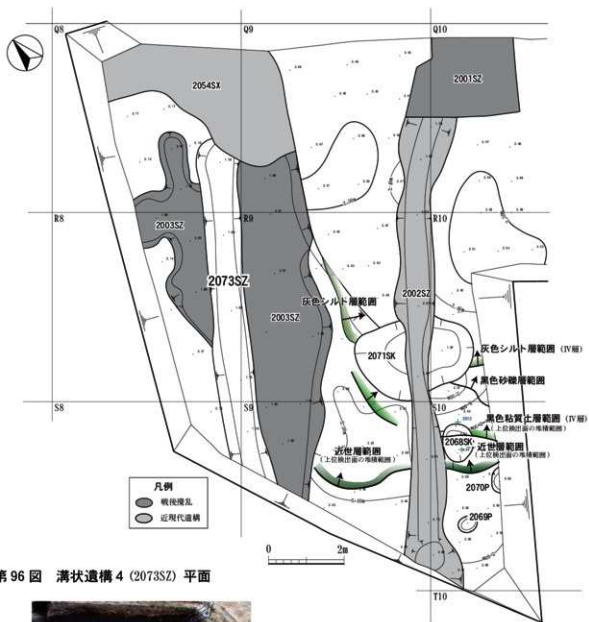
第 95 図 溝状遺構 5 (SD1) 平面・断面



図版 61 SD1 検出層 (壁IV: 南西より)



図版 62 SD1 検出状況 (北西より)



第96図 溝状遺構4 (2073SZ) 平面



図版 63 溝状遺構4 検出状況
(北西より)



・溝状遺構 5 (SD1) (第 95 図、図版 61・62)

HB④ロ地区 Q10~12 の IV 層下部 (HB④ロ地区壁 IV16 層上面) で検出された。長さ約 7.4m、幅は A-A' 0.75m、B-B' は 0.75m、C-C' は幅約 0.5m、深さは A-A' 約 0.25m、B-B' 約 0.12m、C-C' 約 0.12m である。溝縁辺では 4 基のピットが検出されたが、そのうちの 1 つから樹根が検出されたことから、他のピットも樹根の可能性のあるものと思われる。SD1 は調査区北東側と北西側に続くことと見られる。遺物は下位層の貝塚時代後期の土器、貝が出土した。

(3) 石列

・石列 1 (378SL) (第 97 図、図版 64)

HB①地区 M・N19・20、020 の IV 層堆積範囲の境目にあり N ライン部分は上面 (標高約 3.~3.3m)、それより西側は IV 層上部で検出された。大きさ 10~70cm の石灰岩礫が直線距離で約 10m にわたって弧状を成して並ぶ。M19・20 では北西-南東に並び、N20 側へ弧状となり散在する。

・石列 2 (第 98 図、図版 65)

HB④イ地区 L2・3・4、M4、N4 の IV 層堆積範囲の境目付近の IV 層 (標高約 3~3.2m) で検出された。L3、M4 で大きさ 0.2~1.2m の石灰岩礫が直線距離で約 10m にわたって弧状を成して並び、曲りの強い部分は幅広で約 0.9m、端では 0.4m と先細る。L3 北東側には長さ約 3.3m、幅約 1m のまとまりがある。両者の間隔は約 2.5m で礫が散在する。遺物は出土していない。

(4) ピット・土坑

調査時に P (柱穴)、SK (土坑) を付した遺構には、建物址プランに SK が含まれるものがあることから、P・SK のまとまりを以下「ピット群」とする。P は深さ 10cm 以上を柱穴として報告する。

HB①地区では、ほとんどが N ラインより東側 (標高約 3.5~4.5m) で III 層上部、V 層上面で検出された。地区別では HB①地区 132 基、HB②イ地区 8 基、HB②ロ地区 62 基、HB④イ地区 5 基の総数 207 基検出された。HB①地区、HB②イ・ロ地区のピット群には、まとまりがありピット群①~③、これ以外を単独ピットとした (第 89 図 100~102)。

ピット群①は HB②イ地区南側一帯 (標高約 4~4.5m) I13~15、J13・14、K12・13 の III 層中で 55 基、ピット群②は HB①地区中央部一帯 (標高約 3.5~4m) で、範囲確認調査トレンチ西側を②-1、東側を②-2 とした。ピット群②-1 は I16、J15・16、K・L14・15・16 (標高約 3.7~4m) の III 層上部や V 層上面で 42 基、②-2 は J19、K17~20、L17~19 (標高 3.5~4m) の V 層上面で 37 基検出された。第 89 図に示すように、これらのピット群が検出された N ライン付近より東側に IV 層は堆積していないことから、III 層中や V 層上面で検出された。

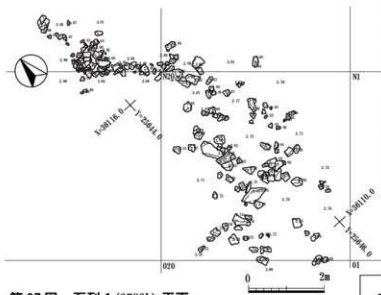
ピット群③は、271SD 西側 (標高約 2.6~2.8m) の HB②ロ地区 Q10~13、R9・10・12・13、S・T12・13 の IV 層上面で 62 基検出された。

単独ピットは、ピット群①・②と③の間にあたる N~P ライン (標高約 2.6~3.1m) に点在する。

HB①地区で N14・15・17・18、08・10・11、P9 の IV 層上面で計 6 基、HB④イ地区 M4、N1、07、P6、P7 で各 1 基の計 5 基が V 層上面で検出され、P7 で検出されたピット内から樹根が検出された。

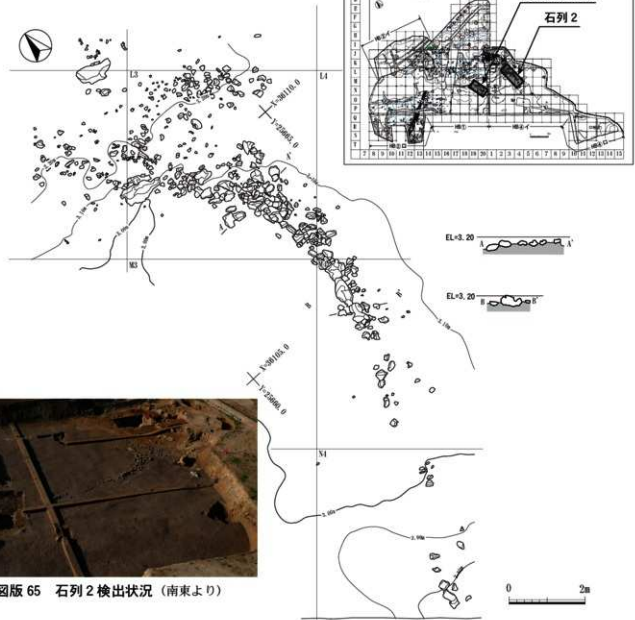
ピット群③のうち IV 層下位で検出されたものは、HB②ロ地区 R9・10 の 2071SK、S10 の 2068SK、2069・2070P の 4 基で、遺物は出土していない。

2071SK は、IV 層 [HB②ロ地区西・南壁 IV 層 (5・6 層: 黒色粘質土層) 掘下げ後の細分された IV 層の 3 枚目 (7 層: 灰色シルト)]、2068SK は IV 層 [HB②ロ西・南壁 IV 層 (5・6 層)] 下位での堆積範囲内外にまたがる。これらは標高約 2.3~2.6m で検出され、S10 の 2068SK の南西側の部分、2069・



図版 64 378SL 石列 1 検出状況 (南より)

第97図 石列 1 (378SL) 平面



図版 65 石列 2 検出状況 (南東より)

第98図 石列 2 平面・断面

2070Pは本遺跡西側に広がる粗砂層上面で検出された。ピット群の径と深さを比較すると(第99図)ピット群①②は、径(長軸)が20~40cmで深さ20cm前後の傾向があり、ピット群③は径(長軸)が40~60cm、深さ10cm前後と径(長軸)70~80cm、深さ20cm前後の傾向がある。

ピット群①・②は、ピット群③に比して径(長軸)が小さく深いものが目立ち、HB②口地区のピット群③は径(長軸)に比して浅い傾向が見られる。

ピット群③の2048・2050~2052・2057・2060・2061Pは、溝状遺構2(2049SD)を切っており同SD埋没以後である。ピット群のうちSKには、平面形が隅丸長方形を呈するものがある。ピット群②-1の建物址1(235SB)南側のL14・15で149・150・166SKは、長軸が約0.71~0.82m、短軸は0.32~0.57m、深さ0.18~0.39m。

010・11の360SKは規模が大きく長軸が1.54m、短軸が0.49m、深さ0.84mである。N17・18の225SKは大型で、その上位には近・現代遺構61SKが一部重なるが、225SKは調査時に攪乱とされたが、M~018で米軍基地整備による掘削が行われた範囲にあり、誤認された。

SKの平面形が長方形を呈するものの性格は判然としませんが、楕円形や不定形のものとは異なるものと思われる。

(小結)

グスク時代から近世の遺構は、建物址2基、溝状遺構5基、石列2基、ピット・土坑209基の総数216基が検出され、Ⅲ層の遺構210基、Ⅳ層の遺構が6基である。

Ⅳ層の遺構のうちHB②口地区ピット群③のR9・10の2071SKはⅣ層中、S10の2068SK、2069・2070PはⅣ層下位で検出され、HB①地区には見られないことから本遺跡西側に位置する平安山原A遺跡に関連する遺構の可能性が考えられる。

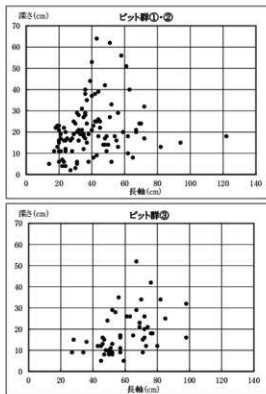
HB④イ地区石列1・2(378SL)はⅣ層中で検出され、ともに弧状に列を成すもので周辺のⅣ層堆積には石灰岩礫を含む様相が見られないことから、何らかの区画を意識したものと思われる。

HB④口地区の溝状遺構5(SD1)は、性格は判然としませんが、Ⅳ層がカワナを含む水成堆積の様相を有することから、小規模な自然流路の可能性もあるものと思われる。

Ⅲ層期の遺構[SB(建物址)、P(柱穴)、SK(土坑)、SD・SL]には遺物を伴うものは少なく、グスク時代・近世の遺物と近・現代が混在するものと混在しないものがみられ、後者は僅かである。

Ⅲ層出土の遺物から年代をみると11~19世紀の年代幅を有し、切合い関係がある溝状遺構1(271SD)・2(2049SD)に共通するものは、グスク土器、白磁、青磁、染付、褐釉陶器、本土産陶器、沖繩産施釉陶器、沖繩産無釉陶器、陶質土器で、異なるものは271SDでは本土産磁器(近世)、グスク砥石、銭貨(元豊通寶、寛永通寶)、骨である。

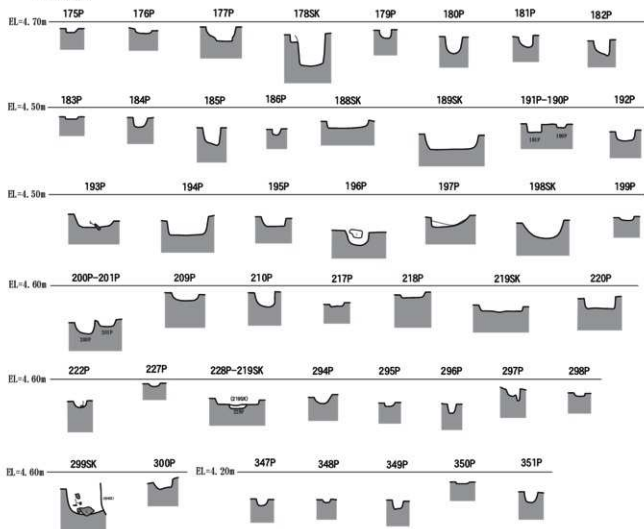
これらの出土遺物の所属年代を見ると白磁(14~15世紀、17~18世紀)、青磁(14~16世紀)、染付(清代前期)、本土産陶器の瓶(近世)、その他の輸入磁器(17~19世紀)で、両者は概ね近世に属すると考えられる。



第99図 ピット群の径と深さ比較

<ピット群①>

(HB①地区)

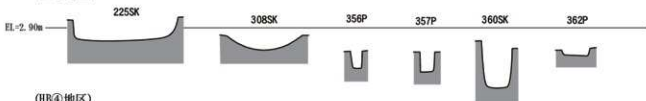


(HB②イ地区)

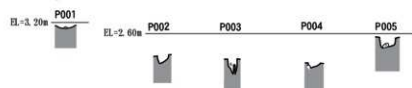


<単独ピット>

(HB①地区)



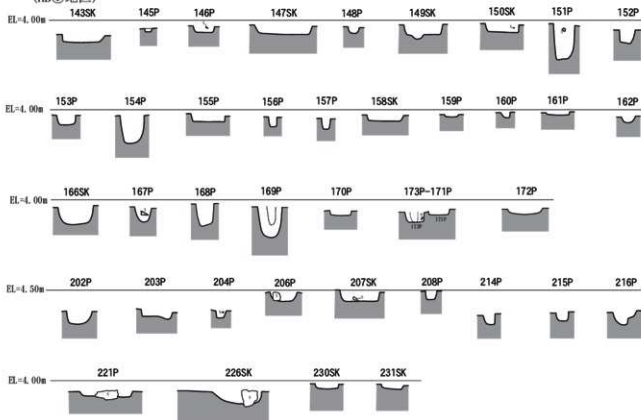
(HB④地区)



第 100 図 ピット群①・単独ピット (グスク時代・近世)

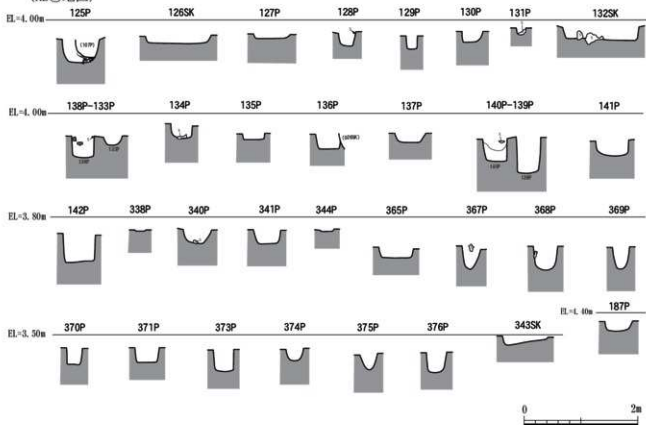
〈ビット群②-1〉

(HB①地区)



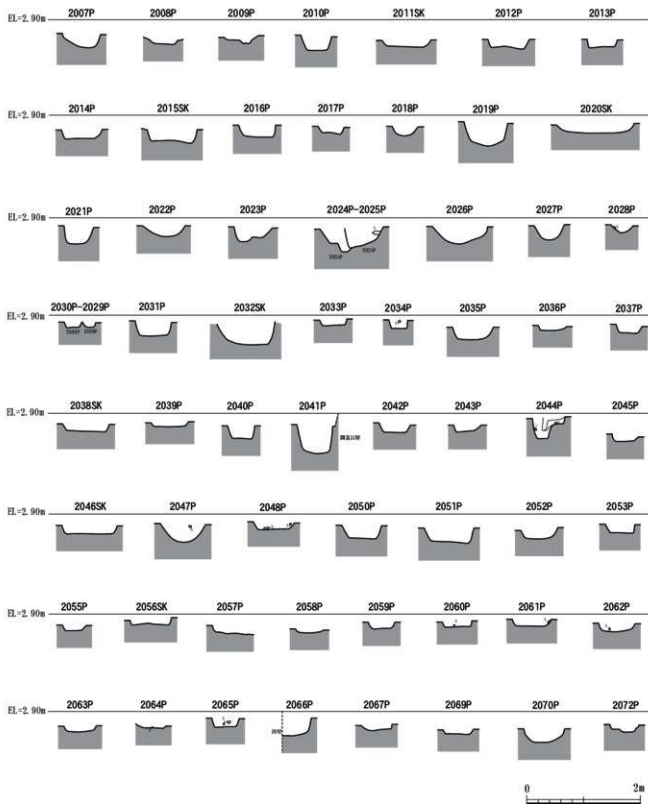
〈ビット群②-2〉

(HB①地区)



第101図 ビット群②-1・2 (グスク時代・近世)

〈ピット群③〉
(HB②ロ地区)



第 102 図 ピット群③(グスク時代・近世)

第32表-1 ビット・土坑観察一覧

(法量単位:cm)

| ビット群 | 遺構名 | 性格 | グッド | 調査区 | 地区 | 長辺 | 短辺 | 深さ | 平面形状 | 断面形状 | 観察事項 | 遺物 |
|-------|-----|-------|-----|-----|----|----|------|----|------|------|---|--------|
| 175P | ビット | I14 | HB① | | | 22 | 15 | 7 | 楕円形 | 逆台形 | 明褐色(7.5YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、少量の炭化物含む褐色シルト(10YR4/4) | |
| 176P | ビット | I14 | HB① | | | 31 | 27 | 5 | 円形 | 皿 | 明褐色(7.5YR5/8)砂質土がブロック状に混じる褐色シルト(10YR4/4) | |
| 177P | 柱穴 | I14 | HB① | | | 52 | 40 | 33 | 隅丸方形 | 有段状 | 黄褐色(10YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、少量の炭化物・焼土、1mm・10~20mmの籾含む褐色砂質土(10YR4/4) | |
| 178SK | 土坑 | I14 | HB① | | | 62 | 55 | 57 | 不定形 | 有段状 | 褐色(10YR4/4)シルトがブロック状に混じり、径30~50mmの籾含む黄褐色シルト(10YR5/8) | |
| 179P | 柱穴 | I14 | HB① | | | 21 | 19 | 19 | 円形 | U | 明褐色(7.5YR5/8)・黄褐色(10YR5/6)砂質土がブロック状に混じり、少量の炭化物含む褐色砂質土(10YR4/4) | |
| 180P | 柱穴 | I-J14 | HB① | | | 34 | 31 | 31 | 隅丸三角 | U | 明褐色(7.5YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、少量の炭化物含む褐色砂質土(10YR4/4) | |
| 181P | 柱穴 | J14 | HB① | | | 28 | 24 | 11 | 楕円形 | U | 明褐色(10YR6/8)砂質土がブロック状に混じる褐色シルト(10YR4/6) | |
| 182P | 柱穴 | J14 | HB① | | | 29 | 24 | 25 | 楕円形 | U | 明褐色(7.5YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、炭化物、焼土含む褐色砂質土(10YR4/6) | |
| 183P | ビット | J14 | HB① | | | 24 | 21 | 4 | 楕円形 | 皿 | 少量の炭化物・焼土、径10mmの籾含む褐色砂質土(10YR4/6) | |
| 184P | 柱穴 | J13 | HB① | | | 28 | 26 | 17 | 円形 | U | 明褐色(7.5YR5/8)・暗褐色(10YR3/4)砂質土がブロック状に混じり、炭化物、焼土、径10mmの籾、褐色砂質土(10YR4/6) | |
| 185P | 柱穴 | J13 | HB① | | | 36 | 32 | 28 | 円形 | U | 明褐色(7.5YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、炭化物、径2~8mmの籾、褐色砂質土(10YR4/6) | |
| 186P | 柱穴 | J14 | HB① | | | 17 | 16 | 11 | 円形 | U | 明褐色(7.5YR5/8)砂質土がブロック状に混じる褐色砂質土(10YR4/6) | |
| 190P | ビット | K13 | HB① | | | 20 | 19 | 6 | 円形 | U | 明黄褐色(10YR6/8)砂質土がブロック状に混じり、炭化物、焼土、径7mmのコーラル含むがぶい黄褐色砂質土(10YR4/3) | |
| 191P | 柱穴 | K13 | HB① | | | 32 | 25 | 16 | 隅丸方形 | U | 明黄褐色(10YR6/8)砂質土がブロック状に混じり、炭化物、径30mmのコーラル含むがぶい黄褐色砂質土(10YR4/3) | |
| 192P | 柱穴 | K13 | HB① | | | 35 | 33 | 19 | 円形 | U | 明褐色(7.5YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、少量の炭化物・焼土、10~30mmの籾含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | |
| 193P | 柱穴 | K13 | HB① | | | 70 | 57 | 24 | 楕円形 | U | 明褐色(7.5YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、炭化物、径5mmの貝片、径2mmのコーラル含む黄褐色砂質土(10YR5/3) | |
| 194P | 柱穴 | K13 | HB① | | | 72 | 64 | 32 | 円形 | U | 明褐色(7.5YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、炭化物、径27mm・5~12mmの籾、径25mmの貝片、径25mmの二枚貝含む褐色砂質土(10YR4/4) | |
| 195P | 柱穴 | K12 | HB① | | | 44 | (31) | 18 | 不定形 | U | 明褐色(7.5YR5/6)砂質土がブロック状に混じり、炭化物、径5mmの貝片、径5~23mmのコーラル含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | |
| 196P | 柱穴 | K13 | HB① | | | 50 | 46 | 14 | 円形 | U | 炭化物、径1~3mm・7mmの貝片、径25mmの二枚貝、長10mmの枝サンゴ含む砂交じりの褐色砂質土(10YR4/4) | |
| 197P | 柱穴 | K12 | HB① | | | 67 | 58 | 21 | 隅丸方形 | 逆台形 | 炭化物、鉄分、明褐色(7.5YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、炭化物、径3~20mmの籾、径8mmのコーラル含む(10YR5/6) | 土器(貝後) |
| 198SK | 土坑 | K12 | HB① | | | 79 | 65 | 33 | 不定形 | U | 明褐色(7.5YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、炭化物、径10mmの貝片、径15mmのコーラル含む褐色土(10YR4/4) | 沖無骨 |
| 199P | ビット | K12 | HB① | | | 31 | 24 | 6 | 楕円形 | 皿 | 炭化物、径10mmの籾含む褐色砂質土(10YR4/6) | 中国産色絵 |
| 200P | 柱穴 | K12 | HB① | | | 37 | 34 | 24 | 円形 | U | 炭化物、焼土、径15~20mmの籾含む褐色砂質土(10YR4/4) | |
| 201P | 柱穴 | K12 | HB① | | | 35 | 32 | 12 | 楕円形 | U | 褐色(10YR4/4)・黄褐色(10YR5/6)砂質土がブロック状に混じり、炭化物、焼土、径3mmの貝片、径22mmの二枚貝、径1mm・7~30mmのコーラル含む褐色砂質土(10YR4/6) | |
| 209P | 柱穴 | J14 | HB① | | | 48 | 38 | 14 | 楕円形 | U | 明褐色(7.5YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、炭化物、焼土、径2mmの籾、径30mmのコーラル含む褐色砂質土(10YR4/6) | |
| 210P | 柱穴 | J14 | HB① | | | 35 | 31 | 27 | 楕円形 | U | 明褐色(7.5YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、少量の炭化物・焼土含む褐色砂質土(10YR4/6) | |
| 217P | 柱穴 | J14 | HB① | | | 23 | 26 | 16 | 円形 | 皿 | 明褐色(10YR6/8)砂質土がブロック状に混じる褐色シルト(10YR4/6) | |
| 218P | 柱穴 | J14 | HB① | | | 60 | 42 | 40 | 楕円形 | 皿 | 褐色(10YR4/4)砂質土がブロック状に混じり、少量の炭化物・焼土、径25mmの籾含む黄褐色シルト(10YR5/6) | |

注:(貝後)=貝殻時代後期 下位層の遺物が混じった物

(凡例) 沖無:沖無産無輪無器 沖無:沖無産無輪無器 陶質:陶質土器 本無:本土産陶器

第32表-2 ビット・土坑観察一覧

(法量単位-cm)

| ビット群 | 遺構名 | 性格 | グランド | 調査区 | 地区 | 長さ | 幅 | 深さ | 平面形状 | 断面形状 | 観察事項 | 遺物 | |
|-------|-------|--------|------|-----|------|------|------|-----|----------|--|---|--|--|
| ビット群① | 219SK | 土坑 | J14 | HB① | | (78) | 80 | 10 | 不定形(半楕円) | 皿 | 明褐色(7.5YR5/8)砂質土がブロック状に凝り、少量の炭化物・焼土、径20mmの礫含む褐色砂質土(10YR4/6) | | |
| | 220P | 柱穴 | J14 | HB① | | | 56 | 48 | 13 | 円形 | U | 明褐色(7.5YR5/8)砂質土がブロック状に凝り、少量の炭化物・焼土含む褐色砂質土(10YR4/6) | |
| | 222P | 柱穴 | K13 | HB① | | | 24 | 23 | 12 | 円形 | U | 明黄褐色(10YR6/8)砂質土がブロック状に凝り、炭化物、径30mmのコーラル含むに黄褐色砂質土(10YR4/3) | |
| | 227P | ビット | I15 | HB① | | | 23 | 21 | 6 | 円形 | すり鉢 | 褐色砂質土(10YR4/6) | |
| | 228P | ビット | J14 | HB① | | (46) | 29 | 5 | 不定形 | 皿 | 黄褐色(10YR5/8)シルトがブロック状に凝る褐色シルト(10YR4/4) | | |
| | 294P | 柱穴 | I15 | HB① | | | 32 | 31 | 21 | 円形 | U | 黄褐色(10YR5/8)砂質土がブロック状に凝る褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 295P | 柱穴 | I15 | HB① | | | 20 | 18 | 15 | 円形 | 逆台形 | 黄褐色(10YR5/8)砂質土がブロック状に凝る褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 296P | 柱穴 | I15 | HB① | | | 18 | 15 | 22 | 円形 | U | 黄褐色(10YR5/8)砂質土がブロック状に凝る褐色砂質土 | |
| | 297P | 柱穴 | I14 | HB① | | | 27 | 22 | 16 | 円形 | 有段状 | 黄褐色(10YR5/8)砂質土がブロック状に凝る褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 298P | 柱穴 | I14 | HB① | | | 20 | 18 | 16 | 円形 | U | 黄褐色(10YR5/8)砂質土がブロック状に凝る褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 300P | 柱穴 | I14 | HB① | | | 41 | 37 | 23 | 円形 | U | 黄褐色(10YR5/8)砂質土がブロック状に凝る褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 347P | 柱穴 | J15 | HB① | | | 20 | 20 | 11 | 円形 | U | 黄褐色(10YR5/8)砂質土がブロック状に凝る褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 348P | ビット | J15 | HB① | | | 14 | 13 | 5 | 円形 | U | 黄褐色(10YR5/8)砂質土がブロック状に凝り、少量の炭化物含む褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 349P | 柱穴 | J15 | HB① | | | 21 | 20 | 17 | 円形 | U | 黄褐色(10YR5/8)砂質土がブロック状に凝り、少量の炭化物含む褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 350P | 柱穴 | J14 | HB① | | | 21 | 18 | 11 | 楕円形 | 皿 | 褐色(10YR4/4)砂質土がブロック状に凝る明褐色砂質土(7.5YR5/8) | |
| | 351P | 柱穴 | K14 | HB① | | | 23 | 22 | 22 | 円形 | U | 少量の炭化物含む褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 188SK | 土坑 | J13 | HB① | | | 82 | 66 | 15 | 円形 | U | 明褐色(7.5YR5/8)・褐色(10YR4/4)砂質土がブロック状に凝り、炭化物、焼土、径5mmの礫、径5mmのコーラル含む暗褐色砂質土(10YR3/4) | |
| 189SK | 土坑 | K13 | HB① | | | 95 | 61 | 29 | 楕円形 | U | 炭化物、径30～50mmの礫、径12mmのコーラル含む黄褐色粘質土(10YR4/4) | 沖無 | |
| 299SK | 土坑 | I15 | HB① | | | 116 | (57) | 45 | 不定形 | 不定形 | 200～300mmの礫、少量の炭化物含む褐色砂質土(10YR4/4) | 焼土 | |
| 1008P | 柱穴 | I13 | HB② | イ地区 | | 38 | 38 | 19 | 楕円形 | U | 焼土粒、炭化物(10YR5/6黄褐) | | |
| 1009P | 柱穴 | I13 | HB② | イ地区 | | 33 | 30 | 19 | 円形 | U | 焼土粒、細礫(10YR5/6黄褐) | | |
| 1010P | 柱穴 | J13 | HB② | イ地区 | | 37 | 27 | 15 | 円形 | すり鉢 | 焼土粒、細礫(10YR5/6黄褐) | | |
| 1012P | 柱穴 | J13 | HB② | イ地区 | | 36 | (28) | 17 | 不定形 | すり鉢 | 細礫(10YR5/6黄褐) | | |
| 1013P | 柱穴 | J13 | HB② | イ地区 | イ | (24) | 11 | 不定形 | 逆台形 | 焼土粒、炭化物、細礫(10YR5/6黄褐) | | | |
| 1014P | 柱穴 | J13 | HB② | イ地区 | イ | (45) | 20 | 円形 | V | 焼土粒、細礫(10YR5/6黄褐) | | | |
| 1015P | 柱穴 | J13 | HB② | イ地区 | (55) | 51 | 14 | 不定形 | 逆台形 | 炭化物、細礫(10YR4/6褐) | | | |
| 1017P | 柱穴 | K11-12 | HB② | イ地区 | | 48 | 46 | 17 | 円形 | すり鉢 | 細礫(10YR4/6褐) | | |
| 143SK | 土坑 | L16 | HB① | | | 68 | 75 | 11 | 円形 | 逆台形 | 褐色(10YR4/4)シルトが凝る黄褐色シルト(10YR5/6) | | |
| 144P | 柱穴 | K-L16 | HB① | | (31) | (25) | 44 | 不定形 | — | 褐色(10YR4/4)シルトが凝る黄褐色シルト(10YR5/6) | | | |
| 145P | ビット | L15 | HB① | | (12) | 16 | 7 | 不定形 | U | 黄褐色(10YR5/1)が凝る褐色砂質土(10YR4/4) | | | |
| 146P | 柱穴 | L15 | HB① | | | 47 | 45 | 14 | 円形 | U | 褐色シルト(10YR4/4) | 染付 | |
| 147SK | 柱穴 | L15 | HB① | | | 122 | 85 | 18 | 不定形 | U | 褐色(10YR4-4)・黄褐色(10YR5/6)シルトがブロック状に凝るに黄褐色シルト(10YR5/4) | | |
| 148P | 柱穴 | L15 | HB① | | | 24 | 23 | 12 | 円形 | U | 黄褐色(10YR5/1)が凝る褐色砂質土(10YR4/4) | | |
| 149SK | 土坑 | L15 | HB① | | | 82 | 57 | 22 | 楕円長方形 | 有段状 | 黄褐色(10YR5/1)が凝る褐色砂質土(10YR4/4) | 白磁・貝・沖無 | |
| 150SK | 土坑 | L15 | HB① | | | 71 | 43 | 18 | 楕円長方形 | U | 黄褐色(10YR5/1)が凝る褐色砂質土 | 青磁 | |
| 151P | 柱穴 | L15 | HB① | | (36) | 45 | 73 | 不定形 | U | 1層:多量の炭化物、径1mmの貝片含む褐色砂質土(7.5YR4/4) 2層:径30mmの礫、径1mmの貝片含む褐色砂質土(7.5YR4/4) 3層:褐色(10YR4/4)シルトがブロック状に凝る褐色砂質土(7.5YR4/4) | | | |

注:(貝片)→貝類時代後期 下位層の遺物が凝った物

(凡例) 沖無:沖無無層掘削 沖無:沖無無層掘削 陶質:陶質土器 本陶:本土産陶器

第32表-3 ピット・土坑観察一覧

(法量単位:cm)

| ピット群 | 遺構名 | 性格 | グランド | 調査区 | 地区 | 長さ | 短辺 | 深さ | 平面形状 | 断面形状 | 観察事項 | 遺物 |
|-------------------------|-------|-------|--------|-----|------|----|------|------|-------|--|---|--------|
| ピット 群 ② 、 1 | 152P | 柱穴 | L15 | HB① | | 43 | 38 | 25 | 楕円形 | U | 黄褐色(10YR5/1)が混じる褐色砂質土(10YR4/4) | 沖無 |
| | 153P | 柱穴 | L15 | HB① | | 40 | (32) | 21 | 円形 | U | 少量の炭化物、径1mm・30mmの雜含む黄褐色シルト(10YR4/4) | |
| | 154P | 柱穴 | L15 | HB① | | 51 | (29) | 62 | 楕円形 | U | 1層:少量の炭化物、径1mmの貝片含む褐色砂質土(7.5YR4/4) 2層:径30mmの雜、径1mmの貝片含む褐色砂質土(7.5YR4/4) | 土器(貝後) |
| | 155P | 柱穴 | K15 | HB① | | 72 | 58 | 17 | 楕円形 | U | 炭化物少量混じる黄褐色シルト(10YR5/6) | 本陶 |
| | 156P | 柱穴 | K15 | HB① | | 20 | 18 | 21 | 楕円形 | U | 黄褐色(10YR5/1)が混じる褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 157P | 柱穴 | K15 | HB① | | 19 | 17 | 23 | 楕円形 | U | 黄褐色(10YR5/1)が混じる褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 158SK | 土坑 | K15 | HB① | | 78 | 77 | 14 | 円形 | 風 | 褐色(10YR4/4)シルトが混じる黄褐色シルト(10YR5/6) | |
| | 159P | ピット | K15 | HB① | | 30 | 22 | 3 | 隅丸方形 | 風 | 褐色(10YR4/4)シルトが混じる黄褐色シルト(10YR5/6) | |
| | 160P | 柱穴 | K15 | HB① | | 24 | 20 | 11 | 楕円形 | U | 褐色シルト(10YR4/4) | |
| | 161P | ピット | K15 | HB① | | 52 | 49 | 6 | 円形 | 風 | 黄褐色シルト(10YR5/6) | |
| | 162P | 柱穴 | L14 | HB① | | 31 | 28 | 20 | 円形 | U | 褐色シルト(10YR4/4) | |
| | 166SK | 土坑 | L14-15 | HB① | | 75 | 32 | 39 | 隅丸長方形 | U | 黄褐色(10YR5/1)が混じる褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 167P | 柱穴 | L14 | HB① | | 36 | (25) | 29 | 不定形 | U | 少量の炭化物、2mm・70mmの雜含む褐色粘質土(10YR4/4) | |
| | 168P | 柱穴 | L15 | HB① | | 39 | 28 | 44 | 楕円形 | U | 径1mmの貝片多く混じる褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 169P | 柱穴 | L14 | HB① | | 40 | 40 | 53 | 円形 | U | 1層:少量の炭化物混じる褐色砂質土(10YR4/4) 2層:1mmの貝片多く混じる褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 170P | ピット | L14 | HB① | | 41 | 38 | 8 | 円形 | U | 径1mmの貝片多く混じる褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 171P | ピット | L14 | HB① | | 38 | 36 | 6 | 円形 | U | 径1mmの貝片多く混じる褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 172P | 柱穴 | K14 | HB① | | 62 | 37 | 10 | 楕円形 | 風 | 褐色(10YR4/4)シルトが混じる黄褐色シルト(10YR5/6) | |
| | 173P | 柱穴 | L14 | HB① | | 35 | 29 | 18 | 円形 | U | 2層:1mmの貝片多く混じる褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 202P | 柱穴 | J16 | HB① | | 56 | 43 | 29 | 楕円形 | U | 暗褐色(10YR3/0)に赤い黄褐色(10YR4/3)砂質土がブロック状に混じり、径20~50mmの雜含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | |
| | 203P | 柱穴 | J16 | HB① | | 82 | 51 | 13 | 楕円形 | W | 黄褐色(10YR5/6)シルトがブロック状に混じり、少量の炭化物・焼土含む褐色シルト(10YR4/6) | |
| | 204P | 柱穴 | J16 | HB① | | 29 | 22 | 19 | 楕円形 | U | 径70mmの雜、径10mmの貝片含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | |
| | 206P | 柱穴 | I16 | HB① | | 54 | 51 | 18 | 円形 | U | 1層:10~30mmの雜含む明黄褐色(10YR6/6)粗砂混じりの褐色シルト(10YR4/4) 2層:黄褐色(10YR5/6)砂質土がブロック状に混じる褐色シルト(10YR4/4) | |
| 207SK | 土坑 | I-J16 | HB① | | (93) | 84 | 24 | 不定形 | U | 褐色(10YR4/4)シルトがブロック状に混じり、微量の炭化物・焼土、径50mmの雜含む褐色シルト(10YR5/6) | | |
| 208P | 柱穴 | I16 | HB① | | 25 | 24 | 17 | 方形 | U | 褐色(10YR4/4)シルトがブロック状に混じり、微量の炭化物・焼土、径5mmの雜含む褐色シルト(10YR4/6) | 沖無 | |
| 214P | 柱穴 | J15 | HB① | | 24 | 20 | 20 | 楕円形 | U | 少量の炭化物・焼土含む褐色シルト(10YR4/6) | | |
| 215P | 柱穴 | J15 | HB① | | 24 | 22 | 16 | 円形 | U | 少量の炭化物含む褐色シルト(10YR4/6) | | |
| 216P | 柱穴 | J14 | HB① | | 42 | 27 | 25 | 隅丸方形 | 有段状 | 明褐色(7.5YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、少量の炭化物含む褐色砂質土(10YR4/4) | | |
| 226SK | 土坑 | L14 | HB① | | (7) | 60 | 64 | 楕円形 | ナリ跡 | 径10~40mmの雜、径10mmの貝片、径20mmの土器貝片含む褐色砂質土(10YR4/4) | 土器(貝後)・貝・貝製品 | |
| 230SK | 土坑 | K15 | HB① | | 64 | 50 | 11 | 不定形 | 風 | 微量の炭化物、径50mmの雜、径3mmの貝片含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | | |

注:(貝後)→貝類時代後期 下位層の遺物が混じった物

(凡例) 沖無:沖溝や無層掘り跡 沖無:沖溝や無層掘り跡 陶質:陶質土器 本陶:本土産陶器

第32表-4 ビット・土坑観察一覧

(法量単位:cm)

| ビット群 | 遺構名 | 性格 | グッド | 調査区 | 地区 | 長さ | 短辺 | 深さ | 平面形状 | 断面形状 | 観察事項 | 遺物 |
|----------------|-------|-----|----------|-----|----|------|------|-----|------|-----------------------|--|---------------|
| ビット群 ② 1 | 231SK | 土坑 | K15 | HB① | | 63 | 46 | 11 | 不定形 | 風 | 微量の炭化物・焼土、径5mmの礫含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | |
| | 232P | 柱穴 | L14 | HB① | | 69 | (21) | 24 | 不定形 | ナリ鉢 | 褐色(10YR4/4)シルトがブロック状に混じり、少量の炭化物・焼土、1mm~10~15mmのコーラル含む褐色砂質土(7.5YR4/4) | 土器(貝後) |
| | 164SK | 土坑 | K-L14-15 | HB① | | 84 | 35 | 14 | 不定形 | 不定形 | 明褐色(10YR6/8)砂質土がブロック状に混じり、少量の炭化物・焼土、径30~50mmのコーラル含む褐色砂質土(10YR4/6) | 沖庵 |
| ビット群 ② 2 | 125P | 柱穴 | K17-18 | HB① | | 63 | 62 | 40 | 円形 | U | 暗褐色(10YR3/3)粘質土がブロック状に混じる褐色シルト(10YR4/4) | |
| | 126P | 土坑 | K18 | HB① | | 116 | (43) | 15 | 不定形 | 風 | 暗褐色(10YR3/3)粘質土がブロック状に混じる褐色シルト(10YR4/4) | |
| | 127P | ビット | K18 | HB① | | 65 | 47 | 8 | 楕円形 | 風 | 径1mm程度の貝片多量を含む褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 128P | 柱穴 | K18-19 | HB① | | 30 | 29 | 24 | 円形 | U | 径1mmの貝片多量を含む褐色砂質土(10YR4/3) | |
| | 129P | 柱穴 | K19 | HB① | | 20 | 20 | 23 | 円形 | U | 炭化物少量含む褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 130P | 柱穴 | K19 | HB① | | 67 | 28 | 20 | 楕円形 | U | 炭化物多量含む黒褐色砂質土(10YR3/2) | |
| | 131P | 柱穴 | J19 | HB① | | 19 | 16 | 13 | 楕円形 | 不定形 | 炭化物少量含むにぶい黄褐色シルト(10YR5/4) | |
| | 132SK | 土坑 | J-K19 | HB① | | 142 | 139 | 24 | 不定形 | U | 暗褐色(10YR3/3)粘質土がブロック状に混じる褐色シルト(10YR4/4) | |
| | 133P | 柱穴 | L18 | HB① | | 32 | 29 | 16 | 円形 | U | 1mmの貝片多く含むにぶい黄褐色砂質土(10YR5/4) | 土器(貝後) |
| | 134P | 柱穴 | K19 | HB① | | 45 | 34 | 22 | 楕円形 | U | にぶい黄褐色粘質土(10YR5/4) | |
| | 135P | ビット | L17 | HB① | | 43 | 38 | 9 | 楕円形 | U | 褐色粘質土(10YR4/4) | |
| | 136P | 柱穴 | L18 | HB① | | (40) | 44 | 26 | 不定形 | U | 黄褐色砂質土(10YR5/6) | |
| | 137P | 柱穴 | L18 | HB① | | 55 | 46 | 16 | 楕円形 | U | 1mm程度の貝片多量を含む褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 138P | 柱穴 | L18 | HB① | | 40 | 38 | 37 | 円形 | U | 10~50mm程度の礫少量含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | 貝・沖庵 |
| | 139P | 柱穴 | L18 | HB① | | 43 | 40 | 64 | 円形 | U | 10~50mm程度の礫少量含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | |
| | 140P | 柱穴 | L18 | HB① | | 42 | 41 | 38 | 円形 | U | 1層:10~50mm程度の礫少量含む黄褐色砂質土(10YR5/6) 2層:少量の黄褐色(10YR5/6)粘質土がブロック状に混じる褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 141P | 柱穴 | L18 | HB① | | 58 | 43 | 56 | 隅丸方形 | U | 堆山岩盤ブロック状に混じる褐色粘質土(10YR5/6) | |
| | 142P | 柱穴 | L18 | HB① | | 61 | 55 | 51 | 円形 | U | 枚サンゴ少量混じる褐色粘質土(10YR4/4) | |
| | 187P | 柱穴 | J13 | HB① | | 49 | 45 | 18 | 円形 | U | 炭化物、焼土、にぶい黄褐色砂質土(10YR4/3)、明褐色砂質土(7.5YR5/8)、径10mmの礫、径7mmのコーラル、含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | |
| | 338P | ビット | K18 | HB① | | 22 | 16 | 4 | 楕円形 | 風 | 暗褐色砂質土(10YR4/3) | |
| | 340P | 柱穴 | K18 | HB① | | 51 | 42 | 27 | 隅丸方形 | U | 黄褐色(10YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、微量の炭化物含む褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 341P | 柱穴 | K18 | HB① | | 45 | (32) | 25 | 不定形 | U | 少量の炭化物・焼土、径1mmの貝片含む暗褐色砂質土(10YR4/3) | |
| | 343SK | 土坑 | K19 | HB① | | 77 | 66 | 12 | 不定形 | 遊台形 | 暗褐色(10YR3/3)砂質土が混じり、微量の炭化物、5~30mmの礫含む褐色砂質土(10YR4/6) | 土器(貝後)・貝・骨・磁石 |
| | 344P | ビット | K18 | HB① | | 27 | 24 | 2 | 円形 | 風 | 暗褐色砂質土(10YR4/3) | |
| | 365P | 柱穴 | L19 | HB① | | 62 | (44) | 18 | 不定形 | U | 褐色砂質土(2.5Y4/2) | |
| | 367P | 柱穴 | L19 | HB① | | 36 | 33 | 40 | 円形 | U | 褐色砂質土(10YR4/3) | 貝 |
| 368P | 柱穴 | L19 | HB① | | 48 | 42 | 42 | 円形 | U | 貝片多く混じる褐色砂質土(10YR4/4) | | |
| 369P | 柱穴 | L18 | HB① | | 36 | 28 | 38 | 楕円形 | U | 褐色砂質土(10YR4/4) | | |
| 370P | 柱穴 | L18 | HB① | | 31 | 27 | 29 | 円形 | U | 貝片少量混じる褐色砂質土(10YR4/3) | | |
| 371P | 柱穴 | L18 | HB① | | 44 | 40 | 26 | 円形 | U | 貝片少量混じる褐色砂質土(10YR4/3) | | |
| 373P | 柱穴 | L18 | HB① | | 44 | 36 | 39 | 楕円形 | U | 褐色砂質土(10YR4/4) | 貝 | |
| 374P | 柱穴 | L18 | HB① | | 34 | 31 | 21 | 円形 | U | 褐色砂質土(10YR4/3) | | |
| 375P | 柱穴 | L18 | HB① | | 32 | 28 | 28 | 円形 | V | 褐色砂質土(10YR4/4) | 土器(貝後) | |

注:(貝後)→貝塚時代後期 下位層の遺物が混じった物

(凡例) 沖庵:沖庵定輪編組器 沖庵:沖庵定無輪編組器 陶質土器 本陶:本土産陶器

第32表-5 ビット・土粒観察一覧

(法量単位:cm)

| ビット群 | 遺構名 | 性格 | グランド | 調査区 | 地区 | 長辺 | 短辺 | 深さ | 平面形状 | 断面形状 | 観察事項 | 遺物 |
|---------|--------|-------|-----------|-----|-----|-------|-------|------|------|--|---|---------------------|
| ビット群②-1 | 376P | 柱穴 | L17 | HB① | | 37 | 27 | 35 | 楕円形 | U | 褐色砂質土(10YR4/4) | 貝・陶質 |
| | 237SK | 土粒 | K19 | HB① | | 151 | (144) | 124 | 不定形 | 有段状 | 1層: 微量の炭化物、径2~5mmの礫、径1mm・5~10mmの貝片、長3~8mmの枝サシを含む粗砂混じりの黒褐色シルト(10YR3/2) | 土器(貝殻)・貝・自然産・貝製品・軽石 |
| | 3395K | ビット | L18 | HB① | | 80 | 68 | 5 | 円形 | 皿 | 褐色(10YR4/4)シルトがブロック状に凝り、径1mm・5mmの貝片、長5~20mmの枝サシを含む褐色砂質土(10YR4/4) | |
| 3825K | 土粒 | K20 | HB① | | 112 | 49 | 45 | 不定形 | U | 焼土・炭化物少量混じる褐色砂質土(10YR4/3) | | |
| ビット群③ | 2007P | 柱穴 | R10 | HB② | □地区 | 61 | (49) | 26 | 不定形 | U | カワニナ、炭化物(2.5Y4/3オリーブ褐) | 骨製品・骨・沖煎 |
| | 2008P | ビット | R10 | HB② | □地区 | 59 | 48 | 5 | 円形 | 皿 | カワニナ、灰色土(SY4/4暗オリーブ) | |
| | 2009P | 柱穴 | R10 | HB② | □地区 | (58) | (33) | 12 | 不定形 | 有段状 | カワニナ、炭化物、灰色土(SY4/4暗オリーブ) | |
| | 2010P | 柱穴 | Q10 | HB② | □地区 | 63 | 56 | 26 | 円形 | U | カワニナ、灰色土(2.5Y4/3オリーブ褐) | |
| | 2011SK | ビット | Q11 | HB② | □地区 | 83 | 80 | 9 | 円形 | 皿 | カワニナ、灰色土(SY4/4暗オリーブ) | |
| | 2012P | 柱穴 | Q11 | HB② | □地区 | 73 | 57 | 12 | 楕円形 | 有段状 | カワニナ(2.5Y4/3オリーブ褐) | |
| | 2013P | 柱穴 | Q11 | HB② | □地区 | 57 | 52 | 11 | 円形 | U | カワニナ(2.5Y4/3オリーブ褐) | |
| | 2014P | 柱穴 | Q12 | HB② | □地区 | 72 | 71 | 16 | 円形 | U | カワニナ、礫(2.5Y4/3オリーブ褐) | 青磁 |
| | 2015SK | 土粒 | Q12 | HB② | □地区 | 88 | 65 | 20 | 楕円形 | U | カワニナ、礫(2.5Y4/3オリーブ褐) | |
| | 2016P | 柱穴 | S13 | HB② | □地区 | 74 | 65 | 21 | 円形 | U | カワニナ、褐色土(10YR4/4) | |
| | 2017P | 柱穴 | S13 | HB② | □地区 | 45 | 44 | 12 | 円形 | 有段状 | カワニナ、炭化物、灰色土(10YR4/4) | |
| | 2018P | 柱穴 | S13 | HB② | □地区 | 46 | 33 | 16 | 楕円形 | U | カワニナ、炭化物、灰色土(10YR4/4) | |
| | 2019P | 柱穴 | S13 | HB② | □地区 | 76 | 73 | 42 | 円形 | U | カワニナ、灰色土(10YR5/6黄褐) | |
| | 2020SK | 土粒 | S13 | HB② | □地区 | 137 | 58 | 19 | 楕円形 | 皿 | カワニナ(2.5Y4/6オリーブ褐) | |
| | 2021P | 柱穴 | S13 | HB② | □地区 | 52 | 32 | 29 | 楕円形 | U | カワニナ、灰色土(2.5Y4/6オリーブ褐) | |
| | 2022P | 柱穴 | S13 | HB② | □地区 | 77 | 65 | 18 | 楕円形 | すり鉢 | カワニナ、礫(2.5Y4/6オリーブ褐) | |
| | 2023P | 柱穴 | S12-13 | HB② | □地区 | 76 | 66 | 18 | 楕円形 | 有段状 | カワニナ(10YR4/4) | 染付 |
| | 2024P | 柱穴 | S12-13 | HB② | □地区 | (30) | 64 | 41 | 不定形 | 不定形 | カワニナ、炭化物(2.5Y4/6オリーブ褐) | 染付・磁黄 |
| | 2025P | 柱穴 | S12 | HB② | □地区 | 70 | 60 | 34 | 円形 | 逆台形 | カワニナ、海性貝、炭化物、礫(2.5Y4/4オリーブ褐) | 青磁 |
| | 2026P | 柱穴 | S12-13 | HB② | □地区 | 98 | 76 | 32 | 楕円形 | すり鉢 | カワニナ、灰色土(2.5Y4/6オリーブ褐) | |
| | 2027P | 柱穴 | S12 | HB② | □地区 | 54 | 45 | 28 | 楕円形 | U | カワニナ、褐色土(2.5Y4/4オリーブ褐) | |
| | 2028P | 柱穴 | S12 | HB② | □地区 | 36 | 29 | 14 | 楕円形 | すり鉢 | カワニナ(10YR4/4) | |
| | 2029P | ビット | S12 | HB② | □地区 | 27 | 23 | 9 | 楕円形 | U | カワニナ(2.5Y4/4オリーブ褐) | |
| | 2030P | ビット | S-T12 | HB② | □地区 | 34 | 32 | 9 | 円形 | U | カワニナ(2.5Y4/3オリーブ褐) | |
| | 2031P | 柱穴 | S-T12-13 | HB② | □地区 | 67 | 55 | 29 | 楕円形 | U | カワニナ、灰色土(2.5Y4/4オリーブ褐) | |
| | 2032SK | 土粒 | S13T12-13 | HB② | □地区 | (105) | (46) | 34 | 不定形 | 逆台形 | カワニナ(2.5Y4/6オリーブ褐) | |
| 2033P | 柱穴 | S-T12 | HB② | □地区 | 51 | 48 | 11 | 隅丸方形 | 皿 | カワニナ、炭化物(2.5Y4/3オリーブ褐) | | |
| 2034P | 柱穴 | T12 | HB② | □地区 | 28 | 33 | 15 | 不定形 | U | カワニナ、灰色土(2.5Y4/6オリーブ褐) | | |
| 2035P | 柱穴 | Q13 | HB② | □地区 | 72 | 63 | 26 | 楕円形 | U | カワニナ、灰色土(2.5Y4/6オリーブ褐) | | |
| 2036P | 柱穴 | R13 | HB② | □地区 | 50 | 42 | 10 | 楕円形 | 逆台形 | カワニナ(2.5Y4/6オリーブ褐) | | |
| 2037P | 柱穴 | R13 | HB② | □地区 | 46 | 40 | 13 | 円形 | U | カワニナ(10YR4/4) | | |
| 2038SK | 土粒 | Q13 | HB② | □地区 | 82 | 77 | 12 | 円形 | 皿 | カワニナ(10YR5/6黄褐) | 骨 | |
| 2039P | ビット | R13 | HB② | □地区 | 71 | 67 | 9 | 円形 | 皿 | カワニナ、褐色土(10YR4/4) | | |
| 2040P | 柱穴 | R13 | HB② | □地区 | 49 | 45 | 24 | 円形 | U | カワニナ、炭化物(10YR4/4) | | |
| 2041P | 柱穴 | R13 | HB② | □地区 | 67 | 64 | 52 | 円形 | U | カワニナ、灰色土(10YR5/6黄褐) | | |
| 2042P | 柱穴 | Q-R13 | HB② | □地区 | 57 | 47 | 17 | 楕円形 | U | カワニナ(2.5Y4/6オリーブ褐) | | |
| 2043P | 柱穴 | R13 | HB② | □地区 | 43 | 48 | 12 | 不定形 | 逆台形 | カワニナ、灰色土(2.5Y4/3オリーブ褐) | | |
| 2044P | 柱穴 | S12 | HB② | □地区 | 56 | 45 | 35 | 楕円形 | 有段状 | カワニナ、礫(10YR5/6黄褐) 灰色土、礫(SY4/4暗オリーブ) | | |

注:(貝殻)・貝類時代後期 下記層の遺物が混じった物

(丸印) 沖煎・沖煎産無釉陶器 陶質・陶質土器 本層: 本土産陶器

第32表-6 ピット・土坑観察一覧

(法量単位:cm)

| ピット群 | 遺構名 | 性格 | グッド | 調査区 | 地区 | 長辺 | 短辺 | 深さ | 平面形状 | 断面形状 | 観察事項 | 遺物 |
|-----------|--------|-------|--------|-----|------|-------|------|-----|-------|--------------------------|-----------------------------------|--------------|
| ピット群 ③ | 2045P | 柱穴 | R9 | HB② | □地区 | 47 | 34 | 15 | 楕円形 | 逆台形 | カワニナ、灰色土5Y4/6(輪オリーブ) | |
| | 2046P | 柱穴 | R13 | HB② | □地区 | 98 | 80 | 16 | 隅丸三角 | 皿 | カワニナ、灰色土2.5Y4/6(オリーブ) | |
| | 2047P | 柱穴 | R13 | HB② | □地区 | 82 | 60 | 34 | 楕円形 | U | カワニナ(2.5Y4/6(オリーブ)) | |
| | 2048P | 柱穴 | R12 | HB② | □地区 | 80 | 72 | 12 | 隅丸三角 | 逆台形 | カワニナ、灰色土、礫(2.5Y4/6(オリーブ)) | |
| | 2050P | 柱穴 | Q13 | HB② | □地区 | 69 | 68 | 23 | 円形 | 逆台形 | カワニナ、灰色土、礫(2.5Y4/6(オリーブ)) | |
| | 2051P | 柱穴 | Q-R12 | HB② | □地区 | 85 | 69 | 25 | 楕円形 | 逆台形 | カワニナ、灰色土、礫(2.5Y4/6(オリーブ)) | |
| | 2052P | 柱穴 | Q12 | HB② | □地区 | 72 | 62 | 20 | 楕円形 | U | カワニナ、褐色土、礫(2.5Y4/6(オリーブ)) | |
| | 2053P | 柱穴 | Q13 | HB② | □地区 | 57 | 52 | 16 | 円形 | U | カワニナ、灰色土、炭化物、礫(2.5Y5/6(オリーブ)) | |
| | 2055P | ピット | S13 | HB② | □地区 | 50 | 41 | 9 | 楕円形 | 逆台形 | カワニナ、炭化物、灰色土、褐色土、礫(2.5Y4/6(オリーブ)) | |
| | 2056SK | 土坑 | S-T12 | HB② | □地区 | (68) | 73 | 10 | 不定形 | 皿 | カワニナ、炭化物、礫(2.5Y4/3(オリーブ)) | |
| | 2057P | 柱穴 | R12 | HB② | □地区 | 71 | 46 | 15 | 楕円形 | 不定形 | カワニナ、礫(2.5Y4/3(オリーブ)) | |
| | 2058P | ピット | Q13 | HB② | □地区 | 50 | 44 | 8 | 楕円形 | 皿 | カワニナ(2.5Y3/3(輪オリーブ)) | |
| | 2059P | 柱穴 | S12 | HB② | □地区 | 48 | 43 | 10 | 円形 | U | カワニナ、褐色土、礫(2.5Y4/6(オリーブ)) | |
| | 2060P | ピット | S12 | HB② | □地区 | 52 | 33 | 8 | 楕円形 | 皿 | カワニナ(2.5Y4/6(オリーブ)) | |
| | 2061P | ピット | S12 | HB② | □地区 | 47 | (33) | 8 | 不定形 | 皿 | カワニナ、貝片(2.5Y4/4(オリーブ)) | |
| | 2062P | 柱穴 | R12 | HB② | □地区 | 65 | 45 | 17 | 楕円形 | 皿 | カワニナ、炭化物、灰色土、褐色土、礫(2.5Y4/6(オリーブ)) | |
| | 2063P | ピット | R12 | HB② | □地区 | 57 | 57 | 9 | 円形 | 皿 | カワニナ、礫(2.5Y4/4(オリーブ)) | |
| | 2064P | ピット | R12 | HB② | □地区 | 45 | 42 | 5 | 円形 | 皿 | カワニナ、礫(2.5Y4/4(オリーブ)) | |
| | 2065P | 柱穴 | S12 | HB② | □地区 | 57 | 48 | 17 | 楕円形 | U | カワニナ、礫(2.5Y3/3(輪オリーブ)) | |
| | 2066P | 柱穴 | T12 | HB② | □地区 | (56) | (46) | 28 | 不定形 | 不定形 | カワニナ、灰色土2.5Y4/4(オリーブ) | |
| 2067P | 柱穴 | S13 | HB② | □地区 | (33) | 54 | 10 | 不定形 | 皿 | カワニナ、灰色土2.5Y4/4(オリーブ) | | |
| 2069P | ピット | S10 | HB② | □地区 | 52 | 41 | 9 | 楕円形 | 皿 | 礫、枝サンゴ、貝片(2.5Y4/3(オリーブ)) | | |
| 2070P | 柱穴 | S10 | HB② | □地区 | 69 | (21) | 21 | 不定形 | すり鉢 | カワニナ(2.5Y4/3(オリーブ)) | | |
| 2072P | 柱穴 | T12 | HB② | □地区 | 52 | 50 | 13 | 不定形 | 有段状 | カワニナ、褐色土2.5Y4/2(暗灰黄) | 染付・沖施・沖煎 | |
| 単独 | 2255K | 土坑 | N17-18 | HB① | | 178 | 77 | 39 | 方形 | U | | 両袖南部・沖施・沖煎・骨 |
| | 3085K | 土坑 | N14-15 | HB① | | (136) | 123 | 33 | 不定形 | すり鉢 | 微量の炭化物・産土、径5mmの籾含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | |
| | 356P | 柱穴 | O8 | HB① | | 21 | 19 | 54 | 隅丸三角 | U | 径1mmの貝片が少量混じるオリーブ褐色砂質土(2.5Y4/4) | |
| | 357P | 柱穴 | O8 | HB① | | 27 | 24 | 55 | 円形 | U | 径1mmの貝片が少量混じるオリーブ褐色砂質土(2.5Y4/4) | |
| | 3605K | 土坑 | O10-11 | HB① | | 154 | 49 | 84 | 隅丸長方形 | U | 暗オリーブ色粘質土(2.5Y4/3) | 染付 |
| | 362P | 柱穴 | P9 | HB① | | 54 | 48 | 10 | 楕円形 | U | 暗灰黄粘質土(2.5Y4/2) | |
| | P1 | ピット | M(A)O | HB④ | イ地区 | 23 | 20 | 8 | 楕円形 | 皿 | 黄褐色砂質土(2.5Y5/3) | |
| | P2 | 柱穴 | O7(A)O | HB④ | イ地区 | 20 | 20 | 15 | 円形 | 逆台形 | 黒褐色シルト(2.5Y3/1) | |
| | P3 | 柱穴 | P7(A)O | HB④ | イ地区 | 18 | 15 | 25 | 楕円形 | U | 黒褐色シルト(10YR3/1) | |
| | P4 | ピット | P6(A)O | HB④ | イ地区 | 24 | 21 | 8 | 楕円形 | 逆台形 | 黒褐色砂質土(2.5Y3/2) | |
| P5 | 柱穴 | N(A)O | HB④ | イ地区 | 28 | 27 | 17 | 円形 | U | 黒褐色砂質土(2.5Y3/2) | 貝 | |

注:(貝後)＝貝塚時代後期 下位層の遺物が混じった物

(丸印) 沖施・沖溝産黒輪陶器 沖煎・沖溝産黒輪陶器 陶質・陶質土器 本図:本土産陶器

溝状遺構 2 はIV層上面で溝内に石列を伴ってIV層堆積範囲を横断するように検出された。建物址やピット群が検出された標高約 3.5~4.5m には検出されていないことから、標高 3.5m 以下の面に構築されたものと考えられる。また、IV層はカワニナを含む水成堆積の様相が見られ湿地的な環境が想起されることから、土地条件に合わせた石敷道や水路等、複数の性格を有すると思われる。

溝状遺構 2 を切る溝状遺構 1 とピット群③の 2048・2050~2052・2057P はそれより新しく、ピット群③はピット群①・②(②-1、②-2) に比して径(長軸)が長く浅い傾向が見られることから、柱穴以外の可能性もあるものと思われる。

建物址 1 (235SB) の 163SK から白磁(17~18c)、青磁染付(18~19c) が出土し、建物址 2 (310SB) の 236・372SK で青磁(14~16c)、236SK で年代不明の染付が出土した。建物址 2 の柱穴は約 0.78~1.35m と深く、柱穴の間隔が約 2.8m を測り、建物址 1 の柱穴は 0.15~0.36m と前者に比して浅く、根石が検出され、柱穴の間隔は約 5.4m である。建物址 1・2 に見られる柱穴の深さや根石の有無の差異は、建物の高さや構築方法が異なることを示唆しているものと思われ、建物址 2 は 14~16 世紀代の青磁や染付が出土していることからやや古い遺構の可能性を有していると考えられる。範囲確認調査トレンチで検出された建物址の規模は後者に類似する。

ピット群①・②(②-1・②-2)、単独ピットで出土する遺物の年代幅は 14~19 世紀のものが出土した。

註 1 北谷町教育委員会 2008 『平安山原 B 遺跡』北谷町文化財調査報告書第 29 集

第33表 III層遺構別遺物出土量(グスク時代・近世)

| 地区 | 遺構名 | グリッド | 遺構 | グスク土器 | グスク・近世 | | | | | | | | | | 近・現代 | | | 合計 | | | | |
|--------|--------|------------|-------------|--------|--------|----|----|----|-------|-------|-------|-------|-----|----|-------|------|------|----|------|-----|----|---|
| | | | | | カムイイヤキ | 白磁 | 青磁 | 染付 | 摺輪・半押 | 輸入の磁器 | 本土産陶器 | 本土産磁器 | 骨製品 | 銭貨 | グスク磁石 | 磁輪陶器 | 沖調陶器 | | 陶質土器 | 骨 | | |
| HB① | 建物跡1 | K-L15 | 163SK | | | 1 | | 1 | | | 1 | | | | | | | 1 | 4 | | | |
| | | | K18 | 236SK | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | 2 | | |
| | 溝1 | P10・15 Q15 | 271SD | 1 | | 2 | 3 | 5 | 4 | 1 | 2 | 1 | | 4 | 1 | 30 | 25 | 7 | 2 | 88 | | |
| | | | P10 | 304SD | | | | | | | | | | | | | 13 | 11 | 1 | | 25 | |
| | | | N・Q13.N-O14 | 275SL | | 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | |
| HB②口 | 溝2 | Q・S12-13 | 2049SD | 4 | | 2 | 7 | 2 | 2 | | 1 | | | | 1 | 3 | 1 | 4 | 27 | | | |
| | | | K12 | 199P | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | |
| HB① | ピット① | K13 | 189SK | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | |
| | | | K12 | 198SK | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | | |
| | | | L15 | 149SK | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | | |
| | ピット②-1 | L15 | L15 | 150SK | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | | L15 | 152P | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | | K15 | 155P | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | |
| | | | K-L14・15 | 164SK | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | |
| | ピット②-2 | I16 | 208P | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | |
| | | | K19 | 343SK | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | | L38P | 138P | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| HB②口 | ピット③ | L15 | L15 | 146P | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | | T12 | 2072P | | | | | | 1 | | | | | | 2 | 1 | | | 4 | | |
| | | | R10 | 2007P | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | 2 | 4 | |
| | | | S12-13 | 2024P | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | 2 | |
| | | | Q12 | 2014P | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | Q13 | 2038SK | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | | | S12-13 | 2023P | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | S12 | 2025P | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| HB① | 単ピット | O10・11 | 225SK | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | 3 | 2 | 7 | | |
| | | | O10・11 | 360SK | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | | P15 | 336P | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | |
| III層合計 | | | | 5 | 1 | 6 | 16 | 14 | 7 | 3 | 4 | 1 | 1 | 5 | 1 | 49 | 52 | 10 | 16 | 191 | | |

2. 出土遺物

出土遺物はグスク土器、カムイヤキ、白磁、青磁、染付、褐釉陶器（中国・タイ産）、半練土器（タイ産）、その他の輸入陶磁器、瓦質土器、本土産陶磁器（近世）などで、他にも種々の遺物が出土した。第34表の遺物出土量を見ると、Ⅲ層（近世）から440点、Ⅳ層（グスク）から1158点の遺物が得られ、攪乱などによってⅠ・Ⅱ層からの出土も多い。Ⅲ・Ⅳ層からは貝塚時代後期の遺物も出土し、特にⅣ層出土の遺物の中では高い割合を示すが、Ⅴ層の遺物が自然流路に堆積したものと考えられる。主な遺物を時期・層別に分け、その出土量を第34表に示した。染付が256点と最も多く出土し、次いでグスク土器が147点、青磁が98点と続く。グスク土器やカムイヤキは11～13世紀とグスク時代の前半に属し、いずれもⅣ層出土が多い。青磁は11～16世紀に属するものが大半で、Ⅳ層出土は約半数である。褐釉陶器・半練土器は時期不明なものが33点と多く、それを除いた20点は全て14～16世紀に属する。そのうち、Ⅳ層出土は9点である。白磁、染付は11～16世紀代と16～19世紀代の時期に分かれる。11～16世紀代の白磁は22点が得られ、玉縁口縁碗や口禿口縁碗はⅣ層より出土する。染付は僅か6点で、そのうちⅣ層出土は2点である。16～19世紀代の白磁は33点、染付は225点の出土である。いずれもⅠ・Ⅱ層からの出土が大半であるが、Ⅱ層の遺構出土も多く、攪乱による下層の遺物の可能性も考えられる。

以上、出土遺物はグスク時代である11～16世紀のものと同近世に相当する16～19世紀のものが出土し、白磁や染付はそれぞれ両方の時期に属するものが得られた。このように、グスク時代から近世にかけて出土する遺物もあり、各々の遺物の項において詳細に記述する。

第34表 グスク時代・近世遺物の時期別出土量

| 遺物 層位 | グスク 土器 11～ 13c | カムイ ヤキ 11～ 13c | 白磁 | | | 青磁 | | | 褐釉・半練 | | 染付 | | | その他 輸入陶磁器 | | 合 計 |
|----------|-------------------------|-------------------------|------------------|------------|----|------------|------------|----|------------------|----|------------|------------|----|------------------|----|--------|
| | | | 明代 11～ 16c | 16～ 19c | 不明 | 11～ 16c | 16～ 19c | 不明 | 明代 14～ 16c | 不明 | 11～ 16c | 16～ 19c | 不明 | 明代 17～ 19c | | |
| Ⅰ | 4 | 1 | 3 | 15 | 13 | 9 | | 3 | 3 | 4 | 2 | 119 | 11 | 1 | 1 | 189 |
| Ⅱ | 13 | 3 | 4 | 14 | 6 | 14 | 1 | 4 | 3 | 10 | 1 | 85 | 8 | | 6 | 172 |
| Ⅲ | 8 | 2 | 3 | 4 | 1 | 18 | 1 | 6 | 5 | 8 | 1 | 17 | 5 | | 3 | 82 |
| Ⅳ | 114 | 8 | 12 | | 3 | 35 | | 7 | 9 | 10 | 2 | 4 | 1 | | | 205 |
| Ⅴ | 8 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 9 |
| 不明 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 合計 | 147 | 15 | 22 | 33 | 23 | 76 | 2 | 20 | 20 | 33 | 6 | 225 | 25 | 1 | 10 | 658 |
| 器種別計 | 147 | 15 | | 78 | | | | 98 | | 53 | | 256 | | | 11 | |

(1) グスク土器

今回の調査でグスク時代の土器が147点得られた。大半が小破片で、全形を窺えるものは出土していない。第35表に出土量、第104図に平面分布を示し、グスク土器との関連から平面分布にはグスク時代初頭に代表される土器の他にカムイヤキ、白磁（玉縁碗・口禿碗）、青磁（鎗蓮弁文碗）も併せて載せている。グスク土器はⅣ層（青灰色シルト層、青灰色粘質土層、灰色シルト層、黒色粘質土層）から114点と最も多く出土した。中でも、HB②口地区・HB①地区010～014以下の西側部分における土器出土数はグリッドがまたがるものも合わせると89点が出土している。なお、Ⅳ層からは貝塚時代後期に属する遺物も出土する。他にもHB①地区の北側（J16・K18・L17）から4点が得られた。

また、滑石を混入する土器は11点が得られたが、グスク土器全体に占める割合は約7.5%と少ない。滑石の混入量もそれぞれ異なり、中には滑石を塗布するものも見られたが、小破片のため図示は省略した。本遺跡では滑石製石鍋自体は出土せず、これらの土器が製作されていたのか、持ち込みな

のか判然としない。ただ、近接する小堀原遺跡(2012)・後兼久原遺跡(2003)からは滑石製石鍋や滑石二次製品等が多数出土し、掘立柱建物址なども検出されている。また、後者の遺跡では滑石製石鍋を模倣したグスク土器なども出土し、グスク時代初頭の様子を窺わせる遺物と遺構が検出されている。以下、第103図、図版66に主なものを図示し、第36表に観察一覧を載せた。口縁部、胴部、底部と部位別に記述する。

1) 口縁部

口縁部は14点が出土し、鍋形、甕形、壺形が見られた。その順で概略する。

鍋形は10点の出土で、そのうち7点を図示した。いずれも内傾し、滑石製石鍋を模倣した瘤状突起、鐔状、瘤状突起や鐔縁が見られないものが出土した。瘤状突起を有するものは図1~4に図示した4点である。図1~3は方形の縦耳が若干変化し、平面形がやや縦長で略方形状を呈する。図1・2の上面はほぼ平坦に整形され、図3は両側のナデにより三角状を呈する。図4は縦耳が崩れ、円形状の瘤を貼付し、胎土に角閃石を含んでいるが、貝塚時代後期の影響であろうか。鐔状口縁は図5・6に図示した2点で、前者は口唇部が丸みを呈し、鐔縁の先端は破損している。後者は鐔縁の部分のみが残り、約4mmの厚さを呈するが、器面に貼付されている部分は約12mmを測る。瘤状突起や鐔縁が見られない口縁部は4点が出土し、図7の1点を図示した。口唇部は丸みを呈し、泥質で石灰質の白色粒を多量に含むもので、報告外の口縁部も同様な混和材を呈する。

甕形は図8~10に図示した3点の出土で、いずれも小破片で器厚は薄い。胎土は鍋形と同じく泥質で白色粒を主体に少量の赤色粒を含む。

壺形は図11に図示した1点のみの出土である。口唇部は破損し、肩部は外側へ大きく張るもので、胎土に赤色粒を含む。

2) 胴部

胴部は125点が得られたが、大半が小破片のため図示は省略した。Ⅱ・Ⅲ層の遺構からも18点が出土しているが、攪乱によるものと思われる。胴部は胎土に白色粒を含むものがほとんどで、本遺跡のグスク土器の主体となる胎土である。

3) 底部

底部は8点が得られ、そのうち6点を図示した。鍋形の底部と思われるものが2点、他は不明である。鍋形の底部としたものは図12・13で、両者とも底径が約12~13cmと広底を呈し、前者は底面からの立ち上がり丸みを帯びながら緩やかに胴部に移行するが、立ち上がりが左右で若干異なる。胎土はそれぞれ異なり、前者は多量の白色粒(微小貝を含む)、後者は多量の滑石を混入しているために手触りは滑らかである。後者の外底には明瞭な調整痕が見られ内底には煤が付着している。図14~17に図示したものは器種不明である。図14はやや角を持ちながら緩やかに外反し、底径が約11cm、底厚が16mmと厚い。図15・16は底面が破損しているが、胎土や底厚などが図14に類似する。図17

第35表 グスク土器出土量

| 地区 | 層位 | 部位 器種 | 口縁部 | | | | 胴部 | | 底部 | | 合計 |
|------|-----|----------|-----|---|----|-----|----|----|----|-----|----|
| | | | 鍋 | 甕 | 壺 | 不明 | 鍋 | 不明 | 不明 | 不明 | |
| HB① | I | 008SZ | | 1 | | | 1 | | | | 2 |
| | | 240SZ | | | | | 1 | | | | 1 |
| | II | 274SZ | | | | | 2 | | | | 2 |
| | | 305SD | | | | | 1 | | | | 1 |
| | | 358SK | | | | | 1 | | | | 1 |
| | | 359SK | | | | | 7 | | | | 7 |
| | III | 271SD | | | | | 1 | | | | 1 |
| | | IV | | 2 | 1 | 1 | 52 | 1 | 3 | 60 | |
| | | V | | 2 | | | 3 | 1 | 1 | 7 | |
| | | 小計 | | 4 | 2 | 1 | 70 | 2 | 4 | 83 | |
| HB② | I | IV | | | | | 1 | | | 2 | |
| | | IV | | | | | 3 | | | 3 | |
| | II | 2049SD | | | | | 4 | | | 4 | |
| | | IV | | 3 | 1 | | 32 | | 1 | 37 | |
| 小計 | | 4 | 1 | | 40 | | 1 | 46 | | | |
| HB④ | I | IV | | | | | 15 | | | 17 | |
| | | V | | 1 | | | | | | 1 | |
| | 小計 | | 2 | | | 15 | | | 18 | | |
| 合計 | | | 10 | 3 | 1 | 125 | 2 | 6 | | 147 | |
| 部位別計 | | | 14 | | | 125 | 8 | | | | |

は上記3点より底径が小さく、立ち上がりは角を持って反する。4点とも泥質で白色粒を含む。

尚、胎土等から先島系と思われる胴部がHBイ地区I層より1点得られたが、図示は省略した。

<引用・参考文献>

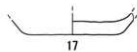
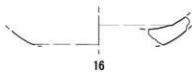
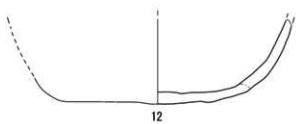
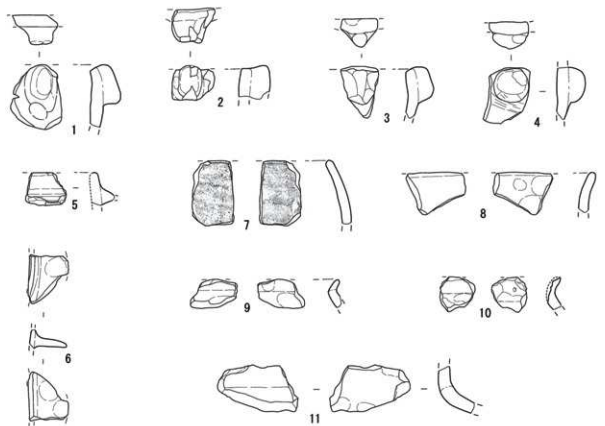
- 沖縄県教育委員会 1979 『恩納村熱田貝塚発掘調査報告書』 沖縄県文化財調査報告書第23集
 安里進 1995 「沖縄『概説 中世の土器・陶磁器』 中世土器研究会
 北谷町教育委員会 2003 『後兼久原遺跡』 北谷町文化財調査報告書第21集
 沖縄県立埋蔵文化財センター 2004 『後兼久原遺跡』 沖縄県埋蔵文化財センター調査報告書第22集
 池田榮史 2004 「グスク時代開始期の土器編年をめぐって」『琉球大学考古学研究集録』第5号 琉球大学法文
 学部考古学研究室
 今帰仁村教育委員会 2009 『企画展 グスク土器展』
 北谷町教育委員会 2012 『小屋原遺跡』 北谷町文化財調査報告書第34集

第36表 グスク土器観察一覧

(法量単位:cm, g)

| 図号 | 図取 | 部位 | 器種 | 口縁・底部形態と 文様有無 | 口径 底径 器高 | 器厚 底厚 重量 | 混和材 | | | | | 胎土 焼成 | 器色 | | 器面調整 (外面 内面) | 地区・グリッド・層位 遺構・台帳(取上)番号 |
|---------------------------|----|----|----|---|----------------------------|------------------|--|----------|---------|---------|-----------|----------|----------------|------------------|--------------------------------------|---|
| | | | | | | | 粒度 含員 | 石英 | 赤色 粒 | 白色 粒 | 砂粒 その他 | | 外面 | 内面 | | |
| 第103 回 図 帳 66 | | | | 壺状突起—平面形は略方形・断面 形は平ら(中央は窪み)・やや内傾 口唇部—角 | — | 0.7 — 18.9 | 細粒 中量 | ○ | △ | △ | | 砂質 良好 | 外:赤褐色 内:赤褐色 | ++ | HB① M19 O20 IV (G層青灰色粘質土) 台496 | |
| | | | | 壺状突起—平面形は略方形・断面 形は平ら・やや内傾・口唇部—角 | — | 0.8 — 13.5 | 細粒 少量 | △ | △ | | 黒色 粒△ | | 砂質 良好 | 外:赤褐色 内:赤褐色 | ++ | HB②イ I (表土) 台3082 |
| | | | | 壺状突起—平面形は略方形・断面 形はやや丸み・やや内傾・壺の両側 に指環痕・口唇部—角 | — | 0.6 — 10.0 | 中粒 少量 | ○ | | △ | | | 砂質 良好 | 外:黄茶褐色 内:黄茶褐色 | ++ | HB① O20 IV (G層青灰色粘土) 台506 |
| | | | | 壺状突起—平面形は円形 断面形は丸み・口唇部—破損 | — | 0.5 — 12.9 | 細粒 少量 | △ | | △ | 角四 石○ | | 砂質 良好 | 外:灰茶色 内:灰茶色 | ++ | HB① K18 V (G層暗褐色粘土) 台233 |
| | | | | 罎状(罎の幅は破損で不明) 口唇部—丸 | — | — 5.3 | 細粒 少量 | △ | △ | △ | | | 砂質 良好 | 外:橙茶褐色 内:橙茶褐色 | ++ | HB① K12'16 V (G層暗褐色粘土) 台226 |
| | | | | 罎状(罎の幅は約2cm・厚さは4mm) 口唇部—不明 | — | — 6.7 | 細粒 少量 | △ | | △ | | | 砂質 良好 | 外:赤褐色 内:赤褐色 | ++ | HB④イ L1 IV (Ⅶ) 台71 |
| | | | | 無文・やや内湾状 口唇部—丸 | — | 0.5 — 10.6 | 粗粒 中量 | | | ○ | | | 泥質 良好 | 外:灰褐色 内:灰褐色 | ++ | HB②ロ Q13 IV (F層黒色粘質土) 台3356 |
| | | | | やや外反・口唇部—丸 壺状突起・罎状—無し | — | 0.6 — 7.1 | 中粒 多量 | △ | ○ | | | | 泥質 良好 | 外:灰茶褐色 内:灰茶褐色 | ++ | HB②ロ R12 IV (F層黒粘質土) 台3364 |
| | | | | 罎形 外反・薄手 口唇部—丸 | — | 0.5 — 2.7 | 細粒 少量 | | | | △ | | 砂質 良好 | 外:橙褐色 内:橙褐色 | ++ | HB① 表土 台494 |
| | | | | 外反・肩部が張り出す 薄手 口唇部—丸 | — | 0.5 — 2.6 | 中粒 多量 | △ | ○ | | | | 泥質 良好 | 外:赤褐色 内:橙褐色 | ++ | HB① P19 IV (G層青灰色粘質土) 台472 |
| | | | | 罎形 口縁破損・肩部が張り出す やや厚手 | — | 0.7 — 18.8 | 中粒 中量 | ○ | | | 滑石 ◎ | | 砂質 良好 | 外:桃褐色 内:灰褐色 | ++ | HB① N15 IV (G層青灰色粘質土) 台511 |
| | | | | 罎形 | 立ち上りの角—丸・底面は平ら 底径は大 | — | 0.5 — 1.0 — 192.8 | 細粒 多量 | △ | △ | ◎ | | 砂質 良好 | 外:橙褐色 内:橙褐色 | ++ | HB① O20 IV (G層青灰色粘土) 台506 (G層青灰色粘質土) 台 433 |
| | | | | | 立ち上りの角—丸 胎土に滑石混入・内底—窪付着 | — | 13.2 — 0.9 — 39.8 | 粗粒 多量 | ○ | | 滑石 ◎ | | 砂質 良好 | 外:灰褐色 内:暗灰色 | ++ | D庫 外底—F (G層暗褐色粘土) 台231 |
| | | | | 底部 | 立ち上りの角—やや角 底径は中・底厚—厚い | — | 0.9 — 10.8 — 50.6 | 中粒 中量 | △ | ○ | | | 泥質 良好 | 外:灰褐色 内:灰褐色 | ++ | HB① P17 IV (G層青灰色粘質土) 台424 |
| | | | | | 立ち上りの角—不明 底径不明(外底破損) | — | — — 18.1 | 中粒 中量 | △ | ○ | | | 泥質 良好 | 外:赤褐色 内:赤褐色 | ++ | HB① N16 IV (G層青灰色粘土) 台512 |
| | | | | 不明 | 立ち上りの角—やや角 底径不明(外底破損) | — | 0.6 — 14.1 | 中粒 中量 | △ | ○ | | | 泥質 良好 | 外:灰褐色 内:灰褐色 | ++ | HB④イ M3 IV (Ⅶ) 台37 |
| | | | | | 立ち上りの角—やや角 底径は小・底厚—薄い | — | 0.4 — 7.5 — 0.8 — 14.8 | 中粒 少量 | △ | ○ | | | 泥質 良好 | 外:灰茶褐色 内:灰茶褐色 | ++ | HB②ロ Q13 IV (F層黒色粘質土) 台3356 |

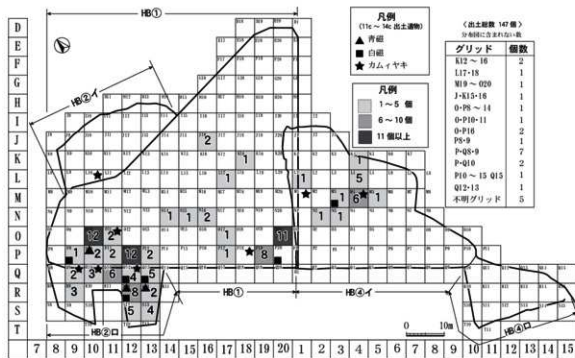
凡例 ◎=非常に多い ○=多い △=少ない △=僅少



第103図 グスク土器



図版 66 グスク土器



第104図 グスク土器と関連遺物の出土平面分布

(2) カムイヤキ

カムイヤキ(類須恵器)が僅かながら15点出土した。器種はいずれも壺に含まれると考えられるが、資料の殆どは胴部片であり全形を視るにはあまりにも頼りない物であった。出土層はIV層が9点、III層が2点、II層が3点、I層1点である。出土分布は0~Q9~12にやや集中し、流路中に分布している。

カムイヤキの標識となるカムイヤキ古窯跡群の壺、壺は口縁部形態による型式分類、文様の変遷と共に叩痕、ナデ、ケズリなどの器面調整による変遷を時期判定の指標とし、A・B群に分かれ分類がなされている。²⁴今回当該製品の口縁部資料は得られず、底部資料1点を除き全て胴部資料であったことから主に叩痕、当て具の圧痕、器厚などの器面調整を分類の判断基準とした。

I類：外体面に平行状叩痕、内体面にナデ及びへら削り調整が認められる。器厚5~10mm(図1・2)

II類：外体面に平行状叩痕、内体面に格子状圧痕が認められる。器厚4~7mm(図3)

III類：外体面に格子状叩痕、内体面に放射状圧痕が認められる。器厚4~8mm(図4~7)

IV類：外体面はナデ調整が徹底され、内体面に放射状圧痕が認められる。器厚5~9mm(図9~11)

V類：外体面と内体面をナデ調整される。器厚5~10mm(図12~14)

VI類：外体面と内体面をナデ調整され外体面に文様が描かれる。器厚4~9mm(図8)

平行叩痕と格子叩痕及び圧痕は器の外、内面の両面に認められるが特に外体面は多く確認できるI類・II類。放射状圧痕は内体面のみに確認できた。ナデ調整は外体面に意識的に使い、内体面は徹底されないIII類。特に肩から頸部、口縁部にかけてと底部及び底部付近の外体面はナデ調整が施されることが解るV類・VI類。また轆轤、へらによる器面調整は内体面に顕著にあらわれる。文様及び器面調整(叩打痕、ナデ)器厚が比較的均一で薄いことからI類からIII類はA群に含まれる可能性が高いと考えられる。IV類からVI類はB群に含まれる可能性が高いが、頸部から肩部の施文部位

にナデ調整が多いことを考慮すると一部A群を含むB群と考えられる。また器面調整及び器厚は4~9mmと白磁玉縁碗の出土が顕著である後兼久原遺跡とほぼ同等であることや僅かではあるがグスク土器や中国製白磁口禿碗、中国製白磁玉縁碗と共存関係にあり11世紀~13世紀に位置づけていいと考えられる。(第104図グスク土器と関連遺物の出土平面分布、参照)

第37表 カムイヤキ出土量

| 地区 | 器種 | 分類 | 調整 | | | | | | 合計 |
|-----|----|-------|----|-----|------|-----|----|-----|----|
| | | | I型 | II型 | III型 | IV型 | V型 | VI型 | |
| HB① | | II | 1 | | | | | | 1 |
| | | 358SK | | | 1 | | | | 2 |
| | | III | | | 1 | | | | 1 |
| | | 275SL | 1 | | | 2 | | | 3 |
| HB② | | I | | | | | 1 | 1 | |
| | | III | | | 1 | | | | 1 |
| | | IV | | | 1 | 1 | 1 | | 3 |
| HB④ | | IV | | 1 | | | 1 | 1 | 3 |
| | | 合計 | 2 | 1 | 4 | 3 | 3 | 1 | 1 |

<註・参考文献>

註 新里亮人 2007 「カムイヤキとカムイヤキ宮跡群」特集古代・中世の日本と奄美・沖縄諸島『東アジアの古代文化』130号

池田榮史 2004 「類須器と貝塚時代後期」『考古資料大観 12 貝塚後期文化』 小学館

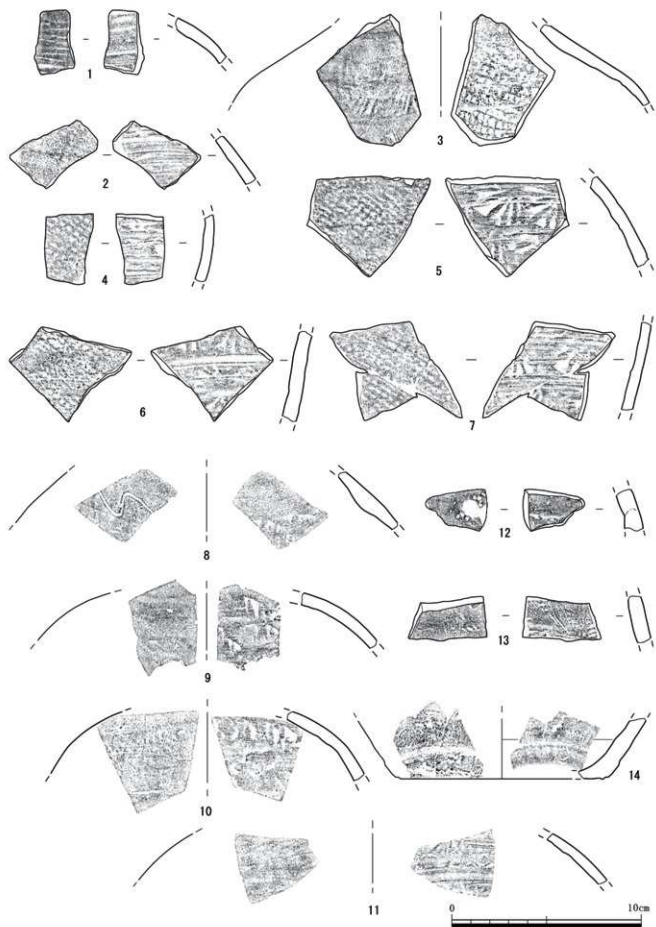
新里亮人 2003 「琉球列島における窯業生産の成立と発展」『考古学研究』49-1 考古学研究会

北谷町教育委員会 2003 『後兼久原遺跡』北谷町文化財調査報告書 第21集

第38表 カムイヤキ観察一覧

(注量単位:mm)

| 第105図・図版67 | 器種 | 部位 | 分類 | 器厚 | 器形・文様 | 器面調整 | 胎土・焼成・混和材 | 器色 | 地区・ブリード・部位 遺構・台帳番号 | | |
|----------------|--------|--------|----|----|-------|------------------------|---|--------------------------------|-----------------------|---------------------------------|--------------------|
| 第105図・ 図版67 | 底 部 | 底 部 | I | 1 | 5~10 | 肩と考えられるが小破片のため詳細は不明。 | 表:平行する叩き目がみられる連点文状裏:轆轤による平行削りがみられる。 | 胎土:細かゝ焼成:やや不良混和材:白色粒子 | 表:黄褐色裏:褐色 | HB① II 台488 | |
| | | | | 2 | 8 | 肩近くと考えられるが小破片のため詳細は不明。 | 表:ナデ消されているが僅かに平行する叩き目が認められる。連点文状裏:轆轤による平行削りがみられる。 | 胎土:細かゝ焼成:良好混和材:白色粒子 | 表:暗灰色裏:褐色 | HB① L10 IV 台338 | |
| | | | | 3 | 4~7 | 肩の張った蓋である。 | 表:平行する叩き目が認められる。裏:格子状の叩き目が認められる。 | 胎土:細かゝ焼成:良好混和材:白色粒子 | 表:暗青色裏:暗褐色 | HB④ I M4 IV 台149 | |
| | | | | 4 | 4 | 蓋が考えられるが小破片のため詳細は不明。 | 表:格子状の叩き目が認められる。裏:放射線状の叩き目を轆轤により削り取っている。 | 胎土:細かゝ焼成:良好混和材:白色粒子 | 表:暗灰色裏:暗灰色 | HB② I III 台3085 | |
| | | | | 5 | 7 | 蓋が考えられるが小破片のため詳細は不明。 | 表:格子状の叩き目が認められる。裏:放射線状の叩き目を轆轤により削り取っている。 | 胎土:細かゝ焼成:良好混和材:白色粒子 | 表:暗灰色裏:暗灰色 | HB②ロ Q12 IV 取2044 | |
| | | | | 6 | 8 | 蓋が考えられるが小破片のため詳細は不明。 | 表:格子状の叩き目が認められる。裏:放射線状の叩き目を轆轤により削り取っている。 | 胎土:細かゝ焼成:良好混和材:白色粒子 | 表:暗灰色裏:茶褐色 | HB① N'Q13, N-O13 III 275SL 台352 | |
| | | | | 7 | 5 | 蓋が考えられるが小破片のため詳細は不明。 | 表:格子状の叩き目が認められる。裏:放射線状の叩き目を轆轤により削り取っている。 | 胎土:細かゝ焼成:良好混和材:白色粒子 | 表:暗青色裏:暗褐色 | HB① P-Q8,9 II 358SK 台484 | |
| | | | | 8 | 4~9 | 胴下部外体面に一条の表状文 | 表:轆轤ナデ裏:轆轤ナデ | 胎土:細かゝ焼成:良好混和材:白色粒子 | 表:暗青色裏:暗褐色 | HB④ I M1 IV 台141 | |
| | | | | 9 | 6 | 肩が丸い | 表:轆轤ナデ裏:放射線状の叩き目を轆轤により削り取っている。 | 胎土:細かゝ焼成:良好混和材:白色粒子 | 表:暗灰色裏:明灰色 | HB②ロ Q10 IV 台3347 | |
| | | | | 10 | IV | 5~6 | 肩が丸い | 表:轆轤ナデ裏:放射線状の叩き目を轆轤により削り取っている。 | 胎土:細かゝ焼成:良好混和材:白色粒子 | 表:暗灰色裏:明灰色 | HB① O11 IV 台478 |
| | | | | 11 | 5 | 肩が張る | 表:轆轤ナデ裏:放射線状の叩き目を轆轤により削り取っている。 | 胎土:細かゝ焼成:良好混和材:白色粒子 | 表:暗灰色裏:明灰色 | HB① P18 IV 台500 | |
| | | | | 12 | V | 9 | 蓋が考えられるが小破片のため詳細は不明。 | 表:轆轤ナデ裏:轆轤ナデ横み痕が顕著である。 | 胎土:細かゝ焼成:良好混和材:白色粒子 | 表:暗灰色裏:明灰色 | HB② I I 台3083 |
| | | | | 13 | 8 | 蓋が考えられるが小破片のため詳細は不明。 | 表:轆轤ナデ叩裏:轆轤ナデ叩 | 胎土:細かゝ焼成:良好混和材:白色粒子 | 表:暗灰色裏:暗褐色 | HB②ロ Q9 IV 台3337 | |
| | | | | 14 | V | 5~10 | 平坦な底面、底面に台の縁が残る。 | 表:方形状の叩き目がみられる。裏:轆轤ナデ底径:11.2cm | 胎土:細かゝ焼成:良好混和材:白色粒子 | 表:暗灰色裏:暗褐色 | HB① P-Q8,9 II 台484 |



第105図 カムイヤキ



図版 67 カムイヤキ

(3) 白磁

本遺跡出土の白磁は総数 78 点、確認できる器種は碗 42 点、皿 9 点、杯 21 点、瓶 1 点の 4 種であった。出土地別の分布は HB①②地区 0~Q8~16 グリッドに集中する傾向にあり、層位別では I、II 層に集中している。全体的に出土点数が少なくその中で比較的多いのが碗である。碗は 12 世紀から 13 世紀代の玉縁口縁碗から型成形の碗である近世資料まで含み生産地、生産年代に幅広い様相を持つ。分類は器形、成形方法、施軸範囲、軸調、胎土により行い編年は森田勉 (1982) ²¹⁾ に準拠するものである。以下に器種別に分類概念を記し、詳細を第 39 表観察一覧において述べる。

碗 (第 108 図 1~19)

総数 42 点の出土であった。口縁は形態により I 類:玉縁口縁、II 類:口禿口縁、III 類:内彎口縁、IV 類:外反口縁、V 類:直口口縁、VI 類:型成形の 6 種に分類、V 類は更にイ~ニの 4 つに細分できる。底部は高台形と施軸範囲、施軸方法で 3 種に分類、加えて内底面見込みの文様を A:有、B:無に細分した。

I 類:玉縁口縁

口縁を玉縁状に肥厚させ、底部は高台の浅いものである。器肉厚い。HB①地区 IV 層で 1 点出土。福建系、12 世紀~13 世紀に位置づけられる。(図 1)

II 類:口禿口縁

腰部に丸味を持ち口縁まで直線的に開く、口縁は端反を成し、口唇と裏面先端から約 6mm 露胎させている。HB②地区 IV 層で 1 点出土。生産地:福建系、生産年代:13 世紀~14 世紀前半に位置づけられる(図 2)

III 類:内彎口縁

全体的に器肉の厚い碗である。腰、胸部は弱い丸味を保ちながら開き口縁に至る。口唇は丸く、先端で内に寄る。底部は内底全面軸、外底腰部まで露胎。軸は厚め。高台の削りが浅く器肉は厚い。内底面見込みに印花を施文するものと無文がある。HB①、HB②地区 IV 層で各 1 点出土。福建系、14 世紀~15 世紀に位置づけられる。(図 5) (ピロースク II タイプ・閩清義窯)²²⁾

IV 類:外反口縁

腰に張りがあり口縁部まで丸味を持ち立ち上がる。口縁部で一旦内に寄せ一気に外反させる。口唇は丸いものとやや細くなるものがある。底部は内底全面軸、外底腰部まで露胎。軸は厚め。高台の削りは浅く器肉が厚い。内底面見込みに印花を施文するものと無文がある。全体的に器壁の厚い碗である。(森田分類 C 群タイプ) 14 世紀頃に位置づけられる。(図 6)

V 類:直口口縁

イ-口縁部は腰部から直線的に開く浅い碗である。口唇は僅かに肥厚し先端は水平に切り平坦に整える。断面形は四角状である。福建系、13 世紀~14 世紀に位置づけられる。(図 3) (今帰仁タイプ・甫口窯)

ロ-逆「八」字状に大きく開き立ちあがる直口の平碗である。口唇は尖り外体面に轆轤痕を留める。HB①地区 358SK II 層の出土。福建系、13 世紀~14 世紀に位置づけられる。(図 4)

ハ-逆「八」字状に開き立ちあがる直口の碗である。口唇は舌状を成す。HB①地区 I 層 2 点、HB②地区 II・III 層で 2 点出土。(図 15~17)

ニ-腰部から直線的に開き立ちあがる直口の碗である。口縁の断面形態はバチ状をなし口唇先端は平坦になる。器面に轆轤痕が顕著である。同様の形態が青磁にもみられる。HB①地区 I 層で 2 点出土した。福建・広東系、16 世紀~17 世紀に位置づけられる。(図 18)

VI類：型成形

口縁は先端で外反させ口唇は尖る型成形の碗である。HB①地区Ⅲ層で1点出土。徳化窯、17世紀～18世紀に位置づけられる。(図19)

・碗底部

1類：底部 高台は低めの幅広の外割り、断面形は逆台形を呈する。見込みは連通心形で畳み付けを含め外底は露胎。口折碗の可能性ある。HB④イ地区Ⅳ層出土。13世紀～14世紀代に位置づけられる。(図11)

2類：底部 高台幅が広く断面形は四角形を呈する。畳み付けを含め外底は露胎。A：内底面見込みに印花文を施すもの(図12)と、B：無文(図13)がある。高台の削りは浅く器肉が厚い。HB①地区Ⅳ層でそれぞれ1点出土。13世紀～15世紀に位置づけられる。

3類：底部 高台外面を斜位に削り出し断面形は三角形を呈する。内底と腰下部から畳み付けを含め外底は露胎。見込みに「得」の字款を施文する。比較的浅い碗である。2類に比して器肉は薄い。HB②口地区Ⅰ層で1点、Ⅳ層で1点出土。15世紀～16世紀に位置づけられる。(図14)

皿(第108図20～24)

出土総数は9点で全てが破片資料である。部位の内訳は口縁部4点、胴部2点、底部3点である。成形方法で**I類：轆轤成形**(図20～23)と**II類：型成形**(図24)に大別できる。口縁はa：直口とb：外反の口縁が得られている。図20は腰部から口縁部まで直線的に開きながら立ち上がる直口の浅皿である。胴部から口縁までほぼ均一な器厚を示す。口唇は舌状を成す。図24は腰部から丸味を持ちつつ開き立ち上がる口縁で外反させ口唇は丸く収める。型成形で無文である。I類はHB①地区Ⅰ、Ⅱ層でそれぞれ1点、II類はHB①地区Ⅰ層で1点、HB②口地区Ⅱ層で1点の出土。徳化窯、17世紀～18世紀に位置づけられる。

底部は3点得られた。図21は外底外面削りだしが浅く高台内の刺は外向き兜巾状に中央が尖る。高台の断面形は逆台形状を呈する。内底と腰下部は露胎している。図22は低めの高台を持ち内底見込みは広めで扁平。高台の断面形は逆台形状を呈し外底器肉は厚い。外底は畳み付けを含め露胎している。図23は萁筒底で内割りである。外外面と内底面見込みに線彫の草花文を施文するものである。

杯(第108図25～31)

口縁から底部まで残す資料が1点、口縁部7点、胴部5点、底部8点の総数21点である。成形方法により**I類：轆轤成形**と**II類：型成形**に大別し、口縁はa：直口とb：外反に細分した。多くが徳化窯系の型成形の杯であった。

I類：轆轤成形 腰部に丸味を持ち外表面は轆轤痕が顕著である。腰下部から底部を露胎させ、高台は割が比較的浅く断面形は四角状を呈する。胴部1点、底部1点の出土で、明代に位置づけられる。(図25・26)

II類：型成形 口径10cm前後のものから5cm大のものがみられる。いずれも腰部に丸味や張を持ち、口縁まで直線的に立ち上がる。口縁はb：外反し口唇は尖る。底部は高台形が断面形三角状を成す。口唇と畳付を露胎させている。(図27～31)口～底部1点、口縁部7点、胴部4点、底部7点の出土である。生産地：徳化窯、生産年代：17世紀～18世紀に位置づけられる。

<注文献>

註1 森田 勉 1982 「14～16世紀の白磁の型式分類と編年」『貿易陶器研究』NO2日本貿易陶磁研究会

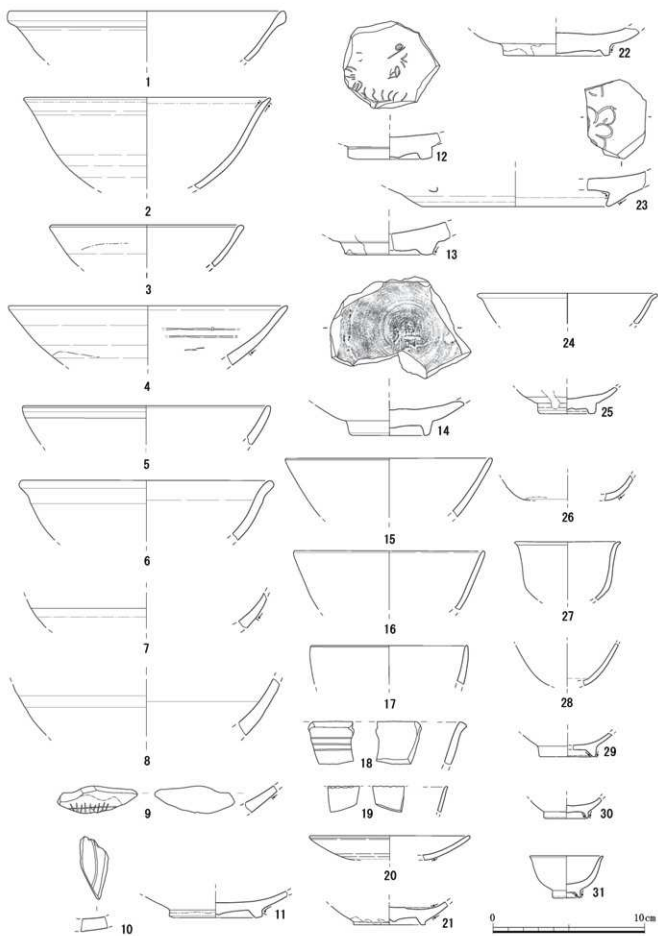
註2 金武正紀 2014 「陶磁器が語る琉球の海外交易史」『第35回日本貿易陶磁研究会(沖縄大会)発表要旨・資料集 琉球列島の貿易陶器』日本貿易陶磁研究会

第39表 白磁観察一覧

(出典単位:cm.4)

| 年代 区分 | 器種 番号 | 部位 | 口径 底径 高さ | 重量 | 分類 | 器形・文様構成・器面調整 | 色・釉薬・貫入 | 素地 (色・釉薬・貫入) | 生産年代 生産地 (その他) | 地区・アフリカ・層位 番号・台帳(取上) | |
|----------------|-------------------|-------|----------------|---|-------------------|---|--|--|---|---------------------------|---------------------------|
| Ⅰ | 1 | 口縁部 | 18.2 — — | 9.37 | I類 | ラン(窓)に外側に開き立ち上がる。口縁は断面が三角形の 断面を有する。 | 赤・灰白色先透輪 | 黒色顔料を含む白色顔料 | 12c~13c 福原系 | IBD① IV 台465 | |
| | | | 16.4 — — | 35.63 | II類 | 口孔、断面が僅かに要る。窓「八」の字状に開き立ち上り 、口縁は断面が反る。比較的横線を留める。 | 灰白色の先透輪を口唇部 を除く輪。 | 白色顔料子を含む。 やぐらみられる。 | 12c~14c前 福原系 (2c・5c・A) | IBD② Q12 IV 取2049~2043 | |
| | | | 12.8 — — | 4.7 | V類① | 口縁部は断面が直線的に開く浅い輪である。口唇は厚 かに肥厚させ上部に肥える。断面形は筒状である。 | 灰白色輪 | 白色顔料子。 | 13c~14c 福原系(東口) (9) | IBD② ② 台3327 | |
| | | | 17.0 — — | 29.6 | V類② | 輪、断面がやや丸みを帯び外側に開く。口縁は直口、口唇は尖 る。横線を留める隙の浅い。 | 灰・黄灰白色輪を断面まで で輪。 | 灰白色の顔料子。 黒色顔料子を含む。 | IBD① ②-G28 Ⅲ 福原系 | IBD① G-28 Ⅲ 3588K 台404 | |
| | | | 16.4 — — | 8.41 | Ⅲ類 | 窓「八」の字状に開く。口縁上端で僅かに内湾する。 横線を全取す。 | 灰白色の輪をやや厚く輪 で。 | 灰白色顔料子。断面が丸気 を多く認める。 | 14c前~15c前 福原・庄原系 (2c・5c) | IBD① O10 IV 台474 | |
| | | | 16.8 — — | 15.77 | IV類 | 断面に丸味を持ち開く。口縁で一旦内側に盛り縁部は外反す 。口唇は丸い。 | 白色輪。貫入が見とれら れる。 | 灰白色顔料子。丸気を含 み認められる。 | 14c前 福原系 (赤) | IBD② R12 Ⅲ 台3341 | |
| | | | — — — | 6.08 | Ⅲ類 | 断面に丸味を持つ。 | 灰白色の輪を断面まで輪 。 | 白色顔料子。 黒色顔料子。丸気を含 み認められる。 | 14c後~15c前 福原・庄原系 (2c・5c) | IBD② S13 IV 台3339 | |
| | | | — — — | 19.54 | Ⅲ類 | 断面に丸味を持つ。 | 赤・灰白色輪 | 灰白色顔料子。断面が丸気 を含み認められる。 | 14c後~15c前 福原・庄原系 (2c・5c) | IBD② S13 IV 台3339 | |
| | | | — — — | 9.55 | Ⅲ類 | 断面下部に高台が削り出した放射状筋が認められる。 | 灰白色輪 | 白色顔料子。 黒色顔料子や断面が丸気 を含み認められる。 | 14c後~15c前 福原・庄原系 (2c・5c) | IBD① Ⅱ 台485 | |
| | | | — — — | 7.01 | Ⅲ類 | 内面に線筋が認められる。 | 灰白色輪 | 白色顔料子。 14c前~15c前 福原・庄原系 (2c・5c) | IBD① O-P15 IV 台464 | | |
| | | | — — — | 44.2 | I類② | 窓「四」幅広高台で見込みが濃厚な形である。 高台が内側に外に開く外筒を成す。 口唇部は丸い。 | 赤・青灰白色輪。高台部 まで輪。 | 白色顔料子。 黒色顔料子を含む。 | 13c~14c 穴IV・赤A) | IBD① M3 IV 台145 | |
| | | | — — — | 5.8 | 2類A | 幅広高台で内面に放射状筋が認められる。 内面に牡丹の印文文様を施す。 | 灰白色輪。外縁部が貫入 が認められる。 | 白色顔料子。 黒色顔料子や断面が丸気 を含み認められる。 | 14c後~15c前 福原・庄原系 (2c・5c) | IBD① N20 IV 取58 | |
| | | | — — — | 5.8 | 3類 | 幅広高台で断面が四角形。玉縁口縁部断面の可能性が ある。 | 黄味がかった灰白色輪。 断面が丸い。 | 白色顔料子。黒色顔料子や 断面が丸気を含み認め られる。 | 13c~14c 福原系 | IBD① P50 IV 台561 | |
| | | | — — — | 5.4 | 3類A | 高台の断面形が三角形を成す。直口口縁部断面が 見込みが厚く内面に「青」の印文を有する。 | 断面無輪 | 黄白色顔料子。黒色顔料子 や断面が丸気を含み認め られる。 | 15c後~16c前 福原(赤) | IBD② ① 台3327 | |
| | | | Ⅱ | 1 | 口縁部 | 13.5 — — | 11.51 | V類① | 断面が直線的に外に開き口縁に至る輪である。口唇部は丸 く肥える。窓付輪部に同様の筋が見られる。 直口口縁部である。 | 赤・青灰白色輪。高台部 まで輪。 | 白色顔料子。 黒色顔料子を含む。 |
| 12.6 — — | 9.67 | V類① | | | | 断面が直線的に外に開き口縁に至る輪である。口唇部は丸 く肥える。窓付輪部に同様の筋が見られる。 直口口縁部である。 | 赤・青灰白色輪。高台部 まで輪。 | 白色顔料子。 黒色顔料子を含む。 | 17c代 | IBD② O-P18~14 I 台239 | |
| 10.4 — — | 3.43 | V類① | | | | 直口口縁で口唇は尖がる。 | 赤・青灰白色輪。 灰白色の顔料子。 黒色顔料子を含む。 | 17c代 | IBD② R12 Ⅲ 台3344 | | |
| — — — | 6.37 | V類② | | | | 断面が直線的に開き立ち上がり口縁。口唇の断面形は尖 った平円状の筒状。 口縁直下に僅かに横線を三条のみを有す。 | 赤・青緑白色。高台部ま で輪。 | 黄白色の顔料子。黒色顔 料子。白色顔料子を含む。 | 16c後~17c前 福原・庄原系 | IBD① O-P18~14 I 台239 | |
| — — — | 1.09 | VI類 | | | | 断面が直線的に立ち上がり口縁。口唇部は丸く開く。口 唇部に二次的な彫割筋が認められる。 | 白色輪 | 白色顔料子。 断面が丸い。 | IBD① P18~15 Q15 福原系 371SD 取 IBD① O13.14+P13 台487 | | |
| 10.6 — — | 5.4 | I類① | | | | 断面はやや丸く口縁に向く直線的に開く。口縁は直口、 口唇はやや丸い。外側に横線を留める。 | 灰白色輪 | 灰白色の顔料子。 黒色顔料子を含む。 | 15c~16c 福原・庄原系 | IBD② ② 台3328 | |
| — — — | 4.7 | 1類 | | | | 外側に丸みの付いた断面形が筒状に削り、更に、窓付外 筒を外側に、内面に線筋。 | 灰白色の輪を高台部まで 輪。内面に線筋 | 灰白色の顔料子。 断面が丸気。黒色顔料子 を含む。 | 16c 福原系 | IBD② ② 台3328 | |
| — — — | 7.0 | 1類 | | | | 高台の外側に削り出した。断面形が筒状。高台内側の 筒を外側に、内面に線筋。 | 灰白色の輪を高台部まで 輪。、高台に線筋。 | 黄白色の顔料子。 黒色顔料子を含む。 | 14c前 福原系 | IBD② Q13 IV 取2039 | |
| — — — | 12.0 | 42.2 | | | | I類 | 断面筋の太さでやや内湾である。 外側と見込みが厚い窓付文様。 | 赤緑白色輪を高台部ま で輪。、高台に線筋 | 白色の顔料子。 黒色顔料子を含む。 | 15c後~16c 景徳鎮 | IBD① N4 IV 台3137 |
| — — — | 12.0 | 3.06 | | | | II類① | やや丸みのある断面形に開き口縁に至る。口縁は直口、口唇は 丸く肥える。 | 白色輪 | 白色の顔料子。 黒色顔料子を含む。 | 17c~18c 徳化系 | IBD② ② 2002S2 台3367 |
| — — — | 3.0 | 26.05 | | | | I類 | 外側に高台の削り出した断面形が筒状に削り、更に、窓付外 筒を削り出した。高台内筒は比較的浅い。 | 赤黄緑白色輪を断面まで 輪。 | 白色の顔料子。 黒色顔料子を含む。 | 明代 景徳鎮 | IBD② ② 台3327 |
| — — — | 3.16 | I類 | | | | 断面が丸く、外面に横線を留める。 | 灰白色輪を断面まで輪 | 灰白色の顔料子。 黒色顔料子を含む。 | 15c~16c 福原・庄原系 | IBD② Q9 IV 台3340 | |
| — — — | 7.0 | 7.11 | | | | II類① | 断面が直線的に立ち上がる。口縁は先端から外反り、口唇は 尖る。 | 白色顔料 | 白色顔料子。 | 17c~18c 徳化系 | IBD① O-P18~14 I 台239 |
| — — — | 3.01 | II類 | | | | 断面に丸味を持ち直に立ち上がる。 | 白色輪 | 灰白色の顔料子。 黒色顔料子を含む。 | 17c~18c 徳化系 | IBD① O-P18~14 I 台239 | |
| — — — | 3.8 | 9.78 | | | | II類 | 高台の断面形が三角形。窓付に砂目が見られる。窓付筋が 認められる。 | 白色輪 金銀輪筋後量付輪筋付 | 灰白色の顔料子。 | 17c~18c 徳化系 | IBD① K-15 Ⅲ 163SK 取609 |
| — — — | 3.0 | 13.92 | II類 | 高台の断面形が三角形をなした窓付の外筒に砂目認められ る。 | 白色輪 金銀輪筋後量付輪筋付 | 灰白色の顔料子。 | 17c~18c 徳化系 | IBD① O-P18~14 I 台239 | | | |
| — — — | 4.8 2.0 3.9 | 14.01 | II類① | 丸味のある断面からやや開きながら直線的に立ち上がる。 口縁は先端で外反り、口唇は丸く肥える。 | 白色輪 金銀輪筋後量付輪筋付 | 白色顔料子。 | 17c~18c 徳化系 | IBD① Ⅱ 台3356 | | | |

Ⅰ類(取付)Ⅰ類①(赤A)Ⅰ類②(赤B)Ⅱ類①(赤A)Ⅱ類②(赤B)Ⅲ類①(赤A)Ⅲ類②(赤B)Ⅳ類①(赤A)Ⅳ類②(赤B)Ⅴ類①(赤A)Ⅴ類②(赤B)Ⅵ類①(赤A)Ⅵ類②(赤B)Ⅶ類①(赤A)Ⅶ類②(赤B)Ⅷ類①(赤A)Ⅷ類②(赤B)Ⅸ類①(赤A)Ⅸ類②(赤B)Ⅹ類①(赤A)Ⅹ類②(赤B)Ⅺ類①(赤A)Ⅺ類②(赤B)Ⅻ類①(赤A)Ⅻ類②(赤B)Ⅼ類①(赤A)Ⅼ類②(赤B)Ⅽ類①(赤A)Ⅽ類②(赤B)Ⅾ類①(赤A)Ⅾ類②(赤B)Ⅿ類①(赤A)Ⅿ類②(赤B)ⅰ類①(赤A)ⅰ類②(赤B)ⅱ類①(赤A)ⅱ類②(赤B)ⅱ類③(赤A)ⅱ類④(赤B)ⅱ類⑤(赤C)ⅱ類⑥(赤D)ⅱ類⑦(赤E)ⅱ類⑧(赤F)ⅱ類⑨(赤G)ⅱ類⑩(赤H)ⅱ類⑪(赤I)ⅱ類⑫(赤J)ⅱ類⑬(赤K)ⅱ類⑭(赤L)ⅱ類⑮(赤M)ⅱ類⑯(赤N)ⅱ類⑰(赤O)ⅱ類⑱(赤P)ⅱ類⑲(赤Q)ⅱ類⑳(赤R)ⅱ類㉑(赤S)ⅱ類㉒(赤T)ⅱ類㉓(赤U)ⅱ類㉔(赤V)ⅱ類㉕(赤W)ⅱ類㉖(赤X)ⅱ類㉗(赤Y)ⅱ類㉘(赤Z)ⅱ類㉙(赤AA)ⅱ類㉚(赤AB)ⅱ類㉛(赤AC)ⅱ類㉜(赤AD)ⅱ類㉝(赤AE)ⅱ類㉞(赤AF)ⅱ類㉟(赤AG)ⅱ類㊱(赤AH)ⅱ類㊲(赤AI)ⅱ類㊳(赤AJ)ⅱ類㊴(赤AK)ⅱ類㊵(赤AL)ⅱ類㊶(赤AM)ⅱ類㊷(赤AN)ⅱ類㊸(赤AO)ⅱ類㊹(赤AP)ⅱ類㊺(赤AQ)ⅱ類㊻(赤AR)ⅱ類㊼(赤AS)ⅱ類㊽(赤AT)ⅱ類㊾(赤AU)ⅱ類㊿(赤AV)ⅱ類㉿(赤AW)ⅱ類㊰(赤AX)ⅱ類㊱(赤AY)ⅱ類㊲(赤AZ)ⅱ類㊳(赤BA)ⅱ類㊴(赤BB)ⅱ類㊵(赤BC)ⅱ類㊶(赤BD)ⅱ類㊷(赤BE)ⅱ類㊸(赤BF)ⅱ類㊹(赤BG)ⅱ類㊺(赤BH)ⅱ類㊻(赤BI)ⅱ類㊼(赤BJ)ⅱ類㊽(赤BK)ⅱ類㊾(赤BL)ⅱ類㊿(赤BM)ⅱ類㉿(赤BN)ⅱ類㊰(赤BO)ⅱ類㊱(赤BP)ⅱ類㊲(赤BQ)ⅱ類㊳(赤BR)ⅱ類㊴(赤BS)ⅱ類㊵(赤BT)ⅱ類㊶(赤BU)ⅱ類㊷(赤BV)ⅱ類㊸(赤BW)ⅱ類㊹(赤BX)ⅱ類㊺(赤BY)ⅱ類㊻(赤BZ)ⅱ類㊼(赤CA)ⅱ類㊽(赤CB)ⅱ類㊾(赤CC)ⅱ類㊿(赤CD)ⅱ類㉿(赤CE)ⅱ類㊰(赤CF)ⅱ類㊱(赤CG)ⅱ類㊲(赤CH)ⅱ類㊳(赤CI)ⅱ類㊴(赤CJ)ⅱ類㊵(赤CK)ⅱ類㊶(赤CL)ⅱ類㊷(赤CM)ⅱ類㊸(赤CN)ⅱ類㊹(赤CO)ⅱ類㊺(赤CP)ⅱ類㊻(赤CQ)ⅱ類㊼(赤CR)ⅱ類㊽(赤CS)ⅱ類㊾(赤CT)ⅱ類㊿(赤CU)ⅱ類㉿(赤CV)ⅱ類㊰(赤CW)ⅱ類㊱(赤CX)ⅱ類㊲(赤CY)ⅱ類㊳(赤CZ)ⅱ類㊴(赤DA)ⅱ類㊵(赤DB)ⅱ類㊶(赤DC)ⅱ類㊷(赤DD)ⅱ類㊸(赤DE)ⅱ類㊹(赤DF)ⅱ類㊺(赤DG)ⅱ類㊻(赤DH)ⅱ類㊼(赤DI)ⅱ類㊽(赤DJ)ⅱ類㊾(赤DK)ⅱ類㊿(赤DL)ⅱ類㉿(赤DM)ⅱ類㊰(赤DN)ⅱ類㊱(赤DO)ⅱ類㊲(赤DP)ⅱ類㊳(赤DQ)ⅱ類㊴(赤DR)ⅱ類㊵(赤DS)ⅱ類㊶(赤DT)ⅱ類㊷(赤DU)ⅱ類㊸(赤DV)ⅱ類㊹(赤DW)ⅱ類㊺(赤DX)ⅱ類㊻(赤DY)ⅱ類㊼(赤DZ)ⅱ類㊽(赤EA)ⅱ類㊾(赤EB)ⅱ類㊿(赤EC)ⅱ類㉿(赤ED)ⅱ類㊰(赤EF)ⅱ類㊱(赤EG)ⅱ類㊲(赤EH)ⅱ類㊳(赤EI)ⅱ類㊴(赤EJ)ⅱ類㊵(赤EK)ⅱ類㊶(赤EL)ⅱ類㊷(赤EM)ⅱ類㊸(赤EN)ⅱ類㊹(赤EO)ⅱ類㊺(赤EP)ⅱ類㊻(赤EQ)ⅱ類㊼(赤ER)ⅱ類㊽(赤ES)ⅱ類㊾(赤ET)ⅱ類㊿(赤EU)ⅱ類㉿(赤EV)ⅱ類㊰(赤EW)ⅱ類㊱(赤EX)ⅱ類㊲(赤EY)ⅱ類㊳(赤EZ)ⅱ類㊴(赤FA)ⅱ類㊵(赤FB)ⅱ類㊶(赤FC)ⅱ類㊷(赤FD)ⅱ類㊸(赤FE)ⅱ類㊹(赤FF)ⅱ類㊺(赤FG)ⅱ類㊻(赤FH)ⅱ類㊼(赤FI)ⅱ類㊽(赤FJ)ⅱ類㊾(赤FK)ⅱ類㊿(赤FL)ⅱ類㉿(赤FM)ⅱ類㊰(赤FN)ⅱ類㊱(赤FO)ⅱ類㊲(赤FP)ⅱ類㊳(赤FQ)ⅱ類㊴(赤FR)ⅱ類㊵(赤FS)ⅱ類㊶(赤FT)ⅱ類㊷(赤FU)ⅱ類㊸(赤FV)ⅱ類㊹(赤FW)ⅱ類㊺(赤FX)ⅱ類㊻(赤FY)ⅱ類㊼(赤FZ)ⅱ類㊽(赤GA)ⅱ類㊾(赤GB)ⅱ類㊿(赤GC)ⅱ類㉿(赤GD)ⅱ類㊰(赤GE)ⅱ類㊱(赤GF)ⅱ類㊲(赤GH)ⅱ類㊳(赤GI)ⅱ類㊴(赤GJ)ⅱ類㊵(赤GK)ⅱ類㊶(赤GL)ⅱ類㊷(赤GM)ⅱ類㊸(赤GN)ⅱ類㊹(赤GO)ⅱ類㊺(赤GP)ⅱ類㊻(赤GQ)ⅱ類㊼(赤GR)ⅱ類㊽(赤GS)ⅱ類㊾(赤GT)ⅱ類㊿(赤GU)ⅱ類㉿(赤GV)ⅱ類㊰(赤GW)ⅱ類㊱(赤GX)ⅱ類㊲(赤GY)ⅱ類㊳(赤GZ)ⅱ類㊴(赤HA)ⅱ類㊵(赤HB)ⅱ類㊶(赤HC)ⅱ類㊷(赤HD)ⅱ類㊸(赤HE)ⅱ類㊹(赤HF)ⅱ類㊺(赤HG)ⅱ類㊻(赤HH)ⅱ類㊼(赤HI)ⅱ類㊽(赤HJ)ⅱ類㊾(赤HK)ⅱ類㊿(赤HL)ⅱ類㉿(赤HM)ⅱ類㊰(赤HN)ⅱ類㊱(赤HO)ⅱ類㊲(赤HP)ⅱ類㊳(赤HQ)ⅱ類㊴(赤HR)ⅱ類㊵(赤HS)ⅱ類㊶(赤HT)ⅱ類㊷(赤HU)ⅱ類㊸(赤HV)ⅱ類㊹(赤HW)ⅱ類㊺(赤HX)ⅱ類㊻(赤HY)ⅱ類㊼(赤HZ)ⅱ類㊽(赤IA)ⅱ類㊾(赤IB)ⅱ類㊿(赤IC)ⅱ類㉿(赤ID)ⅱ類㊰(赤IE)ⅱ類㊱(赤IF)ⅱ類㊲(赤IG)ⅱ類㊳(赤IH)ⅱ類㊴(赤IJ)ⅱ類㊵(赤IK)ⅱ類㊶(赤IL)ⅱ類㊷(赤IM)ⅱ類㊸(赤IN)ⅱ類㊹(赤IO)ⅱ類㊺(赤IP)ⅱ類㊻(赤IQ)ⅱ類㊼(赤IR)ⅱ類㊽(赤IS)ⅱ類㊾(赤IT)ⅱ類㊿(赤IU)ⅱ類㉿(赤IV)ⅱ類㊰(赤IW)ⅱ類㊱(赤IX)ⅱ類㊲(赤IY)ⅱ類㊳(赤IZ)ⅱ類㊴(赤JA)ⅱ類㊵(赤JB)ⅱ類㊶(赤JC)ⅱ類㊷(赤JD)ⅱ類㊸(赤JE)ⅱ類㊹(赤JF)ⅱ類㊺(赤JG)ⅱ類㊻(赤JH)ⅱ類㊼(赤JI)ⅱ類㊽(赤JJ)ⅱ類㊾(赤JK)ⅱ類㊿(赤JL)ⅱ類㉿(赤JM)ⅱ類㊰(赤JN)ⅱ類㊱(赤JO)ⅱ類㊲(赤JP)ⅱ類㊳(赤JQ)ⅱ類㊴(赤JR)ⅱ類㊵(赤JS)ⅱ類㊶(赤JT)ⅱ類㊷(赤JU)ⅱ類㊸(赤JV)ⅱ類㊹(赤JW)ⅱ類㊺(赤JX)ⅱ類㊻(赤JY)ⅱ類㊼(赤JZ)ⅱ類㊽(赤KA)ⅱ類㊾(赤KB)ⅱ類㊿(赤KC)ⅱ類㉿(赤KD)ⅱ類㊰(赤KE)ⅱ類㊱(赤KF)ⅱ類㊲(赤KG)ⅱ類㊳(赤KH)ⅱ類㊴(赤KI)ⅱ類㊵(赤KJ)ⅱ類㊶(赤KL)ⅱ類㊷(赤KM)ⅱ類㊸(赤KN)ⅱ類㊹(赤KO)ⅱ類㊺(赤KP)ⅱ類㊻(赤KQ)ⅱ類㊼(赤KR)ⅱ類㊽(赤KS)ⅱ類㊾(赤KT)ⅱ類㊿(赤KU)ⅱ類㉿(赤KV)ⅱ類㊰(赤KW)ⅱ類㊱(赤KX)ⅱ類㊲(赤KY)ⅱ類㊳(赤KZ)ⅱ類㊴(赤LA)ⅱ類㊵(赤LB)ⅱ類㊶(赤LC)ⅱ類㊷(赤LD)ⅱ類㊸(赤LE)ⅱ類㊹(赤LF)ⅱ類㊺(赤LG)ⅱ類㊻(赤LH)ⅱ類㊼(赤LI)ⅱ類㊽(赤LJ)ⅱ類㊾(赤LK)ⅱ類㊿(赤LL)ⅱ類㉿(赤LM)ⅱ類㊰(赤LN)ⅱ類㊱(赤LO)ⅱ類㊲(赤LP)ⅱ類㊳(赤LQ)ⅱ類㊴(赤LR)ⅱ類㊵(赤LS)ⅱ類㊶(赤LT)ⅱ類㊷(赤LU)ⅱ類㊸(赤LV)ⅱ類㊹(赤LW)ⅱ類㊺(赤LX)ⅱ類㊻(赤LY)ⅱ類㊼(赤LZ)ⅱ類㊽(赤MA)ⅱ類㊾(赤MB)ⅱ類㊿(赤MC)ⅱ類㉿(赤MD)ⅱ類㊰(赤ME)ⅱ類㊱(赤MF)ⅱ類㊲(赤MG)ⅱ類㊳(赤MH)ⅱ類㊴(赤MI)ⅱ類㊵(赤MJ)ⅱ類㊶(赤MK)ⅱ類㊷(赤ML)ⅱ類㊸(赤MN)ⅱ類㊹(赤MO)ⅱ類㊺(赤MP)ⅱ類㊻(赤MQ)ⅱ類㊼(赤MR)ⅱ類㊽(赤MS)ⅱ類㊾(赤MT)ⅱ類㊿(赤MU)ⅱ類㉿(赤MV)ⅱ類㊰(赤MW)ⅱ類㊱(赤MX)ⅱ類㊲(赤MY)ⅱ類㊳(赤MZ)ⅱ類㊴(赤NA)ⅱ類㊵(赤NB)ⅱ類㊶(赤NC)ⅱ類㊷(赤ND)ⅱ類㊸(赤NE)ⅱ類㊹(赤NF)ⅱ類㊺(赤NG)ⅱ類㊻(赤NH)ⅱ類㊼(赤NI)ⅱ類㊽(赤NJ)ⅱ類㊾(赤NK)ⅱ類㊿(赤NL)ⅱ類㉿(赤NM)ⅱ類㊰(赤NN)ⅱ類㊱(赤NO)ⅱ類㊲(赤NP)ⅱ類㊳(赤NQ)ⅱ類㊴(赤NR)ⅱ類㊵(赤NS)ⅱ類㊶(赤NT)ⅱ類㊷(赤NU)ⅱ類㊸(赤NV)ⅱ類㊹(赤NW)ⅱ類㊺(赤NX)ⅱ類㊻(赤NY)ⅱ類㊼(赤NZ)ⅱ類㊽(赤OA)ⅱ類㊾(赤OB)ⅱ類㊿(赤OC)ⅱ類㉿(赤OD)ⅱ類㊰(赤OE)ⅱ類㊱(赤OF)ⅱ類㊲(赤OG)ⅱ類㊳(赤OH)ⅱ類㊴(赤OI)ⅱ類㊵(赤OJ)ⅱ類㊶(赤OK)ⅱ類㊷(赤OL)ⅱ類㊸(赤OM)ⅱ類㊹(赤ON)ⅱ類㊺(赤OO)ⅱ類㊻(赤OP)ⅱ類㊼(赤OQ)ⅱ類㊽(赤OR)ⅱ類㊾(赤OS)ⅱ類㊿(赤OU)ⅱ類㉿(赤OV)ⅱ類㊰(赤OW)ⅱ類㊱(赤OX)ⅱ類㊲(赤OY)ⅱ類㊳(赤OZ)ⅱ類㊴(赤PA)ⅱ類㊵(赤PB)ⅱ類㊶(赤PC)ⅱ類㊷(赤PD)ⅱ類㊸(赤PE)ⅱ類㊹(赤PF)ⅱ類㊺(赤PG)ⅱ類㊻(赤PH)ⅱ類㊼(赤PI)ⅱ類㊽(赤PJ)ⅱ類㊾(赤PK)ⅱ類㊿(赤PL)ⅱ類㉿(赤PM)ⅱ類㊰(赤PN)ⅱ類㊱(赤PO)ⅱ類㊲(赤PP)ⅱ類㊳(赤PQ)ⅱ類㊴(赤PR)ⅱ類㊵(赤PS)ⅱ類㊶(赤PT)ⅱ類㊷(赤PU)ⅱ類㊸(赤PV)ⅱ類㊹(赤PW)ⅱ類㊺(赤PX)ⅱ類㊻(赤PY)ⅱ類㊼(赤PZ)ⅱ類㊽(赤QA)ⅱ類㊾(赤QB)ⅱ類㊿(赤QC)ⅱ類㉿(赤QD)ⅱ類㊰(赤QE)ⅱ類㊱(赤QF)ⅱ類㊲(赤QG)ⅱ類㊳(赤QH)ⅱ類㊴(赤QI)ⅱ類㊵(赤QJ)ⅱ類㊶(赤QK)ⅱ類㊷(赤QL)ⅱ類㊸(赤QM)ⅱ類㊹(赤QN)ⅱ類㊺(赤QO)ⅱ類㊻(赤QP)ⅱ類㊼(赤QQ)ⅱ類㊽(赤QR)ⅱ類㊾(赤QS)ⅱ類㊿(赤QU)ⅱ類㉿(赤QV)ⅱ類㊰(赤QW)ⅱ類㊱(赤QX)ⅱ類㊲(赤QY)ⅱ類㊳(赤QZ)ⅱ類㊴(赤RA)ⅱ類㊵(赤RB)ⅱ類㊶(赤RC)ⅱ類㊷(赤RD)ⅱ類㊸(赤RE)ⅱ類㊹(赤RF)ⅱ類㊺(赤RG)ⅱ類㊻(赤RH)ⅱ類㊼(赤RI)ⅱ類㊽(赤RJ)ⅱ類㊾(赤RK)ⅱ類㊿(赤RL)ⅱ類㉿(赤RM)ⅱ類㊰(赤RN)ⅱ類㊱(赤RO)ⅱ類㊲(赤RP)ⅱ類㊳(赤RQ)ⅱ類㊴(赤RR)ⅱ類㊽(赤RS)ⅱ類㊾(赤RT)ⅱ類㊿(赤RU)ⅱ類㉿(赤RV)ⅱ類㊰(赤RW)ⅱ類㊱(赤RX)ⅱ類㊲(赤RY)ⅱ類㊳(赤RZ)ⅱ類㊴(赤SA)ⅱ類㊵(赤SB)ⅱ類㊶(赤SC)ⅱ類㊷(赤SD)ⅱ類㊸(赤SE)ⅱ類㊹(赤SF)ⅱ類㊺(赤SG)ⅱ類㊻(赤SH)ⅱ類㊼(赤SI)ⅱ類㊽(赤SJ)ⅱ類㊾(赤SK)ⅱ類㊿(赤SL)ⅱ類㉿(赤SM)ⅱ類㊰(赤SN)ⅱ類㊱(赤SO)ⅱ類㊲(赤SP)ⅱ類㊳(赤SQ)ⅱ類㊴(赤SR)ⅱ類㊵(赤SS)ⅱ類㊾(赤ST)ⅱ類㊿(赤SU)ⅱ類㉿(赤SV)ⅱ類㊰(赤SW)ⅱ類㊱(赤SX)ⅱ類㊲(赤SY)ⅱ類㊳(赤SZ)ⅱ類㊴(赤TA)ⅱ類㊵(赤TB)ⅱ類㊶(赤TC)ⅱ類㊷(赤TD)ⅱ類㊸(赤TE)ⅱ類㊹(赤TF)ⅱ類㊺(赤TG)ⅱ類㊻(赤TH)ⅱ類㊼(赤TI)ⅱ類㊽(赤TJ)ⅱ類㊾(赤TK)ⅱ類㊿(赤TL)ⅱ類㉿(赤TM)ⅱ類㊰(赤TN)ⅱ類㊱(赤TO)ⅱ類㊲(赤TP)ⅱ類㊳(赤TQ)ⅱ類㊴(赤TR)ⅱ類㊵(赤TS)ⅱ類㊶(赤TT)ⅱ類㊷(赤TU)ⅱ類㊸(赤TV)ⅱ類㊹(赤TW)ⅱ類㊺(赤TX)ⅱ類㊻(赤TY)ⅱ類㊼(赤TZ)ⅱ類㊽(赤UA)ⅱ類㊾(赤UB)ⅱ類㊿(赤UC)ⅱ類㉿(赤UD)ⅱ類㊰(赤UE)ⅱ類㊱(赤UF)ⅱ類㊲(赤UG)ⅱ類㊳(赤UH)ⅱ類㊴(赤UI)ⅱ類㊵(赤UJ)ⅱ類㊶(赤UK)ⅱ類㊷(赤UL)ⅱ類㊸(赤UM)ⅱ類㊹(赤UN)ⅱ類㊺(赤UO)ⅱ類㊻(赤UP)ⅱ類㊼(赤UQ)ⅱ類㊽(赤UR)ⅱ類㊾(赤US)ⅱ類㊿(赤UU)ⅱ類㉿(赤UV)ⅱ類㊰(赤UW)ⅱ類㊱(赤UX)ⅱ類㊲(赤UY)ⅱ類㊳(赤UZ)ⅱ類㊴(赤VA)ⅱ類㊵(赤VB)ⅱ類㊶(赤VC)ⅱ類㊷(赤VD)ⅱ類㊸(赤VE)ⅱ類㊹(赤VF)ⅱ類㊺(赤VG)ⅱ類㊻(赤VH)ⅱ類㊼(赤VI)ⅱ類㊽(赤VJ)ⅱ類㊾(赤VK)ⅱ類㊿(赤VL)ⅱ類㉿(赤VM)ⅱ類㊰(赤VN)ⅱ類㊱(赤VO)ⅱ類㊲(赤VP)ⅱ類㊳(赤VQ)ⅱ類㊴(赤VR)ⅱ類㊵(赤VS)ⅱ類㊶(赤VT)ⅱ類㊷(赤VU)ⅱ類㊸(赤VV)ⅱ類㊹(赤VW)ⅱ類㊺(赤VX)ⅱ類㊻(赤VY)ⅱ類㊼(赤VZ)ⅱ類㊽(赤WA)ⅱ類㊾(赤WB)ⅱ類㊿(赤WC)ⅱ類㉿(赤WD)ⅱ類㊰(赤WE)ⅱ類㊱(赤WF)ⅱ類㊲(赤WG)ⅱ類㊳(赤WH)ⅱ類㊴(赤WI)ⅱ類㊵(赤WJ)ⅱ類㊶(赤WK)ⅱ類㊷(赤WL)ⅱ類㊸(赤WM)ⅱ類㊹(赤WN)ⅱ類㊺(赤WO)ⅱ類㊻(赤WP)ⅱ類㊼(赤WQ)ⅱ類㊽(赤WR)ⅱ類㊾(赤WS)ⅱ類㊿(赤WU)ⅱ類㉿(赤WV)ⅱ類㊰(赤WW)ⅱ類㊱(赤WX)ⅱ類㊲(赤WY)ⅱ類㊳(赤WZ)ⅱ類㊴(赤XA)ⅱ類㊵(赤XB)ⅱ類㊶(赤XC)ⅱ類㊷(赤XD)ⅱ類㊸(赤XE)ⅱ類㊹(赤XF)ⅱ類㊺(赤XG)ⅱ類㊻(赤XH)ⅱ類㊼(赤XI)ⅱ類㊽(赤XJ)ⅱ類㊾(赤XK)ⅱ類㊿(赤XL)ⅱ類㉿(赤XM)ⅱ類㊰(赤XN)ⅱ類㊱(赤XO)ⅱ類㊲(赤XP)ⅱ類㊳(赤XQ)ⅱ類㊴(赤XR)ⅱ類㊵(赤XS)ⅱ類㊶(赤XT)ⅱ類㊷(赤XU)ⅱ類㊸(赤XV)ⅱ類㊹(赤XW)ⅱ類㊺(赤XX)ⅱ類㊻(赤XY)ⅱ類㊼(赤XZ)ⅱ類㊽(赤YA)ⅱ類㊾(赤YB)ⅱ類㊿(赤YC)ⅱ類㉿(赤YD)ⅱ類㊰(赤YE)ⅱ類㊱(赤YF)ⅱ類㊲(赤YG)ⅱ類㊳(赤YH)ⅱ類㊴(赤YI)ⅱ類㊵(赤YJ)ⅱ類㊶(赤YK)ⅱ類㊷(赤YL)ⅱ類㊸(赤YM)ⅱ類㊹(赤YN)ⅱ類㊺(赤YO)ⅱ類㊻(赤YP)ⅱ類㊼(赤YQ)ⅱ類㊽(赤YR)ⅱ類㊾(赤YS)ⅱ類㊿(赤YU)ⅱ類㉿(赤YV)ⅱ類㊰(赤YW)ⅱ類㊱(赤YX)ⅱ類㊲(赤YY)ⅱ類㊳(赤YZ)ⅱ類㊴(赤ZA)ⅱ類㊵(赤ZB)ⅱ類㊶(赤ZC)ⅱ類㊷(赤ZD)ⅱ類㊸(赤ZE)ⅱ類㊹(赤ZF)ⅱ類㊺(赤ZG)ⅱ類㊻(赤ZH)ⅱ類㊼(赤ZI



第108图 白磁



圖版 68 白磁

(4) 青磁

本遺跡出土の青磁は総数 98 点、完品の出土はなく確認できる器種は碗 75 点、皿 7 点、盤 11 点、鉢 1 点、瓶 3 点の 5 種であった。第 41 表に示すように殆どは龍泉窯とその系列窯のものである。わずかではあるが福建・広東系のももみられた。生産年代は概ね 13 世紀から 18 世紀に位置づけられる。また瓶胴部が 3 点得られているが小片のため図化はできなかった。以下その概要を述べ個々についての詳細は第 41 表観察一覧において述べる。器種ごとに分類し観察一覧にその記号を示した。なお、その分類にあたっては基本的に上田 (1982) ²¹ に準拠するものである。

碗 (第 109～110 図 1～24)

75 点と最も多く出土している。全形を窺う資料に乏しく口縁部と底部に分けて分類した。口縁は形態により①直口、②外反、③内彎、④玉縁に分かれる。文様は大きく I～V 類の 5 種に分類、さらに施文具や施文方法により細分を加えた。底部は高台の断面形態と施軸範囲で A～F 類の 6 種に分類し、内底の文様の有無と施文方法で細分した。

I 類：蓮弁文 (図 1～4)

a: 片切り彫りの鐏を持つ蓮弁文 4 点、b: 片切りの輪郭線のみで鐏を持たないもの 3 点、c: ヘラ先を用い描く線刻細蓮弁文 4 点がある。図 1・2 は「I 類 a」鐏蓮弁文碗の口縁部と底部である。片切り彫りにより浮き彫的に花卉を表現している。13 世紀を主として 14 世紀前半に位置づけられる。図 3・4 は「I 類 c」ヘラ先を用い描く線刻細蓮弁文碗である。c には弁先が山形に独立し基部と別々に描くタイプ (図 4) もみられた。15 世紀後～16 世紀前に位置づけられる。

II 類：雷文帯 (図 5・6)

a: 雷文は施文方法で篋により施文されるもの (図 5) と、b: 印花によるもの (図 6) の 2 点がある。14 世紀後～15 世紀中に位置づけられる。

III 類：型押文 (図 9・10)

内面に型押の陽花文を施すものが 4 点で、図 9 は陽花の蓮弁文、図 10 は故事を題材とした人物型押文と考えられる。14 世紀後～15 世紀中に位置づけられる。

IV 類：篋描草花文

碗の外面や内面に篋描きの草花や唐草を描くものである。一般的には雷文帯とセットで描かれることが多く 9 点得られた。当該品は胴部小破片のみの出土であることから図化はしていない。14 世紀後半～15 世紀中葉に位置づけられる。

V 類：無文 (図 7・8・11～14)

無文は 36 点で最も多く a: 有圏線 2 点 (図 8・11) と、b: 無圏線 34 点に分かれる (図 7・12～14)。15 世紀～16 世紀に位置づけられる。

・碗底部 (図 15～24)

12 点得られ、内底面の文様は陰圏線に印花文を施すものが認められた。a は印花文などの文様を施すものである (図 16～21)。b は内底は無文である (図 22～24)。高台断面形と施文範囲で以下に分類できる。

A 類: (図 2) 高台の断面形が略四角状を呈し割は比較的浅い。軸は高台外面まで掛かるが畳付けを含め外底は無軸である。鐏蓮弁文を伴うことがある。1 点得られた。

B 類: (図 16) 高台の断面形が三角状を呈し、高台内側途中まで軸のかかるもので外底は無軸で 1 点得られた。

C 類: (図 18～20) 高台の断面形が三角状を呈し、全面に施軸後外底の軸を輪状に削り取るもの

で、3点得られた。

D類：(図 17) 高台の断面形が三角状を呈し、全面に施軸後疊付けの軸を削り取るもので、1点得られた。

E類：(図 15・21～23) 高台の断面形が四角状または三角状、高台外面途中まで軸のかかるもので5点得られた。

F類：(図 24) 高台の断面形が幅広四角状高台外面途中まで軸のかかるもので1点得られた。

18世紀～中葉に位置づけられる。内底面の施軸方法と範囲はイ：輪状の露胎、ロ：全面施軸とあり(図 23・24)は内底面見込みを釉剥ぎまたは無釉にすることにより胎を露出させたものである。イ：輪状の露胎には①全面施軸後に輪状に釉剥する(図 23)と内底見込以外の施軸後に見込み中央に円形上に釉を塗布することにより②輪状の露胎(図 24)とするものに分かれる。

皿(第110図 25～29)

口縁部1点、胴部3点、底部3点の総数7点得られた。

I類：蓮弁文(図 25・28)

蓮弁文はb：片切彫り蓮弁文、c：線刻細蓮弁文の2種が得られている。(図 25)はb：の片切彫り蓮弁文を外面と内面に描くものである。(図 28)はcの線刻細蓮弁文を外体面に篋先により描いている。

II類：草花文・唐草文(図 29)

外面が無文の腰折れの皿である。内面に片切彫りの唐草文を描く。

III類：無文(図 26)

腰折れの無文皿底部資料である

・皿底部(図 25～27)

底部内底面の文様はa：内底面に印花文を施すもの(図 25)と、b：内底面が無文になるもの(図 26・27)とがある。高台の断面形と施軸範囲で3種に分類した。

A類：高台の断面形は四角状、軸は高台の外表面まで掛かり、疊付を含め外底は無釉。(図 27)

B類：高台の断面形は三角状、高台の内側途中まで軸のかかるもので外底は無釉。(図 26)

C類：高台の断面形は三角状、全面に施軸後外底の軸を輪状に削り取るものである。(図 25)

内底面の施軸方法はイ：露胎するものとロ：全面施軸とある。図 26 は内底見込みを略円状に露胎させるものである。

盤(第110図 30～35)

総数11点が得られている。内9点は口縁部で1点が胴部、1点が底部資料であった。いずれも小片資料である。口縁部は形態別にイ：口折、ロ：鏝縁、ハ：直口、ニ：外反にわかれ、縁部でさらに①輪花、②稜花、③平縁の3種に分類できる。外面に文様のあるものは得られなかった。内面はI類(有文)とII類(無文)のものがあるが文様のI類は蓮弁文を篋先により描かれるものである。文様の施文具の幅でa幅広蓮弁文b細蓮弁文の2種に分かれる。図 30・31は「II類イ」口折れの口縁で、図 31は「II類イ②」口折れ稜花盤である。図 32～34は「II類ロ③」鏝縁盤である。図 35は底部資料である。

鉢(第110図 36) 1点のみの出土であった。腰部に丸味を持つ無文の基筒底の鉢である。

瓶 胴部片が3点出土している小片のため作化していない。

<註文献>

上田秀夫 1982 「14～16世紀の青磁碗の分類」『貿易陶磁研究』NO2 日本貿易陶磁研究会

第41表-1 青磁観察一覧

(複製単位: cm. 2)

| 観測年度 | 図番号 | 分類 | 部位 | 寸法 縦径 横径 高さ | 重量 | 胎形・文様構成 | 釉 | | 生産年代 (目録年代) | 観区・作り手/層位 遺構・台(台)番号 |
|----------------|-----|-------|------|----------------------|--|---|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| | | | | | | | (色・釉種・貫入) | 質地 (色・釉種・貫入) | | |
| 第109回・ 図版49 | 1 | I類① | 口縁部 | 16.0 | 25.7 | 腰部から頸部まで上がる。口縁は幅広さのみ直口。口唇は厚みに定まる。外面に幅広い片貝文や蓮華文を施す。裾部分に内厚。 | 黄褐色の釉を施す。 | 黒色の気泡を含む。黒色釉粒子。やや粗い。 | 13世紀~14前期 蓮華窯 (L3B-1, 文1-1) | HB② R12 IV 台3364 |
| | 2 | A類① | 底面 | 5.1 | 4.4 | 外面に蓮華文。高台の断面は四角形。内底は平楕で溝状線文を施す。底面の頸内に深く高台の跡が残っている。 | 淡緑色の釉を高台外面まで施す。墨付・高台内厚部。胎部の釉は厚い。 | 黒色の気泡を含む。黒色釉粒子。やや粗い。 | 13世紀~14前期 蓮華窯 (L3B-1, 文1-5) | HB② R12 III 台3341 |
| | 3 | I類① | 口縁部 | 16.0 | 4.0 | 直口口縁。口唇は舌状。へ先以上は薄縁線文。 | オリーブ灰色の釉を両面施す。 | 黒色の釉粒子と方解石を含む。灰白色釉粒子。やや粗い。 | 15世紀~16前期 蓮華窯 (L3B-IV) | HB① K4 IV 台134 |
| | 4 | I類① | 口縁部 | 16.0 | 6.5 | 腰部に丸味を持ち内湾気味に立つ。口縁直口。口唇やや角張った舌状。外面へ先以上は薄縁線文を施す。内底は幅広化。 | 青緑色の釉を両面施す。線が貫入。 | 白色の釉粒子や黒色釉粒子を含む。灰白色釉粒子。 | 15世紀~16前期 蓮華窯 (L3B-IV) | HB② R12 III 20469D 台3366 |
| | 5 | II類① | 口縁部 | 14.2 | 9.1 | 内湾気味の直口。口唇は鋭い。片切面が書文を施す。 | 淡緑色の釉を両面施す。 | 黒色の気泡や黒色釉粒子を含む。灰白色釉粒子。やや粗い。 | 14世紀~15中期 蓮華窯 (L3C-IV) | HB② S13 IV 教2026 |
| | 6 | III類① | 口縁部 | 15.5 | 17.4 | 腰部から直線的に外に開き立つ。口縁部は直口。口唇は厚みに定まるが僅かに肥厚する。裾部分に外面に印花雷文を施す。 | オリーブ灰色の釉を両面に施す。 | 黒色の釉粒子を含む。灰白色釉粒子。やや粗い。 | 14世紀~15中期 蓮華窯 | HB② R12 III 台3366 |
| | 7 | V類③ | 口縁部 | 16.0 | 18.4 | 腰部に丸味を持ち外湾に立つ。口唇は内湾させ口唇は肥厚気味の丸味を特徴とする。 | 灰緑色の釉を両面施す。 | 黒色の釉粒子を含む。灰白色釉粒子。粗い。 | 15世紀 蓮華窯 (L3D) | HB① O13.14-P13 台487 |
| | 8 | V類① | 口縁部 | 16.4 | 11.9 | 腰部に僅かに丸味を持ち外湾気味に立つ。口縁は直口。外面に印花雷文を施す。 | 黄緑色の釉を両面施す。 | 黒色の釉粒子を含む。灰白色釉粒子。粗い。 | 14世紀~15中期 蓮華窯 (L3E) | HB② R12 III 台494 |
| | 9 | III類④ | 口縁部 | 15.6 | 10.2 | 口縁の上段で外面に折り返り。口唇は僅かに玉粒状に肥厚し、裾部分に外面に印花雷文を施す。 | 青緑色の釉を両面に施す。内面に整形し、文様部分は釉が薄く施す。 | 黒色の気泡や黒色釉粒子を含む。灰白色釉粒子。粗い。 | 14世紀~15中期 蓮華窯 (L3D) | HB② R9 IV 台3349 |
| | 10 | III類⑤ | 口縁部 | 16.0 | 10.2 | 口縁は開先端を外側に折り返し丸めを整える口唇部は直口。内面に整形し、印花雷文を施す。 | 淡黄緑色の釉を両面に施す。線が貫入する。 | 黒色の気泡や黒色の釉粒子を含む。灰白色釉粒子。粗い。 | 14世紀~15中期 蓮華窯 (L3D) | HB② Q10 III 台3329 |
| 11 | V類④ | 口縁部 | 15.6 | 25.3 | 丸い腰部が直線的に立つ。口縁は外反させ口唇は玉粒。外面下部に陰圓線を一条施す。 | 淡緑色の釉を両面施す。口唇の釉層が厚い。直下は釉が薄い。 | 黒色の気泡や白色、黒色釉粒子を含む。灰白色釉粒子。粗い。 | 14世紀~15前期 蓮華窯 (L3D) | HB① III 教3 | |
| 12 | V類② | 口縁部 | 16.8 | 18.3 | 丸い腰部から中心部まで直口で立つ。口縁は外反。口唇は肥厚気味の舌状。 | 緑灰色の釉を両面施す。 | 黒色の気泡を含む。灰白色釉粒子。やや粗い。 | 14世紀~15前期 不明 (L3D) | HB② R12 IV 教2030 | |
| 13 | V類② | 口縁部 | 16.0 | 14.6 | 丸味のある腰部から外に開き口縁で立つ。口縁は外反。口唇は肥厚の舌状を成す。 | 緑灰色の釉を両面施す。釉は厚みに不均がある。 | 黒色の気泡や黒色釉粒子を含む。灰白色釉粒子。やや粗い。 | 14世紀~15前期 不明 (L3D) | HB① O, P15 IV 台464 | |
| 14 | V類② | 口縁部 | 16.0 | 4.1 | 口縁が縁やかに外反する無文の甕である。口唇は舌状を成す。 | 緑灰色の釉を両面施す。 | 白色、黒色の釉粒子。灰白色釉粒子。やや粗い。 | 14世紀~15前期 蓮華窯 (L3D) | HB② S12 IV 台3371 | |
| 15 | I類① | 底面 | 6.5 | 79.1 | 高台外面に僅かに削りだが断面形は略四角を呈する。 | オリーブ灰色釉を高台外面まで、墨付け含め外面は黒釉。 | 黒色の気泡や褐色、黒色の釉粒子を含む。灰白色釉粒子。やや粗い。 | 14世紀~15前期 蓮華窯 | HB② S9 IV 台3332 | |
| 16 | I類① | 底面 | 5.8 | 163.0 | 高台断面形は三角状。頸は外に開く。内底面に蓮花の印花文を施す。外底面に目録。 | 淡緑色の釉を高台内縁中、外縁無釉。貫入あり。 | 黒色の釉粒子。白色粒子を含む。灰白色釉粒子。粗い。 | 14世紀~15前期 蓮華窯 | HB② I 台3370 | |
| 17 | D類① | 底面 | 7.0 | 56.0 | 墨付けの外縁を斜めに削りだし高台断面形は三角状を呈する。頸は外に開く。外底面に目録が認められる。内底面に印花文を施すので、底面製作は比較的早い。 | 淡緑色の釉は全面に施す。墨付けの釉を削り取っている。 | 黒色の気泡や白色、黒色の釉粒子を含む。灰白色釉粒子。やや粗い。 | 14世紀~15前期 蓮華窯 | HB② Q13 III 20469E 台3381 | |
| 18 | C類① | 底面 | 4.2 | 112.6 | 高台は両側を斜めに削り断面形は三角状。高台は外に開く。内底面に蓮花の十字文を施す。 | 淡緑色の釉は全面施す。外縁の釉を輪状削り。 | 黒色の気泡や白色、黒色の釉粒子を含む。灰白色釉粒子。やや粗い。 | 15世紀~16前期 蓮華窯 | HB② R12 III 20468D 教2009 | |
| 19 | C類① | 底面 | 8.4 | 92.7 | 高台は墨付けの外縁を斜めに削り断面形は三角状。外底面に蓮花の印花文を施す。 | オリーブ灰色。釉は全面施す。外縁無釉状削り。 | 黒色の気泡や白色、黒色の釉粒子を含む。灰白色釉粒子。粗い。 | 15世紀~16前期 蓮華窯 | HB① K20 V 教32 | |
| 20 | C類① | 底面 | 6.8 | 10.5 | 頸が折れる。外面に輪縁状。高台は外側を削り三角形。内底面に目録線と蓮花の印花文。外底に目録。底面内厚に厚い。 | 淡緑色。釉は全面施す。外縁の釉を輪状削り。 | 黒色の気泡や黒色の釉粒子を含む。灰白色釉粒子。粗い。 | 15世紀~16前期 蓮華窯 | HB② S10 IV 教2012 | |
| 21 | E類① | 底面 | 5.8 | 134.2 | 内厚の外縁に開く。高台の断面形は三角状。墨付けの目録。内底は輪状の溝あり。内底に蓮花の印花文。 | 淡緑色。釉は高台外面まで、高台内厚は無釉である。線が貫入。 | 黒色の気泡や白色、黒色の釉粒子を含む。灰白色釉粒子。やや粗い。 | 15世紀~16前期 蓮華窯? | HB① L12 IV 台147 | |
| 22 | E類① | 底面 | 4.8 | 100.1 | 高台両側を斜めに削りだし高台の断面形は三角状を呈する。内底面に蓮花の印花文を施す。 | 淡小豆色の釉を両面。高台外面まで施す。 | 白色、黒色釉粒子を含む。淡紅色釉粒子。やや粗い。 | 14世紀~15中期 蓮華窯系 | HB① L18 III 台349 | |
| 23 | E類① | 底面 | 6.9 | 60.9 | 高台外面に僅かに削りだし断面形は四角。 | オリーブ灰色。高台外面まで施す。内底は無釉。外縁無釉。 | 黒色の気泡や白色、黒色の釉粒子を含む。灰白色釉粒子。粗い。 | 14世紀~15中期 不明 | HB② R12 IV 台3364 | |
| 24 | F類① | 底面 | 7.2 | 163.8 | 外面に縁状削り。竹節状の幅広高台。高台断面形は四角形。内底面に輪縁状中心部は無釉。 | 黄緑灰色の釉を輪縁。内底は輪状に施す。高台外面まで施す。 | 黒色の釉粒子を含む。淡褐色釉粒子。やや粗い。 | 15世紀~16前期 福建・広東 | HB① K2 III 台142 | |

凡例(その他)上: 上部分類(1992) 大: 大形分類の番号

第41表-2 青磁観察一覧

(調査単位:cm, g)

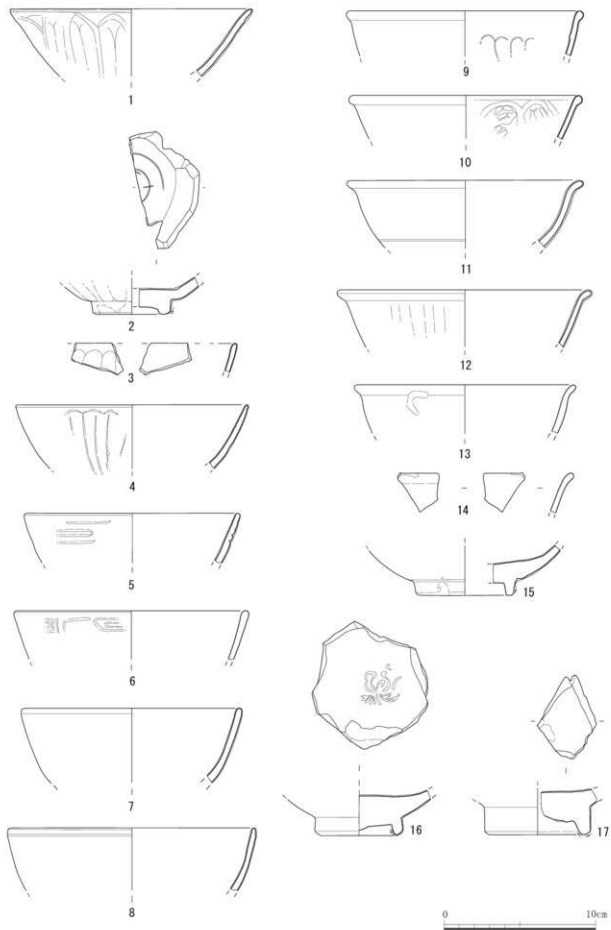
| 期別 国号 | 図 番号 | 器 種 | 分類 | 部位 | 口径 底径 器高 | 重量 | 文様構成・器形 | 施 | | 生産年代 生産地 (次の施) | 観区・アソビ・層出 漢儀・台(器)番号 |
|--------------------------------|---------|--------|------|----|----------------|-------------------------------|---|-----------------------------|----------------------------|--------------------------------|------------------------|
| | | | | | | | | (色・範囲・貫入) | (色・質・混和材) | | |
| 第 119 回・ 観 区 70 | 25 | 底 | C67 | 底 | 6.0 | 42.4 | 贅付けの両側を削り、断面形は三角状。外面に線刻唐草文。内面に片切彫の唐草文。内底面に印字の菊花文。 | 水色緑、全面施釉後外底の軸は輪状輪刻り。 | 白色、黒色敷粒子を含む。灰白色粒子、藍。 | 14代～15前 観業集 | HB20② R12 台3341 |
| | | | | | | | | | | | |
| | 27 | 底 | Ab7 | 底 | 7.6 | 26.1 | 高台は形で断面形は四角形を呈する。高台高に対して高台径は大きい。内底見込みに線刻唐草文が施される。 | 緑灰色の軸は内底から贅付けの外側まで輪状。外底無施。 | 黒色な気泡や白色、黒色の敷粒子を含む。淡灰色敷粒子。 | 14代～15前 観業集 | HB20② R12 IV 台3364 |
| | | | | | | | | | | | |
| | 29 | 脚 | IIa | 脚 | 4.8 | 外表面は無文。内表面に片切彫の唐草を輪刻り削れの風である。 | 淡黄緑色の釉を全面施釉。 | 黒色の敷粒子を含む。灰白色粒子、藍。 | 15代 観業集 | HB1① K-L12 III 15K 台3377 | |
| | | | | | | | | | | | 30 |
| | 31 | 口 | IIイ② | 口 | 23.0 | 14.0 | 脚縁は徒花。脚上面の軸は虫衣状。裏割の風製品。 | オリーブ色の釉を全面に施す。 | 灰白色敷粒子、藍。 | 14代～15前 観業集 | |
| | | | | | | | | | | | 32 |
| | 33 | 口 | IIイ④ | 口 | 8.9 | 脚縁の先端を脚上面に丸味を持ちながら上面に引き上げる。 | オリーブ色の釉を全面に施す。 | 灰白色敷粒子、藍。 | 14代～15前 観業集 | HB20② II 2003S2 台3374 | |
| | | | | | | | | | | | 34 |
| | 35 | 底 | 無文 | 底 | 14.6 | 22.7 | 高台は贅付けの外側を削りだす。断面形は三角状。内底面見込みに輪状の線刻唐草文を施文。 | 淡黄緑色の釉を全面に施釉後高台内の軸を輪状に削り取る。 | 黒色な気泡や黒色の敷粒子を含む。灰白色敷粒子。 | 14代～15前 観業集 | |
| | | | | | | | | | | | 36 |

丸割(七の割)上: 上述分類(1987) 大: 大塚野分館の器

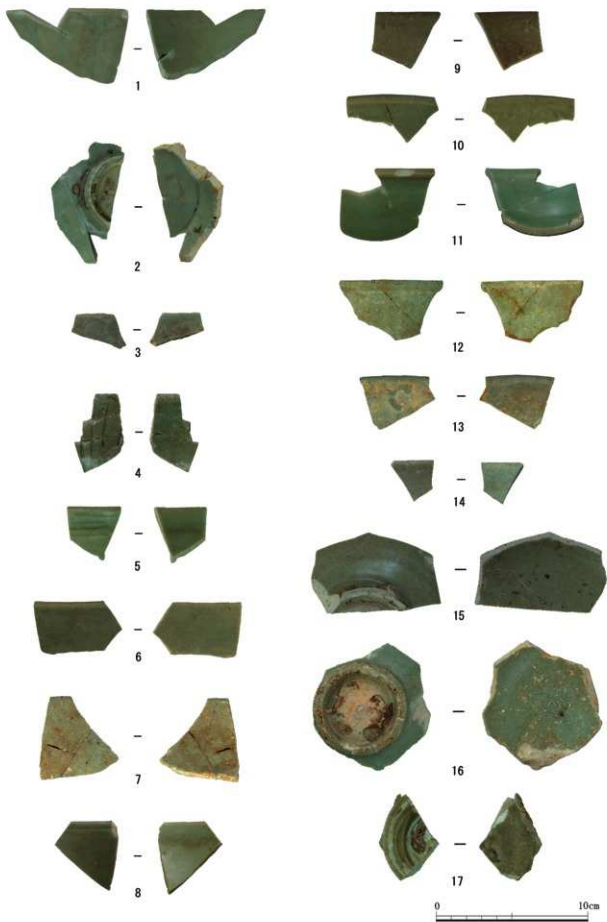
第三章
4

第42表 青磁出土量

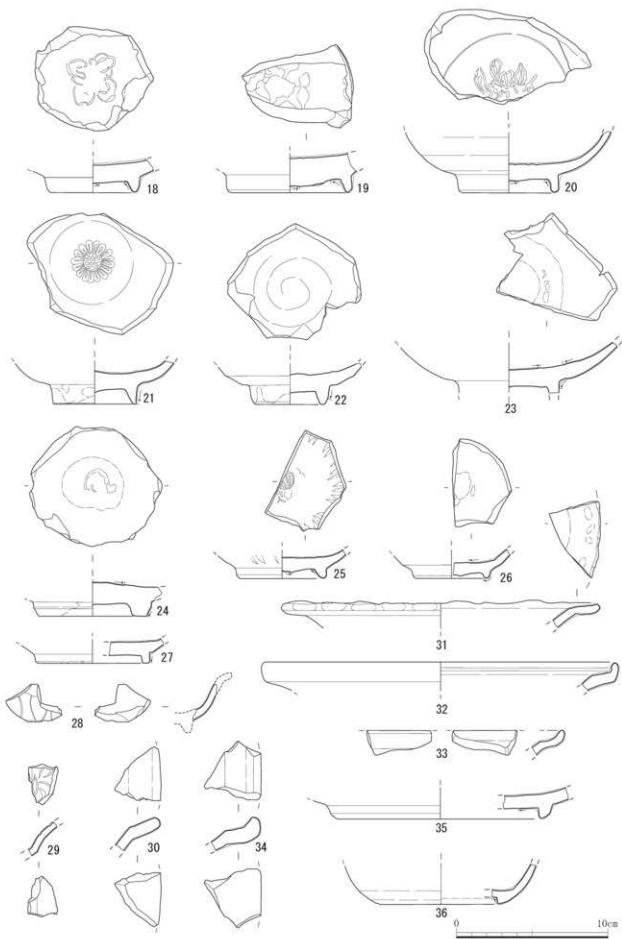
| 分類 | 期 | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | |
|-----------|--------|---|------|---|-------|---|------|---|-----|---|------|---|----|---|---|---|---|
| | 口縁部・脚部 | | | | | | 底 | | | | | | | | | | |
| | I 期 | | II 期 | | III 期 | | IV 期 | | V 期 | | VI 期 | | | | | | |
| | a | b | c | a | b | c | a | b | c | a | b | c | | | | | |
| 観区 I | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | 1 | 1 | 3 | | |
| 観区 II | 15K | | | | | | | | | 1 | 5 | | | | 7 | | |
| | 2405Z | | | | | | | | | | 2 | | | | 2 | | |
| | 358SK | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | 359JK | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | 150SK | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | |
| | 230JK | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | |
| 観区 IV | 2718D | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | | |
| | 3729K | | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | V | | 2 | | | | | 1 | 1 | | 3 | 1 | | 1 | 5 | | |
| 小計 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 8 | 1 | 1 | 1 | | | |
| 観区 III | 2003S2 | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | |
| | 2003S2 | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | |
| | 2004SN | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | 2014P | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 2 | | |
| 観区 IV | 2025P | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | |
| | 2049Z | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 2 | | |
| 小計 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| 小計 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| 観区 V | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 2 | | |
| | 小計 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 2 | | |
| 合計 | 2 | 2 | 1 | 2 | 3 | 1 | 4 | 1 | 1 | 6 | 15 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 |
| 分類別計 | 11 | | 2 | 4 | 9 | 9 | 36 | 1 | 1 | 3 | 1 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 観区別計 | | | | | | | 25 | | | | | | | | | | |



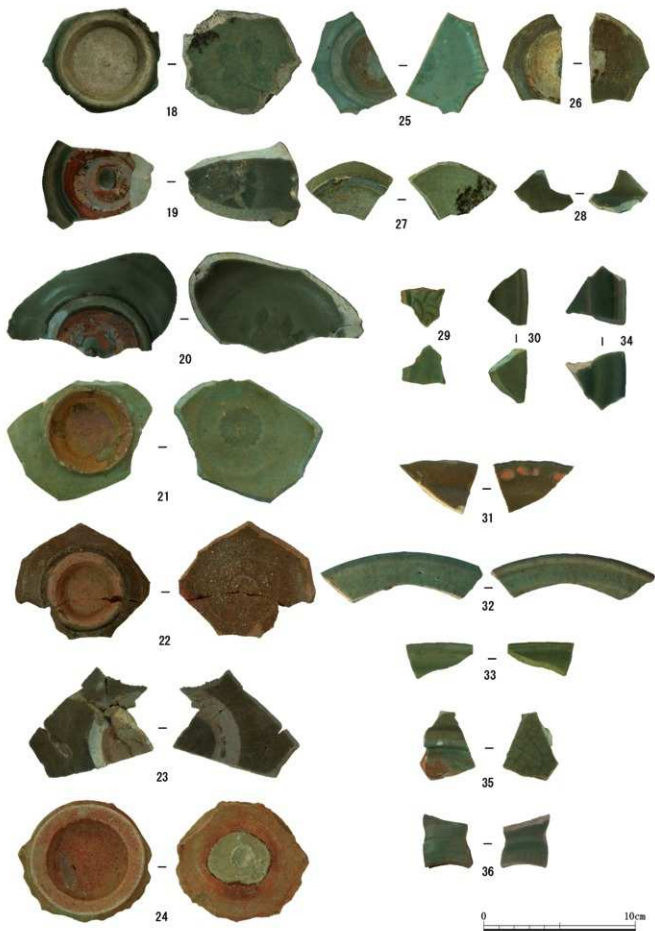
第109図 青磁1



图版 69 青磁 1



第110圖 青磁2



图版 70 青磁 2

(5) 染付

総数 256 点得られた。器種は碗 228 点、皿 10 点、杯 11 点、瓶 5 点の 4 種あり、碗は全体の 89% と最も多く、杯、皿、瓶とつづく。染付の出土平面分布（第113図）は0～S8～16グリッドに集中し全体の 59%を占める。生産地、生産年代は景德鎮窯産の 15 世紀代、福建・広東系産、17 世紀後半から 18 世紀代、徳化窯産の 19 世紀代と幅広い。以下にその概要を述べ、主なものについては第111～112図に示した。個々についての詳細は第46表観察一覧にまとめた。

碗（第111～112図1～30）

総数 228 点で最も多い。特に外面に太めの筆描きの草花文や印青花、半梅花文、簡略化した蓮弁文を描き、口縁は逆「八」字状に開き腰と底部に安定感を有する形態で、福建・広東系、17 世紀後半から 18 世紀代に位置づけられる一群（図 5～26）が碗全体の 84%と圧倒的である。

図 1～3 は外面に雷文、草花文、如意頭文を描く景德鎮系の 15 世紀代～16 世紀代に位置づけられる一群で碗全体の 6%に過ぎない。図 1 は胴が直線的に立ち口縁で外反し口唇は尖る。先端は平坦に整えている。器厚は 3.5 mm で比較的薄い。外面の上位に雷文帯下位に草花文、内面上位に雷文帯を巡らしている。雷文は上段に一条の横線、下段に二条の横線で収めるものである。景德鎮窯の 15 世紀代。図 2 は腰部が屈曲し口縁までは筒形に直線的に立ち上がる腰折碗である。腰部外面に如意頭文と二条圏線を巡らし高台に二条圏線を配する。内底に二条圏線に草花文を描いている。景德鎮窯の 15 世紀代。図 6 は外面に印青花（団子花文）を描く。口縁部から底部まで残す唯一の資料である。図 23～26 は腰の張る口縁まで逆「八」字状に直線的に立つもので。口縁は先端で僅かに反り、口唇は尖る。外面に半梅花文、簡略化した蓮弁文、祝寿文を描くもので、福建 18 世紀代。図 28 は腰部に丸味を持つ。内底は軽微な窪みの蓮通心形をなす小碗である。外面と内面に仙芝祝寿文、内底に捻子花を配している。景德鎮窯の 18 世紀代～19 世紀代。

分類概念を右記に示した

| | |
|----|--|
| 年 | 代: 1期-明代, 2期-清代前期, 3期-清代後期 |
| 器 | 形: A-丸碗, B-平碗, C-摺形碗, D-腰折碗 |
| 口縁 | 形態: 1期-直口口縁, Ⅱ期-外反口縁, Ⅲ期-内彎口縁, Ⅳ期-端反口縁 |
| 底部 | 形態: ①-蓮通心, ②-平坦, ③-網眼心 |
| 高台 | 形態: (断面形) a-三角, b-四角, c-台形, d-葎筒底, e-型成形 |
| 軸の | 範圍: ①-壺付刹, ②-外底露胎, ③-内底輪狀軸刹, ④-内底露胎 ⑤-高台内露胎, ⑥-高台露胎 |

皿（図 31～35）

総数 10 点である。口縁部～底部まで残すもの 1 点、口縁部 1 点、胴部 1 点、底部 7 点であった。図 33・34 は 18 世紀代の福建系で高台断面形が太めの三角状を呈し、内底面は平坦で広い見込みを持つ中皿である。図 33 は内底面に仙芝祝寿文を施文。図 34 は内底面に龍文を描き、外底高台内に二条の圏線と「〇〇壺珍」の字款を施している。図 31 は 15 世紀代の景德鎮窯の小皿である。外面に唐草文を描き、内底面に二条の圏線と菊花文を配するものである。図 32 は直口で底が割合に大きく外面に草花文、内底面に唐草文を描いた型成形で徳化窯の 18 世紀～19 世紀に位置づけられる小皿である。

杯（図 36～41）

総数 11 点得られた。図 36 は景德鎮窯系、明代末期から清代初期に位置づけられる小杯である。直線的な立ち上がりで口縁は外側に折り外反させる。外面に二条の圏線と草花文を描く。図 39～41 は型成形、徳化窯系が得られている。

瓶（図 42～45）

総数 5 点得られた。図 42 は肩の位置が高く胴の長い瓶である。小ぶりの梅瓶が考えられる。図 45 は表面に「同仁堂口」、裏に「平安散口」の文字が認められる 17 世紀後～18 世紀前代の薬瓶（首里城跡、「御内原北区」）である。

<参考文献>

- 沖縄県埋蔵文化財センター 2010 『首里城跡—御内原北区(1)』 沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書 第54集

第46表-1 染付観察一覧

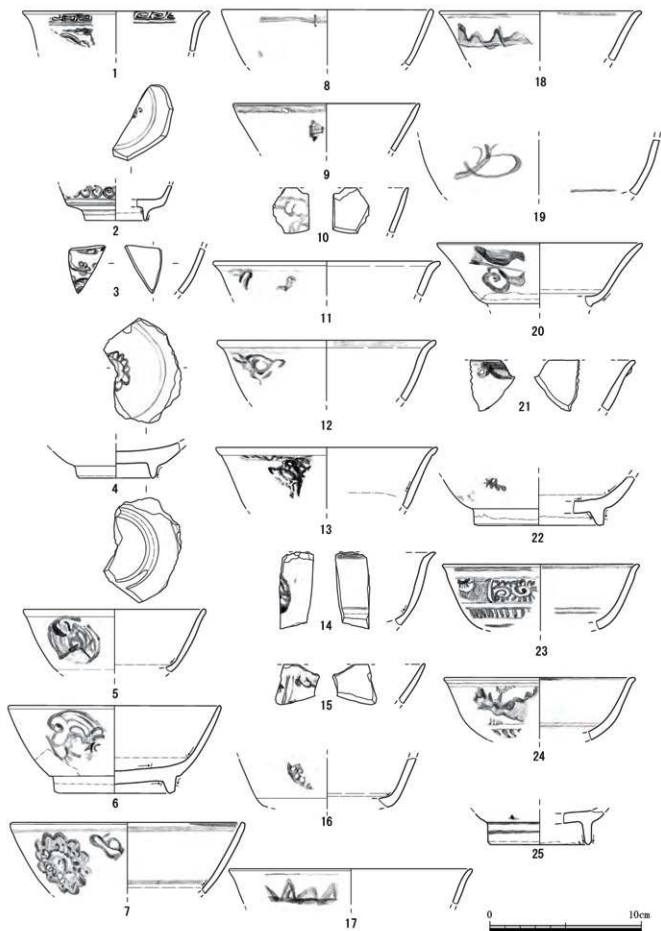
(法量単位:cm, g)

| 1 | 国書 番号 | 部 位 | 口徑 径高 | 重量 | 分類 | 彫形・文様構成 | 軸・具須・範圍 | 漆地 (色・ 質) | 生産年代 生産地 | 地区・アソビ/部位 遺構・台帳(収上)番号 |
|----|----------|--------|-------------|-------|-----------------------|---|--------------------------------------|-----------------|---------------------|-------------------------------|
| 1 | | 口縁部 | 12.2 — | 4.7 | 1期 EⅡ類 | 口縁は外反、口唇で縁の先端は平肌。 外面:上位・雲文帯・下位・蓮花文。内面:上位・雲文帯・蓮花文は上縁に一条の横線、下縁に二条の横線で閉じる。 | 淡青白色 具須濃淡あり | 灰白色 密 | 15c中～末 景徳鎮 | H92① Q13 IV 台2356 |
| 2 | | 底部 | — 4.0 | 16.8 | 1期 D1a ① | 腰部が屈曲し口縁までは直線的に立ち上がる(腰折)。高台形は腰折・斜めはなし。 外面:下部・如意文・下位二条闊線・高台二条闊線。内底:二条闊線・草花文。 | 淡青白色 高台畳付けから高台 内際まで磨胎 | 灰白色 密 | 15c後～16c前 景徳鎮 | H92① I 台2327 |
| 3 | | 胴部 | — — | 3.4 | 1期 | 胴厚・薄作り。外面:唐草文。 | 淡青白色 具須濃淡あり | 灰白色 密 | 15c前～中 景徳鎮 | H92①Ⅱ 台3086 |
| 4 | | 底部 | — 5.2 | 51.4 | 1期 A有 ⑤ | 腰部は丸味を持つ。高台形は外面削り出し断面形他三角状、外面は外反で平肌。 外面:二条闊線内底面;二条闊線・菊花文。 | 淡青白色 具須濃淡あり高台畳 付けから高台内まで 磨胎 | 灰白色 密 | 15c後～16c中 景徳鎮 | H92① R13 IV 収2032 |
| 5 | | 口縁部 | 12.0 — | 16.6 | 2期 C1類 | 腰部から逆「J」字状に開く。口縁は上部で内に寄せ外反。口唇は丸く収めるが、先端はやや平になる。 ② 外面:印青花(団子花文)。 | 淡青白色 高台畳付け見込みは 輪状に磨胎 | 灰白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H9① O-P8～14 I 台241 |
| 6 | | 口縁部 | 14.0 5.8 | 139.0 | 2期 C1類 Bc ⑤⑥ | 腰部から口縁部まで逆「J」字状に直線的に立ち上がる。口唇は丸い。腰部は下部に高台削り出しのため有段。高台は外側、斜めに削りだし断面形は台形状。外面:印青花(団子花文)。 | 淡青白色 高台畳付け見込みは 輪状に磨胎 | 灰白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H92① I 台3385 |
| 7 | | 口縁部 | 14.4 — | 24.5 | 2期 C1類 ④ | 腰部から口縁部まで逆「J」字状に直線的に立ち上がる。口唇は先端が平な短角形。 外面:上位・幅広闊線文・印青花(花文・三春花) 内面:上位・幅広闊線・下位・幅広闊線 | 淡青白色 | 灰白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H9① I 台494 |
| 8 | | 口縁部 | 14.0 — | 11.3 | 2期 C1類 | 腰部から開きながら直に立ち上がる。口唇は断面形が短角状、先端は平肌。 外面:上位・幅広闊線・印青花 | 淡青白色 | 灰白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H9① O13・14.P13 Ⅱ 台487 |
| 9 | | 口縁部 | 12.4 — | 8.6 | 2期 C1類 | 胴部は腰折に立ち上がる。口唇は尖る。 外面:上位・幅広闊線・印青花(花文) | 淡青白色 | 灰白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H9① 台487 |
| 10 | | 口縁部 | — — | 4.0 | 2期 C1類 | 直口の縁である。口唇は先端が尖る。 外面:印青花(団子花文) | 淡青白色 | 灰白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H9①～ O-P814 I 台239 |
| 11 | | 口縁部 | 15.0 — | 9.5 | 2期 BⅡ類 | 上部で折る外反口縁。口唇は舌状。 外面:上位・闊線・印青花(三春花) 内面:上位・幅広闊線。 | 淡青白色 | 灰白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H9① O-P8～14 I 台239 |
| 12 | | 口縁部 | 14.4 — | 13.7 | 2期 BⅡ類 | 腰部に若干丸味を持ち口縁に向かい開き立ち上がる。外反口縁。口唇は舌状。 外面:上位・幅広闊線・印青花(三春花)内面:上位・幅広闊線。 | 淡青白色 | 灰白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H9① O-P8～14 I 台241 |
| 13 | | 口縁部 | 14.6 — | 13.9 | 2期 BⅡ類 | 腰部から直に立ち口縁上部で僅かに外反。口唇はわずかに肥厚した舌状。 外面:上位・幅広闊線・印青花(三春花) | 淡青白色 | 灰白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H9① I 台494 |
| 14 | | 口縁部 | — — | 8.7 | 2期 BⅡ類 | 腰部に丸味を持ち開きながら直線的に立ち上がる。口縁は外反し口唇は尖る。外面:上位・幅広闊線文・印青花(三春花)。内面:上位・幅広闊線、内面:下位・幅広闊線。 | 淡青白色 | 灰白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H9① O-P8～14 I 台219 |
| 15 | | 口縁部 | — — | 3.5 | 2期 C1類 | 直口口縁。口唇は尖る。 外面:上位・印青花(三春花)・縦位青線。 | 淡青白色 | 灰白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H92①Ⅱ 100952 台3081 |
| 16 | | 胴部 | — — | 10.0 | 2期 D | 腰部から直線的に開きながら立ち上がる。腰折れ。 外面:印青花(丸文)。 | 淡青白色 | 白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H9① K18 Ⅱ 0290 台379 |
| 17 | | 口縁部 | 16.0 — | 8.8 | 2期 CⅣ類 | 端反口縁。口唇は丸い。 外面:波状文。 | 淡青白色 | 灰白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H92① C9 Ⅱ 台2340 |
| 18 | | 口縁部 | 13.4 — | 15.1 | 2期 CⅣ類 | 逆「J」字状に開き直線的に立つ。端反口縁。口唇は舌状。 外面:上位・幅広闊線文・波状文。内面:上位・幅広闊線。 | 淡青白色 | 灰白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H9① I 台494 |
| 19 | | 胴部 | — — | 12.4 | 2期 | 胴に丸味を持つ。外体面には草花文を施文する。 外面:草花文。内面:下位・闊線。 | 淡青白色 | 灰白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H92① I 台3082 |
| 20 | | 口縁部 | 12.4 — | 19.4 | 2期 CⅣ類 | 腰部は丸味のある唇曲をなす。腰部から逆「J」字状に開き立ち上がる。直口口縁。口唇は丸い。 外面:草花文。 | 淡青白色 腰部磨胎 | 黄白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H9① I 台494 |
| 21 | | 口縁部 | — — | 6.3 | 2期 CⅣ類 全面 | 直線的に立つ端反口縁。 外面:闊線・草花文 | 灰白色 全面磨 | 黄白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H92① R12 Ⅱ 204953 台3266 |
| 22 | | 底部 | — 6.8 | 41.1 | 2期 CⅣ類 ⑤⑥ | 腰部から直に立つ。腰部は高台削り出しを入れ有段になる。高台断面形は台形状。外面は外反。 外面:草花文。 | 淡青白色 畳付け無輪見込み輪 状に磨胎 | 灰白色 密 | 17c後～18c前 福徳・広東系 | H92①Ⅱ 20545X 台3369 |

第46表-2 染付観察一覧

(法量単位:cm, g)

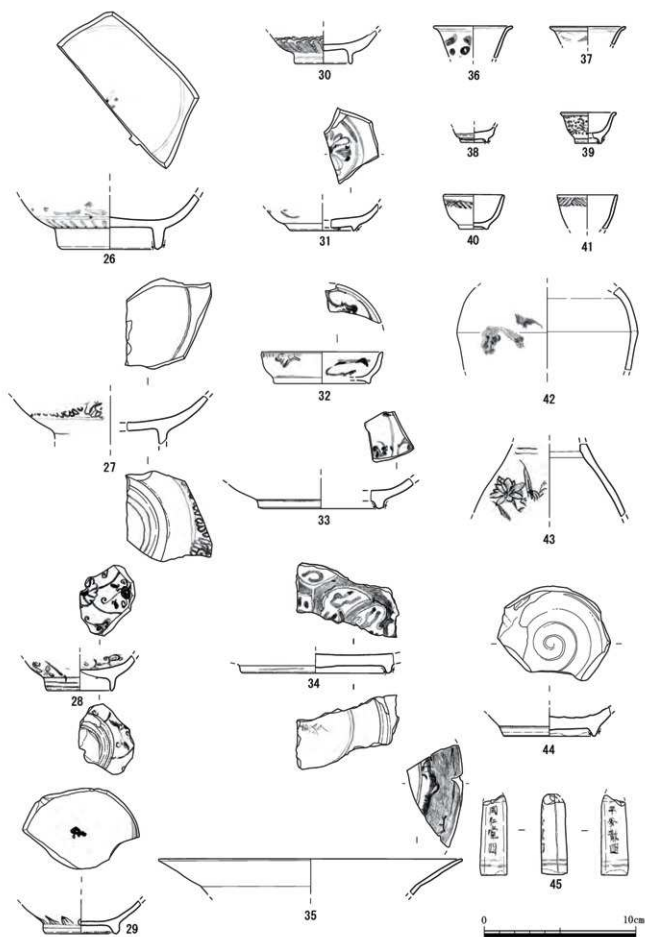
| 図録 取組 品名 | 図 番 号 | 部 位 | 口 径 底 径 高 | 重 量 | 分 類 | 器 形・文 様 構 成 | 釉・呉 須・刷 目 | 素 地 (色・ 質) | 生 産 年 代 生 産 地 | 地 区・ク ラ ド・履 位 遺 跡・台 帳(上)番 号 |
|-----------------------------------|-------------|-------------------|-----------------------|---------------|---|--|---|----------------------|---------------------------------|---|
| 第 11 回 ・ 図 展 71 | 23 | 口 縁 部 | 13.0 — | 25.3 | 3期 BⅡ類 | 腰が張り口縁まで深「八」字状に直線的に立ち上がる。口縁は先端で僅かに反る。口唇は尖る。 外面:上位二条線・半梅花文・唐意文・下位二条線・蓮弁文(縹線)。内面:上位一条の縹線・下位二条線。 | 淡青白色 | 灰白色 赤 | 18c代 福徳・広東系 | HB20-Ⅱ Q89.10 2002SZ 台3367 |
| | | 口 縁 部 | 12.6 — | | | 3期 BⅡ類 | 腰部に丸味を持ち口縁部まで直立ち上がる。口縁上端で反る。口唇は舌状。外面:上位二条線・半梅花文・下位二条線・蓮弁文(縹線)。内面:上位一条の縹線・下位二条線。 | 淡青白色 | 灰白色 赤 | 18c代 福徳・広東系 |
| | 底 部 | — 6.8 | 18.3 | 3期 AⅠ ① | 高さのある高台・両側を斜めに削り出し断面形は三角。 外面(高台)二条線。 | 淡青白色 施釉後付けが輪割さ されている。 | 灰白色 赤 | 18c代 福徳・広東系 | HB20-Ⅱ 1016SZ 台33594 | |
| | 底 部 | — 6.8 | 82.4 | 3期 AⅠ ① | 腰部分が張り高さのある高台。量付けの両側を斜めに削り出し、断面形は三角状。内底は中心に盛り上がりを持たせる饅頭心形、外底面は扁平。 外面:上位草花文・下位二条線・蓮弁文(縹線)・二条線。 内底:二条線・草花文(花卉)。 | 淡青白色 量付け無軸 | 灰白色 赤 | 18c代 福徳・広東系 | HB20-P-Q8.9 Ⅱ 3388K 台484 | |
| | 底 部 | — 3.4 | 38.3 | 3期 AⅠ ① | 腰部にやや丸味をもち開き立ち上がる。内底は平坦。外底面下段に草花文を描く。 外面:下段に唐意文を描く。 | 淡青白色 量付け無軸 | 灰白色 赤 | 18c代 福徳・広東系 | HB20 Ⅰ 台485 | |
| 第 12 回 ・ 図 展 72 | 26 | 底 部 | — 4.6 | 17.5 | 2期 AⅠ ① | 腰部に丸味を持つ。内底は軽微な窪みの蓮濁心形。小碗。 外面:仙芝祝寿文。内面:仙芝祝寿文。 | 淡青白色 量付け無軸 | 灰白色 赤 | 18c~19c 景徳窯 | HB20-Ⅱ Q89.10 2002SZ 台3367 |
| | | 底 部 | — 5.0 | 34.4 | 3期 AⅠ ① | 腰に丸味を持つ型成の碗である。小碗。 外面:腰部に草花文を饰らす。 内底:二条の縹線と花卉。 | 淡青白色 量付け無軸 | 白色 赤 | 17c末~18c 徳化系 | HB20-P-Q 8.9 Ⅱ 3388K 台484 |
| | 底 部 | — 3.8 | 30.0 | 3期 AⅠ ① | 腰に丸味を持つ碗である。小碗。 外面:腰部にワラギ草文を饰らし蓮弁内に増略文を描く。 | 淡青白色 量付け無軸 | 白色 赤 | 17c末~18c 景徳窯 | HB20-P-Q10 Ⅱ 2405Z 台490 | |
| | 底 部 | — 4.4 | 12.5 | 1期 | 腰部に丸味、高台は外側を斜めに削り出した。断面形は三角状。内底は平坦。外底は内側凹。 外面:唐意文。内底:二条線・菊文。 | 淡青白色 量付け無軸外底輪状 に磨削 | 灰白色 赤 | 15c後~16c前 景徳窯 | HB20-K13 Ⅱ 0835Z 台374 | |
| | 口 縁 部 | 8.0 — | 5.0 | 3期 | 腰部分が張り、直に立ち上がる。口縁は直口で口唇は尖る。内底は平坦。外面:縹線・草花文。内面:縹線・唐草文。 | 淡青白色 施釉後口唇と量付け 輪割さす。 | 灰白色 赤 | 18c~19c 徳化系 | HB20-Ⅱ 3395K 台3369 | |
| 第 12 回 ・ 図 展 72 | 33 | 底 部 | — 8.2 | 9.3 | 3期 | 器形:高台は外側を斜めに削り出し断面形が三角状。外底は外側 外面(高台):二条の縹線。内面:仙芝祝寿文。 | 淡青白色 施釉後量付け輪割さす | 灰白色 赤 | 18c代 福徳・広東系 | HB20 Ⅰ 台494 |
| | | 底 部 | — 10.0 | 33.8 | 3期 | 高台は外側を斜めに削り出し断面形は三角状。内底は平坦。 外面(高台):一条の縹線。内底:唐文。 外底:二条線・字款(〇形)。 | 淡青白色 施釉後量付け輪割さす | 灰白色 赤 | 18c代 福徳・広東系 | HB20-O-P8~14 Ⅰ 台241 |
| | 口 縁 部 | 20.0 — | 9.9 | 2期 | 腰部分の外側に折り曲る様に幅の広い縹線をつくる。 内面:(踵上面)唐状牡丹・草花文。 | 淡青白色 | 灰白色 赤 | 17c末~18c前 景徳窯 | HB20-S12 Ⅱ 台3339 | |
| | 口 縁 部 | 5.2 — | 1.5 | 2期 | 腰部分の開きながら直に立ち上がり口縁は外側に折る様に外反。 薄肉の杯である。口唇はやや肥厚し、舌状を成す。口唇に鉄輪に よる種輪が認められる。外面:二条線・草花文。内面:二条線。明 末~清初か? | 淡青白色 | 灰白色 赤 | 17c代 明末~清初景 徳窯 | HB20-O13-14-P13 IV 台537 | |
| | 口 縁 部 | 5.0 — | 1.0 | 2期 | 腰部分の開きながら直線的に立ち口縁は外側に折り外反。口唇は 舌状。外面:二条線・草花文。内面:二条線。 | 淡青白色 | 灰白色 赤 | 17c代 明末~清初 景徳窯 | HB20-Q11 Ⅲ 台3338 | |
| 第 12 回 ・ 図 展 72 | 38 | 底 部 | — 1.8 | 6.3 | 2期 | 腰折れ。高台の断面形は三角状。内側は外向き。 外面:下位縹線・(高台)縹線。 | 淡青白色 量付け無軸 | 灰白色 赤 | 17c前半 景徳窯 | HB20-O-P8~14 Ⅰ 台241 |
| | | 口 縁 部 | 3.7 1.8 2.05 | 4.2 | 3期 | 腰部分丸味を持ち開き立つ。口縁は外反し口唇は舌状。型成形。 外面:上位縹線・緞文・唐草下位縹線。 | 淡青白色 量付け無軸 | 灰白色 赤 | 18c代 徳化系 | HB20 Ⅰ 台494 |
| | 口 縁 部 | 4.0 1.8 2.3 | 4.4 | 3期 | 腰部分直線的に立ち口縁は直口。口唇は舌状。量付けに砂目跡。 外面:繪垣文。 | 淡青白色 | 灰白色 赤 | 18c後~19c 徳化系 | HB20-O-P8~14 Ⅰ 台241 | |
| | 口 縁 部 | — 5.0 | 1.4 | 3期 | 腰部分の開き直に立つ。直口口縁。口唇は舌状。 外面:繪垣文。型成形。 | 淡青白色 | 灰白色 赤 | 18c後~19c 徳化系 | HB20 Ⅰ 台494 | |
| | 底 部 | — — | 39.4 | 3期 | 肩の縁が目かくく「く」の字状に屈曲する馴雲がみられる。 外面:草花文。 | 淡青緑白色 | 灰白色 赤 | 17c代 景徳窯 | HB20-O-P8~14 Ⅰ 台239 | |
| 第 12 回 ・ 図 展 72 | 43 | 底 部 | — — | 10.9 | 3期 | 女で解の底である。外底面に蓮花文を施文している。 外面:草花文。 | 淡青白色 | 白色 赤 | 17c代 景徳窯 | HB20-Ⅱ 1018SK 台3296 |
| | | 底 部 | — 6.0 | 68.4 | 3期 | 高台の断面形は三角状。内側は外向き。 外面(高台)縹線。 | 淡青白色 量付け無軸 | 灰白色 赤 | 17c後~18c前 景徳窯 | HB20-O-P8~14 Ⅰ 台241 |
| | 底 部 | — 1.7 | 15.9 | 3期 | 碗状の小碗。縦位の裏合わせ縁が認められる。型成形。面割葉 外面:字款表(同仁堂)・(平安堂)。 | 淡青白色 | 白色 赤 | 17c後~18c前 景徳窯 | HB20-K12 Ⅱ 1006SK 台3290 | |



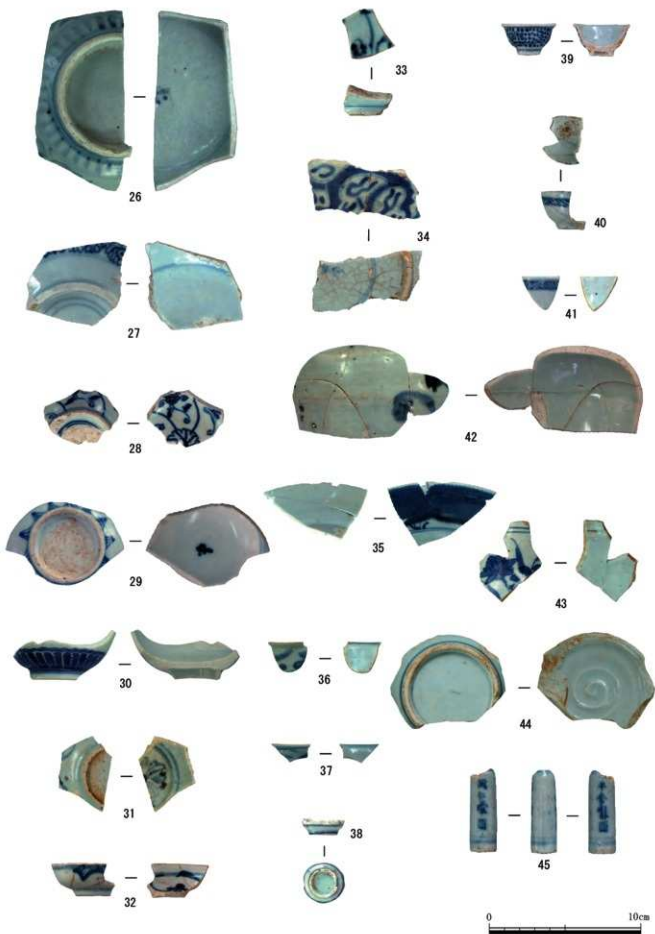
第111图 染付1



圖版 71 染付 1



第112圖 染付2



圖版 72 染付 2

(6) 褐釉陶器・半練土器

褐釉陶器は総数で52点出土し、中国産の壺や播鉢と、タイ産の壺がある。大半は中国産の壺である。また、タイ産の半練土器の壺が1点得られている。第47表に出土量、第114図に平面分布、主なもの第115図と第48表観察一覧に示した。

中国産褐釉陶器 (図1~10)

総数41点、器種は壺が殆どで1点播鉢が得られている。壺は大型、中型、小型に分かれ中型は今図化していないが口縁部6点、胴部2点の計8点得られている。

壺

小型 (図1~7) 口縁部4点、胴部2点、耳1点、底部1点の計8点得られた。

図1~7は茶壺が考えられる資料で、生産年代は14世紀~16世紀に位置づけられる。図1・2・6は肩が張り、器の最大径を肩部に近い胴上部に持つタイプである。図3~5はなで肩で器の最大径を胴部に持つ可能性があるものである。図1は肩が丸く張り、頸部はやや内寄り気味に上に引き上げ口縁部に至る。口縁は外側に折るよう丸めた玉縁状を成す。器の最大径が肩部に近い胴上部に持つと考えられ、口縁部から肩まで残す唯一の資料であった。図2は玉縁口縁を成し、頸部が内寄り気味に上に引き上げられる資料で図1と同様の器形が考えられる。図3は断面形が「く」字状に肩から外側に折り返し口縁断面形態は方形を成す。図4は口縁部を内寄り気味に短く引き上げ口唇は平坦である。図5は四耳壺と考えられる。耳は肩の頸部寄りに横位に貼付されている。図6は肩が丸く張り、器の最大径を肩部に持ち図1と同様の器形が考えられる。図7は底径が9.6cmで器壁の薄い底部資料である。

大型 (図8・9) 胴部17点、底部4点、計21点と最も出土が多い。

底径が10cm~14cm大で器壁は1cm~1.5cm大の壺である。図8は紐作りの積み痕が顕著なもので外側に約60度の角度で急激に立ち上がる。図9は緩く立ち、底面は輪状に凹凸が認められる。15世紀~16世紀に位置づけられる。

播鉢 (図10) 播鉢1点の胴部がIV層より出土した。ボール状に丸味を持つ器形を呈する。9本組の櫛目が確認でき底部から口縁部方向に櫛描されたことが解る。明代に位置づけられる。胴タイプに沖縄県内では銘苅原遺跡(1997)、天界寺跡(II)(2002)、湧田古窯跡(IV)(1999)、渡地村跡(2007)などで出土している。

タイ産褐釉陶器 (図11・12)

総数11点得られ、胴部8点、耳1点、底部2点出土のうち2点図化した。図12は底部からほぼ直に立ち上がる。底面は扁平、内底面に轆轤痕が僅かに認められる。図11はやや大型の壺が考えられる。比較的扁平な底面を有し、底部は開き緩やかに立ち上がる。生産地メナムノイ窯、生産年代は15世紀後~16世紀に位置づけられる。同タイプが沖縄県内に首里城跡-京の内跡(I)(1998)、首里城跡-御内原北地区(2010)などで出土している。

タイ産半練土器 (図13)

丸味のある平底を持つ壺が考えられる。底面に並行した溝が3ないし4条重なり合う叩き跡がみられる。15世紀~16世紀が考えられる。HB②口地区Q11IV層の出土である。同タイプに沖縄県内では渡地村跡(2007)、阿波根古島遺跡(1990)などで出土している。

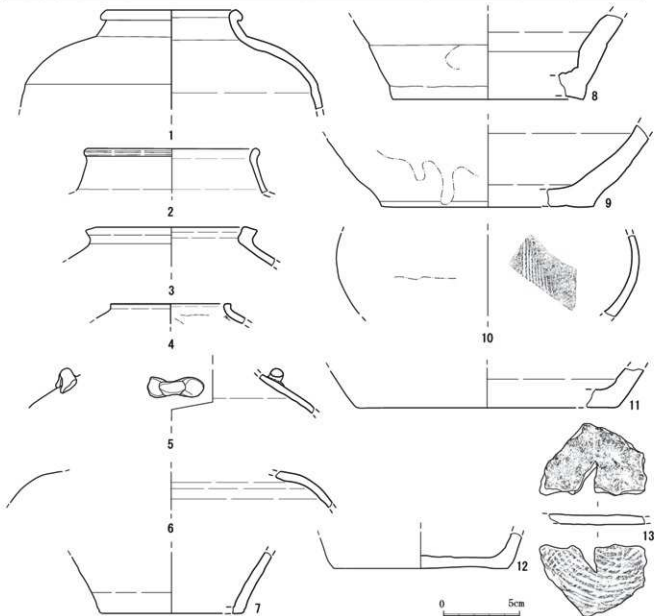
<参考文献>

沖縄県立埋蔵文化財センター 2010 『首里城跡-御内原北地区発掘調査報告書(1)』第54集

第48表-1 褐釉陶器・半練土器観察一覧

(図量単位:cm, g)

| 図番 図名 | 器種 | 分類 | 口径 底径 器高 | 器形・器面調整・文様 | 釉 (色・範囲・貫入) | 素地 (色・質・混和材) | 生産年代 生産地 | 地区・グッド・ 層位・遺構 台帳番号 |
|------------------------|----|----|----------------|---|---|-----------------------------|----------------|---------------------------------------|
| 第115 図・ 図集 73 | 壺 | 小型 | 9.4 — — | 肩は丸く張り、頭をやや内寄り気味に上に引き上げ口縁に至る。口縁は外側に折る様に丸める。器の最大径を肩部に持つものである。(40.5g) | 暗褐色の釉をおおそ外面は胴下部まで、内面は頸部から胴上部まで施す。釉は薄く塗布された物である。 | 褐色の惹な粘土。 黒褐色、白色の粒子を含む。 | 14c~15c 中国産 | HB① N13 IV 台510 |
| | | | 11.0 — — | 口縁は口唇が玉縁状を成し頭を内寄り気味に上に引き上げる。(7.5g) | 暗褐色の釉を外面は頸部内面は胴上部まで施す。 | 赤紫褐色で細かな粘土。 褐色と白色の粒子を含む。 | 15c~16c 中国産 | HB① P-Q8.9 II 3585K 台484 |
| | | | 11.0 — — | 口縁は頸部が短く引き上げられ外側に折り返し方形を成す。(12.4g) | 暗褐色の釉を外面と内頸部付近まで薄く施す。 | 常褐色で惹な粘土。 黒褐色、白色の粒子を含む。 | 15c~16c 中国産 | HB②③ S12 IV 台3371 |
| | | | 8.0 — — | 口縁は頸部が短く引き上げられ外側に折り返し方形を成す。短頸の意が考えられる。(3.2g) | 暗褐色の釉を外面と内頸部付近まで薄く施す。 | 褐色で細かな粘土。 黒褐色、白色の粒子を含む。 | 15c~16c 中国産 | HB① II 台356 |
| | | | — — — | 四耳意と考えられる。耳は肩の頸部寄りに横位に貼付されている。(12.5g) | 暗褐色の釉を外面と内頸部付近まで薄く施している。 | 赤紫褐色で細かな粘土。 褐色と白色の粒子を含む。 | 15c~16c 中国産 | HB① P10~15.Q15 II 2715D 台491 |
| | | | — — — | 肩が丸く張り、器の最大径を肩部に持つ小型な壺である。頸部寄りに輪状の陪着痕が見られる。(23.0g) | 暗褐色の釉を外面に施している。輪状陪着痕の見られる頸部近くは生地側のせいで収縮褐色である。 | 青灰色で細かい。 黒色と白色の粒子を含む。 | 15c~16c 中国産 | HB②③ S13 IV 台3359 |
| | | | 9.6 — — | 底面から外にやや開きながら立ち、器面には積み痕を確認することができる。(17.5g) | 外側に付いた暗褐色の釉だけを拭き取っているが、内外ともに無釉である。 | 赤灰褐色で細かい。 黒色と白色の粒子を含む。 | 15c~16c 中国産 | HB② ① I 台3327 |

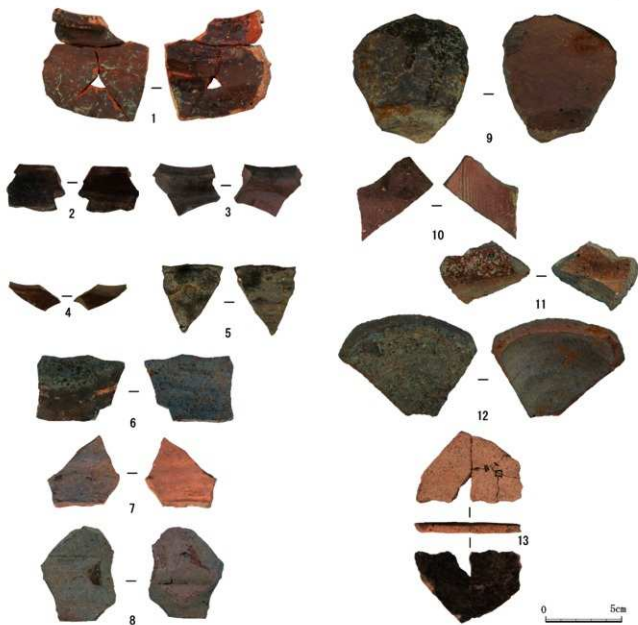


第115図 褐釉陶器・半練土器

第48表-2 褐釉陶器・半練土器観察一覧

(法量単位:cm,g)

| 第115回・図版73 | 図番号 | 器種 | 分類 | 部位 | 口徑 底徑 器高 | 器形・器面調整・文様 | 釉 (色・範囲・貫入) | 胎地 (色・質・裏和材) | 生産年代 生産地 | 地区・グリッド・ 序・遺構 台帳番号 |
|----------------|-----|----|----|-----------|--|---|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------|----------------------------|
| 第115回・ 図版73 | 8 | 壺 | 大型 | 底部 | 10.4 — | 小さい底部から外に開きながら立つ。外面に積り釉が顕著である。(53.9g) | 暗褐色の釉だれが付着するが、基本的には内外ともに無釉である。 | 赤茶褐色で細かい、赤褐色、黒色、白色の粒子。 | 15c~16c 中国産 | HB① O-P14~16 II 台386 |
| | 9 | | | 14.0 — | 底部は外に大きく開きながら立ち上がる外表面に積り釉が顕著である。(130.7g) | 暗褐色の釉だれが付着するが、基本的には内外ともに無釉である。 | 非常褐色で細かい、黒褐色、白色の粒子を含む。 | 15c~16c 中国産 | HB① O-P9~14 I 台241 | |
| | 10 | 種鉢 | 中型 | 胴部 | — — | ボール状に丸味を持つ。縁目は9本確認でき底部から口縁部に向けて磨蝕。(13.9g) | 外面の胴部まで暗褐色の釉を施している。内体無釉。 | 非常褐色で細かい、赤褐色、黒色、白色の粒子を含む。 | 明代 中国産 | HB② □ R13 IV 台3363 |
| | 11 | | | 大型 | 17.2 — | 底部からやや傾きながら縁やか立ち上がる。底面は扁平で熔着剥離がみとめられる。(29.9g) | 暗褐色の釉垂れがみられるが、内面外面ともに無釉である。 | 灰茶褐色で細かい、赤褐色、黒色、白色の粒子を含む。 | 15c~16c タイ産 メナムイ族 | HB② イ L5 III 台129 |
| | 12 | 壺 | 中型 | 底部 | 11.4 — | 底部からはほぼ直に立ち上がる底面は扁平、内底面に磨蝕痕が僅かに認められる。(72.3g) | 外面に暗褐色の釉垂れがみられる。内面外面ともに無釉である。 | 非常褐色で細かい、赤褐色、黒色、白色の粒子を含む。 | 15c~16c タイ産 メナムイ族 | HB① N1 7.18 III 台610 |
| | 13 | | | 底部 | — — | 半練土器の底部である。僅かに丸い平底で内底面は指圧と考えられる凹色がみられ、外面は並行した放射状の磨き痕がランダムに重なりで確認できる。(12.4g) | 内面外面ともに無釉である。外面一面に釉が付着。 | 淡茶白色(クリーム色)で細かい、赤褐色、黒色、白色の粒子を含む。 | 15c~16c タイ産 | HB② □ Q11 IV 台3331 |



図版 73 褐釉陶器・半練土器

(7) その他の輸入陶磁器

出土点数の少ない輸入陶磁器をここに含め報告する。磁器は、青磁染付小碗3点、鉄釉染付1点、瑠璃釉1点、色絵5点がある。陶器に華南三彩1点が得られている(第49表)。いずれも中国産である。ほぼ同じ年代でHB①地区Ⅱ・Ⅲ層、HB②地区Ⅱ層から出土している。

主なものは図示(第116図)し、観察一覧(第50表)を示した。

青磁染付(図1~3)

小碗の口縁部1点、底部2点である。図1は胴に丸味を持ち口縁は上部で僅かに外反する。口唇は丸く整えている。図2・3は小さく華奢な高台を有し胴部に丸味をおびる。翡翠色の釉を外面に掛け内面には透明釉と掛け分けている。外底面に方形銘款を呉須書きしている。いずれも生産地は景德鎮窯、生産年代は18世紀後半~19世紀前半に位置づけられる。

鉄釉染付(図4)

小碗の口縁資料が1点得られている。外反口縁を持ち口唇は丸く整える。器厚は3mmで薄手である。外面は鉄釉掛、内面に二条の圏線を呉須描する。生産地は景德鎮窯、生産年代は17世紀末~18世紀初に位置づけられる

瑠璃釉(図5)

口縁から底部まで残した図上復元が可能な小杯の資料である。口径に比して大きめ底部を持ち、高台から僅かに膨らみ直に立つ口縁は直口で口唇は尖る。型成形の小杯で生産地は徳化窯、生産年代は18世紀後半~19世紀前半位置づけられる。

色絵(図6)

総数5点で、すべて小碗である。口縁部2点、胴部3点が得られた。作図外の4点は全て徳化窯系の17世紀~18世紀に位置付けられる型成形の小碗であった。図6は腰部の資料で外面に黄色と青色の草花文を描くが、小片のため詳細は不明。生産地は福建・広東系、生産年代は17世紀~18世紀に位置づけられる。

華南三彩(図7)

中国南部の福建省、広東省で生産された華南三彩で1点得られた。鳥の胴体部分の破片資料で鳥羽が浮き文で表現され緑釉と黒釉で彩釉されている。型成形の鶴型水注が考えられる。生産地は福建・広東、生産年代は明代に位置づけられる。同タイプに沖縄県内では首里城京の内(1998)、首里城西北側下(西)(2010)、首里城管理用道路(2001)、豊見城村内伝世品(1988)、本町では伊礼原E遺跡(2010)、伊礼原D遺跡(2013)、伊礼原A遺跡(2014)などで出土している。

<参考文献>

- 沖縄県教育委員会 1998 『首里城跡—京の内跡』 沖縄県文化財調査報告書 第132集
 沖縄県立埋蔵文化財センター 2001 『首里城跡—管理用道路地区』 沖縄県立文化財センター調査報告書 第1集
 沖縄県立埋蔵文化財センター 2010 『首里城跡—御内原北地区(Ⅰ)』 沖縄県立文化財センター調査報告書 第54集
 沖縄県立埋蔵文化財センター 2012 『中城御殿跡』 沖縄県立文化財センター調査報告書 第63集
 金城亀信・長嶺均ほか 1988 『豊見城の遺跡』 豊見城村文化財調査報告書 第3集

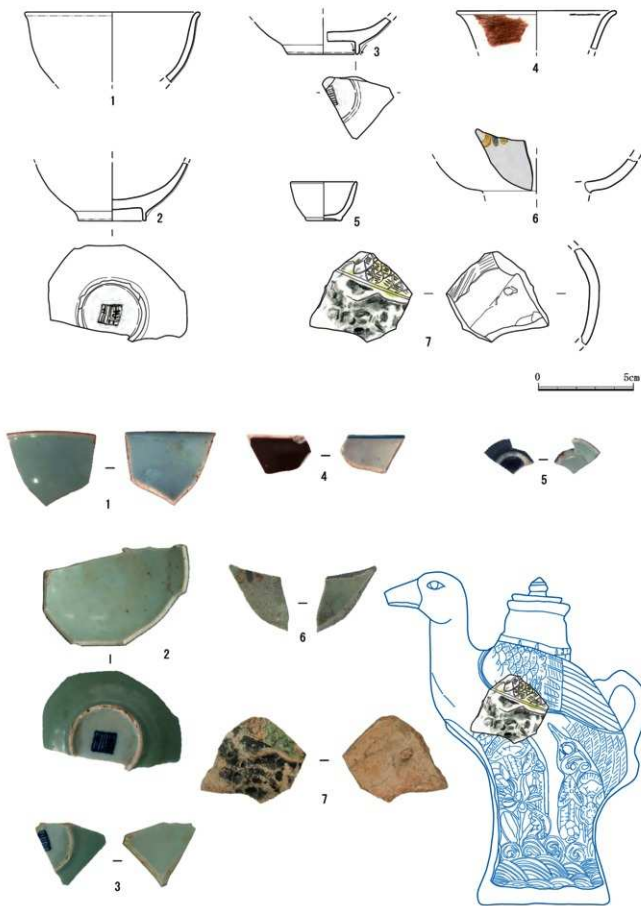
第49表 その他の輸入陶磁器出土量

| 地区 | 層位・遺構 | 分類 器種 生産年代 窯 | 青磁染付 | 鉄釉染付 | 瑠璃釉 | 色絵 | | 三彩 | 合計 |
|------|-------|-----------------------|-----------|-----------|-----------|---------|------|------------|----|
| | | | 小碗 | 小碗 | 小杯 | 小碗 | | 水注 (鶴型) | |
| | | | 18c後～19c前 | 17c末～18c初 | 18c後～19c前 | 17c～18c | | 明代 | |
| | | | 景德鎮 | 景德鎮 | 徳化 | 福建広東 | 徳化 | 福建広東 | |
| HB① | I | 240SZ | 1(底) | | | 1(胴) | | 1 | |
| | II | 1SK 62SK | 1(口) | | | | | 2 | |
| | III | 199P | | | | | 1(口) | 1 | |
| | | 163SK 271SD | 1(底) | | | | 1(胴) | 1 | |
| HB②口 | I | | | | | | 1(胴) | 1 | |
| | II | 2002SZ 2054SX | | 1(口) | | | | 1 | |
| 合計 | | | 3 | 1 | 1 | 1 | 4 | 1 | 11 |

第50表 その他の輸入陶磁器観察一覧

(流量単位:cm)

| 第116図 図番号 | 種類 | 器種 | 部位 口径 底径 器高 | 器形・文様・器面調整 | 釉・呉須 (色・範囲・貫入) | 素地 (混和材・質) | 生産年代 生産地 | 地区・ブリード・層位 遺構・台(取)器号 |
|---------------|----|--------------|----------------------|---|--|-------------------------|------------------|--------------------------------|
| 第116図 図版 4 | 1 | 小碗 | 9.2 — — | 胴部は丸味を持ち開きながら立つ。口縁は先端で外反させ、口唇を丸く整える。 | 薄青翠色の釉を外面に施し内面は透明釉を施している。口唇は露胎している。 | 白色微粒子密 | 18c後～19c前 景德鎮 | HB① K-L12 II 1SK 台377 |
| | 2 | 青磁染付 小碗 | — 3.6 — | 腰部にやや丸味を持ち口縁に向い開き立ち上がる。高台は畳付けが丸味のある断面三角状を成し、やや内側で細い。外底面は平坦、中央に四角形の呉須輪の銘款が認められる。 | 薄青翠色の釉を外面の高台部まで施す。内面と外底面は透明釉を施し畳付けは露胎。呉須は藍色である。 | 白色微粒子密 | 18c後～19c前 景德鎮 | HB① P-Q10 II 240SZ 台490 |
| | 3 | 小碗 | 3.6 — — | 高台の形態は横作りの内側で畳付けを外側から三角状に削り出し、断面形は三角形を成す。 外底面は平坦、中央に四角形の呉須輪の銘款が見られる。 | 薄青翠色の釉を外面の高台部まで施す。内面、外底面は透明釉を施す。 畳付けは露胎し呉須は藍色である。 | 白色微粒子密 | 18c後～19c前 景德鎮 | HB① K-L15 III 163SK 台609 |
| | 4 | 鉄釉染付 小碗 | 8.4 — — | 胴上部から口縁に至り口縁は外反している。 口縁部の内面上部に二条の墨線を添らせている。 | 褐色の釉を外体に施す。内面は透明釉を施す。畳付けは露胎である。呉須は藍色。 | 白色微粒子密 | 17c末～18c初 景德鎮 | HB②口 II 2002SZ 台3367 |
| | 5 | 瑠璃釉 小杯 | 3.6 1.8 2.1 | 高台から僅かに膨らみ立つ口縁部は直口する。 成型形である。 | 緑青色の釉を外面の外底面まで施す。内面は透明釉を施す。口唇は露胎。 | 白色微粒子密 | 18c後～19c前 徳化 | HB②口 II 2054SX 台3369 |
| | 6 | 色絵 小碗 | — — — | 腰部の丸い小碗である。胴部外表面に黄色と青色の文様を施すのが小破片のため詳細は不明。 | 透明釉 | 灰白色微粒子密 | 17c～18c 福建・広東 | HB① P-Q10 II 240SZ 台490 |
| | 7 | 華南三彩 碗型水注 | 胴 — — | 胴上部に鳥羽を浮き文で描く。鳥形(鶴)水注の胴と考える。 成型形で裏面に指ナグ痕が認められる。 | 羽の部分は緑釉と黄釉を胴下半部は黒釉を彩施するものである。 | 生成り色の微粒子で密。褐色の粒子を僅かに含む。 | 明代 福建・広東 | HB②口 I 台3327 |



第 116 図・図版 74 その他の輸入陶磁器

(8) 瓦質土器

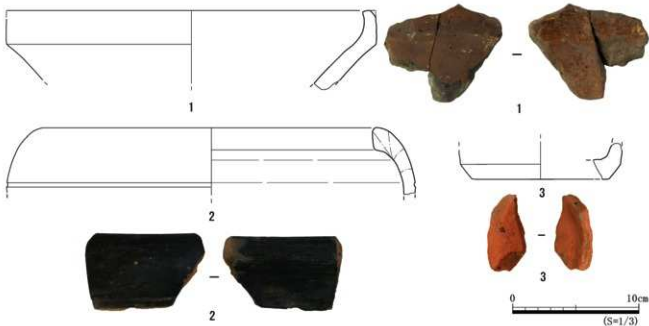
湧田産や本土産、近世以降の生産と考えられる瓦質土器が計4点確認できた。胎土はいずれも精良である。遺物の詳細については第51表に記載し、第117図、図版75に示す。

図1は湧田産の播鉢口縁部で15世紀後半～16世紀後半に製作された備前産の播鉢を意識した器形である。内面に櫛目が1本確認できる。図2は18世紀～19世紀に製作された本土産（関西系）の風炉か火鉢と考えられる口縁部で、焼しにより黒色化した器表面を磨く。図3は近世以降に生産されたと考えられる火取の底部で陶質土器製火取（第159図19）と底部の削り等器形が類似している。

第51表 瓦質土器観察一覧

(法量単位: cm, g)

| 第四図版 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 器高 底径 | 重量 | 器厚 | 色調 (芯部) | 混和材 | 器面調整 | | 文様等 | 産地 | 地区・グリット 層位・遺構 台帳番号 |
|----------------|----|----------|----|----------------|-------|-----------------|--------------|---------------------------|-------------|-------------|----------------------|-------------|-----------------------------|
| | | | | | | | | | 内面 | 外面 | | | |
| 第117時・ 図版75 | 1 | 播鉢 | 口縁 | 推29.2 - | 80.9 | 1.2 | 灰褐色 (淡灰色) | 黒色粒・茶色粒 石灰質砂粒 若干の雲母 | 不明 | 回転擦痕 指ナデ | 口縁が僅かに内傾 櫛目が1本見える | 沖縄 | HB②ロ R12 Ⅲ 台3341 |
| | 2 | 風炉 火鉢 | 口縁 | 26.4 - | 111.2 | 1.0 / 1.8 | 黒色 (淡灰色) | 黒色粒・赤色粒 白色粒・雲母 | 回転擦痕 指ナデ | 篋削り ナデ消し | 胴部に一条の圓縁 横み上げ痕が明瞭 | 本土 (関西系) | HB②ロ Q8-9 Ⅱ 2054SX 台3369 |
| | 3 | 火取 | 底 | - 11.0 | 30.8 | 1.1 | 赤褐色 (淡褐色) | 黒色粒・赤色粒 砂粒 | ナデ消し | ナデ消し | - | 沖縄 | HB① P8-9 Ⅱ 30SSD 台343 |



第117図・図版75 瓦質土器

(9) 本土産陶器(近世)

近世に製作されたと考えられる本土産の陶器が合計33(碗7、皿1、壺23、土瓶2)点得られた。底部数と破片有りを最少個体数とすれば碗3点、皿1点、壺2点、土瓶2点と非常に少ない。生産地は内野山・薩摩・信楽で、器類は内野山(肥前系)、貯蔵器は薩摩・信楽であった。33点のうち26点がHB①地区、4点はHB②イ地区、3点はHB②ロ地区からの出土。また、33点のうち12点が遺構からの出土で、8点は戦前(Ⅱ層)の遺構、4点が近世(Ⅲ層)に属する遺構からの出土であった。いずれも沖縄産無釉陶器・沖縄産施釉陶器・本土産磁器などの近世以降に製作された遺物との伴出が多く見られた。主な遺物については第52表に詳細に記載し、第118図、図版76に示す。

図1は内野山産の碗である。高台からほぼ斜め上方へ向かって緩やかに延び口縁部に至る器形で

高台内に兜巾を持つ。器形と施軸範囲から『九州陶磁の編年』のIV期（1690～1780）と考えられるが、高台内に兜巾がある事からIV期の早い時期と思われる。畳付けは焼成後に磨かれて砂目は見られない。図2は肥前で作られた京焼風陶器で撥形の高い高台を持つ呉器手の碗である。呉器手碗の終末期に作られたそうである⁽²⁾。図3は信楽産の茶壺の肩部である。長石の吹き出しが見える。耳が付くタイプだと思われる。図4～7は薩摩産の陶器である。図4は壺の口縁部で、口縁部内側下及び外面から粘土を貼り付け、断面三角形に作られる。口唇部に貝目が残るが、貝は1.5cm前後の間隔を空けて置かれたようである。図5は壺の底から胴部へ向かう立ち上がり部分で、内外面共にうすらと器面調整痕が見える。胎土から沖繩産無釉陶器の可能性も考えられる。図6・7は土瓶の底部でサイズ違いである。図7には煤が付着する。

<注> 大橋康二先生よりご教示頂いた。

<参考文献> 九州近世陶磁学会 2000 『九州陶磁の編年』
江戶遺跡研究会（編）2001 『図説 江戶考古学研究事典』

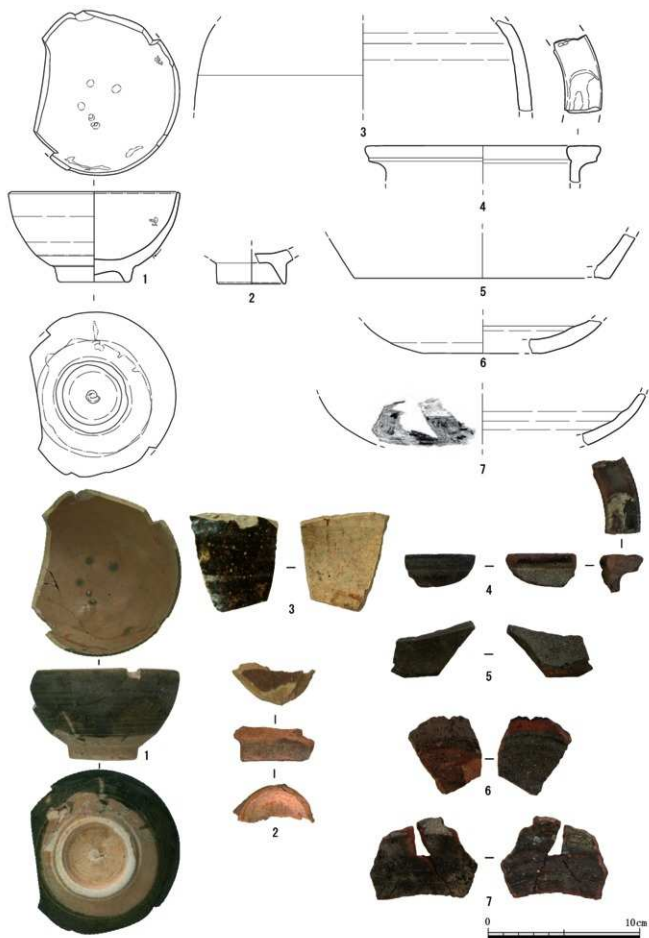
第52表 本土産陶器（近世）出土量

| 出土地区 | 器種 産地 部位 | 内野山 | | | 肥前系 | | 関西系? | | 薩摩 | | | 信楽 | | 九州産? | | 土瓶 薩摩 底 | 合計 |
|--------|----------------|----------------|---|---|-----|---|------|---|----|---|---|----|---|------|----|---------------|----|
| | | 口 | 胴 | 底 | 胴 | 底 | 胴 | 底 | 口 | 胴 | 底 | 肩 | 胴 | 底 | | | |
| HB① | I | | | | 1 | | | 1 | | 7 | | | | | | | 9 |
| | II | 1SK | 1 | | | | | | | 6 | | | | | | | 7 |
| | | 62SK | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| | | 358SK 240SZ | | | | | | | | 1 | 1 | | | | 1 | | 3 |
| | III | 155P | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| | | 271SD | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | 2 |
| 合計 | 1 | 2 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 17 | | | | 1 | 1 | 26 | | |
| HB②-I | I | | | | | | | | | 2 | | | | | | 2 | |
| | II | 1018SX | | | | | 1 | | | | 1 | | | | | 2 | |
| | | 合計 | | | | | | 1 | | 2 | 1 | | | | 1 | 4 | |
| HB②-II | II | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | |
| | III | 2049SD | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | 合計 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | |
| 総合計 | | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 19 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 33 | | |

第53表 本土産陶器（近世）観察一覧

(法量単位: cm, g)

| 第 四 回 図 版 | 器種 部位 | 口径 器高 底径 | 高さ | 素地/焼成 | 器形 | 施軸/所見 | 産地 | 製作 年代 | 地区 小グッド 層位 台帳(取上)番号 |
|------------------------------------|---------------|--------------------|-------|---|---|---|---------|--------------|--------------------------------------|
| 第 118 回 ・ 図 版 76 | 1 碗 口 | 11.2 5.9 4.8 | 130.7 | 淡灰白色で粒子はきめ細 かく精良 外面の剥離輪にはガラス 質が見られない | 直口口縁 高台からはほぼ斜め上方へ向 かって緩やかに並び口縁部に 至る | 外面:剥離輪を離し胴部以下磨胎 内面:透明輪(細かく貫入) 畳付け;焼成後、研磨されているようである。 高台内側に発布。 | 内野 山 | 17C末 18C後 | HB②-Q12 III 2049SD 取2008 |
| | 2 碗 底 | - 6.6 | 16.9 | 淡灰白色で粒子はきめ細 かく精良 | 撥形の高い高台を持つ | 外面(高台内含):白化粧後、畳付けのみ 化粧土を掻き取る 内面:透明輪 | 肥前 系 | 17C末 18C前 | HB②-I KL8-9-10 II 1018SX 台3296 |
| | 3 茶 壺 肩 | 最大 径 11.0 | 47.5 | 灰白色の微粒子で密、黒 色の粒子を含む。 | 胴部に最大径を持ち、耳が付 く | 暗褐色の軸を外面に施す。 長石の吹き出しあり。 | 信楽 江 | 江戸期 | HB① P10-15-Q15 II 271SD 台491 |
| | 4 壺 口 | 15.6 - | 19.1 | 赤褐色土に若干の黒色 粒と白色粒混入。 非常に堅緻 | 外反口縁 口縁部は内側下及び外面から 粘土を貼り付け断面三角形 に作る。 | 口唇部には重ね焼きのための貝目が残る | 薩摩 | 17C | HB① PQ8-9 II 398SK 台484 |
| | 5 壺 底 | - 16.6 | 23.4 | 赤褐色土に若干の赤色 粒と白色粒混入。 非常に堅緻 | - | 器表面・胎土ともにピンホールが見られる 沖繩産無釉陶器の可能性あり | 薩摩 ? | 17C | HB②-I KL8-9-10 II 1018SX 台3296 |
| | 6 土 瓶 底 | - 8.0 | 28.8 | 赤褐色に微細な赤褐色 と砂粒混入/堅緻 | 丸底を呈し、底部より丸みを帯 びながら胴部へ移行 | 焼成により底面と胴部への移行部に色の 違いを生じる | 薩摩 | 18C 19C | HB②-Q II 台3228 |
| | 7 土 瓶 底 | - - | 32.6 | 赤褐色に大粒の赤褐色 と砂粒混入。 堅緻 | 丸底を呈し、底部より丸みを帯 びながら胴部へ移行 | 内面:軸を掻き取るが、轆轤目に沿って若 干軸が溜まっている。 外面:上部1/4に軸を掛け、以下には煤が 付着。 | 薩摩 | 18C 19C | HB① PQ8-9 II 398SK 台484 |



第 118 图 · 图版 76 本土産陶器 (近世)

(10) 本土産磁器（近世）

明治時代以前に製作されたと考えられる碗 20 点、小碗 10 点、小杯 3 点、皿 18 点、鉢 3 点、仏飯器 1 点、瓶 6 点、急須 16 点、段重蓋 3 点、器種不明 3 点の合計 83 点を確認した。底部数と破片有りを最少個体数とすれば、碗類 11 点、皿類 10 点、袋物 4 点であった。同時期の器類として中国産磁器は多数得られている。生産地としては肥前系（特に有田産）が大半を占め、瀬戸美濃系は数点のみである。83 点のうち 43 点は遺構（P・SD・SK・SX・SZ）からの出土であるが、271SD 以外は戦前の土坑や溝で中国産・沖縄産・本土産の陶磁器との伴出であった。271SD はⅢ層（近世）の溝状遺構で屋敷囲いの可能性も考えられる。

以下、主な遺物について第 55 表にて詳細を記載し、第 119・120 図、図版 77・78 に掲げる。

図 1～5 は肥前系の碗である。図 1 は内面口縁下に文様帯が入り、鉢の可能性もあるが口径が 15 cm のため碗とした。図 2 は山水文碗の口～腰部で、焼成不良により発色していない。図 3・5 は見込み荒磯文碗の胴部と底部である。色味や文様に類似性があり同一碗の可能性もあるが、出土地点が違う事から別個体として報告する。図 4 はその形状と厚みから「くらわんか碗」と考えられる底部である。図 6・7 も肥前系の小碗と小杯で碗よりは若干古手である。図 8～10 は口錆が施される同タイプの中皿で、小片のため報告を省いた 2 点を含めると、圏線や寛入の有無の違いから計 6 タイプの中皿が確認できた。ほぼ同じ地点より出土。図 11 は底部で針支えの痕が残る。図 8～10 の中皿と同タイプであるが一時期古手である。図 12 は瀬戸美濃産と限定できる皿で内面に蓋笠が描かれる。図 13 は皿の底部で見込みにコンニャク印判による五弁花、外底面に満福が見られる。図 14 は内面には菊・桐・花菱など縁起の良い花を描き、外面には古手の芙蓉手を描く八角の皿である。図 15 は大皿でやや「L」字状になる口縁を持ち、内面に大きく水草を描く。図 16 は段重の蓋で外面に雪輪文を窓に梅花、水仙、福寿を描く。図 17 は仏飯器で上面から打ち欠いた痕が見られ、二次加工の可能性も考えられる。図 18 は外面に太湖石を描くが中皿（図 8～10）よりは若干古手である。図 19 は瓶の胴部で鋸歯状の網目文から 17 世紀後半に製作されたようである。

<参考文献> 九州近世陶磁会 2000 『九州陶磁の編年』

西田宏子・大橋康二（監）1988 『別冊太陽 古伊万里』 平凡社

第54表 本土産磁器（近世）出土量

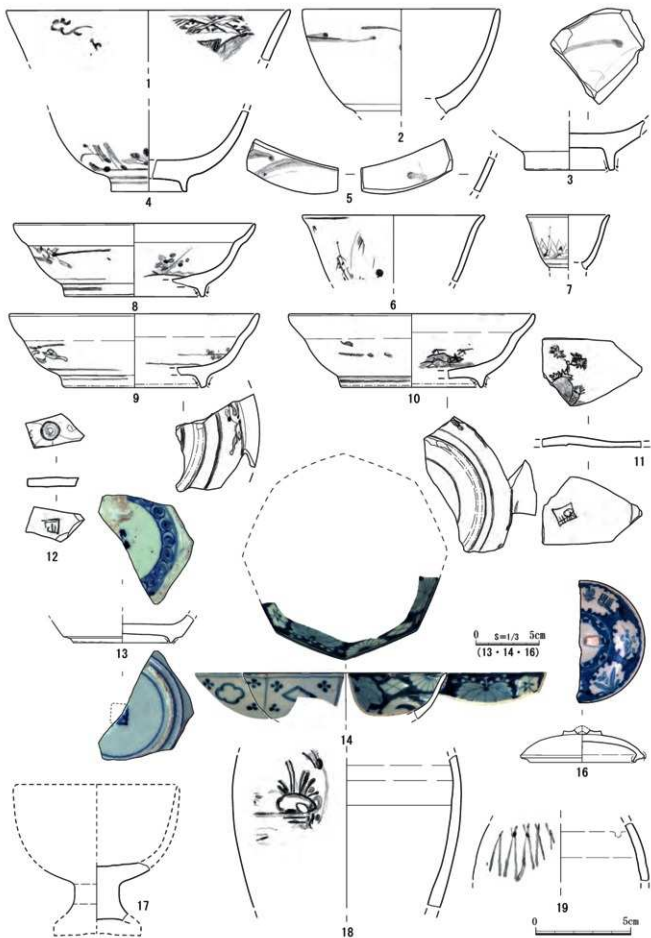
| 器種・部位 破片数 | 碗 | | | 小碗 | | | 小杯 | | | 皿 | | | 中皿 | | | 大皿 | | | 鉢 | | | 仏飯器 | | | 瓶 | | | 急須 | | | 蓋 | | | 不明 | | | 合計 |
|--------------|------|-----|----|----|------|---|----|-----|---|---|-----|---|-----|-----|---|----|-----|---|---|-----|---|-----|---|---|---|---|---|----|---|---|---|----|----|----|--|--|----|
| | 口 | 口～底 | 胴底 | 口 | 口～底 | 底 | 口 | 口～底 | 底 | 口 | 口～底 | 底 | 口 | 口～底 | 底 | 口 | 口～底 | 底 | 口 | 口～底 | 底 | 胴 | 注 | 口 | 胴 | 底 | 底 | 底 | 底 | 底 | 底 | 底 | | | | | |
| I | 3 | | | 1 | 2 | 1 | | | 1 | 1 | | | 5 | | | 4 | 2 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 24 | | | |
| II | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | |
| 33P | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 81SK | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 358SK | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 359SK | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | |
| 100SZ | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | |
| 240SZ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | |
| III | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | |
| 271SD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 合計 | 4 | 3 | 2 | 4 | 1 | 5 | 1 | 6 | 1 | 4 | 3 | 1 | 1 | 1 | 6 | 2 | 4 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 | 2 | 4 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 54 | | | | | |
| IV | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 1018SX | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | |
| V | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | | | |
| VI | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | | | |
| 2002SZ | 2 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | | | |
| 2003SZ | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 2004SX | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | |
| 2054SX | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 | | | |
| 合計 | 4 | 2 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 26 | | | | |
| 器種合計 | 8 | 2 | 7 | 3 | 4 | 1 | 5 | 2 | 1 | 6 | 1 | 2 | 4 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 | 2 | 7 | 5 | 2 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 83 | | | | | |
| 破片数合計 | 5/20 | | | | 6/10 | | | | | 3 | | | 1/9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※皿はサイズ特定の難かったもの

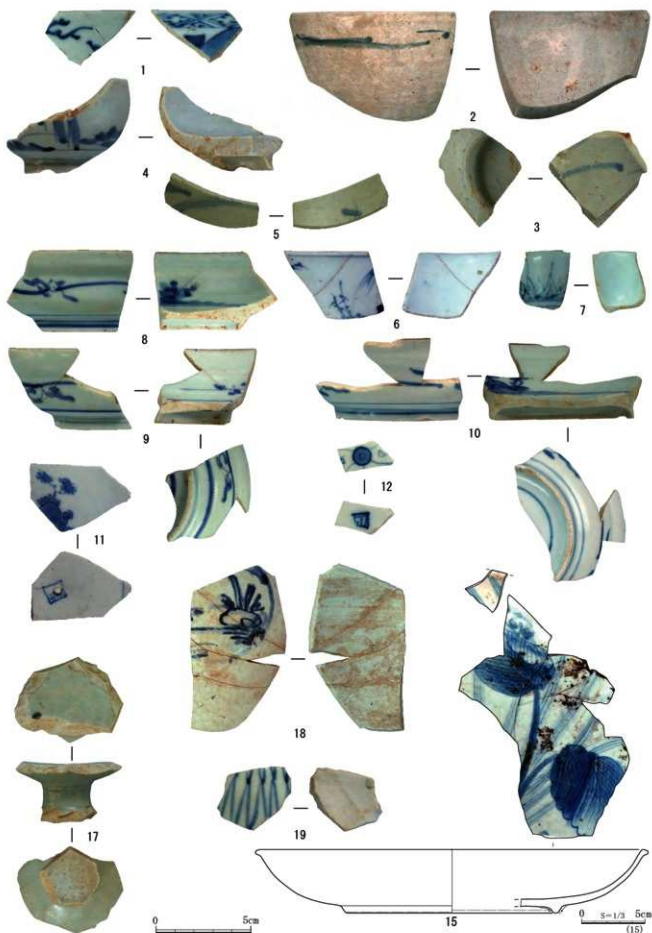
第55表 本土産磁器(近世)観察一覽

(質量単位: cm, g)

| 第四 図版 | 番号 | 器種 | 部位 | 口径 器高 底径 | 重量 | 器形 | 文様・施軸・所見 | 素地/混入物 | 成形 技法 | 産地 | 年代 | 地区 グリッド 層位 遺構 台帳番号 | |
|---|----|-------------|---------------|---------------------|-------|---|---|-------------------------|------------------|--------------|--------------------------|--|--------------------------|
| 第 119・ 120 図・ 図版 77・ 78 | 1 | 碗 | 口 | 15.0 — — | 6.37 | 直口口縁 口唇舌状 | 外面:雲 内面:口縁下に四方棒 | 灰白色で堅緻 ピンホール | | 肥前系 | 17C末 / 18C前 | HB① OP8~14 I 台239 | |
| | 2 | | | 10.4 — — | 39.72 | | 外面:山水文 | | | | 17C 後半 | HB① OP8~14 I 台239 | |
| | 3 | 碗 | 底 | — 4.8 — | 36.42 | 不明 | 見込み:荒縄文 畳付けのみ無軸 | 淡灰色で堅緻 | | 肥前系 (表庄見) | 1655 / 1680 | HB① OP8~14 I 台239 | |
| | 4 | | | — — 4.0 | 31.4 | | 外面:植物 全面施軸のため畳付けに 付着物あり | | | | 青灰色で滑らか 若干の微細な黒色 粒 | 17C末 / 18C前 | HB① OP8~14 I 台239 |
| | 5 | 碗 | 胴 | — — — | 6.2 | 不明 | 外面:雲龍 内面(胴):魚 | 淡灰色 微細な黒色粒とピン ホール | 不明 | | 17C | HB②イ KL8-9-10M9 II 1018SX 台3296 | |
| | 6 | 小 碗 | 口 | 9.6 — — | 7.97 | 端反口縁 口唇舌状 | 外面:柳・葦 | 灰白色で堅緻 | 轆轤 | 肥前系 | 1650 / 1660 | HB① OPI0-11 II 359SK 台340 | |
| | 7 | 小 杯 | 口 | 4.4 — — | 3.39 | 端反口縁 口唇舌状 | 外面:蓮弁文 | 灰白色で堅緻 | 轆轤 | 肥前系 | 1650 / 1660 | HB① I 台494 | |
| | 8 | 碗 | 口 / 中 皿 | 12.8 3.9 7.4 | 27.46 | 底部から内嚢 して立ち上がり、 胴部で一 度外側に屈曲 させ、口縁部 を受け口状に 内湾させる | 外面:ハート状如意頭唐草 内面:梅花、口唇、口蹠 畳付けのみ無軸 | 灰白色で堅緻 ピンホール | | 轆轤 型打ち | 有田 | 1670 / 1700 | HB① O-P8~14 I 台241 |
| | 9 | | | 13.2 3.9 7.6 | 17.6 | | 外面:如意頭 内面:太湖石・竹笹 畳付けのみ無軸 | | | | | 1680 / 1700 | HB① OP8~14 I 台239 |
| | 10 | | | 13.1 3.9 7.6 | 33.1 | | 外面:如意頭 内面:太湖石・竹笹 畳付けのみ無軸 | | | | | 1680 / 1700 | HB① OP8~14 I 台239 |
| | 11 | | | — — — | 10.5 | | 中央部で厚み を持つ | | | | | 外底面:針支えの痕と銘 内面:岩に植物 | 17C 末 |
| | 12 | 碗 | 底 | — — — | 2.9 | 不明 | 外底面:銘あり(不明) 内面:雲芝文 | 白色で堅緻 | 轆轤? 轆轤 | 瀬戸 美濃系 | 19C 前半 | HB②ロ QRS9-10 II 2002SZ 台3367 | |
| | 13 | 皿 | 口 | — — 8.0 | 66.71 | 八角 | 外面:満福、内面:満文 見込み:玉弁花(エンニヤク 印刷)/畳付けのみ無軸 | 灰白色で堅緻 若干の微細な黒色 粒 | 轆轤 型打ち | 有田 | 1690 / 1730 | HB②ロ I 台3385 | |
| | 14 | 碗 | 口 | 16.2 — — | 49.04 | 八角 | 外面:芙蓉手 内面:菊・桐・花菱・三弁花 | 青白色で滑らか | | | 1780 / 1820 | HB②ロ 2002SZ 台3367 | |
| | 15 | 大 皿 | 口 / 底 | 31.2 5.1 16.8 | 183.3 | 「L」字状口縁 | 内面:水草 畳付け:アルミナ塗布 | 白色で堅緻 | 轆轤 | 肥前系 | 1780 / 1860 | HB① I 台494 | |
| | 16 | 段 重 蓋 | 底 | 9.8 — — | 45.23 | 紐は雙字形 | 外面:雪輪文を窓に梅花・ 水仙・福寿 | 白色で堅緻 若干のピンホール | 轆轤 | 有田 | 1770 / 1810 | HB②ロ I 台3370 | |
| | 17 | 仏 飯 器 | 胴 | — — — | 43.73 | 脚は円筒形、 外底面は平直 | 高台内の刺り込は浅く無軸 5ヶ所に打ち欠いた痕が見 られる。二次加工か? | 灰白色の微粒子。 黒色微粒子を含む | 轆轤 底部 削り出し | 肥前系 | 1630 / 1660 | HB① PQ8-9 II 358SK 台484 | |
| | 18 | 瓶 | 胴 | — — — | 35.1 | いり割 | 外面:窓絵(太湖石・草木) | 白色で非常に堅緻 ピンホール | | | 1650 / 1670 | HB① PI0-15~Q15 III 台491 | |
| | 19 | 瓶 | 胴 | — — — | 8.27 | なで肩 | 外面:網目文 (縞書状に描く) | 青白色で滑らか | | | 17C 後半 | HB① PI0-15~Q15 III 台491 | |



第119图·图版77 本土産磁器（近世）1



第120图·图版78 本土産磁器(近世)2

(11) 貝製品

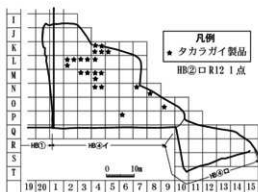
タカラガイの背面を除去したいわゆる貝鍾が 23 点出土した。地区別には HB②ロ地区でハナマルユキ 1 点、HB④イ地区でハナマルユキ 22 点、ハナピラダカラ 1 点の計 23 点で、出土層は 1 点のみ III 層で、残りすべて IV 層である。

タカラガイの貝鍾は背面の残存により、大きく A：殻軸（巻）を残すもの、B：殻軸（巻）を残さないものに分けられる。（島袋 1997）さらに A は A①：巻有 1 点、A②：巻が半欠 4 点、A③：巻無が 12 点でその中にはハナピラダカラ 1 点が含まれる。B①：軸半欠 4 点、B②：軸欠 2 点と総じて A の割合が 73.9% と高い。分類別に写真を示し、2 点は図示した。第 56 表に示した貝製品番号と図版は一致する。貝の大きさは殻幅が平均殻径 2.4cm、殻高 3.3cm、重さ 6.1g を測る。

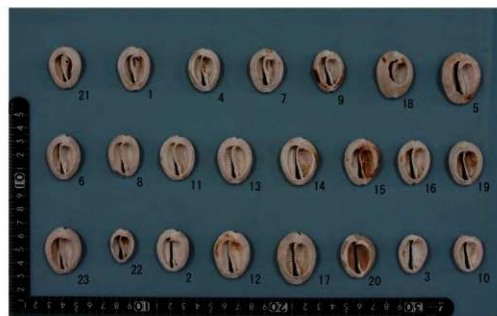
本品は民俗事例（上江洲 1972）でも漁網鍾に用いられており、HB④イ地区の IV 層に集中することからほぼ同じ重さで、数を多く必要とする網の条件を満たしている（島袋 2004）。本層ではグスク土器やカムイヤキ、白磁、青磁なども出土することから本品の上限を示す資料といえる。同様な遺跡には今帰仁村古宇利原遺跡（1983）、うるま市の前頂原遺跡（1987）などグスク期～近世の遺跡がある。

第 56 表 タカラガイ製品観察一覧 (法量単位: cm, g)

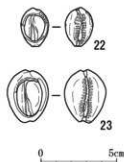
| 分類 回数 | 分類 記号 | 貝製品 番号 | 貝種 | 殻長 (mm) | 殻高 (mm) | 重さ (g) | 観察事項 | 地区・グランド・層位 ・図版番号 |
|------------------------------------|----------|-----------|---------|------------|------------|-----------|----------------|---------------------|
| 第 122 回 ・ 図 版 79 | A① | 21 | ハナマルユキ | 2.4 | 3.1 | 5.9 | 色残△ | HB④-FL4IV台251 |
| | | 4 | | 2.3 | 3.3 | 5.5 | | HB④-FL4IV台249 |
| | | 7 | | 2.5 | 3.2 | 7 | 縁磨う | HB④-FL7IV台297 |
| | A② | 9 | ハナマルユキ | 2.2 | 3.1 | 4.9 | | HB④-FL3IV台301 |
| | | 18 | | 2.6 | 3.5 | 8.7 | 色残△ | HB④-FL4IV台302 |
| | | 1 | | 2.3 | 3.3 | 6 | 色残△ | HB④-FL4IV台249 |
| | A③ | 5 | | 2.8 | 3.8 | 9.9 | | HB④-FL4IV台284 |
| | | 6 | | 2.5 | 3.3 | 7 | | HB④-FL2IV台235 |
| | | 8 | | 2.3 | 3.2 | 4.9 | | HB④-FL3IV台301 |
| | | 11 | ハナマルユキ | 2.6 | 3.3 | 6 | 風化 | HB④-FL3IV台220 |
| | | 13 | | 2.5 | 3.4 | 6.5 | | HB④-FL3IV台281 |
| | | 14 | | 2.7 | 3.5 | 7.6 | | HB④-FL2IV台265 |
| | | 15 | | 2.6 | 3.5 | 7.3 | | HB④-FL2IV台265 |
| | | 16 | | 2.3 | 3.4 | 5.6 | 前遺摩耗△ | HB④-FL4IV台302 |
| | | 19 | | 2.5 | 3.3 | 6.68 | | HB④-FL3IV台258 |
| | | 22 | ハナピラダカラ | 1.8 | 2.6 | 2.6 | 実測No.4022 | HB④-FL4IV台302 |
| | B① | 2 | | 2.4 | 3.2 | 4.9 | | HB④-FL4IV台249 |
| | | 12 | | 2.6 | 3.6 | 6.6 | 前遺摩耗△ | HB④-FL6IV台241 |
| | | 17 | ハナマルユキ | 2.8 | 3.9 | 10.3 | 色残△ | HB④-FL4IV台302 |
| 20 | | | 2.5 | 3.3 | 5.6 | | HB④-FL3IV台258 | |
| B② | 3 | ハナマルユキ | 2.1 | 2.9 | 2.3 | 色残△ | HB④-FL4IV台249 | |
| | 10 | | 2.2 | 2.7 | 3.6 | | HB④-FL4IV台254 | |
| A④ | 23 | ハナマルユキ | 2.8 | 3.5 | 5.9 | 実測No.4030 | HB②-FL2IV台3364 | |



第 121 図 タカラガイ製品出土平面分布



第 122 図 図版 79 タカラガイ製品



- A①: 21
 A②: 4, 7, 9, 18
 A③: 1, 5, 6, 8, 11, 13, 14, 15, 16, 19, 23, 22
 B①: 2, 12, 17, 20
 B②: 3, 10
 (番号は第 56 表と一致)

<註・参考文献>

- 島袋春美 1997『県内出土の「タカラガイ製品」について』『南島考古』NO.16 沖縄考古学会
 島袋春美 2004『奄美・沖縄諸島の漁網錐の形態的研究(その3)ー考古資料ー』『南島考古』第23号 沖縄考古学会
 今帰仁村教育委員会 1983『古宇利原遺跡発掘調査報告書』今帰仁村文化財調査報告書第8集
 具志川市教育委員会 1987『前原遺跡ー石灰石採掘に伴う緊急発掘調査報告ー』
 上江洲 均 1973『沖縄の民具』慶友社

(12) 骨製品

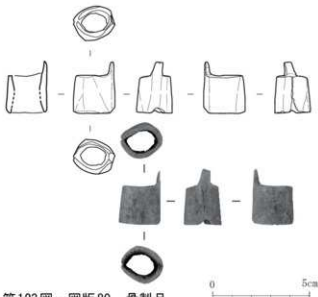
イノシシカブタの四肢骨を加工したものが、HB②口地区2007P(Ⅲ層)から1点出土した。

四肢骨の骨体を横位に切断し、上端が骨体方向となる。上端部の細かい部分には台形状の突起があり、研磨し管状にしたものである。

横断面は楕円形を呈し、上端が1.6×1.9cm、下端が2.0×2.3cm、突起部は上端が細く幅0.3cm、下端が0.6cmを測り、先端は削られて細くなる。外面及び断面もほぼ全面研磨され、研磨の方向は横位が主である。製品の上下端も削られ細くなる。

沖縄産無釉陶器の胴部(器種不明)と共存する。Ⅲ層(近世)に属する遺構である。

骨の断面の形状から大腿骨の遠位部の可能性が高い。重さ3.9gを量り、何らかの付属的使用が想定されるが、現段階では類似はみられない。

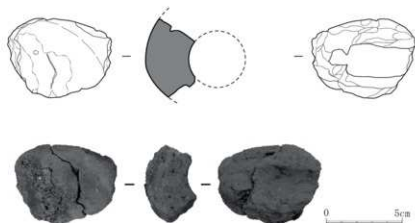


第123図・図版80 骨製品

(13) 羽口・焼土

羽口は1点の出土である。破損品で外径9.3cm、内径3.7cm、厚さ2.8cmを測る。外面は砂粒などが熔着し灰褐色を呈し、他は内面と同じ橙褐色を呈する。内外面とも羽口の面が残る。1~2mmの石英粒、砂粒を少量混入する。HB②イ地区K11Ⅲ層(取1001)の標高4,279mで近くからは蔽石兼磨石も出土する。小堀原遺跡(2012)では外径が5.0~12.0cm大の羽口が出土するが、本品は、同遺跡の第138図7に近い。

焼土は全体的に少なく、羽口と関連するものとしてはⅢ層(近世)で2.8gと少ない。ただし、HB②イ地区J11、K11のV層出土は貝塚時代後期の遺構に関連するものと思われる。(貝塚時代後期遺構参照)



第124図・図版81 羽口

第57表 焼土出土量

| 地区 | 層位 | 遺構 | 個数 | 重量(g) |
|------|----|-------|----|-------|
| HB① | Ⅱ | 299SK | 11 | 86.2 |
| | | I | 1 | 4.2 |
| | | II | 2 | 2.8 |
| HB②イ | Ⅲ | 近世層 | 2 | 13.0 |
| | | V | 1 | 4.0 |
| HB②ロ | Ⅳ | ガク層 | 1 | 4.0 |
| 合計 | | | 17 | 110.2 |

(14) 銭貨

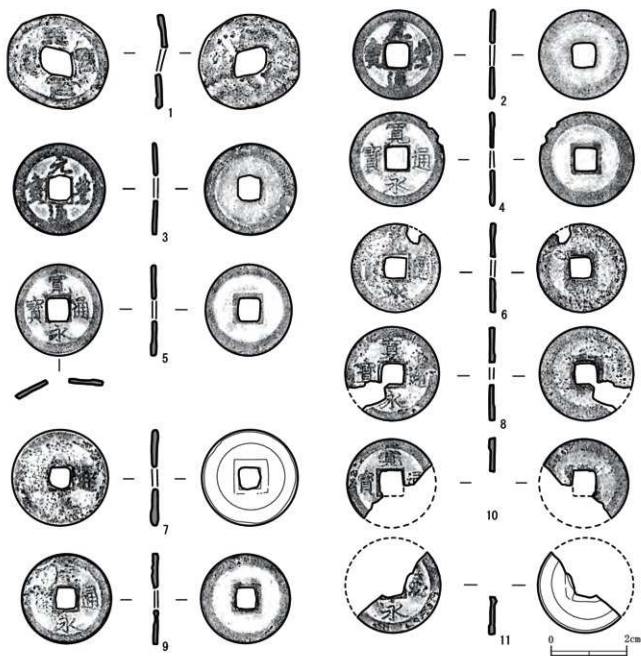
HB①地区で6点、HB②ロ地区で4点、HB④イ地区で1点の計11点得られた。種類は天聖元寶1点、元豐通寶2点、寛永通寶8点で、前2者は中国の北宋銭、後者は日本銭である。

北宋銭：天聖元寶は篆書で1023年に鑄造されたもので、日本への渡来量が多いため、中世だけでなく近世の寛永通寶に混じって出土することもある(兵庫埋蔵調査会1996)。

元豐通寶の書体は行書で沖縄では6番目に多い(宮城2008)出土である。

日本銭：寛永通寶はすべて楷書体で、中には鉄成分の多いもの2点(図5・7)も含まれている。

出土地は271SDで元豐通寶と寛永通寶が出土していることから同時期に使用されたと判断される。またHB①地区76P、HB②ロ地区2024Pでも寛永通寶が出土していることから、近世の遺構と判断される。



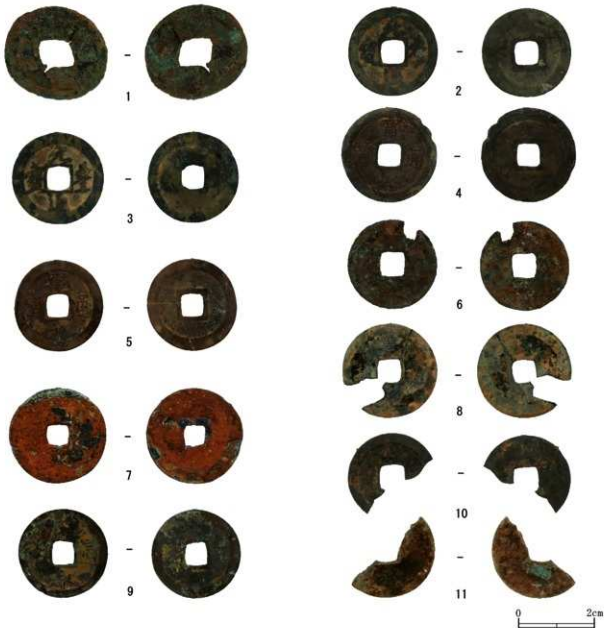
第125図 銭貨

第58表 銭貨観察一覧

(法量単位:cm,g)

| 期回 図版 | 図 番 号 | 銭貨名 銭文 | 背 文 字 | 初铸地 | 残存 | 外径 | 内径 | 縁幅 | 縁厚 | 重量 | 字体 | 内縁・縦痕 | 地区・グラッド・磨位・遺積・台帳番号 |
|--------------------------------|-------------|-----------|-------------|--|-----|-----|------|------|------|-----|----|---------------------------|--------------------------|
| 第 125 図・ 図 版 82 | 1 | 天聖元寶 | 無 | 1023年北宋 | 完 | 2.7 | 0.90 | 0.23 | 0.11 | 3.6 | 篆書 | 外徑により孔にヒビが入り、歪む。裏面摩耗。 | HB④イ L2 IV 台491 |
| | 2 | 元豊通寶 | 無 | 1079年北宋 | 完 | 2.4 | 0.65 | 0.25 | 0.15 | 3.4 | 行書 | 表裏面摩滅 | HB① P14 III 271SD 取29 |
| | 3 | 元豊通寶 | 無 | | 完 | 2.5 | 0.65 | 0.28 | 0.14 | 2.5 | 行書 | 表裏面摩滅 | HB① P14 III 271SD 取31 |
| | 4 | 寛永通寶 | 無 | 1636年初铸 「古寛永」、 1668年「新 寛永」1738 年「鉄銭」、 「文銭」は新 しい。 | 完' | 2.5 | 0.65 | 0.20 | 0.10 | 2.4 | 楷書 | 外縁に2ヶ所の幅2mmの割り有。 | HB① P14 III 271SD 取30 |
| | 5 | 寛永通寶 | 無 | | 完 | 2.4 | 0.60 | 0.25 | 0.15 | 3.1 | 楷書 | 外徑に上り湾曲、赤錆(鉄分多し)横に沈線あり。 | HB① P14 III 271SD 取25 |
| | 6 | 寛永通寶 | 無 | | 完' | 2.4 | 0.65 | 0.20 | 0.15 | 2.6 | 楷書 | 外縁欠、表裏面摩滅、特に裏面は無い。 | HB① L14 II 76P 台636 |
| | 7 | 寛永通寶 | 無 | 1636年初铸 「古寛永」、 1668年「新 寛永」1738 年「鉄銭」、 「文銭」は新 しい。 | 完 | 2.5 | 0.60 | 0.30 | 0.20 | 4.1 | 判読 | 縁幅が広い。表裏面に錆付着、摩滅。 | HB① K15 III 取1 |
| | 8 | 寛永通寶 | 無 | | 3/4 | 2.5 | 0.70 | 0.25 | 0.15 | 2.9 | 楷書 | 表裏面摩滅 | HB②ロ S12 III 2024P 台3380 |
| | 9 | 寛永通寶 | 無 | 1636年初铸 「古寛永」、 1668年「新 寛永」1738 年「鉄銭」、 「文銭」は新 しい。 | 完 | 2.4 | 0.65 | 0.20 | 0.15 | 2.7 | 楷書 | 表面に錆付着、裏面摩滅、径1mmの孔欠、貫通せず。 | HB②ロ 南側 II 台3343 |
| | 10 | 寛永通寶 | 無 | | 1/2 | 2.3 | 0.70 | 0.30 | 0.10 | 1.6 | 楷書 | 裏面摩滅 | HB②ロ 南側 II 台3343 |
| | 11 | □永通寶 | 無 | | 1/2 | - | - | 0.20 | 0.18 | 1.7 | 楷書 | 半欠、錆付着、裏面摩滅 | HB②ロ 南側 II 台3343 |

<凡例>○:判読不可 □:欠 完':ほぼ完形



図版 82 銭貨

(15) 簪

HB①地区で2点出土した。図1はI15、1層、図2はP9、281SD II層の出土で、いずれも点取りされており、前者が標高4.4m、後者が2.4mの値を示す。

簪の型はいずれも匙型で素材は前者が青銅、後者が真鍮製である。形状は頭部で1.5cm前後、首部で厚さ0.35cmの正六角形を呈し、竿部でねじり、その先端では太く0.5cm×0.3cmの扁平の六角形を呈する。大きさは図2の真鍮製が若干小さいが、逆に重い。出土遺物から考慮するといずれも近世に属すると判断される。

第59表 簪観察一覧

(質量単位:cm, g)

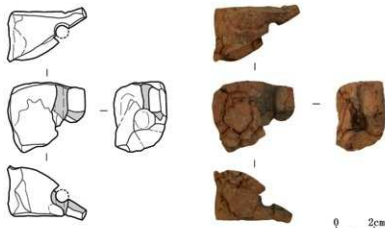
| 第図 図版 | 図番 号 | 分類 | 素材 | 全長 | 頭部 幅 | 首部 | | 竿部 | | 重量 | 地区・ブリード・層位 遺構・台帳(取上)番号 |
|--------------------------|---------|----|----|------|---------|--------|------|--------|---------|-------|----------------------------------|
| | | | | | | 首 径 | 厚さ | 竿 径 | 厚さ | | |
| 第 126 図 版 83 | 1 | 匙型 | 青銅 | 14.7 | 1.5 | 2.8 | 0.35 | 10.05 | 0.3×0.5 | 12.09 | HB① I15 I 取77(EL.4.432) |
| | 2 | 匙型 | 真鍮 | 13.7 | 1.4 | 2.7 | 0.35 | 9.7 | 0.4×0.5 | 15.3 | HB① P9 281SD II 取33(EL.2.471) |



第126図・図版83 簪

(16) 石製品

石製品が1点得られた。本品は破損し全体の形状は不明、残存形は上面、下面観とも三角状を呈す。加工痕と捉えられる部分は2カ所で孔を穿った痕跡が確認される。孔は破損、半欠状態で、それぞれ開けられた方向が異なり、一方は縦方向、もう一方は横に縦の孔と直角に交差、大孔が小孔の方を遮る形を呈し又、両者の孔には研磨痕が残る。計測値は残存長3.7cm、残存幅4.1cm、残存厚2.8cm、孔のサイズ、大、縦1.4cm、横0.7cm、小は縦1.1cm、横0.6cm、重量35.7g、出土地はHB①地区K.L12 1SKである。



第127図・図版84 石製品

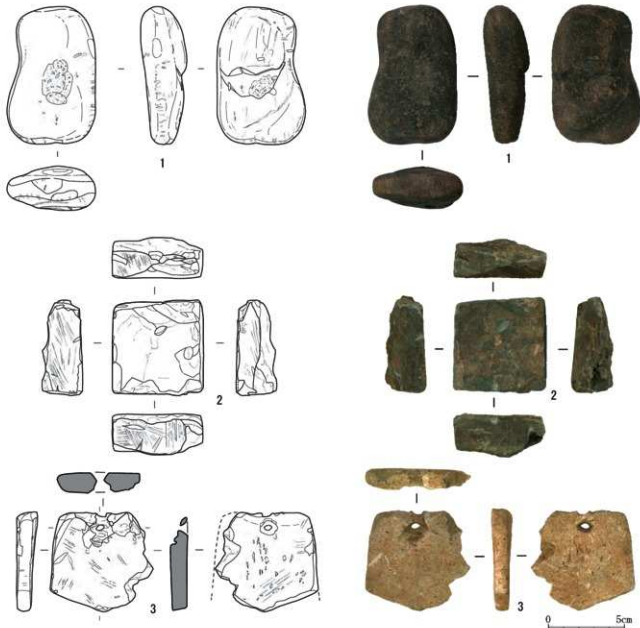
(17) 砥石

砥石が3点出土した。図1は分銅形を呈し、側面、下面は不均等、図2は方形で表面、両側面、上下に使用痕が確認できる。図3は破損し大きさは不明、扁平で上部に穿孔、携帯砥石と思われる。貝塚時代の砥石にない微細な切り傷状の線条痕を確認、刃物を研ぐ用途に使用した可能性がある。

第60表 砥石観察一覧

(出典単位:cm,g)

| 図 回 別 類 | 面 形 態 | 側 面 形 態 | 上 面 ・ 下 面 形 態 | 穴 ・ 溝 ・ 線 | 加 工 痕 ・ 使 用 痕 (砥 打 ・ 研 磨 の 位 置) | 観 察 事 項 | 石 質 | 最 大 長 最 大 幅 最 大 厚 | 重 量 | 地 区 ・ グ リ ッ ド ・ 層 位 遺 蹟 ・ 台 (取) 番 号 | |
|------------------------------------|-------------|------------------|---------------------------------|-----------------------|---|--|---|---|--------------------|---|--|
| 第 128 回 ・ 図 版 85 | 1 | 分銅形 | 上厚・下薄 | 縦長楕円 | 定形 | 砥打痕・表裏面中央 研磨痕・表裏面 縦痕・両側面・ 上面・下面 | 小型、扁平、表面中央に砥打痕あり、洗く進む、研磨良好、表裏面にみられる。裏面、両側面に刃物状の線りや痕跡、刀を研いだか? | 砂岩 | 9.1 3.0 3.0 | 224 | HB20・Q9.10・ 39.10 II 200252 551367 |
| | 2 | 方形 | 厚み不均等 | 縦長四角形 | 縦 溝 | 研磨痕・両側面・ 上面・下面 擦痕・両側面 上面・下面 | 残存形態は小型、方形、全厚手不均等、両面使用痕あり、表面は平坦だが自然産、裏面に剥離の痕跡あり、両側面、上面、下面に切り傷状の刃物を擦った痕跡、下面の使用痕は幅70程のへり状の擦り痕が確認 | 頁岩 | 6.3 6.0 2.7 | 171 | HB20・Q6.9 II 20545X 54340 |
| | 3 | 孔形 | 扁平薄手 | 扁平縦長 | 縦溝 | 研磨・表裏面 (側面) | 携帯用砥石?扁平、下部縦溝、表裏面研磨痕著、右側面縦溝、左側面研磨痕あり、上面部、僅かに欠損、上面部近くに穿孔を施す。孔は貫通するが横長レンズ状で定形ではない、孔径約0.4cm、横6cm表面の開口部は縦溝、裏面は開口部残存 | 流紋岩 | 6.6 6.8 11.0 | 67 | HB1 P10-15-Q15 III 271SD 5647 |



第128図・図版85 砥石

(18) 煙管

煙管は3点得られた。種類としては羅宇煙管で、部位の内訳は雁首2点、吸い口が1点出土している。素材は雁首が陶器製、吸口が金属製である。層序はⅠ層、Ⅱ層出土である。

A. 雁首

図1は破損資料で素材は沖縄産無釉陶器製、火皿の縁、外縁輪郭部分の角が剥がれ丸味を帯びる。図2も破損資料で、これも沖縄産無釉陶器製、従来の資料より火皿部分の立ち上がりが高く若干小振りである。

B. 吸口

図3は完形で素材は金属製(銅?)の資料である。口付の部分は傘まり羅宇との接合部分は吸管の幅に合わせやや太くなる。

喫煙は史実の上では古く、琉球王国時代に王府、上流階級の士族といった一部の人々の間でたしなみ、嗜好品として広まり又、ノロ、ユタは呪術の道具として喫煙を行なったが、時代とともに一般庶民にも広がりを見せた。煙管は喫煙道具の一つで当時の様子を知るうえで貴重な資料である。琉球王国時代に葉煙草の栽培も行われ近世～現代に至るが、紙巻き煙草が生産され主流となる1950年代まで煙管は使用された。

<参考文献>

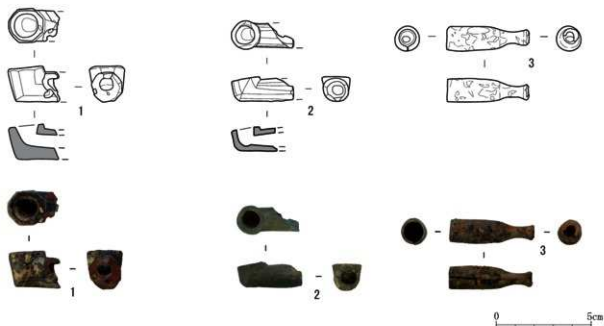
沖縄タイムス社(編) 1983 『沖縄大百科事典(上・中・下)』

江戸遺跡研究会(編) 2001 『図説 江戸考古学研究辞典』 柏書房

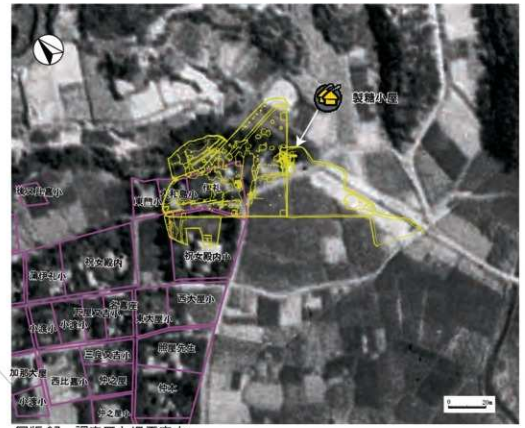
第61表 煙管観察一覧

(計量単位:cm)

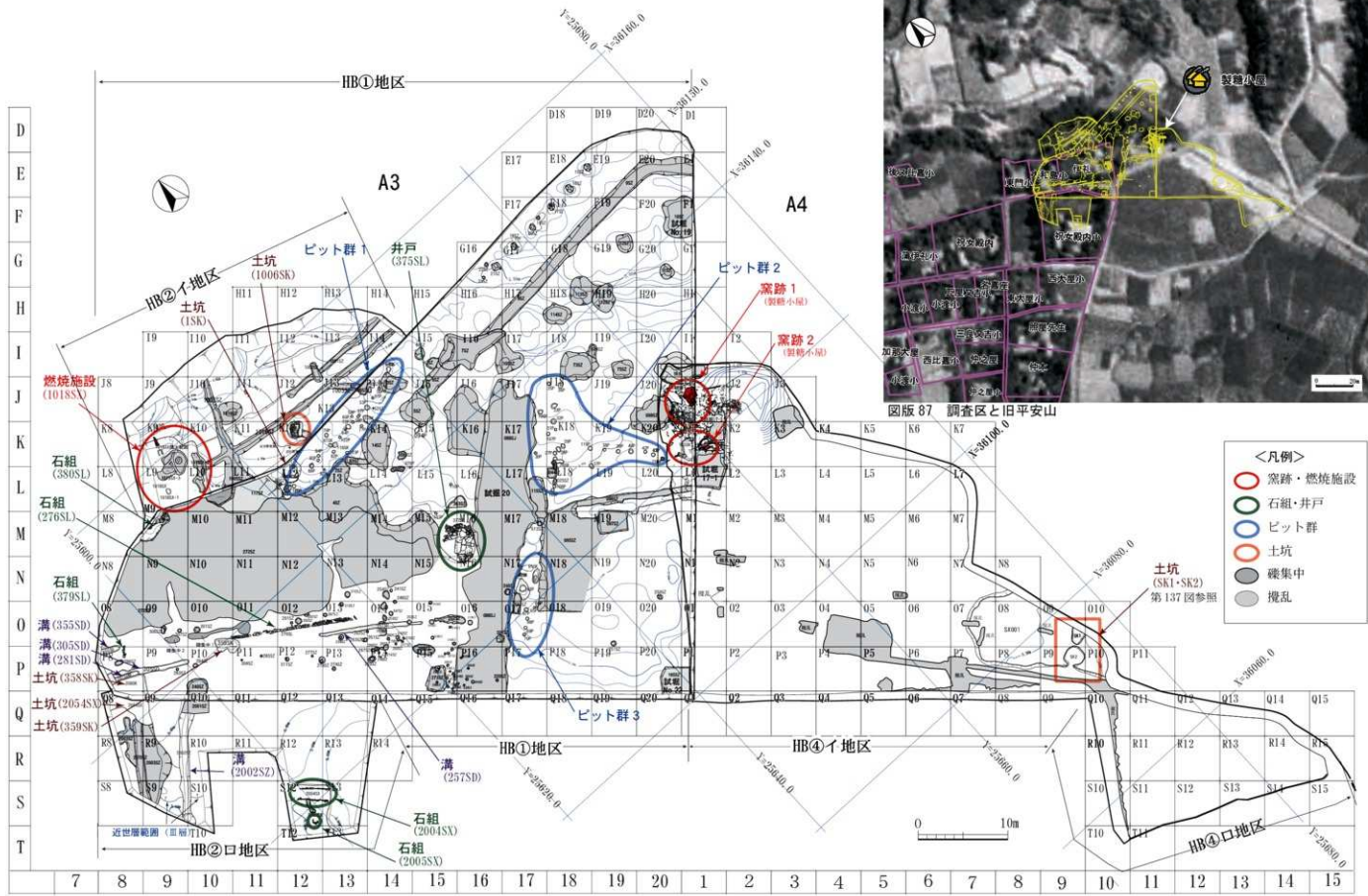
| 第図 図版 | 図 番号 | 部位 | 素材 | 雁首 | | | | | 吸口 | | | | 残存 長軸 | 残存 重量 | 観察事項 | 地区・グリッド・層位 遺構・台(取)番号 |
|------------------|---------|----|----------|----------|----------|----------|----------|-----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------------------|-------------------------|
| | | | | 火皿 外径 | 火皿 内径 | 小口 外径 | 小口 内径 | 高さ | 小口 外径 | 小口 内径 | 口付 外径 | 口付 内径 | | | | |
| 第129 図・ 図版 | 1 | 雁首 | 沖縄産無釉陶器製 | 1.8 | 1.2 | 1.6 | 0.7 | 1.9 | - | - | - | - | 2.7 | 8.48 | 全体に薄く磨蝕。 雁首小口は破損 | HB① O-P8~14 I 台645 |
| | 2 | 雁首 | 沖縄産無釉陶器製 | 1.5 | 0.9 | 1.2 | 0.7 | 1.3 | - | - | - | - | 3.3 | 4.19 | 全体に磨身、小型 雁首小口は破損 | HB① L11 I 台646 |
| 図版 86 | 3 | 吸口 | 金属製(銅?) | - | - | - | - | - | 1.2 | 1.0 | 0.8 | 0.4 | 4.3 | 6.3 | 所々に青錆を確認 | HB② ① II 台3343 |



第129図・図版86 煙管



図版 87 調査区と旧平安山



第 130 図 遺構全体 (近・現代)

第5節 近・現代

1 遺構

調査区内第130図には、J・K・L1に平成9年度試掘坑№17（試掘坑1・2）、F20に試掘坑№19、P20・1に試掘坑№22⁽³¹⁾、J〜P15・16・17に平成14・15年度の範囲確認調査の試掘トレンチ⁽³²⁾が位置する。

米軍基地整備による擾乱はK13、L9〜14、M・N8〜15、O8〜13で米軍の廃棄物投棄穴（272SZ）、Nライン東側に溝状や中規模、N〜Pラインでは小規模のピット状が散在する。遺跡背後D〜Hグリッド帯は、背後の丘陵が削平され平坦地となっている。

これらを除いて、近・現代の遺構を整理すると、石組（SL・SX）5基、溝（SD）5基、土坑（SK）7基、燃焼施設（SX）1基、井戸（SE）1基、窯跡2基、ピット59基、総数81基が検出された。

第130図に遺構全体図、図131〜141、図版87〜113に各遺構、第62表に近・現代ピット群一覧、第63表にピット観察一覧、第64表にⅡ層遺構別遺物出土量を示す。遺構出土遺物については、各々の項に記述する。近・現代の遺構の性格を把握するために、図版87に旧宇平安山集落と調査区（HB①・②・④）を示した。両図面の比較から、近・現代の遺構と地名調査の屋敷との位置関係を窺うことができた。検出された近・現代の遺構は、Ⅲ層上面に構築、または、同層に掘り込まれたものが殆どである。以下、各遺構について述べる。

（1）石組

276SL（第131図、図版88・89）

HB①地区O11〜13で、北西—南東方向で直線状に並ぶ。長さ約14m。不定形の石灰岩礫を使用し、大きさは20〜60cmで30cm程度のものが目立つ。礫の長軸を北西—南東方向に向け、南東側（標高約3.0m）から北西側（標高約2.8m）へ緩やかに下るⅢ層上面に構築される。

本遺構は、旧宇平安山の東側奥の大和島小（方言：ヤマトシマグラー）宅と伊礼（方言：イリー）宅にまたがる道路の境界にあたりと見られ（図版87）、屋敷を囲う石垣根石の可能性のあるものと考えられる。

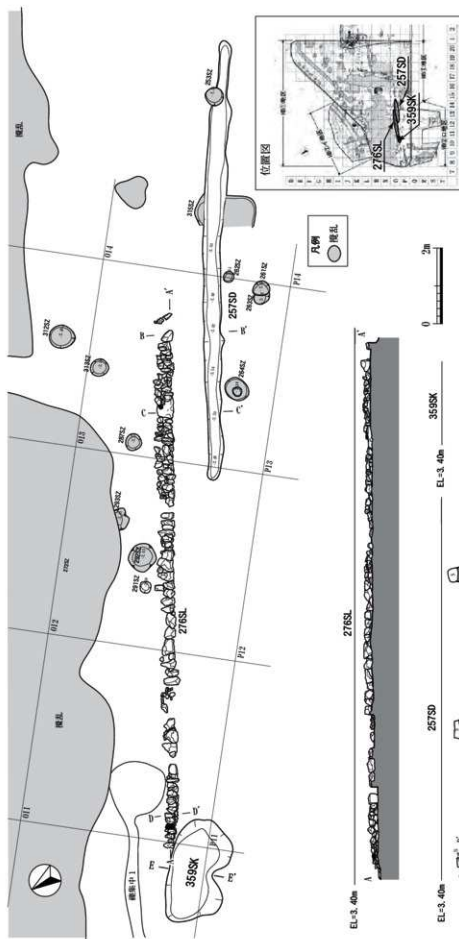
本石組北西側のHB①地区O9〜11で、礫集中1・2が検出された。

礫集中1はO10・11で長さ約7m、南東側は幅1.5m、北西側へ幅0.4mで細く延びる。礫集中2はO9で長さ約2m、幅約0.8mのまとまりが検出された。この礫集中は、石組（276SL）北西側（内側）で同じ方向に延びることから、石垣の裏込石の可能性のあるものと思われる。Ⅲ層上面で検出された（第130図）。

379SL（第132図、図版90）

HB①地区O・P8で、北東—南西方向に直線状に並ぶ。長さ約1.3m。方形や不定形の石灰岩礫を使用し、大きさは30cm以下である。標高2.8mのⅢ層上面に構築されている。

本遺構は、屋敷の敷地境界にあたりとみられ（図版87）、前述の石組（276SL）と比較すると、直交する向きを有していることから、旧宇平安山の東門小（アガリジョーグラー）と大和島小の屋敷の境界に関連する可能性が考えられる。



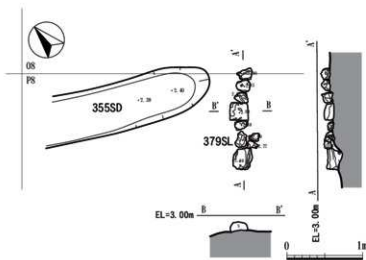
第131図 257SD-276SL・359SK 平面・断面



図版 89 257SD-276SL (南西より)



図版 88 276SL (南より)



第132図 379SL平面・断面



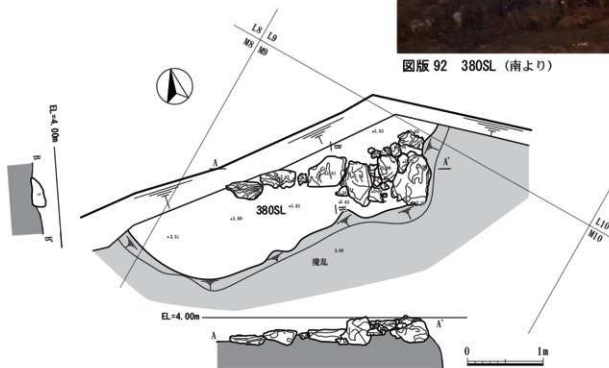
図版 90 379SL (西より)



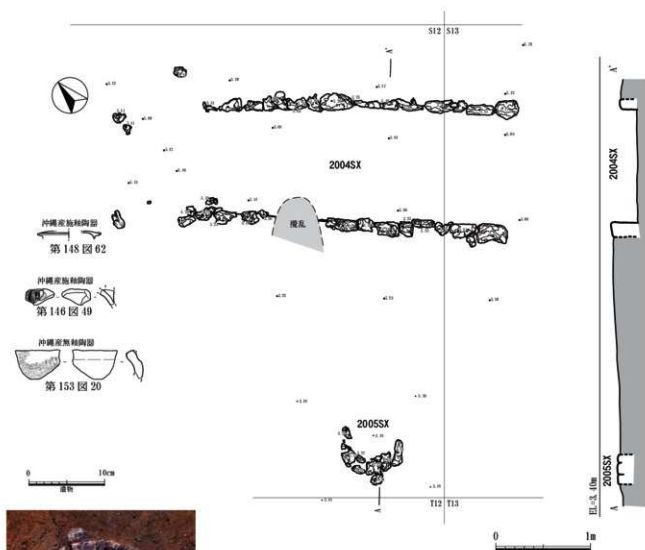
図版 91 355SD (南より)



図版 92 380SL (南より)



第133図 380SL平面・断面



第134図 2004SX・2005SX 平面・断面



図版 93 2005SX (北東より)



図版 94 2004SX・2005SX (東より)



380SL (第133図、図版92)

HB①地区M9で、東-西方向に直線状に並ぶ。長さ約2.7m。東側は大・小の礫のまとまりが見られる。不定形の石灰岩礫を使用し、大きさは主に長軸の長さが約100cmのものと50cmのものが用いられる。前者の幅は約50cm、後者は約25cmである。標高3.7mのⅢ層上面に構築される。本遺構南側は、米軍廃棄物投棄穴(272SZ)によって失われる。

本遺構は、旧宇平安山の和島小の屋敷内の家屋北側にあたると思われる(図版87)。

2004SX (第134図、図版94)

HB②口地区S12・13で、北西-南東方向に直線状に2列並ぶ。北東側の石組は長さ約3.3m、南西側の石組は、長さ約3.5mで攪乱による途切れが見られる。面を内向きにする石組間の幅は約1.1m。不定形の石灰岩礫が使われているが、長方形や方形も僅かに見られる。大きさは40cm以下である。石組天端の高さは、南西側が標高3.3m、北東側が3.2m。標高約3mのⅢ層上面に構築される。

遺物は、沖縄産施釉・無釉陶器、本土産磁器(近代・近世)、瓦、ガラス瓶、青磁が出土した。

本遺構は、旧宇平安山の祝女殿内小(ヌドゥルチグー)の敷地内の主屋と見られる建物背後にあたることから(図版87)、屋敷内に設けられた通路の縁石の可能性が考えられる。

2005SX (第134図、図版93)

HB②口地区S12で、弧状に構築される。不定形の石灰岩礫が使われており、大きさは30cm以下である。石列2004SXの南西側2mで標高約3.2mのⅢ層上面に構築される。

旧宇平安山の祝女殿内小の主屋に近い位置(図版87)にあたることから、礎石などの建物に関する可能性があるものと思われる。

(2) 溝**305SD・281SD** (第135図、図95~97)

HB①地区P8~10で、北西-南東方向に延びる。長さ約8.5m、幅0.72m、深さ0.24m、標高約2.5m、Ⅲ層上面で検出された。調査区外に続くと思われる。P8で幅広となる部分では、281SDが下位に重複する。

下位で検出された281SDは、長さ約2.7m、幅約0.5m、深さ約0.19mである。354Pの上位にあり358SKを切ることから、土坑(358SK・2054SX)埋没後の遺構である。

305SDから沖縄産施釉・無釉陶器、陶質土器、本土産磁器(近代)、円盤状製品、瓦、染付、褐釉陶器、グスタ土器、281SDから真鍮製の管(第126図2)が出土した。

257SD (第131図、図版89)

HB①地区O13~15で、北西-南東方向に延びており276SLの延長線上に位置する。長さ約11.6m、幅は約0.3~0.6m。深さはB-B'約0.2m、C-C'約0.1mで中央部付近が深くなる。

Ⅳ層上面(標高約2.6m)で検出され、近世遺構の2049SD・275SLを切っていることから、2049SD・275SLより新しく、Ⅲ層上面に構築される石組(276SL)より古い可能性を有していると思われる。また、Q13~16ではⅢ層の堆積が見られないことから、この一帯ではⅢ層の堆積は、17ライン一帯(標高3.5m)から標高約3mとなる傾斜地形による自然浸食、もしくは人為的に失われた可能性があると思われる。遺物は出土していない。

355SD (第135図、図版91)

HB①地区O・P8で、北西-南東方向に延びる。長さ約2.1m、幅0.67m、深さ0.26m。標高約2.5mで検出された。調査区外(西側)へ続くと思われる。遺物は出土していない。

本遺構は、溝(257SD)と同方向の延長線上に位置し、形状には類似性があることから同時期の可

能性があると思われる。

2002SZ (第135図、図版95～97)

HB②ロ地区Q・R・S9・10で、北東—南西方向に延びる。長さ約112m、幅1～1.5m、深さ南西側0.47m、北東側0.88m、北東側に深くなる。Ⅲ層上面で検出された。調査区外南西側に延びると見られる。溝の北東側先端部は擾乱(240SZ・2001SZ)で欠失している。

出土遺物は沖縄産施釉・無釉陶器、陶質土器、本土産磁器(近代)、瓦、レンガ、現代遺物、白磁、青磁、染付、鉄釉染付、本土産磁器(近世)が出土した。遺物の出土量は311個と多量である。

(3) 土坑

358SK・2054SX (第135図、図版96・97)

358SKと2054SXはHB①地区P8・9、HB②ロ地区Q8・9にまたがり、平面形は不定形を呈し、東側の長辺は約6m、北側の短辺は約4.8m、深さ約0.95m。北・東側が直線的、西側は蛇行する。戦後の擾乱(2003SZ)除去後に検出された。本遺構はⅢ・Ⅳ層を掘抜き、さらに下位の砂礫層に達する。

Ⅲ層上面で検出された358SKは溝(281SD)に切られ、2054SXは溝(2073SZ)を切る。

このことから、358SK・2054SXは溝2073SZより新しく、281SDより古い。出土遺物から、ごみ投棄穴を埋めたものと推察される。

出土遺物は、358SK・2054SXに共通するのは沖縄産施釉・無釉陶器、陶質土器、本土産磁器(近世・近代)、円盤状製品、現代遺物、染付である。さらに358SKから瓦、骨、現代遺物(ガラス瓶)、グスク土器、カムイヤキ、青磁、白磁、本土産陶器、褐釉陶器、2054SXから瓦質土器、瑠璃釉、鉄製品が出土した。遺物の出土量は503個で最も多い。

359SK (第130・131図)

HB①地区O・P10・11で276SLの下位で検出された。平面形は不定形、長軸の長さは約2.9m、最も狭い短軸の長さは約1m、深さ約1.75mである。

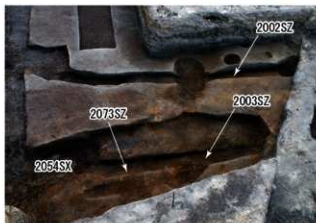
出土遺物は、沖縄産施釉・無釉陶器、グスク土器、青磁、白磁、染付、本土産磁器(近世)、陶質土器、円盤状製品、瓦、骨が出土した。



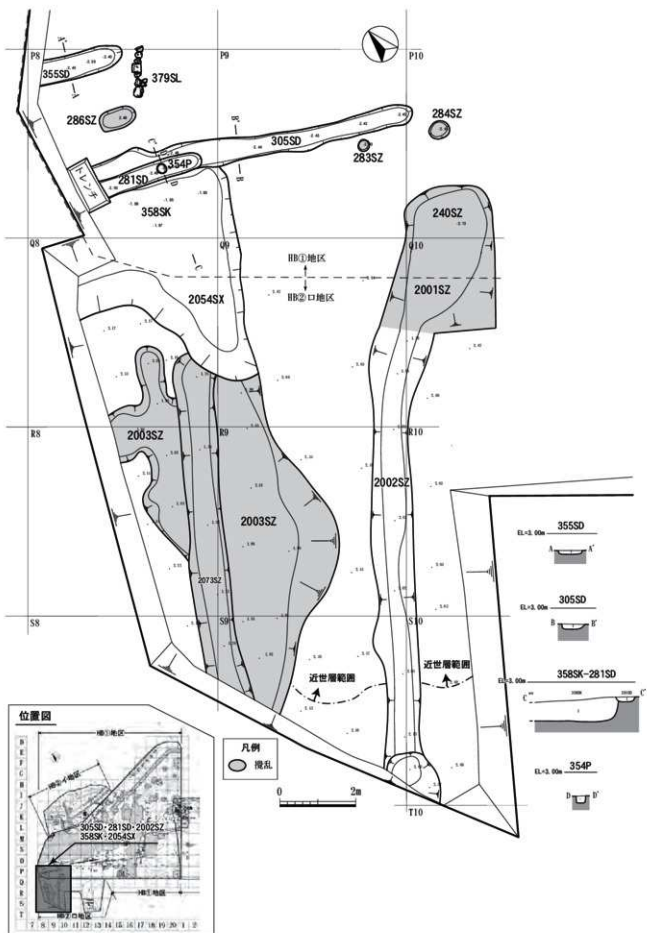
図版 95 2003SZ・2002SZ(南西より)



図版 96 2054SX・2073SZ・2002SZ(南西より)



図版 97 2002SZ・2003SZ・2073SZ・2054SX
(北西より)



第 135 图 305SD-281SD-2002SZ-358SK 平面·断面

1SK (第130図)

HB①地区K・L12のⅢ層上面で検出された。平面形は不定形、長軸が約2.7m、短軸は1.7m、深さ0.6mである。

出土遺物は、沖縄産施釉・無釉陶器、青磁、白磁、染付、青磁染付、褐釉陶器、本土産陶器、陶質土器、石製品、骨が出土した。

ビット群1の西側にあり、旧字平安山の伊礼宅敷地内にあると見られる。

1006SK (第136図、図版98・99)

HB②イ地区J・K12のⅢ層上面で検出された。本遺構は、平面形が隅丸長方形を呈し、長辺約1.9m、短辺約1.7m、深さ約0.75mの土坑に床を石敷、4面の壁を石積を施したものである。土坑内部に構築された石組の平面形は長方形を呈し、壁4面を石積、床は板状石灰岩を敷く。内寸は長辺約1.2m、短辺約0.7m、深さ約0.8m。床・壁の表面に粘土を塗り込み漆喰を施す。

家畜(豚)の肥溜めと考えられ、伊礼宅の敷地内北側にあたる(図版87)。

出土遺物は沖縄産施釉・無釉陶器、本土産磁器(近代)、瓦・レンガ、染付が出土した。

SK1・2 (第137図、図版100~102)

SK1・2は、HB④イ地区N7・8、0・P7~10で最大幅約8.1m、長さ14.6m、高さ約0.2mの台地状の平坦面をなす範囲(SX001)で検出された。

SK1は、HB④イ地区09のⅢ層上面で壁面Iに切られて検出された。平面形は台形状を呈しA-A'の長さは1.6m、南西側の短辺は約0.8m、深さ約0.19m、浅い鍋底状を呈する。

遺構の埋土は、上・下土层と同様にカワニナ・マンガが見られ僅かに炭を含む。調査区東側に続くと思われる。遺物は出土していない。

SK2は、HB④イ地区P9のⅢ層上面で検出された。平面形は円形を呈しA-A'は約2.2m、B-B'は約2.1m、深さ約0.16m、浅い鍋底状を呈する。南西側はN7・8、07、P7~9にまたがる段差の縁に繋がり、土坑の壁面は一部途切れる。埋土はSK1と同様であるが炭は殆ど含まない。遺物は出土していない。

SK1・2が検出された台地状の平坦面(SX1)の段差は、HB④イ地区の南隅に延びる。類似する段差がHB④ロ地区の壁面IVQ14の中央部付近にみられ、次第に南側へ低くなる様相が見られる。

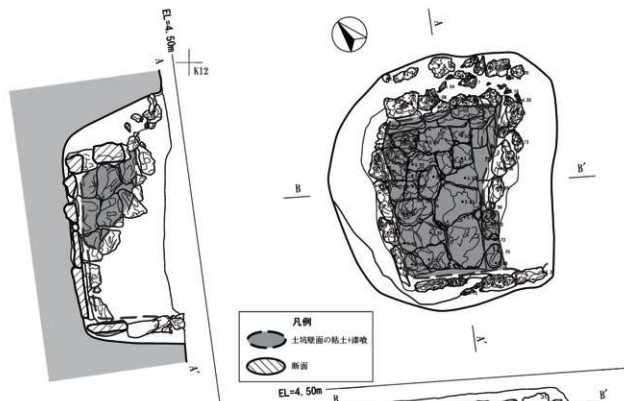
(4) 燃焼施設**1018SX** (第138図、図版103~105)

HB②イ地区K9で、調査区壁の斜面に被熱痕が半裁されて露出し、その前面に平面形が「コ」字状を呈する焼土範囲が検出された。焼土範囲は炭化物と焼土が集中することから焚口、被熱痕は煙道部と考えられる。

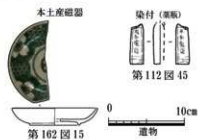
煙道部の下部D-D'の幅約0.2m、中央部C-C'約0.13m、上部B-B'約0.1m、煙道下部の深さ0.1m、傾斜角度40°の勾配で背後の段丘崖に向かって高くなる。被熱痕は煙道壁面の全面に見られ被熱幅は約6cm。崩落土に構築される。

「コ」字状を呈する焼土範囲は、長辺0.3m、短辺約0.2m。南側の長辺部に約0.13mの石灰岩礫を1個伴う。煙道下部から約0.4m低い位置で約0.5m離れた位置にある。焚口と煙道部の高低さは、燃焼室の高さを示すものと推察される。焚口が検出された砂層は、HB②イ地区中央ベルト14層に対応すると見られる。

本遺構は、段丘崖下に崩落礫を含む二次堆積の斜面に煙道部が構築され、焚口は前述の砂層に構築されている。遺物は沖縄産施釉・無釉陶器、染付、褐釉陶器、本土産磁器(近代)、本土産陶器、



第136図 1006SK 平面・断面



第162図 15

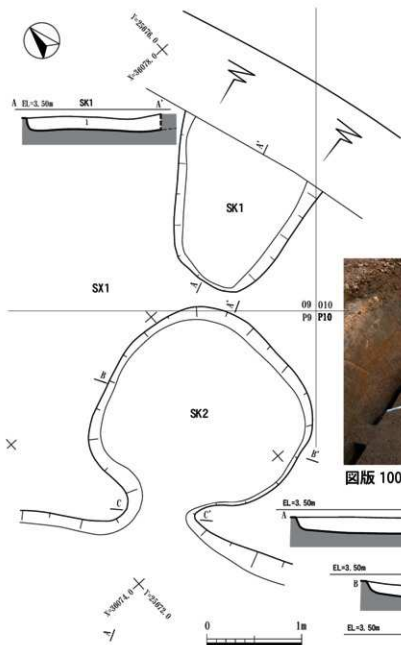
第112図 45



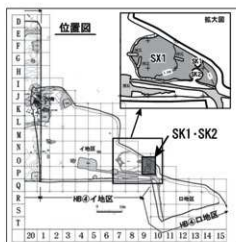
図版 98 1006SK 検出状況 (西より)



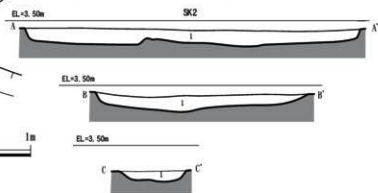
図版 99 1006SK 完掘状況 (西より)



第137図 SK1・SK2 平面・断面



図版100 SK1・SK2 検出状況（北西より）



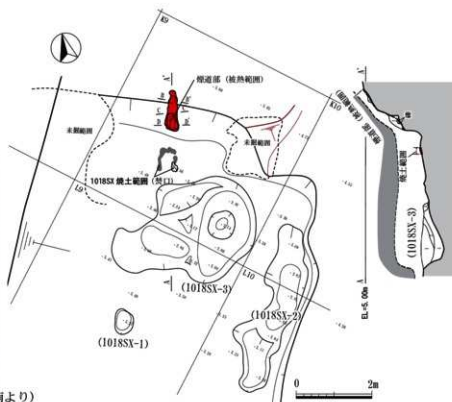
図版101 SX1・SK1・SK2（西より）



図版102 SX1・SK1・SK2（北より）



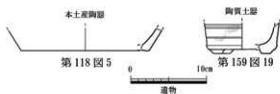
図版 103 煙道部完掘 (南より)



第 138 図 1018SX 平面・断面

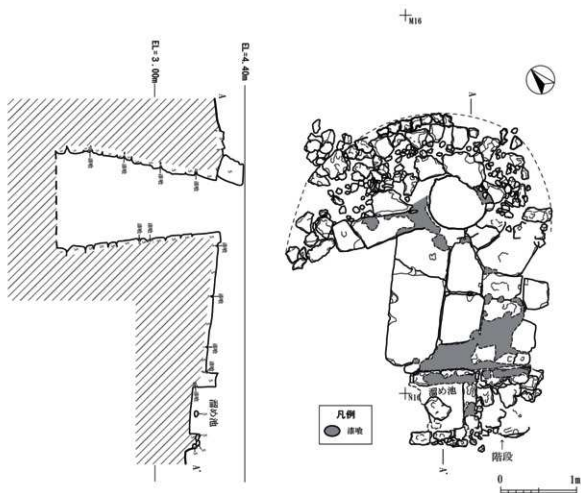


図版 104 焚口



図版 105 1018SX 検出状況 (南より)





第 139 図 井戸 (377SE) 平面・断面



図版 106 井戸 (377SE) 検出状況 (南より)



陶質土器、鉄製品が出土した。

1018SX の周辺に見られる 1018SX-1～3 は埋土の土質や色調が同様で、ブロック塊やテントの杭が出土したことから、戦後の擾乱と判断される。

煙道部が構築された壁面には、砂層に達する掘削痕が 2箇所見られる、掘削痕は煙道部の下位の褐色堆積層を掘り抜き、幅広の掘削痕は、下側の角が明瞭であることから、比較的新しいものと見られる。

これらの擾乱痕と 1018SX との関連は不明である。

(5) 井戸

377SE (第139図、図版106)

HB①地区 M15・16、N16 に残る戦前の井戸である。平安山原B遺跡(2008)^(註2)で既に報告されていることから、詳細は既報告を参照されたし。本報告では、井戸、溜池の断面を示し、立地等について述べる。

井戸口から下部に向かって径を広げ、北側の傾斜が強い。井戸は内壁を石積で構築し、目地に漆喰が施される。確認された深さは約 2.1m。溜池の深さは、井戸側の縁石部分で約 0.25m。井戸の前面(南西側)の敷石が施された広場から、平面形が「コ」字状の溜池に向かって低くなる傾斜が付く。

溜池の南東側に設けられた階段は、井戸が標高約 4m に立地し、前述した屋敷と道路の境界にあたりと見られる石組(379SL)が標高約 3m に構築されており、高低差が約 1m となるため階段を設けたものと推察される。

井戸の深さについては、安全面を考慮し完掘しておらず不明であるが、HB④地区の下層確認トレンチ 2 で標高約 1.5m 以下から湧水が見られることから、同標高以下になるものと推察される。

本井戸は、調査区と戦前の集落の位置(図版87)、石列(379SL)と後述する窯跡との位置関係から伊礼宅の屋敷内南側にあたりと見られる。

(6) 窯跡

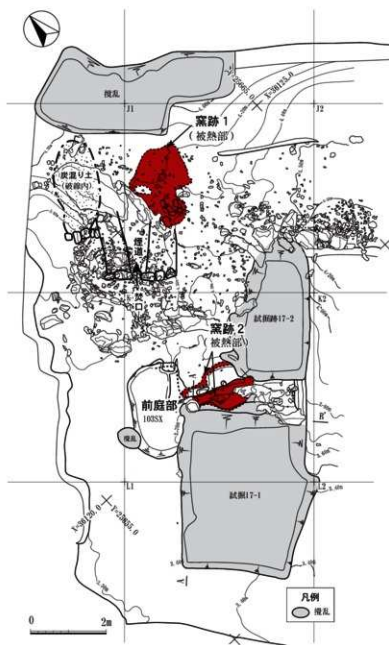
窯跡(第140図、図版107～113)

平成9年度試掘調査^(註1)で確認された製糖小屋(サーターヤヤー)の窯跡が2基検出され、窯跡2は焚口の前庭部として設けられた窪み(103SX)を伴って、石灰岩礫地帯の標高約 3.5～4m で検出された。

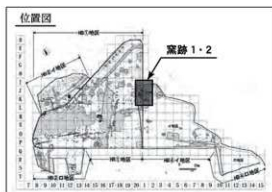
窯跡1は、平成9年度試掘調査^(註1)で確認された製糖小屋の窯跡(図版108・111・112)で、保存措置を講じて埋め戻していたが基地返還に伴う工事によって失われたと思われる、四角柱状に加工した石灰岩などで構築された焚口や窯の形状(図版108・111・112)は失われており、HB④イ地区 J1 北東側で被熱痕が約 3㎡ の範囲で検出された。範囲確認調査時の焚口は J1 西隅となる。被熱痕の1帯は、石灰岩礫がまとまって見られるが、人為的な様相は窺えない。遺物は被熱痕近くからゴホウラが出土している。

試掘調査で検出された窯跡は(図版111)、高さ約 36cm の四角柱状に加工した石灰岩2本を立位に設置する。焚口の幅は約 20cm。焚口から内側約 1m の範囲に鉄製角柱棒が検出された。「この鉄製棒は灰を掻き出すため設置した」という^(註2)。焚口の前面は平坦面であるが大型の石灰岩が露頭しており、南側の炉との境界の役割を有する可能性があるものと思われる。

範囲確認調査時の図面を重ねてみると、試掘調査では、炭混・焼土が混じる範囲が、J20 北東部にあたる範囲で検出されており、HB①地区 J20、HB④イ地区 J1 にまたがって、炭・焼土混じり範囲



第140図 窯跡1・2遺構平面・断面



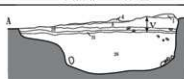
図版107 窯跡1 (北より)



図版108 窯跡1焚口 平成9年度試掘調査

試掘跡17-1北西壁

EL.-4.00m



試掘跡17-1北東壁

EL.-4.00m



図版109 窯跡2 (南より)



図版110 窯跡1・2 (南西より)

下位に、北一南方向の窪みが見られ、灰を掻き出すためのものと思われるが、関係性は不明である。J1北側の煙道部と見られる被熱痕は、焚口から約1.6~2m離れた位置にあたる。

「この製糖小屋の窯は、大鍋（シンメーナピ）を2つ置くことができた」という⁽²³⁾。

窯跡2は、HB④イ地区のK1で、前述の窯跡の南側約1.5mで検出された。試掘坑1・2の間に位置する。試掘坑は平成9年度試掘調査⁽²⁴⁾の試掘坑No.17で確認された製糖小屋の窯跡である。

窯跡の平面形は、団扇状を呈する。細長い焚口部分は長さ約80cm、幅約50cm、北西-南東に向き、炉と繋がる。炉は円形で径約1.2m、残存する深さ約18cm。焚口・炉の全面に見られる被熱痕は幅10~20cm。東側の一部は試掘坑2によって欠失する。炉はⅢ層を掘り込んで構築され炉床はV層に達し、石灰岩の崩落礫と見られる自然礫が露頭する。焚口の一部は、電柱と思われる立位の丸太材の設置によって欠失する。遺物は出土していない。

103SX（第140図、図版113）は、HB①地区K20とHB④イ地区K1にまたがって検出された、2基目の窯跡の焚口前面（北西側）に構築された窪み（前庭部）である。長辺2.5m、短辺1.5mの隅丸長方形、深さは試掘調査時の試掘坑1壁面で見ると約50cmである。

本遺構の埋土には、明褐色土（10YR5/6）がブロック状に混じり、炭化物、焼土、径20~50mmの礫、長さ10mmの枝サンゴ、径15mmの貝片を含む。

四角柱状の石材等で構築された窯は焚口を南西側に向け、その南側に約3m離れた位置で検出された窯跡は焚口を西に向けている。

（7）ピット

HB①地区のみで59基検出され、3つのまとまりが見られることからピット群1~3（62表、第130図）とした。調査時に土坑（SK）とした、小規模の土坑をここに含める。ピットの深さが10cm以上のものを柱穴として、第141図は基本的には、検出された並びで図示し、単独で検出された5基については断面図を割愛する。第62表にピット群遺構番号、第63表に遺構観察を示す。

ピット群1は23基（第63表）、東一西方向に並ぶ規則性が見られ、径は22cm以上から59cmまで



図版 111 窯跡1（西より） 平成9年度試掘調査



図版 112 窯跡1内部の鉄製棒検出（南西より） 平成9年度試掘調査



図版 113 窯跡2被熱部と前庭部（北西より） 平成9年度試掘調査

のものが見られる。深さは10cm未満が30.4%、11～20cmが26.1%、21～30cmが17.4%、31cm以上は26.1%で、もっとも深いものは76cmである。性格は判然としなが、列を成すことから櫛が想起される。

53P、72P、118SKは、約2.4m間隔で並ぶ同程度のピットで、径が57～59cm、深さ56cm(53P)、31cm(72P)、41cm(118SK)と深い。

出土遺物は53Pで陶質土器、本土産磁器(近代)、64・85Pで沖縄産無軸陶器、72Pで沖縄産施軸・無軸陶器、86Pでは沖縄産無軸陶器、陶質土器が出土した。

ピット群2は22基(第63表)、K18～K20で北西—南東方向にならぶもの(第130図)、J・K・L18で北東—南西方向の並ぶもの(図130)が見られる。この2つの並びはK18で「T」字状、又は隅丸長方形のプランの並びが想定される。このピットが検出された一帯は、旧字平安山の製糖小屋敷地内にあたと見られ(図130)、この製糖小屋には、旧字平安山の方の話によると戦前はサトウキビを搾るサーター車(搾取機)が設置されていたということから、関連する施設の可能性が考えられる。

出土遺物は29Pで染付、沖縄産無軸陶器、33Pで本土産磁器(近世)、37・108・109Pでは沖縄産無軸陶器が出土した。29・33P以外のピットにはグスク時代の遺物は含まれない。

ピット群3は9基(第62表)、北東—南西に並ぶもの(第130図)。63P以外は深さ20cm以下である。位置的には旧集落内の道路付近にあたと見られる。

出土遺物は63Pで沖縄産無軸陶器、67Pで沖縄産施軸陶器、陶質土器が出土した。

単独のものは、5基(第62表)である。出土遺物はK15の94Pで沖縄産施軸陶器が出土した。

小結

本報告のHB①地区、HB②イ・ロ地区、HB④イ・ロ地区の近・現代遺構について、図版87の比較から屋敷との位置関係を窺うことができた。

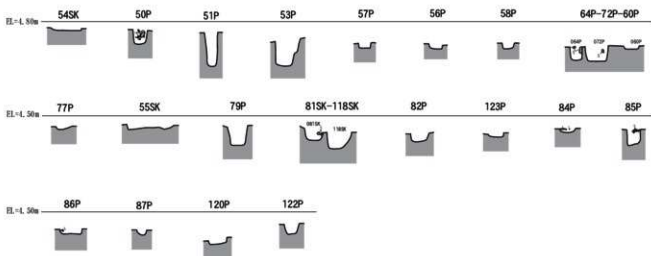
調査区は、戦前の旧字平安山の東側奥にあたり、東門小(アガリジョーグラー)、大和島小(ヤマトウシマグラー)、伊礼(イリー)、製糖小屋(サーターヤー)、祝女殿内小(ヌンドゥルチグラー)、その間の道路や耕作地にあたと見られる。

検出された石組(276SL)は、祝女殿内小と大和島小、伊礼の間を南東(標高約3m)—北西方向(約2.8m)に走る道沿いの位置にあたと見られ、O・Pライン一帯は、集落内の道路と考えられる。また、石組(276SL)の石の向きは、長軸が道と直交する向きとなることから、石の面を道に向けて配していたと考えられ、その背後で同様な方向にある礎集中1.2は、裏込めが崩れたものの可能性があらと思われる。

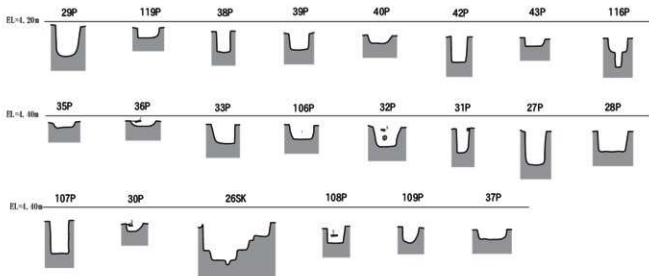
第62表 近・現代ピット群一覧

| ピット群 | グリッド | 遺構番号 | |
|--------|----------|---------------------------------|-----------|
| ピット群1 | J13 | 56～58P | |
| | J14 | 50・51P | |
| | J13・14 | 53P | |
| | K12 | 84・85P | |
| | J・K13・14 | 55SK | |
| | K・L12 | 86P | |
| | J・K13 | 60・72P | |
| | K13 | 64・77・79・82・122・123P、81SK・118SK | |
| | L12 | 120P | |
| | L13 | 87P | |
| | I14 | 54SK | |
| | ピット群2 | J17 | 106P |
| | | J18 | 33・35・36P |
| K17 | | 30P | |
| K18 | | 27・107P、26SK | |
| J・K18 | | 32P | |
| L18 | | 108・109P | |
| K18 | | 28・29・31P | |
| K18・19 | | 119P | |
| K19 | | 38・39・40P | |
| K20 | | 42・43・116P | |
| ピット群3 | K・L18・19 | 37P | |
| | N17 | 63P、61・62SK | |
| | O17 | 65～70P | |
| 単独 | K15 | 94P | |
| | K・L14 | 76P | |
| | L15 | 110P | |
| | M15 | 101P | |
| | P8 | 354P | |

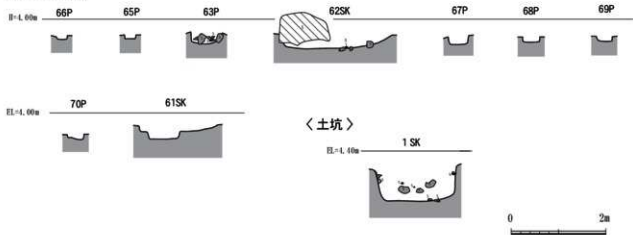
〈ビット群 1〉



〈ビット群 2〉



〈ビット群 3〉



第 141 図 ビット群 1・2・3

第63表-1 ピット観察一覧

(質量単位:cm)

| ピット群 | 遺構名 | 性格 | グリッド | 長さ | 短辺 | 深さ | 平面形状 | 断面形状 | 観察事項 | 遺物 |
|-------|-------|-----|----------|-------|-----|----|------|---|--|---------------|
| ピット群1 | 50P | 柱穴 | J14 | 35 | 30 | 28 | 楕円形 | U | 径50～150mmの雜含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | |
| | 51P | 柱穴 | J14 | 27 | 25 | 26 | 円形 | U | 径25mmの雜含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | |
| | 53P | 柱穴 | J13-14 | 59 | 53 | 56 | 円形 | U | 明褐色(7.5YR5/6)砂質土がブロック状に混じり、炭化物、径10～12mmの雜含む黄褐色砂質土(10YR4/3) | 陶質・本磁(近代) |
| | 54SK | ピット | J14 | 62 | 46 | 6 | 楕円形 | 皿 | 明褐色砂質土(7.5YR5/8)・明褐色砂質土(5YR5/8)がブロック状に混じるに黄褐色砂質土(10YR4/3) | |
| | 55SK | 土坑 | J-K13-14 | (109) | 75 | 14 | 不定形 | 皿 | 1層:褐色(7.5YR4/4)シルトがブロック状に混じり、炭化物含むオリーブ褐色砂質土(2.5YR 4.3/0.14SZ)に埋れる 2層:オリーブ褐色(2.5YR4/3)砂質土がブロック状に混じり、径70mmの雜含む褐色シルト(7.5YR4/4) | 本磁 |
| | 56P | ピット | J13 | 31 | 26 | 9 | 円形 | U | 褐色(10YR4/6)砂質土、明褐色(7.5YR5/8)砂質土含む暗オリーブ褐色砂質土(2.5YR3/3) | |
| | 57P | ピット | J13 | 22 | 26 | 9 | 不定形 | U | 炭化物、に黄褐色(10YR5/3)砂質土含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | |
| | 58P | 柱穴 | J13 | 26 | 24 | 13 | 隅丸方形 | U | 炭化物、明褐色(7.5YR5/8)砂質土、5mmの雜含むに黄褐色砂質土(10YR4/3) | |
| | 60P | ピット | J-K13 | 31 | 30 | 7 | 円形 | U | に黄褐色土(10YR4/3)含む褐色砂質土(10YR4/6) | |
| | 64P | 柱穴 | K13 | 26 | 27 | 28 | 円形 | U | 炭化物、径30～130mmの雜含む明黄褐色砂質土(10YR6/6) | 沖無 |
| | 72P | 柱穴 | J-K13 | 59 | 47 | 31 | 楕円形 | U | 明赤褐色(2.5YR5/6)・暗褐色(7.5YR5/8)シルトがブロック状に混じり、炭化物、径150mmの雜含む暗褐色砂質土(10YR3/3) | 沖無・沖無 |
| | 77P | ピット | K13 | 33 | 29 | 7 | 円形 | すり鉢 | に黄褐色土(10YR4/3)含む褐色砂質土(10YR4/6) | |
| | 79P | 柱穴 | K13 | 30 | 25 | 40 | 楕円形 | U | に黄褐色土(10YR4/3)シルトがブロック状に混じり、径70mmの雜含む褐色シルト(10YR4/6) | |
| | 81SK | 土坑 | K13 | 46 | 37 | 28 | 楕円形 | U | 径20～50mmの礫、長20mmの枝サング含むに黄褐色砂質土(10YR4/3) | 陶質・骨・瓦・本磁(近世) |
| | 82P | 柱穴 | K13 | 37 | 33 | 20 | 楕円形 | U | 炭化物、径20mmの雜含む黄褐色砂質土(10YR4/3) | |
| | 84P | ピット | K12 | 38 | 30 | 9 | 隅丸方形 | U | 炭化物、径30～100mmの雜含む褐色砂質土(10YR4/6) | |
| | 85P | 柱穴 | K12 | 28 | 26 | 31 | 円形 | U | 炭化物、径30～60mmの雜含む褐色砂質土(10YR4/4) | 沖無 |
| | 86P | 柱穴 | K-L12 | 49 | 37 | 11 | 不定形 | U | 暗褐色(7.5YR3/4)シルトがブロック状に混じり、径50mmの雜含む黄褐色砂質土(10YR6/6) | 沖無・陶質 |
| | 87P | 柱穴 | L13 | 24 | 21 | 11 | 隅丸方形 | U | 径5mm～2mmの雜含むに黄褐色砂質土(10YR5/4) | |
| | 118SK | 土坑 | K13 | 57 | 50 | 41 | 不定形 | U | 炭化物、褐色土(10YR4/6)、15mmの雜含む暗オリーブ褐色砂質土(2.5YR3/3) | |
| 120P | 柱穴 | L12 | 42 | 39 | 11 | 円形 | U | 褐色土(10YR4/6)、径5mmの礫、径1mmの貝片含む明黄褐色砂質土(10YR6/6) | | |
| 122P | 柱穴 | K13 | 32 | 31 | 23 | 円形 | U | 炭化物、5～10mmの雜含む黄褐色砂質土(10YR6/6) | | |
| 123P | ピット | K13 | 36 | 36 | 6 | 円形 | U | 黄褐色(7.5YR7/8)・黄褐色(10YR7/8)シルトがブロック状に混じり、炭化物、径30mmの礫、径20mmの貝片含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | | |
| ピット群2 | 26SK | 土坑 | K18 | (144) | 139 | 52 | 不定形 | 不定形 | 黄褐色(10YR7/6)粗砂、径25mmの礫、長10mmの枝サング含む褐色粘質土、0.04SZに埋れる。 | |
| | 27P | 柱穴 | K18 | 45 | 41 | 70 | 円形 | U | 黄褐色(10YR7/6)粗砂、径25mmの礫、長10mmの枝サング含む褐色粘質土(10YR4/4) | |
| | 28P | 柱穴 | K18 | 64 | 47 | 44 | 楕円形 | U | 黄褐色(10YR7/6)粗砂、径15～50mmの礫、長20mmの枝サング含む褐色粘質土(10YR4/4) | |
| | 29P | 柱穴 | K18 | 51 | 47 | 64 | 円形 | U | 黒褐色土(10YR2/3)・褐色(7.5YR4/6)砂質土がブロック状に混じり、長10～25mmの枝サング含む褐色砂質土(10YR4/4) | 沖無・染付 |
| | 30P | 柱穴 | K17 | 35 | 29 | 17 | 楕円形 | 逆台形 | 炭化物、赤褐色土(2.5YR4/6)・褐色土(5YR6/8)ブロック、径50mmの礫、径5～10mmの貝片含む褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 31P | 柱穴 | K18 | 29 | 27 | 51 | 円形 | U | 明黄褐色(10YR6/6)粗砂、径20mm～40mmの雜含む褐色シルト(10YR4/4) | |
| | 32P | 柱穴 | J-K18 | 60 | 57 | 40 | 円形 | U | 炭化物、明褐色(7.5YR5/6)砂質土がブロック状に混じり、径20～60mmの雜含む褐色砂質土(10YR4/6) | |
| | 33P | 柱穴 | J18 | 72 | 51 | 39 | 楕円形 | U | に黄褐色土(10YR4/3)・明褐色(7.5YR5/6)砂質土がブロック状に混じり、径20～70mmの雜含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | 本磁(近世) |
| | 35P | 柱穴 | J18 | 47 | 39 | 17 | 楕円形 | 皿 | に黄褐色土(10YR5/3)砂質土がブロック状に混じり、径20mmの雜含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | |
| | 36P | 柱穴 | J18 | 58 | 55 | 12 | 隅丸方形 | 皿 | 炭化物、黄褐色(2.5YR5/6)砂質土、径20～60mmの雜含む黄褐色砂質土(10YR5/8) | |

(凡例) 沖無:沖溝産無雑陶器 沖無:沖溝産無雑陶器 陶質:陶質土器 本磁:本土産磁器 本陶:本土産陶器 陶磁:陶磁陶器

第63表-2 ピット観察一覧

(法量単位:cm)

| ピット群 | 遺構名 | 性格 | グリッド | 長辺 | 短辺 | 深さ | 平面形状 | 断面形状 | 観察事項 | 遺物 |
|-------|------|-------------|--------------|-----|-------|----|------|--|---|--|
| ピット群2 | 37P | 柱穴 | K-L 18-19 | 61 | 38 | 21 | 楕円形 | U | 炭化物、径5～10mmの貝片含む褐色砂質土 | 沖無・骨 |
| | 38P | 柱穴 | K19 | 34 | 31 | 42 | 円形 | U | にぶい黄褐色(10YR6/4)粗砂、長10～30mmの枝サンゴ含むオリブ褐色シルト(2.5YR4/4) | |
| | 39P | 柱穴 | K19 | 44 | 44 | 33 | 円形 | U | にぶい黄褐色(10YR7/4)粗砂、長10～20mmの枝サンゴ含むにぶい黄褐色砂質土(10YR4/3) | |
| | 40P | 柱穴 | K19 | 54 | 52 | 15 | 円形 | U | 径20～40mmの礫含む褐色砂質土(10YR4/6) | |
| | 42P | 柱穴 | K20 | 35 | 35 | 55 | 円形 | U | 径20～40mmの礫含む褐色砂質土(10YR4/6) | |
| | 43P | 柱穴 | K20 | 44 | 41 | 18 | 円形 | U | 径20～40mmの礫含む褐色砂質土(10YR4/6) | |
| | 106P | 柱穴 | J17 | 53 | 49 | 33 | 円形 | U | 炭化物、径30～80mmの礫含む褐色砂質土(10YR4/4) | 骨 |
| | 107P | 柱穴 | K18 | 41 | 38 | 69 | 円形 | U | 径5～10mmの礫含む褐色砂質土(10YR4/4) | |
| | 108P | 柱穴 | L18 | 36 | 35 | 36 | 円形 | U | 径30～100mmの礫、長10～20mmの枝サンゴ含む褐色砂質土(10YR4/4) | 沖無 |
| | 109P | 柱穴 | L18 | 37 | 32 | 23 | 円形 | U | 明黄褐色(10YR6/6)粗砂、長10～40mmの枝サンゴ含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | 沖無 |
| | 116P | 柱穴 | K20 | 42 | 38 | 62 | 円形 | 有段状 | 径20～40mmの礫含む褐色砂質土(10YR4/6) | |
| 119P | 柱穴 | K18・ L19 | 49 | 46 | 22 | 円形 | U | 明黄褐色(10YR7/6)中砂、径20mm・径70mmの礫、長25mmの枝サンゴ、径30mmのコーラル含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | | |
| ピット群3 | 61SK | 土坑 | N17 | 167 | 68 | 17 | 楕円形 | 有段状 | 炭化物、焼土含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | 沖無 |
| | 62SK | 土坑 | N17 | 238 | (141) | 34 | 楕円形 | 重 | 50～350mmの礫含む黄褐色砂質土(10YR5/8),111SZに切られる(10YR5/8) | 沖無・沖無・陶質・本館(近代)・円盤状製品・瓦・白磁・染付・中国産色絵・本陶 |
| | 63P | 柱穴 | N17 | 74 | 58 | 26 | 円形 | U | 径230mm～170mmの礫含む黄褐色シルト(10YR5/6) | 沖無 |
| | 65P | ピット | O17 | 22 | 20 | 8 | 円形 | U | にぶい黄褐色(10YR7/3)中砂、径80mmの礫、長10mmの枝サンゴ含む明黄褐色砂質土(10YR6/8) | |
| | 66P | ピット | O17 | 23 | 20 | 7 | 円形 | U | 径10mmの礫含む明黄褐色砂質土(10YR6/8) | |
| | 67P | 柱穴 | O17 | 48 | 43 | 18 | 円形 | U | 褐色(10YR5/6)砂質土がブロック状に混じり、炭化物含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | 沖無・陶質 |
| | 68P | 柱穴 | O17 | 36 | 33 | 10 | 円形 | U | 明赤褐色(2.5YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、炭化物含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | |
| | 69P | ピット | O17 | 36 | 32 | 9 | 円形 | U | 明赤褐色(2.5YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、炭化物含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | |
| | 70P | 柱穴 | O17 | 36 | 34 | 18 | 円形 | 有段状 | 明褐色(10YR4/4)・褐色(10YR5/6)砂質土がブロックに混じり、炭化物含む黄褐色砂質土(10YR5/6) | |
| 単独 | 76P | 柱穴 | K-L14 | 25 | 23 | 13 | 円形 | 有段状 | 明赤褐色(5YR5/8)砂質土がブロック状に混じり、炭化物、灰含む黒褐色砂質土(7.5YR3/2) | |
| | 94P | 柱穴 | K15 | 66 | 42 | 12 | 楕円形 | U | 炭化物、鉄分、径3mmの礫含む粗砂混じりの黄褐色砂質土(10YR5/6) | 沖無 |
| | 101P | 柱穴 | M15 | 30 | 25 | 23 | 楕円形 | U | 径50mmの礫含む褐色砂質土(10YR4/6) | |
| | 110P | 柱穴 | L15 | 29 | 24 | 17 | 楕円形 | U | 径5～30mmの礫含む褐色砂質土(10YR4/6) | |
| | 354P | 柱穴 | P8 | 25 | 23 | 31 | 円形 | U | 径1mmの貝片が少量混じるオリブ褐色砂質土(2.5Y4/3) | |

(凡例) 沖無:沖溝産無陶器 沖無:沖溝産無陶器 陶質:陶質土器 本館:本土産磁器 本陶:本土産陶器 陶磁:陶磁陶器

同石組の南東側、N・017 グリッドで検出されたビット群 3 は、標高 3.5~3.6m、集落東端に位置した製糖小屋（サターヤー）の 2 基の窯跡で、標高約 3.5~4m で検出されたことから、この道は北東から南西に向かって下る坂道となっていたことが窺える。

製糖小屋の 2 基の窯跡は、窯跡 1 は焚口を西、窯跡 2 は北西に向く。後者は焚口前庭部を掘り窪めて構築されている。規模の異なる窯を使用した施設配置の様子が窺えた。

製糖小屋には、搾取機（サター車）が設置されていたということから、窯跡北西側で検出されたビット群 2 は関連する施設の可能性があると思われる。

この坂道の西側に並ぶ 3 軒の屋敷の内、伊礼宅の南側隅に井戸（377SE）があたると見られる。標高約 4m に構築されており、集落内の道路と約 1m の高低差を有する井戸は、付随施設として階段を設けたものと推察される。また、井戸の深さは、HB④地区の下層確認トレンチ 2 で標高約 1.5m 以下から湧水が見られることから、同標高以下になると推察される。

伊礼宅の北側にあたる土坑（1006SK）は、肥溜めと考えられ、民俗例の屋敷内北側に設けることと合致すると考えられる。

石組（380SL）は、大和島小宅の中央付近にあたり建物に近い位置で見られることから建物に関連するものの可能性があると思われ、石組（379SL）は、前述の石列（276SL）と直交する向きを有することから、大和島小と東門小の屋敷境界に関連する可能性が考えられる。

坂道に並ぶ石積（276SL）西側で、同様な方向に延びる溝（257SD・3055SD）のうち、溝（257SD）は、溝（2049SD・275SL：近世遺構）を切っていることから、溝（2049SD・275SL：近世遺構）より新しく、Ⅲ層上面に構築される石組（276SL）より古い可能性を有していると思われる。

また、Q13~16 ではⅢ層の堆積が見られないことから、傾斜地による自然浸食、もしくは、人為的に失われた可能性があるものと思われる。

溝と土坑には切り合い関係があり、土坑（358SK）は溝（281SD）に切られており、同溝の構築時には埋没していたと判断され、ごみ投棄穴を埋めたものと推察される。同土坑（358SK）は溝（2073SZ：近世遺構）を切っていることからそれより新しい。

石組遺構（2004SX）は、祝女殿内小の屋敷内にあたる位置で検出され、主屋と見られる建物背後にあたることから、敷地内の通路の縁石、石組遺構（2005SX）は礎石などの建物に関連する可能性があるものと思われる。

SK1・2 が検出された台地状の平坦面（SX1）は、土坑（SK1・2）の埋土である 3 層（HB④地区壁面Ⅳ）が、調査区全体に堆積することから、SX1 はⅡ層堆積過程で生じた段差と考えられる。

〔註文献〕

註 1 北谷町教育委員会 2005『キャンパス桑江北側返遷に伴う試掘調査』北谷町文化財調査報告書 第 23 集

註 2 北谷町教育委員会 2008『平安山原 B 遺跡』北谷町文化財調査報告書 第 29 集

註 3 旧字平安山の方に教示頂いた。

第64表 II層遺構遺物出土量（グスク時代・近・現代）

| 地区 | グランド | 遺構 | グスク時代 | | | | | | | | | | | 近・現代 | | | | | | 合計 | | | | | | |
|-------|-----------------------------|--------|-------|-------|----|----|----|---------------|-------------|------|---------------|-------|----|------|-----|-------|---------|---------|------|-----|---------------|-------|-----|----|-------|------|
| | | | グスク土器 | カムイナキ | 白磁 | 青磁 | 染付 | 湯輪・半練 輸入磁器 | その他 瓦質土器 | 瓦質土器 | 本土産磁器 (近世) | 本土産磁器 | 焼土 | 骨 | 石製品 | グスク磁石 | 沖縄産無釉陶器 | 沖縄産有釉陶器 | 陶質土器 | | 本土産磁器 (近世) | 円筒状製品 | 鉄製品 | 骨 | 瓦・レンガ | 現代遺物 |
| HB① | P-Q8.9 | 358SK | 7 | 2 | 7 | 1 | 13 | 2 | | | 3 | 14 | | | | 64 | 52 | 33 | 60 | 6 | | | 39 | 9 | 7 | 319 |
| | P-Q10 | 240SZ | 2 | | 1 | 2 | 4 | 1 | 2 | | 1 | 2 | | | | 41 | 48 | 23 | 7 | 4 | | | 1 | 8 | | 147 |
| | K-L12 | 15K | | | 1 | 1 | 7 | 1 | 1 | | 1 | | | | 1 | 47 | 13 | 1 | | | | | 13 | | | 87 |
| | N17 | 62SK | | | 1 | | 3 | | | 1 | 1 | | | | | 29 | 22 | 3 | 12 | 1 | | | 1 | | | 74 |
| | K13 | 83SZ | | | 1 | | 3 | | | | | | | | | 8 | 28 | | 5 | | | | 1 | 9 | 1 | 56 |
| | O-P10.11 | 359SK | 1 | | 1 | 1 | 10 | | | | 4 | | | | | 4 | 5 | 5 | | 1 | | | 2 | 1 | | 35 |
| | P8.9 | 305SD | 1 | | | | 1 | 1 | | | 1 | | | | | 6 | 5 | 6 | 1 | 1 | | | | 5 | | 28 |
| | I15 | 299SK | | | | | | | | | | 11 | | | | | | | | | | | | | | 11 |
| | P13 | 274SZ | 1 | | | | 2 | | | | | | | | | 2 | 6 | 2 | | | | | | | | 14 |
| | K-L14 | 100SZ | | | | | | | | | 2 | | | | | | 2 | | 3 | | | | | | | 8 |
| | K13 | 81SK | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | 7 | 1 | 10 |
| | F9 | 281SD | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| | K18 | 29P | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 2 |
| | J18 | 33P | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | J-K15.16 | 8SZ | 1 | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | 1 | | | | | | 1 | | 6 |
| | L14 | 229SZ | | | | | | | | | | | | | | 1 | 10 | 1 | 1 | | | | 2 | 8 | | 23 |
| | O-P15 | 288SS | | | | | | | | | | | | | | 4 | 2 | 3 | 1 | | | | | | | 10 |
| | K13 | 72P | | | | | | | | | | | | | | 2 | 7 | | | | | | | | | 9 |
| | K-L12 | 86P | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 1 | | | | | | | | 4 |
| | O17 | 67P | | | | | | | | | | | | | | 2 | | 1 | | | | | | | | 3 |
| | J-K-13・14 | 55SK | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | 2 |
| | N17 | 61SK | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | 2 |
| | J13・14 | 53P | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | 2 |
| | N17 | 63P | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | 2 |
| | P10～15 | 271SD | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| | K-L18.19 | 37P | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | 2 |
| | K13 | 64P | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| | K12 | 85P | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| | K15 | 94P | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| | J17 | 106P | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| | L18 | 108P | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| L18 | 109P | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | |
| L18 | 138P | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | |
| L14 | 376P | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | |
| HB② | K8-9・10 L8-9・10 M9 | 1018SX | | | | 1 | 1 | | | 2 | | | | | 20 | 36 | 7 | 6 | 1 | 10 | | 1 | | | 85 | |
| | J10-K10.11 | 1003SZ | | | | 5 | | | | | | | | | 29 | 15 | | 6 | | | | | | | 55 | |
| | J-K10・11 | 1019SZ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | |
| | J13 | 1003SZ | | | | | | | | | | | | | 4 | 12 | | 3 | | | | | 1 | | 20 | |
| | H14 H13・14 J12-13 K11-12 | 1016SZ | | | | | 2 | | | | | | | | 3 | 12 | | 2 | | | | | 1 | | 20 | |
| | K12 | 1004SZ | | | | | | | | | | | | | | | 5 | | | | | | | 1 | 6 | |
| HB③ | J-K12 | 1006SK | | | | | 3 | | | | | | | | 3 | 1 | 2 | | | | | 2 | 1 | | 12 | |
| | Q9.10K9.10-S9.10 | 2002SZ | | | 3 | 3 | 11 | | 1 | | 8 | | 1 | 146 | 64 | 17 | 34 | | | | | 4 | 17 | 2 | 311 | |
| | Q8.9 | 2054SX | | | | 3 | 1 | 1 | | 6 | | | 1 | 66 | 63 | 33 | 6 | 2 | 1 | | | | | | 184 | |
| | Q-R-S8.9 | 2003SZ | | | | 1 | | | | 1 | | | | 8 | 8 | 2 | 3 | | | | | 2 | | | 25 | |
| | S12-13 | 2004SX | | | | 1 | | | | 1 | | | | 9 | 12 | | 2 | | | | | | 6 | 2 | 33 | |
| II層合計 | | | 13 | 2 | 15 | 10 | 69 | 6 | 6 | 2 | 8 | 40 | 11 | 1 | 1 | 2 | 503 | 441 | 141 | 139 | 15 | 2 | 86 | 71 | 15 | 1619 |

2. 出土遺物

(1) 沖縄産施軸陶器

HB①地区で465点、HB②イ地区で128点、HB②ロ地区で334点、HB④イ地区で3点の計930点の出土である。層別にはⅠ層228点、Ⅱ層635点、Ⅲ層57点、Ⅳ層6点で、そのほとんどがⅡ層で68.3%を占め、そのうち79.2%（503点）が遺構内からの出土である。器種別には碗545点、小碗45点、皿12点、鉢43点、急須86点、酒器9点、鍋39点、蓋15点、火取11点、香炉9点、火炉12点、壺41点、瓶40点、厨子甕1点、不明22点（急須か瓶、火炉か火取を含む）の出土である。これまで報告したキャンプ桑江北側地区の中では最も多く得られた（第65表・第142図）。

・観察の方法

沖縄産施軸陶器の変遷（主に施軸法）を検討するため、下記のような観察を行った。

施軸の方法：いわゆるフィガキー（浸し掛け）²¹、白化粧の有無あるいはそれに伴い、見込みに蛇の目が施されているか、内外面の熔着や外底の畳付けの研磨など

釉薬の色：透明釉、鉄釉、鉛釉、黒釉等、施軸の濃淡でさらに細分

文様の方法：鉄軸（絵）、線彫りや呉須、二彩と施文の位置

以下、主なものを第144～149図、観察一覧を第68表に示した。器種ごとに略述する。

<碗>

碗はHB①地区243点、HB②イ地区で70点、HB②ロ地区231点、HB④イ地区1点の計545点得られ、沖縄産施軸陶器の58.6%を占める。施軸の方法で大きく4種に分けた。（第67表）

Ⅰ類：素地にそのまま透明釉を施すもの

123点得られ、碗の22.6%を占め、無文（a）と有文（b）がある。口縁部は直口で高台から腰部の立ち上がりもまっすぐを呈するのがほとんどである。高台の断面は逆三角形を呈する。

a 無文：図1～3は粘土が白く、粒が細かく、沖縄産施軸陶器の中では上質の粘土を用いているようである。図1は器高が低く、畳付けも研磨され、丸みを帯びるもので、湧田古窯跡Ⅰ（1993）に類例がある。図3は素地が赤褐色を呈し、釉も透明釉に灰が混じり、白釉が部分的に見られる。

b 有文：外面や見込みに鉄軸で施文するもので9点得られ、Ⅰ類のⅠ割程度である。ここでは残りのよい2点を図示した。図4・5は見込みに鉄軸で丸文を描くものであるが、図4は他の碗より高台が若干高いことから鉢の可能性も考えられる。図5はaより、腰部が丸みを帯びるものである。

Ⅱ類：鉄軸あるいは鉛釉を内外面に施すもの

38点得られ、碗の7.0%を占める。口縁部は僅かに外反し、玉縁を呈し、高台から腰部の立ち上がりは丸みを帯びる。畳付けの断面はⅠ類に近いが、やや畳付けに幅を持つものである。

a 無文：図6は素地にそのまま鉛釉あるいは鉄軸を施すものである。

b 有文：見込みに刷毛で丸文及び圏線を施すものがある。図7は口～底部資料で口縁部は外反し、腰～底部は丸みを帯びる。Ⅰ類と同じように浸し掛け（フィガキー）するものであるが、見込みに刷毛で丸文を施す。畳付けに化粧土は見られない。図8は底部で前者と同じように内面の胴下部に刷毛で圏線を施すもので外底に化粧土が確認される。

Ⅲ類（掛け分け）：外面に鉄軸あるいは濃い鉛釉（黒釉）、内面に透明釉を施すもの

白化粧を施さない（イ）と施す（ロ）があり、さらに無文（a）と見込みに丸文と圏線を施す有文（b）がある。高台から腰部へは丸みが強くなる、高台も若干高くなる。

イ：白化粧（無）は30点で碗の5.5%と少ない。図9は見込みに径1.8cmの丸文を鉄軸（b）で施した後、透明釉を掛け、その後蛇の目軸刺ぎを行うもので外底に若干の熔着が確認できる。

ロ：白化粧(有)は33点でイとほぼ同じ割合である。図10は見込みに蛇の目釉剥ぎを施すもので、畳付けは大きく剥離、高台には熔着が明瞭に残る。

図11・12は外面に胎釉あるいは鉄軸以外の釉を施すもので、図11は外面に緑釉を腰部まで施し、外底は無釉である。この手の碗は少なくとも首里城御内原北地区(2013、図492)の報告例がある。図12は内面に緑釉を施すものである。腰部の形状が逆「ハ」字状で沖縄産施釉陶器の碗とは異なり、胎土も磁器質なことから中国産の可能性も考えられるが、類例を待ちたい。

Ⅳ類(白化粧有)：全体に白化粧を施したのち、両面に透明釉を施すものである。これにより、両面とも光沢のある白色を呈する。内外面とも総釉で仕上げ、高台の畳付けを研磨して露胎、見込みは蛇目釉剥ぎにするものである。321点の出土で碗全体の58.9%を占める。無文(a)と有文(b)があり、後者は線彫り①、呉須②、二彩③があり、Ⅳ類の9.3%を占める。Ⅰ・Ⅱ類に比べて底厚も約2倍になり、高台も台形を呈し、腰部も丸みを帯びる。

a 無文：図20～22で、畳付けの研磨、腰部が丸みを帯びる。

b 有文：文様には①線彫り、②呉須、③二彩などの絵付けが確認された。

①線彫り：3点得られた。図13は口縁に幅2.3cmで外面に沈線で格子文描き、その上に緑釉を重ね、内唇にも外面と同じ幅で緑釉で縁取るものである。図14は外面に円を構図とするもので、弧状沈線文を円に沿うように連続して施し、その上に緑釉と少量の黄釉を重ねる。

②呉須：13点得られ、4.0%を占める。図15・16は呉須(青釉)で草花文を施すもので、前者が外面のみ、後者が内外面に施す。内面は幅2.0cm程度に囲繞するもので、口径が12.0cmと小ぶりである。

③二彩：14点得られ、4.4%を占める。筒描きで中央に黄釉で径2.5cm大の円を配し、その回りを径0.8cm前後の呉須で囲むのを1組として、碗に3個配するもので「インチャークッキー」と呼ばれるものである。図18は中の円が細身、図19は点が太めである。文様の軸だれをみると口縁部方向に向いていることから1920年代以前に行われた伏せ焼き¹¹²と思われる。

<小碗>

HB①地区で14点、HB②イ地区8点、HB②ロ地区23点の計45点で全体の4.8%である。碗の分類に準ずるとⅠ・Ⅱ類は見られない。

Ⅲ類：掛け分けは白化粧を施さない(イ)と施す(ロ)がある。

イ：(白化粧無)は8点出土した。図23・24は口縁部、図25は底部で、図23が鉄軸、図24・25が濃い胎釉を外面に施し、内面はいずれも白化粧は無く、透明釉を施すが図24は釉が厚く、灰色を呈する。

ロ：(白化粧有)は6点出土した。そのうち、図26を示した。外面に鉄軸、内面は白化粧後透明釉を施すものである。外面の畳付けの白化粧はそのまま残すもので、厚みを残し、部分は熔着のため、破損したと思われる。

Ⅳ類：白化粧を施すもので、見込みは蛇目釉剥ぎ、畳付けは研磨、無文(a)有文(b)がある。

a 無文：図28は直口口縁、図27は外反口縁である。

b 有文：有文は腰部から口縁部方向に放射状に削りとり「面取り」とされる加飾の一種である。図29・30で、前者は面取りの幅が大きく明瞭で、白化粧後に灰色釉を施すもので報告例は少ない。後者は面取りの幅が細いため、面は明瞭でなく、口縁は玉縁を呈する。いずれもHB②ロ地区2002SZの出土で大きな時期のずれはない。

<皿>

HB①地区で7点、HB②イ地区1点、HB②ロ地区4点の計12点で全体の1.3%である。底径の大

きさで5.0cm以下(小)、5.0cm以上(大)に分けた。

小:直口口縁のベタ底で、図31は口縁部に三角状の突起をもつことから灯明皿と考えられる。図31～33は外面の口縁から内面に濃い鉛釉を施す。図32は白化粧後透明釉を施すもので、腰部に煤痕が確認されている。図32が62SK、他はHB①地区とHB②口地区のⅡ層の出土である。

大:口縁部1点、底部3点の計4点で、底部(図36・37)を図示した。

いずれも胴下部は露胎、器色は赤褐色で、僅かに石粒を含み、釉は濃い鉛釉を施すものである。

<鉢>

HB①地区で19点、HB②イ地区17点、HB②ロ地区7点の計43点で全体の4.6%である。

碗の施釉の分類に準ずると、単軸(Ⅰ・Ⅱ類)、掛け分け(Ⅲ類)、白化粧有(Ⅳ類)に分けられる。

Ⅰ・Ⅱ類:2点の出土で、見込みに刷毛で丸文を施す。灰軸と鉛釉を施したものがある。

Ⅲ類:掛け分け7点の出土で、白化粧無し(図42)が5点、白化粧有が2点得られた。図42は高台に粗孔を施す。

Ⅳ類:白化粧有は図43の1点で、腰部の丸みから碗の可能性も否定できない。見込みに呉須で施文されており、碗に類例がないことからここで扱った。

<急須>

HB①地区で60点、HB②イ地区3点、HB②ロ地区23点の計86点で全体の9.2%を占め、碗に次いで出土量が多い。口縁部9点、注口11点、胴部31点、把手1点、底部34点である。急須は小・中・大に分けられる。底部は小・中サイズは脚、大は高台を呈する。

小:肩部が角をなすもの(図44)、胴部が丸くなるもの(図45・46)がある。加飾を見ると前者は外面に青釉(呉須)、後者のうち図46は胴部の上下に2条の圈線を施し、白粘土で埋めるいわゆる象眼、図45は菱形と花形で印し、鉄軸を埋めるもので前者と色調は逆である。

中:口径8cm前後で、白化粧で線彫りし二色を塗布した図47・48と把手を有する図49がある。

大:アンピンと呼ばれるもので図52の注口、図50は口径11cm。図53は把手幅が4.5cmで断面が三日月状を呈する。そのほとんどは黒釉を施す。図49の中型のアンピンは白化粧に呉須を施すものである。

<酒器>

いわゆる「カラカラ」と呼ばれるもので、HB①地区から8点、HB②ロ地区1点の計9点でそのうち遺構から5点出土した。全体の1.0%で、胴部5点、底部3点、注口1点である。

胴部の形状から丸型とソロバン玉型がある。底部も特徴が有り、豊付けの内縁が上がる形状を呈する。

図54は丸型の胴部で、白化粧がなく胴部の上下に圈線で区画し、その間を3段階の長さの線を1組として縦位に鉄軸で施すものである。図55はソロバン玉型の胴部で外面は白化粧後、肩部から胴上部に線彫りを施し、青・黄釉を重ねる。

図56～58は酒器独自の底部の形で、外面に施軸、内底に若干の軸を不規則に施す。図56が黒釉で腰～底部は無軸で豊付けは特に加工は見られない。図57・58は外面の白化粧後、鉛釉や青釉を掛け加飾するもので、豊付けに軸を挿き取った線条痕が確認できる。

製作方法からは図54・56は白化粧が無く、他は白化粧が施されていることからやや新しいと思われる。図54がHB①地区Ⅱ層の出土である。

<鍋>

HB①地区で31点、HB②イ地区5点、HB②ロ地区3点の計39点の出土で全体の4.2%である。遺構内より22点、Ⅰ層5点、Ⅱ層27点、口縁部が7点、胴部24点、底部8点の計39点である。

鍋は口縁部断面を逆「く」字状に湾曲し、底部は丸底を呈するものである。軸は外面に鉄軸、濃い鉛軸、内面の胴部～底部にかけて薄い軸を施すものである。口縁部の形状から図 59 のやや筒状のタイプ (a) と図 60 の胴下部の張るタイプ (b) がある。前者は口縁の受縁が 1.4cm、後者の受縁が 1.9cm と大きい。鍋の口縁部の形態は図示した以外に内唇が幅 1.8cm で軸を施すもの、幅 1.3cm と 1.9cm を測るものがある。口唇の幅のあるものは内唇の湾曲が強い。また、小振りの底部も見られることから鍋の大きさには数種あることが想定される。本遺跡では破片であるが、湧田古窯跡Ⅳ (1999)、天界寺 (2001) の類例から施軸は外面の大部分は胴下部が施されてなく、内面は防水のため、薄軸が施すものである。主に黒～鉛軸が主体である。

<蓋>

HB ①地区 8 点、HB ②地区 7 点の計 15 点で全体の 1.6% である。

蓋は撮み部分が饅頭タイプ (Ⅰ類) と高台タイプ (Ⅱ類) に分けられるが、身とは必ずしも一致しない。

Ⅰ類：撮みの形状が饅頭タイプで縁の部分は脚を有する (a) と有しない (b) があり、急須や壺に用いられる

急須の蓋は 5 点得られうち 3 点を図示した。いずれもⅠ類 a に分類されるもので、HB ②地区Ⅱ層あるいはその遺構の出土である。

図 62 は外縁に幅 0.3cm の断面が「U」字状の深い圈線を施すものである。図 63 は内外面に白化粧を施し、外面に 0.2cm の断面が「U」字状の深い圈線を等間隔で施し化粧土で埋め、鉛軸を掛けるもので三島手のようである。内面も軸が施されていることから製品としては上等品と思われる。図 64 は全体に白化粧を施し、外面に線彫り、さらに青釉 (呉須) と黄釉を塗ったものである。外縁に規則的に剥離が見られる。図示は省いたが、蓋の縁にヒスイ釉たまりを残すもの (HB ①地区 N17-62SK) がある。

壺の蓋は 3 点図示した。図 65～67 は脚タイプ (a)、図 68 は脚なし (b) タイプである。

a タイプはいずれも外面に濃い鉛軸を施すもので、胴部が膨らむ。鏝の浅い図 65 と胴部が直状で鏝の深い図 66・67 がある。

Ⅱ類：高台タイプは主に鍋の蓋に用いられるもの

図 69 は撮みが高台タイプで鍋の蓋である。高台の部分がわずかに逆「ハ」字状にし、掴みやすい。図 37 の皿とも類似するが、高台の向きや施軸の範囲から区別される。外面に鉛軸を施すが撮み部分の内は無軸である。

これらのうち、図 64・69 は周縁に複数の剥離が確認できることから円盤状製品として二次利用されている。

<火取>

HB ①地区 7 点、HB ②地区 4 点の出土で、全体の 1.2% である。口径 12cm 前後で外面に施軸し、内面は無軸か白化粧のみである。碗型 (図 70) と筒型 (図 71～74) に分けられる。

碗型：口縁部が内湾し、胴部が張るもので 1 点の出土である (図 70)。白化粧はなく、トビガンナと黒釉で加飾し、胴下部に透明軸を施す。

筒型：口縁部と腰部の大きさが同じで、口縁部が逆「L」字状を呈するもの (図 71) と直状 (図 72) のものがある。また、白化粧無し (5 点) 白化粧を施すもの (4 点) がある。

図 71 は薄手で胴部に深い圈線を数条施し、軸の濃淡で、加飾するものである。近世期の 271SD から出土。図 72 は白化粧を有するもので口縁部に呉須 (青釉) を施すもので、図 74 は腰部に呉須 (青釉) の熔着が見られ、同様なタイプを重ね焼きしていたことがわかる資料である。

<香炉>

HB ①地区で8点、HB ②イ地区で1点の計9点で、全体の1.0%の出土である。形状は口縁部が逆「L」字状を呈し、頸部で窄まり、胴下部で張り、脚を3個有するものが確認された。

図75は全形の窺えるものである。白化粧を施し、線彫りで草花文を施し、上に薄い呉須を塗布する。図76は同じ形を呈するが、白化粧が無く、透明釉を施すもので、胴部に黄釉で加飾する。

<火炉>

HB ①地区で6点、HB ②イ地区2点、HB ②ロ地区4点の計12点で全体の1.3%である。

筒型(図77～79)と袋型(図80～82)に分けられ、白化粧は見られない。

筒型：底部が高台タイプ(図79)で胴部に2個の横耳を貼り付け(図78)、口縁部は「U」字状に挟る(図77)ものである。口唇は幅1.3cmと厚く、化粧土を塗布する。図78・79に見られるように深い沈線文を施すもので、図79のように等間隔、あるいは数条を一単位として部分的に施すものなどバリエーションがある。

袋型：図80～82は破片であるが、器厚や胎土から同一個体と想定される。図82のように脚を有するもので、胴部には格子状の深い沈線文を施し(図81)、その上から胎釉を塗布するものである。内部の突起(図80)は幅4.2cmと大きな三角形で上部は斜めに削る。これら3点は灰白色で密を呈し、やや上質の火炉と思われる。Ⅰ・Ⅱ層の出土である。

<壺>

壺は「アングダガミ」と呼称されるもので、口はやや窄まり、胴部が膨らみ、頸部に4個の縦耳を有するもので、外面に黒釉、内面に黒～胎釉の失透釉を薄く施すものである。底部は畳付が無釉で、外底内は釉を掻くように塗布する。用途はブタ油や味噌などの調味料入れとされている。なお、外面に濃い胎釉を施す胴部片もここに含めた。

HB ①地区23点、HB ②イ地区3点、HB ②ロ地区14点、HB ④イ地区1点の計41点で、全体の4.4%である。

小は底径7.2cmで10点得られ、中は底の大きさは大と同じであるが、最大胴径が異なることから中とし、1点得られた。大は底径11.0cm台で1点得られた。他は破片のため不明である。

小：図83は底径7.2cm、図84は口径10.8cmを測り、前者が2002SZ、後者がⅠ層の出土。

中：図85は胴径16.6cm、底径11.2cmと前2者より大きいもので、240SZと358SKから得られ、接合できた。

大：図86は底径11.2cmと底部は畳付けから逆「ハ」字状に立ち上がるもので、図85と底径は同じであるが、底部から腰部にかけて直状に立ち上がるため胴径が大きくなる。他の壺と形状が異なることから分けた。Ⅲ層の271SDの出土である。

<瓶>

HB ①地区27点、HB ②イ地区5点、HB ②ロ地区8点の計40点で全体の4.3%である。

完形はないが、口縁部と底部の形状から口縁部がアサガオ(図88・89)、長頸(図87)、丸型(図90)、底部が脚台(図92)、碁筒底(図91)、角瓶(図93)の6種がある。

施釉でみると白化粧無で透明釉を施すものは図88・91と他2点、濃い胎釉を施すものは図89と他13点、鉄釉を施すもの3点の計20点得られた。白化粧ありは5点でそのうち、2点は線彫りで加飾されている。図92は白化粧の濃淡で地に透明釉を施し加飾のようでもある。形は胴部の張る瓶で、脚台タイプの可能性がある。

図93は白化粧が見られない。破片は板状を呈することから角瓶が想定される。外面に胎釉の濃淡で加飾するもので、軸に貫入が見られることから本土産の可能性も考えられる。

・器種と釉色の関係

第 69 表に器種と釉色の関係を示した。これによると碗は灰軸が 21.8%、鉄軸が 7.5%、掛け分け 11.6%、白化粧 59.1%と白化粧が多い。これは HB ①地区、HB ②イ・ロ地区の割合もほぼ同じである。灰軸の割合は小堀原遺跡 (2012) と比べると多い。

火に用いる鍋、香炉、火取、火炉や油壺は全体として濃い鉛釉、鉄軸の割合が高い。

また、急須も小タイプは白化粧に加飾したものの割合が高く、大タイプはいわゆる「アンビン」と呼称されるもので濃い鉛釉の割合が高い。

・施釉の比較

本遺跡のⅡ層は「北谷町の地名」によると戦前平安山集落があった場所で、19世紀頃以降の壺屋焼の消費地の様相を呈している。その観点から沖縄産施釉陶器の釉色の出土割合を器種ごとに示した。(第 143 図)

第 143 図をみると碗や小碗、急須など日常食器は白化粧を施すものが 50%以上を占め、鉢は掛け分けが 51.9%を占める。貯蔵用の壺(アングガーミ)、調理用の火炉、灯明皿は鉛～黒釉が多く用いられている。また、火取や香炉もそれぞれほぼ半数を占める。以上のことから食事用の沖縄産施釉陶器は手間の掛かる白化粧掛けて、貯蔵用などは白化粧を掛けないものが主流である。白化粧はやはり割り高になるためであろうか。

最も多い碗をみると白化粧無の灰軸が 21.8%、白化粧有が 59.1%と後者が主体を占める。湧田窯産の代名詞とされる灰軸碗が 2割と高い出土である。Ⅱ層は壺屋に焼き物窯が統合されてから 300年も経った時期であるが灰軸碗が使用されている。生産地の遺跡である壺屋古窯群Ⅲ(1997)の出土状況を見ると灰軸碗は全体の 74.3%を占めることから、壺屋古窯群Ⅲでも指摘されているように湧田焼以後も灰軸碗が焼かれていたようである。灰軸碗については松島朝義によると若干、胎土に違いが見られるが、名護の古我知焼や知花焼でも焼かれていたようである(2002)。本遺跡出土の灰軸碗と白化粧有の碗の作りについてみると前者(Ⅰ類)は底部から腰部に直状に立ち上がり、底厚も薄いが、白化粧を施したもの(Ⅳ類)は底部から腰部への立ち上がりは丸みを帯び、底厚で前者の約 2倍を呈する。その中間の鉄軸を施したもの(Ⅱ類)は底部は薄手であるが、腰部はやや丸みを持ち、口縁部は僅かに外反する。また、掛け分け(Ⅲ類)についてもⅡ類と同じであるが、僅かに底厚が増し、壘付けは細くなる(図 10)ようである。この器形の違いは施釉方法に起因するか、製作方法の時期差なのか今後、資料を追加し検証したい。いずれにしても壺屋焼と平安山原 B 遺跡で灰軸碗の割合が高いことが判明した。これらの課題は生産地の壺屋焼や他の窯、消費地での資料の検証が望まれる。また、同じ時期に使用された本土産磁器との器種構成(碗・小碗・皿)も関連するであろう。

<註・参考文献>

註 1: 木村謙介は従来「フィガキ」と呼称してきた灰軸碗について「・・・製品の台高を持ち、容器のための釉薬に口縁部から浸す、いわゆる「浸し掛け」の技法を用いた・・・」(木村 2000「沖縄施釉陶器に関する研究(1) 一灰軸碗を中心に」『壺屋焼物博物館紀要第 1 号』壺屋焼物博物館)

註 2: 1910年当時は匣(さや)棚板、棚棒を使わず、焼き物は摺積みで、碗などは伏せて重ね焼きをしていたが、1920年代後半から、粘土板、棒で棚を組む技術が導入された。(壺屋焼物博物館, 2008『壺屋焼近代百年のあゆみ、那覇市焼き物博物館 10 周年記念特別展』)

松島朝義 2002「『沖縄の陶器類関係資料調査』を総括して」『沖縄の陶器類関係資料調査報告書』沖縄県文化財調査報告書 142 集

沖縄県立埋蔵文化財センター 2013『首里城跡一御内原北地区発掘調査報告書(1)』第 54 集

那覇市教育委員会 1997『壺屋古窯群Ⅲ』那覇市文化財調査報告第38集

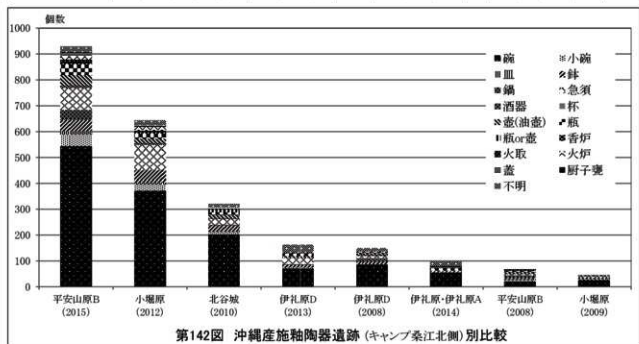
沖縄県教育委員会 1993『湧田古窯跡(Ⅰ)』沖縄県文化財調査報告書第111集

沖縄県教育委員会 1999『湧田古窯跡(Ⅳ)』沖縄県文化財調査報告書第129集

沖縄県立埋蔵文化財センター 2001『天界寺跡Ⅰ』沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第8集

第65表 沖縄産施釉陶器遺跡別比較

| 遺跡 | 碗 | 小碗 | 皿 | 鉢 | 鍋 | 急須 | 酒器 | 杯 | 壺(油壺) | 瓶 | 瓶or壺 | 香炉 | 火取 | 火炉 | 蓋 | 厨子裏 | 不明 | 合計 |
|----------------|------|----|----|-----|----|-----|----|---|-------|-----|------|----|----|----|----|-----|-----|------|
| 平安山原B(2015) | 545 | 45 | 12 | 43 | 39 | 86 | 9 | | 41 | 40 | | 9 | 11 | 12 | 15 | 1 | 22 | 930 |
| 小壠原(2012) | 373 | 23 | 8 | 49 | | 95 | 8 | 1 | 16 | 20 | | 6 | 5 | 15 | 6 | | 18 | 643 |
| 北谷城(2010) | 203 | 10 | 2 | 21 | 5 | 21 | 2 | | 13 | 12 | 11 | 1 | 2 | | 4 | 1 | 13 | 321 |
| 伊礼原D(2013) | 72 | 3 | 1 | 10 | 3 | 23 | 3 | | 5 | 9 | | | | 2 | 1 | | 30 | 162 |
| 伊礼原D(2008) | 86 | 1 | 2 | 8 | 14 | 9 | 6 | | 5 | 5 | | | 1 | 2 | | | 10 | 149 |
| 伊礼原-伊礼原A(2014) | 54 | | 2 | 5 | | 2 | | 1 | | 10 | | | 2 | | 4 | | | 99 |
| 平安山原B(2008) | 21 | 6 | 3 | 7 | 8 | 5 | 1 | | 6 | 6 | 1 | 1 | 2 | | | | 1 | 68 |
| 小壠原(2009) | 26 | 5 | | 5 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | | | | | | 1 | | 1 | 45 |
| 合計 | 1380 | 93 | 30 | 148 | 70 | 243 | 30 | 3 | 88 | 102 | 12 | 17 | 23 | 31 | 31 | 2 | 114 | 2417 |



第66表 沖繩産施釉陶器出土量

| 地区 | 部位 | 器種 | 器種 | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 |
|-------|-----|--------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----------|----|----|---------|-----|-----|-----|
| | | | 碗 | 小碗 | 皿 | 鉢 | 急須 | 酒器 | 鍋 | 蓋 | 火取 | 香炉 | 火炉 | 火炉 or 火取 | 壺 | 瓶 | 瓶 or 急須 | 扇子架 | 不明 | |
| HB① | I | | 64 | 4 | 1 | 3 | 16 | 1 | 4 | 1 | 3 | 7 | 5 | | 11 | 8 | | | 2 | 128 |
| | | 15K | 38 | 2 | 1 | 1 | 5 | 2 | 11 | 3 | | | | | 1 | 9 | | | | 74 |
| | | 8SZ | 27 | | 1 | 1 | 12 | 1 | 1 | 1 | | | | | 1 | 2 | | | | 47 |
| | | 61SK | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | 62SK | 9 | 2 | 1 | | 12 | | 3 | 1 | | 1 | | | | | | | | 29 |
| | | 67P | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | 72P | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 2 |
| | | 83SZ | 3 | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | 2 | 1 | | | 8 |
| | | 94P | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 229SZ | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 240SZ | 25 | 2 | 1 | 2 | 5 | 2 | | | 2 | | | 1 | | 1 | 1 | | | 41 |
| | | 274SZ | 1 | | | | | | | | | 2 | | | | 1 | 1 | 1 | | 2 |
| | | 298SK | 1 | | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | | | 4 |
| | | 305SD | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 |
| 338SK | 41 | 1 | 1 | 8 | 4 | | | 5 | 1 | | | 1 | | 2 | 1 | | | 64 | | |
| 339SK | 3 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 4 | | |
| HB① | II | 152P | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | |
| | | 164SK | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 225SZ | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | |
| | | 271SD | 9 | 3 | | 3 | 3 | 1 | 3 | 1 | 1 | | | | 3 | 3 | | | 30 | |
| HB① | III | 304SD | 9 | | | 1 | 1 | | 2 | | | | | | | | | | 13 | |
| | | IV | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | | |
| | | 小計 | 243 | 14 | 7 | 19 | 60 | 8 | 31 | 8 | 7 | 8 | 6 | 1 | 23 | 27 | | | 3 | 465 |
| | | 合計 | 31 | 2 | 1 | 10 | 2 | | 1 | | | | 1 | | 1 | 4 | 1 | | 10 | 64 |
| HB②イ | I | 1003SZ | 2 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | 4 |
| | | 1005SZ | 13 | 6 | | 6 | | | | | | | | | 1 | | | | 29 | |
| | | 1006SK | 3 | | | | | | 2 | | | 1 | | | | | | | 3 | |
| | | 1016SZ | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | |
| | | 1018SX | 16 | | | | 1 | | 1 | | | | | | 2 | | 1 | | 20 | |
| | | 不明 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| HB②イ | II | 2002SZ | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | |
| | | 2003SZ | 3 | 3 | | 1 | 7 | | | | 4 | | 2 | | 3 | 2 | | 1 | 146 | |
| | | 2004SX | 6 | | | | | | 1 | | 1 | | | | | 1 | | | 9 | |
| | | 2044SX | 36 | 5 | | 6 | 4 | | 1 | 1 | 3 | | 2 | | 6 | 1 | | 2 | 66 | |
| | | 2049SD | 3 | | | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | | 6 | |
| | | 2072P | | | 1 | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | 1 | |
| HB②イ | III | 2049SD | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | 2 | |
| | | 2072P | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | |
| | | IV | 1 | 3 | | | | | | | | | | | 1 | | | | 5 | |
| | | 小計 | 231 | 23 | 4 | 7 | 23 | 1 | 3 | 7 | 4 | | 4 | | 14 | 8 | | 1 | 4 | 334 |
| | | I | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 3 |
| | | 不明 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 3 |
| HB②イ | IV | 合計 | 545 | 45 | 12 | 43 | 86 | 9 | 39 | 15 | 11 | 9 | 12 | 1 | 41 | 40 | 2 | 1 | 19 | 930 |

第67表 沖繩産施釉陶器(碗)出土量

| 地区 | 部位 | 器種 | 施釉部位 | | I類(白化粧無) | | | | II類(白化粧無) | | | | III類(横分け分) | | | | IV類(白化粧有) | | | | 合計 | | |
|------|-------|-------|------|----|----------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|---|------------|----|-----------|---|-----------|-----|-----|----|-----|-----|---|
| | | | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | | | |
| | | | 灰or透 | | 黒or鉄 | | イ:黒(白化粧無) | | ロ:黒(白化粧有) | | イ:黒(白化粧無) | | ロ:黒(白化粧有) | | イ:黒(白化粧無) | | ロ:黒(白化粧有) | | | | | | |
| HB① | I | | 1 | 3 | 5 | 7 | 1 | 1 | 2 | 3 | 2 | 2 | 1 | 1 | | | | | 10 | 17 | 8 | 64 | |
| | | 遺構 | 5 | 7 | 6 | 4 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 8 | 10 | 1 | 4 | 20 | 31 | 18 | | 124 | |
| | | 164SK | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 271SD | | | 1 | 2 | | | | 1 | | | | | | | | | | 2 | 3 | | 9 |
| | | 304SD | 3 | 1 | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | 1 | | | 7 |
| HB②イ | I | 小計 | 1 | 11 | 20 | 22 | 5 | 4 | 6 | 8 | 6 | 5 | 1 | 9 | 12 | 2 | 4 | 40 | 55 | 32 | 243 | | |
| | | II | 3 | 3 | 1 | 1 | 3 | | | 2 | 2 | | | | | | 1 | 5 | 7 | 3 | 31 | | |
| | | III | 3 | 3 | 2 | | | | | 2 | | | 1 | | | | 1 | 11 | 7 | 5 | 35 | | |
| | | 不明 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 小計 | 7 | 6 | 3 | 1 | 3 | 2 | 2 | 2 | 1 | | | | | | 2 | 18 | 14 | 9 | 70 | | |
| HB②イ | I | 遺構 | | 8 | 7 | 1 | 4 | 1 | | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | | 1 | 8 | | 6 | 16 | |
| | | II | 1 | 12 | 8 | 12 | 3 | 6 | 3 | 1 | 2 | 1 | | 3 | 1 | 1 | | 7 | 59 | 38 | 10 | 168 | |
| | | III | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | IV | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| | | 小計 | 1 | 20 | 16 | 16 | 7 | 7 | 3 | 2 | 3 | 1 | | 4 | 2 | 3 | | 9 | 80 | 40 | 17 | 231 | |
| HB②イ | I | 小計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | | 不明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 合計 | 施釉別合計 | 合計 | 2 | 38 | 42 | 41 | 13 | 14 | 11 | 12 | 11 | 7 | 1 | 13 | 14 | 5 | 15 | 139 | 109 | 58 | 545 | | |
| | | 施釉部位 | 123 | | | | 38 | | | 30 | | | | 33 | | | 321 | | | | | | |

①遺構: 8.83.229.240(SZ) 67.72.94(P) 1.61.62.67.256.359(SK) 298(SB) 305(SD)

②遺構: ①地区 1003, 1005, 1016(SZ) 1006(SK) 1018(SX) ②地区 2002, 2003(SZ) 2004, 2054(SX)

第68表-1 沖繩産施釉陶器観察一覧

(重量単位:cm, g)

| 第144回・国展114 | 回番号 | 器種 | 分類 | 部位 | 口径 高さ 底径 | 厚さ 重量 | 形状(口・底) 器種調整・文様 | 釉色 施釉調整・貫入 | 素地 胎土 | 産区・7号ノ・編位 遺積・台帳番号 |
|-------------|---------------------|-------|----------------|---------------------|---|---|--|---|---|----------------------|
| 第145回・国展115 | 1 | I a | 口～底 | 12.6 6.4 5.6 | 0.4～0.5 70.4 | 口・底口・玉縁。腰・やぐら状。底: 畳付方形。幅0.4cm, やぐら研。内: 轆轤紋。滑 | 内外・透明釉。白化粧。黒。深十割り(内外・腰～底・蓋動) | 淡灰色底 | HB2① O-P8 141 台239 | |
| | 13.6 -- -- | | | 0.35 13.7 | 口・底口・丸。 | 内外・透明釉。白化粧。黒。口縁幅0.6cmほど輪が深い。 | 灰色底 | HB2① I 台494 | | |
| | 3 | I b | 口～底 | 13.8 6.4 48.9 | 0.4 0.9 | 口・底口・丸。腰・直状。底: 畳付丸。台形。外: 轆轤紋。 | 内外・透明釉。部分白濁り。白化粧。黒。深割り(内外・腰～底・蓋動)。滑着釉。 | 赤褐色やぐら | HB2① QR8 #20543X 台3369 | |
| | -- -- -- | | | 0.5 13.9 | 底: 畳付四角。片側丸み。幅0.6cm。内: 見込みに轆轤で径4.0cmの丸文。刷毛目目線。 | 白化粧。黒。内外・腰～底。蓋動。高台内側に化粧土付着。 | 乳白色緑斑 | HB2① N17 Ⅱ 625K 台3359 | | |
| | 5 | II a | 口 | 12.6 -- -- | 0.4 65.0 | 口・底口・玉縁。腰: やぐら丸。外: 轆轤紋。 | 内外・透明釉。白化粧。黒。内底: 外・腰～底蓋動。化粧土付着。指板 | 淡灰色底 | HB2① QR8.10 #20052Z 台3367 | |
| | 12.6 -- -- | | | 0.4 11.7 | 口・底口・玉縁。腰: やぐら丸。外: 轆轤紋。 | 内外・面輪。通。白化粧。黒。内外・腰～底～、蓋動 | 乳白色緑斑 | HB2① N17 Ⅱ 625K 台3359 | | |
| | 7 | II b | 口～底 | 13.4 6.4 6.3 | 0.3～0.6 149.0 | 口・外反玉縁。腰: 丸み。底: 畳付方形0.5cm。内外調整丁寧。内: 刷毛目。見込みに径5.2cmの丸文と目線。 | 内外・面輪。通。白化粧。黒。外: 洗し刷り目。外・腰～底。内: 見込み輪割り | 乳白色やぐら | HB2① I 台494 | |
| | 6.2 -- -- | | | 0.5 40.0 | 腰: 丸み。畳付丸。幅0.5cm。内外: 丁寧。内: 赤線。刷毛目で見込みに径3.5cm丸文(蓋)と目線(蓋) | 内外・面輪。通。白化粧。黒。内: 腰～底蓋動。化粧土付着 | 灰色底 | HB2① QR8.9 #20052Z 台3374 | | |
| | 9 | III a | 底 | 12.6 6.4 | 0.5 59.4 | 腰: 丸み。底: 畳付丸。幅0.5cm。内: 赤線。刷毛目で径1.5cmの丸文と目線。 | 外・面輪。通。内・透明釉。白化粧。黒。外: 高台～内底蓋動。見込み・蛇目輪割り。内: 滑着釉 | 淡灰色底 | HB2① QR8 #20543X 台3369 | |
| | 13.2 12.4 6.3 | | | 0.3～0.6 66.85 | 口・外反。腰: 丸み。底: 畳付四角。幅0.4cm。滑着 | 外・面輪。内・透明釉。白化粧。有。畳付付蓋動。高台部分のみに滑着。内: 滑入 | 乳白色 | HB2① K-112 Ⅱ 15K 台3377 | | |
| | 10 | III b | 口～底 | 12.6 6.2 | 0.6 62.1 | 腰: 丸み。底: 畳付丸。幅0.6cm。 | 外・面輪。通。内・透明釉。白化粧。黒。外: 高台～内底蓋動。見込み・蛇目輪割り | 濃灰色底 | HB2① 北園 I やぐら | |
| | 11 | | | III c | 底 | 12.6 6.2 | 0.6 62.1 | 腰: 丸み。底: 畳付丸。幅0.6cm。 | 外・面輪。通。内・透明釉。白化粧。黒。外: 高台～内底蓋動。見込み・蛇目輪割り | 濃灰色底 |
| | 12 | III d | 口 | | | 14.0 6.9 5.6 | 0.4～0.5 19.6 | 腰: 「ハ」字状に開く。底: 丸。高台浅い。輪の厚さ。底部に中央に中環溝?一線あり | 外・面輪。通。内・透明釉。白化粧。黒。畳付目線 | 灰色底 |
| | 13 | | | IV a | 口 | 14.0 6.9 5.6 | 0.4～0.5 19.6 | 口・外反玉縁。腰: 丸み。深割り。外: 幅2.3cmに開張で区間。間を格子文で埋め。さらに浅緑線を巻く。内: 1/3ほどに轆轤線輪で装飾。 | 内外・透明釉。白化粧。有。 | 乳白色緑斑 |
| | 14 | IV b | 口 | | | -- -- -- | 0.5 5.3 | 口・外反玉縁。深割り。外: 浅緑文を弧状に連続して施し。器全体に同色輪。黄緑と緑線を巻く | 内外・透明釉。白化粧。有。 | 濃乳白色 |
| | 15 | | | IV c | 口～底 | 14.0 6.9 5.6 | 0.5 190.0 | 口・やぐら反丸。腰: 丸み。底: 畳付やぐら丸。幅0.5cm。外: 全体に草花文。 | 内外・透明釉。白化粧。有。外: 畳付研磨。蓋動。見込み・蛇目輪割り。滑着有 | 乳白色やぐら |
| | 16 | IV d | 口 | | | 12.0 6.4 5.4 | 0.4 9.8 | 口・やぐら反丸。外: 草花文。内: 轆轤草花文。 | 内外・透明釉。白化粧。有。 | 乳白色やぐら |
| | 17 | | | IV e | 口 | 14.8 11.8 | 0.3 11.8 | 口・外反丸。外: 草花文。器底が薄い | 内外・透明釉。白化粧。有。 | 乳白色緑斑 |
| | 18 | IV f | 口～底 | | | 12.6 6.4 5.5 | 0.6 121.0 | 口・外反丸。腰: 丸み。二割。外: 轆轤を中央に配し。その両辺を青輪(負)で覆われ。内を縁く | 内外・透明釉。白化粧。有。器中やぐら研。高台土塊見込み・蛇目輪割り | 淡灰色やぐら |
| | 19 | | | IV g | 口 | 13.4 6.4 5.5 | 0.5 14.27 | 口・外反丸。二割。外: 轆轤を中央に配し。その両辺を青輪(負)で覆われ。内を縁く。伏せ縁あり | 内外・透明釉。白化粧。有。 | 灰色やぐら |
| | 20 | IV h | 口～底 | | | 14.4 6.7 7.6 | 0.6 240.0 | 口・外反丸。 | 内外・透明釉。白化粧。有。畳付研磨。見込み・蛇目輪割り。幅1.1cm。滑着有 | 赤褐色やぐら |
| | 21 | | | IV i | 口～底 | 13.4 6.4 5.5 | 4～5 120.0 | 口・外反玉縁。腰: 丸み。底: 畳付丸。幅0.6cm。外: 轆轤に轆轤3本 | 内外・透明釉。白化粧。有。畳付研磨。見込み・蛇目輪割り | 乳白色やぐら |
| | 22 | IV j | 口 | | | 14.4 6.4 5.9 | 0.4～0.6 120.0 | 口・やぐら反丸。輪巻いて彫らむ。腰: 丸。底: 畳付丸。幅0.5cm。底部の中央彫らむ。内: 轆轤紋。滑。外: 刷毛目。外・腰～底蓋動。外・高台の内側に黒線。外・高台の一部輪割り | 内外・透明釉。白化粧。有。畳付研磨。見込み・蛇目輪割り。滑着 | 灰色やぐら |
| | 23 | | | IV k | 口 | 8.8 9.0 4.8 | 0.25 7.3 | 口・外反丸。腰: 丸み。内: 轆轤紋。滑。外: 刷毛目。外・腰～底蓋動。外・高台の内側に黒線。外・高台の一部輪割り | 外・面輪。内・透明釉。白化粧。黒。外: 腰～底蓋動。見込み・蛇目輪割り。滑着有 | 灰色底 |
| | 24 | IV l | 口～底付近 | | | 9.0 4.8 | 0.2～0.5 9.7 | 口・やぐら反丸。腰: やぐら丸 | 外・面輪。内・透明釉。取。白化粧。黒。内: 腰～底蓋動。見込み・蛇目輪割り。滑着有 | 灰色底 |
| | 25 | | | IV m | 底 | -- -- -- | 0.45 34.7 | 腰: 丸み。底: 畳付。方形。幅0.45cm。、 | 外・面輪。通。内・透明釉。白化粧。黒。外: 腰～底蓋動。見込み・蛇目輪割り | 乳白色やぐら |
| 26 | IV n | 底 | -- -- -- | | | 0.25～0.4 38.4 | 底: 中央部1.1cmと深い。畳付0.5cm。丸。高台内側に厚化粧土付 | 外・面輪。内・透明釉。白化粧。有。見込み・蛇目輪割り。滑着有 | 灰色底 | HB2① I 台3082 |

第68表-2 沖縄産施釉陶器観察一覧

(数量単位:cm, g)

| 器種 | 図番 号 | 器種 | 分類 | 部位 | 口径 器高 器底 | 器重 量 | 形状(口・器・底) 器型調整・文様 | 施釉 施釉部・貫入 | 表地 胎土 | 地区・年代・器位 遺跡・台帳番号 |
|-------------|-----------|-----|-----------|--------------------|--|--|--|--|----------------------------------|-----------------------------------|
| 第145回・図帳115 | 27 | 小瓶 | IVa | 口~底 | 8.2 4.2 4.0 | 0.3~0.4 44.6 | 口:内反・舌, 器:丸み, 底:巻付・丸, 幅0.45cm. | 内外・透明釉, 白化粧一有, 外:巻付磨蝕, 見込み・蛇目輪刺ぎ | 乳色 今や瓶 | HB② P10'15.Q15 ■ 271SD 台491 |
| | 28 | | | | 4.0 4.5 4.2 | 0.35~0.6 69.8 | 口:腹外に外反, 器:やや丸, 底:巻付幅0.5cm. | 内外・透明釉, 白化粧一有, 外:巻付研磨, 見込み・蛇目輪刺ぎ | 灰色 密 | HB② QKS9.10 ■ 2002S2 台3367 |
| | 29 | | | | 8.0 3.8 0.45 21.1 | 0.35~ 0.45cm | 口:やや外反・舌, 器:丸み, 底:巻付・丸, 幅(幅)1.6×1.3cm | 内外・反釉, 白化粧一有, 外:巻付研磨, 高台内壁化粧土現, 見込み・ 蛇目輪刺ぎ, 化粧土現 | 濃灰色 今や密 | HB② QKS9.10 ■ 2002S2 台3367 |
| | 30 | IVb | 口~底 | 8.4 4.5 4.0 | 0.25~0.3 80.6 | 口:腹口・王, 器:丸み, 底:巻付・丸, 0.4cm, 底厚 (器底)2.1以上(器口) 器底(幅)1.4×1.1cm | 内外・透明釉, 白化粧一有, 外:巻付研磨, 磨蝕, 見込み・蛇目輪刺ぎ, 磨 蝕 | 灰色 密 | HB② QKS9.10 ■ 2002S2 台3367 | |
| | 31 | | | 13.4 3.5 5.0 | 0.4~0.9 80.6 | 口:腹口・舌, 口唇に三角形(1.7×1.4cm)突起, 底:巻付・方形, 0.4cm. | 内外・施釉・濃(口縁に0.5cm幅), 白化粧- 無, 見込み・蛇目輪刺ぎ | 灰色 今や瓶 | HB② 南園Ⅱ 台3328 | |
| | 32 | | | - 4.4 | 0.3 69.8 | 器:今や丸み, 底:巻付・丸, 0.4cm, 外:環の痕 | 内外・施釉・濃(口縁のみ, 器に化粧土), 白 化粧-無, 内底:輪玉ができる. | 乳色 今や瓶 | HB② N17Ⅱ 62SK 台3359 | |
| | 33 | 小 | 口 | 10.8 - | 0.3~0.4 6.4 | 口:腹口・舌, 器:やや丸み. | 内外・施釉・濃 白化粧-無. | 灰色 瓶 | HB② 南園Ⅱ 台3328 | |
| | 34 | | | 9.8 - | 0.25~0.6 9.8 | 口:今や内高, 器:今や丸み 外:口唇に磨? | 内外・透明釉, 白化粧一有. | 灰色 密 | HB② O-P8'14 I 台241 | |
| | 35 | | | - - | 0.3~0.4 2.4 | 口:腹口, 器:今や丸み, 内:0.3cm大の台輪土で花文 | 内外・透明釉, 白化粧-無, 貫入・磨 | 灰白色 瓶 | HB② K-L12Ⅱ 18K 台3377 | |
| | 36 | 大 | 底 | - 6.8 | 0.45 132.3 | 器:今や丸み, 底:巻付・方形, 0.65cm, 底厚0.9cm | 外・施釉・濃, 内:不明, 白化粧-無, 内外・網~底磨蝕 | 非陶色 瓶, 白紋 | HB② 南園Ⅱ 台3328 | |
| | 37 | | | - 6.7 | 0.6 88.1 | 器:直状, 底:巻付・台形, 0.6cm. | 外・施釉, 内:不明, 白化粧-無, 外:磨~底磨蝕 | 非陶色 瓶, 白紋 | HB② N16Ⅱ (IV) 台512 | |
| 38 | 23.0 - | | | 0.7 23.7 | 口:内反 | 外・施釉・濃, 内・透明釉, 白化粧-無. | 灰色 磨蝕 | HB② P10'15.Q15 ■ 271SD 台491 | | |
| 39 | 鉢 | Ⅲc | 口 | 18.6 - | 0.6 39.6 | 口:内彎 | 外・施釉・濃, 内・透明釉, 白化粧一有. | 淡灰色 台 | HB② P-Q8.9Ⅱ 358SK 台484 | |
| 40 | | | | 22.8 25 | 0.6 90.2 | 口:内反 | 外・施釉・濃, 内・透明釉, 白化粧一有. | 乳色 台 | HB② P-Q8.9Ⅱ 358SK 台484 | |
| 41 | | | | - - | - 41.4 | 高台内に割り痕現, 高台に穿孔(直径0.6cm, 外 ~内) | 外:不明, 内・透明釉, 白化粧-無, 外・磨蝕~底磨, 磨蝕, 見込み・蛇目輪刺ぎ, 磨蝕 | 灰色 台 | HB② I 台494 | |
| 42 | IVc | 底 | - 10.6 | 0.8 63.0 | 高台に穿孔. | 外・施釉・濃, 内・透明釉, 白化粧-無, 見込み・蛇目輪刺ぎ | 灰色 台 | HB②-I 台3082 | | |
| 43 | | | - 7.0 | - 57.5 | 小鉢小皿, 底:巻付・台形, 幅0.7cm, 赤黄色で内底に草花文, 網下部に幅0.3cmの2本の 溝線 | 内外・透明釉, 白化粧一有, 外:巻付研磨, 見込み・蛇目輪刺ぎ, 化粧土 付着 | 灰色 今や瓶 | HB② J10- KL.10.11Ⅱ 1005S2 台3081 | | |
| 44 | | | 6.1 - | 0.4 4.1 | 口唇は内段をなす, 割部あり. | 外・高麗(青釉), 内・透明釉, 白化粧一有, 口唇:白化粧のみ | 灰色 今や瓶 | HB② Q9Ⅱ 台3340 | | |
| 45 | 小 丸型 | 胴部 | - - | 0.47 8.7 | 胴:丸(残存胴径0.8cm), 内:輪刺ぎ一有, 磨蝕で 文様, 胴部にスタンプで「○」「◇」のスタンプを2条 の溝線で区画, 網下部に縦径に3条1組の沈溝 | 外:透明釉, 内:黒釉, 白化粧-無. | 白灰色 磨蝕 | HB② I 台494 | | |
| 46 | | | - - | - 15.7 | 胴:丸(残存胴径1.2cm), 器口縁:内:輪刺ぎ一 有, 外:磨の残りナダ, 胴部にトビガンナ, 網下 部に2条の溝線, 白粘土で埋める(三島手) | 外・透明釉, 内:黒釉, 白化粧-無, 外:磨蝕~底, 磨蝕 | 灰色 磨蝕 | HB② I 台494 | | |
| 47 | | | 8.8 - | 0.4~0.7 89.8 | 口:幅0.4cm, 立口, 断:舌状, 胴径14.8cm, 内: 輪刺ぎ, 上下に2本の溝線, 胴に丸の中に縦径に 2条1組で5線, 三角形に縦径に2条1組の沈溝で 埋め, 上に青黄で塗布. | 外・透明釉, 内・透明釉, 口~胴上面, 白化粧 一有, 外:底磨蝕, 内:網下部白化粧のみ | 乳色 今や瓶 | HB② QKS9.10 ■ 2002S2 台3367 | | |
| 48 | 中 丸型 | 胴 | - - | 0.7 17.1 | 胴:丸(胴径15.0cm)内:輪刺ぎ 磨蝕, 最大胴径を中心にして縁で丸文, その縁の 上下に三角形を配し, 間を沈溝で埋め, 青と黄の 釉を塗布 | 内外・透明釉, 白化粧一有, 内:白化粧 | 濃灰色 今や瓶 | HB② 南園Ⅱ 台3327 | | |
| 49 | | | - - | 0.6 9.4 | 把手(幅約3.0×1.1cm) 把手上面に黄斑を塗布. | 内外・透明釉, 光沢, 白化粧有. | 淡褐色 今や瓶 | HB② S12.13Ⅱ 2004S2 台3361 | | |
| 50 | | | 11.0 - | 0.6~0.9 227.0 | アソビ 口:立口, 幅0.7cm, 方形 内:輪刺ぎ | 外・施釉・濃(光沢), 内・施釉・薄, 白化粧- 無, 部分的に厚輪 口唇~口縁磨蝕 | 濃灰色 今や瓶 | HB② N17Ⅱ 62SK 台3359 | | |
| 51 | 大 | 胴 | - - | 0.6 112.1 | アソビ 胴径17.4cm, 把手4.1×1.35cm 外:網下部, 内:輪刺ぎ. | 内外・施釉・濃, 光沢, 部分的に 白化粧-無 | 暗灰色 今や密 | HB② 北園 I 台3385 | | |

第68表-3 沖繩産施釉陶器観覧一覽

(法量単位:cm, g)

| 観覧 回数 | 図番 号 | 器種 | 分類 | 部位 | 口径 器高 器重 | 器重 差量 | 形状(口・脚・底) 器型調整・文様 | 釉色 施釉範囲・貫入 | 表地 胎土 | 地区・年代・部位 産情・台帳番号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|--------------|--------------|--|-------------------------------------|-----------------|-----------------------|---|--|--|---------------------------------------|---|-----------|---------|--------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 第 147 回 ・ 図 帳 117 | 52 | 急須 | 大 | 胴 | 0.5~0.6 60.0 | - | アンピン、胴径16.4、径口2.9cm。 注口が必ず下で開き、注口内に底付番。 注口は切り取り、裏面内へ横貫致 | 内外無釉・濃、白化粧・黒 | 灰色 やや密 | HB2イ I 台3082 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 把手 | - | 1.7 73.5 | - | アンピン 把手の幅4.5×1.7cm、断面:三日月状 | 内外無釉・濃(光沢)、裏面一気度 白化粧・黒 | 濃灰色 20545X 台3369 | HB2イ Q9 II 20545X 台3369 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 丸型 | 胴 | 0.5 23.6 | - | 胴径:丸(12.9cm)内へ横貫致。 胴径:縦径に3条1組の鉄線が透入 | 外透明釉、内・無釉、白化粧・黒 | 淡灰色 濃 | HB2イ O-P14 III 台486 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | ソコバ ン型 | 胴 | 0.6 29.8 | - | 胴・ソコバン型(径12.4cm)、内へ横貫致。胴 胴上部の角を2条の流線で区切り、その上部を斜 状溝で彫り出し、その上を背輪で覆ひ、中 に黄輪を挿す | 外透明釉、内・無釉、白化粧・黒 | 灰色 やや密 | HB2イ I 台494 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 丸型 | 底 | 0.55 33.4 | 7.0 | 底:費付内縁に斜め、幅1.35cm。 | 外・無釉、内・無釉、白化粧・黒。 外:脚へ底貫致 | 灰色 やや密 | HB2イ 北瀬 I 台3385 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | - | 底 | 0.55 28.5 | 7.6 | 底:費付内縁に斜め、幅1.3cm。 | 外透明釉、内・無釉・濃、白化粧・黒。 外:費付貫致、内部分無釉 | 灰色 やや密 | HB2イ P10 ¹ ・15・Q15 III 2715D 台491 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 丸型 | 底 | 0.48 170.0 | 8.1 | 底:費付内縁に斜め・斜め、幅2.0cm。 底縁と背輪をかける。 | 外透明釉、内・無釉、白化粧・黒。 外:費付貫致 | 灰色 濃 | HB2イ P-Q10 II 240S2 台489 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | a | 口 | 18.8 0.4 | - | D:1<C>外縁、幅1.4cm、胴下部に若干垂る。 横貫致外縁 | 外無釉・淡、内無釉・濃(口縁と胴下部)、白 化粧・黒、1<C>の字の部分、横貫ける。 | 淡黄色 やや密 | HB2イ QR58.9 II 2005S2 台492 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | b | 口 | 16.6 10.1 | - | D:1<C>字部に外反、幅1.9cm、口唇・唇の内、胴下 部から外縁 内:流し・横貫致 | 外無釉・濃、内・無釉、白化粧・黒 | 淡灰色 濃 | HB2イ O13.14-P13 II 台487 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | - | 底 | 0.45~ 0.75 24.3 | - | 丸底、脚径2.0cm 内・無釉・淡・外・黒、周辺ナゲ | 外無釉、内・淡・失透釉、白化粧・黒 | 淡灰色 やや密 | HB2イ J10 ¹ KL.10.11 III 1005S2 台3081 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 第 148 回 ・ 図 帳 118 | 53 | 急須 | I a | 口 | 脚径2 3.4 | 0.27 3.4 | 直口、脚欠染。 外縁が1<C>幅約3cmの横線、深い | 外無釉・濃、内・濃 | 灰色 密 | HB2イ S12.13 II 20045X 台3361 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 脚径10.6 脚径6 | 0.75 7.3 | - | 胴径に彫らむ、口脚・尖。 白化粧後、6条の深い横線、化粧土とのコントラスト の文様。 | | | | | 内外無釉・濃、白化粧・黒 外:脚縁から脚・濃 | 灰色 やや密 | HB2イ 南瀬 II 台3328 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 胴径4.5 | 0.6 8.5 | - | 口脚、脚・脚端、横線、流線を規則的に刻削、内 縁を彫り出し 外縁:横線(2条の横線、斜線)、上に黄輪と横か に黄輪。 | | | | | 外透明釉、内・無釉、白化粧・黒 | 淡灰色 やや密 | HB2イ QK59.10 II 2005S2 台3367 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 脚径10.0 | 0.48 31.6 | - | 口脚・丸、胴径に彫らむ、脚欠染・脚端。 急須の可能性も考えられる。 | | | | | 外無釉・濃、内・無釉 | 淡灰色 やや密 | HB2イ L15 III 152P 台614 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 脚径12.0 脚径7 | 0.4 45.8 | - | 直状、口脚・丸。 脚端・2条、やや浅。 | | | | | 外無釉・濃、内・無釉 | 灰色 やや密 | HB2イ II (1215J) 台356 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 脚径12.5 | 0.55 61.1 | - | 口脚・丸角方形、脚・高0.8、外に彫らむ、内丁字 状より、外縁に2~3条の深い流線文様、外と脚 みの間に黄輪、胴に2.0cmの白化粧を塗布。 | | | | | 外・濃・無釉と白化粧の組み合わせ。 内・濃 | 赤褐色 やや密 | HB2イ K-112 II 15X 台377 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1b | 口 | 11 0.4 | - | | | | | 口脚・丸、胴部やや膨らむ。 | 外無釉・濃、内無釉・濃 (口-0.5cm) | 茶褐色 濃、石英 | HB2イ 南瀬 II 台3328 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| II | 底 | 0.46 58.6 | 脚径5.7 | | | | | 高台、幅0.6cm 内・無釉 | 外無釉・濃、内・無釉 外:費付研ぎ貫致 | 赤褐色 濃 | HB2イ P10 ¹ ・15・Q15 III 2715D 台491 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 両型 | 口 | 13.0 0.51 | - | | | | | 内・無、口縁から傘状のように底面に線状なる。内へ横 貫致、胴下部が膨らみ、口脚・胴部まで口ガンナ、 口唇に黄輪、胴部に透明釉、その間に斜めの流し 流線が流し掛け。 | 外透明釉・部分無釉、脚部濃・赤褐色を 貫入、内口唇のみ無釉、他無釉 | 濃灰色 やや密 | HB2イ P-Q10 II 240S2 台490 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 火取 | 口 | 11.6 19.2 | 0.45 19.2 | | | | | 口・内・脚・三角形、口縁部の平らな部分には凹み に入り、輪が深い、口へ胴部(2条の片切の流し 流線文、前縁)より、濃流しを付けた。内へ横貫致 | 外無釉・やや密、内内縁のみ | 灰色 やや密 | HB2イ P10 ¹ ・15・Q15 III 2715D 台491 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 両型 | 口 | 12.6 18.4 | 0.6 16.6 | | | | | 直状、脚・やや内側に膨らむ 内・無釉に横貫致。 口縁部高約2.0cmに黄輪(背輪)を施し、さみだれ状 に区切る。 | 外・黄輪・透明釉、内口縁部のみ透明釉。 白化粧・黒 口縁部のほぼ中央から内唇に研ぎ、内唇は白 化粧が深い。 | 灰色 やや密 | HB2イ Q9 II 20545X 台3369 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 73 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 | 100 | 101 | 102 | 103 | 104 | 105 | 106 | 107 | 108 | 109 | 110 | 111 | 112 | 113 | 114 | 115 | 116 | 117 | 118 | 119 | 120 | 121 | 122 | 123 | 124 | 125 | 126 | 127 | 128 | 129 | 130 | 131 | 132 | 133 | 134 | 135 | 136 | 137 | 138 | 139 | 140 | 141 | 142 | 143 | 144 | 145 | 146 | 147 | 148 | 149 | 150 | 151 | 152 | 153 | 154 | 155 | 156 | 157 | 158 | 159 | 160 | 161 | 162 | 163 | 164 | 165 | 166 | 167 | 168 | 169 | 170 | 171 | 172 | 173 | 174 | 175 | 176 | 177 | 178 | 179 | 180 | 181 | 182 | 183 | 184 | 185 | 186 | 187 | 188 | 189 | 190 | 191 | 192 | 193 | 194 | 195 | 196 | 197 | 198 | 199 | 200 | 201 | 202 | 203 | 204 | 205 | 206 | 207 | 208 | 209 | 210 | 211 | 212 | 213 | 214 | 215 | 216 | 217 | 218 | 219 | 220 | 221 | 222 | 223 | 224 | 225 | 226 | 227 | 228 | 229 | 230 | 231 | 232 | 233 | 234 | 235 | 236 | 237 | 238 | 239 | 240 | 241 | 242 | 243 | 244 | 245 | 246 | 247 | 248 | 249 | 250 | 251 | 252 | 253 | 254 | 255 | 256 | 257 | 258 | 259 | 260 | 261 | 262 | 263 | 264 | 265 | 266 | 267 | 268 | 269 | 270 | 271 | 272 | 273 | 274 | 275 | 276 | 277 | 278 | 279 | 280 | 281 | 282 | 283 | 284 | 285 | 286 | 287 | 288 | 289 | 290 | 291 | 292 | 293 | 294 | 295 | 296 | 297 | 298 | 299 | 300 | 301 | 302 | 303 | 304 | 305 | 306 | 307 | 308 | 309 | 310 | 311 | 312 | 313 | 314 | 315 | 316 | 317 | 318 | 319 | 320 | 321 | 322 | 323 | 324 | 325 | 326 | 327 | 328 | 329 | 330 | 331 | 332 | 333 | 334 | 335 | 336 | 337 | 338 | 339 | 340 | 341 | 342 | 343 | 344 | 345 | 346 | 347 | 348 | 349 | 350 | 351 | 352 | 353 | 354 | 355 | 356 | 357 | 358 | 359 | 360 | 361 | 362 | 363 | 364 | 365 | 366 | 367 | 368 | 369 | 370 | 371 | 372 | 373 | 374 | 375 | 376 | 377 | 378 | 379 | 380 | 381 | 382 | 383 | 384 | 385 | 386 | 387 | 388 | 389 | 390 | 391 | 392 | 393 | 394 | 395 | 396 | 397 | 398 | 399 | 400 | 401 | 402 | 403 | 404 | 405 | 406 | 407 | 408 | 409 | 410 | 411 | 412 | 413 | 414 | 415 | 416 | 417 | 418 | 419 | 420 | 421 | 422 | 423 | 424 | 425 | 426 | 427 | 428 | 429 | 430 | 431 | 432 | 433 | 434 | 435 | 436 | 437 | 438 | 439 | 440 | 441 | 442 | 443 | 444 | 445 | 446 | 447 | 448 | 449 | 450 | 451 | 452 | 453 | 454 | 455 | 456 | 457 | 458 | 459 | 460 | 461 | 462 | 463 | 464 | 465 | 466 | 467 | 468 | 469 | 470 | 471 | 472 | 473 | 474 | 475 | 476 | 477 | 478 | 479 | 480 | 481 | 482 | 483 | 484 | 485 | 486 | 487 | 488 | 489 | 490 | 491 | 492 | 493 | 494 | 495 | 496 | 497 | 498 | 499 | 500 | 501 | 502 | 503 | 504 | 505 | 506 | 507 | 508 | 509 | 510 | 511 | 512 | 513 | 514 | 515 | 516 | 517 | 518 | 519 | 520 | 521 | 522 | 523 | 524 | 525 | 526 | 527 | 528 | 529 | 530 | 531 | 532 | 533 | 534 | 535 | 536 | 537 | 538 | 539 | 540 | 541 | 542 | 543 | 544 | 545 | 546 | 547 | 548 | 549 | 550 | 551 | 552 | 553 | 554 | 555 | 556 | 557 | 558 | 559 | 560 | 561 | 562 | 563 | 564 | 565 | 566 | 567 | 568 | 569 | 570 | 571 | 572 | 573 | 574 | 575 | 576 | 577 | 578 | 579 | 580 | 581 | 582 | 583 | 584 | 585 | 586 | 587 | 588 | 589 | 590 | 591 | 592 | 593 | 594 | 595 | 596 | 597 | 598 | 599 | 600 | 601 | 602 | 603 | 604 | 605 | 606 | 607 | 608 | 609 | 610 | 611 | 612 | 613 | 614 | 615 | 616 | 617 | 618 | 619 | 620 | 621 | 622 | 623 | 624 | 625 | 626 | 627 | 628 | 629 | 630 | 631 | 632 | 633 | 634 | 635 | 636 | 637 | 638 | 639 | 640 | 641 | 642 | 643 | 644 | 645 | 646 | 647 | 648 | 649 | 650 | 651 | 652 | 653 | 654 | 655 | 656 | 657 | 658 | 659 | 660 | 661 | 662 | 663 | 664 | 665 | 666 | 667 | 668 | 669 | 670 | 671 | 672 | 673 | 674 | 675 | 676 | 677 | 678 | 679 | 680 | 681 | 682 | 683 | 684 | 685 | 686 | 687 | 688 | 689 | 690 | 691 | 692 | 693 | 694 | 695 | 696 | 697 | 698 | 699 | 700 | 701 | 702 | 703 | 704 | 705 | 706 | 707 | 708 | 709 | 710 | 711 | 712 | 713 | 714 | 715 | 716 | 717 | 718 | 719 | 720 | 721 | 722 | 723 | 724 | 725 | 726 | 727 | 728 | 729 | 730 | 731 | 732 | 733 | 734 | 735 | 736 | 737 | 738 | 739 | 740 | 741 | 742 | 743 | 744 | 745 | 746 | 747 | 748 | 749 | 750 | 751 | 752 | 753 | 754 | 755 | 756 | 757 | 758 | 759 | 760 | 761 | 762 | 763 | 764 | 765 | 766 | 767 | 768 | 769 | 770 | 771 | 772 | 773 | 774 | 775 | 776 | 777 | 778 | 779 | 780 | 781 | 782 | 783 | 784 | 785 | 786 | 787 | 788 | 789 | 790 | 791 | 792 | 793 | 794 | 795 | 796 | 797 | 798 | 799 | 800 | 801 | 802 | 803 | 804 | 805 | 806 | 807 | 808 | 809 | 810 | 811 | 812 | 813 | 814 | 815 | 816 | 817 | 818 | 819 | 820 | 821 | 822 | 823 | 824 | 825 | 826 | 827 | 828 | 829 | 830 | 831 | 832 | 833 | 834 | 835 | 836 | 837 | 838 | 839 | 840 | 841 | 842 | 843 | 844 | 845 | 846 | 847 | 848 | 849 | 850 | 851 | 852 | 853 | 854 | 855 | 856 | 857 | 858 | 859 | 860 | 861 | 862 | 863 | 864 | 865 | 866 | 867 | 868 | 869 | 870 | 871 | 872 | 873 | 874 | 875 | 876 | 877 | 878 | 879 | 880 | 881 | 882 | 883 | 884 | 885 | 886 | 887 | 888 | 889 | 890 | 891 | 892 | 893 | 894 | 895 | 896 | 897 | 898 | 899 | 900 | 901 | 902 | 903 | 904 | 905 | 906 | 907 | 908 | 909 | 910 | 911 | 912 | 913 | 914 | 915 | 916 | 917 | 918 | 919 | 920 | 921 | 922 | 923 | 924 | 925 | 926 | 927 | 928 | 929 | 930 | 931 | 932 | 933 | 934 | 935 | 936 | 937 | 938 | 939 | 940 | 941 | 942 | 943 | 944 | 945 | 946 | 947 | 948 | 949 | 950 | 951 | 952 | 953 | 954 | 955 | 956 | 957 | 958 | 959 | 960 | 961 | 962 | 963 | 964 | 965 | 966 | 967 | 968 | 969 | 970 | 971 | 972 | 973 | 974 | 975 | 976 | 977 | 978 | 979 | 980 | 981 | 982 | 983 | 984 | 985 | 986 | 987 | 988 | 989 | 990 | 991 | 992 | 993 | 994 | 995 | 996 | 997 | 998 | 999 | 1000 |

第三章
5

第68表-4 沖繩産施釉陶器観察一覧

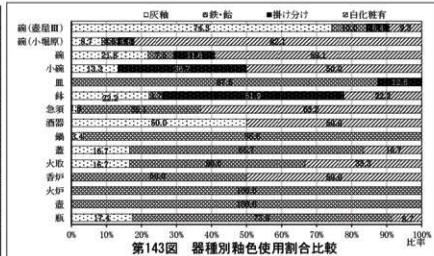
(流量単位: cm.)

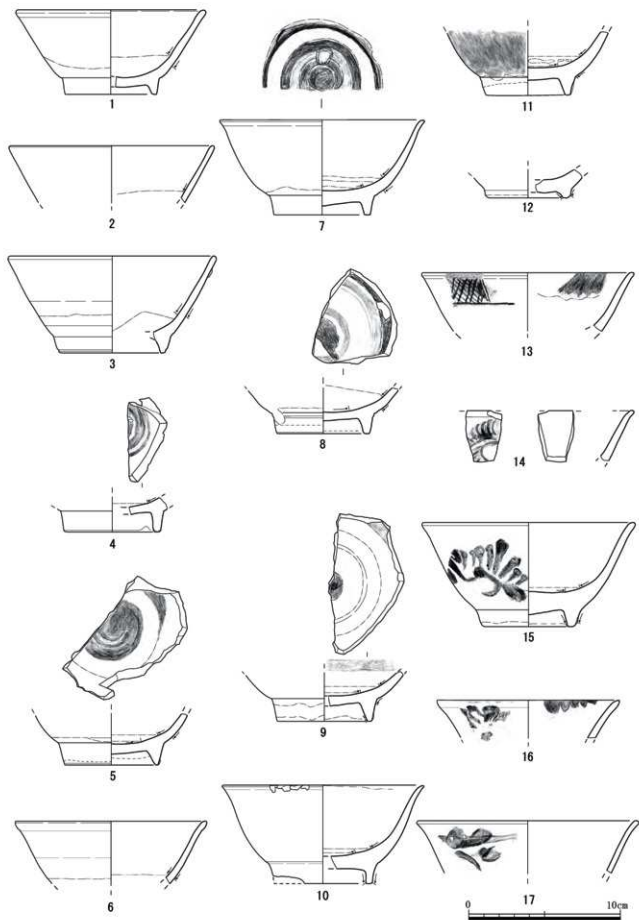
| 器種 図版 番号 | 器種 分類 | 部位 | 口径 高さ 底径 | 厚さ 重量 | 形状(口・脚・底) 調整・文様 | 釉色 施釉範囲・貫入 | 器種 胎土 | 産区・7号ノ編位 遺構・台帳番号 | |
|-----------------------------|-----------------------------|----------|----------------|----------------|--|---|---|-----------------------------------|---|
| 第 148 図・ 図版 118 | 大伊 | 口 | - | 0.87 13.2 | 口唇で両面に彫らむ、「U」字状の浅切り。 | 内外-赤釉-濃。口唇に白化粧土残る。白化粧-有。 | 褐色 やや粗 | HB① I 台494 | |
| | | | 14.6 | 0.95 112.5 | 口唇-剥離。無釉。 内-無釉貫入 外-全面に2色1組の縦線 | 外-赤釉-濃。内-赤-胎土-濃 内-無釉 | HB②イ I 台5082 | | |
| | | | - | 1.1 190.0 | 胴径3.5cm。胴厚1.6cm。腹付-方形。幅1.1cm。 内-浅い縦線貫入 外-全面に2色の浅い縦線。 | 内外-赤釉-濃 外-胴部の途中～底まで | 乳白色 やや粗 | HB① I 台494 | |
| | 大伊 | 底 | - | 0.8 35.1 | 内面に突起大(4.2×0.9cm)。三角形を彫り付け。 上面に幅1.6cmの帯の有り。 内-帯で彫り付け 外-帯のウレナ。無釉。口縁部は帯び状に施釉。 | 外-口縁部1.9cm帯び状に濃い赤釉。内-無釉 内-帯-赤褐色。 | 灰白色 やや粗 | HB① P8.9 II 305SD 台343 | |
| | | | - | 1.3 29.3 | 内-無釉貫入明瞭。 胴筋の上下に縦線を彫り、その間に幅0.1cmの溝を帯び字状に施す。左右に新輪を並べ、文様に濃 赤を打ける | 外-赤釉-淡。内-無釉 | 赤褐色 胎土 | HB① O-19*14 I 台241 | |
| | | | - | 1.9 245.0 | 脚径3.2×5.2cm。脚筋に砂付着。 内-無釉貫入。指貫 | 外-脚の一部まで濃い赤釉。 内-無釉。内-帯-赤褐色。 | 灰褐色 赤 砂付 | HB②イ Q8 II 28543K 台3369 | |
| | 第 149 図・ 図版 119 | 大伊 | 胴～底 (耳) | - | 0.52 298.0 | 胴径3.9cm。縦耳(耳8×1.3cm。乳0.7cm)4個 内外-無釉貫入明瞭。特に内面-無。 外-耳を中心左右に幅0.2cmの縦線。 | 外-赤釉-淡。突没。内-赤胎土。口げ全面 外-帯-腹付着。内-帯-不規則に施釉 胴筋周辺の途中まで白。 | 灰褐色 やや粗 | HB②イ QK59.10 II 2002S2 台3367 |
| | | | | 10.8 | 0.5 53.0 | 胴径14.9cm。縦耳(3.9×1.3cm。乳0.85cm)4個。 口唇幅0.8cm 内-無釉貫入明瞭。外耳中心に縦線有。 | 内外-赤釉-濃。口唇部は無釉。胴筋。 口唇部の内径(3.9cm。輪の無い)。 | 乳白色 やや粗 | HB① I 台494 |
| | | | | - | 0.7～1.0 11.2 | 胴径16.6cm。胴・腹・立ち上りの筋。底-高台に幅 1.5cmのU字状の浅切り。内面-無釉貫入 | 内外-無釉。 外-帯～底-濃釉。 | 灰色 やや粗 胎土に石質粒 | HB① P-Q10 II 240S2台449 Q49.9 3083K 台484+台490 |
| | | 大伊 | 底 | - | 1.0 410.0 | 底筋-腹付から縁(ハ)字状に立ち上がる。腹付 方形。幅0.75cm。胴筋。 内面に砂着。内-無釉貫入明瞭 | 外-赤釉-濃。内-赤胎土。失透。 外-帯～腹付。底筋。内底無釉。指貫有。 | 褐色 粗 も5ヶ 取27 | HB① P13 III 271SD 取27 |
| 2.8 | | | | 25.5 | 長頸。口・耳・筋。胴・女・存。残存胴径7.1cm。 外-胴部に無釉貫入。内-無釉貫入 口唇へ心頭部の途中まで濃赤釉。下部全浅い赤釉 | 外-赤釉-濃。淡(2色)。内-無釉 | 赤褐色 やや粗 | HB① QK39.10 II 2002S2 台3367 | |
| 5.0 | | | | 0.4 | 外反(アサギオ)。口・舌。 外-無釉貫入。背筋に砂着。 | 外-透明釉。内-透明釉。口唇・背筋? 白化粧-無。貫入 | 灰褐色 胎土 | HB①の南側 II 台3328 | |
| 大伊 | | アサギ オ | 口 | 8.8 | 0.4 | 外反(アサギオ)。口・舌 外-無釉貫入-弱 | 外-赤釉-濃。内-赤胎土。口縁のみ | 灰褐色 胎土 | HB① K-L12 II 15K 台377 |
| | | | | - | 0.35 22.1 | 丸。底筋-高台から丸みを帯びて立ち上がる。腹付 方形 内-無釉貫入-強 | 外-赤釉。内-無釉。 外-帯～底。底筋。内-無釉 | 明褐色 やや粗 | HB① P-Q8.9 II 3583K 台484 |
| | | | | 0.5 4.0 | 15.6 | ソロン型 内-無釉貫入明瞭 | 外-透明釉。内-無釉。白化粧-無。 外-帯～底。底筋 | 乳白色 やや粗 | HB① P13 II 274S2 台355 |
| 大伊 | | 脚台 | 脚 | - | 0.5 27.2 | 脚・丸(胴径8.7cm) 内-口唇に明瞭。 外-面の白化粧に濃赤あり。加飾? | 外-透明釉。内-無釉。白化粧-有。 | 乳色 やや粗 | HB① P-Q10 II 240S2 台490 |
| | - | | | 0.4～0.8 9.4 | 底状。角底5cm 内-浅赤明瞭。 外-濃赤の赤赤釉で縦線に施釉。加飾する。 | 外-透明釉内-無釉。白化粧-無。 貫入-無。 | 灰白色 胎土 | HB① O-P14 II II 台486 | |

第69表 器種別釉色使用比較

| 器種 | 釉色 | 灰釉 | 赤-胎 | 掛け分け | 白化粧有 | 合計 |
|--------|-----|----|-----|------|------|-----|
| 瓶 | 4 | 17 | 2 | 21 | 23 | 21 |
| 壺 | 21 | | | | | 21 |
| 大伊 | 6 | | | | | 6 |
| 香伊 | 1 | 1 | 1 | 2 | | 2 |
| 大取 | 1 | 3 | 2 | 6 | | 6 |
| 壺 | 2 | 8 | 2 | 12 | | 12 |
| 鉢 | 1 | 28 | 29 | | | 29 |
| 酒器 | 3 | | 3 | 6 | | 6 |
| 急須 | 1 | 20 | 36 | 57 | | 57 |
| 鉢 | 6 | 1 | 14 | 6 | 27 | 27 |
| 皿 | 7 | 1 | | 8 | | 8 |
| 小瓶 | 4 | 11 | 15 | 30 | | 30 |
| 瓶 | 90 | 31 | 48 | 244 | 413 | 413 |
| 瓶(小瓶原) | 32 | 17 | 17 | 303 | 369 | 369 |
| 瓶(甕原) | 313 | 42 | 27 | 39 | 421 | 421 |

(本遺跡II層出土のみ)

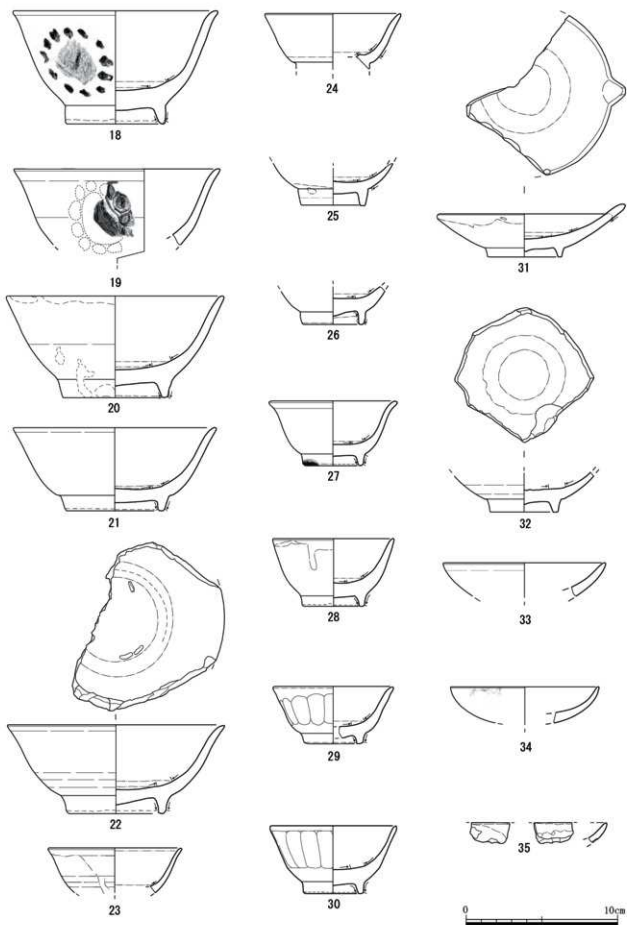




第144图 冲绳施釉陶器1



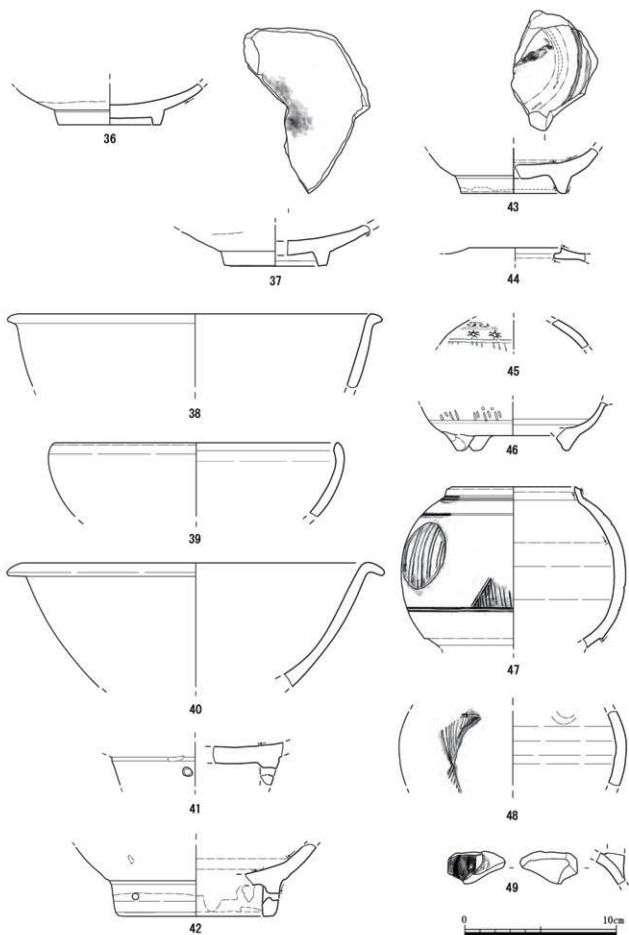
図版 114 沖縄産施釉陶器 1



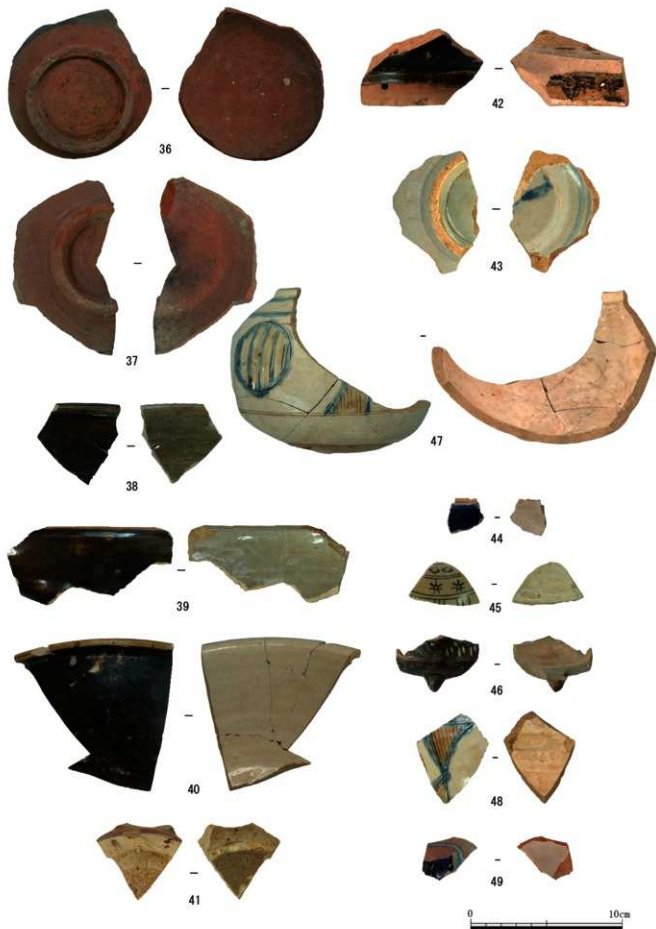
第145図 沖縄産施釉陶器 2



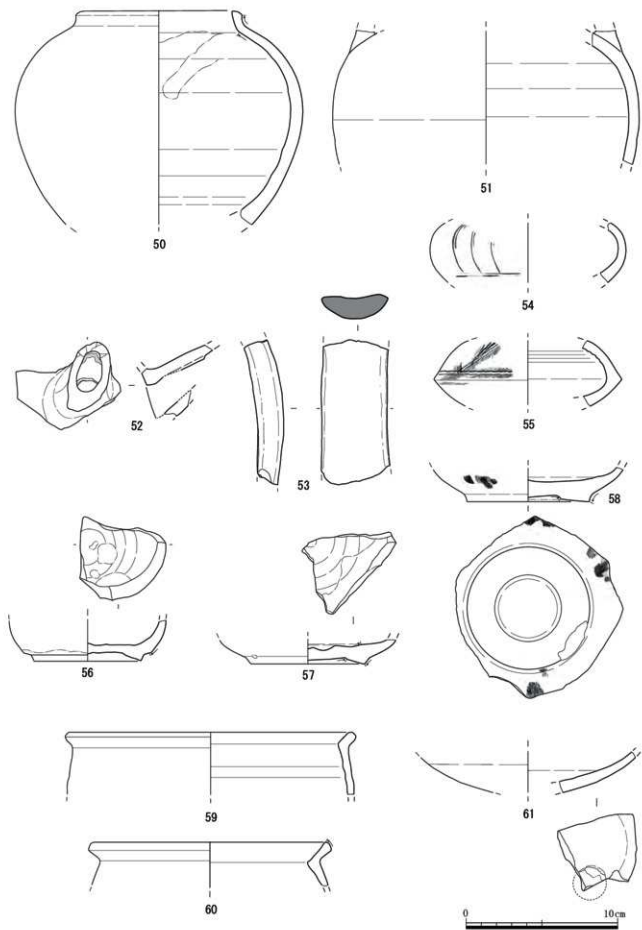
図版 115 沖繩産施釉陶器 2



第146图 冲縄産施釉陶器3



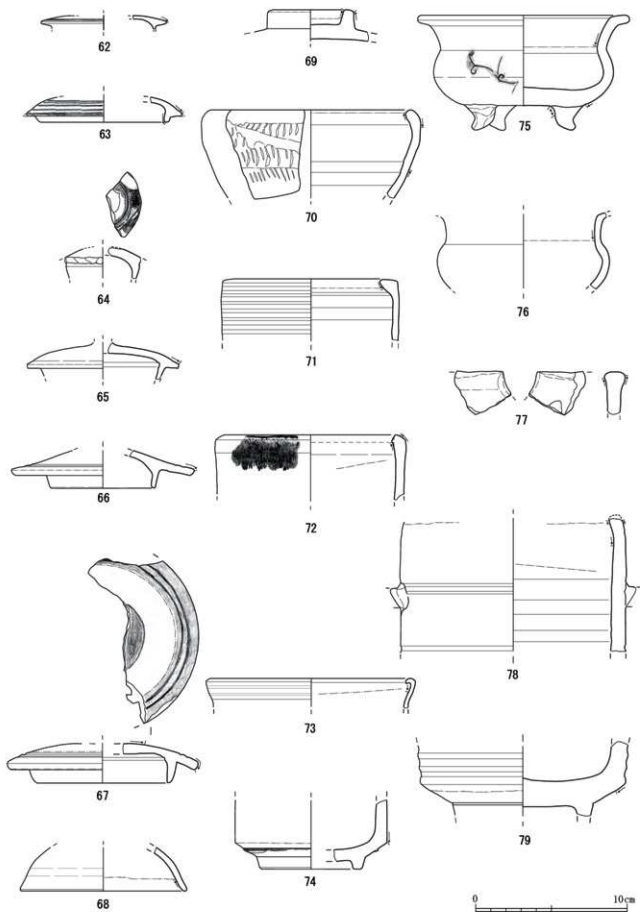
図版 116 沖縄産施釉陶器 3



第 147 図 沖縄産施釉陶器 4



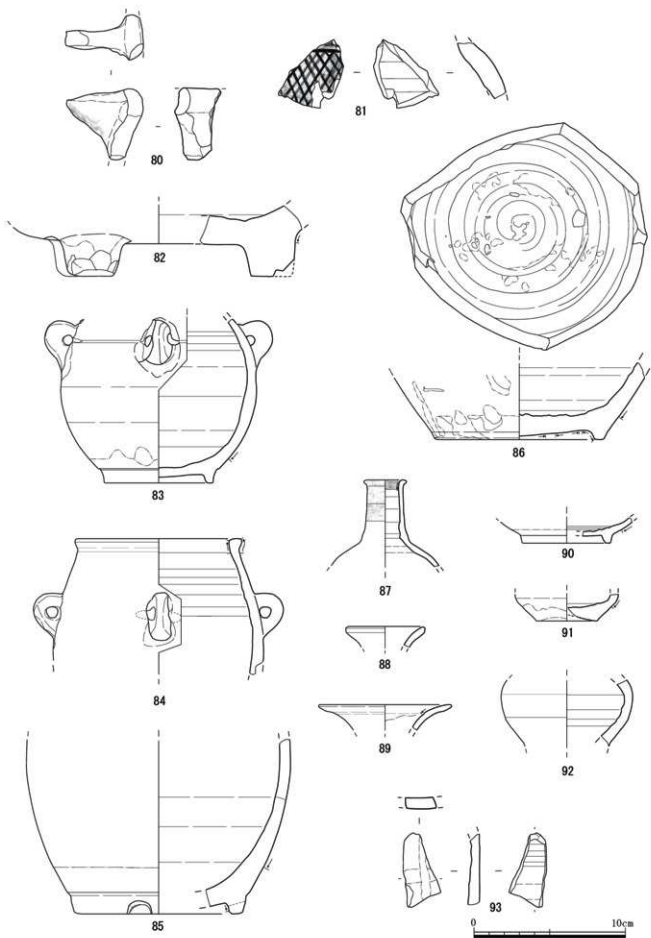
図版 117 沖縄産施釉陶器 4



第 148 图 冲繩陸地粘陶器 5



図版 118 沖繩産施釉陶器 5



第 149 图 冲縄産施釉陶器 6



图版 119 冲縄産施釉陶器 6

(2) 沖縄産無釉陶器

一般に「荒焼(アラヤチ)」と称されるもので、沖縄産の無釉陶器である。素地がアラヤチに近いのでマンガン釉・泥釉を施すものもここに含めた。第72表に器種ごとの出土量、第151図に出土分布を示した。

碗3点、皿10点、播鉢98点、鉢48点、火炉9点、瓶24点、急須1点、壺135点、甕75点、厨子甕2点、器種不明525点の計930点の出土である。

地区別にはHB①地区で590点、HB②イ地区で136点、HB②ロ地区で194点、HB④イ地区で10点。層別にはI層286点、II層558点、III層75点、IV層11点で、そのほとんどはI・II層で90.8%の出土である。主な器種については図(第152～157図・図版120～125)、観察一覧(第73表)に示した。以下、器種別に略述するがその器種に応じて分類集計を行った。

<碗> 3点が得られ、すべて図示した。急須・厨子甕に次いで少ない。図1と図2はいずれも直口口縁で断面はやや丸みを持つものである。図3の底部は腰部が丸み帯び、湾曲するもので、壺屋古窯群I(第36図10)に酷似するが、図示した口縁部とは形状は異なる。出土地をみると図2がK15 155P(III層)、他2点はI層の出土である。

<皿> 口～底部1点、口縁部6点、底部3点の計10点である。図4と図5を図示した。図4はHB②ロ地区R12 2049SD(III層)の出土で壺屋古窯群Iの小皿b類に相当するもので灯明皿として用いたと考えられる。灯明皿は沖縄産施釉陶器(図31)にも見られる。図5は口縁部としたが、器厚や傾きから脚台の可能性も考えられる。

<播鉢> 口～底部2点、口縁部19点、胴部64点、底部13点の計98点で、壺に次いで多い。

層別にみるとI層27点、II層50点、III層20点、IV層1点の出土であるが、IV層の1点はHB②ロ地区S9の出土で、III層の紛れ込みの可能性が高い。

安里・他(1987)の分類を参考に器形や櫛目の状況から4種に分類し、破片のため分類できないのは中間タイプとした。下記に略述する。

I類：口縁は「く」字状に屈曲し、その下部に1～2本の稜線を有するもので、口唇幅が1.3～1.7cmを測る。口縁部5点、胴部8点、底部2点の計15点得られた。図6・7とも破片であるが口縁形状で確認できたので示した。図6は口縁部がやや内傾し、図7は口縁部が若干丸みを帯びるものである。

II類：口縁は幅が1.8cm前後の逆「L」字状を呈し、底部は直状に立ち上がる。櫛目は粗く、間は空白をなす。I類に近く、外面の稜は明瞭である。口～底1点、口縁部6点、胴部6点の計13点の出土である。図8はほぼ完形で櫛目幅1.3cmを測り、櫛と櫛の間は間隔を空ける。口唇に0.9×3.0cmの楕円状の目痕が数個確認でき、その大きさは薩摩焼の貝目に近い。本品はHB①地区271SD(III層)とHB②イ地区I層、HB④地区II層出土の資料が接合でき、III層の時期に上限を求めることができる。同様な製品は「首里城跡-御内原北地区(2)」(2013)でいう「初期無釉器」²¹⁾に類似するものと思われる。図9は胴部で、やや丸みを帯びるが櫛目が粗く、間隔が空くことからここに含めた。

I or II類：I類あるいはII類に分類不可能なものをここで扱った。胴部23点、底部6点の計29点である。そのうち、底部(図10～12)を図示した。いずれも底部からの立ち上がりは直状で、播目は粗く、間隔が空くと思われる。図11は自然釉があり、胎土等は図8に類似する。

III類：I・II類とIV類の間で、両方に属さないものをここに分類した。口縁部2点、胴部

10点、底部1点の計13点である。そのうち胴部（図13）と、底部（図14）を図示した。図13は胴部の形状がまっすぐ、櫛目も間隔が空く点でⅡ類に近いが、内唇で櫛目をナデ消す部分はⅣ類と共通する。砂質で陶質土器に近い。HB②ロ地区S9V層の出土である。

図14は底部の立ち上がりが僅かに丸みを帯び、Ⅳ類に近いが、櫛目の間隔が空き、暗紫色で沖縄産無釉陶器でも古手の様相を呈する。HB②イ地区I層の出土である。図8もこの地区で得られており、その可能性は高い。

Ⅳ類：口縁部が逆「L」字状、底部が丸みを帯び、櫛目が隙間無く施されるものである。口～底部1点、口縁部6点、胴部17点、底部4点の計28点の出土である。図15は口径31.8cm、底径12.4cmと出土した播鉢の中では最も大きい。口縁部の「L」字幅も3.5cmと最大で、口唇に1条の圈線を施すものである。

播鉢の櫛幅をみると1.3～2.4cmの間に0.1cm単位で見られ、櫛幅が大きいほど櫛目が細かい傾向が見られる。

分類別の出土量をみるとⅠ・Ⅱ類が58.1%、Ⅳ類が28.6%、Ⅲ類が13.3%で安里・他（1987）で古いとされるⅠ・Ⅱ類のタイプが優位を占めている。

第70表 播鉢分類別出土量

| 地区 | 分類 | 層位 | Ⅰ類 | | | Ⅰ or Ⅱ | | | Ⅱ類 | | | Ⅲ類 | | | Ⅳ類 | | | 合計 |
|------|----|--------|----|---|----|--------|---|---|----|---|----|----|---|----|----|----|----|----|
| | | | 口 | 胴 | 底 | 胴 | 底 | 口 | 底 | 口 | 胴 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | | |
| HB① | Ⅰ | 062SK | 1 | | 1 | 5 | 3 | | 1 | 1 | 1 | | | | 2 | 3 | 1 | 17 |
| | | 063P | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | 4 | 1 | 16 |
| | | 240SZ | | | | 1 | 1 | | | | | 1 | | | 1 | 1 | | 3 |
| | | 274SZ | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 1 | | 1 |
| | | 358SK | | | | 2 | | | | | | | | | | 1 | 3 | 3 |
| | Ⅲ | 359SK | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 2 | 2 |
| | | 271SD | 1 | | 2 | | | | | | | | | 2 | 1 | 1 | 7 | |
| | | 198SK | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | | 149SK | | | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| | | 304SD | | | | 2 | | | | | | | | | | | 2 | 4 |
| 小計 | | | 2 | 2 | 4 | | 2 | 2 | 1 | 3 | | | 5 | 14 | 4 | 62 | | |
| HB②イ | Ⅰ | | 1 | 3 | | | | 1 | | | | | 1 | | | | 6 | |
| | Ⅱ | 1018SX | | | | | 1 | 1 | 1 | | 2 | | | | | | 5 | |
| | 小計 | | 1 | 3 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | | | | | 11 | |
| HB②ロ | Ⅰ | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 2 | |
| | | 2002SZ | | 2 | | | | | 1 | 1 | 2 | | 1 | | 1 | | 7 | |
| | Ⅱ | 2003SZ | | | | | | | | 1 | 2 | | | | | | 2 | |
| | | 2004SX | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | 2 | 1 | |
| | | 2054SX | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | 4 | |
| 小計 | | 2 | | | | | 1 | 3 | 1 | 5 | | 1 | 1 | 3 | 17 | | | |
| HB④イ | Ⅰ | | | | | | | 2 | | | | | | | | | 2 | |
| | Ⅲ | | 2 | 3 | | | 1 | | 2 | | | | | | | | 6 | |
| 小計 | | 2 | 3 | | | 1 | | 2 | | | | | | | | | 8 | |
| 合計 | | 5 | 8 | 2 | 23 | 6 | 1 | 6 | 6 | 2 | 10 | 1 | 1 | 6 | 17 | 4 | 96 | |

＜鉢＞口縁部28点、胴部5点、底部15点の計48点の出土である。層別にはⅠ層で16点、Ⅱ層で29点、Ⅲ層で3点である。第71表に分類別出土量を示した。

花鉢も口縁部12点、胴部1点得られたが集計は鉢に含めた。それ以外の鉢を大きさ口縁部の形態から5種に分類した。

a：器厚が0.5～0.6cmの薄手で胎土が泥質（図16）

口縁部1点で、HB①地区I層の出土である。薄手で還元焰焼成で、外面に暗灰色の失透釉が塗布され、沖縄産無釉陶器の概念から若干外れるが、器形が酷似することからここに含めた。

b：器厚が0.8cm前後、口径が14cm前後、砂質あるいは硬質のもの（図17～19）

小ぶりのタイプはいずれも暗茶褐色を呈し、図18は頸部に2条の圏線を圍繞し、口縁部のくびれを明瞭にする。壺屋古窯群Ⅰの第Ⅰ類aに相当するものである。

c：bと同じ厚さで口径が20～30cm大（図20・21）と大ぶりのタイプである。いずれも内彎するが、その断面は逆「L」字状（図21）、角（図20）を呈するものがある。

d：内彎の口縁部で、口縁部が丸みを帯び、先端で膨らむもので、10点出土した。図22・23の口縁部と図24の底部を図示した。

e：前述の大きさを超えるものである。図25は図21と類似するが、口径が31.2cmと大きいためここに含めた。破片で推定口径のためcに含まれる可能性もあるが、口縁部の太さなどから大きくなると判断した。図26は底径11.0cmを測るが、胴部がかなり張り、内面の調整も丁寧なことから鉢の底部とした。底厚は0.8cmと他の鉢の底部に比べても薄い。そのため、底部近くを粘土で補強し、安定させているようである。HB②イ地区1018SXⅡ層の出土である。

<火炉> 口縁部1点、胴部2（耳1）点、底部6点の計9点である。全体の1.0%で、器種としてはやや少ない方である。いずれも頸部で「く」字状に屈曲する筒状のタイプと考えられるもので、図27は耳を持ち、図28・29は三脚タイプの底部、図29はやや大きいサイズである。出土地をみると図27がHB①地区359SK、図28がHB②ロ地区2002SZ、いずれもⅡ層に属する遺構である。

<瓶> 口縁部5点、胴部15点、底部4点の計24点で、全体の2.6%を占め、やや多い方である。すべて破片で、口縁部、胴部、底部の特徴から以下の8種に分類される。

a：口縁部がアサガオ状に外反する（図30）、b：頸部がなで肩を呈する（図31）、c：胴部全体が丸みを帯びる（図32）、d：やや肩の張る（図33）、e：胴部が寸胴のタワカサー（図34）、f：胴部が太鼓状に膨らむ（図35）、底部ではg：底径5.2cmで直状に立ち上がる（図36）、h：底径9.6cmで直角に立ち上がる（図37）がある。

図34は壺屋古窯群Ⅰでは、徳利Ⅳ型に分類されている。図37は紫泥に白粘土で加飾するものである。

<急須> 1点のみの出土で、図38は口径10.4cmの立口の口縁で、肩が丸みを帯びることから急須（土瓶）の口縁部と考えられるものである。HB②イ地区（Ⅰ層）の出土である。

<壺> 口～底部1点、口縁部19点、胴部91点、底部24点の計135点で、14.5%を占め最も多い。出土地別にはHB①地区94点、HB②イ地区7点、HB②ロ地区で34点の出土で、HB①、HB②ロ地区などⅣ層以上の分布が確認されるところが多い。

壺は大きさと口縁部の形態で分類が可能である。大きさは小と大、形状で有頭、なで肩、口縁部断面が「L」字状などがあるが、破片が主なため分類は一貫しない。

小はなで肩（a）、有頭（b）に分けられる。

小a：図39はなで肩で器厚が0.5cm前後で、肩部に6条の圏線が施され、口縁部方向に間隔は狭くなる。外面から内面の頸部にかけてはマンガン釉を掛ける。

第71表 鉢分類別出土量

| 地区 | 層位 | 遺構 | 分類 | | | | | 花鉢 | 不明 | 合計 |
|------|----|--------|----|---|----|----|---|----|----|----|
| | | | a | b | c | d | e | | | |
| HB① | Ⅰ | 001SK | 1 | 4 | 4 | 3 | 1 | | | 13 |
| | | 029F | | 2 | 1 | 1 | | 4 | | 6 |
| | | 062SK | | 1 | 1 | | | 2 | | 4 |
| | | 063P | | 1 | | 1 | | | | 2 |
| | | 240SZ | | | 1 | | | 1 | | 2 |
| | | 305SD | | | | 1 | | | | 1 |
| HB① | Ⅲ | 358SK | | | 1 | | | | 1 | 3 |
| | | 271SD | | | | | | | 1 | 1 |
| | | 304SD | | 1 | | | | | | 1 |
| | | 小計 | 1 | 8 | 8 | 6 | 1 | 8 | 2 | 34 |
| HB②イ | Ⅱ | 1003SZ | | | 1 | 1 | | | | 2 |
| | | 1005SZ | | | | | | 1 | | 1 |
| | | 1016BS | | | | | | 1 | | 1 |
| | | 1018SX | | | 1 | | 1 | | | 2 |
| | | 小計 | | | 2 | 1 | 1 | 3 | | 7 |
| HB②ロ | Ⅱ | 2002SZ | | | | 1 | | | | 2 |
| | | 2004SX | | | 1 | | | 2 | | 3 |
| | | 2054SX | | | | 2 | | | | 2 |
| | | 小計 | | | 1 | | | | | 1 |
| | | 小計 | | | 2 | 3 | | 2 | 7 | |
| 合計 | | | 1 | 8 | 12 | 10 | 2 | 13 | 2 | 48 |

小b：口縁部は「L」字状を呈し、断面が方形で有頸の壺になる図40・41がある。図40は「L」字幅が1.7cmで口径や口縁部の形状から穀物入れ²¹⁾の可能性が想定される。図41は前者より若干大きく、窯印がある。スーチカーガミ²²⁾に類似する。図42は胴部で最大胴径17.8cmを測る。胴上部に圏線を1条施すもので、ほぼ同位置に0.2×0.4cmの孔を外側→内側から穿孔するが用途は不明である。

底部の図44は底径が9.0cm、器厚0.9cm、底面は縁に粘土を貼り付け、上げ底状を呈する。図43は底径8.4cmを測るものである。

図45は口縁部の欠ける資料であるが、類例から小bとした。

大：図46・47は大型の壺でいずれも窯変のため、崩れたり、外面がふくれたり、剥がれが残るもので、図46はI層、図47はII層の遺構2054SXの出土である。これらの粗悪品を容器として用いたかは疑問が残る。

図48は完形で口縁部は幅2.0cmの蒲鉾状を呈し、なで肩で、肩部に3つの横耳を貼り付け、外底は竈で角を削り、やや丸みを帯びる。内底は幅4.0cmの竈で、縦位に調整した後、底縁に沿うようにナデられている。また、胴上部に「十一」の窯印が刻まれており、内間(2002)の調査によるとその窯印は壺屋の屋号「新屋敷」、家名をウフヤー島袋(四男)とのことである。<壺>口縁部14点、胴部50点、底部11点の計75点で全体の8.1%である。出土地別にはHB①地区で52点、HB②イ地区で11点、HB②ロ地区で12点である。

図49・50は胴部である。前者が肩部に粘土を貼り付け、指で押して縄目状を呈するものである。後者は胴部に波状文と沈線文を交互に施す。いずれも水甕の特徴的な文様である。このほかにIII層のHB①地区271SD、II層のHB②ロ地区2002・2054SZ、HB①地区229SZ・358SZで出土している。<厨子壺>HB②ロ地区で底部と胴部が各々1点の出土である。本器種は沖縄産施釉陶器でも1点得られ、戦前にかき集められた2002SZやII層から出土である。

<器種不明>主に胴部片で器種が特定できないものである。

全体の56.5%(525点)を占め、器厚別にみると4~6mmが61点、7~10mmが159点、11~13mmが270点、計測不可が35点で、後2者はその厚さから壺や甕の破片と考えられる。これら胴部片からも貯蔵用の壺や甕が沖縄産無釉陶器の主体であることがわかる。

<註・参考文献>

那覇市教育委員会 1992 『壺屋古窯群1』 那覇市文化財調査報告書第23集

沖縄県立埋蔵文化財センター 2013 『首里城跡-御内原北地区(2)』 沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書第69集

安里 進・他 1987 「蒲鉾編年からみた近年琉球窯業の展開」『あじま』第3号 名護市博物館

沖縄県教育委員会 2002 『沖縄の陶器類関係資料調査報告書』沖縄県文化財調査報告書142集

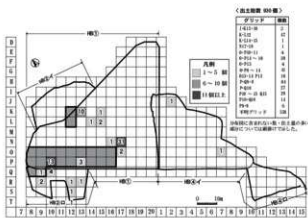
内間 靖 2002 「壺屋の判と屋号・家名一覧表」より

註1 沖縄県教育委員会 2002 「沖縄の陶器類関係資料調査報告書」 沖縄県史料調査シリーズ第三集 P49

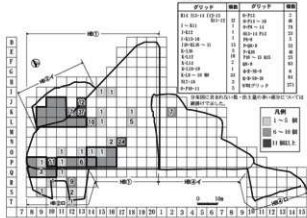
註2 沖縄県教育委員会 2002 「沖縄の陶器類関係資料調査報告書」 沖縄県史料調査シリーズ第三集 P141

第72表 沖縄産無釉陶器出土量

| 地区 | 種別 | 前 | | 屋 | | 種持 | | 大伊 | | 飯 | | 魚 | | 壺 | | 餅子壺 | | 壺 | | 不明 | | 合計 | | | | | | | | | | | |
|------|----|--------|---|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|-----|---|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|
| | | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | | | | | | | | |
| HB① | I | | 1 | | 2 | 1 | 4 | 12 | 1 | 7 | 1 | 5 | | 1 | 4 | 2 | | 4 | 24 | 5 | | 19 | 2 | 135 | 1 | 221 | | | | | | | |
| | | 047SZ | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 9 | | | | | | 56 | | | | | | | |
| | | 001SK | | | | | 2 | 9 | 5 | 3 | 2 | 1 | 1 | | 1 | | | | 1 | 1 | | 2 | 7 | 1 | 1 | 4 | 13 | | | | | | |
| | | 008SZ | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | | 023PF | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | 4 | 1 | | | | | | |
| | | 062SK | | | | | | 1 | 2 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 9 | 22 | | | | | | |
| | | 063PF | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 3 | | | | | | |
| | | 064PF | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 7 | | | | | | |
| | | 072PF | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 | 7 | | | | | | |
| | | 063SZ | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 4 | 1 | | | 18 | 1 | 26 | | | | | |
| | | 065PF | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 3 | | | | | | |
| | | 066PF | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | | | | | | |
| | | 100SZ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | | | | | | |
| | | 108PF | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 3 | | | | | | |
| | | 109PF | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | | | | | | |
| | | 229SZ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 3 | | | | | | |
| | | 249SZ | | | | | | 4 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | 8 | 8 | 50 | | | | | | |
| | | 274SZ | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 24 | 2 | 46 | | | | | |
| | | 288SS | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | 5 | | | | | | |
| | | 305SD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 5 | | | | | | |
| | | 338SK | | | | | | 3 | 3 | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | 3 | 52 | | | | | | |
| | | 359SK | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 32 | 5 | | | | | | |
| | | 138P | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | | 149SK | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | | 155P | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | | 189SK | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | | 198SK | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | | 209P | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | | 225SZ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 3 | | | | | | |
| | | 271SD | | | | | | 3 | 3 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 10 | 1 | 25 | | | | | |
| | | 304SD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | 11 | | | | | | |
| | | 372SK | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 2 | | | | | | |
| | | IV | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 3 | | | | | | |
| | 小計 | 1 | 1 | 1 | 4 | 1 | 10 | 42 | 10 | 19 | 5 | 10 | 1 | 2 | 4 | 2 | 5 | 2 | | | 12 | 7 | 11 | | 3 | 42 | 7 | 217 | 6 | 900 | | | |
| HB② | I | | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | | | 7 | 1 | 1 | 1 | 27 | 49 | | | | | | | |
| | | 1003SZ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 11 | 5 | | | | | | |
| | | 1044SZ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 | 15 | | | | | | |
| | | 1005SZ | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | | 1006SK | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 9 | 15 | | | | | | |
| | | 1016SZ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | | 1018SK | | | | 1 | | 1 | 3 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 21 | 33 | | | | | | |
| | | 1018SX | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 3 | | | | | | |
| | | 1018SX | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 6 | 6 | | | | | | |
| | | IV | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | 小計 | | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 6 | 2 | 5 | 0 | 2 | | | | | | | | | 8 | 3 | 1 | 5 | 31 | 6 | 36 | | | | | | |
| HB③ | I | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 | 17 | | | | | | |
| | | 2002SZ | | | | 1 | | 1 | 6 | 2 | | | | 1 | 3 | 1 | 1 | | | | | | | | | 38 | 1 | 64 | | | | | |
| | | 2003SZ | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 16 | | | | | | |
| | | 2004SX | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 8 | 12 | | | | | | |
| | | 2054SX | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 31 | 63 | 194 | | | | | |
| | | 2007P | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 4 | 10 | | | | | | |
| | | 2049SD | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| | | 2072P | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 3 | | | | | | |
| | | IV | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | | | | | | |
| | | 小計 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 13 | 4 | 3 | | | | 2 | 3 | 7 | 2 | | | 1 | 5 | 19 | 9 | 1 | 3 | 5 | 4 | 1 | 102 | 2 | 194 | |
| HB④ | I | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 3 | | | | | | |
| | II | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 3 | | | | | | |
| | 小計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | 6 | | | | | | |
| 合計 | | 2 | 1 | 1 | 6 | 3 | 2 | 19 | 64 | 13 | 26 | 5 | 15 | 1 | 2 | 6 | 5 | 15 | 4 | 1 | 1 | 19 | 91 | 24 | 1 | 1 | 14 | 50 | 11 | 4 | 513 | 8 | 900 |
| 器種別計 | | 3 | | 10 | | 3 | | 98 | | 48 | | 9 | | 24 | | 1 | | 135 | | 2 | | 75 | | | 625 | | | | | | | | |



第150図 沖縄産施釉陶器出土平面分布



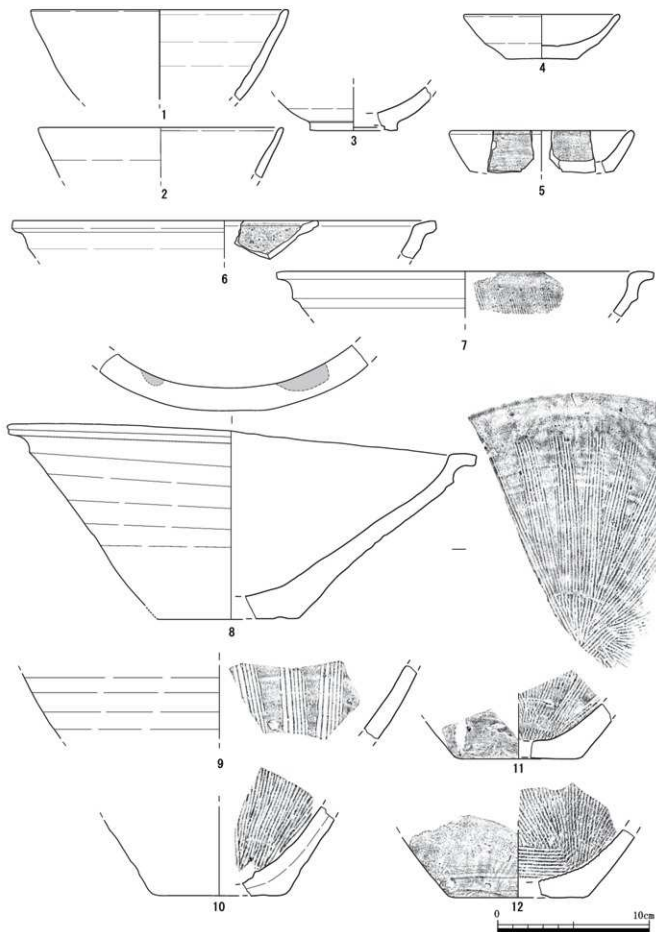
第151図 沖縄産無釉陶器出土平面分布

第73表-1 沖縄産無釉陶器観察一覧

(法量単位:cm,g)

| 所属 図版 番号 | 器種 | 分類 | 部位 | 口径 器高 底径 | 器厚 重量 | 形状・文様・備考 | 色調 | 器面調整 | 混和材 | 焼成 | 地区・グリッド・層位 産地・台帳記上番号 |
|----------------|---------|---------|---------|----------------------|----------------------|---|--|---|-------------------|------------|---|
| 1 | 甗 | | 口 | 17.0 — 40.5 | 0.6 — — | 口:直口, 断-内管調丸, 外唇にやや高, 僅かに外唇に彫らる。 | 外:暗灰~茶色 内:暗茶色, 暗茶色 | 内外:轆轤痕 | 粗-石英, 赤鉄 線-白粒△ | 良+ 硬質 | HB20 I 台3327 |
| | | | 口 | 16.2 — — | 0.5 — 14.6 | 口:直口, 断-舌, 内面やや窪む | 外:暗茶色 内:明茶色 中:雲褐色 | 外:轆轤痕△ 内:轆轤, 指痕 | 粗-石英△ | 良+ 硬質 | HB11 K15 III 15SP 0616 |
| | | | 底 | 0.7~0.9 — 19.3 | — — 5.8 | 底:高台, 底付幅0.8cm, 方形, 高台底に, 壺量1-第36図10に類似。 | 内外:暗灰~茶色 暗茶色 | 外:滑り | 粗-石英○ | 良+ やや硬質 | HB10 O-P8~14 I 台241 |
| 4 | 甗 | | 口~ 底 | 10.4 — 4.8 | 0.6~0.7 — — | 口:直口, 断-丸, 底:直底, やや上底。 | 内外:暗灰色 中:茶色 | 外:底面立ち上がり, 滑り 内:轆轤痕△ | 砂粒△ 線黒粒△ | 良+ | HB20 RI2 III 2049SD 取2011 |
| | | | 口 | 12.2 — 8.6 | 0.6~0.8 — 13.7 | 口:直口, 断-丸, 器壁が厚く, 脚台の可能性あり。 | 内外:暗茶色 | 内外:轆轤痕△ | 粗-石英△ 線-黒粒△ | 良+ | HB11 I 台494 |
| 6 | I | 口 | 口 | 27.8 — 19.4 | 0.9 — — | 口:外反(上)1.5cm, 断-角丸, やや内向, 口縁部下の横線は1本で絶つ。(安1) | 内外:明灰色 中:暗茶色 | 内外:轆轤痕△ 口唇下削る。 | 粗-赤粒, 石英△ | 良- | HB10 O-P14~16 II 台486 |
| | | | 口 | 24.8 — — | 0.7 — 34.3 | 口:外反(上)1.7cm, 断-丸, 口縁下の横線, 上段-強, 下段-弱の2本, 幅幅1.3cmと強く, 脚台1本, 脚-空白, 内唇下3.0cmは指で觸るとさかすか。(安1) | 内外:暗茶色, 口唇に 暗茶色 中:暗茶色 | 外:ナデ 内:轆轤痕 | 粗-石英○ | 良+ | HB20 I I 台3082 |
| 8 | II | 口~ 底 | 口 | 29.0 — 9.1 | 0.6 — 219.5 | 口:外反(上)1.8cm, 断-筒, 口縁下の横線, 上段-強, 下段-弱, 底:直状, 口唇に0.9cm×3.0cmの自然(粘土)脚幅1.3cmと強く, 脚台1本, 脚-空白, 内唇下3.0cmは指で觸るとさかすか。(安1) | 内外:暗黒(マンガン シラ)の自然(光沢) 暗茶色 中:暗茶色 | 外:口縁部下部 から底部まで轆 轤痕△, 内:口縁 3.0cmはナデ | 粗-石灰粒○ | 良+ | HB20 I 台3082+HB 10CP14~16 II 台 486+Q10-15 III 271SD 台491 |
| | | | 口 | 12.3 — — | 1.0 — — | 脚幅1.7cm, 6本1組, 脚目-粗, 脚-空白, 最大脚径26.0cm。 | 外:赤褐色 内:暗茶色 中:暗茶色 | 外:轆轤痕○ 脚目-粗 | 粗-赤粒○ | 良- | HB20 I 台3385 |
| 10 | I or II | 底 | 底 | — — 9.0 | — — 100.8 | 底:直状, 脚目幅1.7cm, 7本1組, 粗, 無。 | 内外:暗褐色。 | 外:轆轤痕, 底部 角は削り | 砂質, 粗茶 粒, △ | 良 | HB20 I K18~10, M19 II 1018SX 台3296 |
| | | | 底 | — — 8.4 | — — 94.5 | 底:直状, 脚幅1.0cm, 5本1組, 脚目-粗, 脚-空白。 | 内外:暗茶~黒色, 自然線 中:暗茶色 | 内外:轆轤痕△ 粗-黒粒△ | 粗-石英, 黒 粒△ | 良+ | HB20 I K2 III 台139 |
| 12 | III | 底 | 底 | — — 8.6 | — — 144.3 | 底:直状, 脚目幅2.3cm, 10本1組, 粗。 | 内外:茶色 中:暗茶色 | 外:底立ち上り均 幅2.0cm及び底 面磨り, 角削。 | 粗-石英△, 粗-黒粒△ | 良+ | HB10 O-P14~16 II 台486 |
| | | | 底 | — — — | 0.9~1.0 — — | 最大脚径25.0cm, 底部~脚部の形状は直状, 脚幅1.6cm, 8本1組, 下から上へカーブを呈し, 脚目-粗, 脚-空白。 | 内外:暗褐色 中:暗褐色 | 外:轆轤痕○ 内:口唇ナデ 脚幅による白粒 | 粗-黒粒△ | 良 | HB20 S9 IV 台3332 |
| 14 | IV | 底 | 底 | — — 11.2 | — — 234 | 底:立ち上り丸み, 脚幅2.1cm, 18本1組, 脚-粗, 脚-空白。 | 内外:暗茶色, 自然 線△ | 内外:轆轤痕△ 層状, 磨れ | 石英△, 層状, 磨れ | 良+ | HB20 I 台3082 |
| | | | 口~ 底 | 31.8 — 13.4 | 0.9 — 317.5 | 口:外反(上)3.5cm丸味, 断-方形下端 やや彫らる, 口唇に脚幅1本, 底:丸 み, 脚目幅2.0cm, 脚-密(安IV) | 内外:赤褐色 | 外:轆轤痕△, 底 部角を削削 内:口縁から 3cm, ナデ | 粗-赤-茶粒 △ | 良+ やや砂質 | HB20 QSK9.10 II 2002S2 台3367 |
| 16 | a | 口 | 口 | 19.2 — 19.7 | 0.5~0.6 — — | 口:内管, 断-丸, 幅0.8cm, 脚部垂る, 内外灰色を塗布。 | 内外:灰色 | 内外:轆轤痕 | 赤粒△ | 良+ やや重質 | HB11 I 台494 |
| | | | 口 | 13.2 — 7.0 | 0.8 — 103 | 口:内管, 断-幅1.1cm, 口唇平ら, 底:直状, 脚部垂る(脚径14.0)3条1組の裏状文(脚), 壺量(1)第一類。 | 外:暗灰~茶色 内:暗灰色 中:暗茶褐色 | 内外:轆轤痕△ 内:脚部付着 凹線 | 赤粒△ | 良+ | HB11 I 台644 |
| 18 | b | 口 | 口 | 14.0 — — | 0.8 — 48.3 | 口:内管, 断-幅1.2cm, 口唇内管, 脚部垂る(脚径15.0cm), 文様:両面に脚幅(2条), 壺量(1)第一類。 | 外:暗灰~茶色 内:暗灰色 中:暗茶褐色 | 内:轆轤痕△ | 粗-白粒△ | 良+ | HB11 I 台644 |
| | | | 底 | — — 7.2 | 0.7~0.8 — 170 | 口:内管, 底:直状, 脚部垂る(脚径13.0cm)。 | 内外:暗灰色 中:暗茶褐色 | 内外:磨り 内:轆轤痕△ | 白粒△ | 良+ | HB10 O-P8~14 I 台239 |
| 20 | c | 口 | 口 | — — 3.4 | — — 12.0 | 口:内管, 断-角, 幅1.32cm, 口唇部分に粘土加える, 脚部は削り, その上部に表状文飾す, 底状文(角)2条, 壺量(1)第一類。 | 内外:赤褐色 | 内外:ナデ滑し | 粗-白粒△ 粗-赤粒△ | 良+ 砂質 | HB20 S12.13 II 2004SX 台3161 |
| | | | 口 | 27.0 — 88.5 | 0.9 — — | 口:内管, 断-幅1.8cm, 口唇平ら, 脚部垂る(脚径29.6cm)口唇に脚幅(1条)両面に5条1組の裏状文。 | 内外:暗赤褐色 中:茶褐色 | 内外:轆轤痕△ | 白-赤粒△ | 良+ 硬質 | HB10 O-P8~14 I 台239 |
| 22 | d | 外 | 面 | — — 4.6 | 0.6~0.8 — 33 | 口:内管, 舌状, 先端で彫らる, 文様:外面を赤い土で区画, 波文を連続する | 内外:赤褐色中:茶 褐色 | 内外:轆轤痕△ | 粗-石灰粒△ やや重 | 良+ | HB11 N17 II 063P 台360 |
| | | | 口 | 20.0 — 59.6 | 0.6 — — | 口:内管, 丸, 口唇近くで厚くなる, 脚-垂る(脚径22.3cm), 外-脚幅1本3条1組の裏状文(脚)。 | 内外:赤褐色 | 内外:轆轤痕△ | 粗-茶粒△ やや重 | 良 やや砂質 | HB20 I I 台3082 |
| 24 | 底 | | 底 | — — 11.0 | 0.9~1.1 — — | 底:立ち上り均縁や小に彫る。 | 外:赤褐色 内:灰~赤褐色 | 外:脚幅6cmの厚削り 内:轆轤痕△ | 粗-茶粒△ やや重 | 良+ やや砂質 | HB11 II 台485 |

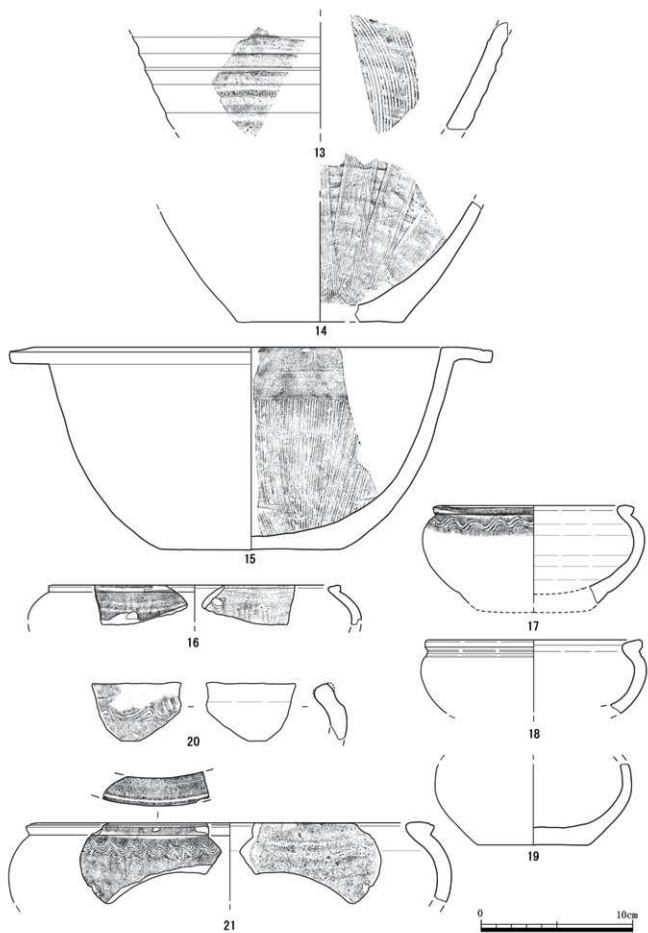
凡例 (○)多 (△)風通 △少 △僅少 良+非常に近い 良-近い 良-やや近い (安) 安1987 産地(1):壺量古案群 1992の分類を示す



第152図 沖繩産無軸陶器1



図版 120 沖縄産無釉陶器 1



第153図 沖縄産無釉陶器2



13

14



15



16



17



20



21



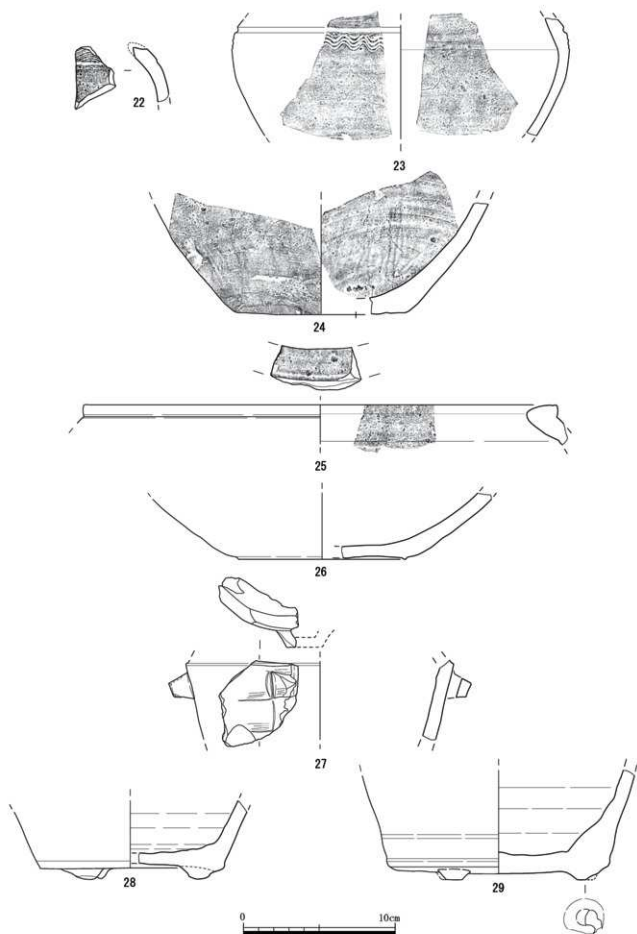
18



19



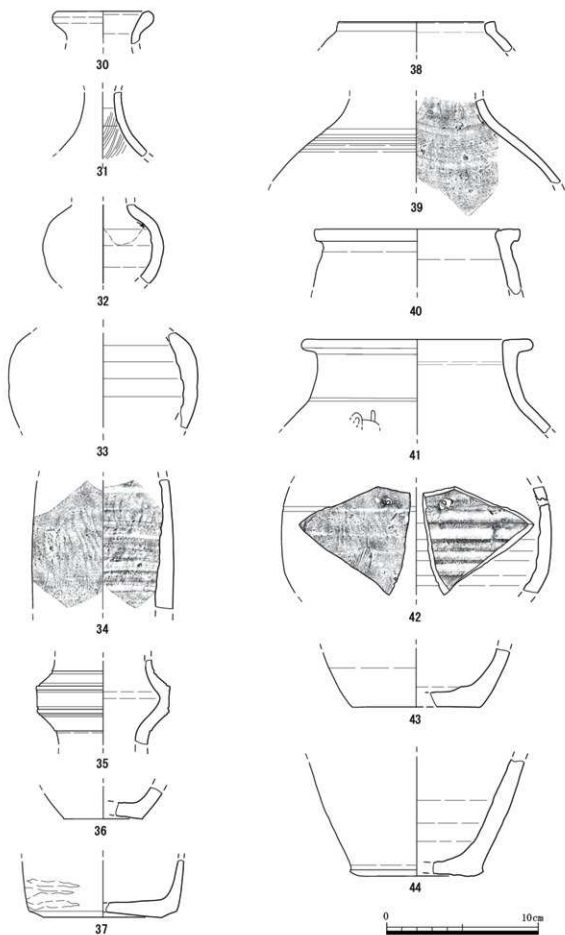
図版 121 沖縄産無釉陶器 2



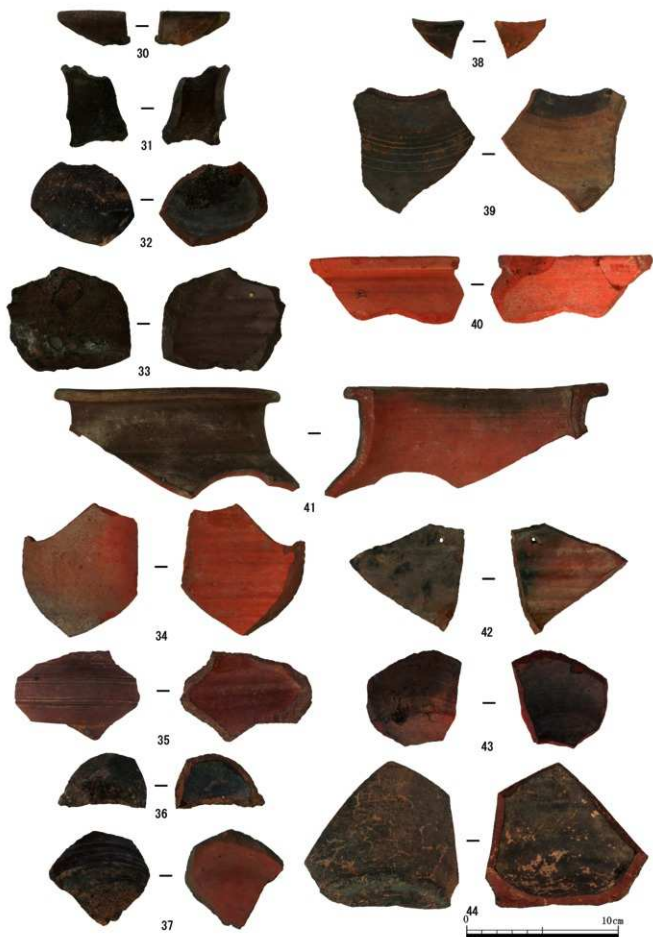
第154图 冲縄産無釉陶器3



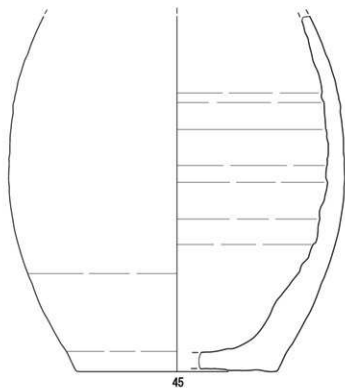
图版 122 弥生时代无釉陶器 3



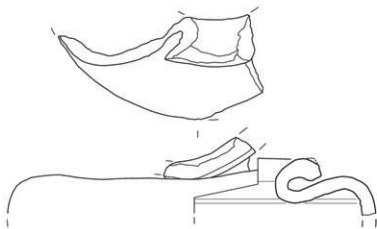
第155図 沖縄産無釉陶器4



図版 123 沖縄産無釉陶器 4



45



46



47



第 156 图 冲縄産無釉陶器 5



45



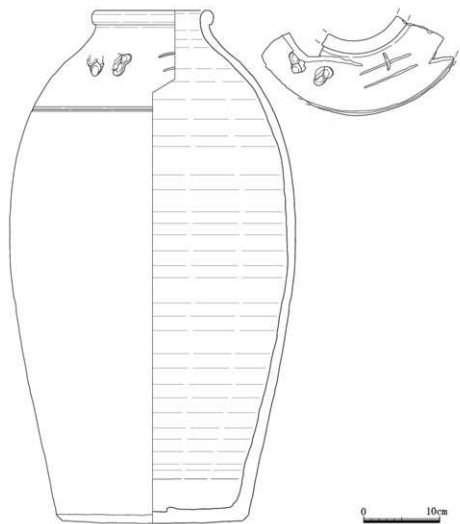
46



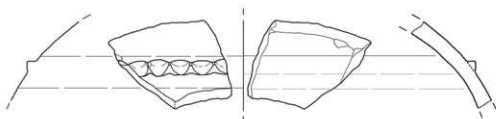
47



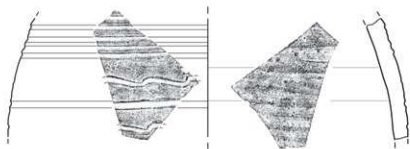
图版 124 冲縄産無釉陶器 5



48

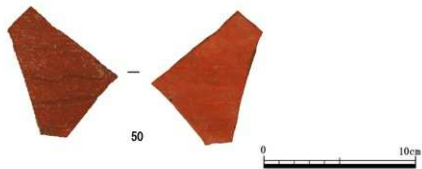
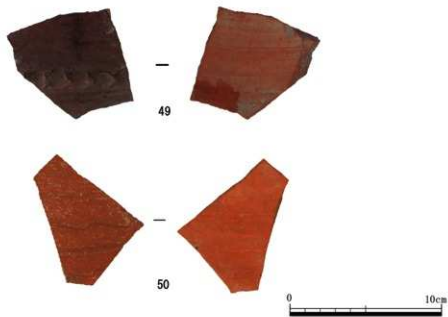


49



50

图 157 城 6 期 城 6 期 城 6 期 城 6 期



图版 125 冲绳座無粘陶器 6

第73表-2 沖縄産無釉陶器観察一覧

(流量単位:cm, g)

| 第154図・図版122 | 器種 | 分類 | 部位 | 口径 高さ 底径 | 壁厚 重量 | 形状・文様・備考 | 色調 | 断面調整 | 原料 | 焼成 | 地区・P・Q・R・部位 遺構・台帳番号 |
|-----------------|------|----|----|----------------|----------------------|---|---|---|----------------|-----------------------------|---|
| 第154図・ 図版122 | 鉢 | e | 口 | 31.2 — — | 1.2~1.3 42.4 | 口内窪、口:幅2.1cm、胴:三角形、 文様:口唇に本調線。 | 外:暗灰褐色 内:暗茶褐色 | 内外:轆轤文 | 練・赤粒△ | 良+ | HBⅠ I 台494 |
| | | | 底 | — — 11.0 | 0.8~1.1 149.7 | 底:筋みながら立ち上がり、底 厚約7cmと薄手、立ち上がり部分に補 強のため、筋と見分け付く。 | 外:暗灰~茶色 内:明茶色 中:暗茶褐色 | 外:へう割り 内:轆轤文 | 粗・赤粒△ | 良+ | HBⅡ④ N8~10L8~ 10 MⅡ 10185X 台2296 |
| | | | 胴 | — — — | 0.8~0.9 44 | 胴径18.0cm、横耳、上→下に穿孔。 | 内外:暗灰~灰色 中:暗茶褐色 | 外:耳の周辺部 ナデ;内:轆轤文 | 粗・白粒△ | 良- | HBⅡ⑤ P-010 Ⅱ 3595X 台340 |
| | | | 底 | — — 12.2 | 0.8 193.3 | 底:直底(胴径0.8cm、断面:台形、底面 丸み)、文様:底部に近くに1条の調 線。 | 内外:暗灰色 中:暗茶褐色 | 内外:轆轤文 | 練・白粒△ | 良+ | HBⅡ⑥ Q59-10 Ⅱ 20025Z 台3368 |
| 第155図・ 図版123 | 火印 | 陶型 | 口 | — — — | 0.8 — — | 底:直底(胴径1.2、断面:台形)底面は 厚み、やや大きめ、文様:底部との境に 文線文。 | 内外:赤褐色 中:明灰色 | 外:幅0.8cmの粘 土粒が 内:轆轤文 | 練・黒粒△ | 良+ | HBⅠ I 台494 |
| | | | 底 | — — — | 0.7~0.8 367.5 | 底:直底(胴径1.2、断面:台形)底面は 厚み、やや大きめ、文様:底部との境に 文線文。 | 内外:赤褐色 中:明灰色 | 外:幅0.8cmの粘 土粒が 内:轆轤文 | 練・黒粒△ | 良+ | HBⅠ I 台494 |
| | | | 口 | — — — | 6.0 — — | 口:外反、断一溝斜、幅1.0cm深部でく びれる。 | 内外:暗茶色 中:灰色 | 内外:轆轤文、ナデ 内:轆轤文 | 石英△ | 良+ | HBⅠ③ Q13.14-P13 Ⅱ 台487 |
| | | | 底 | — — — | 0.6~0.7 22.9 | 口:外反か 最も胴径2.4cm。 | 内外:自然釉 中:暗灰色 | 内:轆轤文○ | 練・砂粒△ | 良+ | HBⅡ⑦ T12 Ⅲ 2072P 取2018 |
| 第156図・ 図版124 | 瓶 | c | 口 | — — — | 0.5~0.7 40.8 | 最大胴径7.4cm、 育線3.8cm。 | 内外:マンガン・釉 中:暗茶色 | 内:轆轤文○ | 練・砂粒△ | 良+ | HBⅡ⑧ S12 Ⅲ 台3339 |
| | | | 胴 | — — — | 0.7~0.8 69.3 | 最大胴径12.4cm、粗製 | 外:暗茶褐色、光沢 内:暗茶色 | 内:轆轤文○ | 練・砂粒△ | 良+ | HBⅡ⑨ Q8.9 Ⅱ 20545X 台3369 |
| | | | 底 | — — — | 0.5~1.1 144.3 | 最大胴径7.5cm。 調。底 部(1)~底部IV型。 | 外:明~茶色 内:赤褐色 中:茶褐色 | 外:轆轤文、ナデ 内:轆轤文 | 粗・石英△ | 良+ | HBⅠ P-Q10 Ⅱ 2465Z 台490 |
| | | | 口 | — — — | 0.6~0.8 65.1 | 胴部/ハン玉状に膨らむ、最大胴径 3.7cm、文様:直線文を胴部が膨らむ上 下に4所に施す。 | 外:暗茶色 内:暗茶色 | 内:轆轤文○ | 粗・赤・粒△ | 良+ | HBⅠ⑩ P-08~14 I 台241 |
| 第157図・ 図版125 | 急須 | h | 口 | — — — | 0.8 28.1 | 底:直底、立ち上がりは緩い、 やや上打足 | 外:暗茶色 内:灰色 中:茶褐色 | 内:轆轤文△ | 粗・石英△ | 良+ | HBⅠ K-L12 Ⅱ 0013K 台377 |
| | | | 底 | — — — | 0.5~0.6 48.1 | 底:角を削る、直角に立ち上がり、胴 部に薄くなる、やや上打足。 文様:底面に白線を横状に塗布。 | 外:暗茶色に白有 内:茶色 | 外:底部に削り 内:轆轤文△ | 練・白・赤粒 △ | 良+ | HBⅡ⑪ Q9.10K.10 59.10 Ⅱ 20025Z 台3368 |
| | | | 口 | — — — | 10.4 6.4 | 口:立ち口、断一溝、立ち口120.6cm程度 である。 | 内:暗茶色 内:暗茶色 中:茶色 | 外:轆轤文△ 内:暗茶色 | 赤粒 | 良+ | HBⅡ⑫ I 台3082 |
| | | | 底 | — — — | 0.6~0.7 49.9 | なで薄、薄手。 文様:胴部に6条の調線、口縁部に近 いほど間隔が狭い。 | 内外:マンガン・釉 内:暗茶色 | 内:轆轤文○ | 砂粒△ | 良+ | HBⅠ I 台494 |
| 第158図・ 図版124 | 大首煎 | 口 | 口 | — — — | 13.6 67.4 | 口:幅2.1~1.7cm、 僅かに胴部で膨らむ。 | 内外:暗赤褐色 | 内外:轆轤文△ | 鉄分 石英・粒 | 良+ やや砂 質 | HBⅡ⑬ Q8.9 Ⅱ 20545X 台3369 |
| | | | 底 | — — — | 15.2 186.7 | 口:淵:幅2.0cm、文様:頸と胴部の境 に浅い調線、肩部に染印。 | 内:茶褐色 内:赤褐色 | 内:轆轤文△ | 砂粒△ | 良+ 硬質 | HBⅡ⑭ Q9.10K.10 59.10 Ⅱ 20025Z 台3368 |
| | | | 胴 | — — — | 0.6~0.8 47.3 | 最大胴径17.8cm、(孔:外)内:幅0.2 ×0.4cm、浅い調線が轆轤文と見われ る。両腹、胴下部に膨らむ、浅い調線。 | 外:淡茶色 内:明赤褐色 | 内:轆轤文○ | 粗・赤粒△ | 良+ | HBⅠ I 台494 |
| | | | 底 | — — — | 0.8 72.4 | 底:立ち上りの若干膨らむ。 内底、中心に薄くなる。 | 外:暗茶色 内:暗灰色 中:茶褐色 | 外:筋毛△ 内:轆轤文△ | 練・石英△ 粗・赤粒△ | 良+ | HBⅡ⑮ Q9.10K.10 59.10 Ⅱ 20025Z 台3368 |
| 第159図・ 図版125 | 大女で煎 | 口 | 口 | — — — | 0.9 143.3 | 底:直状、底面から膨らむように立ち上 がる。底面は轆轤文が帯状に深く狭い 。内:染味付首、胴径22.0cm。 | 内外:暗褐色 中:灰褐色 | 外:轆轤文△ 内:轆轤文○ | 空調多し | 良- やや砂 質 | HBⅡ⑯ J10-K10.11 L10.11 Ⅱ 10055Z 台3081 |
| | | | 底 | — — — | 17.2 149.9 | 口:方形、幅1.1cm、口縁部は深実のため、 膨らみ、頸部に浅い調線2条。 | 外:暗茶褐色 内:明灰色 中:灰~暗茶色 | 内:轆轤文○ | 砂粒△ | 良+ | HBⅠ I 台494 |
| | | | 胴 | — — — | 0.9~1.1 149 | 育線、最小胴径13.0cm、最大胴径 30.5cm、胴部:7条の浅い調線、肩部: 1条の浅い調線、粗製 | 内外:暗茶色 中:暗茶色 | 外:轆轤文△ | 砂粒△ | 良+ | HBⅡ⑰ Q8.9 Ⅱ 20545X 台3369 |
| | | | 底 | — — — | 15.2 67.5 23.7 | 口:溝斜:幅2.0cm、底:直状、厚 1.6cm、底縁は削り、角がひくい、耳-3 條、文様:肩部に2本の調線(筋、染印 十一)。 | 外:口~胴部:自然 釉 内外:茶褐色、赤褐 色、底面はサンド イッチ(黒褐色) | 内外:轆轤文 外:底面近くに三 角状の痕 底面は幅4.0cm の窪で縦一内 | 赤・砂粒 | 良+ | HBⅡ⑱ Q9.10K.9.10S.10 Ⅱ 20025Z 台3368 |
| 第160図・ 図版125 | 壺 | 胴 | 口 | — — — | 1.0~1.2 85.2 | 胴部:膨ら。 文様:溝目胎付文:幅1.2cm。 | 外:暗茶褐色 内:赤褐色 中:明茶褐色 | 内外:轆轤文△ | 白粒△ | 良+ | HBⅠ P-Q10 Ⅱ 2465Z 台490 |
| | | | 底 | — — — | 1.0~1.1 69.2 | 胴上部で小さくなり、口縁に近る。口縁 径(胴部)4.4cm、ふちは調線と線やふち流 状はの組み合わせ。 | 内外:明茶色 中:明茶褐色 | 外:轆轤文△ 白粒△ | 良+ | HBⅡ⑳ Q8.9 Ⅱ 20545X 台3369 | |

凡例 ○=多 ○=風曲 △=少 最少 良+=非常に良い 良=良い 良-+やや良い

(注) :数量1987 重量(1) :重量古資料 1992の分類を示す

(3) 陶質土器

「アカムヌー」と称される沖繩産の陶質土器が7種260点出土した。器種により軟質と硬質が見られるが、厚みに関わらず触れると微粒子が付着し、水分付着後に擦ると色落ちする物を陶質土器と捉えている。いずれも素地は細かい微粒子で雲母・赤色粒・黒色粒を含み、轆轤成形後ナデ消しを行うものが多数である。第75表より出土破片数としては火炉と鍋が多く、鍋については急須と判別の難しい胴部片を含めると圧倒的多数を占めた。これらの破片について器厚を計測したところ(第74表)、器種により厚みに違いがあるのが窺えた。

2.0~4.9mmの薄手では蓋・急須、5.0~5.9mmの中手では鍋・火炉、6.0mm以上の厚手では鉢類と火炉が多かった。なお鉢類と火炉では3.0mm未満は得られなかったことから他器種より厚手に成形される事が窺えた。

出土地点ではHB①②地区ともに戦前の擾乱が多く沖繩産施・無釉陶器との伴出が69%にのぼった。なお、V層より出土の陶質土器は発掘調査の際の混ざり込みと考えられ、I(V)と表記している。

以下、主な遺物について第76表に詳細を記載し、第158・159図、図版126・127に示す。

A. 鍋 (図1~3)

壺屋で「サークー」と呼ばれる把手付きの土鍋で口縁部1点、胴部24点、底部20点が確認できた。口縁部を逆「く」字状に折り曲げ、そこから緩やかに膨らみながら丸底に成形される。図1は丸底の底部である。内面には使用による焦げ付き痕、外面には煤が付着し、内外面とも同心円状に轆轤痕が明瞭に残る。図2・3は鍋の蓋で、全体に皿を伏せた器形を呈するものと思われる。図2は底部で内外面共に轆轤痕が明瞭に残る。図3は全形の窺える資料で把手は三日月高台となる。

B. 鉢 (図4~7)

鉢・播鉢・水鉢・植木鉢が確認できた。胴・底部については判別が難しく区別はせず鉢の胴・底部片としている。口縁部については、鉢(直口)2点、播鉢1点、水鉢8点が確認できた。いずれも沖繩産無釉陶器と重複する器形であり、内容物による使い分けが考えられる。図4は鉢の口縁部で胴部から直口し硬質である。図5は播鉢の口縁部で逆「L」字状に外側に折り曲げ水平にした鈔縁口縁を持つ。内面は所々に破損があり櫛目の組み合わせ本数は不明だが、隙間無く櫛目が入る。図6は水鉢で口縁部が内彎し、胴部上端に櫛描きによる4本の波状沈線とその下に1本の沈線が入る。内面には轆轤痕に則して茶褐色が不規則に残り、鉄分を含む何らかの顔料が塗布されたと思われる。図7は植木鉢の底部で中央に外底面から孔を穿ち、内外面に赤色顔料が塗布されている。高台には逆「U」字状の挟りが見られる。

C. 火炉 (図8~18)

方言で「ヒールー」と呼ばれる火鉢類である。口縁部11点、耳部2点、胴部25点、底部13点が確認できた。器形は『壺屋古窯群I』(1992)に準じて以下の3タイプに分けた。I群: 肩部を「く」字状に折り曲げ、底部へストレートに伸びる。II群: 口縁部を内彎状に立ち上げ緩やかにカーブを描きながら底部に至る。II群の中でもa: 口唇部は舌状に成形し半月状の火窓を1ヶ所設け、内面には三つ葉状の受け台作る。b: 口縁部を玉縁状に作り、口縁部内面下に突起を貼り付ける。が見られた。割合的にはII群が多いが、内面突起のあるものは1点のみであった。底部は高台のあるものとベタ底の2タイプ見られた。図8~15は口縁部である。図8・9はI群、図10~12はII群に該当するが、把手の有無や位置の違いが見られる。図13はII群bに該当し赤色の顔料が塗られて

第74表 器厚別出土量

| 器厚(mm) | 蓋 | 急須 | 鉢類 | 水鉢 | 植木鉢 | 火炉 | 火取 | 急須? | 急須? | 不明 |
|---------|----|----|----|----|-----|----|----|-----|-----|----|
| 2.0~2.9 | 5 | 1 | | | | | | 3 | | 41 |
| 3.0~3.9 | 8 | 1 | 6 | | | 6 | 5 | 2 | 42 | |
| 4.0~4.9 | | 2 | | 1 | | 12 | 9 | | | |
| 5.0~5.9 | 25 | | | | | 8 | | | | |
| 6.0~6.9 | | 6 | 7 | | | 1 | 1 | | | |
| 7.0~7.9 | | | 6 | 1 | | 10 | | | | |
| 8.0 | 3 | | | | 1 | | | | | |

いる。図14・15はⅡ群aに該当し、ともに煤により薄黒くなっている。図16・17はⅡ群とⅠ群の肩部の破片である。図18は高台を削り出し、高台脇まで白化粧土で横線を巡らせる。

D. 火取 (図19)

火取は1点のみの出土である。底面を篋削り後、粘土塊を3ヶ所に貼り付け円盤状の脚とする。

E. 急須 (図20～26)

急須(壺屋で「ヤックワン」と呼ばれる土瓶を含む)は、口縁部4点、耳部5点、胴部4点、注口4点が確認できた。器壁はいずれも3～4mmである。器形は『壺屋古窯群Ⅰ』(1992)に準ずると、「A. 口縁部を立ち上げ、胴部が球状のもの」が多かったが、「B. 胴部が屈曲するもの」も僅かに見られた。胴部や底部からA・Bどちらの器形に属するかを識別するのは難しかった。図20～22は口縁部で口唇の立ち上がりに若干の違いが見られる。図23は胴部の屈曲部で、僅かに煤が付着する。図24は丸みを帯びた底部で内面には石灰が付着する。図25は耳部の破片である。上端部の孔は焼成前に外面より穿孔される。図26は蓋で掘みが付くかは不明である。上面に煤が付着する。

F. フライパン状製品 (図27)

鉢よりも浅く口唇部を平坦に成形しているので、破片ではあるがフライパン状製品と判断した。

G. 器種不明 (図28)

図28は器種不明の胴部である。鉢や壺もしくは火炉の可能性も考えられるが、特定できないため、

第75表 陶質土器出土量

| 器種 | 鍋 | | 蓋 | | 蓋or蓋 | | 鉢 | | 細鉢 | | 木鉢 | | 大炉 | | 火取 | | 急須 | | 鍋or急須 | | フライパン状製品 | | 不明 | | 合計 | |
|--------|---|----|----|----|------|---|---|----|----|---|----|---|----|---|----|----|----|---|-------|----|----------|----|----|----|-----|---|
| | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 耳 | 口 | 底 | 口 | 注 | 口 | 底 | 口 | 底 | 口 | 底 | | |
| I | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| I (V) | | 4 | 3 | 1 | | 2 | 2 | 2 | | | | 1 | | 3 | 2 | | | | | 2 | 15 | | | 2 | 36 | |
| 046SZ | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | 1 | 5 | |
| II | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 22 | | | 4 | 42 | |
| 53P | 1 | 1 | 2 | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | 3 | | | 3 | 2 | 1 | | | | | | 1 | |
| 67P | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | |
| 86P | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 376P | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 305SD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | 5 | |
| 1SK | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 1 | |
| 629K | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | |
| 81SK | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 358K | | 6 | | | | | | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | | | | | 19 | | | 1 | 33 | | |
| 359K | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 4 | | | | 5 | |
| 288S | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | 3 | |
| 229SZ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | |
| 240SZ | | 1 | | | | | | 7 | 4 | | 5 | | 1 | 1 | | | | | | 3 | | | 1 | 23 | | |
| 274SZ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 2 | |
| III | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | - | |
| 271SD | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | 1 | 1 | 7 | |
| 304SD | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 275SL | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| IV | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | 1 | 19 | 5 | 2 | | 2 | 2 | 12 | 4 | 1 | 8 | 1 | 7 | 7 | 4 | | 4 | 3 | 1 | 4 | 76 | | 1 | 11 | 176 | |
| I | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | 3 | |
| II | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 1003SZ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 1016SZ | | | 2 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 3 | |
| 1018SX | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | 3 | |
| 合計 | | | 5 | 1 | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | 1 | | | | 10 | |
| I | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| II | | | 1 | 3 | | 2 | | | | | | | 1 | 1 | 2 | | | | 1 | 1 | 4 | | | | 16 | |
| 2002SZ | | | 1 | 1 | | | | | | | | | 1 | 6 | 2 | | | | | | 2 | | | 4 | 17 | |
| 2003SZ | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 2 | |
| 2054SX | | | 1 | 6 | | 1 | | | | | | | 2 | 1 | 7 | 5 | | | 2 | 2 | 6 | | | | 33 | |
| III | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | 2 | |
| 2049SD | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | |
| IV | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | | | 5 | 10 | | 3 | | | | | | | 4 | 2 | 17 | 8 | | | 2 | 3 | 1 | 14 | | | 4 | |
| I | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 部位別合計 | 1 | 24 | 20 | 3 | 3 | 2 | 2 | 12 | 4 | 1 | 8 | 1 | 11 | 2 | 25 | 13 | 1 | 4 | 5 | 4 | 4 | 1 | 91 | 1 | 16 | 1 |
| 器種別合計 | | 45 | 6 | 2 | | | | | | | | | 28 | | 51 | 1 | | | | | 18 | 91 | 1 | 17 | 260 | |

器種不明として報告する。類例資料の出土が待たれる。

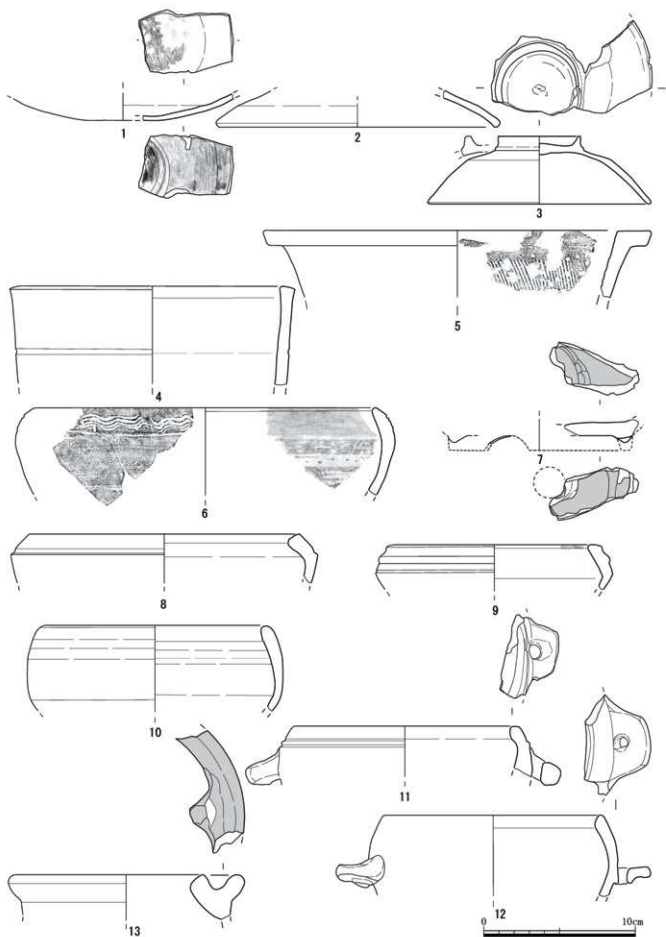
- <参考文献> 那覇市教育委員会 1992 『壺屋古窯群Ⅰ』 那覇市文化財調査報告書 第23集
 那覇市立壺屋焼物博物館企画展 2001 『掘り出された壺屋』
 沖縄県教育委員会 1995 『湧田古窯跡Ⅱ』 沖縄県文化財調査報告書 第121集
 浦添市教育委員会 1992 『城間遺跡』 浦添市文化財調査報告書 第19集

第76表 陶質土器観察一覽

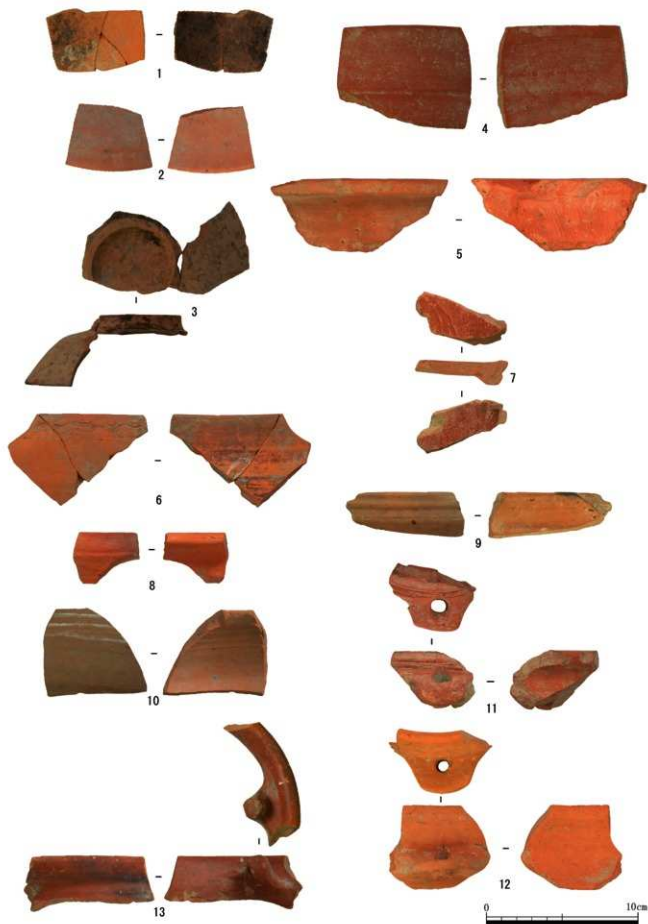
(数量単位: cm, g)

| 器種 器名 | 器位 口縁・器高 ・底(高) | 重量 | 器厚 | 形状 | 器色 | 陶質 | 混入物 | 所見 | 地区 グリッド 層位 遺構 台帳番号 | | | | | | |
|---------------------|----------------------|------|----|------|------|-------------|---------------|----------------------|--------------------------------------|---|----------------------|-----------------------------------|-------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 第158回・ 図版 126 | 1 | 底 | - | - | 12.6 | 0.3 | 丸底 | 内外面: 明褐色 | 軟質 | 炭母・赤色粒: 少 | 内面: 揚げ付き痕 外面: 煤付着 | HD2-I I 台3082 | | | |
| | 2 | 鍋 | 蓋 | 19.6 | - | - | 18.7 | 0.5 | 風を伏せた形状 縁: やや膨らむ | 内外面: 淡褐色 | 硬質 | 砂粒: 少 | HD2-II II 台3328 | | |
| | | | | 15.0 | - | 5.4 | 41.3 | 0.2- 0.3 | 高台状の把手を持ち、風を伏 せた形状 | 内外面: 淡褐色 | 硬質 | 赤色粒・赤色粒: 少 炭母: 多 | 三月月高台 内外面: 輪轡状ナブ消す | HD2-II II 台3328 | |
| | 4 | 鉢 | 口 | 18.9 | - | - | 80.9 | 0.7 | 胴部から口縁部に向けスレー ドに膨らむ | 内外面: 赤褐色 | 硬質 | 黒色粒: 極少 | 内外面: 調整痕明瞭 | HD2-I I 台494 | |
| | 5 | 楕鉢 | 口 | 25.6 | - | - | 80.8 | 0.9 | 口縁部: 逆「U」字状・胴縁 縁部に向ってスレードに膨 らむ | 内外面: 明褐色 | 軟質 | 黒色粒・赤色粒: 大き め・少 炭母: 微細・少 | 輪轡は全面に施される | HD2-Q8-9 II II 3585X 台484 | |
| | 6 | 木鉢 | 口 | 22.4 | - | - | 41.6 | 0.9- 0.6 | 口縁部: 内彎 いれゆるくクアパー | 内外面: 明褐色 内面: 不規則に茶褐色 (顔料塗布) | 硬質 | 黒色粒: 極少 炭母: 微細・多 | 胴部上部に波状状痕(木 口)状痕(木) | HD2-PQ10 II II 2495Z 台489 | |
| | | | | 7 | 楕木鉢 | 底 | - | - | 12.0 | 1.3 | 高台: 逆「U」字状の狭り | 内外面: 赤色(顔料塗 布) | 硬質 | 混入物: 無し ピンホール: 多 | 外面部から中央に穿孔(径 約2.0mm) |
| | 第159回・ 図版 127 | 大野 | 口 | 底 | 17.8 | - | - | 15.6 | 0.6- 1 | 肩部で「く」字状に屈曲し、口唇 部で大野を作る(1群) | 内外面: 橙褐色 | 硬質 | 黒色粒・白色粒・炭母: 微細・少 | 調整痕: 明瞭 内面: 一部押正痕 | HD2-Q8-9 II II 20565X 台3369 |
| | | | | | 13.0 | - | - | 22.8 | 0.4- 1.3 | 肩部で「く」字状に屈曲し、口唇 部で大野を作る(1群) | 内外面: 橙褐色 | 軟質 | 茶褐色粒: 大 炭母: 微細・多 | 調整痕: 明瞭 内面: 煤付着 | HD2-Q8-9 II II 20565X 台3369 |
| | | | | | 15.0 | - | - | 30.1 | 0.5- 0.9 | やや内彎(II群) 縁部は丸 | 内外面: 淡褐色 | 硬質 | 炭母: 少 | 輪轡状・調整痕: 明瞭 外面: 白化粘土で調整痕を 消す | HD2-Q850-10 II 3367 |
| | | | | | 13.0 | - | - | 33.4 | 0.7- 0.8 | やや内彎(II群) 下が均気味に方形把手が付く | 内外面: 赤褐色 | 硬質 | 炭母: 微細・少 赤色粒: 大・少 | 把手は上部より穿孔 | HD2-PQ8-9 II II 3585X 台484 |
| | | | | | 14.2 | - | - | 52.6 | 0.6- 0.8 | 縁部: 逆「U」字状 ほぼ水平に半月状把手が付く | 内外面: 淡褐色 | 軟質 | 炭母・赤色粒・黒色粒: 微細・少 | 把手は上部より穿孔 | HD2-PQ10 II II 2495Z 台490 |
| 15.6 | | | | | - | - | 64.4 | 1- 0.4 | 1- 0.4 | 内面に突起状の受け台を盛り 付けた円筒形ナブ(II群) | 内外面: 赤色(顔料塗 布) | 硬質 | 黒色粒・石灰粒: 極少 炭母: 微細・少 | 口唇: 小さな波状 突起下に盛り付け痕残る | HD2-I I 台494 |
| 14.2 | | | | | - | - | 33.2 | 1- 0.4 | 0.4 | 内面にほぼ水平に受け台を盛り 付けた円筒形やや内彎(II群) 縁部: 逆「U」字状 | 内外面: 淡褐色 上面: 煤付着 | 硬質 | 黒色粒・赤色粒・炭母: 微細・少 | 上面: 煤付着 受け台: 盛り付け痕残る | HD2-I I 台494 |
| 13.7 | | | | | - | - | 26.5 | 1 | 1 | 口唇とほぼ水平に受け台を盛り 付けた円筒形ナブ(II群) | 内外面: 暗赤褐色 | 硬質 | 炭母・黒色粒: 少 茶褐色粒: 大・少 | 外面: 白化粘土による調整 文 煤による汚れ | HD2- OP14 16 II 9978 |
| 46.6 | | | | | - | - | 46.6 | 0.7 | 0.7 | 縁部: 小さなクアパー(II群) 縁部: 膨らむ | 内外面: 淡褐色 (煤付着) | 硬質 | 炭母・黒色粒: 少 炭母: 微細・少 | 外面: 煤付着 | HD2-PQ8-9 II 3585X 台484 |
| 10.5 | | | | | - | - | 10.5 | 0.5- 0.7 | 0.7 | 肩部で「く」字状に屈曲する (I群) | 内外面: 暗赤褐色 | 硬質 | 黒色粒・赤色粒・炭母: 微細・少 | 全体に「うす」に輪轡状痕 あり | HD2-PQ10 II II 2495Z 台490 |
| 第159回・ 図版 127 | 大野 | 底 | 底 | 11.0 | - | - | 24.8 | 0.7 | 高台を有り出し(II群) 高台部に調整 | 内外面: 赤褐色 | 硬質 | 炭母・黒色粒(大・小): 少 ボラス | 外面: 白化粘土による調整 文 | HD2-Q850-10 II 3367 | |
| | | | | 7.4 | - | - | 7 | 0.4 | 口縁部: 僅かに立ち上がる | 内外面: 淡褐色 | 軟質 | 炭母・黒色粒・砂粒 ピンホール: 多 | 輪轡状: 明瞭 ナブ無し | HD2- OP14 16 II 台486 | |
| | | | | - | - | - | 3.5 | 0.4 | 口縁部: 僅かに立ち上がる | 内外面: 赤褐色 | 硬質 | 炭母(微細)・黒色粒: 少 | 肩部の張り出し跡、い | HD2-L14 I (V) 台553 | |
| | | | | 10.9 | - | - | 13.3 | 0.4 | 口縁部: 僅かに立ち上がる 胴部: 膨らむ | 内面: 淡茶褐色 外面: 橙褐色 | 硬質 | 炭母・赤色粒: 微細・極 少 | 外面: ナブ無し | HD2- OP14 16 II 台486 | |
| | | | | 最大胴径 | 18.0 | 4 | 0.4 | 胴部: 「く」字状に屈曲 | 内外面: 淡褐色 | 硬質 | 炭母・黒色粒: 微細・極 少 | 外面: 煤付着 | HD2-I I 台494 | | |
| | | | | 底 | - | - | 6.3 | 0.3 | 底部: 膨らむ | 内面: 橙褐色 外面: 暗褐色(煤付着) | 硬質 | 炭母・砂粒: 微細・少 | 内面: 石灰付着 | HD2-Q 20565X 台3369 | |
| | | | | 耳 | - | - | 10.4 | 0.3- 0.7 | 縁部の方形に成形 | 内外面: 橙褐色 | 硬質 | 若干の炭母・赤色粒・黒 色粒 | 輪轡状・ナブ無し 縁部部に外面部から穿孔 | HD2-OP14 16 II 台486 | |
| | | | | 蓋 | 8.0 | - | - | 12.9 | 0.4 | かたのり 縁みは不明 | 内外面: 淡茶褐色 | 硬質 | 砂粒: 多 炭母: 少 | 蓋に施成 痕あり | HD2-KL12 II II 086P 台396 |
| フタ ピン状 | 口 | 27.8 | - | - | 33.2 | 0.5- 1.2 | 口唇部: 扁平 浅い | 内外面: 淡茶褐色 外面: 橙褐色 | 硬質 | 炭母・黒色粒・白色粒: 微細・少 | 芯部: 淡灰色 | HD2-P18 15Q15 II 2715D 台491 | | | |
| 不明 | 側 | - | - | - | 15.2 | 0.5- 0.6 | 胴部: 膨らむ | 内外面: 赤褐色 | 硬質 | 炭母: 微細・少 黒色粒: 大きめ・少 | 外面: ナブ無し | HD2-PQ10 II II 2495Z 台490 | | | |

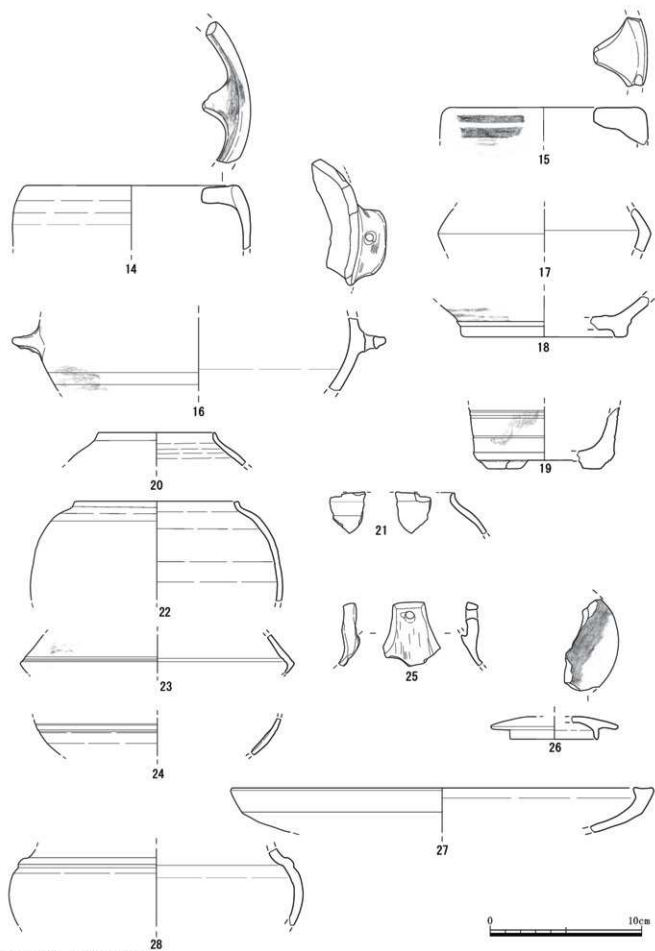
※器種別壺屋古窯群Ⅰに基づき



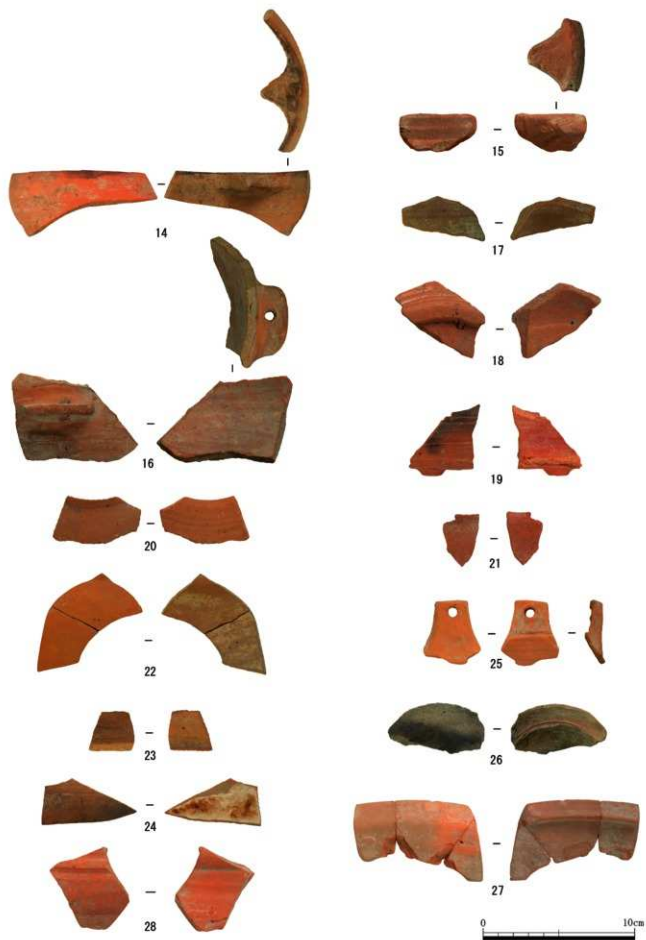
第158图 陶質土器 1



圖版 126 陶質土器 1



第159圖 陶質土器2



圖版 127 陶質土器 2

(4) 本土産磁器・陶器（近代）

明治時代以降大量生産を目的として製作された資料である。合計281点のうち小碗が最も多く107点、碗89点、皿類38点（底部数と破片有りを最少個体数とする）と碗32点、小碗57点、皿類26点）、他に小杯・火入れ・急須・瓶・鉢等が出土した（第79表）。施文技法は型紙刷り（27%）・銅版転写（22%）・ゴム判（15%）・クロム青磁・国民食器・色絵・吹き絵・盛り絵が確認でき、前三者で全体の約64%を占めた。型紙刷りでは碗、銅版転写とゴム判では小碗が多かった（第77表）。また、クロム青磁・ゴム判・吹き絵で他技法との併用が確認できた。成形には轆轤（動力含む）や鋳込が用いられ、全ての畳付けで釉薬が掻き落とされていた。生産地としては全体の約70%を瀬戸・美濃が占め、30%が肥前系（砥部産の20%を含む）で、砥部産は型紙刷りの資料のみであった。出土地点としてはHB①②地区ともⅡ層（遺構含む）が主体でⅢ層からの出土は2点のみであった。以下、施文技法ごとに概略し、主な遺物については第78表に詳細と第160図～162図に示す。

A. 型紙刷り

破片数77点から最少個体数は碗類23点、皿類3点、火入れ1点であった。碗からは5パターンの型紙が確認でき、胴部では点描で菱形窓を描いた中に模式化された梅花文を描く（図5）が最も多く、次に地文に唐草（図4）、鶴丸や松竹梅の隙間を点描で埋める（図3）等が得られた。また、胴部は同じでも腰部の型紙文様に違いが見られるものもあり、蓮弁文（図4）、三角文（図5）、櫛文（図6）が確認できた。なお三角文は模式化された蓮弁文とのことである⁽¹¹¹⁾。また、これまであまり報告されていない絵柄で、外面に青海波と花卉、内唇に輪宝文帯（図1）や四方禪と寿字（図2）は古い時期の可能性も考えられ、特に図1と同様の組み合わせが瀬戸の型紙摺繪資料に見られた⁽¹¹²⁾。なお、型紙刷り碗については全てに轆轤痕が確認できた。図7は蛇の目回高台の皿である。型紙は同じでもハマ痕の有無や胎土の違い等から同種の皿が3枚確認できた。図8は肥前系（瀬戸美濃以外）の小皿である。杜甫の『飲中八仙歌』より冒頭のくんだりが型紙に使用されていた。

B. 銅版転写

60点出土のうち最少個体数は小碗15点、皿類15点で多く、碗3点、急須1点であった。着色には酸化コバルト（青）・酸化クロム（緑）・酸化マンガン（黒）・酸化ウランウム（黄）・正円子（赤）等の顔料が使用される。中には酸化クロムと他の顔料を重ねる二色刷りも見られた（図9・10・12・13）。碗皿類とも花唐草・雪輪・鹿の子・分銅繫ぎ・渦文等の古典柄や文字・風景・動物など絵柄は様々で中には口鏤を施すものもあった。小碗では腰折れの外反口縁（図9）と丸みを呈する直口口縁（図10～14）が確認できた。図15・16はいずれも酸化クロムで古典的な絵柄の皿類である。

C. ゴム判

42点出土のうち最少個体数は小碗が17点と一番多く、小鉢3点・碗1点・皿1点等が確認できた。着色には銅版転写と同様の顔料が使用され、絵柄も同様で古典柄の他に菊花（図21）や梅花（図23）も多く見られた。また、ゴム判にゴム判を重ねる地に手描きや吹き絵・型紙刷り等との併用も確認できた。図24は外底面に統制番号の陽刻（岐451）があり、図25は皿で1点のみの出土であった。

D. クロム青磁

15点出土のうち最少個体数は小碗が7点、中でも飛び鉋の小碗（図17）5点で、小皿1点、火入れ1点が確認できた。また、クロム青磁に銅版転写や印判・手描きを施す小碗や皿が確認できた。図18は鋳込み成形の火入れで窓絵四君子文と点刻文が見られる。

E. その他

細片のため今回は報告を控えたが、国民食器、色絵、盛り絵、戦後に製作されたプリント製品等

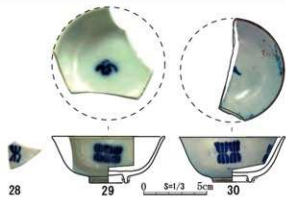
第78表 本土産磁器(近代) 観察一覧

(法量単位:cm, g)

| 期国版 | 番号 | 施文技法 | 器種 | 部位 | 口縁部形状 | 口径・器高・底径 | 重量 | 成形技法 | 観察事項 (文様・見込み・口唇・内唇・高台等) | 文様色 | 生産地 | 地区 小ワット 遺構 遺構 台帳(取上)番号 | | |
|---------------------|----|-------|-------------------|----|---------------------|---|------------------------|-------------------|--|---------------------------|--------------------------------|------------------------------|--|----------------------------|
| 第161期 国・版 129 | 1 | | 型紙 | 外反 | やや内反 | 10.8 - - 4.10 | - | 外面:青海波に草花、内唇:輪宝文帯 | | | | HB20 I 台3385 | | |
| | 2 | 口 | | | 13.4 - - 8.30 | 外面:四方瓣 内唇:四方瓣に寿帯(180°半反以降に流行) | | | HB20 PQ8-9 II 3385SK 台484 | | | | | |
| | 3 | | | | 14.4 5.6 4.8 106.93 | 外面:点描に緋・竹梅 腰帯:三角形(兼弁文?) 見込み:松竹梅 内唇:松竹梅に点描帯 | | | HB20 I I 台3082 | | | | | |
| | 4 | | | | 13.0 5.7 4.3 109.80 | 外面:唐草 腰帯:兼弁文 見込み:松竹梅 内唇:菊花に点描帯 五足のハマ草 | | | HB20 Q8-9 II 2054SX 台3369 | | | | | |
| | 5 | | | | 14.2 6.7 5.2 239.00 | 外面:点描差形窓に緋 腰帯:三角形(兼弁文?) 見込み:松竹梅・枝 内唇:点描三角と梅花帯 五足のハマ草 | | | HB20 I J10K10-11 II 1005SZ 台3081 | | | | | |
| | 6 | 口より底 | | | 13.6 5.7 5.0 99.92 | 外面:花唐草 腰帯:緋文 見込み:昆虫文 内唇:梅花帯 五足のハマ草 | | | HB20 PQ10 II 2405Z 台489 | | | | | |
| | 7 | 直口 | | | 12.0 3.5 9.2 67.35 | 外面:菊唐草 内面:唇内に梅・桜、周圍に点描 見込み:松竹梅 +枝 蛇の目と周圍に龍目 五足のハマ草、蛇の目同高台(蛇の 目部分には輪縁痕が残る) | | | HB20 I 台494 | | | | | |
| | 8 | | | | 9.6 1.7 5.2 25.54 | 内面:芙蓉手にて漢詩(『歌中八曲歌』)と点描や七宝など | | | 肥前系 HB20 QRS9-10 II 2002SZ 台3367 | | | | | |
| 第162期 国・版 130 | 9 | | 小碗 | 外反 | | 8.6 4.3 4.4 24.34 | | 外面:福寿等の吉祥句 | | 緑 | | HB20 I 台494 | | |
| | 10 | | | | 7.3 4.3 3.7 44.30 | 外面:花草 口唇:コバルト吹き付け | | 緑・金 | HB20 II 2002SZ 台3367 | | | | | |
| | 11 | | | | 7.0 4.5 3.6 69.60 | 外面:ウサギに萩草 | | 青 | HB20 II 2002SZ 台3367 | | | | | |
| | 12 | | | | 8.0 4.9 3.7 107.20 | 外面:山水 | | 青・緑 | HB20 II 2002SZ 台3367 | | | | | |
| | 13 | 直口 | | | 7.2 4.6 3.2 62.47 | 外面:花唐草に鹿の子 | | 緑・黄 | HB20 I II 1005SZ 台3081 | | | | | |
| | 14 | | | | 8.2 5.0 4.0 51.10 | 外面:山水 | | 緑 | HB20 II 2002SZ 台3367 | | | | | |
| | 15 | | | | 11.4 2.3 6.6 45.69 | 外面:雪輪文に花、龍間は麻の葉で埋める | | 緑 | HB20 II 1006SK 台3290 | | | | | |
| | 16 | 型 | | | 12.8 2.5 7.2 94.06 | 外面:鹿の予地に分銅繁きを重ね得根の駒を浮かす | | 肥前系 | HB20 I 台494 | | | | | |
| | 17 | クロム青磁 | | | 小碗 | 口~底 | 外反 | 7.0 3.9 3.6 32.03 | | 飛び駒 | | - | | HB20 II 2002SZ 台3367 |
| | 18 | 火入 | | | 大碗 | 口~底 | - | 胴径10.5 64.20 | | 外面:雲給四君子文と点刻文 | | | | HB20 I 台3082 |
| 第160期 国・版 128 | 19 | | 小碗 | 直口 | | 11.0 6.2 4.0 87.03 | | 外面:楓と幾何学文 | | | | HB20 PQ10 II 2405Z 台489 | | |
| | 20 | | | | 8.3 4.8 3.1 46.80 | 外面:鶴に濃み塗り | | | HB20 I 台3385 | | | | | |
| | 21 | | | | 8.0 4.8 2.8 34.94 | 薄青の小菊を散らした上に濃青の菊花を重ねる | | | HB20 I 台3366 | | | | | |
| | 22 | | | | 8.2 5.0 3.4 59.30 | 外面:波線と緋柄 | | | HB20 Q8-9 II 2054SX 台3369 | | | | | |
| | 23 | | | | 8.2 - - 31.20 | 不明 | | | HB20 I 台3385 | | | | | |
| | 24 | | | | 8.4 4.8 3.0 89.60 | 外面:紙傘に梅花、雪輪文に山水 外面底面に統制番号の焼印(映451) | | | HB20 II 2002SZ 台3367 | | | | | |
| | 25 | | | | - - - 6.4 13.44 | 外面:漢詩に灯籠を濃み塗り | | | HB20 II 2002SZ 台3367 | | | | | |
| | 26 | 吹き絵 | | | 口~底 | 直口 | 8.0 4.5 3.6 38.22 | | | 型塗りによる菊花、口縁及び敷力所に半円(青) | | - | | HB20 I 台494 |
| | 27 | 色絵 | | | 口 | 直口 | - - - 8.48 | | | 輪花文 外面:色絵付による二条の淵縁(刺落) | | 赤? | | HB20 PQ10 II 2405Z 台489 |
| | 28 | 手描き | | | 胴 | - - - 1.86 | | | | 外面:染色体文 | | | | HB20 II 2054SX 台3369 |
| 29 | 型紙 | 小碗 | 口より底 | 直口 | 8.9 3.7 3.0 31.66 | | 外面:染色体文 見込み:千鳥・口縁 | | | | HB20 II 2002SZ 台3367 | | | |
| 30 | | 外反 | 8.4 3.6 3.1 34.50 | | | | 外面:染色体文 見込み:手描きで千鳥?・口縁 | | | | 肥前系 HB20 II 2002SZ 台3367 | | | |

第79表 器種別出土量

| 器種 | 大碗 | 小碗 | 大鉢 | 中鉢 | 小鉢 | 火入 | 大鉢 | 小鉢 | 瓶 | 急須 | 不詳 | 合計 | | | | | |
|-------|----|----|-----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|---|----|---|---|-----|
| 型紙刷り | 65 | 2 | | 6 | 1 | | 2 | 1 | | | | 75 | | | | | |
| 刷毛転写 | 5 | 35 | | 11 | 4 | 3 | | | | 2 | | 61 | | | | | |
| ゴム判 | 5 | 30 | | 3 | | | | 3 | | | 1 | 43 | | | | | |
| クロム青磁 | | 12 | | | | 2 | 1 | | | | | 15 | | | | | |
| 国民食器 | 9 | 4 | | 4 | 1 | 1 | | | 1 | | 1 | 13 | | | | | |
| 色絵 | | 4 | | 1 | 1 | | | | | | 1 | 12 | | | | | |
| 吹き絵 | | 6 | | 2 | | | | 1 | | | | 9 | | | | | |
| 窯か絵 | | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | 3 | | | | | |
| プリント | | 2 | 1 | 1 | | | | | | | | 4 | | | | | |
| 手描き | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | |
| 技法不明 | 5 | 2 | 10 | 7 | 2 | 1 | | | 1 | 10 | 7 | 45 | | | | | |
| 器種合計 | 89 | 2 | 107 | 1 | 13 | 24 | 1 | 6 | 7 | 2 | 1 | 3 | 2 | 13 | 1 | 9 | 281 |



第160期・国版128 染色体文



1. 八幡宮出土の磁器片。青磁に藍色の牡丹文を施したものである。破片の形状から推定すると、碗の口縁部か胴部の一部と見られる。裏面に赤土の塗りが残っている。高麗系磁器の造りであることが推定される。

2. 八幡宮出土の磁器片。青磁に藍色の牡丹文を施したものである。破片の形状から推定すると、碗の口縁部か胴部の一部と見られる。裏面に赤土の塗りが残っている。高麗系磁器の造りであることが推定される。

3. 八幡宮出土の磁器片。青磁に藍色の牡丹文を施したものである。破片の形状から推定すると、碗の口縁部か胴部の一部と見られる。裏面に赤土の塗りが残っている。高麗系磁器の造りであることが推定される。

4. 八幡宮出土の磁器片。青磁に藍色の牡丹文を施したものである。破片の形状から推定すると、碗の口縁部か胴部の一部と見られる。裏面に赤土の塗りが残っている。高麗系磁器の造りであることが推定される。

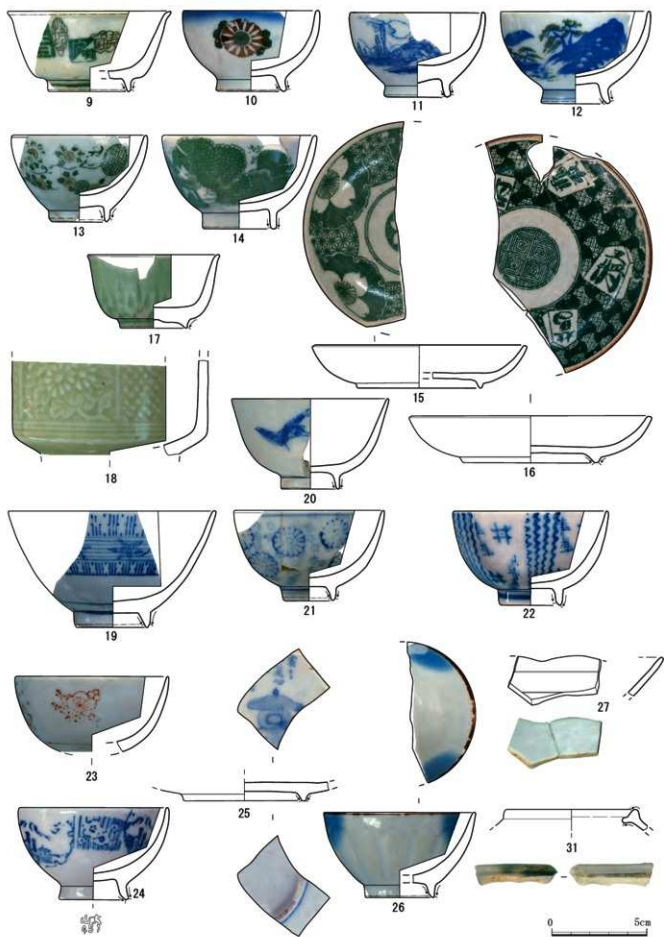
5. 八幡宮出土の磁器片。青磁に藍色の牡丹文を施したものである。破片の形状から推定すると、碗の口縁部か胴部の一部と見られる。裏面に赤土の塗りが残っている。高麗系磁器の造りであることが推定される。

6. 八幡宮出土の磁器片。青磁に藍色の牡丹文を施したものである。破片の形状から推定すると、碗の口縁部か胴部の一部と見られる。裏面に赤土の塗りが残っている。高麗系磁器の造りであることが推定される。

7. 八幡宮出土の磁器片。青磁に藍色の牡丹文を施したものである。破片の形状から推定すると、碗の口縁部か胴部の一部と見られる。裏面に赤土の塗りが残っている。高麗系磁器の造りであることが推定される。

8. 八幡宮出土の磁器片。青磁に藍色の牡丹文を施したものである。破片の形状から推定すると、碗の口縁部か胴部の一部と見られる。裏面に赤土の塗りが残っている。高麗系磁器の造りであることが推定される。

第161図・図版129 本土産磁器(近代)1



第 162 图·图版 130 本土産磁器（近代）2

(5) 円盤状製品

円盤状製品は29点得られた。HB①地区17点、HB②ロ地区8点、HB④イ地区で4点出土している。素材は青磁、白磁、染付、沖縄産無軸陶器、本土産陶器、本土産磁器、瓦を使用している。層序は第80表のとおりI層～IV層で、V層出土の資料は攪乱部分からの紛れ込みと考えられ、II層とした。遺構出土の資料が15点と半数を占めるが内容は溝、土抗、不明遺構、攪乱遺構で詳細な性格はわかっていない。遺構出土のうち358SKが6点と他の遺構より多い。状態の良い資料14点を図化、観察事項を第81表に示した。

第80表 円盤状製品出土量

| 地区 | 層位 | 素材 器種 部位 | 青磁 | | 白磁 | | 染付 | | 沖縄産無軸陶器 | | 瓦 | | 本土産陶器 | | 本土産磁器 | | | | 合計 |
|------|--------|----------------|----|----|----|----|----|----|---------|----|----|----|-------|----|-------|----|----|----|----|
| | | | 底 | 底 | 底 | 底 | 底 | 底 | 底 | 底 | 底 | 底 | 底 | 底 | 底 | 底 | 底 | 底 | |
| | | | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | 不明 | |
| HB① | I | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | 2 | |
| | II(V) | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | |
| | 62SK | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | 240SZ | | | | | 1 | 2 | 1 | | | | | | | | | | 4 | |
| | 305SD | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | 1 | |
| HB②ロ | II | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | 358SK | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | 359SK | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | 2 | |
| | IV | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| HB④イ | I | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | II | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| | 2054SX | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | |
| | IV | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 29 | |

素材

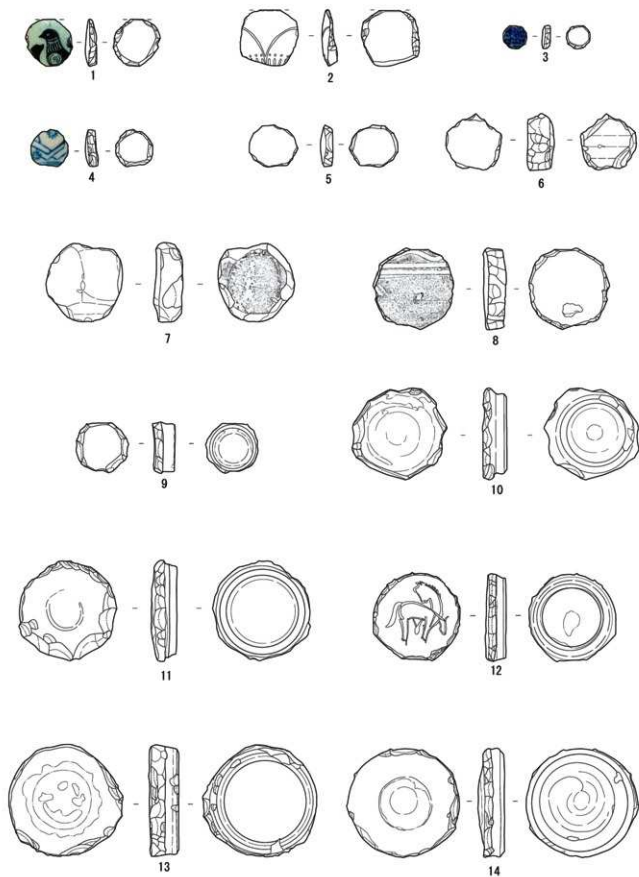
青磁、白磁、染付の中国産のほか、沖縄産無軸陶器、本土産陶器、本土産磁器のうつわものを用いるが、瓦を利用する場合もある。

使用部位（口縁部、胴部、底部）

青磁、染付は底部高台を使用する場合が多く、本土産磁器は胴部や底部を使用、胴部の場合は図柄のある部分を中心に打ち割したものが多く。口縁部を利用した資料が稀に確認され、既報告の伊礼原遺跡（国指定外）に1点、今回報告資料で2点出土した。又、素材の厚みも関係すると考えられ、本土産磁器等の薄手のうつわ物は打ち割りを細かく円形に仕上げ、瓦や沖縄産無軸陶器などの厚手素材は、打ち割りが荒く円形を意識するが雑な仕上げりとなる。

第81表 円盤状製品観察一覧

| 図号 | 器種 | 素材 | 器形 | 部位 | 完/破 | 計測値 | | | | | 観察事項 | 地区・アット/層位 遺構・台(取)番号 |
|----|---------|----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-------|---|----------------------------|------------------------|
| | | | | | | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 底径 | 重量 | | |
| | | | | | | 最大長 | 最大幅 | 最大厚 | 底径 | 重量 | | |
| 1 | 本土産磁器 | — | 口縁部 | 完形 | 3.1 | 3.1 | 0.7 | — | 6.6 | 鳥の図柄 | HB②ロ.Q9.Ⅲ.台3340 | |
| 2 | 本土産磁器 | — | 口縁部 | 完形 | 3.7 | 3.8 | 0.9 | — | 9.7 | 瀬戸・美濃系・型ぬき | HB② O.P10.11.Ⅲ.359SK.台3340 | |
| 3 | 本土産磁器 | — | 胴部 | 完形 | 1.5 | 1.6 | 0.6 | — | 1.5 | 型紙刷り | HB① L13.Ⅱ(V).台791 | |
| 4 | 本土産磁器 | 小碗 | 胴部 | 完形 | 2.4 | 2.4 | 0.8 | — | 5.2 | ゴム割 | HB① N17.Ⅱ.062SK.台339 | |
| 5 | 本土産磁器 | — | 胴部 | 完形 | 2.8 | 3.2 | 0.8 | — | 6.9 | 図柄なし、差接、軸ちに近代資料 | HB① P.Q8.9.Ⅲ.358SK.台484 | |
| 6 | 沖縄産無軸陶器 | — | 胴部 | 完形 | 3.8 | 3.6 | 1.8 | — | 28.1 | 大型、妻の胴部 | HB② ロ.Ⅲ.2054SX.台3369 | |
| 7 | 瓦 | — | 丸瓦? | 完形 | 5.2 | 5.1 | 1.9 | — | 44.7 | 丸瓦の縁の部分 | HB④ ロ.Ⅲ.台3341 | |
| 8 | 沖縄産無軸陶器 | — | 胴部 | 完形 | 5.4 | 5.3 | 1.5 | — | 54.4 | 鼓状文と2本の沈線文 | HB④ イ. K2.Ⅲ.台154 | |
| 9 | 本土産磁器 | — | 底部 | 完形 | 3.3 | 3.4 | 1.5 | 3.0 | 13.6 | 時期は近代か? | HB① P.Q8.9.Ⅲ.358SK.台484 | |
| 10 | 本土産陶器 | — | 底 | 完形 | 6.1 | 6.3 | 1.6 | 5.2 | 50.6 | 白濁した薬灰輪、丸州? 肥前系、17c後半 | HB④ イ.L2.Ⅳ.台138 | |
| 11 | 染付 | — | 底 | 完形 | 6.6 | 6.4 | 1.7 | 5.8 | 56.9 | 外底、内底、高台に輪掛けなし 高台の特線から染付と想定、 福徳・広重系、16c～17c | HB② ロ.Ⅰ.台3327 | |
| 12 | 青磁 | — | 底 | 完形 | 5.3 | 5.7 | 1.4 | 5.3 | 48.3 | 馬の印文、龍泉堂、15c頃 | HB② ロ.S13.Ⅳ.取2029 | |
| 13 | 染付 | — | 底 | 完形 | 7.4 | 7.5 | 2.0 | 6.8 | 100.2 | 外底、内底、高台に輪掛け有り、 福徳・広重系、17c～18c前期 | HB② P.Q10.Ⅱ.240SZ.台490 | |
| 14 | 青磁 | — | 底 | 完形 | 7.2 | 7.5 | 1.8 | 6.8 | 92.3 | 見込み中心のみ軸あり、妻付けの幅蓋付 高台中心・レ有り、福徳・広重系、明代 | HB④ イ.K2.Ⅲ.台142 | |



0 5cm

第163图 円盤状製品



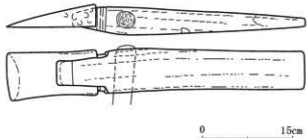
图版 131 円盤状製品

(6) 鉄製品

HB①地区で9点、HB②イ地区で2点、HB②ロ地区で8点、HB④イ地区で2点、HB④ロ地区で1点の計22点の出土でこれらは主に戦前戦後の擾乱遺構(SZ)で検出された。製品の種類は鉄斧1点、鉄釘1点、杭2点、板状5点、塊2点、管状1点、ヘルメット・空き缶などの近・現代遺物が11点である。以下、残存状況のよいものについては図化し、観察一覽を示した。

図1は鉄斧である。長さ12.7cm、刃幅6.5cm、基部幅7.0cm、厚さ3.0cm、重さ908gを測る。刃面の片側に幅1.8cmの剥離は使用痕と考えられ、縦斧が想定される。山崎(2010)の分類に準ずるとI類(ウーナ型)の範疇に入る。

山崎によると「本品の用途は木材の伐採、加工に用いられるものである。基部の横断面は「コ」字状を呈するが、第164図に示したような使用が想定され、横断面の開放部は主に左側に位置したとされる。」



第164図 鉄斧装着例(山崎 2010)

また、小堀原遺跡(2012)でも鉄斧(第166図2)が出土しており、山崎分類のⅢ類(イチ型)に相当する。戦前の遺構(旧ナルカー近く)からの出土で時期的にもほぼ同じである。山崎によると「本遺跡出土のウーナ型が沖繩的で、石垣島カンドウ原遺跡(1983)でも出土例があり、そのほかに横斧としての使用例の記録ある(内原1987)」。

HB①地区Ⅱ層の出土で、その北側には戦前の燃焼施設、1018SXが検出されている。

図2は鉄釘である。釘は頭部が角を呈するもので、全長13.7cmを測り長い方である。前述の鉄斧と共存して出土している。

図3は直径0.5cmの鉄棒を頭部で楕円状に曲げたものである。形状からテント等を張り、固定する金具と考えられる。HB②イ地区1018SXで2点得られた。

図4は破損品で、形状から推定径3cmの管状(パイプ)状を呈すると思われる。両端は細くなる。使用のためか、若干湾曲する。HB②ロ地区Ⅱ層(戦前)の南側で出土した。

図5は8.2×2.0cmの方形を呈するもので、片側に径0.4cmの孔を有し、厚さ0.28cmと薄いことから札状の用途を有するものと思われる。HB②ロ地区2054SXの出土。

図版132-6は鉄製のヘルメットである。底は約3.0cmごとに亀裂が入り、頭部に叩きによる孔と「十」字状のヒビが認められる。大きさは縦27.8cm、横23.0cm、高さ15.8cm、833gを測るものである。形状から第二次大戦期に広く使われた米軍の「M1ヘルメット(外帽)」と思われる。HB①地区の表裏面採集である。

<引用文献>

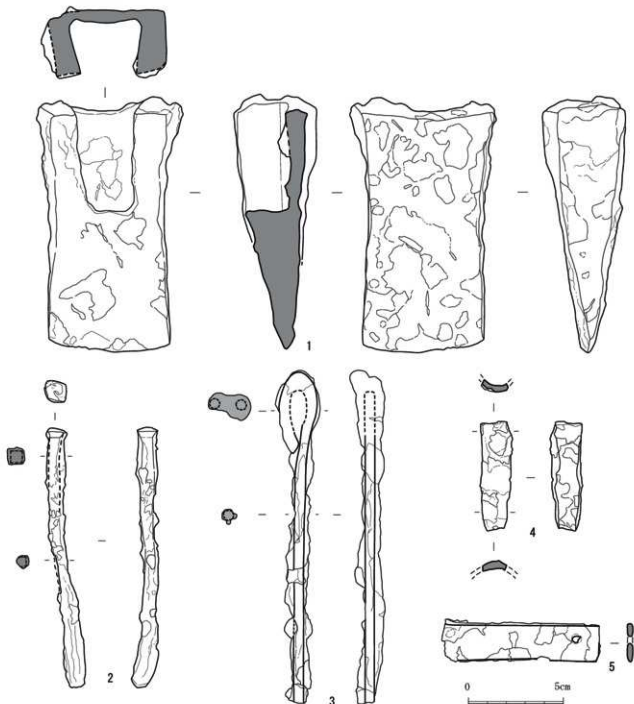
- 山崎真治 2010 「当博物館所蔵の斧について」『沖縄県立博物館・美術館、博物館紀要』第3号
内原節子 1987 「西表島・網取村の割り舟」『石垣市立八重山博物館紀要』第6号

第82表 鉄製品観察一覧

(法量単位:cm, g)

| 第図 図版 | 器種 | 完・破 | 縦 横 | 厚さ | 重量 | 観察 | 地区・グリッド・層位・遺構・台帳番号 | |
|-----------------------------|----|-------|--------|--------------|-----|-------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 第 165 図・ 図版 132 | 1 | 鉄斧 | 完 | 12.7 6.5 | 3.0 | 908.0 | 上部に柄用の凹部刀こぼれ, 1.8cm. | HB① II 台638 |
| | 2 | 鉄釘 | 完 | 13.7 1.1 | 0.9 | 36.0 | 頭部はほぼ正方形。 断面は方形。 | HB① II 台637 |
| | 3 | 杭 | 完' | 17.6 0.5 | — | 40.9 | 頭部は「U」状に曲がる。 テントを固定するもの。 | HB②イ K-L10 II 1018SX-2 台3292 |
| | 4 | 管状 | 破損 | 5.7 1.7 | 0.4 | 16.4 | 両端は細くなる。 やや湾曲。 | HB②ロ II 台3343 |
| | 5 | 板状 | 完' | 8.2 2.0 | 0.3 | 9.3 | 方形。 側面はややゆがむ。 | HB②ロ Q8.9 II 2054SX 台3369 |
| | 6 | ヘルメット | 完' | 27.8 23.0 | — | 833.0 | ヘルメットの縁は破損。 頭部ヒビ有(外帽)。MIヘルメット型 | HB① 表採 |

凡例 (完'は復元形)



第165図 鉄製品



图版 132 鉄製品

(7) 瓦・レンガ

瓦は丸瓦 42 点、平瓦 100 点、不明 74 点、の計 216 点の出土である。そのうちの 81.9%は HB①地区で得られた。(第166図) I・II層がほとんどであるが、6点がIII層の 271SD で得られている。

HB①地区 II層では主に遺構出土で 83SZ (9点)、358SK (9点)、229SZ (8点)、240SZ (8点)、305SD (5点)、62SK、81SK、100SZ、359SK ではそれぞれ 1点得られた。

HB②イ地区では 9点得られているが、主に I・II層の出土である。不明 2点が III層の出土であるが、本地区では V層 (貝塚時代後期) の遺物が主体であることから、I・II層の紛れ込みと思われる。また、II層の遺構 1003SZ、1004SZ、1016SZ、1006SK など出土している。

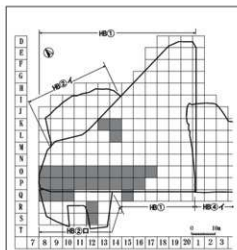
HB②ロ地区では 29点得られ、II層の遺構の出土が多く、その中でも 2002SZ で 17点、2004SX で 6点と特に多い。本遺構は沖繩産施釉・無釉陶器や本土産磁器 (近代) も多く出土することから、戦前集落において廃棄されたものと思われる。

第167図に残りの良い平瓦 (図1・2) と丸瓦 (図3) を掲載した。いずれも HB① II層の出土である。

図1は平瓦の上左角部分で、上端のためか、厚み (2.0cm) がある。上端のヘラ調整の幅が 4.0cm 確認され、裏面は桶を繋ぐ連結紐が 4ヶ所あり、その間隔は細かい。

図2は平瓦の下左角部分である。前者に比べて器厚は薄く、表面の調整は深くナデ調整し波状を呈する。残存部分から桶の大きさを復元すると直径 27.4cm ほどである。図3は丸瓦で瓦を葺くための漆喰 (セメント?) を 2.5cm で縁取るもので、その厚さは約 1.0cm ほどである。器面調整をみると表面が幅 2.0~2.5cm のヘラで縦位、裏面は模骨の布の縫合部分と下位は覆うための皺が顕著に見られる。左右の縁は模骨で溝を作り、半裁している。模骨は瓦から推定すると直径 10.4cm を測る。

レンガは破片が HB①地区の I・II層でそれぞれ 1点の出土である。瓦の出土状況から戦前・戦後の遺物と判断される。



第166図 瓦出土平面分布

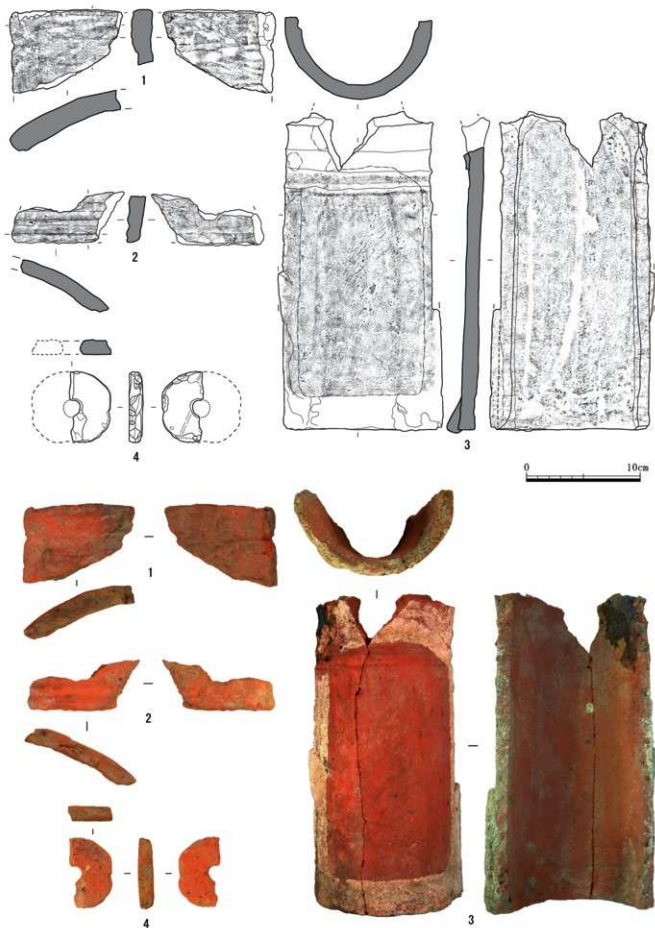
第83表 瓦・レンガ出土量

| 地区 | 層位 | 丸瓦 | | 平瓦 | | 不明 | | 合計 | 地区別計 | レンガ | |
|------|----------|----|---|-----|----|----|----|-----|------|-----|----|
| | | 榎 | 赤 | 榎 | 赤 | 榎 | 赤 | | | | |
| HB① | I | 23 | 1 | 6 | 36 | 2 | 29 | 97 | 177 | 1 | |
| | II | 2 | | 15 | 1 | 2 | 10 | 1 | | | 31 |
| | II (遺構) | 4 | | | 19 | | 19 | 1 | | | 43 |
| | III (遺構) | 1 | | 3 | 1 | 1 | | 6 | | | |
| HB②イ | I | | | | 1 | 1 | | 3 | 4 | 9 | |
| | II (遺構) | | | | | | 4 | 4 | | | |
| | III | | | | | | 2 | 2 | | | |
| HB②ロ | I | 2 | 1 | | | | | 3 | 23 | 29 | |
| | II (遺構) | 1 | 1 | 2 | 3 | 9 | 7 | 23 | | | |
| | III | | | | | | 3 | 3 | | | |
| HB④イ | I | | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 合計 | | 33 | 3 | 6 | 76 | 5 | 59 | 14 | 1 | 216 | 2 |
| 分類別計 | | 42 | | 100 | | 74 | | 216 | | 2 | |

遺構 HB①II: 83, 100, 229, 240(SZ), 62, 81, 358, 359(SK), 305(SD)
 HB①III: 271(SD)
 HB②イII: 1003, 1004, 1016(SZ), 1006(SK)
 HB②ロII: 2002(SZ), 2004(SX)

(8) 瓦二次製品

瓦を加工した二次製品が 1点得られた。土製品とは異なる用途である。扁平で形状は円形を呈し、周縁は擦りで角を落としている。中央に孔が穿たれ貫通しているが、破損のため残存部は半欠している。孔は二次的に後から開けられたもので、独楽などの遊具として使用していた。計測値は最大長 6.2cm、最大幅 3.6cm、最大厚 1.2cm、孔の大きさは縦 1.5cm、横不明、重量 28.1g を測る。出土地は HB①地区 0・P8~14 I層。



第 167 图 · 图版 133 瓦 · 瓦二次製品

(9) 石製容器

図版134は民俗資料の石製容器である。石の周囲を適度な大きさに角を削り落とし、中央を彫り抜いている。外縁から内側に20cm程の幅をもたせ、平坦に仕上げた箇所もみられる。側面は口の部分から下へ15cm～17cm程度、縁のようなつくりを呈す。内側は鑿状の道具で削られた痕が残る。削りは粗く、内底部へいくにつれ徐々に狭くなり体積は大きさに比べ小さい。図版の資料は据わりが悪く片側に傾き、口の部分は水平ではない。法量は縦70cm×横64cm、高さ64cm、内径は縦31cm×横30cm、深さ36cm、砂質石灰岩製 出土地HB②イ地区 表採。

民俗事例での用途では屋敷内の勝手口などに置き、水を溜め手洗い、イモ洗いの容器として利用されていた。呼び方は地域によって多少異なり、容器として使う場合は、トウージ、トーニ、ドーニ、シムアレトーニなどと呼ばれる。又、漆喰を捏ねる際には漆喰と藁を入れて突くことから、つきうす(ムチチチャーウーシ、ウストウージ)とも呼ばれている。その語源はチョーズパチ(手水鉢)→チュージ→トウージと転化したのではないかとされている。

<参考文献>

上江洲均著 1982 『沖縄の暮らしと民具』 考古民俗叢書<19> 慶友社

上江洲均・神崎宣武・工藤員功 1983年 『琉球諸島の民具』 民俗文化双書2 未来社



俯瞰



右側面



上面



左側面

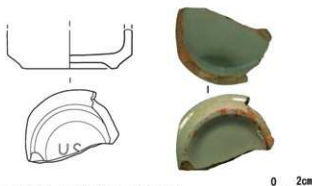
図版 134 石製容器

(10) 現代遺物

陶磁器類、ガラス製品、鉄製品、銅製品等、戦後に製作された物がI層及びII層の擾乱や性格不明土坑より出土した。鉄製品、銅製品については前節で記載済みのため、ここでは陶器、ガラス製品、その他の遺物について報告する(第84表)。当概地は米軍上陸時から平成15年3月に返還されるまで米軍基地として長期間使用されてきた。特徴的な遺物を図版136にて示す。

A. 外国産陶器

底部に「USA」の印刻があるので、米国産と考えられる陶器製のカップが出土している。底径6.2cm。



第168図・図版135 現代遺物

第84表 現代遺物出土量

| 地区層 | 遺物種別 | 陶器 | | ガラス製品 | | サン | PC | アス | 合計 |
|-----|------|--------|----|-------|--------|----|----|----|----|
| | | カップ | 罇子 | 瓶 | 板状・ビー玉 | | | | |
| HB① | I | 1 | 1 | 1 | | | | 1 | 2 |
| | II | 358SK | | 2 | 4 | 1 | | 1 | 7 |
| | III | 083SZ | | 1 | | | | | 1 |
| | 合計 | 1 | 2 | 4 | 4 | 1 | | 1 | 2 |
| HB② | I | | 1 | 2 | | | 1 | 1 | 5 |
| | II | 1018SX | | | 1 | | | | 1 |
| | 合計 | | 1 | 2 | 1 | | 1 | 1 | 6 |
| HB③ | I | | | 4 | | | | | 4 |
| | II | | | 2 | | | | | 2 |
| | III | 2004SX | | 2 | | | | | 2 |
| | IV | 2054SX | | | 1 | | | | 1 |
| | V | 2002SZ | | 1 | | | | 1 | 2 |
| | 合計 | | | 9 | 1 | | | 2 | 12 |
| 埋 | I | | | 1 | | | | | 1 |
| | 合計 | | | 1 | | | | | 1 |
| | 総合計 | 1 | 3 | 16 | 6 | 1 | 1 | 4 | 2 |

B. ガラス製品

飲料用・クリーム用・インク用・薬品用の瓶類、薄いガラス板(白色・透明)、ビー玉の23点が出土した。コカ・コーラの瓶は3本出土しており、いずれも日本コカ・コーラ社が日本用として輸入したものであった。当時国内販売は許可されておらず、ほとんどが米軍関係者用であったようである²⁾。ビール瓶も外国産ビールのみであったが、日本製の可能性のある酒瓶の破片も見られた。図版136-7の薬品瓶は伊礼原 A 遺跡(2014)に同種が出土しているが、一番違いの番号が付いている。また、沖縄市の森根竹之花原古葛群(2007)からも同種の薬品瓶の出土が報告されている。

〈註〉さわやか25年 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社 社史 1996
<http://www.cosmos.ne.jp/~norioia/topmenu.htm> ビンの博物館

第85表 ガラス瓶観察一覧

(法量単位: cm, g)

| 図版番号 | 用途 | 形状 | 底形 | 重量 | 高さ | 幅 | 口 | 底 | 観察事項 | 地区 |
|------|-----|----|----|-------|------|-----|-----|-----|--|------------------------------------|
| 1 | 飲料 | 透明 | 丸 | 395.0 | 22.0 | 5.8 | 2.7 | 5.6 | 側面: うっすらとPEPSHCOLA 1940年以降使用されたロゴマーク | HB②イ I 台3082 |
| | 飲料 | 透明 | 丸 | 216.5 | 17.0 | 7.0 | 2.4 | 6.5 | 側面: NO DEPOSIT NO RETURN | HB②イ I 台3082 |
| | 飲料 | 茶 | 丸 | 208.0 | 15.2 | 6.9 | 2.6 | 6.8 | 側面: NOT TO BE REFILLED | HB②イ I 台3070 |
| 4 | 飲料 | 透明 | 丸 | 395.0 | 19.8 | 5.8 | 2.6 | 6.0 | 側面: Coca-Cola TRADE-MARK TRADE-MARKに「」があるのは1944年製 | HB②イ I 台3070 |
| | インク | 透明 | 丸 | 99.0 | 5.5 | 5.4 | 2.5 | 5.8 | 底面: PARKER MADE IN USA 39CC 9 | HB②イ I 台3070 |
| 6 | 飲料 | 透明 | 丸 | 22.0 | - | - | - | - | 底面: Durax □*** | HB②イ I S12-13 I 2004SX 台3161 |
| | 薬品 | 透明 | 楕円 | 78.8 | 9.6 | 4.6 | 1.6 | 2.8 | 底面: OES PAT 85925 12 4 | HB②イ O7 I 台489 |



C. その他

PC タイルやサングラスが出土した。図版136-8は薄茶のプラスチックレンズを幅広の鉄製枠で囲み、耳にかかる部分は細くなっている。図版136 ガラス製品・他

第1節 平安山原B遺跡から採集された脊椎動物遺体

樋泉岳二（早稲田大学）

沖縄県北谷町の海岸平野に立地する平安山原B遺跡では、2008～2009・2011年度に実施された発掘調査において、沖縄貝塚時代後期から近現代にいたる各時代の層準から多数の脊椎動物遺体（魚骨・獣骨など）が出土した。ここではその同定結果を記載し、その特徴について考察する。

1. 資料と分析方法

調査区は2008年度調査地区（HB①地区）、2009年度調査地区（HB②イ地区・ロ地区）、2011年度調査地区（HB④イ地区・ロ地区）に分かれる。骨類を出土した層準・年代は、下位からVI層（貝塚時代後期前半以前）、V層（貝塚時代後期前半：阿波連浦下層式～大当原式期）、IV層（グスク時代）、III層（グスク時代～近世）、II層（戦前）、I層（戦後）である。V層出土資料の年代については、今回は貝塚時代後期前半として一括して扱ったが、出土土器には地区により年代差がある傾向（陸側のHB①～HB②イ地区では阿波連浦下層式～浜屋原式、海側のHB④地区では大当原式が多い）が確認されていることから、骨類に関してもこれに対応したある程度の年代差がある可能性が高い。III層の出土遺物は近世（17世紀～19世紀）が主体だが、HB①・HB②ロ・HB④イの各地区を中心に下部からグスク時代（11～16世紀）の遺物も出土している。ただし、これらを層位的に明確に区分できなかつたことから、骨類についてはIII層全体を一括してグスク時代～近世としてとらえたが、その年代は近世を主体とし、グスク時代のものである程度混じっていると推定される。

分析資料はすべて発掘現場において手で拾い上げられたもの（ピックアップ資料）である。分析方法は、基本的に樋泉（2007）の方法を踏襲した。なお哺乳類の四肢骨については、骨幹の全周を残さない破片は原則として同定対象から除外した。遺体の予備的な同定は島袋春美氏の指導のもとに整理作業員諸氏が行い、筆者（樋泉）が同定結果の確認と集計・図表作成を行った。

2. 分析結果

(1) 脊椎動物遺体の出土数

同定結果を第86～94表に、同定標本数（NISP）と最小個体数（MNI）による組成を第95表に示した。同定対象となった資料の総数（NISP）は1309点で（第95表）、このうちV層が1045点と大多数を占めており、とくにHB②イ地区が720点、HB①地区が303点と、遺跡北側の丘陵に隣接した範囲に集中している。V層以外ではII層が120点とやや多いが、その他はI層31点、III層37点、IV層28点、VI層20点と、いずれも少数である。

遺体群の内容はV層（貝塚時代後期前半）とIV層以上（グスク時代～戦後）で大きく異なるため、以下ではこれらに分けて、遺体群の詳細を記載する。

(2) V層（貝塚時代後期前半）

脊椎動物遺体の概要（第95表、第169・170図）

脊椎動物遺体全体の組成はイノシシと魚類が主体で、NISP比ではイノシシが圧倒的に多いが、MNI比では魚類とイノシシがともに約4割とほぼ同率である。資料の大半を占めるHB①地区とHB②イ地区の組成をNISP比と比較すると、いずれも上記の基本的傾向と同様だが、HB①地区ではイノシシの比率が特に高い。イノシシ・魚類以外ではオオコウモリ科（およびその可能性が高い

資料)も普通である。その他にリクガメ類、ウミガメ類、鳥類、ネズミ科、イヌ、イルカ・クジラ類も確認されているが、いずれも少数である。

魚類 (第87表・第171図)

硬骨魚綱(真骨類)16分類群が確認された(第86表)。フエフキダイ科が最も多く、ブダイ科、ハリセンボン科、クロダイ属も普通であり、MNIではベラ科、モンガラカワハギ科、NISPではアジ科がこれに次ぐ。その他にハタ科、フエダイ科など多くの種類が確認されているが、いずれも少数である。フエフキダイ科の大半はフエフキダイ属で、前上顎骨はすべてハマフエフキに類するタイプ(ハマフエフキ型)であった。ブダイ科の咽頭骨・前上顎骨・歯骨はイロブダイ属が6点、アオブダイ属が3点で、前者が優勢である。ベラ科の咽頭骨はタキベラ型、ベラ科A、ベラ科Bが各1点確認された。アジ科4点はいずれも大型の種である。

爬虫類・鳥類 (第88表)

爬虫類ではウミガメ類8点、リクガメ類7点が確認された。鳥類は小型種の尺骨の骨幹が1点確認されたが、詳細な分類群を特定することは困難であった。

陸生哺乳類

イノシシが圧倒的に多く、オオコウモリ科(およびその可能性が高い資料)も普通である(第95表)。その他にネズミ科、イヌがわずかに確認されている。

イノシシ(第90~92表):多量の遺体が出土しており、NISPは790点、MNIは33個体に達する。現生リュウキュウイノシシに類する小型のイノシシである。詳細な形質学的検討を行っていないが、おそらく野生のイノシシとみて問題ないと思われる。顎骨と四肢骨の比率をMNIでみると、顎骨33個体、四肢骨23個体で、顎骨(とくに下顎骨)が明らかに多い。四肢骨各部位の組成については、部位によってある程度の多寡はあるが、著しい偏りは認められないようである。顎骨によって年齢構成をみると、乳歯を伴う個体(約1.5歳以下)と永久歯への交換を完了した個体のMNI比は7:26で、M3が萌出した個体(約3歳以上)も多く、成獣が主体である。下顎犬歯にもとづく性比(雄:雌)をMNI比でみると、下顎骨では5:7で雌が優勢だが、下顎犬歯数(顎骨に植立しているもの+遊離歯)では16:9で雄が優勢となる。解体痕については、HB①地区出土の寛骨にカットマークが確認されたほか、スパイラル・フラクチャーがHB①地区出土の上腕骨13点、橈骨8点、大腿骨4点、脛骨3点、HB②地区出土の上腕骨21点、橈骨・尺骨各4点、大腿骨7点、脛骨16点に確認されている。

オオコウモリ科(第89表):NISPは21点、MNIは5個体で、イノシシに次いで多くの資料が得られている。確認された部位は、下顎骨・上腕骨・橈骨が各6点、遊離臼歯・鎖骨・指骨が各1点で、頭部と前肢に偏る。四肢骨の骨端は鎖骨と指骨を除きすべて欠損しており、人為的に切断された可能性が高い。その他に、形態と分布状況からみておそらくオオコウモリ科と思われる四肢骨の骨幹が74点と多数検出されているが、骨幹部のみの小破片で確定困難であったため、これらについては「オオコウモリ科?」とした。

その他の陸生哺乳類(第94表):イヌが2点、ネズミ科が1点確認されている。ネズミ科は自然遺骸の可能性が高い。その他にウマが1点採集されているが、Ⅲ層からの混入である可能性が高い。

水生哺乳類 (第94表)

イルカ類2点、クジラ類1点が確認されたのみである。今回の調査ではジュゴンは確認されなかったが、2002~2003年度に行われた試掘調査(東門ほか2008)のC-17区IV層(黄白色粗砂層・弥生時代相当期)からジュゴンの頭骨が出土している。今回調査のグリッド・層序との正確な対応

関係を確認していないが、出土位置はおそらく L16~17 グリッド付近のV層に相当すると思われる。

骨類の分布傾向

V層の資料の大半は HB①地区と HB②イ地区から出土している。主要種であるイノシシ、魚類、オオコウモリ科（オオコウモリ科？を含む）について HB①地区と HB②イ地区の NISP 比をみると、イノシシ 269 (35%) : 506 (65%)、魚類 13 (11%) : 101 (89%)、オオコウモリ科 11 (12%) : 84 (88%) で、全体的に HB②イ地区に偏在しており、魚類とオオコウモリ科はその傾向が強い。

出土資料のより詳細な分布傾向をグリッド別の NISP によってみると、その多くが HB②イ地区の J~L10・K11・J~K12 グリッド付近に集中しているほか、HB①地区の L14~15 グリッド付近にもまとまりがある。この範囲は出土具類の特徴に基づく区分けの A 区（以下「貝 A 区」・（第 172 図））に相当しており、出土土器は阿波連浦下層~浜屋原式期が主体である。

貝 A 区におけるグリッド別の組成をみると、イノシシは全域で主体的であり、部位別にみても頭骨とその他の部位がともに多産しており、分布傾向の違いは今のところ確認できない。ただし頭骨とその他の部位の NISP 比をみると、大半のグリッドでは頭骨以外の部位が多いが、HB①地区の L15 グリッドだけは頭骨 32 点（MNI 5 個体）、その他 25 点（同 3 個体）で頭骨が多く、他のグリッドとは傾向が異なる可能性がある。魚類は HB②イ地区 J~L10 グリッド付近、オオコウモリ科は同じく HB②イ地区の K~L10 グリッド付近にまとまる傾向があり、イノシシに比べて分布の偏在傾向が強い。さらに HB①地区では、魚類にブダイ科がみられない点、オオコウモリ科は頭骨がみられず L12~14 グリッドでそれともしき四肢骨の骨幹のみが検出されている点など、HB②イ地区とはやや傾向を異としているようにも思われる。

貝 A 区以外からの出土数はごく少ないが、貝 B 区に相当する HB①地区の L18~19 グリッドではイノシシの椎骨・四肢骨 15 点がまとめて出土しており、頭骨がみられないことから貝 A 区とは様相が異なっている可能性がある。この点については、貝 B 区の出土土器は大当原式が多いとのことであり、年代的な違いの可能性も考えられる。

なお試掘調査時に検出されたジュゴン頭骨の出土位置は今回調査の貝 A 区と貝 B 区の間部付近に相当しており、上記の骨類の集中範囲からややはずれていること、また今回調査ではジュゴンの遺体がまったく確認されていないことから、他の骨類とは別に頭骨のみが単独で存在していたと考えられ、意図的に安置または埋納された可能性も考えられる。

(3) IV層~I層(グスク時代~戦後)

IV層以上では魚類が激減し、代わってIV層でウシ・ウマ、さらにIII層でヤギが出現する。イノシシ類にもブタと思われるものが増加して、V層とは組成が大きく変化する。

NISP 比によってIV層~I層の組成の層位的変化をみると、IV層・III層・I層ではイノシシ類が4割前後、ウシが約2~3割、ウマが約1~3割で、これら3種がともに高率を示す。これに対してII層ではイノシシ類が87%を占め、MNI比でも（第170図）イノシシ類が5個体、他種は各1個体でイノシシ類が圧倒的に多く、特異な様相である。

魚類・爬虫類・鳥類（第87・88表）

魚類はIII層でフェエキダイ属、II層でクロダイ属が各1点、爬虫類はII層でリクガメ類1点、鳥類はII層とIV層で詳細な同定困難な四肢骨の骨幹破片が各1点採集されているのみである。

イノシシ類（イノシシまたはブタ）（第90~92表）

形質：イノシシ類には形態的に野生種と変わらないものから、下顎骨・四肢骨の肥大・短縮など明確な家畜化（ブタ化）の特徴を示すものまで、多様な形質をもつものが混在している。現時点で

は詳細な形質学的検討が未了であるため、今回は「イノシシ類（イノシシまたはブタ）」として一括して取り扱ったが、Ⅱ層～Ⅰ層の資料は年代的にみてブタの可能性が高い。とくにⅡ層では、358SK、2002SZ、240SZ 出土資料は明らかにブタであり、HB②地区「南側」出土資料にもブタと判断される資料が多数含まれている。これに対してⅢ層・Ⅳ層では、ブタの可能性のある資料もみられるが、判断の難しいものが多い。

年齢構成：顎骨が少ないため正確な年齢構成の推定は困難だが、Ⅱ層では若齢個体が目立つ。とくに後述の 358SK 出土資料はすべて若い幼獣であった。また 2002SZ の下顎骨 3 点中 2 点は乳臼歯を残しており 1.5 歳以下の幼獣である。その他にも、橈骨・脛骨・腓骨・中手／中足骨の遠位端のほとんどは未癒合であり、全体的に未成年が卓越する傾向が明らかである。Ⅱ層以外については資料数が少ないため傾向は明らかでない。

性比：犬歯の出土数による性比は、Ⅱ層では雄 4 点のみだが、すべて遊離歯のため実際の性比を正しく示しているかは明確でない。他の層では資料が少なく傾向は不明である。

部位組成：頭骨と四肢骨の MNI 比をみると、Ⅲ層 1：3、Ⅱ層 3：5、Ⅰ層 1：2 で、いずれも四肢骨が多い。

解体痕：Ⅱ層出土資料には解体痕が普通にみられ、1SK 出土の尺骨および HB②ロ地区南側出土の踵骨にカットマーク、358SK 出土の上腕骨・大腿骨と脛骨 3 点、81SK 出土の下顎骨・橈骨、1018SX 出土の上腕骨・橈骨、1SK 出土の上腕骨にスパイラル・フラクチャーが確認されている。他の層では、Ⅳ層 HB④イ地区出土の上腕骨、Ⅲ層 343SK 出土の上腕骨と HB①地区出土の上腕骨にスパイラル・フラクチャー、Ⅰ層 HB①地区出土の上腕骨にカットマーク、Ⅰ層 HB②ロ地区出土の上腕骨にスパイラル・フラクチャーが確認された。

358SK（Ⅱ層）におけるブタ遺体の産状：Ⅱ層で検出されたゴミ投棄穴と推定される土坑 358SK からブタと判断される資料 40 点がまとめて検出されている。すべて幼獣である。部位別の内訳は椎骨（環椎～仙椎）7 点、肩甲骨 4 点、上腕骨 2 点、橈骨 1 点、尺骨 2 点、寛骨 5 点、大腿骨 7 点、脛骨 5 点、腓骨 3 点、踵骨 4 点で、椎骨と手根・足根部より近位の四肢骨のみであり、頭骨と指骨（中手・中足骨より遠位）を欠く。MNI は 3 個体（大腿骨の同一個体左右各 1 + 別個体大小各 1 個体）。肩甲骨と踵骨は 2 個体の左右のペアが揃って出土している。他にヤギの脛骨およびヤギの可能性のある頸椎が各 1 点採集されている。

ウシ（第 93 表）

各層から顎骨・歯と四肢骨が出土している。部位の偏りはとくに認められない。Ⅱ層 2003SZ 出土の右下顎骨関節突起にカットマーク、Ⅱ層出土の上腕骨およびⅠ層出土の脛骨・中足骨・基節骨にスパイラル・フラクチャーが確認されている。

ウマ（第 93 表）

各層から顎骨・歯と四肢骨が出土しているが、Ⅲ層では 10 点中 9 点を顎骨と歯が占めており、とくに HB①地区の 372SK では同一個体の左右下顎骨（骨番号 407）が揃って出土している。左は吻端～M3、右は吻端～P3 の顎骨が残存する。犬歯はなく、雌である。解体痕については、上記の下顎骨およびⅡ層出土の左下顎骨関節突起にカットマーク、Ⅳ層出土の左中足骨およびⅠ層出土の中足骨にスパイラル・フラクチャーが確認されている。

その他の哺乳類（第 94 表）

ヤギがⅢ層で 1 点、Ⅱ層で 3 点、Ⅰ層で 2 点確認されたほか、Ⅱ層からヤギと思われる頸椎と中足骨？が出土している。またⅡ層でウサギ科、Ⅳ層でネコが各 1 点確認されている。

II層における骨類の分布傾向

出土数の多いII層の骨類の分布をみると、HB②イ地区と隣接するHB①地区北端のK~L・9~14グリッドおよびHB①地区西端~HB②ロ地区のP~S・8~10グリッド付近にまとまっている。すべて遺構からの出土資料で、遺構別の出土数は358SKが42点と最も多く、1SK(13点)、1018SX(10点)、81SK(7点)、2002SZ(4点)がこれに次ぐ。他の遺構は2~1点である。

出土資料の大半を占めるイノシシ類について遺構別の部位組成をみると、先述の358SKおよび1SKは椎骨・四肢骨のみで頭骨を欠くものに対して、2002SZでは4点中下顎骨が3点を占めていることから、頭骨または顎骨とその他の部位で解体後の取り扱いが異なっていた可能性がある。

イノシシ類以外は資料数が少ないため分布傾向は明確でない。

3. 考察—周辺遺跡との比較

資料数の多いV層(貝塚時代後期前半)とII層(戦前)について、周辺の遺跡と比較し、本遺跡の特徴について検討する。

(1) 貝塚時代後期前半

今回の調査地点の南東約800mに位置する小堀原遺跡(1999~2001年度試掘調査・2008~2009年度本調査VI層b区)と南東250m前後に位置する伊礼原遺跡国指定範囲外地区(以下「伊礼原遺跡」とする)V層・IV層でも貝塚時代後期前半の骨類が多数出土している(桶泉2009・2012・2014)。

小堀原遺跡および伊礼原遺跡V層・IV層と本遺跡V層の出土骨を比較すると、いずれも魚類とイノシシを主体としてウミガメ・イヌなどが伴う基本的パターンは共通している。ただし、小堀原遺跡ではMNI比でイノシシが5割、魚類3割程度とイノシシが優勢だが、伊礼原遺跡では魚類が優勢であり、とくにIV層では約6割とイノシシの倍近くを占める。これに対して本遺跡では、魚類・イノシシともに約4割とほぼ同率であり、小堀原遺跡と伊礼原遺跡の中間的な様相である。

またイノシシ類の顎骨と四肢骨のMNI比をみても、小堀原遺跡では1999~2001年度資料が26:10、2008~2009年度資料が10:3と、いずれも顎骨が圧倒的に多く、一部の地区では顎骨が集中する状況も確認されている。一方、伊礼原遺跡V層では10:8と僅差であり、IV層では逆転して16:46と四肢骨が圧倒的に卓越する。これに対して本遺跡では33:23で、顎骨が多い点では小堀原に近いが、その偏りは小堀原ほど極端ではなく、この点でも両遺跡の中間の様相といえる。

一方、魚類については、フエフキダイ科・ブダイ科・ハリセンボン科・ベラ科・クロダイ属などが優占する点は各遺跡に共通の特色だが、小堀原遺跡ではフエフキダイ科とブダイ科・ハリセンボン科・ベラ科の比率の差が小さい(MNI比ではほぼ同率)のに対して、伊礼原遺跡ではフエフキダイ科が他種より明らかに卓越しており、本遺跡は後者に類似している。

その他に、伊礼原遺跡ではジュゴンが多産しているが、本遺跡では試掘時に頭骨1点(特殊な性格を持つ可能性もある)が出土したのみである。また本遺跡固有の特徴としてオオコウモリ科が多数出土した点の特筆される。琉球列島の遺跡におけるオオコウモリの出土は珍しく、少数が出土した例はいくつか知られているが、多数の遺体がまとめて出土したのは今回が初例である。

このように、本遺跡の貝塚時代後期前半における脊椎動物遺体の様相は、脊椎動物全体の組成やイノシシの部位組成に関しては、距離的に近い伊礼原遺跡よりも小堀原遺跡に近い様相を示す一方で、魚類組成は伊礼原遺跡に近く、オオコウモリ科やジュゴンに関しては本遺跡に固有の様相が認められた。近接する同時代遺跡間にみられるこうした脊椎動物資源利用パターンの相違は、一連の生活空間内における活動内容の空間差を反映している可能性が高い。今後はそうした差異の背景を

解明していくことが課題となろう。

(2) 近代（戦前）

旧キャンプ桑江北側地区（桑江・伊平地区）の遺跡群では、これまでも近代以降と思われる脊椎動物遺体が出土しているが、その多くは近世資料と混在しており、詳細な時代を特定することが困難であった。今回の調査で特筆されるのはⅡ層から近代（とくに戦前期）の年代が明確な資料が豊富に得られた点で、この時期の脊椎動物資源利用の実態を示す資料として重要である。

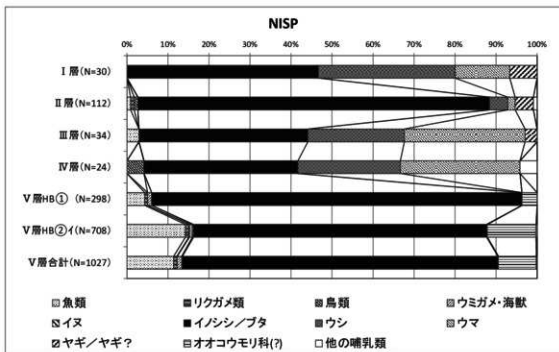
周辺遺跡の中でこれまでに近代のものを含むと思われる遺体を多産した遺跡としては、本遺跡の南方 200m 前後に位置する伊礼原 D 遺跡 4 トレンチ 7～10 グリッド（近世以降主体、樋泉 2008）および南東約 400～500m に位置する伊礼原 E 遺跡Ⅱ層（近世～近代、樋泉 2010）がある。これらの遺跡と本遺跡の出土資料を比較すると、各遺跡ともにイノシシ類を主体とし、これとウシ・ウマが大半を占め、魚骨がごく少ないという基本パターンは共通している。ただし伊礼原 D 遺跡ではウシ・ウマの比率がやや高いのに対して、伊礼原 E 遺跡ではイノシシ類の比率が高く、本遺跡は後者に類似している。いっぽうで、伊礼原 E 遺跡のイノシシ類は部位が頸骨に偏在しているのに対して、本遺跡では四肢骨が卓越する点で傾向が異なっている。また本遺跡では伊礼原 D・E 遺跡に比べてヤギがやや多い点も特徴である。

すでに伊礼原 D・E 両遺跡の近世以降の遺体群に明確な差異があり、これが活動内容の空間差を示す可能性を指摘したが（樋泉 2010・2014）、本遺跡の遺体群もまた両遺跡とは異なる独特のパターンを示すことが確認された。ただし伊礼原 D・E 遺跡の出土骨は近世～近代のものが混在していると推定されるのに対して、本遺跡Ⅱ層の資料は近代、とくに戦前の資料が主体と推定されることから、今後は近世から戦前期における資源利用の時代変化の観点から検討する必要がある。

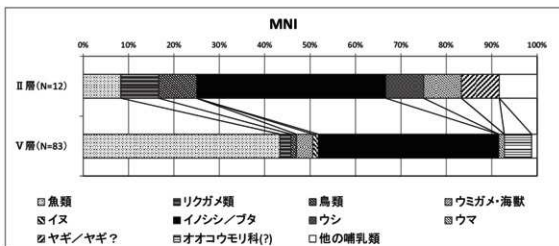
謝辞：分析作業に際しては、島袋春美氏・山城安生氏・東門研治氏・松原哲志氏ほか北谷町教育委員会の皆様より多大なるご教示・ご協力を賜った。黒住耐二氏（千葉中央博物館）には多くのご教示を賜ったほか、現生標本の参照に便宜を図っていただいた。記して厚く御礼申し上げる。

<参考文献>

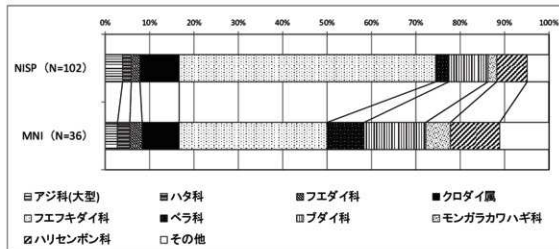
- ・樋泉岳二（2007）「伊礼原遺跡から出土した脊椎動物遺体群」、『伊礼原遺跡－伊礼原 B 遺跡ほか発掘調査事業－』（北谷町教育委員会編）、沖縄県北谷町教育委員会、pp.480-534.
- ・樋泉岳二（2008）「伊礼原 D 遺跡第 3・第 4 トレンチ出土の脊椎動物遺体群」、『伊礼原 D 遺跡－キャンプ桑江北側返還に伴う発掘調査事業（平成 10～13 年度）－』（北谷町教育委員会編）、沖縄県北谷町教育委員会、pp.184-196.
- ・樋泉岳二（2009）「小堀原遺跡出土の脊椎動物遺体群」、『小堀原遺跡－キャンプ桑江北側返還に伴う発掘調査事業（平成 11～13 年度）－』（北谷町教育委員会編）、沖縄県北谷町教育委員会、pp.189-203.
- ・樋泉岳二（2010）「伊礼原 E 遺跡出土の脊椎動物遺体」、『伊礼原 E 遺跡－桑江伊平土地画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査（平成 16・17 年度）』（山城安生・島袋春美編）、沖縄県北谷町教育委員会、pp.57-79.
- ・樋泉岳二（2012）「小堀原遺跡 2008～2009 年度調査で採集された脊椎動物遺体」、『小堀原遺跡－桑江伊平土地画整理事業に伴う試掘調査事業－』（山城安生・島袋春美編）、沖縄県北谷町教育委員会、pp.322-334.
- ・樋泉岳二（2014）「伊礼原遺跡（国指定外）2007・2008・2012 年度調査で採集された脊椎動物遺体（付、伊礼原 A 遺跡 2008 年度調査で採集された脊椎動物遺体）」、『伊礼原遺跡（国指定外）－伊礼原 A 遺跡－桑江伊平土地画整理事業に伴う発掘調査事業（平成 19・20・24 年度）』（島袋春美編）、沖縄県北谷町教育委員会、pp.353-396.
- ・東門研治ほか（2008）『平安山原 B 遺跡－キャンプ桑江北側変換に伴う発掘調査事業（平成 14・15 年度）』、沖縄県北谷町教育委員会。



第169図 平安山原B遺跡HB①・②・④地区から採集された脊椎動物遺体の組成(1): NISP比。



第170図 平安山原B遺跡HB①・②・④地区から採集された脊椎動物遺体の組成(2): MNI比。
資料数の多いII層・V層のみを表示。



第171図 平安山原B遺跡HB①・②・④地区V層から採集された魚類遺体の組成。

第86表. 平安山原B遺跡HB①・②・④地区から採集された脊椎動物遺体の種名一覧

| 硬骨魚類 | OSTEICHTHYES | 爬虫類 | RRPTILIA |
|------------------|--|-------------|---------------------------------------|
| ウツボ科 | Muraenidae | ウミガメ科 | Cheloniidae |
| アナゴ科 | Congridae | リュウキュウヤマガメ科 | <i>Geoclemys spengleri japonica</i> ? |
| ハタ科 | Serranidae | 鳥類 | AVES |
| アジ科(大型) | Carangidae (large) | 目下不明 | Order indet. |
| フエダイ科 | Lutjanidae | 哺乳類 | MAMMALIA |
| クロダイ属 | <i>Acanopagrus</i> sp. | オオコウモリ科 | Pteropodidae |
| フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | <i>Lethrinus cf. L. nebulosus</i> | ウサギ科 | Leporidae |
| ベツ科(タキベツ型) | <i>Labridae cf. "Bodianus pentlinii"</i> | ネズミ科 | Muridae |
| ベツ科A | Labridae A | イヌ | <i>Canis familiaris</i> |
| ベツ科B | Labridae B | ネコ | <i>Felis catus</i> |
| イロブダイ属 | <i>Bulbonotopus</i> sp. | ウマ | <i>Equus ferus</i> |
| アオブダイ属 | <i>Scorpa</i> sp. | イノシシ(またはブタ) | <i>Sus scrofa</i> |
| オニオコゼ科? | Symnecidae ? | ヤブ | <i>Capra hircus</i> |
| コナ科 | Platycephalidae | ウシ | <i>Bos taurus</i> |
| モンガラカワハギ科 | Balistidae | イルカ類 | Cetacea (small) |
| ハリセンボン科 | Diodontidae | クジラ類 | Cetacea (large) |

第87表-1. 平安山原B遺跡HB①・②・④地区から採集された魚類遺体の同定結果

| 層号 | 年代 | 地区 | 骨種 | 骨種 | 種別 | 部位 | 左右 | 数 | 備考・計測値(mm) |
|-----|---------|-----|---------------|------|-------|------------------|---------|---|------------|
| II | 戦前 | HB① | アゴコブ | 背骨 | クロダイ属 | 前上顎骨 | L | 1 | |
| III | 古墳時代-古新 | HB① | 地区別出土位置(遺構) | 骨種 | 身長 | | | | |
| | | | K-L12(1SK) | 377 | 354 | クロダイ属 | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | O13-14-P13 | 575 | 363 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | K12 | 538 | 357 | クロダイ属 | 前上顎骨 | L | 1 |
| | | | L16 | 533 | 353 | クロダイ属 | 歯骨 | L | 1 |
| | | | L15 | 539 | 352 | クロダイ属 | 歯骨 | R | 1 |
| | | | L14 | 303 | 360 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | L | 1 |
| | | | K15 | 304 | 364 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | L14 | 558 | 361 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | L13 | 296 | 362 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | L15中央へ6cm | 401 | 358 | フエフキダイ科 | 前上顎骨 | L | 1 |
| | | | J15 | 537 | 355 | ベツ科(タキベツ型) | 下咽骨 | 1 | 下咽骨幅44 |
| | | | K13 | 255 | 365 | ベツ科A | 下咽骨 | 1 | 下咽骨幅32 |
| | | | K13 | 255 | 356 | モンガラカワハギ科 | 背棘鱗 | 1 | |
| | | | L14 | 303 | 347 | ハリセンボン科 | 歯骨 | 1 | 歯板前幅18 |
| | | | L15 | 539 | 359 | ハリセンボン科 | 前上顎骨/歯骨 | 1 | 歯板前幅8 |
| | | | K10 | 3233 | 473 | ウツボ科 | 歯骨 | R | 1 |
| | | | J12 | 3323 | 370 | アナゴ科 | 前上顎骨 | L | 1 |
| | | | J12 | 3323 | 729 | アナゴ科 | 角骨 | L | 1 |
| | | | L10 | 3235 | 623 | ハタ科 | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | J-K12(1023SK) | 3272 | 495 | ハタ科 | 側頭骨 | L | 1 |
| | | | J10 | 3252 | 605 | アジ科(大型) | 鰓鱗 | 1 | |
| | | | J10 | 3248 | 332 | アジ科 | 椎骨 | 3 | 大型 |
| | | | L10 | 3235 | 341 | フエダイ科 | 前上顎骨 | L | 1 |
| | | | L10 | 3235 | 472 | フエダイ科 | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | K11 | 3076 | 361 | クロダイ属 | 前上顎骨 | L | 1 |
| | | | K10 | 3216 | 462 | クロダイ属 | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | K11 | 3220 | 461 | クロダイ属 | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | K11 | 3242 | 460 | クロダイ属 | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | K11 | 3232 | 347 | クロダイ属 | 歯骨 | L | 1 |
| | | | K10(1029SK) | 3302 | 471 | クロダイ属 | 歯骨 | R | 1 |
| | | | へ6cm | 3059 | 391 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | L | 1 |
| | | | K10 | 3216 | 382 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | L | 1 |
| | | | K10 | 3233 | 392 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | L | 1 |
| | | | K10 | 3233 | 393 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | L | 1 |
| | | | 下層遺構崩壊後 | 3238 | 384 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | L | 1 |
| | | | J12 | 3239 | 383 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | L | 1 |
| | | | K11 | 3242 | 380 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | L | 1 |
| | | | J10 | 3252 | 381 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | L | 1 |
| | | | L09 | 3215 | 424 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | K10 | 3216 | 425 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | K10 | 3216 | 420 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | K11 | 3220 | 423 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | J10 | 3227 | 432 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | J10 | 3227 | 487 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | K10 | 3229 | 405 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | J12 | 3230 | 426 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | L09 | 3255 | 421 | フエフキダイ属(ハマフエフキ型) | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | K10 | 3254 | 458 | フエフキダイ属 | 方骨 | L | 1 |
| | | | K10 | 3233 | 738 | フエフキダイ属 | 方骨 | R | 1 |
| | | | J10 | 3252 | 456 | フエフキダイ属 | 方骨 | R | 1 |
| | | | K10 | 3254 | 457 | フエフキダイ属 | 方骨 | R | 1 |
| | | | L10 | 3235 | 490 | フエフキダイ属 | 口蓋骨 | L | 1 |
| | | | K10 | 3216 | 463 | フエフキダイ属 | 口蓋骨 | R | 1 |

第IV章
1

第B7表-2. 平安山原B遺跡HB①・②・④地区から採集された魚類遺体の同定結果

| 層序 | 年代 | 地区 | 地区 区分 | 発掘 層位 出土位置(遺構) | 骨 番号 | 骨 番号 | 種類 | 部位 | 左右 | 備考・計測値(mm) | |
|-------|--------------|-----|-----------|----------------------|-------------|---------|---------------|---------|--------|------------|---------|
| V | 貝塚時代 後期前半 | | HB② | イ | L10 | 3231 | 494 | フェウクダ目 | 口蓋骨 | R | 1 |
| | | | | | K09 | 3263 | 346 | フェウクダ目 | 口蓋骨 | R | 1 |
| | | | | | L09 | 3215 | 435 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | L | 1 |
| | | | | | K10 | 3216 | 442 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | L | 1 |
| | | | | | K10 | 3216 | 441 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | L | 1 |
| | | | | | K11 | 3220 | 440 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | L | 1 |
| | | | | | J10 | 3227 | 443 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | L | 1 |
| | | | | | K12 | 3237 | 450 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | L | 1 |
| | | | | | 下層遺構層例後 | 3238 | 374 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | L | 1 |
| | | | | | K09 | 3263 | 445 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | L | 1 |
| | | | | | K09 | 3263 | 446 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | L | 1 |
| | | | | | K09(1043SC) | 3266 | 447 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | L | 1 |
| | | | | | K12 | 3056 | 453 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | R | 1 |
| | | | | | K10 | 3216 | 449 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | R | 1 |
| | | | | | K10 | 3229 | 448 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | R | 1 |
| | | | | | L10 | 3235 | 451 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | R | 1 |
| | | | | | L11 | 3262 | 452 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | R | 1 |
| | | | | | L10 | 3235 | 342 | フェウクダ目 | 歯骨 | L | 1 |
| | | | | | K10 | 3254 | 410 | フェウクダ目 | 歯骨 | L | 1 |
| | | | | | L11 | 3262 | 412 | フェウクダ目 | 歯骨 | L | 1 |
| | | | | | L09 | 3215 | 418 | フェウクダ目 | 歯骨 | R | 1 |
| | | | | | K12 | 3244 | 416 | フェウクダ目 | 歯骨 | R | 1 |
| | | | | | K10 | 3254 | 415 | フェウクダ目 | 歯骨 | R | 1 |
| | | | | | L10 | 3218 | 488 | フェウクダ目 | 角骨 | L | 1 |
| | | | | | K12 | 3237 | 489 | フェウクダ目 | 角骨 | L | 1 |
| | | | | | L10 | 3231 | 349 | フェウクダ目 | 角骨 | R | 1 |
| | | | | | K09(1040SC) | 3267 | 348 | フェウクダ目 | 角骨 | R | 1 |
| | | | | | K09 | 3263 | 486 | フェウクダ目 | 鰓様 | 1 | 検 |
| | | | | | L10 | 3235 | 478 | フェウクダ目 | 鰓様 | 1 | |
| | | | | | K11 | 3242 | 477 | フェウクダ目 | 鰓様 | 1 | |
| | | | | | L09 | 3255 | 479 | フェウクダ目 | 鰓様 | 1 | |
| | | | | | K09 | 3263 | 476 | フェウクダ目 | 鰓様 | 1 | |
| | | | | | K11 | 3220 | 350 | タイ型 | 種骨 | 1 | |
| | | | | | K10 | 3229 | 355 | タイ型 | 種骨 | 1 | |
| | | | | | K10 | 3233 | 351 | タイ型 | 種骨 | 1 | |
| | | | | | L10 | 3235 | 344 | タイ型 | 種骨 | 1 | |
| | | | | | 下層遺構層例後 | 3238 | 353 | タイ型 | 種骨 | 1 | |
| | | | | | K12 | 3241 | 354 | タイ型 | 種骨 | 1 | |
| | | | | | J10 | 3248 | 323 | タイ型 | 種骨 | 1 | |
| | | | | | K10 | 3233 | 345 | ベラ科目 | 下咽咽骨 | 1 | 下咽咽骨幅29 |
| | | | | | J10 | 3227 | 359 | イロブダイ目 | 上咽咽骨 | L | 1 |
| | | | | | J10 | 3252 | 336 | イロブダイ目 | 下咽咽骨 | 1 | 下咽咽骨幅13 |
| | | | | | K12 | 3056 | 331 | イロブダイ目 | 前上顎骨 | L | 1 |
| | | | | | J10 | 3252 | 330 | イロブダイ目 | 前上顎骨 | L | 1 |
| | | | | | J10 | 3252 | 327 | イロブダイ目 | 前上顎骨 | R | 1 |
| | | | | | K12 | 3241 | 335 | イロブダイ目 | 歯骨 | L | 1 |
| | | | | | K10 | 3216 | 329 | アオブダイ目 | 下咽咽骨 | 1 | 下咽咽骨幅5 |
| | | | | | K11 | 3242 | 338 | アオブダイ目 | 下咽咽骨 | 1 | 下咽咽骨幅14 |
| | | | | | J10 | 3252 | 340 | アオブダイ目 | 下咽咽骨 | 1 | 下咽咽骨幅14 |
| | | | | | J12 | 3230 | 375 | オニオコゼ科? | 角骨 | L | 1 |
| J12 | 3226 | 356 | コシ科 | 歯骨 | L | 1 | | | | | |
| J13 | 3249 | 366 | モンガワカワハギ科 | 背縁鱗 | 1 | | | | | | |
| K10 | 3071 | 358 | ハシセンボ科 | 前上顎骨 | 1 | 歯根面幅6、検 | | | | | |
| J-K10 | 3240 | 360 | ハシセンボ科 | 前上顎骨 | 1 | 歯根面幅14 | | | | | |
| K10 | 3071 | 357 | ハシセンボ科 | 歯骨 | 1 | 歯根面幅6 | | | | | |
| L10 | 3078 | 367 | 魚類(未定) | 鰓様 | 1 | | | | | | |
| K10 | 3233 | 364 | 魚類(保認) | 種骨 | 1 | | | | | | |
| L10 | 3235 | 363 | 魚類(保認) | 種骨 | 1 | | | | | | |
| K10 | 3236 | 362 | 魚類(保認) | 種骨 | 1 | | | | | | |
| K10 | 3236 | 365 | 魚類(保認) | 種骨 | 1 | | | | | | |
| K10 | 3233 | 369 | 魚類(同定不可) | 種骨 | 1 | | | | | | |
| L10 | 3428 | 334 | 魚類(同定不可) | 種骨 | 1 | | | | | | |
| HB④ | イ | ロ | L01 | 470 | 21 | ハシセンボ科 | 前上顎骨/歯骨 | 1 | | | |
| | | | R10 | 482 | 22 | ハシセンボ科 | 前上顎骨/歯骨 | 1 | 歯根面幅14 | | |
| | | | R10 | 482 | 6 | 魚類(未定) | 種骨 | 1 | | | |
| 不明 | 不明 | HB② | - | イ | 3256 | 422 | フェラド目(ハマフェラ型) | 前上顎骨 | R | 1 | |
| | | | | - | 不明 | 444 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | L | 1 | |
| | | | | - | 不明 | 740 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | L | 1 | |
| | | | | - | 不明 | 740 | フェウクダ目 | 主上顎骨 | L | 1 | |
| | | | | - | 不明 | 378 | フェウクダ目 | 歯骨 | R | 1 | |
| | | | | - | 不明 | 352 | タイ型 | 種骨 | 1 | | |

第88表. 平安山原B遺跡HB①・②・④地区から採集された爬虫類・鳥類遺体の同定結果

*1 年代凡例 具後: 具埋時代後期前半 *2 残存位置の番号凡例は表5を参照。*3 数に<>を付けて示したものはMSPの算定対象外。

| 種別 | 層序 | 年代 #1 | 地区 | 地区 区分 | グリッド/出土位置 (遺構名・取上番号) | 台帳 番号 | 骨 番号 | 部位 | 残存位置 #2 | 左右 | 数 #3 | 備考 | |
|--------------|----|--------------|-------|----------|-------------------------|-----------|---------|---------|------------|-------|---------|------|---|
| ウミガメ | V | 具埋時代 後期前半 | HB① | - | L14中央ベルト | 419 | 382 | 肋骨板 | | | | 1 | |
| | | | | | L15中央ベルト | 491 | 383 | 腹甲板 | fr | <1> | | | |
| | | | | | L18 | 580 | 406 | 甲板 | fr | <1> | | | |
| | | | | | K10 | 3233 | 491 | 四肢骨 | | 2 | | | |
| | | | | | K10(1274) | 1274 | 437 | 肋骨板 | p | 1 | | | |
| | | | | | L10 | 3235 | 429 | 肋骨板 | | 1 | | | |
| | | | HB② | イ | 下層遺構期前後 | 3246 | 622 | 部位不明 | fr | <1> | | | |
| | | | | | K01 | 465 | 23 | 上胸骨 | d | ? 1 | | | |
| | | | | | L01 | 470 | 24 | 上胸骨 | <pr> | L 1 | 骨中の片断 | | |
| | | | HB④ | ロ | R15 | 480 | 5 | 尻尾蓋 | | | R 1 | | |
| | | | | | Q10-12 | 476 | 3 | 肋骨板 | fr | <1> | | | |
| | | | | | R10 | 99 | 4 | 甲板 | fr | <1> | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| リクガメ | V | 具埋時代 後期前半 | II 戦前 | HB① | - | K13(835Z) | 374 | 404 | 網状腹板 | | R 1 | | |
| | | | | | | L17中央ベルト | 262 | 366 | 内腹板 | | 1 | | |
| | | | HB② | イ | L14中央ベルト | 419 | 372 | 中腹板/下腹板 | | 1 | | | |
| | | | | | J13 | 3265 | 739 | 肋骨板 | fr | <1> | 焼 | | |
| | | | | | J11 | 3073 | 428 | 肋骨板 | | 1 | 焼 | | |
| | | | | | I12 | 3230 | 407 | 上腹板 | | L 1 | | | |
| | | | | | L10 | 3235 | 431 | 内腹板 | | 1 | | | |
| | | | | | J13 | 3249 | 430 | 下腹板 | | L 1 | | | |
| | | | 不明 | 不明 | HB② | - | - | 不明 | 400 | 網状腹板? | | L? 1 | 焼 |
| | | | | | | | - | 不明 | 730 | 甲板 | fr | <1> | 焼 |
| 鳥類 (同定不可) | IV | 具後 | HB② | ロ | 南南 | 3228 | 703 | 四肢骨 | m | ? 1 | | | |
| | | | | | グスク | 512 | 335 | 704 | 四肢骨 | m | ? 1 | | |
| | | | | | 具後 | L10 | 3235 | 493 | 尺骨 | m | ? 1 | 小空種 | |

第89表. 平安山原B遺跡HB①・②・④地区から採集されたコウモリ類遺体の同定結果

*1 残存位置の番号凡例は第90表・第92表を参照。

| 層序 | 年代 | 地区 | 地区 区分 | グリッド(遺構名) | 種別 | 台帳 番号 | 骨 番号 | 部位 | 残存位置 #1 | 左右 | 数 | 備考 | |
|----|--------------|-----|----------|-----------|----------|----------|----------|----------------|---------|----------------|---------------------|-----|--|
| V | 具埋時代 後期前半 | HB① | - | L12 | オオコウモリ科? | 561 | 371 | 四肢骨 | m | ? 1 | | | |
| | | | | | | L13 | 296 | 368 | 四肢骨 | m | ? 3 | | |
| | | | | | | L14 | 303 | 370 | 四肢骨 | m | ? 6 | | |
| | | | | | | L14中央ベルト | 411 | 369 | 四肢骨 | m | ? 1 | | |
| | | | | HB② | イ | I12 | オオコウモリ科? | 3230 | 399 | 四肢骨 | m | ? 3 | |
| | | | | | | | | 3248 | 388 | 上胸骨 | <pr> | L 1 | |
| | | | | | | J10 | オオコウモリ科? | 3253 | 387 | 四肢骨 | m | ? 1 | |
| | | | | | | | | 3252 | 395 | 四肢骨 | m | ? 4 | |
| | | | | | | J12 | オオコウモリ科? | 3233 | 393 | 四肢骨 | m | ? 1 | |
| | | | | | | | | 3202 | 390 | 四肢骨 | m | ? 1 | |
| | | | | | | K10 | オオコウモリ科? | 3254 | 728 | 下顎骨 | [I1xI2xC3P1xP2xP3x] | R 1 | |
| | | | | | | | | 3233 | 492 | 上胸骨 | <pr> | L 1 | |
| | | | | | | | | 3233 | 492 | 脛骨 | <pr> | R 1 | |
| | | | | | | | | 3216 | 396 | 四肢骨 | m | ? 8 | |
| | | | | | | | | 3236 | 397 | 四肢骨 | m | ? 2 | |
| | | | | | | | | 3254 | 403 | 四肢骨 | m | ? 2 | |
| | | | | 3233 | 492 | | | 四肢骨 | m | ? 6 | | | |
| | | | | 3242 | 653 | | | 歯骨 | w | L 1 | | | |
| | | | | 3242 | 401 | | | 上胸骨 | <pr> | L 2 | | | |
| | | | | 3220 | 398 | | | 脛骨 | <pr> | R 1 | | | |
| | | | | K11 | オオコウモリ科? | 3220 | 398 | 四肢骨 | m | ? 4 | | | |
| | | | | | | 3242 | 404 | 四肢骨 | m | ? 3 | 指骨の可能性あり | | |
| | | | | | | 3242 | 404 | 四肢骨 | m | ? 3 | | | |
| | | | | | | K12トレンチ | 1238 | 385 | 脛骨 | <pr> | L 1 | | |
| | | | | | | K12 | 3241 | 389 | 四肢骨 | m | ? 1 | | |
| | | | | | | L09 | 3215 | 727 | 下顎骨 | [P4xM1xM2xM3x] | R 1 | | |
| | | | | | | L10 | オオコウモリ科? | 3235 | 732 | 下顎骨 | [P2xP3xP4x] | L 1 | |
| | | | | | | | | 3235 | 732 | 下顎骨 | [P4xM1xM2x] | R 1 | |
| | | | | | | | | 3235 | 343 | 下顎骨 | [P4xM1xM2xM3x] | R 1 | |
| | | | | | | | | 3078 | 376 | 下顎骨 | [P4xM1xM2xM3x] | R 1 | |
| | | | | 3235 | 498 | | | 臼歯 | | 1 | | | |
| | | | | 3231 | 400 | | | 上胸骨 | <pr> | L 1 | | | |
| | | | | 3235 | 500 | | | 上胸骨 | <pr> | R 1 | | | |
| | | | | 3235 | 500 | | | 脛骨 | <pr> | L 2 | | | |
| | | | | 3235 | 500 | | | 脛骨 | <pr> | R 1 | | | |
| | | | | 3235 | 500 | | | 指骨 | p | R 1 | | | |
| | | | | L11 | オオコウモリ科? | 3235 | 500 | 上胸骨? | <d>?? | L? 1 | | | |
| | | | | | | 3231 | 400 | 四肢骨 | m | ? 1 | | | |
| | | | | | | 3235 | 500 | 四肢骨 | m | ? 22 | | | |
| | | | | | | 3262 | 386 | 四肢骨 | m | ? 1 | | | |
| 不明 | 不明 | HB② | - | - | 不明 | 371 | 下顎骨 | [P4xM1xM2xM3x] | L 1 | | | | |
| | | | | | 不明 | 377 | 下顎骨 | [M1xM2xM3x] | L 1 | | | | |
| | | | | | 不明 | 394 | 四肢骨 | m | ? 3 | | | | |

第90表-5. 平安山原B遺跡HB①・②・④地区から採集されたイノシシ類(イノシシノブタ)遺体の同定結果

* 残存位置凡例: w=完存, p=近位端, m=骨幹, d=遠位端, f=碎片, (p)-(d)は未適合の骨種のみ, (p)-(d)は骨種未適合形, (p)-(d)は骨種のみ欠落

| 部位 | 残存位置 | V | | | | | | | | | | | | | | | | | VI | | | | 合計 | 総計 | | | |
|--------|-----------|-------|--------|--------|-----|-------|-----|----------------|-------|-------|--------|-------|-----|-----|---------|-------|-------|--------|-----|---------------------|---------|-------|----|-----|-----------|-------|---------------|
| | | HB① | | | | HB② | | | | | | | | | | HB③ | | 不明 | | | | | | | | | |
| | | L18 | L16-17 | L18-19 | M14 | 合計 | I12 | J/KOP J-L10 | J-L12 | J10 | J10-11 | J12 | J13 | K10 | K11 | K12 | L09 | L10 | L11 | 尾ノ 骨ノ 上ノ 骨 | 合計 | 合計 | | | 合計 | 合計 | 合計 |
| 肋骨 | (p)-(d->) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | 0 / 1 | | | | 0 / 1 | |
| 肋骨 | m | | / 1 | | | 2 / 2 | | | | 1 / | | | | | | | | | | 1 / 0 | / 1 | | | | | 3 / 3 | |
| 肋骨 | (d->) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 0 / 1 | |
| 肋骨 | (d-) | | / 1 | | | 1 / 1 | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 1 / 1 | |
| 肋骨 | d | | | | | 0 / 2 | | | | | | | | | | | | | | 0 / 2 | | | | | | 0 / 2 | |
| 尺骨 | 滑車切痕 | 1 / | / 1 / | | | 3 / 3 | | | | 1 / 3 | | 1 / 1 | | | / 1 2 / | 2 / 1 | 2 / 3 | 8 / 10 | | 1 / | 12 / 13 | | | | / 1 0 / 1 | 1 / | 1 / 0 15 / 15 |
| 尺骨 | 滑車切痕 m | 1 / 1 | | | | 3 / 5 | | | | 1 / | | | | | / 2 | | | 1 / 2 | | 4 / 7 | | | | | | 4 / 8 | |
| 尺骨 | 滑車切痕 (d-) | | | | | 1 / 3 | | | | | | | | | | | | | | 0 / 9 | | | | | | 1 / 0 | |
| 尺骨 | m | | / 1 | | | 1 / 3 | | | | | | | | | | | | | | 1 / 6 | | | | | | 1 / 6 | |
| 尺骨 | d | | | | | 0 / 1 | | | | | | | 3 | 1 | | | 1 | 6 | | 0 / 1 | | | | 1 | 1 | 0 / 1 | |
| 第2中手骨 | w | | | | | 1 / 0 | | | | | | | | | | | | | | 1 / 0 | | | | | | 1 / 0 | |
| 第2中手骨 | p | | | | | 0 / 1 | | | | / 1 | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 0 / 2 | |
| 第2中手骨 | w | | | | | 1 / 0 | | | | 1 / | | | | | | | | | | 1 / 1 | | | | 1 / | 1 / 0 | 3 / 1 | |
| 第3中手骨 | p | | | | | 0 / 1 | | | | / 1 | | | | | | | | | | 1 / 2 | | | | / 1 | 0 / 1 | 1 / 4 | |
| 第3中手骨 | p-(d->) | | | | | 0 / 1 | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 0 / 1 | |
| 第4中手骨 | w | | | | | 0 / 1 | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 0 / 1 | |
| 第4中手骨 | p | 2 / | | | | 4 / 0 | | | | / 1 | | | | | | | | | | 1 / 1 | | | | | | 5 / 1 | |
| 第4中手骨 | p-(d-) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 0 / 1 | |
| 第4中手骨 | w | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 2 | | | | | | 0 / 2 | |
| 第5中手骨 | p-(d-) | | | | | 1 / 0 | | | | | | | | | | | | | | 1 / 0 | | | | | | 1 / 1 | |
| 肩骨 | 肩 | | | | | 1 / | | | | | | | | | | | | | | 1 / 4 | | | | | | 5 / 6 | |
| 肩骨(肩骨) | 肩 | | | | | 2 / 2 | | | | | | | | | | | | | | 2 / | | | | | | 2 / 5 | |
| 肩骨(肩骨) | 肩 | | | | | | | | | / 1 | / 1 | / 1 | / 1 | / 1 | / 1 | 1 / | 1 / | 1 / | 1 / | 1 / 4 | | | | | | 1 / 1 | |
| 肩骨(肩骨) | 肩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 / 5 | | | | | | 2 / 5 | |
| 肩骨(肩骨) | 肩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 / | | | | | | 1 / 1 | |
| 肩骨(肩骨) | 肩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 0 / 1 | |
| 肩骨(肩骨) | 肩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 0 / 1 | |
| 肩骨(肩骨) | 肩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 / | 1 / 0 | | | | | 1 / 0 | |
| 肩骨(肩骨) | 肩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 0 / 2 | |
| 肩骨(肩骨) | 肩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 2 / 1 | 3 / 1 | | | | | 3 / 3 | |
| 肩骨(肩骨) | 肩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 / | | | | | | 1 / 1 | |
| 肩骨(肩骨) | 肩 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 / 0 | |
| 大頰骨 | p | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 0 / 1 | |
| 大頰骨 | (p-) | | | | | | | | | / 1 | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 0 / 1 | |
| 大頰骨 | (p+m) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 0 / 1 | |
| 大頰骨 | (p)-(d->) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 / 0 | | | | | | 1 / 0 | |
| 大頰骨 | (p)-(d-) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 / | | | | | | 1 / 0 | |
| 大頰骨 | (p)-d | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 / 0 | | | | | | 1 / 0 | |
| 大頰骨 | (p)-d | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 / 1 | | | | | | 1 / 1 | |
| 大頰骨 | (p)-(d->) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 / 2 | | | | | | 1 / 2 | |
| 大頰骨 | (p)-(d-) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 / 2 | | | | | | 1 / 2 | |
| 大頰骨 | m | / 1 | | | | 0 / 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 / | 1 / 0 | | | | | 1 / 0 | |
| 大頰骨 | m-(d->) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 0 / 2 | |
| 大頰骨 | (d->) | | | | | 2 / 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 / | 2 / 2 | | | | | 2 / 2 | |
| 大頰骨 | (d-) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 2 / 4 | |
| 大頰骨 | d | | | | | 0 / 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 / 0 | | | | | | 1 / 1 | |
| 大頰骨 | d | | | | | 0 / 1 | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 0 / 2 | |
| 大頰骨 | d | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 0 / 1 | |
| 大頰骨 | d | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | |
| 大頰骨 | d | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | 1 | |
| 大頰骨 | d | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 1 / 2 | |
| 大頰骨 | d | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | 0 / 1 | |

第90表-6. 平安山原B遺跡HB①・②・④地区から採集されたイノシシ類(イノシシノブタ)遺体の同定結果

● 検存位置凡例: a: 完存, b: 近位端, m: 骨幹, d: 遠位端, f: 鱗片, (a)-(d)は未磨合の骨種のみ, (p)-(d)は骨種未磨合別名, (p)-(d)は骨種のみ文種

| 部位 | 検存位置 | V | | | | | | | | | | | | | | | | VI | | | 不明 | | 合計 | 総計 | | | | | | | | |
|--------------|-------|-----|--------|--------|-------|-------|-----|----------------|-------|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-------------------------|-----|--------|-----|----|-------|-------|-------|---------|----------|-------|----|-----|
| | | HB① | | | | HB② | | | | | | | | | | | | HB④ | 合計 | HB① | HB② | HB④ | | | 合計 | 合計 | | | | | | |
| | | L18 | L18-17 | L18-19 | M14 | 合計 | I12 | J1009 J-L10 | J-L12 | J10 | J10-11 | J12 | J13 | K10 | K11 | K12 | L09 | L10 | L11 | 尾ノ チハ ノ 上 部 | 合計 | 合計 | | | 合計 | 合計 | L18 | その 他 | 下層 シツ | 合計 | 合計 | |
| 趾骨 (p-) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 0 | | | | | | | | | | 1 / 0 | | |
| 趾骨 (p-(d-)) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 0 | | | | | | | | | | 2 / 0 | | |
| 趾骨 (p->m) | | | | | | | | | | | | / 2 | / 1 | / 1 | / 1 | | | 1 / 1 | | 2 / 4 | | | | | 2 / 4 | | | | 2 / 0 | | | |
| 趾骨 (p->d) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 0 | | 1 / 1 | | | | | | | 1 / 0 | | | |
| 趾骨 (p->d) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | | | | 0 / 1 | | | |
| 趾骨 (p->d) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | | | | | | | | 0 / 3 | | | |
| 趾骨 m | / 3 | | / 1 | | 0 / 6 | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 2 | | 2 / 3 | | | | | | | 0 / 1 | | | |
| 趾骨 m-(d) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 / 1 | | | | | | | | | 0 / 1 | | | |
| 趾骨 m-d | | | | | 0 / 1 | | | | 1 / 1 | | | | | | | | | | | 1 / 1 | | | | | | | | | 1 / 1 | | | |
| 趾骨 (d-) | 1 / 1 | | | | 1 / 0 | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 2 | | 2 / 3 | | | | | | | 2 / 3 | | | |
| 趾骨 d | | | | | 1 / 3 | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 2 | | 1 / 2 | | | | | | | 1 / 3 | | | |
| 趾骨 (d) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 / 1 | | 9 / 10 | | | | | 1 / 1 | 1 / 0 | 10 / 10 | | | |
| 趾骨 (d) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 / 1 | | 1 / 1 | | | | | | | 0 / 1 | | | |
| 趾骨 (p-(d-)) | | | | | 0 / 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 / 1 | | 1 / 1 | | | | | | | 1 / 1 | | | |
| 趾骨 m | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | 1 / 1 | | 0 / 1 | | | | | | | 0 / 1 | | | |
| 趾骨 m-(d) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 8 | | | | | | | 1 | | | |
| 趾骨 (d-) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 8 | | | | | | | 3 | | | |
| 趾骨 d | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 / 0 | | 1 / 0 | | | | | | | 1 / 0 | | | |
| 趾骨 | / 1 | | | | 3 / 3 | | / 1 | / 2 | | | | | | | | | | | | 2 / 6 | | 5 / 9 | | | | 1 / 1 | 1 / 0 | 2 / 11 | | | | |
| 趾骨 | / 3 | | | | 1 / 8 | 1 / 1 | | | | | | | | | | | | | | 5 / 5 | | 6 / 13 | | | | 1 / 2 | 0 / 2 | 11 / 19 | | | | |
| 足趾骨 | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2中足骨 w | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | 0 / 1 | | | | | | | 0 / 1 | | | |
| 第2中足骨 p | | | | | 1 / 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 / 1 | | | | | | | 1 / 1 | | | |
| 第2中足骨 p-(d-) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | 0 / 1 | | | | | | | 1 | | | |
| 第2中足骨 p-(d) | | | | | 0 / 1 | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | 0 / 1 | | | | | | | 0 / 1 | | | |
| 第2中足骨 p | / 1 | | | | 2 / 3 | | | | | | | | | | | | | | | 4 / 5 | | 4 / 5 | | | | | | | 4 / 5 | | | |
| 第3中足骨 p-(d-) | | | | | 0 / 1 | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | 0 / 1 | | | | | | | 1 / 1 | | | |
| 第3中足骨 p-(d) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 / 1 | | 1 / 1 | | | | | | | 2 / 1 | | | |
| 第4中足骨 w | | | | | 1 / 1 | | | | | | | | | | | | | | | 2 / 0 | | 3 / 1 | | | | | | | 3 / 1 | | | |
| 第4中足骨 p | | | | | 1 / 2 | | | | | | | | | | | | | | | 1 / 1 | | 2 / 3 | | | | | | | 2 / 3 | | | |
| 第4中足骨 p-(d) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 2 | | 0 / 2 | | | 1 / 1 | 0 / 1 | | | 0 / 3 | | | |
| 第4中足骨 w | | | | | 0 / 1 | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | 0 / 1 | | | | | | | 0 / 1 | | | |
| 第5中足骨 p | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 / 0 | | 1 / 0 | | | | | | | 1 / 0 | | | |
| 第5中足骨 p-(d) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 / 1 | | 0 / 1 | | | | | | | 0 / 1 | | | |
| 手足趾骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | 3 | | | | | | | 4 | | | |
| 中手/中足骨 p | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | 1 | 1 | | | | 1 | | |
| 中手/中足骨 (p-) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| 中手/中足骨 m | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| 中手/中足骨 d | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 11 | | | | | | | 12 | | | |
| 中手/中足骨 (d) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| 基節骨 | | | | | 2 / 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 | | | | | | | 13 | | | |
| 中節骨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | 4 | | | |
| 末節骨 | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 | | | | | | | 7 | | | |
| 腕取骨 m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| 腕取骨 p | 1 | | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 | | | | | | | 16 | | | |
| 腕取骨 m | | | | | 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | 34 | | | | | | | 52 | | | |
| 腕取骨 d | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | |
| 合計 | 57 | 2 | 15 | 1 | 269 | 5 | 11 | 7 | 33 | 9 | 73 | 12 | 26 | 77 | 34 | 28 | 71 | 21 | 47 | 606 | 3 | 12 | 790 | 10 | 6 | 3 | 19 | 3 | 13 | 1 | 17 | 959 |

第92表-2. 平安山原B遺跡HB①・②・④地区から採集されたイノシシ類(イノシシ/ブタ)遺体の下顎骨・下顎遊離歯の詳細

[]:顎骨保存範囲 () :測定中の歯, <>:未測定歯, ×:脱落

| 層序 | 地区 | 地区 区分 | ブット/ 出土位置(遺構) | 取上 番号 | 骨 番号 | 部位 | 左右 | 数 | 歯合 部 | I1 | I2 | I3 | C | P1 | P2 | P3 | P4 | M1 | M2 | M3 | 下顎 角 | 閉鎖 突起 | 長 突起 | 性別 | 備考 | 咬痕 跡あり | | | | | | | | |
|----------|---------------|----------|------------------|-----------------|---------|-------|----|-----|---------------|-----|------|-----|-------|-----|-----|------|-----|-------|-----|------|---------|----------|---------|------|-----|-----------|-------|--|---|------|------|------|------|---|
| | | | | | | | | | 11 | 12 | 13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | i1 | i2 | i3 | | | m1 | m2 | m3 | M1 | M2 | M3 | | | | | | | | | | | | | | | |
| V | 180② | - | | L15 | 539 39 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | C | | | | | | | | | | | ♂ | | | | | | | | | | |
| | | | | L15 | 288 262 | 下顎遊離歯 | L | 2 | | | | | | | C | | | | | | | | | | | | ♂ | | | | | | | |
| | | | | L15 | 539 226 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | | | C | | | | | | | | | | | | ♀ | | | | | | | |
| | | | | L15 | 291 49 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | | | | | | | | | | M2 | | | | | | | c | | | | | |
| | | | | L15 | 539 47 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | | | | | | | | | | | M2 | | | | | | | b | | | | |
| | | | | L15 | 539 47 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | | | | | | | | | | | M2 | | | | | | | e | | | | |
| | | | | L15中央ベムト | 401 109 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | | | | | | | [M2] | | | | | | | | | | | |
| | | | | J-水18-19 | 246 43 | 下顎遊離歯 | R | 1 | | | | | | | | C | | | | | | | | | | | | | ♂ | | | | | |
| | | | | J15 | 537 42 | 下顎遊離歯 | R | 1 | | | | | | | | C | | | | | | | | | | | | | | ♂ | | | | |
| | | | | K12 | 306 75 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | [i2x | i3x | cx | | | m1 | m2 | m3 | M1 | <M2>x | | | | | | | | | b | | | |
| | | | | K12 | 306 260 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | | | | | | [m1x | m2 | m3 | M1 | <M2> | | | | | | | | | b | | | |
| | | | | K12-14-月3-14-日4 | 277 41 | 下顎遊離歯 | R | 1 | | | | | | | | C | | | | | | | | | | | | | | ♂ | | | | |
| | | | | K12-16f-レンテ | 236 217 | 下顎遊離歯 | R | 1 | | | | | | | | C | | | | | | | | | | | | | | ♀ | | | | |
| | | | | K13 | 252 77 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | [i1x | i2x | i3x | C | P1 | P2 | P3 | P4 | | | | | | | | | | | ♂ | | | |
| | | | | K15 | 304 261 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | [i1 | i2 | i3x | C | 次 | P2 | P3 | P4x | | | | | | | | | | | ♀ | | | |
| | | | | L13 | 302 209 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | [i1x | i2x | i3x | cx | | m1 | m2 | m3 | M1 | | | | | | | | | | | c | | |
| | | | | L14 | 558 4 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | | | | | | | | | [P4 | M1 | M2 | | | | | | | | d/c | | | |
| | | | | L14 | 558 74 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | | | | | | | | | | | [M1 | M2 | | | | | | | e/h | | | |
| | | | | L14 | 558 216 | 下顎遊離歯 | R | 1 | | | | | | | | C | | | | | | | | | | | | | | ♀ | | | | |
| | | | | L14(364SS) | 493 221 | 下顎遊離歯 | R | 1 | | | | | I1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | L15 | 539 37 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | | | | | | | | | | | [P4x | M1x | | | | | | | | | | |
| | | | | L15 | 539 64 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | | | | | | | | | | | [P4x | M1x | M2x | | | | | | | | | |
| | | | | L15 | 539 249 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | [+] | | | | | | | |
| | | | | L15 | 539 222 | 下顎遊離歯 | R | 1 | | | | | I1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | L15 | 539 215 | 下顎遊離歯 | R | 1 | | | | | | i2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | L15 | 539 37 | 下顎遊離歯 | R | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | M1 | | | | | | | | d | | |
| | | | | L15中央ベムト | 401 55 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | [i1x | i2x | i3x | cx | | m1x | m2x | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | L12 | 561 202 | 下顎遊離歯 | ? | 1 | | | | | | | | C | | | | | | | | | | | | | | | ♂ | | | |
| | | | | L14 | 674 108 | 下顎遊離歯 | ? | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | M2 | | | | | | | | | | |
| | | | | 180② | イ | | | K10 | 1354 1354 485 | 下顎骨 | L | 1 | [+ | i1 | i2 | i3x | C | P1 | P2 | P3 | P4 | M1 | M2 | | | | | | ♀ | 左右交差 | f/e | | | |
| K11 | 1100 1100 539 | 下顎骨 | L | | | | | 1 | [+ | i1x | i2x | i3x | | | | | | | | | | | | | | | | | ♂ | 左右交差 | | | | |
| K11 | 1283 1283 563 | 下顎骨 | L | | | | | 1 | [+ | x | x | x | x | x | x | P1x | m1x | m2x | m3 | M1 | <M2> | | | | | | | | | | ♀ | 左右交差 | c | |
| K11 | 1283 1283 563 | 下顎骨 | R | | | | | 1 | [+ | x | x | x | x | x | x | P1x | m1x | m2x | m3 | M1 | <M2> | | | | | | | | | | | ♀ | 左右交差 | c |
| K12f-レンテ | 1246 1248 564 | 下顎骨 | L | | | | | 1 | [+ | i1x | <I2> | i3x | (C) | 次 | P2x | P3 | P4 | M1 | M2 | | | | | | | | | | | ♀ | 左右交差 | d/c | | |
| K12f-レンテ | 1246 1248 564 | 下顎骨 | R | | | | | 1 | [+ | i1x | <I2> | i3x | (C) | P1 | P2x | <P3> | P4 | M1 | M2 | <M3> | | | | | | | | | | | | | d/c | |
| J11 | 3217 573 | 下顎骨 | L | | | | | 1 | [+ | i1x | i2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| J11 | 3217 573 | 下顎骨 | R | | | | | 1 | [+ | i1x | i2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| K10 | 3236 626 | 下顎骨 | L | | | | | 1 | [+ | x | i1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| K10 | 3236 626 | 下顎骨 | R | | | | | 1 | [+ | x | i1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| J10 | 2070 527 | 下顎骨 | L | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | [m3 | M1 | | | | | | | | e | |
| J10 | 1277 1277 465 | 下顎遊離歯 | L | | | | | 1 | | | | | | | | C | | | | | | | | | | | | | | | ♂ | | | |
| J10 | 1358 1358 468 | 下顎遊離歯 | L | | | | | 1 | | | | | | | | C | | | | | | | | | | | | | | | ♂ | | | |
| J11 | 1322 1322 574 | 下顎骨 | L | | | | | 1 | | | | | | | | | | [C | 次 | <P2> | P3 | P4 | M1 | M2 | | | | | | | ♂ | d/c | | |
| J12 | 3075 483 | 下顎骨 | L | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | [P3 | P4 | M1 | | | | | | ♂ | e | |
| J12 | 1317 1317 481 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | [(M2) | | | | | | e | | | | | |
| J12 | 3075 641 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | I1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | e | | | | | |
| J12 | 3239 642 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | I1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | e | | | | | |

第92表-3. 平安山原B遺跡HB①・②・④地区から採集されたイノシシ類(イノシシ/ブタ)遺体の下顎骨・下顎遊離歯の詳細

[] : 顎骨保存範囲 () : 歯出中の歯 < > : 未歯出歯 * : 脱落

| 編年 | 地区 | 地区 区分 | グリッド/ 出土位置(遺構) | 出土 番号 | 台帳 番号 | 番号 | 部位 | 左右 | 数 | 歯部 | I1 | I2 | I3 | C | P1 | P2 | P3 | P4 | M1 | M2 | M3 | 下顎 角 | 関節 突起 | 新 突起 | 性別 | 備考 | 咬痕 段階* | |
|----|----|----------|-------------------|----------|----------|-----|-------|----|---|----|-------|----|------|-------|-------|-----|------|-------|------|------|----------|----------|----------|---------|------|----|-----------|-------|
| | | | J12 | | 3075 | 506 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | I2 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | J12 | | 3226 | 507 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | I2 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | J12 | | 3075 | 546 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | C | | | | | | | | | | | ♂ | | c | |
| | | | J12 | 1084 | 1084 | 524 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | | | | | | | | M3 | | | | | | c | |
| | | | J12 | 1120 | 1120 | 523 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | | | | | | | | M3 | | | | | | c | |
| | | | J13 | | 3249 | 546 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | | | | [M3] | | | | | | c | |
| | | | J-K12(1023X) | | 3272 | 606 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | [m1 | m2 | m3 | M1 | | | | | | | | | c | |
| | | | K09 | 1385 | 1385 | 560 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | [P3 | P4 | M1 | M2 | <M3> | | | | | a/d | |
| | | | K10 | 1346 | 1346 | 529 | 下顎骨 | L | 1 | | [x | x | x | x | P1 | m1 | m2 | m3 | <M1> | | | | | | | | 幼獣 | |
| | | | K10 | | 3216 | 540 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | [Cx | P1x | P2x | P3x | | | | | | | | ♂ | | 雄 | |
| | | | K10 | | 3216 | 556 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | | | | [(M1)] | | | | | | b | |
| | | | K11 | 1286 | 1286 | 510 | 下顎骨 | L | 1 | | [x | x | x | <C> | P1 | m1 | m2 | m3 | M1 | <M2> | | | [+] | | | | c | |
| | | | K11 | 1327 | 1327 | 559 | 下顎骨 | L | 1 | | [I1x | I2 | I3x | Cx | 欠 | P2x | P3 | P4x | | | | | | | | ♂ | | |
| | | | K11 | 1263 | 1263 | 601 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | [(C) | 欠 | P2x | P3 | P4x | | | | | | | | | ♀ | |
| | | | K11 | 1338 | 1338 | 615 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | [P2 | P3x | | | | | | | | | | | | |
| | | | K11 | 1251 | 1251 | 586 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | | | [M1 | M2 | <M3> | | | | | d/c | |
| | | | K11 | 1338 | 1338 | 621 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | | | | [M3 | +] | | | | | c | |
| | | | K11 | | 3242 | 503 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | | | | [Mdx | | | [+] | | | | |
| | | | K11 | 1295 | 1295 | 467 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | C | | | | | | | | | | | | ♂ | | |
| | | | K11 | | 3079 | 466 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | C | | | | | | | | | | | | ♂ | | |
| | | | K12 | | 3056 | 470 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | C | | | | | | | | | | | | ♂ | | |
| | | | K12 | 1101 | 1101 | 521 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | | | | | | | | M3 | | | | | | d | |
| | | | K124-レンヂ | 1246 | 1248 | 563 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | | | | | | | | M3 | | | | | | b | |
| | | | L09 | 1364 | 1364 | 733 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | [P2 | P3 | P4 | M1 | M2 | M3 | | | | | g/f/e | |
| | | | L09 | 1361 | 1361 | 484 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | | | | [P3 | P4 | M1 | M2 | | | | g/f |
| | | | L09 | | 3215 | 513 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | | | | | | | [+] | | | | |
| | | | L09 | 1364 | 1364 | 734 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | I2 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | L09 | 1364 | 1364 | 735 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | C | | | | | | | | | | | ♂ | | | |
| | | | L10 | 1343 | 1343 | 579 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | | | [M1 | M2 | M3 | +] | | | | g/f/d | |
| | | | L10 | | 3235 | 504 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | | | | [Mdx | | | | | | | |
| | | | L10 | | 3231 | 530 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | C | | | | | | | | | | | ♀ | | | |
| | | | L11 | | 3282 | 538 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | [P3x | P4 | M1 | M2 | | | | | | m/n | |
| | | | L11 | | 3282 | 547 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | | | | [m3x | | | | | | | |
| | | | L11 | | 3282 | 531 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | | | | | [(M1)] | | | | | | c |
| | | | L11 | | 3282 | 514 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | | | | | | | [+] | | | | |
| | | | レンヂ | | 3080 | 619 | 下顎骨 | L | 1 | | | | | | | | | | | | | [Mdx | +] | | | | | |
| | | | レンヂ | | 3080 | 638 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | I1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | レンヂ | | 3080 | 469 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | C | | | | | | | | | | | ♂ | | | |
| | | | レンヂ | | 3080 | 522 | 下顎遊離歯 | L | 1 | | | | | | | | | | | | | M3 | | | | | | f |
| | | | I12 | | 3250 | 627 | 下顎遊離歯 | R | 1 | | | | I1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | J10 | 1396 | 1396 | 612 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | [Cx | 欠 | P2 | P3 | P4 | M1 | M2x | M3x | | | | | | g/f/d | |
| | | | J10 | | 3227 | 542 | 下顎骨 | R | 1 | | | | [I1 | I2 | I3] | | | | | | | | | | | | | |
| | | | J10 | 1276 | 1276 | 565 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | | [I1x | I2 | I3x | C | P1x | P2x | P3x | P4] | | | | | ♂ | |
| | | | J10 | 1287 | 1287 | 551 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | | [C | P1x | P2x | P3 | P4 | M1 | M2 | M3 | | | | ♂ | | f/e/d |
| | | | J10 | 1321 | 1321 | 548 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | | | | | | | | [P3 | P4 | M1 | M2 | (M3) | | | a/d/c |
| | | | J10 | | 3225 | 611 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | | | | | | | | [M1 | M2 | (M3) | | | | | f/e/b |
| | | | J10 | 1291 | 1291 | 613 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | | | | | | | | | [M3] | | | | | | c |
| | | | J10 | | 3227 | 543 | 下顎遊離歯 | R | 1 | | | | I1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | J12 | 1201 | 1201 | 578 | 下顎骨 | R | 1 | | | | | | [Cx | 欠 | P2x | P3x | P4x | M1 | M2 | M3 | +] | | | ♂ | | f/e/d |

第93表. 平安山原B遺跡HB①・②・④地区から採集されたウシ・ウマ遺体の同定結果

*1 残存位置略号凡例は第90表・第92表を参照。*2 備考略号凡例, CM カットマーク, SF, スハイラルフラクチャー

| 種類 | 層序 | 年代 | 地区 区分 | グリッド/出土位置 (遺体・取上番号) | 右側 番号 | 骨 番号 | 部位 | 残存位置 *1 | 左 右 | 数 | 備考*2 | |
|-------|-----|------------|----------|------------------------|------------------------|--------------|------------|------------|---------|----|------|------------------------------|
| ウシ | I | 戦後 | HB① | - | O-F8-14 | 238 | 386 | 上顎M3 | | R | 1 | |
| | | | | - | O-F8-14 | 238 | 381 | 下顎骨 | 備考参照 | R | 1 | [吻端P2×] |
| | | | | - | O-F8-14 | 238 | 384 | 下顎M | fr | ? | 1 | |
| | | | | - | O-F8-14 | 238 | 396 | 上脛骨 | d | L | 1 | |
| | | | | - | O-F8-14 | 238 | 391 | 脛骨 | (p) | R | 1 | |
| | | | | - | O-F8-14 | 238 | 393 | 中足骨 | p | L | 1 | SF |
| | | | | - | O-F8-14 | 238 | 410 | 中手/中足骨 | d | ? | 1 | |
| | | | | - | O-F8-14 | 238 | 398 | 基礎骨 | | ? | 1 | SF |
| | | | | - | - | 494 | 385 | 下顎M | ♂ | ? | 1 | |
| | | | | - | イ | 北東壁面付(表土層内時) | 449 | 16 | 脛骨 | m | R | 1 |
| | II | 戦前 | HB① | - | K-L18-19(37P) | 375 | 390 | 上顎P2 | | L | 1 | |
| | | | | - | O-P10-11(359SK) | 340 | 392 | 上脛骨 | <d> | L | 1 | SF |
| | | | | - | O-P10-11(339SK) | 340 | 411 | 脛骨 | | R | 1 | |
| | | | | イ | K8-10/L8-10/M9(1018SK) | 3296 | 712 | 上顎M3 | | R | 1 | |
| | | | | ロ | Q-58-9(2008SZ) | 3374 | 699 | 下顎骨 | 関節突起 | R | 1 | CM |
| | | | | - | O13-14-P13 | 575 | 387 | 中手骨 | (p->m) | L | 1 | |
| | | | | - | P10-15-Q15(271SD) | 491 | 388 | 中手骨 | p | R | 1 | |
| | | | | - | - | 574 | 414 | 末節骨 | | ? | 1 | 種 |
| | | | | - | Q12-13(2049SD) | 3365 | 671 | 上脛骨 | d | R | 1 | |
| | | | | - | Q13(2038SK) | 3388 | 694 | 上脛骨 | <d> | R | 1 | |
| | | | | - | R12(2049SD) | 3366 | 709 | 上顎M | | L | 1 | |
| | | | | イ | K02 | 469 | 2 | 脛骨 | | L | 1 | |
| | | | | - | K04 | 454 | 37 | 脛骨 | | R | 1 | |
| | | | | - | O14 | 584 | 389 | 中手骨 | d | L | 1 | |
| | | | | - | O19 | 323 | 397 | 上顎/下顎M | ♂ | ? | 1 | |
| | | | | - | P09 | 585 | 377 | 下顎骨 | 備考参照 | L | 1 | [吻端P2×P3×P4×] |
| | | | | - | P10 | 456 | 402 | 基礎骨 | | ? | 1 | |
| | | | | ロ | R13 | 3363 | 701 | 大頰骨 | (p)大頰骨頭 | ? | 1 | |
| イ | M04 | 463 | 17 | 下顎M3 | | R | 1 | | | | | |
| ウマ | I | 戦後 | HB① | - | O-F8-14 | 238 | 384 | 下顎P/M | | L | 1 | |
| | | | | - | O-F8-14 | 238 | 376 | 中足骨 | m | ? | 1 | SF |
| | | | | - | 南側表土下精産 | 3327 | 713 | 上顎P/M | | L | 1 | |
| | | | | ロ | 南側表土下精産 | 3327 | 696 | 下顎P/M | | L | 1 | |
| | | | | - | J-K10-11(1019SZ) | 3291 | 718 | 脛骨 | p | L | 1 | |
| | | | | イ | K8-10/L8-10/M9(1018SK) | 3296 | 708 | 下顎骨 | 備考参照 | L | 1 | [(D1×E2×D3)] |
| | III | グスタ時代～近世 | HB① | - | L18(372SK) | 202 | 407 | 下顎骨 | 備考参照 | L | 1 | [[11213×P2P3P4M1M2M3]] ♀, CM |
| | | | | - | O-P14-16 | 578 | 233 | 上顎P/M | | R | 1 | |
| | | | | - | R10(2007P) | 3378 | 715 | 上顎P/M | | L | 1 | |
| | | | | - | R12(2049SD) | 3366 | 697 | 上顎P2 | | L | 1 | |
| | | | | ロ | R12 | 3341 | 698 | 上顎P2 | | L | 1 | |
| | | | | - | R12 | 3341 | 714 | 上顎P/M | | L | 1 | |
| | | | | - | R12 | 3341 | 702 | 上顎P/M | | R | 1 | |
| | | | | イ | K02 | 458 | 19 | 下顎骨 | 関節突起 | L | 1 | CM |
| | | | | - | K02 | 458 | 20 | 末節骨 | | ? | 1 | |
| | | | | - | N13 | 586 | 395 | 手/足根骨 | | ? | 1 | |
| | IV | グスタ時代 | HB① | - | O-P14 | 448 | 401 | 基礎骨 | | ? | 1 | |
| | | | | - | P09 | 449 | 399 | 末節骨 | | ? | 1 | |
| | | | | ロ | G09 | 3346 | 716 | 上顎P/M | | L | 1 | |
| | | | | - | Q12 | 3373 | 690 | 脛骨 | d | R | 1 | |
| | | | イ | M04 | 455 | 18 | 上顎P/M | | L | 1 | | |
| | | | - | N05 | 450 | 1 | 中足骨 | p | L | 1 | SF | |
| Y | | | 備考参照 | イ | J-K10 | 3063 | 710 | 下顎P/M | | R | 1 | 距離からの混入と考えてよい |
| ウシ/ウマ | | | II | 戦前 | HB① | - | K-L12(15K) | 377 | 379 | 脛骨 | 種体 | 1 |
| | - | O13-14-P13 | | | | 575 | 378 | 脛骨 | | 1 | | |
| | ロ | R12 | | | | 3341 | 692 | 脛骨 | | 1 | | |

第94表. 平安山原B遺跡HB①・②・④地区から採集されたその他の哺乳類の同定結果および同定不可資料

*1 残存位置番号凡例は第90表・第91表を参照。*2 備考略号凡例: SF スパイラルフラクチャー。

| 種別 | 層序 | 年代 | 地区 | 地区 細分 | グリッド/ 出土位置(遺構) | 台帳 番号 | 骨 番号 | 部位 | 残存位置 *1 | 左右 | 数 | 備考*2 | | |
|------------------|-----------|----------|-----|----------|-------------------|-------------------|---------------|------|------------|----------|--------------|---------------|------------|------------|
| ウサギ科 | II | 戦前 | HB② | イ | J-K12(1066SK) | 3289 | 368 | 踵骨 | | L | 1 | | | |
| ネズミ科 | V | 貝塚時代後期前半 | HB② | イ | K12 | 3241 | 411 | 上脛骨 | (p-r-d) | L | 1 | 大型、SD4mm | | |
| ネコ | IV | 古斯塔時代 | HB② | ロ | S12 | 3371 | 700 | 上脛骨 | d | R | 1 | | | |
| イヌ | V | 貝塚時代後期前半 | HB② | イ | | L09 | 3215 | 725 | 歯槽 | | | | | |
| | | | | | | K10 | 3216 | 652 | 寛骨 | EI | R | 1 | | |
| 小型獣(半同定) | V | 貝塚時代後期前半 | HB② | イ | K11 | 3220 | 604 | 寛骨 | EI | R | 1 | 大型のネズミ科の可能性あり | | |
| 小型獣 (同定不可) | V | 貝塚時代後期前半 | HB② | イ | | K10 | 3233 | 494 | 肋骨 | m | ? | 1 | | |
| | | | | | | K11 | 3220 | 398 | 四肢骨 | 骨端 | | 1 | | |
| ヤギ | I | 戦後 | HB① | - | | - | 494 | 137 | 上脛骨 | (s-r) | R | 1 | | |
| | | | | | | - | 494 | 412 | 踵骨 | m | L | 1 | SF, SD19mm | |
| | II | 戦前 | HB① | - | | P-Q08-09(358SK) | 484 | 332 | 肋骨 | m | R | 1 | SD11mm | |
| | | | | | | 南側 | 3328 | 686 | 上脛骨 | [P2P3P4] | R | 1 | | |
| | III | 古斯塔時代～近世 | HB② | イ | | | 南側 | 3328 | 687 | 下顎 | I | R | 1 | |
| | | | | | | | - | 3086 | 419 | 上顎 | M | R | 1 | |
| ヤギ? | II | 戦前 | HB① | - | | P-Q08-09(358SK) | 484 | 333 | 頭骨 | | | 1 | | |
| | | | | | | K-L12(1SK) | 377 | 373 | 中足骨? | p? | ? | 1 | | |
| イルカ | V | 貝塚時代後期前半 | HB① | イ | | K12-14・J13-14・I14 | 564 | 418 | 椎骨 | 椎頭板 | | 1 | | |
| | | | | | | L10(1226) | 1226 | 644 | 椎骨 | | | 1 | 地 | |
| クワフ | V | 貝塚時代後期前半 | HB① | イ | L15 | 539 | 375 | 椎骨 | | | 1 | 地 | | |
| 哺乳類 (同定不可) | I | 戦後 | HB① | - | | - | 494 | 328 | 中足骨? | m | ? | 1 | SF | |
| | | | | | | K-L12(1SK) | 377 | 327 | 大腸骨 | m | ? | 1 | | |
| | II | 戦前 | HB① | - | | | K-L12(1SK) | 377 | 156 | 肋骨 | (s-r) | L | 1 | CM, SD10mm |
| | | | | | | | K-L12(1SK) | 377 | 114 | 四肢骨 | m | ? | 1 | |
| | | | | | | | 南側 | 3328 | 693 | 椎骨 | | | 3 | |
| | | | | | | | 南側 | 3328 | 707 | 四肢骨 | m | ? | 1 | |
| | III | 古斯塔時代～近世 | HB② | ロ | | | R10(2007P) | 3378 | 664 | 四肢骨 | m | ? | 1 | 製品 |
| | | | | | | | O20 | 587 | 326 | 四肢骨 | m | ? | 1 | |
| | IV | 古斯塔時代 | HB② | ロ | | | R12 | 3364 | 680 | 椎骨 | 椎体 | | 1 | |
| | | | | | | | S12 | 3371 | 670 | 肋骨 | m | ? | 1 | |
| | V | 貝塚時代後期前半 | HB① | - | | | J-K17-18 | 279 | 134 | 趾骨 | m | ? | 1 | SD12mm |
| | | | | | | | K12 | 538 | 230 | 上脛骨 | (s-r) | R | 1 | |
| | | | | | | | L19 | 536 | 236 | 四肢骨 | m | ? | 1 | SD12mm |
| | | | | | | | L19 | 563 | 237 | 四肢骨 | m | ? | 1 | |
| | | | | | | | I12 | 3230 | 417 | 四肢骨 | m | ? | 1 | |
| | | | | | | | J-K12(1023SX) | 3272 | 719 | 肋骨 | m | ? | 1 | |
| | | | | | | | J12 | 3066 | 243 | 四肢骨 | m | ? | 1 | |
| | | | | | | | K10 | 3229 | 721 | 肋骨 | m | ? | 1 | |
| | | | | | | | K11 | 3220 | 414 | 四肢骨 | m | ? | 1 | |
| | | | | | | | K11 | 3242 | 242 | 四肢骨 | m | ? | 1 | |
| K11 | | | | | | | 3242 | 206 | 四肢骨 | m | ? | 1 | | |
| K12 | | | | | | | 3241 | 723 | 肋骨 | m | ? | 1 | | |
| L09 | | | | | | | 3215 | 722 | 肋骨 | m | ? | 1 | | |
| 下層遺構側後 | | | | | | | 3243 | 720 | 肋骨 | m | ? | 1 | | |
| VI | ～貝塚時代後期前半 | HB① | イ | M04 | 463 | 38 | 四肢骨 | m | ? | 1 | ウシ/ウマ跡の可能性あり | | | |
| 鳥類/哺乳類 (同定不可) | IV | 古斯塔時代 | HB④ | イ | | O09 | 471 | 36 | 四肢骨 | m | ? | 1 | | |
| | | | | | | K12 | 306 | 367 | 四肢骨 | m | | 1 | | |
| 同定不可 | V | 貝塚時代後期前半 | HB② | イ | K11 | 3220 | 480 | 四肢骨? | | | 1 | | | |



クロダイ属 1 歯骨 (L) 2 主上顎骨 (R) 3 前上顎骨 (L) フェエキダイ科 4 主上顎骨 (L) フェエキダイ属 (ハマフェエキ型) 5 前上顎骨 (R)
ペラ科 A 6 下咽頭骨 ペラ科 (タキペラ型) 7 下咽頭骨 モンガラカワハギ科 8 背鰭棘 ハリセンボン科 9 歯骨
ウミガメ 10 緑骨板 リクガメ 11 内腹板 12 中腹板 or 下腹板 13 剣状腹板 (R) クジラ 14 椎骨 ヤギ 15 脛骨 (R)



ウマ 16 下顎歯 (L) 17 中足骨 (L) 18 基節骨 19 上顎歯 (R) 20 下顎骨 (L)
ウシ 21 脛骨 (R) 22 上腕骨 (L) 23 踵骨 (L) 24 中手骨 (L) 25 中手骨 (R) 26 基節骨
図版 137 脊椎動物遺体 1 (上段: 魚類、ウミガメ類、リクガメ類、クジラ、ヤギ・下段: ウマ、ウシ)



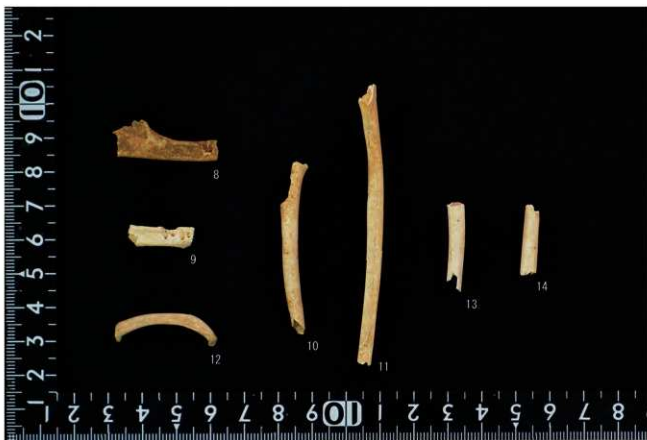
1 下顎C(L・R) 2 上顎骨(R) 3 下顎骨(L) 4 下顎Ms(R・Ms) 5 下顎骨(R・L・Ms) 6 下顎骨(R) 7 下顎骨(R) 8 下顎骨(L)
9 下顎骨(L) 10 下顎骨(L) 11 下顎骨(L) 12 頷椎 13 肩甲骨(L) 14 肩甲骨(L・幼獣)



15 上腕骨(R) 16 上腕骨(L) 17 橈骨(R) 18 尺骨(R) 19 尺骨(R) 20 尺骨(L) 21 尺骨(L) 22 橈骨(R) 23 橈骨(R) 24 橈骨(R)
25 第2中手骨(L) 26 第3中手骨(L) 27 第4中手骨(L) 28 第5中手骨(L) 29 第2中足骨(R) 30 第3中足骨(R) 31 第4中足骨(L)
32 第5中足骨(R) 33 基跗骨 34 末跗骨



フタ 1 環椎 2 上腕骨 (R) 3 肩甲骨 (R) 4 大腿骨 (L) 5 脛骨 (L) 6 脛骨 7 踵骨 (L)



オオコウモリ科 8-9 下顎骨 (R) 10 上腕骨 (L) 11 橈骨 (R) 12 頰骨 (L) 13-14 四肢骨 (骨幹)

図版 139 脊椎動物遺体 3 (上段: フタ・下段: オオコウモリ科)

第2節 平安山原B遺跡の調査で得られた貝類遺体

黒住耐二（千葉県立中央博物館）

平安山原B遺跡は沖縄島中部西岸・北谷町に位置する沖縄貝塚時代後期から戦後までの遺跡である。周辺では米軍基地返還に伴って大面積の多くの発掘調査が行われており、本遺跡もそのひとつである。今回、平安山原B遺跡の貝類遺体を検討する機会を与えて頂いたため、ここに結果を報告する。報告に先立ち、種々お世話になった北谷町教育委員会の島袋春美・山城安生・東門研治の各氏、大量の貝類遺体の同定・集計・入力を行って頂いた資料室の方々に御礼申し上げる。

対象サンプルと調査地点について

今回の報告対象サンプルは、平成20年度調査のHB①地区、平成21年度調査HB②イ地区・ロ地区および平成23年度のHB④イ地区・ロ地区からピックアップ法によって得られたもので、土壌サンプルから抽出された遺体は含まれていない。得られた貝類は種の同定・出土部位・生死等を記録して、各グリッドの包含層および遺構ごとに集計され、その基礎データはCDに収録されている。報告者は、大部分の種の同定を行い、一部の誤同定と考えられる種に関しては沖縄の類似種に修正した。この膨大なデータを、同定標本数(NISP)として処理した。同定標本数の場合、チョウセンサザエ等は殻とフタ・破片が、二枚貝では左右殻と破片が、それぞれ1として集計され、破片の多くなる大形種や二枚貝で、最少個体数よりも過大評価となってしまっている。ただ、今回のデータ間での比較には大きな影響を与えないと考えられる。

報告に際し、各時代の土器や他の人工遺物等の集中層が認められ、特に自然流路とされたIV層ではグスク時代初期の遺物がままとまっていたことから、第96表・第172図に示したように、V層をA～Eの5地区に、IV層をF～Hの3地区に区分して検討を行った。

第96表 平安山原B遺跡の貝類遺体分析地区名

| 層位 | 時代 | 地区名 | 本章地区名 | 対象グリッド | 備考 |
|-----|------------------|------------|-------|------------------------------------|-------------------|
| IV層 | 貝塚時代後期末～グスク時代初期? | HB①/HB②ロ | H区 | O10-15, P8-15, Q8-14, R9-13, S9-13 | |
| | | HB①/HB④イ | G区 | N16-20/1, O16-20/1, P16-20/1 | |
| | | HB④イ | F区 | K3-5, L3-5, M1-5, N2-3 | |
| V層 | 貝塚時代後I期 | HB④ロ | E区 | Q10-15, R10-15, S10-15, TQ10-11 | 大当原式土器中心 |
| | | HB①/HB②ロ | D区 | O10-15, P8-15, Q8-14, R9-13, S9-13 | |
| | | HB①/HB④イ | C区 | N16-20/1, O16-20/1, P16-20/1 | 大当原式土器中心?(洗れ込み?) |
| | | HB①/HB④イ | B区 | J18-20/1-2, K18-20/1-2, L18-20/1-2 | 大当原式土器中心 |
| | | HB②イ地区/HB① | A区 | I10-16, J9-16, K8-16, L8-16 | 阿波連浦下層式土器・浜原式土器中心 |

結果および考察

今回の調査で、少なくとも第98表に示した海産腹足類29科137種、海産二枚貝類20科66種、淡水産腹足類3科6種、陸産腹足類4科7種、その他4種の合計221分類群が確認された。第91表には層序・地区・遺構ごとにまとめた個体数(同定標本数)を示した。以下の解析は、この表をもとに行った。

1. 優占種および生息場所類型組成

先史時代のV・IV層のいずれかの地区で、5%以上を占める種を優占種として、貝塚時代後I期

前半から戦後までの変遷を第173図左に示した。本遺跡で最も古い貝塚時代後I期前半の阿波連浦下層式土器と浜屋原式土器を主体とするA地区では、イソハマグリが約1/3と多く、マガキガイ・シャコガイ類・カラガイ等も5%程度であった。後I期後半の大江原式期のB・E地区では(C・D地区は比較的出土数が少なかったので図示しなかった)、イソハマグリが減少し、マガキガイ・シャコガイ類・サラサバテイル等が多くなり、前の時代とは異なった組成を示していた。また、B・E両地区の組成は相違していた。

グスク時代初期の遺物を含むIV層では、F・G・Hの3地区で、多少の相違は存在するものの、マガキガイが20%以上で、シャコガイ類も多いという同様な傾向を示した。この組成は、マガキガイの割合が少し減少するが、III層のグスク時代～近世、II層の戦前およびI層の戦後まで、同様であった。

生息場所類型組成では、V層A地区で、イソハマグリが多かったことにより、潮間帯の割合が最も高く、イノー内と内湾域が25%程度と続いていた。後I期後半のB・E地区では組成は大きく異なり、B地区ではイノー内と内湾域が約1/3ずつを占めており、E地区ではイノー内が70%近くで、礁斜面も10%以上とサンゴ礁域の利用が顕著であった。

IV層になると、どの地区でもイノー内が2/3を占め、内湾域は10%程度という組成となっていた。優占種と同様に、III層・II層・I層とも生息場所類型でも、僅かに上部層で内湾域のもの割合が高くなる傾向が認められたものの、IV層と大きく変化することはなかった。

また出土個体数は、小形個体の採集効率の問題も存在していると思われるが、V層で約38000と極めて多く、IV層で7000であったが、グスク～近世のIII層や戦前のII層では1000を下回っていた。戦後のI層は撓乱ということもあり、極めて少なかった。

2. 平安山原B遺跡の周辺他遺跡との比較

今回は時間の都合上、伊礼原遺跡(国指定外)等(黒住, 2014)と同様に、同定標本数(NISP)で解析を行った。本地域の多くの遺跡では、最少個体数(MNI)で評価を行っているため、両者の関係を検討する必要がある。そこで、遺構を含むV層の2つのグリッドのサンプルで、両者の関係を示したものが第97表である。その結果、同定標本数では二枚貝の左右殻を別々にカウントするため、当然であるが、イソハマグリやシャコガイ類ではNISPがMNIよりかなり高くなっている。逆に、巻貝のマガキガイでは両者は逆になり、MNIがおおよそ2倍の割合であった。破片の多いサラサバテイルでは出土数が極めて多くないため、両者の差は顕著ではなかった。全体として、NISPは、MNIの1.38倍から1.68倍となっており、約1.5倍程度多くなると考えられる。両者の関係は当然、優占種が二枚貝かどうか等で異なるが一つの目安にはなるであろう。

平安山原B遺跡の貝類遺体では、試掘調査時の結果が島袋(2008)によって報告されている。その結果は今回のV層からII層にかけての優占種や生息場所類型組成において、おおよそ同様であった。一方、島袋(2008)の⑤層では、リュウキュウシラトリが優占している。この層は、今回ほとんど貝類遺体が得られなかったVI層(第91表)とも考えられる。

本地域の貝類遺体の時期別変遷を暫定的にまとめた(黒住, 2014)、今回の平安山原B遺跡の結果は、1)貝塚時代後I期前半ではイソハマグリが優占していること、2)小堀原遺跡で認められたような貝塚時代後期にアラスジケマンの増加が認められないこと、3)貝塚時代後期から戦前まで大きく出土貝類遺体の組成が変化しないこと、4)グスク時代から戦前には貝類の出土量は少ないこと等を、より明確に示していると考えられる。

これらのことから、本地域においては地点（“集落”）により貝類の組成が異なり、今後、詳細に検討することによって、興味深い結果が得られるものと期待される。特に、ゴホウラ等の集積遺構が認められる貝塚時代後1期の“集落”ごとの特性や、戦前（II層）の製糖小屋（サーターヤー）（第130図）のような作業場が存在するにもかかわらず貝類遺体の廃棄は少なかったこと、今後報告される予定の平安山原A遺跡の戦前の貝類遺体ではサンゴ礁域のものは少ないという発掘調査時の観察との相違等に焦点が当たると思われる。

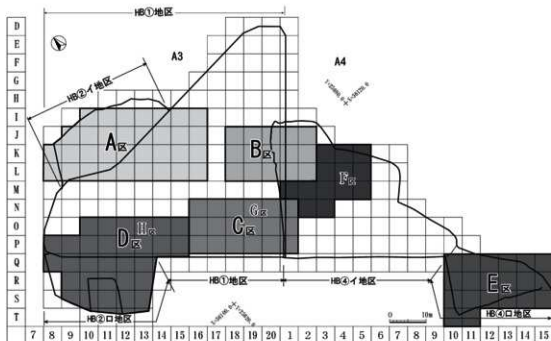
<引用文献>

- 黒住耐二. 2014. 伊礼原遺跡（国指定外）・伊礼原A遺跡の調査で得られた貝類遺体. 伊礼原遺跡（国指定外）・伊礼原A遺跡, 北谷町文化財調査報告書, (36): 397-428.
 島袋春美. 2008. 貝類遺体. 平安山原B遺跡, 北谷町文化財調査報告書, (29): 104-114.

第97表 平安山原B遺跡における同定標本数（NISP）と最少個体数（MNI）の関係係。

| | L14/V層/A地区 | | | | R12/V層/D地区 | | | | R13/V層/貝層群I/D地区 | | | | | | |
|------------|------------|------|------|------|----------------|-----|------|-----|-----------------|-------|-----|------|------|------|--------|
| | NISP | | MNI | | 備考* | | 備考* | | 備考* | | 備考* | | | | |
| | | % | | % | | % | | % | | % | | % | | | |
| イソハマグリ | 1719 | 44.9 | 883 | 38.8 | 3d/1cv.7B | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | | | | | | |
| マガキガイ | 260 | 6.8 | 258 | 11.3 | 19d/3H | 153 | 27.1 | 152 | 37.7 | 10/EH | 120 | 19.4 | 120 | 30.1 | 14H |
| クモガイ | 149 | 3.9 | 75 | 3.3 | 1d | 31 | 5.5 | 17 | 4.2 | 1d/6H | 25 | 4.0 | 9 | 2.3 | |
| シャコガイ科全体 | 493 | 12.9 | 232 | 10.2 | 25d/8cv | 148 | 26.2 | 73 | 18.1 | 5d | 280 | 45.3 | 143 | 35.8 | 5d |
| チョウセンサザエ | 58 | 1.5 | 31 | 1.4 | 15d/2H/1B/18op | 17 | 3.0 | 12 | 3.0 | | 16 | 2.6 | 11 | 2.8 | 1d/2op |
| サラサバテイラ | 66 | 1.7 | 31 | 1.4 | 4/1H | 68 | 12.0 | 49 | 12.2 | 3d | 54 | 8.7 | 33 | 8.3 | 4d |
| カワラガイ | 84 | 2.2 | 40 | 1.8 | 5d | 15 | 2.7 | 8 | 2.0 | | 6 | 1.0 | 3 | 0.8 | |
| リュウキュウシラトリ | 50 | 1.3 | 34 | 1.5 | 3/1B | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | |
| アラスケマン | 39 | 1.0 | 20 | 0.9 | | 3 | 0.5 | 2 | 0.5 | | 12 | 1.9 | 9 | 2.3 | |
| その他 | 911 | 23.8 | 672 | 29.5 | 94d | 130 | 23.0 | 90 | 22.3 | 15d | 103 | 16.7 | 70 | 17.5 | 16d |
| 合計 | 3829 | | 2278 | | | 565 | | 403 | | | 618 | | 399 | | |
| NISP/MNI | | | 1.68 | | | | 1.38 | | | | | | 1.55 | | |

* B:被熱, cv:弁弁, d:死殻, f:破片, H:人魚的孔, op:フタ。



第172図 平安山原B遺跡貝類遺体分析地区名

第98表-1 平安山原B遺跡出土貝類遺体の分類学的位置と生息場所類型.

| 和名 | 学名 | 生息場所 階段 層位 番号 | 和名 | 学名 | 生息場所 階段 層位 番号 |
|----------------------------|------------------------------------|------------------------|-------------------------------|--------------------------------|------------------------|
| 軟体動物門 Mollusca | | | ヤクシマダカラ | Cypraea (Arabica) arabica | I-2-a 59 |
| 腹足類 Gastropods | | | ホヤヤクシマダカラ | Cypraea (Arabica) eglantina | II-2-a 60 |
| ツタノハ Patellidae | | | ツタノハ | Cypraea (Tasipala) talpa | I-2-a 61 |
| ツタノハ | Scutellastra flexuosa | I-3-a | ホシダカラ | Cypraea (s.s.) tigris | I-2-a 62 |
| ヨメガサ科 Nacellidae | | | ヒメホシダカラ | Cypraea (Lyncina) lynx | I-2-b 63 |
| オオベッコウガサ | Celana testudinaria | I-1-a 2 | ホシキヌタ | Cypraea (Mytastoda) vitulus | I-2-a 64 |
| ユキノカサ科 Lottidae | | | タマガイ科 Naticidae | | |
| リュウキュウワノアシ | Pataloidea saccharina | I-1-a 3 | トマガイ | Polinices tumidus | I-2-c 66 |
| ミミガイ科 Haliotidae | | | リュウキュウミミガイ | Polinices flaviginosus | I-2-c 67 |
| ミミガイ | Haliotis (Haliotis) asinina | I-3-a | ロウロトミミガイ | Polinices mellicus | I-2-c 68 |
| リュウチン科 Turbinidae | | | リスガイ | Manilla melanostoma | I-2-c 69 |
| チウウセンザエ | Turbo (Marna) angrostomus | I-3-a 5,6 | ハギノヅム | Notocochlis cernica | I-2-c |
| ヤウコガイ | Turbo (Lunata) marmoratus | I-4-a 7,8 | ホウシュノタマ | Notocochlis galsteriana | II-1-c 71 |
| カンクウ | Lunella moniliformis | II-1-b 9 | ヤツシロガイ科 Tonnicidae | | |
| オオウラウス | Astrarium rhodostoma | I-2-a 10 | ウズスガイ | Tonna perdx | I-2-c 73 |
| ニシキウズ科 Trochidae | | | スズウズラ | Tonna oesa | I-2-c 74 |
| ニシキウズ | Trochus (Trochus) maculatus | I-2-a 12 | イワカワキキワ | Maia (Quimale) pomum | II-2-c 72 |
| ムラヤキウズ | Trochus (Trochus) stellatus | I-3-a 11 | フツツガイ科 Ranellidae | | |
| ギンタカハマ | Trochus (Tectus) pyramis | I-4-a 13 | ミツカドボラ | Cyatium (Mon.) nicobaricum | I-2-a 75 |
| コシダケンタカハマ | Trochus (Tectus) tirsialis | I-4-a 14 | サツボボラ | Cyatium (Monoplea) aequile | I-2-a 76 |
| サササハテウラ | Trochus (Rochia) nitidus | I-4-a 15 | シマボラ | Cyatium (Monoplea) pleare | I-4-a 77 |
| オオウツシダタマ | Mondotia labio | II-1-b 16 | ヒメツツカドボラ | Cyatium (Turritina) labiosum | I-2-a 78 |
| アマオボネ科 Neritidae | | | シロナルトボラ | Cyatium (Gut.) muricatum | I-2-a 79 |
| イシダマアマオボネ | Nerita (Ritena) heliconides | I-0-a 17 | ボウシュウボラ | Charonia sauliae | I-4-a 80 |
| コシダカアマガイ | Nerita (Ritena) striata | I-1-b 18 | ホラガイ | Charonia tritonis | I-4-a 81 |
| キバアマガイ | Nerita (Ritena) plicata | I-0-a 19 | オキニシ科 Bursidae | | |
| リュウキュウアマガイ | Nerita (Ritena) insculpta | I-0-a 20 | イワカワネボウ | Bursa (Colubrellina) granulata | I-2-a 83 |
| アマオボネ | Nerita (Thelyostyla) albicollis | I-1-b 21 | ツングガイ | Chicoreus ramosus | I-3-a 84 |
| マルマリアオボネ | Nerita (Thelyostyla) squamulata | II-1-b 22 | ツツシナルトボラ | Tutufa rebeta | I-4-a 86 |
| オオマルマリアオボネ | Nerita (Thelyostyla) chamaeleon | I-1-b 23 | ツツボボラ | Tutufa bulfo | I-4-a 87 |
| ヒラマキオボネ | Nerita (Thelyostyla) plaspiora | III-0-d | アツキガイ科 Muriolidae | | |
| ニシキアマオボネ | Nerita (Amphinerita) polita | I-1-c 25 | ガンゼキホラ | Chicoreus buranneus | I-2-a 88 |
| ヌリツツアマボネ | Nerita (Amphinerita) rumphi | I-1-c 26 | チンクガイ | Chicoreus ramosus | I-4-a 89 |
| カノコガイ | Clithon soewebianus | II-1-b 27 | チンクガイ | Thais (Stromonita) savignyi | I-1-a 90 |
| イノカシ | Clithon | IV-5 28 | シラウモガイ | Thais (Stromonita) armigera | I-3-a 91 |
| カバウチカノ | Neritina pulgaria | IV-5 29 | ツツツツレイン | Mancinella hippocastanum | I-1-a 92 |
| ドングリカノ | Neritina plumbea | IV-5 30 | ツツレイン | Mancinella tuberosa | I-3-a 93 |
| シマ(ニ)オカシカメ | Neritodryas dubia | IV-6 31 | ハナフレイシ | Nassa veallium | I-3-a 94 |
| フネアマガイ | Septaria porcellana | IV-5 32 | キヨウラクガレイシ | Drupa (s.s.) nimus | I-3-a 95 |
| タニ科 Viviparidae | | | ムラサキケイレイシ | Drupa (s.s.) morum | I-3-a 96 |
| チンギンガ | Chigangopadua chinensis | IV-6 148 | アラガレイシ | Drupa (Riciniella) rubidusius | I-3-a 97 |
| ヤマツタ科 Cyclophoridae | | | オニコブシ科 Vesidae | | |
| オキナフヤマツタシ | Cyclophorus turgidus | V-8 149 | オニコブシ | Vasum ceramium | I-3-a 98 |
| オニツツガイ科 Cerithiidae | | | オニコブシ | Vasum turbinellum | I-2-a 99 |
| オニツツガイ | Cerithium (Cerithium) modiolum | I-2-c 34 | オウレヨフイ科 Nassariidae | | |
| コオニツツガイ | Cerithium (Cerithium) columbum | I-2-a 35 | オウレヨフイ科 | Nassarius sp. of nodifer | II-2-c 100 |
| トウガタカニモリ | Rhinoclevis sinensis | I-2-c 36 | イボヨフイ | Nassarius coronatus | II-1-c 101 |
| ヨウガタカニモリ | Rhinoclevis aspera | I-2-c 37 | エノバイ科 Buccinidae | | |
| カヤハミカニモリ | Clipeomorus bifasciata | I-1-b 38 | ノシガイ | Engina (Pusioscota) mendicaria | I-1-a 102 |
| イウ(ウ)ミカニモリ | Clipeomorus batillaeiformis | II-1-b 39 | シマベッコウバイ | Jepeuthia cingulata | II-1-b 103 |
| ヘナタリ科 Cerithiidae | | | イトマキボラ科 Fasciolaridae | | |
| カワア | Cerithiidae (Cer.) djageriensis | III-1-c 40 | イトマキボラ | Pleuroploca trapezium | I-2-b 105 |
| ウミニ科 Batillariidae | | | ヒメイトマキボラ | Pleuroploca trapezium pastali | I-2-b 106 |
| リュウキュウウミニ | Batillaria flectosiphonata | II-1-c 41 | ナガイトマキボラ | Pleuroploca filamentosa | I-2-a 107 |
| イボウミニ | Batillaria zonalis | III-1-c 42 | リュウキュウツツマタ | Litinus polygonus | I-3-a 108 |
| トウガタカワニ科 Thiaridae | | | ツツマタドキ | Litinus belcheri | I-3-a 109 |
| トウガタカワニ | Thiara scabra | IV-5 150 | フトセボラ | Fusus nicobaricus | I-2-c 110 |
| ヌメカワニ | Melanoides tuberculata | IV-6 151 | ミノムシガイ科 Costellariidae | | |
| スダカワニ | Stenometania uniformis | IV-6 152 | オニムシガイ | Vezillum plicarium | II-2-c 111 |
| ヨウカワニ | Stenometania plicata | IV-6 153 | フデガイ科 Mitridae | | |
| カワニ科 Pleuroceridae | | | イモフデガイ | Pterygia dactylus | I-1-b 112 |
| カワニ | Semisuicospira bensoni | IV-5,6 154 | チョウセンフデ | Mitra mitra | I-2-c 113 |
| スイウウガイ科 Strombidae | | | イモガイ科 Conidae | | |
| ムカシモト | Strombus (Canarium) mutabilis | I-2-c 43 | マダライモ | Conus (Virroconus) ebraeus | I-1-a 114 |
| スイウウガイ | Strombus (Laevistrombus) tururella | II-2-c 47 | サヤシイモ | Conus (Virroconus) fulgetrum | I-1-a 115 |
| ネギノキガイ | Strombus (Gibberulus) g. gibbosus | II-2-c 44 | シズクサヤシイモ | Conus (Virroconus) coronatus | I-1-a 116 |
| マキガイ | Strombus (Conomurus) lukuanus | I-2-c 45 | イボシマイモ | Conus (Virgiconus) lividus | I-2-a 117 |
| イボノシガイ | Strombus (Lentigo) lentiginosus | I-2-c 46 | ヤセイモ | Conus (Virgiconus) emaciatius | I-2-c 118 |
| アソノシガイ | Strombus (Tricomis) therastes | I-4-c 48 | イボカイイモ | Conus (Virgiconus) distans | I-2-c 119 |
| ゴホウ | Strombus (Tricomis) latissimus | I-4-c 49 | ヤナギシロイモ | Conus (Rhizoconus) miles | I-3-a 120 |
| クモガイ | Lambis lambis | I-2-c 50 | サヤシイモ | Conus (Rhizoconus) capiteus | I-4-b 121 |
| ラウダガイ | Lambis truncata sebae | I-4-c 51 | カノシ | Conus (Rhizoconus) veallium | I-4-b |
| ラウダガイ | Harpago chinaga | I-2-c 52 | ヤキイモ | Conus (Pliconus) vagus | I-2-c 123 |
| ムカデガイ科 Vermetidae | | | サラサドキ | Conus (Dacryconus) mifus | I-2-c 124 |
| ヘビガイ類 | 'Sepiopsis' sp. | I-2-a 53 | アジロイモ | Conus (Darioconus) pennaceus | II-2-c 125 |
| タカラガイ科 Cypraeidae | | | ニシキミナシ | Conus (Strioconus) striatus | I-2-c 126 |
| キロダカラ | Cypraea (Monetaria) moneta | I-1-a 54 | アソノイモ | Conus (Gastidium) geographus | I-2-c 127 |
| ハナビラダカラ | Cypraea (Monetaria) annulus | I-1-a 55 | ナラウウロミナシ | Conus (s.s.) marneonus | I-2-c 128 |
| ナギモキ | Cypraea (Erosia) erosus | I-2-b 56 | ミカドミナシ | Conus (Rhombus) imperialis | I-2-c 129 |
| コモダカラ | Cypraea (Erosia) erosus | I-2-b 57 | アザミミナシ | Conus (Lagoconus) generalis | I-2-c 130 |
| ハナマルユキ | Cypraea (Riv.) capusentantis | I-3-a 58 | | | |

第98表-2. 平安山原B遺跡出土貝類遺体の分類学的位置と生息場所類型.

| 和名 | 学名 | 生息場所 階層 種目 種号 | 和名 | 学名 | 生息場所 階層 種目 種号 |
|-------------------------------|--|------------------------|----------------------------|--|------------------------|
| ゴマフガイ | <i>Conus (Puncticulus) pulicarius</i> | I-2-c 131 | ナドリマスオガイ科 | Mesodematidae | |
| ダイミヨウモ | <i>Conus (Cleobula) betulinus</i> | II-2-c 132 | イノハマグリ | <i>Atactodes striata</i> | I-1-c 41 |
| アブイモ | <i>Conus (Leopriconus) miratus</i> | I-4-b 134 | ナミ/コマスオ | <i>Davila plana</i> | II-1-c 42 |
| ゴザメドキ | <i>Conus (Lithoconus) eburneus</i> | I-2-c 134 | フジノハチイ科 | Dorsalidae | |
| アンボンクロザメ | <i>Conus (Lithoconus) literatus</i> | I-2-c 135 | リュウキュウナミ/コ | <i>Latona faba</i> | I-1-c 43 |
| クロフモドキ | <i>Conus (Lithoconus) leopardas</i> | I-2-c 136 | ナミ/コガイ | <i>Latona cuneata</i> | II-1-c 44 |
| ウダマキガイ科 Turridae | | | ニッコウガイ科 Tellinidae | | |
| トラフダマキ | <i>Lophiotoma acuta</i> | I-2-c | ニッコウガイ | <i>Tellinella virgata</i> | II-2-c 45 |
| タケノコガイ科 Terebridae | | | ヒメニッコウガイ | <i>Tellinella sturella</i> | II-2-c 46 |
| タケノコガイ | <i>Terebra subulata</i> | I-2-c 142 | リュウキュウシラトリ | <i>Quidipaya palatum</i> | II-1-c 47 |
| リュウキュウタケ | <i>Oxymiris maculatus</i> | I-2-c 144 | ヌメ/チヨウシラトリ | <i>Quidipaya palatum</i> | II-1-c 48 |
| ナツメガイ科 Bulliidae | | | サメザラ | <i>Scutarcopagia scobinata</i> | I-2-c 49 |
| ナツメガイ | <i>Bulla verrucosa</i> | I-2-c 145 | モチツギザラ | <i>Cyclotellina remes</i> | I-2-c 50 |
| オカミミガイ科 Ellobiidae | | | ハスメザクラ | <i>Loogypta transculata</i> | II-1-c 51 |
| ヒメシラシノミ | <i>Pythia nana</i> | V-10 | アサジガイ科 Semelidae | | |
| クロヒラシノミ | <i>Pythia pachydon</i> | III-0-a 146 | サメザラモドキ | <i>Semele carnicolor</i> | II-1-c 52 |
| キセルガイ科 Clausiliidae | | | イソシタ科 Psammobiidae | | |
| ツヤギセル | <i>Luchaphaedusa p. praecleara</i> | V-8 155 | リュウキュウマスオ | <i>Asaphis violaceus</i> | II-1-c 53 |
| ナンバンマイマイ科 Camaenidae | | | マスオガイ | <i>Psammoneas elongata</i> | II-1-c 54 |
| シロハママイマイ | <i>Satsuma (s.s.) m. mercatoris</i> var. | V-8 156 | シジミ科 Cyrenoidae | | |
| カクレンマイマイ | <i>Satsuma (s.s.) m. katsurenensis</i> | V-7 158 | シレナンシジミ | <i>Geloina erosa</i> | III-0-c 55 |
| ヤンバルマイマイ | <i>Satsuma (s.s.) atrata</i> | V-7 | マルスダレガイ科 Veneridae | | |
| ヒスシ(ヒスシキマヤカ) | <i>Satsuma (Luc.) largillierii</i> | V-8 159 | ヌメ/メガイ | <i>Periphyta purpurea</i> | II-2-c 56 |
| アノノマカマイマイ | <i>Satsuma (Luc.) ananoi</i> | V-8 160 | アノノメガイ | <i>Periphyta reticulata</i> | I-2-b 57 |
| オナジマイマイ科 Bradybaenidae | | | カコアサリ | <i>Glycydonta marica</i> | I-2-c 58 |
| ハダナマイマイ | <i>Bradybaena circulus</i> | V-8 161 | タイワンシラオガイ | <i>Circe tumefacta</i> | II-2-c 64 |
| オネナウズカワマイマイ | <i>Acusta d. despecta</i> | V-8 162 | ホスジナシメ | <i>Gafrarium pectinatum</i> | II-1-c 59 |
| 二枚貝類 Bivalvia | | | アラスジケマン | <i>Gafrarium tumidum</i> | III-2-c 60 |
| フネガイ科 Arcoidea | | | ウケウケハマグリ | <i>Pitar striatum</i> | II-2-c 61 |
| オオタカハ | <i>Arca ventricosa</i> | I-2-a 3 | ウスハマグリ類 | <i>Pitar</i> sp. | II-2-c 62 |
| エビイ | <i>Barbatia (Barbatia) trapezina</i> | I-1-a 1 | ケツウケモクニエシ | <i>Pitar/gafrarium/babingtonum</i> | II-2-c |
| ベニエビイ | <i>Barbatia (L.) amygdalotortum</i> | I-2-a 2 | オイ/カガミ | <i>Bonarumensis histrio</i> | II-2-c 65 |
| リュウキュウサルボオ | <i>Anadara (Anadara) antiquata</i> | II-2-b 5 | リュウキュウアサリ | <i>Tapes literatus</i> | II-2-c 66 |
| ハイガイ(セ/付殻型) | <i>Tegularca granosa</i> f. <i>obesa</i> | III-1-c 4 | ヒメリュウキュウアサリ | <i>Tapes belcheri</i> | II-2-c 67 |
| イガイ科 Mytilidae | | | ヒメアサリ | <i>Ruditapes variegata</i> | II-1-c 68 |
| リュウキュウセバシ | <i>Modiolus auriculatus</i> | I-1-a 8 | スダレハマグリ | <i>Katayama japonica</i> | II-1-c 69 |
| ヒメリュウキュウセバシ | <i>Brachidontes variabilis</i> | III-1-a 6 | トドマシ/ハマグリ | <i>Mentoria sp. cf. lamurcki</i> | II-2-c 70 |
| ウダシガキ科 Pteridae | | | ハマグリ類(他種) | <i>Mentoria sp. cf. laurore</i> | II-2-c 71 |
| ウダシガキ | <i>Pinctada panaseae</i> | I-1-a 11 | ダネオキシジミ | <i>Cyclina orientalis</i> | II-1-c 72 |
| アヤヤガイ | <i>Pinctada fucata</i> | II-2-b 10 | | | |
| クロチヨウガイ | <i>Pinctada margaritifera</i> | I-4-a 9 | 頭足綱 Cephalopoda | | |
| シュモクアオリ科 Isognomonidae | | | コウイ科 Sepiidae | | |
| カインアオリの一種 | <i>Isognomon sp. cf. perna</i> | I-1-a 12 | コブシメ | <i>Sepia latimanus</i> | I-2 |
| シュモクイガイ科 Malleidae | | | 節足動物門 Arthropods | | |
| ニトリガキ | <i>Melvofundus regula</i> | II-1-a | 十脚綱 Decapoda | crabs | |
| ウミギク科 Spondyliidae | | | カニ類 | | |
| メンガキ類 | <i>Spondylus</i> sp. | I-2-a 14 | 棘皮動物門 Echinodermata | | |
| ベッコウガキ科 Plectonotidae | | | ウニ綱 Echinoidea | | |
| シャコガキ | <i>Hyotissa hyotiss</i> | I-2-c 15 | ハイバウニ(種) | <i>Heterocentrotus mammillatus</i> (spine) | I-3-a |
| オハログガキ | <i>Saccostrea mardox</i> | I-1-a 17 | シラヒゲウニ? | <i>Triponestes gratia?</i> | I-2-c |
| ニセマダガキ | <i>Saccostrea echinata</i> | II-1-b 16 | | | |
| オハログガキモドキ | <i>Saccostrea circumsuta</i> | II-1-b 18 | 生息場所類型 (Habitat) | | |
| シロヒメガキ | <i>Ostrea fluctigera</i> | II-2-b 19 | I: 外洋-サンゴ礁域 | | |
| ツキガイ科 Lucinidae | | | II: 内湾-乾石域 | | |
| クチベニツキガイ | <i>Codakia punctata</i> | I-2-c 21 | III: 河口干潟-マングローブ域 | | |
| ウツツキガイ | <i>Codakia pygmaeum</i> | I-2-c 22 | IV: 淡水域 | | |
| ヒツツキガイ | <i>Spicodakia bella</i> | I-2-c 23 | V: 陸域 | | |
| カラツツキガイ | <i>Anodontia edentula</i> | II-2-c 24 | VI: その他 | | |
| キクザル科 Chamaidae | | | 0: 潮間帯上部(0はフチ, Ⅱではマングローブ) | | |
| キクザル類 | <i>Chama brassica</i> | I-4-a 26 | 1: 潮間帯中・下部 | | |
| | <i>Chama</i> spp. | 28 | 2: 亜潮間帯上縁部(0ではイノ) | | |
| ザルガイ科 Cardidae | | | 3: 干潟(0にのみ適用) | | |
| リュウキュウザルガイ | <i>Vasticardium flavum</i> | II-2-c 29 | 4: 礁斜面及びその下部 | | |
| カラワガキ | <i>Fragum unedo</i> | II-2-c 30 | 5: 止水 | | |
| シヤコガイ科 Tridacnidae | | | 6: 淡水 | | |
| オオシラナミ | <i>Tridacna maxima</i> | I-2-a 31 | 7: 林内 | | |
| ナガシヤコ(ナガシヤナミ) | <i>Tridacna noae</i> | I-2-a 32 | 8: 林内・林縁部 | | |
| シラナミ類 | <i>Tridacna maxima & noae</i> | I-2-a | 9: 林縁部 | | |
| ヒシヤコ | <i>Tridacna squamea</i> | I-2-a 34 | 10: 海浜部 | | |
| ヒメジヤコ | <i>Tridacna crocea</i> | I-2-a 35 | 11: 打ち上げ物 | | |
| シヤゴウ | <i>Hippopus hippopus</i> | I-2-c 37 | 12: 化石 | | |
| バカガイ科 Mactridae | | | a: 岩礁/岩壁 | | |
| リュウキュウバカガイ | <i>Mactra maculata</i> | II-2-c 38 | b: 乾石 | | |
| タマキ | <i>Mactra cuneata</i> | II-1-c 39 | c: 磯/砂/泥底 | | |
| ユネガイ | <i>Merpesta nicobarica</i> | II-2-c 40 | d: 植物上 | | |
| | | | e: 淡水の流入する磯底 | | |

第99表-1 平安山原B遺跡出土具類遺体の地区別同定標本数 (NISP)

| 順序 地区名 遺構等 | VI 合計 | V A | V A遺構 SK-93 | V B | V C | V D | V E | V E遺構 E-1層 | V 一括 | V 合計 | IV F | IV G | IV H | IV H | IV 一括 | IV 合計 | III 合計 | III 遺構 SK-9- SD | III 遺構 SD | III 遺構 SZ | II 合計 | II 遺構 SK-9D- SK | II 遺構 SZ | II 合計 | I 遺構 SZ | I 合計 | 表様 合計 | |
|------------------|----------|--------|-------------------|--------|--------|--------|--------|------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|-----------|--------------------------|-----------------|-----------------|----------|--------------------------|----------------|----------|---------------|---------|----------|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 |
| ツタノハ | | | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| オオベッコウガサ | | 26 | | 7 | | | | | | 33 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リュウキュウノアシ | | 1 | | 1 | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ミミガ | | 1 | | 1 | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| チホウセンサザエ | | 332 | 4 | 135 | 1 | 11 | 156 | 22 | 93 | 754 | 35 | 68 | 20 | 22 | 41 | 186 | 6 | 15 | 1 | 7 | 29 | 4 | 10 | 14 | 14 | 6 | 6 | |
| チホウセンサザエ(蓋) | | 199 | 15 | 14 | | | 9 | 3 | 12 | 252 | 14 | 36 | 21 | 12 | 9 | 92 | 2 | 2 | | 2 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | | | |
| ヤコウガイ | | 7 | | 2 | | | | | 3 | 12 | 3 | 2 | 2 | | 3 | 7 | | | | 1 | 1 | | | | | | | |
| ヤコウガイ(蓋) | | 13 | | 2 | | | 5 | | 1 | 21 | 3 | 3 | 1 | 1 | 2 | 10 | | | | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | | | |
| カンギク | | 57 | 8 | 8 | | | | | 2 | 75 | 2 | | 1 | | 2 | 5 | | | | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | |
| オオウラウス | | 1 | | | | | 1 | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ムウサキウス | | 18 | | | | | 9 | | 8 | 19 | | | | 1 | 1 | 2 | | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| ニキウス | | 196 | 2 | 22 | 1 | | 9 | | 8 | 238 | 3 | 5 | 5 | 3 | 3 | 16 | 3 | 5 | | 1 | 9 | 1 | 3 | 4 | 5 | | | |
| ボシタカハマ | | 144 | 2 | 18 | | | 8 | 2 | 5 | 179 | | | 3 | 2 | 1 | 6 | 1 | | | 1 | 2 | | 4 | 4 | 4 | 2 | 2 | |
| コシタカギンタカハマ | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ササキハテイラ | | 462 | 9 | 185 | 10 | 6 | 410 | 109 | 98 | 1289 | 74 | 106 | 23 | 19 | 87 | 309 | 23 | 17 | 2 | 25 | 67 | 11 | 13 | 24 | 26 | 5 | 5 | |
| オキナウインダタミ | | 12 | | | | | | | | 12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| インダタミアマオブネ | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コシタカアマガイ | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| キバアマガイ | | 1 | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リュウキュウアマガイ | | 3 | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アマオブネ | | 23 | 1 | 1 | | | | | | 25 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| マルアマオブネ | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | 1 | | 1 | | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| オオマルアマオブネ | | 14 | | 1 | | | | | | 15 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ヒラキオアマオブネ | | 2 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ニシキアマオブネ | | 31 | 1 | 4 | | | | | 3 | 39 | | | | | | 5 | | | | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | |
| スリツキアマオブネ | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カノコガイ | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| イダカノコ | | 1 | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カバグチカノコ | | 12 | | 6 | | | | | 1 | 19 | | | 1 | | | 1 | | | 1 | | 1 | | | | | | | |
| ドンダリカノコ | | 9 | | | | | | | | 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| シマオカイシマキ | | 2 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フネアマガイ | | 1 | | 2 | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アマオブネ料 | | 2 | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| オニツツノガイ | | 113 | 5 | 51 | | 3 | 26 | 11 | 25 | 234 | 18 | 77 | 18 | 23 | 28 | 164 | 6 | 8 | 1 | 4 | 19 | 4 | 2 | 6 | 10 | | 1 | |
| コニツツノガイ | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| トウダタカニモリ | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | |
| ヨコワカニモリ | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カキノミカニモリ | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| イワカニモリ | | 1 | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カワアイ | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リュウキュウミニナ | | 4 | | | | | | | | 4 | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | 2 | 2 | | |
| イボウミニナ | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ムカシタモト | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ネシマガキガイ | | 21 | | 8 | | | 122 | 1 | 2 | 154 | 10 | 2 | 9 | 6 | 3 | 30 | 1 | 4 | | 5 | 3 | 2 | 5 | 6 | 5 | | 5 | |
| マダキガイ | | 1800 | 19 | 705 | 3 | 7 | 661 | 271 | 197 | 3663 | 331 | 719 | 405 | 176 | 303 | 1934 | 49 | 66 | 2 | 32 | 149 | 65 | 52 | 117 | 122 | 21 | 24 | |
| イボソダ | | 1 | | 1 | | | 25 | 13 | | 4 | 3 | 2 | 3 | 3 | 1 | 12 | | | | | | | | | | | | |
| スイショウガイ | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | |
| アソダガイ | | 2 | | | | | | | | 2 | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| ゴホウガイ | | 5 | | 1 | | | | | 2 | 8 | | 1 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | |
| クモガイ | | 600 | 14 | 203 | 2 | 2 | 191 | 79 | 80 | 1171 | 64 | 202 | 37 | 12 | 62 | 377 | 19 | 9 | 1 | 40 | 69 | 9 | 14 | 23 | 30 | 5 | 8 | |

第99表-2 平安山原B遺跡出土貝類遺体の地区別同定標本数 (NISP)

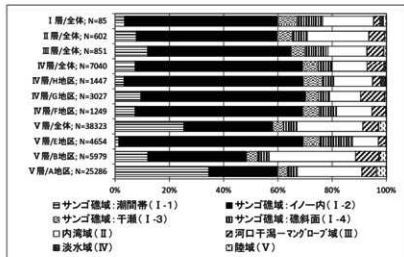
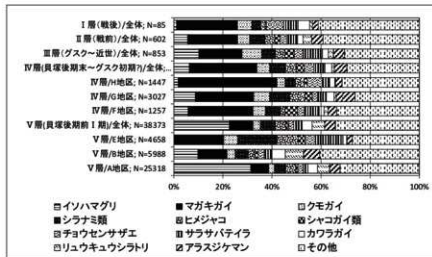
| 順序 地区名 | VI 合計 | V | | V | | V | | V | | V | | V | | 合計 | IV | | IV | | IV | | IV | | 合計 | III | II | I | I | 表種 | | | | | | | | |
|-----------|----------|-----|---|-----|---|---|---|----|---|----|----|-----|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|-----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| | | A | B | C | D | E | F | G | H | H | 一括 | II | II | | II | II | II | II | II | II | II | II | | | | | | | II | II | II | II | II | II | II | |
| ラダグアイ | | 3 | | | | | | 5 | | | | | 1 | 12 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| スビジガイ | | 18 | 2 | 11 | | | | | | 11 | 6 | 3 | | 51 | 3 | 2 | 4 | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | |
| ヘビガイ類 | | 2 | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| キイロダカラ | | 27 | | 6 | | | | | | | | | 33 | 1 | 1 | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ハナヒラダカラ | | 31 | | 3 | | | | | | | | 1 | 35 | | | | 5 | | 2 | | | | 1 | 1 | | 2 | 1 | 1 | | | | | | | | |
| サメトキ | | 4 | | | | | | | | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コモンダカラ | | 4 | | | | | | | | | | | 3 | 3 | | 1 | 3 | 3 | 5 | 15 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ハナマルユキ | | 2 | | 1 | | | | | | | | | 3 | 5 | | 3 | 2 | 3 | 4 | 17 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ヤクシマダカラ | | 30 | | 15 | | | | 6 | | 1 | 2 | | 54 | 5 | | 3 | 2 | 3 | 4 | 17 | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | |
| ホノヤクシマダカラ | | 13 | | 2 | | | | | | | | | 15 | | | 1 | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| タルダカラ | | 1 | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ホノダカラ | | 164 | | 117 | | | | 43 | | 21 | 27 | | 372 | 37 | | 36 | 12 | 2 | 27 | 114 | | | 6 | 4 | 2 | 1 | 13 | 4 | 3 | 7 | 8 | 1 | 1 | | | |
| ヒメダカラ | | 1 | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ホシキヌタ | | 22 | | | | | | | | 1 | | | 24 | 1 | | 4 | 1 | | 1 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| タカラガイ類 | | 3 | 1 | 1 | | | | | | 1 | 1 | 1 | | 8 | 1 | | | | 5 | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| トミガイ | | 7 | | | | | | | | | | | 8 | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ヘノアキトミガイ | | 3 | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ロウイトミガイ | | 1 | | 1 | | | | | | | | | 2 | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リスガイ | | 16 | | 5 | | | | | | | | | 22 | 1 | | 2 | 2 | | | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ハギノフユ | | 2 | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ホウシュノタマ | | 4 | | | | | | | | | | | 6 | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| イワカワトキワ | | 1 | | | | | | | | | | | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウズラガイ | | 8 | | 1 | | | | | | | | | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| スズメズラ | | 2 | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ミツカドボラ | | 6 | | 2 | | | | | | | 2 | | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| サツマボラ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| シノマキ | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ヒメツカドボラ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| シノボラ | | 6 | | 3 | | | | | | | | | 9 | 1 | | 1 | | | 1 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ボウシュウボラ | | 1 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ボラガイ | | 44 | | 16 | | | | | | | | | 81 | 1 | | 4 | | | 1 | 1 | 7 | | | | | | | | | | | | | | | |
| フツフツガイ類 | | 1 | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| イワカワウネボラ | | 21 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| オホエシ | | | | 10 | | | | | | 2 | 2 | 4 | 39 | 3 | | 4 | 3 | 1 | 2 | 13 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| シワチナルトボラ | | | | 1 | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| オオナルトボラ | | 1 | | 1 | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| シロナルトボラ | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ガニゼキボラ | | 13 | | 4 | | | | | | 2 | 4 | 3 | 26 | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アツガイ | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アツレイシ | | 1 | | 1 | | | | | | | | | 3 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| シラクモガイ | | 5 | | | | | | | | 1 | 3 | 1 | 13 | 2 | | 1 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ツチワレイシ | | 1 | | 3 | | | | | | | | | 5 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フルレイシ | | 60 | | 37 | | | | | | 1 | 23 | 1 | 136 | 13 | | 8 | 3 | 7 | 10 | 41 | | | 1 | 3 | | | | | | | | | | | | |
| ハナワレイシ | | 2 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| キマダライガレイシ | | | | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ムラサキイガレイシ | | 5 | | | | | | | | | | | 6 | 1 | | 2 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アカイガレイシ | | 41 | | 5 | | | | | | | | | 55 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| オニコブシ | | 6 | | | | | | | | | | | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コブコブシ | | 35 | 1 | 1 | | | | | | | | | 97 | 5 | | 24 | 7 | 8 | 2 | 46 | | | 1 | 1 | | 1 | 3 | 2 | 2 | 4 | 4 | 1 | | 1 | | |
| ヒメツリレムシロ | | 4 | | | | | | | | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| イボウバイ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ノシガイ | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| シマベッコウバイ | | 8 | | | | | | | | | | | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| エシバ貝類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| イトマキボラ | | 360 | 2 | 196 | 5 | 1 | | 37 | | 6 | 66 | 673 | 43 | | 41 | 12 | 8 | 56 | 160 | | | 9 | 10 | | | 4 | 23 | 1 | 4 | 5 | 5 | 4 | | 4 | | |

第99表-4 平安山原B遺跡出土貝類遺体の地区別同定標本数 (NISP)

| 順序 地区名 | VI 合計 | V | | | V | | | V | | | V 合計 | IV | | | | | III 合計 | II | | | I | | | I 合計 | I 表注 | | | | | |
|------------|----------|-----|-----|---|---|----|-----|-----|-----|------|---------|-----|----|-----|----|-----|-----------|----|-----|----|----|----|-----|---------|---------|----|---|---|---|----|
| | | A | B | C | D | E | F | G | H | I | | 一括 | II | III | IV | 合計 | | II | III | IV | I | II | III | | | | | | | |
| パンダナマイマイ | 231 | 1 | 24 | | | 1 | | | 7 | 264 | | | 4 | 1 | | | 5 | | 5 | | 5 | 1 | 1 | 2 | | | | | | |
| オキナエガイ | 14 | | | | | | | | | 14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| オホタカハ | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リュウキュウサルボオ | 147 | 2 | 100 | | | 1 | 63 | 29 | 49 | 391 | 38 | 69 | 31 | 22 | 44 | 204 | 7 | 3 | | 1 | 11 | 4 | 6 | 1 | 11 | 3 | 3 | 2 | | |
| エガイ | 207 | 6 | 54 | | | | 5 | | | 288 | | | | | | 15 | | | | | 6 | | 2 | 1 | 2 | | | | | |
| ベニエガイ | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ハニガイ | 2 | | 1 | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リュウキュウヒバリ | 2 | | | | | | | | 1 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ヒリガイモドキ類 | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| イガイ科 | 6 | | 3 | | | | | | 1 | 10 | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| ミドリアオリ | 228 | 12 | 11 | | | | | | 12 | 263 | | | 3 | | | 3 | | | | 1 | | 1 | | 3 | 1 | 4 | | | | |
| アオヤガイ | 1 | | | | | | | | 2 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| クロチョウガイ | 210 | 2 | 15 | | | | 4 | | 8 | 239 | 1 | 1 | 1 | | 2 | 5 | 2 | | | | | 2 | | | | | | | | |
| カイシヤブリの一種 | 2 | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ニワトガイ | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ムギノ類 | 123 | 2 | 57 | | | | 27 | 18 | 27 | 254 | 13 | 33 | 11 | 3 | 20 | 80 | 1 | 1 | 2 | 2 | 6 | 3 | 25 | 28 | 8 | 8 | 2 | | | |
| シロコガキ | | | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| オハハロガキ | | | 1 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ニセマガキ | 2 | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| オハハロモドキ | 1 | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| シロヒメガキ | 7 | | | | | | | | | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| イタボガキ科 | 6 | | 3 | | | | | | | 9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ナガベニツキガイ | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウツキツキガイ | 155 | | 89 | | | | | | 36 | 280 | 1 | 5 | | 1 | 3 | 10 | | | 2 | | 1 | 3 | | 3 | 3 | | | | | |
| ヒメツキガイ | 32 | | 13 | | | | | | 8 | 53 | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| カブラツキガイ | 187 | 4 | 119 | | | | | | 48 | 358 | | | | | | | | | 3 | | 3 | | 1 | 1 | | | | | | |
| ツキガイ科 | 2 | | | | | | 1 | | 17 | 22 | 5 | | | | 3 | 8 | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | |
| シロザル | 1 | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| キクザル | | | 2 | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| キクザル類 | 3 | | 1 | | | | 1 | 2 | 1 | 8 | | | | | 1 | 4 | | | | | | | | | | | | | | |
| リュウキュウザルガイ | 323 | 2 | 153 | | 1 | | 1 | 2 | 76 | 558 | 7 | 15 | 3 | 4 | 9 | 38 | | | 1 | 3 | | 1 | 5 | | 3 | 1 | 4 | | | |
| カウラガイ | 990 | 16 | 334 | | | 4 | 59 | 18 | 155 | 1576 | 26 | 95 | 17 | 15 | 52 | 205 | 7 | 13 | | 1 | 21 | 3 | 11 | 14 | 4 | 4 | | | | |
| オホシラミ | | | 3 | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ナガシヤコ | 2 | | | | | | | | | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| シラナコ類 | 1160 | | 317 | | | 2 | 463 | 278 | 108 | 2328 | 77 | 245 | 41 | 19 | 71 | 453 | 15 | 13 | | 1 | 18 | 47 | 8 | 22 | 7 | 37 | 2 | 1 | 3 | 14 |
| ヒレシヤコ | 66 | | 19 | | | 1 | 26 | 27 | 12 | 151 | 2 | 5 | 2 | 1 | 3 | 13 | 3 | | | | | 3 | | 6 | 6 | | | | | 10 |
| ヒメシヤコ | 1041 | 8 | 155 | | | 2 | 241 | 160 | 82 | 1689 | 23 | 185 | 27 | 23 | 58 | 316 | 17 | 9 | | 7 | 33 | 1 | 12 | 11 | 24 | 2 | 2 | 9 | | |
| シラコガイ類 | 181 | 4 | 79 | | 1 | | 70 | 67 | 28 | 43 | 65 | 91 | 13 | 6 | 47 | 222 | 9 | 18 | | 5 | 32 | 8 | 5 | 13 | 13 | | | 4 | | |
| シラゴウ | 101 | 1 | 47 | | | | 85 | 49 | 26 | 31 | 19 | 56 | 6 | 4 | 15 | 100 | 3 | 4 | | 1 | 8 | 1 | 1 | 8 | 1 | 1 | 1 | 1 | | |
| リュウキュウバカガイ | 54 | | 16 | | 1 | | | | 6 | 77 | | | | | | 1 | 2 | | | | | | 3 | | 1 | 1 | | | | |
| タママキ | 36 | 4 | 24 | | | | | | 9 | 73 | | | | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | |
| コシガイ | 4 | | 2 | | | | | | | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| イノハマザル | 7758 | 187 | 591 | | | 13 | 2 | 159 | | 8710 | 74 | 264 | 23 | 4 | 81 | 446 | 9 | 69 | | 9 | 87 | 1 | 33 | 34 | 1 | 1 | 1 | 3 | | |
| ナミノマスキ | | | 3 | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リュウキュウナミノコ | 64 | 3 | 13 | | | | | | | 81 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ナミノコガイ | 1 | | 2 | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ニコウガイ | 8 | | | | | | | | 3 | 12 | | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| ヒメニコウガイ | 7 | | | | | | | | 1 | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| リュウキュウシラトリ | 1212 | 40 | 442 | | 1 | 1 | 2 | | 254 | 1952 | 21 | 27 | 4 | | 22 | 74 | 15 | | 3 | 18 | 4 | 15 | 2 | 21 | 1 | 1 | | | | |
| スズメチウシラトリ | 2 | | | | | | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| サメザル | 12 | | | | | | | | 1 | 14 | | | | | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | |
| モナツキザル | | | 1 | | | | 1 | 1 | | 3 | 2 | 1 | | | 3 | | 1 | | | | | | | | | | | | | |
| ハスメザル | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| サメザルモドキ | 32 | | 21 | | | | | | 6 | 59 | 1 | | | | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | | | |
| リュウキュウマスコ | 378 | 21 | 40 | | | | 23 | 9 | 38 | 509 | 4 | 44 | 3 | 8 | 6 | 65 | 1 | 1 | | 1 | 3 | 2 | 17 | 19 | 1 | 1 | 1 | | | |

第99表-5 平安山原B遺跡出土貝類遺体の地区別同定標本数 (NISP)

| 層序 地区名 | VI 合計 | V | | | | IV | | | | IV 一括 | IV 合計 | III | | | | II | | | | I | | I 合計 | I 表標 | | | |
|-------------|----------|------|-----|-----|---|----|----|-----|-----|----------|----------|-----|----|----|----|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|---------|---------|----------|---------|---------|
| | | A | A遺構 | B | C | D | E | E遺構 | 一括 | | | F | G | H | H | III 遺構 | III 遺構 | III 遺構 | III 合計 | II 遺構 | II 遺構 | | | II 合計 | I 遺構 | I 合計 |
| マスコガイ | | 882 | 42 | 189 | 1 | 2 | 2 | 3 | 86 | 1207 | 12 | 13 | 3 | 2 | 20 | 50 | 2 | 4 | | 6 | 2 | 21 | 1 | 24 | | |
| シラナシジミ | 1 | 264 | 1 | 114 | | | 22 | 7 | 49 | 457 | 20 | 35 | 2 | 2 | 17 | 76 | 9 | 3 | 2 | 14 | 4 | 3 | 7 | | | |
| ヌメガイ | | 175 | 4 | 29 | | | | | 69 | 16 | 11 | 304 | 18 | 30 | 17 | 38 | 15 | 118 | 7 | 5 | 1 | 2 | 15 | 7 | 14 | 1 |
| アヲヌメガイ | | 1 | | | | | | | | | | 1 | 1 | 2 | 2 | 6 | | | | | | | | | | |
| カノアサリ | | 1 | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| タイワンシラオ | | | | 1 | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| ホノシジナミ | | 299 | 17 | 85 | | | 4 | | 37 | 442 | 13 | 19 | 7 | 1 | 3 | 43 | 1 | 4 | | 1 | 6 | | 2 | 2 | 2 | 1 |
| アラスジケマン | | 1050 | 20 | 394 | | 1 | 85 | 18 | 136 | 1704 | 44 | 231 | 31 | 7 | 48 | 361 | 11 | 21 | | 6 | 38 | | 2 | 26 | 28 | 2 |
| ユウカガハマグリ | | 175 | 3 | 88 | | | 1 | 1 | 54 | 322 | 3 | 5 | 1 | 2 | 2 | 13 | | | | 3 | 3 | | 1 | 3 | 4 | |
| ウスハマグリ | | 3 | | 8 | | | | | 12 | 15 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ケショウオミナエシ | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| オイノカガミ | | 79 | 3 | 43 | | | | | 150 | 255 | 3 | 2 | 1 | | 1 | 7 | | | | 1 | 1 | | | | | |
| リュウキュウアサリ | | 12 | 2 | 2 | | | | 1 | 25 | 17 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ヒメリュウキュウアサリ | | 1 | | | | | | | 26 | 27 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ヒメアサリ | | 23 | 1 | 2 | | | | | 26 | 26 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| スダレハマグリ | | 499 | 8 | 89 | | | 6 | 1 | 40 | 643 | 4 | 15 | 4 | | 3 | 26 | 3 | 4 | | 1 | 8 | | 1 | 8 | 1 | 1 |
| トドユマリハマグリ | | 2 | | | | | | | 3 | 5 | | | 1 | | | 1 | | | | | | | | | | |
| ハマグリ類群種 | | 1 | | | | | 1 | | 2 | 3 | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | | | |
| ダテオキシジミ | | 4 | | 4 | | | | | 2 | 10 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | |
| コバシメ | | 8 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 輝貝類? | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| カニ類ノミ | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ハイブノニノ棘 | | 70 | | | | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| シラヒゲウニ? | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ウニ類 | | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



第173図 平安山原B遺跡における優占種(左)と生息場所類型(右)の変遷

〈巻貝〉

- ヨメガカサ科 2 オオベッコウガサ
 ユキノカサ科 3 リュウキュウウノアシ
 リュウテン科 5 チョウセンサザエ 6 チョウセンサザエの蓋 7 ヤコウガイ 8 ヤコウガイの蓋 9 カンギク
 10 オオウラウス
 ニシキウズ科 11 ムラサキウズ 12 ニシキウズ 13 ギンタカハマ 14 コシタカギンタカハマ 15 サラサバティラ
 16 オキナワイシダタミ
 アマオブネ科 17 イシダミアマオブネ 18 コシダカアマガイ 19 キバアマガイ 20 リュウキュウアマガイ
 21 アマオブネ 22 マルアマオブネ 23 オオマルアマオブネ 25 ニシキアマオブネ 26 スリツヤマオブネ
 27 カノコガイ 28 イガカノコ 29 カバグチカノコ 30 ドングリカノコ 31 シマ(ベニ)オカイシマキ 32 フネアマガイ
 オニツノガイ科 34 オニツノガイ 35 コオニツノガイ 36 トウガタカニモリ 37 ヨコワカニモリ
 38 カヤノミカニモリ 39 イワ(ウミナ)カニモリ
 ヘナタリ科 40 カワアイ
 ウミナナ科 41 リュウキュウウミナナ 42 イボウミナナ
 スイショウガイ科 43 ムカシタモト 44 ネジマガキガイ 45 マガキガイ 46 イボソデ 47 スイショウガイ
 48 アツソデガイ 49 ゴホウラ 50 クモガイ 51 ラクダガイ 52 スイジガイ
 ムカデガイ科 53 ヘビガイ類
 タカラガイ科 54 キイロダカラ 55 ハナピラダカラ 56 ナツメモドキ 57 コモンダカラ 58 ハナマルユキ
 59 ヤクシマダカラ 60 ホソヤクシマダカラ 62 ホシダカラ 63 ヒメホシダカラ 64 ホシキスタ
 タマガイ科 66 トミガイ 67 ヘソアキトミガイ 68 ロウイロトミガイ 69 リスガイ 71 ホウシュノタマ
 ヤツシロガイ科 72 イワカワトキワ 73 ウズラガイ 74 スタミウズラ
 フジツガイ科 75 ミツカドボラ 76 サツマボラ 77 シノマキ 79 シオボラ 80 ホウシュウボラ 81 ホラガイ
 オキニシ科 83 イワカワウネボラ 84 オキニシ 86 オオナルトボラ 87 シロナルトボラ
 アッキガイ科 88 ガンゼキボラ 89 テングガイ 90 テツレイシ 91 シラクモガイ 92 ツノテツレイシ
 93 ツノレイシ 94 ハナワレイシ 95 キマダライガレイシ 96 ムラサキイガレイシ 97 アカイガレイシ
 オニコブシ科 98 オニコブシ 99 コオニコブシ
 オリレヨフバイ科 100 ヒメオリレムシロ 101 イボヨフバイ
 エソバイ科 102 ノシガイ 103 シマベッコウバイ
 イトマキボラ科 105 イトマキボラ 106 ヒメイトマキボラ 107 ナガイトマキボラ 108 リュウキュウツノマタ
 109 ツノマタモドキ 110 チトセボラ
 ミノムシガイ科 111 オオミノムシ
 フデガイ科 112 イモフデガイ 113 チョウセンフデ
 イモガイ科 114 マダライモ 115 サヤガタイモ 116 ジュズカケサヤガタイモ 117 イボシマイモ 118 ヤセイモ
 119 イボカバイモ 120 ヤナギシポリイモ 121 サラサミナシ 123 ヤセイモ 124 サラサモドキ
 125 アジロイモ 126 ニシキミナシ 127 アンボイナ 128 ナンヨウクロミナシ 129 ミカドミナシ
 130 アカシマミナシ 131 ゴマフイモ 132 ダイミヨウイモ 134 クロザメモドキ 135 アンボンクロザメ
 136 クロフモドキ 137 小形イモガイ 138 中形イモガイ
 タケノコガイ科 142 タケノコガイ 144 リュウキュウタケ
 ナツメガイ科 145 ナツメガイ
 オカミミガイ科 146 クロヒラシイノミガイ
 タニシ科 148 マルタニシ
 ヤマトニシ科 149 オキナワヤマトニシ
 トウガタカワニナ科 150 トウガタカワニナ 151 スノメカワニナ 152 スグカワニナ 153 ヨシカワニナ
 カワニナ科 154 カワニナ
 キセルガイ科 155 ツヤギセル
 ナンバンマイマイ科 156 シュリマイマイ 158 カツレンマイマイ 159 ヒメユリヤマトカマイマイ
 160 アマノヤマトカマイマイ
 オナジマイマイ科 161 バンダナマイマイ 162 オキナワウスカワマイマイ



図版 140 貝類遺体 1 (巻貝)

(番号は第98表と一致)



図版 141 貝類遺体2 (巻貝)

(番号は第98表と一致)



図版 142 貝類遺体3 (巻貝)

(番号は第98表と一致)



図版 143 貝類遺体 4 (上：陸産貝・下：二枚貝)

(番号は第 98 表と一致)



図版 144 貝類遺体 5 (二枚貝)

(番号は第98表と一致)



<二枚貝>

- フネガイ科 1 エガイ 2 ベニエガイ 3 オオタカノハ 4 ハイガイ 5 リュウキュウサルボオ
 イガイ科 6 ハバリガイモドキ類 8 リュウキュウヒバリ
 ウグイスガイ科 9 クロチョウガイ 10 アコヤガイ 11 ミドリアオリ
 シュモクアオリ科 12 カイシアオリの一種
 ウミギク科 14 メンガイ類
 ベッコウガイ科 15 シャコガキ
 イタボガキ科 16 ニセマガキ 17 オハグログガキ 18 オハグログガキモドキ 19 シロヒメガキ 20 イタボガキ科
 ツキガイ科 21 クチベニツキガイ 22 ウラキツキガイ 23 ヒメツキガイ 24 カブラツキガイ
 キクザル科 26 シロザル 28 キクザル類
 ザルガイ科 29 リュウキュウザルガイ 30 カワラガイ
 シャコガイ科 31 オオシラナミ 32 ナガジャコ (トガリシラナミ) 34 ヒレジャコ 35 ヒメジャコ 37 シャゴウ
 バカガイ科 38 リュウキュウバカガイ 39 タママキ 40 ユキガイ
 チドリマスオ科 41 イソハマグリ 42 ナミノコマスオ
 ナミノコガイ科 43 リュウキュウナミノコ 44 ナミノコガイ
 ニッコウガイ科 45 ニッコウガイ 46 ヒメニッコウガイ 47 リュウキュウシラトリ
 48 スノメイチョウシラトリ 49 サメザラ 50 モチツギザラ 51 ハスメザクラ
 アサジガイ科 52 サメザラモドキ
 イソシジミ科 53 リュウキュウマスオ 54 マスオガイ
 シジミ科 55 シレナシジミ
 マルスダレガイ科 56 スノメガイ 57 アラスノメガイ 58 カノコアサリ 59 ホソスジナミ 60 アラスジケマン
 61 ヌウカゲハマグリ 62 ウスハマグリ類 64 タイワンシラオ 65 オイノカガミ
 66 リュウキュウアサリ 67 ヒメリュウキュウアサリ 68 ヒメアサリ 69 スダレハマグリ
 70 トッドユマリハマグリ 71 ハマグリ類(似種) 72 ゲテオキシジミ

図版 145 貝類遺体6 (二枚貝)

(番号は第98表と一致)

第3節 平安山原B遺跡の自然科学分析

パリオ・サーヴェイ株式会社

はじめに

本報告では、北谷町に所在する平安山原B遺跡から出土した土器片の付着物と炭化材の放射性炭素年代測定を行うことにより、土器と炭化材の年代資料を得ることを目的とする。また、土器の材質(胎土)の特性を明らかにすることにより、既知の地質情報等との比較などから、その生産と使用に係わる資料の作成を行う。また、土壌洗い出し済試料を対象として、炭化種実の同定を実施し、当時の植生や植物利用を検討する。

I. 放射性炭素年代測定

1. 試料

試料は、平安山原B遺跡から出土した土器付着炭化物3点、炭化材3点、樹木片1点の合計7点である。一覧を第100表に示す。

2. 分析方法

(1) 放射性炭素年代測定

土壌や根など目的物と異なる年代を持つものが付着している場合、これらをピンセット、超音波洗浄などにより物理的に除去する。その後HC1により炭酸塩等酸可溶成分を除去、NaOHにより腐植酸等アルカリ可溶成分を除去、HC1によりアルカリ処理時に生成した炭酸塩等酸可溶成分を除去する(酸・アルカリ・酸処理)。

試料をバイコール管に入れ、1gの酸化銅(II)と銀箔(硫化物を除去するため)を加えて、管内を真空にして封じきり、500℃(30分)850℃(2時間)で加熱する。液体窒素と液体窒素+エタノールの温度差を利用し、真空ラインにてCO₂を精製する。真空ラインにてバイコール管に精製したCO₂と鉄・水素を投入し封じ切る。鉄のあるバイコール管底部のみを650℃で10時間以上加熱し、グラファイトを生成する。化学処理後のグラファイト・鉄粉混合試料を内径1mmの孔にプレスして、タンデム加速器のイオン源に装着し、測定する。測定機器は、3MV小型タンデム加速器をベースとした¹⁴C-AMS専用装置(NEC Pelletron 9SDH-2)を使用する。AMS測定時に、標準試料である米国国立標準局(NIST)から提供されるシュウ酸(HOX-II)とバックグラウンド試料の測定も行う。また、測定と同時に¹³C/¹²Cの測定も行うため、この値を用いてδ¹³Cを算出する。

放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5,568年を使用する。また、測定年代は1950年を基点とした年代(BP)であり、誤差は標準偏差(One Sigma:68%)に相当する年代である。なお、暦年較正は、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.1.0. (Copyright 1986-2014 M Stuiver and PJ Reimer)を用い、誤差として標準偏差(One Sigma)を用いる。暦年較正とは、大気中の¹⁴C濃度が一定で半減期が5,568年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の¹⁴C濃度の変動、及び半減期の違い(¹⁴Cの半減期5,730±40年)を較正することである。暦年較正は、CALIB REV7.1.0.のマニュアルにしたがい、1年単位まで表された同位体効果の補正を行った年代値を用いて行う。また、北半球の大気中炭素に由来する較正曲線を用い、測定誤差σ、2σ双方の値を計算する。σは統計的に真の値が68.2%の確率で存在する範囲、2σは真の値が95.2%の確率で存

第100表. 試料一覧

| 試料番号 | 試料の質 | 型式など (土器分類) | 分析 | | | 出土地 | | |
|------|---------|----------------|-----------------|----|-----|------|-----|--------------|
| | | | ¹⁴ C | 船土 | 地区 | グリップ | 層 | |
| 1 | 土器付着炭化物 | 在地VI類 第50図154 | ○ | ○ | HB④ | イ | P2 | 白砂層 下層トレンチ3 |
| 2 | 土器付着炭化物 | 在地IIc類 第41図86 | ○ | | HB② | イ | J10 | 白砂層 |
| 3 | 炭化材 | | ○ | | HB② | イ | K11 | 貝層② |
| 4 | 炭化材 | | ○ | | HB② | ロ | R13 | 13層 |
| 5 | 土器付着炭化物 | 在地Id類 第36図56 | ○ | | HB② | イ | J12 | 黒砂層 |
| 6 | 炭化材 | | ○ | | HB② | イ | J9 | 11層 1042SX-C |
| 7 | 樹木片 | | ○ | | HB④ | ロ | R12 | 下層トレンチ4 |

在する範囲である。表中の相対比とは、 σ 、 2σ の範囲をそれぞれ1とした場合、その範囲内で真の値が存在する確率を相対的に示したものである。校正された暦年代は、将来的に暦年較正曲線等の改正があった場合の再計算、再検討に対応するため、1年単位で表された値を記す。

(2) 胎土分析

胎土分析には、現在様々な分析方法が用いられているが、大きく分けて鉱物組成や岩片組成を求める方法と化学組成を求める方法とがある。前者は粉砕による重鉱物分析や薄片作製などが主に用いられており、後者では蛍光X線分析が最もよく用いられている方法である。今回の試料のように比較的粗粒の砂粒を含み、低温焼成と考えられる土器の分析では、前者の方が、胎土の特徴が捉えやすいこと、地質との関連性を考えやすいことなどの利点がある。さらに前者の方法の中でも薄片観察は、胎土中における砂粒の量はもちろんのこと、その粒徑組成や砂を構成する鉱物、岩石片および微化石の種類なども捉えることが可能であり、得られる情報は多い。

この情報をより客観的な方法で表現したものとして、松田ほか(1999)の方法がある。これは、胎土中の砂粒について、中粒シルトから細礫までを対象とし、粒度階ごとに砂粒を構成する鉱物片および岩石片の種類構成を調べたものである。この方法では、胎土中における砂の含量や粒徑組成により、土器の製作技法の違いを見出すことができるために、同一の地質分布範囲内にある近接した遺跡間での土器製作事情の解析も可能である。したがって、ここでは薄片観察法による胎土分析を行う。以下に手順を述べる。

薄片は、試料の一部をダイヤモンドカッターで切断、正確に0.03mmの厚さに研磨して作製した。観察は偏光顕微鏡による岩石学的手法を用い、胎土中に含まれる鉱物片、岩石片および微化石の種類構成を明らかにした。

砂粒の計数は、メカニカルステージを用いて0.5mm間隔で移動させ、細礫～中粒シルトまでの粒子をポイント法により200個あるいはプレパラート全面で行った。なお、径0.5mm以上の粗粒砂以上の粒子については、ポイント数ではなく粒数を計数した。また、同時に孔隙と基質のポイントも計数した。これらの結果から、各粒度階における鉱物・岩石別出現頻度の3次元棒グラフ、砂粒の粒徑組成ヒストグラム、孔隙・砂粒・基質の割合を示す棒グラフを呈示する。

(3) 樹種同定

剃刀を用いて木口(横断面)・柾目(放射断面)・板目(接線断面)の3断面の徒手切片を作成し、ゴム・クロラール(抱水クロラール、アラビアゴム粉末、グリセリン、蒸留水の混合液)で封入してプレパラートとする。プレパラートは、生物顕微鏡で木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類(分類群)を同定する。なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東(1982)やWheeler 他(1998)を参考にする。また、日本産木材の組織配列は、林(1991)や伊東(1995, 1996, 1997, 1998, 1999)を参考にする。

3. 結果

(1) 放射性炭素年代測定

同位体効果による補正を行った測定結果を第101表、暦年較正結果を第102表に示す。試料の測定年代(補正年代)は、試料番号1土器附着炭化物は $1,890 \pm 30BP$ 、試料番号2土器附着炭化物は $2,350 \pm 30BP$ 、試料番号3炭化材は $2,390 \pm 30BP$ 、試料番号4炭化材は $1,600 \pm 20BP$ 、試料番号5土器附着炭化物は $2,220 \pm 20BP$ 、試料番号6炭化材は $2,290 \pm 20BP$ 、試料番号7樹木片 $2,130 \pm 30BP$ の年代が得られた。測定誤差を σ として計算させた暦年較正年代の結果は、試料番号1はcalAD78-130、試料番

号2は calBC410-390、試料番号3は calBC483-402、試料番号4は calAD416-533、試料番号5は calBC360-210、試料番号6は calBC397-368、試料番号7は calBC202-112であった。炭化材試料および樹木片で残試料があるものの樹種を確認した結果、試料番号3はヤマグワ、試料番号4は広葉樹、試料番号6はマツ属複雑管束亜属、試料番号7は広葉樹のアカテツに同定された。

・マツ属複雑管束亜属 (*Pinus* subgen. *Diploxylon*) マツ科

軸方向組織は仮道管と垂直樹脂道で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は急～やや緩やかで、晩材部の幅は広い。垂直樹脂道は晩材部に認められる。放射組織は、仮道管、柔細胞、水平樹脂道、エピセリウム細胞で構成される。分野壁孔は窓状となる。放射仮道管内壁には鋸歯状の突起が認められる。放射組織は単列、1-15細胞高。

・アカテツ属 (*Pouteria*)

散孔材～放射孔材で、道管は2-10個が放射方向に複合して配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は、異性、1-3細胞幅、1-20細胞高。軸方向柔細胞は短接線状～幅の狭い帯状となる。

第101表. 放射性炭素年代測定結果

| 試料番号 | 種別 | 出土地点など | 補正年代 BP | δ 13C (‰) | 測定年代 BP | Code No. |
|------|----------------|----------------------|------------|---------------|------------|-------------|
| 1 | 土器付着炭化物 | HB④イ O2 白砂層 下層トレンチ3 | 1,890 ± 30 | -24.60 ± 0.42 | 1,880 ± 30 | IAAA-122319 |
| 2 | 土器付着炭化物 | HB②イ J10 白砂層 | 2,350 ± 30 | -23.90 ± 0.63 | 2,330 ± 20 | IAAA-132708 |
| 3 | 炭化材(ヤマグワ) | HB②イ K11 貝層② | 2,390 ± 30 | -25.70 ± 0.70 | 2,400 ± 20 | IAAA-132709 |
| 4 | 炭化材(広葉樹) | HB②ロ R13 13層 | 1,600 ± 20 | -28.23 ± 0.41 | 1,650 ± 20 | IAAA-140522 |
| 5 | 土器付着炭化物 | HB②イ J12 黒砂層 | 2,220 ± 20 | -25.48 ± 0.36 | 2,230 ± 20 | IAAA-140523 |
| 6 | 炭化材(マツ属複雑管束亜属) | HB②イ J9 1042SX-C 11層 | 2,290 ± 20 | -23.24 ± 0.39 | 2,260 ± 20 | IAAA-141176 |
| 7 | 樹木片(アカテツ) | HB②ロ R12 下層トレンチ4 | 2,130 ± 30 | -28.50 ± 0.55 | 2,190 ± 20 | IAAA-143219 |

1)年代値の算出には、Libbyの半減期5668年を使用。

2)BP年代値は、1950年を基準として何年前であるかを示す。

3)付記した誤差は、測定誤差σ(測定値の68%が入る範囲)を年代値に換算した値。

第102表. 暦年較正結果

| 試料番号 | 補正年代 (BP) | 暦年較正年代(cal) | | | | | | 相対比 | Code No. | | | | | | | | |
|------|------------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------------|-------|
| | | σ | cal | AD | 78 | - | cal | | | AD | 130 | cal | BP | 1,872 | - | 1,820 | 1.000 |
| 1 | 1,889 ± 25 | 2σ | cal | AD | 60 | - | cal | AD | 178 | cal | BP | 1,890 | - | 1,772 | 0.936 | IAAA-122319 | |
| | | | cal | AD | 187 | - | cal | AD | 213 | cal | BP | 1,763 | - | 1,737 | 0.064 | | |
| | | | σ | cal | BC | 410 | - | cal | BC | 390 | cal | BP | 2,359 | - | 2,339 | | 1.000 |
| 2 | 2,345 ± 26 | 2σ | cal | BC | 486 | - | cal | BC | 377 | cal | BP | 2,435 | - | 2,326 | 1.000 | IAAA-132708 | |
| | | | σ | cal | BC | 483 | - | cal | BC | 438 | cal | BP | 2,432 | - | 2,387 | | 0.527 |
| | | | σ | cal | BC | 435 | - | cal | BC | 402 | cal | BP | 2,384 | - | 2,351 | | 0.473 |
| 3 | 2,386 ± 26 | 2σ | cal | BC | 539 | - | cal | BC | 397 | cal | BP | 2,488 | - | 2,346 | 1.000 | IAAA-132709 | |
| | | | σ | cal | AD | 416 | - | cal | AD | 433 | cal | BP | 1,534 | - | 1,517 | | 0.257 |
| | | | σ | cal | AD | 458 | - | cal | AD | 467 | cal | BP | 1,492 | - | 1,483 | | 0.092 |
| 4 | 1,598 ± 22 | 2σ | cal | AD | 488 | - | cal | AD | 533 | cal | BP | 1,462 | - | 1,417 | 0.651 | IAAA-140522 | |
| | | | σ | cal | AD | 407 | - | cal | AD | 536 | cal | BP | 1,543 | - | 1,414 | | 1.000 |
| | | | σ | cal | BC | 360 | - | cal | BC | 351 | cal | BP | 2,309 | - | 2,300 | | 0.098 |
| 5 | 2,220 ± 23 | 2σ | cal | BC | 302 | - | cal | BC | 270 | cal | BP | 2,251 | - | 2,219 | 0.340 | IAAA-140523 | |
| | | | σ | cal | BC | 263 | - | cal | BC | 210 | cal | BP | 2,212 | - | 2,159 | | 0.562 |
| | | | σ | cal | BC | 371 | - | cal | BC | 337 | cal | BP | 2,320 | - | 2,286 | | 0.158 |
| 6 | 2,290 ± 24 | 2σ | cal | BC | 329 | - | cal | BC | 204 | cal | BP | 2,278 | - | 2,153 | 0.842 | IAAA-141176 | |
| | | | σ | cal | BC | 397 | - | cal | BC | 368 | cal | BP | 2,346 | - | 2,317 | | 1.000 |
| | | | σ | cal | BC | 402 | - | cal | BC | 357 | cal | BP | 2,351 | - | 2,306 | | 0.857 |
| 7 | 2,133 ± 25 | 2σ | cal | BC | 284 | - | cal | BC | 253 | cal | BP | 2,233 | - | 2,202 | 0.119 | IAAA-143219 | |
| | | | σ | cal | BC | 246 | - | cal | BC | 236 | cal | BP | 2,195 | - | 2,185 | | 0.023 |
| | | | σ | cal | BC | 202 | - | cal | BC | 150 | cal | BP | 2,151 | - | 2,099 | | 0.717 |
| 7 | 2,133 ± 25 | 2σ | cal | BC | 140 | - | cal | BC | 112 | cal | BP | 2,089 | - | 2,061 | 0.283 | IAAA-143219 | |
| | | | σ | cal | BC | 348 | - | cal | BC | 315 | cal | BP | 2,297 | - | 2,264 | | 0.097 |
| | | | σ | cal | BC | 208 | - | cal | BC | 88 | cal | BP | 2,157 | - | 2,037 | | 0.868 |
| 7 | 2,133 ± 25 | 2σ | cal | BC | 77 | - | cal | BC | 57 | cal | BP | 2,026 | - | 2,006 | 0.035 | IAAA-143219 | |
| | | | σ | cal | BC | 77 | - | cal | BC | 57 | cal | BP | 2,026 | - | 2,006 | | 0.035 |

1)計算には、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.1.0 Copyright 1986-2014 M Stuiver and P Reimerを使用。

2)計算には表に示した丸める前の値を使用している。

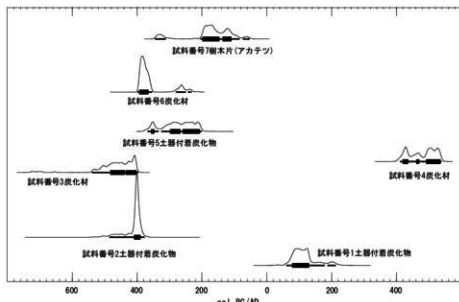
3)桁目を丸めるのが慣例だが、暦年較正曲線や暦年較正プログラムの改定された場合の再計算や比較がしやすいように、1桁目を丸めていない。

4)統計的に真の値が入る確率はσは68.2%、2σは95.4%である。

5)相対比は、σ、2σのそれぞれをとした場合、確率的に真の値が存在する比率を相対的に示したものである。

(2) 胎土分析

観察結果を第103・175表、第176図に示す。以下に試料の胎土の特徴を述べる。試料番号1の鉱物片では、石英と斜長石が同量程度で多く含まれ、他に少量の炭酸塩鉱物と微量のカリ長石、単斜輝石、角閃石が含まれる。斜長石の鉱物片は、清澄なものが多く認められる。岩石片は、全体的に微量しか含まれないが、その中では多結晶石英がやや多く、他に凝灰岩や安山岩および風化岩と思われる変質岩などが認められる。粒径組成は中粒砂をモードとする。



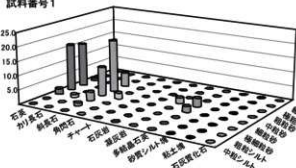
第174図. 層年較正結果

他に凝灰岩や安山岩および風化岩と思われる変質岩などが認められる。粒径組成は中粒砂をモードとする。

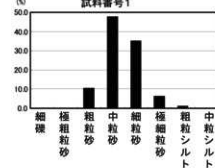
第103表. 薄片観察結果

| 試料番号 | 砂粒区分 | 砂粒の種類構成 | | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | | | | | | |
|-------|--|---------|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|------|----|-----|-----|---------------|-----|----|-------|-----|-----|-----|---------------|-----|-------|-------|----|
| | | 石英 | カリ長石 | 斜長石 | 単斜輝石 | 角閃石 | 緑輝石 | 白雲母 | 黒雲母 | 炭酸塩鉱物 | 不透明鉱物 | チャート | 頁岩 | 石灰岩 | 凝灰岩 | 凝灰岩・ ディサイト | 安山岩 | | 多結晶石英 | 凝石英 | 変質岩 | 珪化岩 | その他 砂質シルト塊 | 粘土塊 | 石灰質化石 | 植物珪酸体 | |
| 1 | 細砂 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | |
| | 極粗粒砂 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| | 粗粒砂 | 1 | | 5 | | | | | | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| | 中粒砂 | 15 | | 18 | 1 | | | | | 4 | | | | | 2 | | | 1 | 3 | | 2 | | | | | | 46 |
| | 細粒砂 | 16 | | 10 | 1 | 2 | | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | 34 |
| | 極細粒砂 | 2 | 1 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | 2 | | | | | | | 6 |
| | 粗粒シルト | | | | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 |
| 中粒シルト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 | |
| 基質 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 632 | |
| 孔隙 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 28 | |
| 備考 | 基質は褐色粘土鉱物、雲母鉱物、酸化鉄などによって埋められ、褐色～非褐色を示す。斜長石は清澄なものが多い。変質岩は、褐色化した風化岩など。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

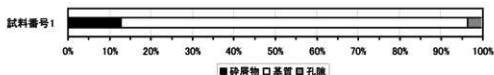
試料番号1



試料番号1



第175図. 胎土の鉱物・岩石出現頻度と粒度組成



第176図. 碎屑物・基質・孔隙の割合

7. 考察

(1) 年代について

試料番号1の土器付着炭化物の測定年代(補正年代)は $1,890 \pm 30BP$ であった。土器は器面に確認される明瞭な条痕から、当初、縄文時代前期の条痕文土器が想定された。測定された年代と同時代の浜屋原式土器や大当原式土器と比較しても器壁が厚く、底部の尖底の形状も異なる。一方、土器が出土した最下部の白砂層からは、共存する遺物が確認されず、相対的な年代の検討ができなかった。したがって、付着物の由来は必ずしも土器使用時のものと一概には言えず、土器廃棄後の付着や汚染の影響なども考慮されるべきである。本試料の土器の年代については、現時点での検証は難しく、考古学からの検証も含めて今後の課題とすべきであろう。

試料番号2、3、5、6の4点はイ地区から検出された。そのうち試料番号6は、調査所見による弥生面の燃焼遺構から検出されたものである。4点の測定年代(補正年代)をみると $2,220BP \sim 2,390BP$ の $2,200 \sim 2,400$ 年前頃のまとまった年代を示す。この年代は貝塚時代後期前半の年代で、本遺跡の主体土器である阿波連浦下層式土器から浜屋原式土器の年代と調和する。また、試料番号6の弥生面の燃焼遺構とする調査所見とも調和する結果が得られた。

試料番号4はロ地区のピーチロック上位の砂層から検出されたものである。測定年代(補正年代)は $1,600 \pm 20BP$ の貝塚時代後期中頃である。

(2) 胎土について

胎土中から検出された鉱物片や岩石片は、胎土の材料となった砂や粘土中に含まれていた碎屑物であるが、その由来は粘土や砂が採取された場所の背後に広がる地質、いわゆる地質学的背景に求めることができる。試料番号1の鉱物・岩石組成の特徴は、石英と同程度に多く含まれる斜長石と、岩石片では凝灰岩および安山岩しか認められないということである。斜長石の結晶は清澄であることから、斜長石は凝灰岩や安山岩に由来すると考えられる。したがって、胎土から推定される地質学的背景は、凝灰岩や安山岩が広く分布する山地や丘陵地を考えることができる。一方で、鉱物片には炭酸塩鉱物が少量ながらも含まれていることから、石灰岩の分布も混在すると考えられる。このような地質学的背景を有する地域を具体的に特定することはできないが、木崎編(1985)、日本の地質「九州地方」編集委員会(1992)、日本の地質増補版編集委員会(2005)等による記載からは、少なくとも沖繩本島内では認めることができない。したがって、試料番号1の土器は、沖繩本島内で作られた可能性は低く、沖繩本島以外の異なる地域から平安山原B遺跡に搬入された土器である可能性が高いと考えられる。

II. 種実同定

1. 試料

試料は、土壌水洗済36点(No. 1~36)で、乾燥した状態で水洗工程別に袋に入っている。内訳は、「LF」が36袋(No. 1~36)、「LF」内の17袋(No. 7, 8, 9, 13, 14(2袋), 15(3袋), 17(2袋), 18, 22, 28, 32, 36(2袋))と「2.8mm」が10袋(No. 1, 5, 8, 11, 16, 18, 20, 27, 30, 33)、「2.0mm」が8点(No. 5, 14, 15, 17, 21, 30, 34, 36)の合計71袋である。各試料の詳細は、結果とともに第104表に示す。

2. 分析方法

試料を双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、同定が可能な種実遺体を抽出する。同定は、現生標本および中山ほか(2000)等を参考に実施し、部位・状態別の個数を数えて結果を一覧表で示す。実体顕微鏡下による区別が困難な複数種間は、ハイフォンで結んで表示する。分析後は、

種実遺体を分類群別に容器に入れ、残渣は袋に戻して保管する。

3. 結果

結果を第104表に示す。全71試料を通じて、被子植物4分類群(オキナワジイ、コナラ属・シイ属、アカギ、イネ科)77個の種実遺体が同定された。2試料19個(No.15,36)は、炭化した破片で同定できなかったが、オキナワジイの子葉の可能性はある。なお、59試料からは、種実遺体が検出されなかった。種実以外の分析残渣は、炭化材、植物片、虫類、骨片(椎骨、顎、歯など)、巻貝類、二枚貝類、ウニ類の棘、サンゴ片、有孔虫、岩片、砂礫、軽石(黄灰褐色)などが確認された。

種実遺体の保存状態は、オキナワジイ、コナラ属・シイ属は炭化している。一方、アカギ?の子葉?1個(No.8)と、イネ科の果実2個(No.16,30)は、炭化が認められず、イネ科の果皮表面には毛が残存している状況であった。半常緑高木のアカギと人里草本のイネ科は、調査区周辺に生育していたと考えられるが、後代の混入の可能性が高いと判断されるため、考察より除外している。

炭化種実は、オキナワジイの果皮片がNo.14から20個、No.15から28個、No.18から1個、No.26から1個、No.36から3個の、計53個と、コナラ属・シイ属(おそらくオキナワジイ)の子葉の破片(疑問符含む)がNo.15から14個、No.26から7個の、計21個が同定された。果皮・子葉ともに、No.15からの出土が最も多い(図版146)。炭化種実各分類群の写真を図版146に示し、形態的特徴等を以下に述べる。

・オキナワジイ(*Castanopsis sieboldii* (Makino) Hatusima ex Yamazaki et Mashiba subsp. lutchuensis (Koidz.) H Ohba) ブナ科シイ属

果皮・子葉は炭化しており黒色を呈す。完形果実は、長さ1.5~2cm、径1~1.3cmの卵形で頂部は尖り、基部を占める着点は灰褐色、円状不定形で維管束の穴が不規則な輪状に並ぶ。出土果皮は破片で、頂部や基部を欠損し、最大片の残存長は5.3mmを測る(No.15;図版146-2)。果皮は、厚さ約0.5~0.6mmで、横断面、縦断面ともに外面から厚さ0.3mm程度まで明瞭な櫛状組織が確認される(図版146-2b,3b,3d)。果皮外面は粗面で、コナラ属やマテバシイよりも粗く深い溝が縦列する。果皮内面は、外面と別組織の薄層数枚(内果皮または種皮)が厚さ0.1~0.2mm残存する。

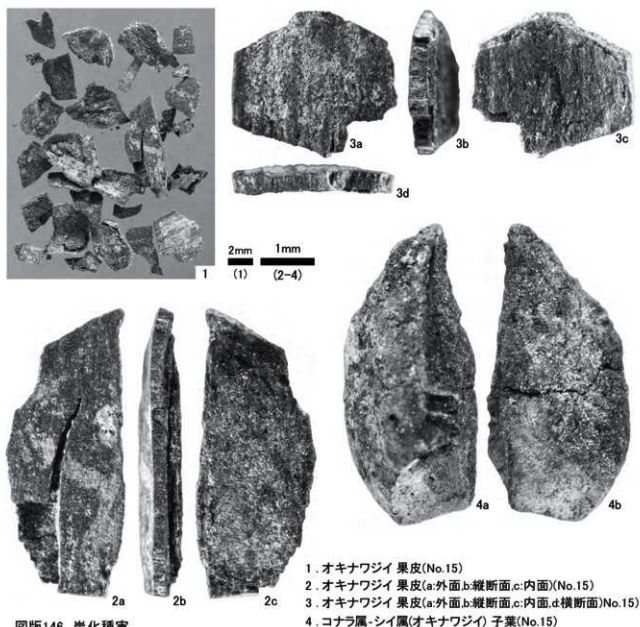
出土子葉は、2枚からなる子葉の合わせ目に沿って割れた半分未満の破片で、頂部や基部を欠損し、残存長は5.6mm、残存半分厚は2.2mmを測る(No.15;図版146-4)。炭化子葉は硬く緻密で、表面には縦方向に走る維管束の圧痕がある。半割面は平滑で、頂部にある主根を欠損する。出土子葉の破片のみでは、コナラ属(アマミアラカシ、ウラジロガシ、ウバメガシ)とシイ属(オキナワジイ)、マテバシイの区別が困難であるが、オキナワジイの果皮片を共伴する出土状況を考え合わせると、オキナワジイの子葉である可能性が高い。

4. 考察

種実同定の結果、炭化したオキナワジイの果皮片と、オキナワジイと考えられる子葉の破片が確認され、No.15でやや多産する傾向が得られた。オキナワジイは、高木になる常緑広葉樹で、現在の沖縄島北部の非石灰岩地域に分布する常緑広葉樹林(照葉樹林)の主要な構成種である。当時の平安山原B遺跡周辺にオキナワジイが生育していたと考えられ、沖縄島中部の石灰岩地域に位置する本遺跡周辺域にオキナワジイが分布していたことを示唆する貴重な考古資料である。当社が過去に分析調査を実施した伊礼原A遺跡でも、オキナワジイの果皮片がロ地区K-8(泥炭層)とL-7(腐植質層)から確認されている。堅果類のオキナワジイは、果実内部の子葉があく抜きせずに食用可能な有用植物である。出土炭化果皮片・子葉は、周辺から持ち込まれた植物質食料と示唆され、利用後の食料残滓が火を受けたとみなされる。

第104表. 平安山原B遺跡種実同定結果 (HB②イ地区 1042SX)

| No. | 試料内訳 | 分類群 | 高さ | 状態 | 個数 | 備考 | 種名以外で確認された遺物類 |
|-------|-------|--------------------|--------------------|----------|-------------------------------|--|--|
| No.1 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 赤貝類, ウニ類の棘, 砂礫 |
| No.1 | 2.8mm | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 骨片, 砂礫 |
| No.2 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 赤貝類, 砂礫 |
| No.3 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 植物片, 赤貝類, シンゴ片, 有孔虫, 砂礫 |
| No.4 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 砂礫 |
| No.5 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 赤貝類, シンゴ片, 有孔虫, 砂礫 |
| No.5 | 2.8mm | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, シンゴ片, 砂礫 |
| No.5 | 2.0mm | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 赤貝類, 砂礫 |
| No.6 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 植物片, 赤貝類, 骨片, 砂礫 |
| No.7 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 赤土, シンゴ片, 有孔虫, 砂礫 |
| No.7 | LF | 中袋 | 検出されず | - | - | - | 赤土, 砂礫 |
| No.8 | LF | 中袋 | 検出されず | - | - | - | 炭化材, 植物片 |
| No.8 | LF | 中袋 | アカカ? | 種子? 完形 | 1 | 赤灰褐色, 長さ4.75mm, 幅3.16mm, 厚さ2.31mm, 正中線隆状 | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 砂礫 |
| No.8 | 2.8mm | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, シンゴ片, 砂礫 |
| No.9 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 植物片, 赤貝類, シンゴ片, 砂礫 |
| No.9 | LF | 中袋 | 検出されず | - | - | - | 炭化材, 植物片, 砂礫 |
| No.10 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, シンゴ片, 砂礫 |
| No.11 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 有孔虫, 砂礫 |
| No.11 | 2.8mm | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 骨片(棒骨状?), シンゴ片, 砂礫 |
| No.12 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 赤貝類, 骨片, 有孔虫, 砂礫 |
| No.13 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 有孔虫, 砂礫 |
| No.13 | LF | 中袋 | 検出されず | - | - | - | 植物片, 骨片(歯), シンゴ片 |
| No.14 | LF | 中袋 | 検出されず | - | - | - | 植物片, 骨片 |
| No.14 | LF | 中袋1 | 検出されず | - | - | - | 赤貝類 |
| No.14 | LF | 中袋2 | オキナワジイ | 果皮 破片 炭化 | 8 | 0.001g, 最大2.8mm | 炭化材, 植物片, 赤貝類, シンゴ片, 有孔虫, 砂礫, 軽石(黄灰褐色) |
| No.14 | 2.0mm | オキナワジイ | 果皮 破片 炭化 | 1 | 最大4.3mm | 炭化材, 骨片, 砂礫 | |
| No.15 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 植物片 |
| No.15 | LF | 中袋1 | コナラ属 シイノミ(オキナワジイ?) | 子葉 破片 炭化 | 10 | 最大2.6mm | 炭化材 |
| No.15 | LF | 中袋2 | 不明 | 破片 炭化 | 17 | 最大2.4mm | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 骨片, 有孔虫, 砂礫, 軽石(黄灰褐色) |
| No.15 | LF | 中袋3 | 検出されず | - | - | - | 軽石(黄灰褐色) |
| No.15 | 2.0mm | オキナワジイ | 果皮 破片 炭化 | 28 | 0.04g, 残存長さ5.3mm | 炭化材, 植物片, 歯片, 骨片, 砂礫 | |
| No.15 | 2.0mm | コナラ属 シイノミ(オキナワジイ?) | 子葉 破片 炭化 | 4 | 0.023g, 残存長さ3.6mm, 残存半分厚2.5mm | 炭化材, 植物片, 歯片, 骨片, 砂礫 | |
| No.16 | LF | イネ科 | 果実 完形 | 1 | 状態良好 | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 有孔虫, 砂礫 | |
| No.16 | 2.8mm | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 砂礫 |
| No.17 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 植物片 |
| No.17 | LF | 中袋1 | 検出されず | - | - | - | 炭化材, 骨片, 砂礫 |
| No.17 | LF | 中袋2 | 検出されず | - | - | - | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 有孔虫, 砂礫 |
| No.17 | 2.0mm | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 植物片, シンゴ片, 砂礫 |
| No.18 | LF | オキナワジイ | 果皮 破片 炭化 | 1 | <0.001g, 1.5mm | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 有孔虫, 砂礫, 軽石(黄灰褐色) | |
| No.18 | LF | 中袋 | 検出されず | - | - | - | 植物片, 二枚貝類, 軽石(黄灰褐色) |
| No.18 | 2.8mm | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 骨片 |
| No.19 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 植物片, 骨片, 赤貝類, 有孔虫, 砂礫 |
| No.20 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 有孔虫, 砂礫, 軽石(黄灰褐色) |
| No.20 | 2.8mm | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材 |
| No.21 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 植物片, 赤貝類, シンゴ片, 有孔虫, 砂礫 |
| No.21 | 2.0mm | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 骨片 |
| No.22 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 赤貝類, 骨片 |
| No.22 | LF | 中袋 | 検出されず | - | - | - | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 有孔虫, 砂礫 |
| No.23 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 植物片, 赤貝類, ウニ類の棘, 有孔虫, 砂礫 |
| No.24 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 二枚貝類, 有孔虫, 砂礫 |
| No.25 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 植物片, 貝類, シンゴ片, 有孔虫, 砂礫 |
| No.25 | LF | オキナワジイ | 果皮 破片 炭化 | 1 | <0.001g, 1.4mm | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 有孔虫, 砂礫, 軽石(黄灰褐色) | |
| No.26 | LF | コナラ属 シイノミ(オキナワジイ?) | 子葉? 破片 炭化 | 7 | 最大3.0mm | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 有孔虫, 砂礫, 軽石(黄灰褐色) | |
| No.27 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 赤土, 有孔虫, 砂礫 |
| No.27 | 2.8mm | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材 |
| No.28 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 貝類, 砂礫 |
| No.28 | LF | 中袋 | 検出されず | - | - | - | 炭化材 |
| No.29 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 骨片(歯?), 有孔虫, 砂礫 |
| No.30 | LF | イネ科 | 果実 完形 | 1 | 状態良好 | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 貝類, 有孔虫, 砂礫 | |
| No.30 | 2.8mm | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材 |
| No.30 | 2.0mm | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材 |
| No.31 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, ウニ類の棘, シンゴ片, 有孔虫, 砂礫 |
| No.32 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 植物片, 炭化材 |
| No.32 | LF | 中袋 | 検出されず | - | - | - | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 赤土, シンゴ片, 有孔虫, 砂礫 |
| No.33 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 二枚貝類, 有孔虫, 砂礫 |
| No.33 | 2.8mm | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 骨片, 砂礫 |
| No.34 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 植物片, 貝類, シンゴ片, 有孔虫, 砂礫 |
| No.34 | 2.0mm | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, ウニ類の棘, 砂礫 |
| No.35 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 炭化材, 植物片, 赤貝類, シンゴ片, 有孔虫, 砂礫 |
| No.36 | LF | 検出されず | - | - | - | - | 軽石(黄灰褐色) |
| No.36 | LF | 中袋1 | オキナワジイ | 果皮 破片 炭化 | 2 | 最大3.1mm | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 有孔虫, 砂礫, 軽石(黄灰褐色) |
| No.36 | LF | 中袋2 | 不明 | 破片 炭化 | 2 | 最大4.3mm, 粗面, オキナワジイの子葉の可能性 | 炭化材, 植物片, 赤貝類, 有孔虫, 砂礫, 軽石(黄灰褐色) |
| No.36 | 2.0mm | オキナワジイ | 果皮 破片 炭化 | 1 | 残存長さ3.0mm | 炭化材, 植物片 | |
| No.36 | 2.0mm | コナラ属 シイノミ(オキナワジイ?) | 子葉 破片 炭化 | 21 | | 炭化材, 赤貝類, 骨片, 砂礫 | |
| 合計 | | 不明 | 破片 炭化 | 19 | | | |
| | | アカカ? | 種子? 完形 | 1 | | | |
| | | イネ科 | 果実 完形 | 2 | | | |



図版146 炭化種実

1. オキナワジイ 果皮(No.15)
2. オキナワジイ 果皮(a:外面b:縦断面.c:内面)(No.15)
3. オキナワジイ 果皮(a:外面b:縦断面.c:内面.d:横断面)(No.15)
4. コナラ属・シイ属(オキナワジイ) 子葉(No.15)

<引用文献>

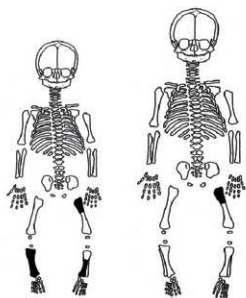
- 藤尾慎一郎, 2009, 弥生時代の実年代, 西本豊弘編 新弥生時代のはじまり 第4巻 弥生農耕のはじまりとその年代, 雄山閣, 9-54.
- 木崎甲子郎編著, 1985, 琉球弧の地質誌, 沖縄タイムス社, 278p.
- 松田順一郎・三輪若葉・別所秀高, 1999, 瓜生堂遺跡より出土した弥生時代中期の土器薄片の観察—岩石学的・堆積学的による—, 日本文化財科学会第16回大会発表要旨集, 120-121.
- 日本の地質「九州地方」編集委員会, 1992, 日本の地質9 九州地方, 共立出版, 371p.
- 日本の地質増補版編集委員会, 2005, 日本の地質 増補版, 共立出版, 374p.
- 林 昭三, 1991, 日本産木材 顕微鏡写真集, 京都大学木質科学研究所.
- 伊東隆夫, 日本産広葉樹材の解剖学的記載 I. 木材研究・資料, 31 (1995, 81-181), II. 木材研究・資料, 32 (1996, 66-176), III. 木材研究・資料, 33 (1997, 83-201), IV. 木材研究・資料, 34 (1998, 30-166), V. 木材研究・資料, 35 (1999, 47-216)
- 島地 謙・伊東隆夫, 1982, 図説木材組織, 地球社, 176p.
- Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (編), 1998, 広葉樹材の識別 IAWA による光学顕微鏡的特徴リスト, 伊東隆夫・藤井智之・佐伯 浩 (日本語版監修), 海書社, 122p. [Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (1989) *IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification*].

第4節 平安山原B遺跡出土の人骨

土肥直美（琉球大学医学部）

平安山原B遺跡から出土した人骨はいずれも周産期と思われる未成人2体分である。1体目は左右の脛骨、右腓骨、左大腿骨片、肋骨片が残存する。これらのサイズは後者に比べると明らかに小さく、未熟な状態で生まれ亡くなってしまったか、あるいは死産だった可能性も考えられる。2体目は残存する大腿骨片が通常の新児のサイズと同程度であることから、出産時あるいは出生後まもなくのトラブルで亡くなったものと思われる。出土地はいずれもHB②イ地区J12V層である。

以下に出土部位を示す。



第177図 出土部位



図版147 人骨出土部位

第V章 総括

平安山原B遺跡は平成20・21・23年度の3回の緊急発掘調査が行われ、本報告書はその成果を記録したものである。調査の結果、層序及び遺構、出土遺物から貝塚時代後期、グスク時代・近世、近・現代の概ね3時期の生活跡が確認された。以下、時代順に遺構、出土遺物について略述する。

<貝塚時代後期>

遺構： 山手側（HB②イ地区）の古い砂丘で検出された。岩盤（段丘）の袂の燃焼施設1042SXと1028SXを中心に扇状に広がるように被熱や炭の範囲が確認され、1039SXの直上で石皿（第70図67）が出土した。柱穴などは検出されなかったが、土器や石器、貝製品もこの地区に集中（第19図土器平面、第56図）し、生活の中心だったことが窺える。また、1042SXは複数の焼成面があり、C面で2290±20BPの結果が得られ、その上面からはⅠ類土器（図41阿波連浦下層式土器）とⅡ類土器（図91浜屋原式土器）が出土している。両型式の明瞭な時期差の結果は得られなかった。また、自然流路を挟んでHB④ロ地区でも貝層が確認され、僅かに薄手の土器が出土したが、小規模でそれ以外の遺構は海側へ広がる平安山原C遺跡に続くものと思われる。

出土遺物： 伊礼原遺跡と同じように人工遺物では土器、石器、貝製品、骨製品、土製品、自然遺物では脊椎動物遺体、貝類遺体、植物遺体が検出されている。

土器は重量平面分布（第22図）をみるとHB②イ地区に集中して出土し、第20図のように多数の土器が接合できる。土器は搬入土器と在地位器に分け、在地位器はさらにⅠ～Ⅶ類、底部は平底、尖底、くびれ平底に分類した。平面及び垂直分布を検討し、調査時に細分した分層も含め検討したが、堆積層での明瞭な時期差は見られなかった。平面分布では搬入土器やⅠ～Ⅲ類はHB②イ地区で主体を示し、Ⅳ～Ⅵ類土器は少量ながらHB①地区・HB④イ地区、Ⅶ類はHB④イ・ロ地区で出土する。伊礼原遺跡（国指定外2014）と同じように、山手側から海岸側に新しくなるようである。

搬入土器は九州系と奄美諸島系で、伊礼原遺跡・小堀原遺跡に比べると多い。壺類が主体で、南九州系弥生土器の弥生中期前半、入来Ⅰ・Ⅱ式の甕の古・新段階がみられた。甕は小型が多く、弥生前期前半～中期初頭に相当する。新里貴之氏によると「九州系弥生土器及び奄美諸島系土器は弥生中期前半に収まるも、併行期にあたる在地位器（阿波連浦下層式）の出土量が少ない。むしろ浜屋原式土器が多いため、浜屋原期には搬入土器が入らなくなる可能性も考えられる」とのことであり、浜屋原式土器（Ⅱ類）が67%を占める本遺跡は若干時期の餽給がみられる。

石器の種類は石斧、敲石、敲石兼磨石、磨石、石皿、砥石などが出土している。そのうち、小形方柱状片刃石斧（第63図25）と扁平片刃石斧（第63図21）がセットで出土している。この石斧の素材は沖縄では産しない良質のシルト岩（宮崎産？）で、九州からの搬入品とされており、九州の弥生前期末～中期併行期の遺跡で出土するようである（川口2011）。また、中南部では産しない輝緑岩製の重さ31kgの砥石（図版27）があり、搬入品としては最大級である。本遺跡で出土する輝緑岩製石斧の総重量が3,119gを量ることから移動のための労力が想像される。また、石斧についてみると丁寧に仕上げられたものと従来の加工があり、前者の石斧は持ち込みの可能性が高いようである。また、チャート製のスクレイパーも得られており、帰属年代は貝塚時代前期の土器（第51図172～174）も出土していることから古く遡ると思われる。

貝製品は装飾品と実用品があり、装飾品は貝輪にオオツクノハ、オオベッコウガサ、イモガイ横型、ゴホウラ腹面型などが得られた。イモガイはダイミョウイモ製貝輪が沖縄では初めて確認され、クロフモドキの横型貝輪（図7）と切り取り残存部（図10）が接合できた。ゴホウラは腹面の諸岡

型で南海産貝輪交易で北九州の弥生中期前半の遺跡で出土するもので、伊礼原遺跡を含めると製品が10点、未製品が2点出土している。さらに供給地側の遺構である貝集積から出土するゴホウラやアツソデガイの有孔製品も出土する。これらはゴホウラやイモガイ製貝輪の在り地での製作を示す資料で、素材を供給するとされる南海産貝輪交易に新たな段階を提示するものである。実用品についてみるとイモガイ製ノミ状製品は形状が柱状片刃石斧に酷似する。ホシダカラの背面を利用した匙状製品も出土している。素材をみると沖縄では産しないオオツタノハ、ボウシュウボラの有孔製品、また、九州の弥生遺跡で出土するマガイキガイ製指輪(木下2014)がある。

骨製品は4点得られ、第87図4の有孔製品は大きさから人骨の可能性も考えられる。

土製品は土器片の角を落とし、円形に整えた二次加工品が2点出土している。

脊椎動物遺体は魚類やイノシシ骨が主で、その割合は伊礼原遺跡(国指定外2014)と類似する。魚はフエフキダイ科が多く、新たにオオコウモリ科が得られた。しかし、伊礼原遺跡に比べてジュゴン出土が少ないようである。

貝類遺体は阿波連浦下層式土器、浜屋原式土器の時期(貝A区)にはイソハマグリが多く、大当原式土器(貝B区)にはマガイガイ、シャコガイ類、サラサバティラが多くなることから、若干の時期差が見られるようである。

<グスク時代・近世>

グスク時代の包含層(Ⅳ層)は、カワニナを含む水成堆積の自然流路で上・下部に大別される。Ⅳ層下部は、HB④イ地区南側隅から同口地区に堆積し、貝塚時代後期の砂丘を覆っている。

近世の包含層(Ⅲ層)は調査区全体に堆積し、遺構はHB①・②口地区の標高約2.6~2.8mのⅣ層上面、丘陵麓の標高約3.5~4.5mのⅤ層上面で検出される。

遺構:Ⅳ層下部のHB④イ地区の溝状遺構(SD1)は、西側に延びる流路内の細い溝である。Ⅳ層上部では、石列1・2の性格は区画を意識したものと思われる。HB②ロ地区の土坑(2015・2071SK)は、東側に広がらないことから本遺跡西側の平安山原A遺跡に関連する可能性が考えられる。

Ⅲ層の建物址は、4本柱の間隔が建物址1は5.4m、建物址2は2.8mと後者が小さい。出土遺物を見ると、建物址1から17世紀~19世紀代の白磁や青磁染付、建物址2から14世紀~16世紀代の青磁や染付が出土しているので後者が古い。ピット群①・②は標高約3.5m以上で建物址周辺、ピット群③はHB②ロ地区の標高約2.6~2.8mで検出された。同群③は、穴の径が大きくて浅い傾向が見られることから、柱穴以外の可能性も考えられる。溝状遺構1(271SD)より東側で検出された。

溝状遺構1・2(275SL、352・2049SD)から14世紀~19世紀の陶磁器が出土し、概ね近世期に属しており、切り合い関係では後者が古い。

出土遺物:Ⅳ層で116点、Ⅲ層で97点得られた。Ⅳ層ではグスク土器は滑石を混入したものや塗布したものが得られた。カムイヤキは壺が大半を占める。白磁は玉縁口縁や口尻碗など11世紀~13世紀の古手、青磁は龍泉窯の13世紀~14世紀代の鎗蓮弁文碗が得られた。Ⅲ層では14世紀後半~16世紀代のヘラ描雷文帯や草花文碗、輪花、稜花の皿や盤などの青磁、中国産・タイ産の褐釉陶器、染付では明代は福建・広東省の碗が多く、清代では徳化窯産が多い。その内、(第112図45)は17世紀後~18世紀初の葉瓶で銘があり、遺構(1006SK)からの出土である。他に青磁染付、鉄釉染付、華南三彩など18世紀~19世紀代である。近世の本土産陶器では内野山産(肥前)の碗(第118図1)、信楽焼の茶壺の破片(第118図3)、薩摩焼の貝目の残る壺(第118図4)、土瓶(第118図6)などが出土している。磁器では肥前系の碗、皿、瓶などが多く17世紀~18世紀代のものが出土。銭貨では、北宋の「元豊通寶」、日本の「寛永通寶」が出土。他に携帯用の砥石、沖縄産無釉

陶器製・金属製の煙管、青銅・真鍮製の簪、タカラガイ製の漁網の錘など、グスク時代～近世にかけての生活の様子が窺われ、また、中国や九州との関連を持っていたと思われる。

<近・現代>

近・現代の包含層（Ⅱ層）は、沖繩戦における米軍上陸後の基地接収・整備の造成によって部分的に失われるが、遺構は『北谷町の地名』（2006）で調査された平安山集落を実証するものである。

遺構：石組、溝、土坑、焼焼施設、井戸、窯跡（製糖小屋）、ビットが検出され、集落東側に所在した4軒（祝女殿内小、東門小、大和島小、伊礼）と製糖小屋（サーターヤー）の位置にあたる（図版87）。

通路や建物に関連するもの（2004・2005SX、380SL）、屋敷囲いの可能性が考えられるもの（276・379SL）、堆肥を作るブタの肥溜めの可能性が考えられる（1006SX）、これらに関連すると思われるビット群1は柵、ビット群2は窯跡に関連する可能性が考えられる。窯跡は集落の共同製糖小屋で、地面を掘り窪めた窯跡2、試掘確認時の石組の窯跡1は、焼痕のみ検出された。これらは標高約4.0～4.6mにある。SK1・2は集落南東側の耕作地にあたる。

溝【257（276SL）・281・305・355SD）は北西～南東で斜面地を下る道路脇にあり、2002SZは北東～南東方向に掘られ、いずれも検出面は標高約2.5mである。屋敷内から道路に向かう2002SZは出土遺物が最も多く（第64表）、投棄穴と考えられる358SKが近い位置にある。

焼焼施設の1018SXは、段丘崖下の崩落礫を含む二次堆積斜面上に煙道部、その前面の砂層面で焚口が検出され、周辺から現代遺物が出土し、比較的新しい掘削痕を伴う。

出土遺物：遺物の74.5%が遺構からで、前述したように戦前の屋敷跡に関連するものである。出土量の多いのは沖繩産施釉・無釉陶器、陶質土器、本土産陶磁器である。沖繩産施釉陶器の碗の出土量をみると灰釉碗が3分の1、白化粧碗が3分の2程度で、湧田焼とされていた灰釉碗が戦前まで長期に亘って使用していたことがわかる。また、白化粧のうち、加飾された「イチン」の釉だれ（図18・19）の方向から伏せ焼きであることが判明、1920年代以前（壺屋2008）に焼かれていたことがわかった。沖繩産無釉陶器では播り鉢（第152図8）はHB①地区、HB②イ・ロ地区と広い範囲で接合され、上限が近世遺構（271SD）であることが判明、粘土の目痕も確認され、薩摩焼の影響を受けたものと思われる。播り鉢は底部がまっすぐ立ち上がるⅠ・Ⅱ類と底部がカーブをなすⅣ類が出土するが、前者の方が多いようである。また、壺はスーチーカーガーマミなどバリエーションがあり、貯蔵用に使用されたようである。中には窯印（第157図48）から壺屋の屋号が確認された。陶質土器は火を使う鍋や火炉、急須（土瓶）が多いようである。他にフライパン状製品があり本土産焙烙の形状に近い。本土産の近代磁器は主に瀬戸・美濃、砥部で大量生産された型紙刷り、銅版転写、ゴム判、クロム青磁、国民食器、色絵などがあり、器種は碗、皿、小杯、瓶、急須、鉢などが出土した。型紙刷りでは碗が最も多く、銅版転写、ゴム判、クロム青磁は小碗が多く出土する。その中で図版128は染色体文の小碗で、砥部産の手描きと型紙・肥前の型紙が確認できた。製作技法の変遷と産地の違いから技法の移入やそれに伴う時期差が窺える。碗についてみると沖繩産施釉陶器と型紙刷り（磁器）と素材の異なるものが多く出土する。これは時期差によるものか、あるいは用途差によるものか検討を要する。円盤状製品もⅡ層遺構の出土が多く、イーチ型（山崎2010）と呼ばれている鉄斧、石灰岩製の石製容器も屋敷跡に関連するものと思われる。他に食料として脊椎動物遺体ではウシ・ウマも出土するが、ヤギも出土する。

現代遺物ではガラス瓶やヘルメットなどがあり、米軍基地接収時の遺物と考えられる。HB①地区の山手側の岩盤地帯に基地関連の埋設管の溝やフェンスの支柱痕が確認された（第130図）。

< 今回の調査成果 >

今回の調査でも貝塚時代後期の砂丘形成後、自然流路ができ、その後、自然流路が埋まり、陸地化してグスク時代以降の集落が形成される過程が明らかになった。同変遷は小堀原遺跡（2012）の成果を補完するものである。

貝塚時代後期の包含層は海岸段丘の袂に形成された砂丘（HB②イ地区）とその南側に形成された砂丘（HB④地区ロ）があり、ここでは2枚の砂層が確認され（巻首図版9）、その間の泥炭層から2130±30BP

（炭化材）の結果が得られた。また、HB②ロ地区では自然流路の下部で検出された炭化物から1600±20BPの結果が得られた。これにより新旧二枚の砂丘が確認された。砂丘形成期に出現した自然流路（IV層）が1600±20BP以後に埋まり、陸地化し、その上にグスク時代の生活面が確認された。

貝塚時代後期において南九州の入来Ⅱ式土器、小型柱状片刃石斧、定角式扁平片刃石斧、諸國型の貝輪と製作途中の製品が同時に出土したことや、またイモガイ横型貝輪と切り取り残存部が接合できたこと、ダイミョウイモ製貝輪の出土等から九州島との往来が活発であったことが窺える。

1042SXから採集した土を洗浄した結果、国指定伊礼原遺跡（低湿地区）出土の植物遺体と同じオキナワジイ等が検出された。これによりキャンプ桑江北側地区周辺で貝塚時代前期～後期まで継続的にオキナワジイ等が食料として利用されていたことがわかった。その中でも本遺跡での入来Ⅱ式土器やダイミョウイモ製貝輪の出土はキャンプ桑江北側地区内の遺跡の中では弥生時代の搬入物の上限を示すものである。

平安山集落は史料（北谷町 2005）に嘉靖年間（1522～1566）の平安山集落の記録が残るが、11世紀以降の中国産磁器の出土により、16世紀以前から居住地であったことが窺える。

また、キャンプ桑江北側地区の基地接收以前（1945年以前）の遺物が検出され、当時の様子、特に、沖縄産の陶器や本土産陶磁器を使用した戦前の生活の様子が明らかになり、『北谷町の地名』の記録を裏付けられるものと思われる。

< 参考文献 >

北谷町教育委員会 2005 『北谷町史』第一巻附録
 北谷町教育委員会 2012 『小堀原遺跡』北谷町文化財調査報告書 第34集
 北谷町教育委員会 2014 『伊礼原遺跡（国指定外）・伊礼原A遺跡』北谷町文化財調査報告書第36集
 木下尚子 2014 「マガキガイの指輪—弥生時代の貝製指輪」『先史学・考古学論究』IV 龍田考古学会
 川口雅之 2011 「奄美・沖縄諸島の大陸系磨製石斧」『奄美考古』第6号奄美考古学会
 壺屋焼物博物館 2008 壺屋焼近代百年のあゆみ、那覇市壺屋焼物博物館 10周年記念特別展
 山崎真治 2010 「当博物館所蔵の斧について」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第3号

< 付記 > 伊礼原遺跡（国指定外）第36集で報告した陶磁器について後日、大橋康二先生に同定していただいた結果、下記のように追加・訂正します。

- 第105図14の白磁、碗→肥前磁器、碗、1650～70年生産、色絵の可能性もあり
- 第105図13の白磁、碗→中国、大皿、景德鎮?16世紀
- 第118図3、4は中国、黒釉陶器→日本、唐津、陶器



第179図 伊礼原遺跡とその周辺の地形分類（松田2007 一部改変）

付篇 1 伊礼原D遺跡出土のタイ産鉄絵合子及び木製漆器

表題の遺物 2 点について平成 20 年度及び 25 年度に刊行した『伊礼原D遺跡』北谷町文化財報告書第 28・35 集に未記載のため、今回の報告書の付篇で記載することとする。

1. タイ産鉄絵合子

本資料は町区画整理事業に関わる発掘調査で出土したものである。図 1 は合子の口縁部から胴部にかけての資料である。口径は 8.3 cm である。口縁部内端は突出し、口唇部は窪む。文様は口縁下部に 3 本の縦位短線と草花文？、格子文が廻らされ、その直下に太目の横線が廻らされるが 2 本の線が重なっている。胴下部にも太い横線が廻る。腰部は褐色軸が施されている。内面は黒単色粒の斑点が全体的に見られる。すでに報告（2008）されている合子の蓋（第 35 図 1）は径が図 1 より大きいことから別個体の可能性が高い。

2. 木製漆器

本資料はキャンパス桑江北側返還の確認調査で出土した資料である。図 2 は木製漆器底部資料で保存処理を施した。漆は胴部の内面に朱色が若干残っている。外面は黒色で胴部に僅か見られ、腰部から高台内に比較的残りが良い。器種は底径が広く高台が低く、胴部が浅めで反る様相であることから皿と思われる。底部の器厚は 7 mm、胴部の器厚は 6 mm から 3 mm と薄くなる。本資料は近世期の川跡の縁から検出された。

第105表 タイ産鉄絵合子・木製漆器観察一覧

(法量単位:cm)

| 図番 図版 | 種類 | 器種 | 部位 | 口径 器高 底径 | 素地・素材 | 軸色・漆色 | その他特徴 | 出土地 |
|-------------------|----|-----------|---------|----------------|----------------------------------|---|--|------------------|
| 第 181 図 図版 148 | 1 | タイ産 陶器 | 合子 身 | 8.3 - - | 淡灰色細粒子 細かい白色粒 及び黒色粒を 含む | 外面はくすんだ淡灰色で文様は淡 灰黒色。腰部は褐色軸である。口 唇部から内面口縁部下は露胎。内 面は部分的に淡灰色軸が掛る。 | 外面口縁下部に草花文？と縦線が三本、格 子状の文様が廻り、その直下に帯状の圓線 が3本施される。口唇部は蓋を受けるため窪 み口唇内端が突出する。器厚は4mm。 | J17 第III層 |
| | 2 | 木製 漆器 | 皿 底部 | - - 8.0 | 木製 樹種不明 | 内面は朱色、外面は黒色である。 | 幅広い外底で高台断面は三角形を呈す る。腰部は丸みを帯びて立ち上がる。胴部で 反る様相を呈しているで皿と思われる。器 厚3~6mm。底厚7mm。 | 4-10 川跡 近世 |



第 180 図 伊礼原D遺跡の位置

第 181 図・図版 148 タイ産鉄絵合子・木製漆器

付篇 2 伊礼原遺跡の年代測定結果

表題について平成 18 年度刊行した『伊礼原遺跡』北谷町文化財報告書第 26 集（以下「報告書」と略図）に未記載のため、今回の報告書の付篇で記載することとする。

今回紹介する年代測定に掛けた資料データは 23 点である。低湿地区 3 点、砂丘区 20 点となっている。しかし、砂丘区の炭化物 No. 1 は E-20 グリッドの東壁に人骨が見られ、その下層部から資料を採取したが結果は得られなかった。人骨は未調査である。なお、低湿地区の第 14 層（曾畑層）以降の年代測定結果については報告書第三章 I 及び ¹⁴C 年代測定結果を参照されたい。

＜試料＞

低湿地区は、北区南西側（中央区付近）第 15 層の細砂層上面で爪形文土器と炭集中部が検出された。その中から 3 点測定した（炭化物 No. 7・22・23）。

砂丘区は、E-20 グリッドは縄文時代中期から近世までの層が堆積している。上層部は黄色土（第 1～2 層）で近世以降、その下層は黒色土層（第 3 層～第 6 層）でグスク時代以前の堆積、その下層の白砂層（第 7～10 層）は縄文時代中期が確認されている。本グリッドの測定資料は主に第 5・6 層出土の炭化物である。

炭化物 No. 2 は石組の炉址 4 で遺構内より採取した資料である。土器や石器も伴う（報告書第 83 図 17 など）。

炭化物 No. 3 は炉址 4 の下層である。炭化物 No. 4 は年代測定結果表の資料産出層序では炉址 8 と記載しているが、報告書では土坑としている。土坑 3 又は 7 より採取した資料である。

炭化物 No. 5 は炉址 8（報告書第 60 図土坑 8）内出土資料である。

炭化物 No. 6 は炉址近辺の一括土器（報告書第 71 図 2）に伴うものである。

炭化物 No. 9・10 は貝集積土坑内出土資料である。

炭化物 No. 8 は D-19 グリッド北東角に集石遺構があり住居址を考慮し、近辺の北東壁面中央部の炭集中部資料を採取したものである。

炭化物 No. 11・12 は E-19 グリッド北西壁側の石集積遺構（報告書第 55 図第 1 号住居址）内出土資料で、遺物集中部（No. 11）と貝集中部（No. 12）がある。本遺構の時期と遺物の対応、第 2 号住居址や第 1～4 号集石遺構と時期差を比すため行った。

炭化物 No. 13 は E-17 グリッドの柱穴内出土資料である。E-18 グリッド中央部より E-13 グリッドに向かって（南西方向）縄文時代の堆積は見られない。この現象については報告書第三章 II 及び第 7 図に記載している。貝塚時代後期以降の堆積で柱穴が検出されている。柱穴の各時代と出土遺物に齧齧が無いかなどを確認するため採取した。

炭化物 No. 14 は E-15 グリッドの柱穴内出土資料である。

炭化物 No. 15 は E-14 グリッドの柱穴内出土資料である。

炭化物 No. 16 は産出層序 C-19・20 グリッド土器一括資料に伴う。第 3～6 層の黒色土層の下部で C-19 グリッドの南西側に礫が集中した部分で土器と共に採取した資料である。土器は報告書第 77 図 6 である。

炭化物 No. 17 は C-18 グリッド黒色土層下部の石集積遺構（報告書第 56 図第 2 号住居址）内出土資料である。

炭化物 No. 18 は C・D-18 グリッドの石集積遺構（報告書第 56 図第 2 号住居址）の南側の同層に炭

集中部が検出され、それを採取した資料である。

炭化物 No. 19 は D-19 グリッドの中央部東側に炭集中部が検出され、それを採取した資料である。第 1 号住居址と第 2 号住居址の間に位置している。

炭化物 No. 20 は HG-19 グリッドの黒色土層下部に集石遺構（報告書第 4 号集石）より採取したもので、集石遺構（現況保存）は住居址の可能性があるので行った。

炭化物 No. 21 は C-18 グリッドの中央部の黒色土層の遺構（報告書第 67 図の溝状遺構内出土の人骨）の上部から採取した資料である。人骨の詳細については報告書第 V 章 III に記載している。

<年代測定結果>

年代測定結果は次ページのとおりである。低湿地区の 3 点の爪形土器は曾畑式土器付着資料結果よりは古いが曾畑期に近く、渡具知東原遺跡出土結果（東原式土器 6,600 年）よりは新しい年代結果となった。北区南西側は中央区の第 14 層（曾畑層）と北区の第 15 層が同レベル（本層北区北東側から南西側に斜位に堆積し中央区で第 14 層下に潜っている）で境に位置しているため、その影響も考慮したい。

砂丘区は黒色土層が明確に分層できず、遺物で遺構の時期を判断していた。砂丘区は丘陵より海岸に向かって時代が新しくなる地形変遷が確認された（砂丘形成については報告書第三章 II を参照）。E-18~20、C-18、D-19・20、HG-20 グリッドは縄文時代から古く時代までの堆積で各時代の遺物や遺構が検出されている。E-17~13 グリッドは貝塚時代後期以降の堆積で柱穴が検出された。各々の炭化物資料の年代測定結果は遺物と対応し、遺構の年代判断にも差異がないと判断される。また砂丘形成の変遷に準じている結果を示すことにも繋がったことは大変貴重な成果といえる。



第 182 図 伊礼原遺跡年代測定資料採取場所

報告内容の説明

未補正14C年代 (y BP) : (同位体分別未補正) 14C年代 "measured radiocarbon age"
試料の $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比から、単純に現在 (AD1950年) から何年前 (BP) かを計算した年代。

14C年代 (y BP) : (同位体分別補正) 14C年代 "conventional radiocarbon age"
試料の炭素安定同位体比 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$) を測定して試料の炭素の同位体分別を知り $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ の測定値に補正値を加えた上で、算出した年代。
試料の $\delta^{13}\text{C}$ 値を-25(‰) に基準化することによって得られる年代値である。
(Stuiver, M. and Polach, H.A. (1977) Discussion Reporting of ^{14}C data. Radiocarbon, 19 を参照のこと)
暦年代を得る際にはこの年代値をもちいる。

$\delta^{13}\text{C}$ (permil) : 試料の測定 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比を補正するための $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比。
この安定同位体比は、下式のように標準物質 (PDB) の同位体比からの千分偏差 (‰) で表現する。

$$\delta^{13}\text{C} (\text{‰}) = \frac{(^{13}\text{C}/^{12}\text{C})[\text{試料}] - (^{13}\text{C}/^{12}\text{C})[\text{標準}]}{(^{13}\text{C}/^{12}\text{C})[\text{標準}]} \times 1000$$

ここで、 $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}[\text{標準}] = 0.0112372$ である。

暦年代 : 過去の宇宙線強度の変動による大気中 ^{14}C 濃度の変動に対する補正により、暦年代を算出する。具体的には年代既知の樹木年輪の ^{14}C の測定、サンゴの ^{14}C 年代と ^{14}C 年代の比較により、補正曲線を作成し、暦年代を算出する。最新のデータベース ("INTCAL98 Radiocarbon Age Calibration" Stuiver et al, 1998, Radiocarbon 40(3)) により約19000yBPまでの換算が可能となった。*

*但し、10000yBP以前のデータはまだ不完全であり今後も改善される可能性が高いので、補正前のデータの保管を推奨します。

"The calendar calibrations were calculated using the newest calibration data as published in Radiocarbon, Vol. 40, No. 3, 1998 using the cubic spline fit mathematics as published by Talma and Vogel, Radiocarbon, Vol. 35, No. 2, pg 317-322, 1993: A Simplified Approach to Calibrating C14 Dates. Results are reported both as cal BC and cal BP. Note that calibration for samples beyond about 10,000 years is still very subjective. The calibration data beyond about 13,000 years is a "best fit" compilation of modeled data and, although an improvement on the accuracy of the radiocarbon data, should be considered illustrative. It is very likely that calibration data beyond 10,000 years will change in the future. Because of this, it is very important to quote the original BP dates and these references in your publications so that future refinements can be applied to your results."

測定方法などに関するデータ

測定方法 AMS : 加速器質量分析

Radiometric : 液体シンチレーションカウンタによる β -線計数法

処理・調製・その他 : 試料の前処理、調製などの情報

前処理 acid-alkali-acid : 酸-アルカリ-酸洗浄
acid washes : 酸洗浄
acid etch : 酸によるエッチング
none : 未処理

調製・その他

Bulk-Low Carbon Material : 低濃度有機物処理
Bone Collagen Extraction : 骨、歯などのコラーゲン抽出
Cellulose Extraction : 木材のセルロース抽出

Extended Counting : Radiometric による測定の際、測定時間を延長する

分析機関 BETA ANALYTIC INC.

4985 SW 74 Court, Miami, FL, U.S.A 33155

14C年代測定結果

No.2121

| 試料データ | 試料の 産出層序 | 未補正 ¹⁴ C年代(yBP) (measured radiocarbon age) | δ13C(permil) | ¹⁴ C年代(yBP) (Conventional radiocarbon age) | 試料 |
|--|-----------------------------------|--|--------------|--|--------------|
| Beta- 試料名 charcoal No.1 測定方法・期間 試料種・前処理など | E-20 人骨下層層 No.051028 | | | | 炭化物 |
| Bate- 213985 試料名 (29136) charcoal No.2 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | E-20 炉址4 No.991 021112 | 2550 ± 50 | -27.0 | 2520 ± 50 | 炭化物 0.19g |
| Bate- 213986 試料名 (29137) charcoal No.3 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | E-20 石列下 No.031935 | 3880 ± 40 | -28.6 | 3820 ± 40 | 炭化物 0.19g |
| Beta- 213987 試料名 (29138) charcoal No.4 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | E-20 中央石集積 No.032095 | 3610 ± 40 | -26.4 | 3590 ± 40 | 炭化物 0.12g |
| Beta- 213988 試料名 (29139) charcoal No.5 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | E-20 炉址8 黑色砂 | 3750 ± 40 | -26.9 | 3720 ± 40 | 炭化物 0.05g |
| Beta- 213989 試料名 (29140) charcoal No.6 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | E-20 炉址8—一括土 器近く石集積 赤褐色砂 | 3860 ± 40 | -27.7 | 3820 ± 40 | 炭化物 0.12g |
| Beta- 213990 試料名 (29141) charcoal No.7 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | 北区 爪形文土器 に伴う No.1 | 5500 ± 40 | -26.1 | 5480 ± 40 | 炭化物 |
| Beta- 213991 試料名 (29142) charcoal No.8 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | D-19 炭集中 No.04121717 | 3260 ± 40 | -27.7 | 3220 ± 40 | 炭化物 2.10g |
| Beta- 213992 試料名 (29143) charcoal No.9 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | E-20 貝集石 No.04110535 | 3940 ± 40 | -27.3 | 3900 ± 40 | 炭化物 0.35g |
| Beta- 213993 試料名 (29144) charcoal No.10 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | E-20 貝集石 No.04111131 | 3890 ± 40 | -26.2 | 3870 ± 40 | 炭化物 0.05g |
| Beta- 213994 試料名 (29145) charcoal No.11 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | E-19 北西側石集積 No.1840 | 3600 ± 40 | -26.3 | 3580 ± 40 | 炭化物 0.60g |
| Beta- 213995 試料名 (29146) charcoal No.12 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | E-19 石集積(貝集 中部分) No.2322 | 3620 ± 40 | -26.3 | 3600 ± 40 | 炭化物 0.09g |

14C年代測定結果

No.2121

| 試料データ | 試料の 産出層序 | 未補正 ¹⁴ C年代 (yBP) (measured radiocarbon age) | δ 13C (permil) | ¹⁴ C年代 (yBP) (Conventional radiocarbon age) | 炭化物 重量 |
|--|--|---|---------------------------|---|--------------|
| Beta- 213996 試料名 (29147) charcoal No.13 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | E-17 柱穴 No.2249 | 2500 ± 40 | -26.6 acid/alkali/acid | 2470 ± 40 | 炭化物 0.06g |
| Beta- 213997 試料名 (29148) charcoal No.14 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | E-15 柱穴 No.150018 | 1950 ± 40 | -27.1 acid/alkali/acid | 1920 ± 40 | 炭化物 1.00g |
| Beta- 213998 試料名 (29149) charcoal No.15 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | E-14 柱穴 No.140001 | 330 ± 40 | -25.6 acid/alkali/acid | 320 ± 40 | 炭化物 0.34g |
| Beta- 213999 試料名 (29150) charcoal No.16 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | C-19・20 一括土器取り 上げ No.050606 | 3500 ± 40 | -26.3 acid/alkali/acid | 3480 ± 40 | 炭化物 0.29g |
| Beta- 214000 試料名 (29151) charcoal No.17 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | C-18 石集積 No.04070816 | 3250 ± 40 | -27 acid/alkali/acid | 3220 ± 40 | 炭化物 0.22g |
| Beta- 214001 試料名 (29152) charcoal No.18 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | C・D-18 石集積南側炭 集中部 No.05071311 | 3330 ± 40 | -27.2 acid/alkali/acid | 3290 ± 40 | 炭化物 0.37g |
| Beta- 214002 試料名 (29153) charcoal No.19 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | D-19北 石集積 No.031190 | 3190 ± 40 | -26.1 acid/alkali/acid | 3170 ± 40 | 炭化物 0.20g |
| Beta- 214003 試料名 (29154) charcoal No.20 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | HG-19 石集積 No.05072637 | 3520 ± 40 | -28 acid/alkali/acid | 3470 ± 40 | 炭化物 0.45g |
| Beta- 214004 試料名 (29155) charcoal No.21 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | C-18 人骨上部 | 2390 ± 40 | -26 acid/alkali/acid | 2370 ± 40 | 炭化物 0.02g |
| Beta- 214005 試料名 (29156) charcoal No.22 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | 北区 爪形文土器に 伴う No.2 | 5460 ± 40 | -25.3 acid/alkali/acid | 5460 ± 40 | 炭化物 |
| Beta- 214006 試料名 (29157) charcoal No.23 測定方法・期間 AMS-Standard 試料種・前処理など charred material | 北区 爪形文土器に 伴う No.3 | 5620 ± 40 | -25.6 acid/alkali/acid | 5610 ± 40 | 炭化物 0.10g |

年代値はRCYBP (1950 A.D.を0年とする) で表記。モダン リファレンス スタンドは国際的な慣例としてNBS Oxalic AcidのC14濃度の95%を使用し、半減期はリビオの5568年を使用した。エラーは1シグマ(68%確率)である。

付篇3 キャンプ桑江北側地区出土の貝集積

<資料の経緯> 2013年収蔵庫の移転の際、土嚢袋から貝集積遺構の遺物と思われる白砂付着のゴホウラやイモガイが見つかった。平成13年3月にキャンプ桑江北側地区の返還に伴う試掘調査が平成7～9年にかけて行われた。その後、この地区の発掘調査が行われ、調査の成果が報告されている。その成果から小堀原遺跡(2012)で1基、伊礼原遺跡(2014)3基、伊礼原D遺跡(2013)で1基の貝集積遺構(第106表)が確認されている。本項で報告する遺物もこれらの調査成果から、

キャンプ桑江北側地区の可能性が高いと考えられるため、今回ここで報告する。遺物の観察一覧(第107表)と写真を掲載した。

| 遺跡名 | 報告年 | 遺構名 | 標高 | 大きさ | 深さ | 断面形状 | ゴホウラ | アツソバガイ | クロフモドキ | アンボンクロザメ | ダイモイ | イボカハイモ | オトメイモ | マガキガイ | 合計 |
|----------|------|--------|------|-------|----|------|------|--------|--------|----------|------|--------|-------|-------|----|
| キャンプ桑江北側 | 2015 | | | | | | 1 | | 5 | 1 | 1 | | | | 8 |
| 小堀原遺跡 | 2012 | 87KSS | 3.52 | 47 | 6 | | 6 | | | | | | | | 6 |
| 伊礼原遺跡 | 2014 | SS01 | 3.8 | 35×37 | 10 | 鍋底 | 6 | | 2 | 7 | | 2 | 2 | 1 | 20 |
| | | SS02 | 3.8 | 40×45 | 20 | 5段 | | | 5 | 50 | | | | | 55 |
| | | SS03 | 3.7 | 21×11 | 5 | | | | 2 | 3 | | | | | 5 |
| 伊礼原D遺跡 | 2013 | 4317SS | 2.9 | 42.57 | 20 | 鍋底 | | | 20 | 15 | | | | 35 | |
| 合計 | | | | | | | 13 | 0 | 34 | 76 | 1 | 2 | 2 | 120 | |

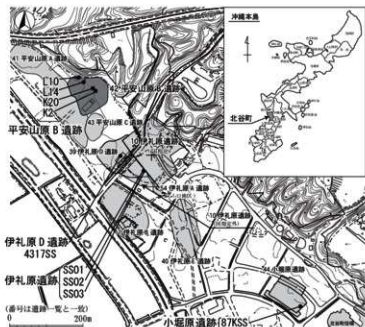
<資料> これによると1はゴホウラで、背面に2.0×1.5cmの方形の粗孔、また背面のヘビガイを丁寧に除去し、上袖部を殻頂から直線状に粗割するものである。腹面にはヘビガイの跡の渦巻き痕が殻頂から袖部にかけて確認できる。背面はヘビガイを除去したため、複数の面を呈する。

2はダイミョウイモである。これまで貝集積遺構での検出は無く、本資料が初めてである。自然貝では伊礼原遺跡(2014)でサンゴ礫が付着したものを報告した。

5はアンボンクロザメ、3・4・6～8はクロフモドキで、3は外唇上部が欠損している。本資料とキャンプ桑江北側地区の遺跡の貝集積遺構を比較すると、表に示した様に小堀原遺跡(2012)87KSSはゴホウラのみ、伊礼原遺跡(2014)SS01ではゴホウラとイモガイ、SS02・SS03ではイモガイのみ、伊礼原D遺跡(2013)4317SSではイモガイのみで、貝種の組み合わせからすると伊礼原遺跡(2014)に類似する。

各遺構の共存遺物あるは主体土器を検討すると、小堀原遺跡(2012)、伊礼原遺跡(2014)では阿波速浦下層式土器・浜屋原式土器を主体とし、伊礼原D遺跡(2013)は大大原式土器を主体とする。ゴホウラの背面穿孔は平安山原B遺跡(今回報告)のHB④地区で出土している。

本資料は貝集積遺構の古い時期(島袋1989)に位置づけられるゴホウラの背面穿孔が出土したこと。また、九州の弥生時代中期前半の大友遺跡(1981)で出土するイモガイ縦型貝輪の素材(1981)であるダイミョウイモが素材供給地とされる沖縄で初めて確認されたことなど本資料は意義がある。



第183図 キャンプ桑江北側地区の貝集積遺構

<註文献>

島袋春美 1989 「南島からみた貝の交易-弥生時代を中心に」『考古学ジャーナル』no311

呼子町教育委員会 1981 『大友遺跡』呼子町文化財調査報告書第1集

第107表 ゴホウラ・イモガイ観察一覧

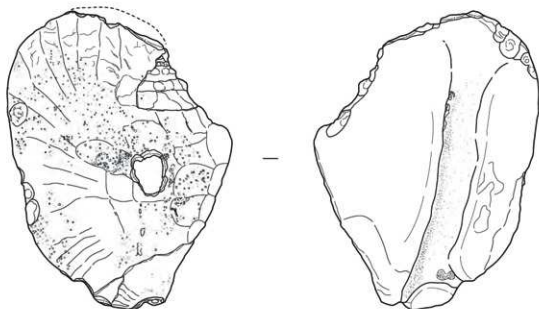
(法量単位:cm, g)

| 図版 | 図版番号 | 貝種 | 完破 | 殻高 | 殻径 a | 殻径 b | 重さ | アバタ | 色残 | 摩耗 | へビ | 風化 | 観察事項 |
|-----------|------|----------|----|------|------|------|-------|-----|----|----|----|----|-------------------------------|
| 図版 149 | 1 | ゴホウラ | 完 | 13.3 | 11.1 | — | 588.0 | ◎ | × | △ | ○ | ○ | へビ除去、縦上部剥離、背面孔(2.0×1.5cm、外→内) |
| | 2 | ダイモウイモ | 完 | 10.7 | 7.2 | 6.7 | 283.0 | △ | △ | × | × | × | 外唇:加工なし |
| | 3 | クロフモドキ | 完 | 12.5 | 7.3 | 6.8 | 278.0 | × | △ | × | × | × | 外唇:上破損 |
| | 4 | クロフモドキ | 完 | 12.2 | 7.1 | 6.7 | 272.0 | △ | △ | × | × | × | 外唇:加工なし |
| | 5 | アンボンクロゾメ | 完 | 10.8 | 6.4 | 6.0 | 233.5 | △ | △ | × | × | × | 外唇:上破損 |
| | 6 | クロフモドキ | 完 | 10.0 | 5.8 | 5.3 | 157.3 | × | ○ | △ | × | × | 外唇:剥離5回 |
| | 7 | クロフモドキ | 完 | 10.4 | 6.8 | 5.3 | 164.0 | △ | ○ | × | × | × | 外唇:上剥離2回 |
| | 8 | クロフモドキ | 完 | 9.7 | 5.7 | 5.3 | 154.9 | × | ○ | × | × | × | 外唇:自然剥離、数回 |

(凡例)◎:多・強、○:普通、△:少・弱、×:なし、—:計測不可



図版 149 ゴホウラ・イモガイ



第 184 図 ゴホウラ

報告書抄録

| | | | | | | | |
|-----------------------|---|----------|--|--|---|---------------------------------------|---------------|
| ふりがな | はんざんばる いせき | | | | | | |
| 書名 | 平安山原B遺跡 | | | | | | |
| 副書名 | 桑江伊平土地区画整理事業に伴う発掘調査事業（平成20・平成21・平成23年度） | | | | | | |
| 巻次 | - | | | | | | |
| シリーズ名 | 北谷町教育委員会文化財調査報告書 | | | | | | |
| シリーズ番号 | 第37集 | | | | | | |
| 編著者名 | 山城安生・東門研治・松原哲志・島袋春美・上地千賀子・呉屋広江・比嘉優子 北條真子・黒住耐二・樋泉岳二・土肥直美・(株)パリオ・サーヴェイ | | | | | | |
| 編集機関 | 沖縄県北谷町教育委員会 | | | | | | |
| 所在地 | 〒904-0192 沖縄県中頭郡北谷町字桑江226番地 TEL 098-936-3159 | | | | | | |
| 発行年月日 | 2015年（平成27年）3月31日 | | | | | | |
| ふりがな | ふりがな | コード | 北緯 | 東経 | 調査期間 | 調査面積 | 調査原因 |
| 所在地 | 所在地 | 市町村 | 遺跡番号 | °'〃 | °'〃 | m ² | |
| はんざんばる いせき 平安山原B遺跡 | 沖縄県北谷町伊平字小平安山原 | 473260 | 26°18'58" | 127°45'55" | 20080901 ～ 20090220 20090828 ～ 20091218 20110902 ～ 20111216 | 2,460 730 1,200 | 区画整理事業に伴う発掘調査 |
| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | 特記事項 | | |
| はんざんばる いせき 平安山原B遺跡 | | 貝塚時代後期 | 燃焼遺構(1042SX-C) 土器集中・貝集中部 土坑(366SK) | 土器・石器・貝製品 骨製品・土製品・オキナ ワジイ等 | ・土器付着炭化物 1890±30 2220±20・2350±30BP ・炭化材 (ヤマガワ) 2390±30BP (マツノ) 2290±20BP ・樹木片(アカテツ)2130±30BP | | |
| | | グスク時代・近世 | 建物址 (235SB・310SB) 溝状遺構 ピット・土坑 | 土器・カムイヤキ・白磁 青磁・染付・褐釉陶器 瓦質土器・本土産陶磁器 羽口・銭貨・髷・石製品 砥石・煙管 | ・炭化材(広葉樹) 1600±20BP | | |
| | | 近・現代 | 石組(276SL・379SL) 溝・土坑 燃焼施設(1018SX) 井戸・窯跡・ピット | 沖縄産釜軸・無釉陶器 陶質土器・本土産陶磁器 円盤状製品・鉄製品・瓦 レンガ | | | |
| 要約 | <p>平安山原B遺跡は平成20・21・23年度の3回の調査が行われ、層序や遺構や出土遺物から貝塚時代後期、グスク時代・近世、近・現代のおおむね3時期の生活跡が確認された。貝塚時代後期では海岸段丘の袂に形成された砂丘で燃焼遺構の中からオキナワジイの果皮が検出され、また主体土器である阿波連浦下層式土器や浜屋原式土器の時期に南九州産の弥生土器や柱状扁平石斧、ゴホウラの諸岡型貝輪など九州との交易を示す資料が多く得られた。砂層も二枚が確認され、その間の泥炭層の年代が2130±3BPの結果が得られた。砂層の上層でも1600±20BPの年代が得られ、それ以後に自然流路が埋まり、グスク土器やカムイヤキ、玉縁白磁陶などの出土によりグスク時代の初期から住み始め、居住域を広げた。小堀原遺跡の自然流路上に居住していたことを証するものである。近世はさらに居住地域を広げ、建物址なども検出され、中国の染付のほか、肥前磁器や薩摩焼など生活遺物も広がりを見せた。近・現代の時期は戦前の平安山集落と重なり、屋敷の石組や井戸、サーターヤーなどが検出され、沖縄産陶器や本土産磁器が大量に出土、戦前の生活の様子が具体的に窺える資料である。本遺跡の調査結果、海岸段丘の袂に形成された海岸低地は先史～現代まで地形が変化し、人々はそれに合わせて居住空間を広げながら継続的に居住していたことが明らかにされた。</p> | | | | | | |

〈表紙〉 平安山原B遺跡出土の弥生土器

北谷町文化財調査報告書 第37集

平安山原B遺跡

— 桑江伊平土地区画整理事業に伴う発掘調査事業（平成20・21・23年度）—

〈付篇1〉 伊礼原D遺跡出土のタイ産鉄絵合子及び木製漆器

〈付篇2〉 伊礼原遺跡の年代測定

〈付篇3〉 キャンプ桑江北側地区試掘調査出土の貝集積

編集： 北谷町教育委員会

発行年： 2015（平成27）年3月

〒904-0192 沖縄県北谷町字桑江226番地

TEL 098-936-3159

印刷： [合資] 精印堂印刷

〒902-0072 沖縄県那覇市字真399-3

TEL 098-832-1311



北谷町